

恵庭市

# 西島松5遺跡(2)

— 柏木川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書 —

平成12・13・14・15年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター



1. 遺跡全景



2. 完掘風景 (NE→SW)



3. 完掘風景 (SW→NE)



4. 土城遺出土の小刀・刀子(1)



5. 土墳墓出土の小刀・刀子（2）



6. 土墳墓出土の小刀・刀子 (3)



7. 土墳墓出土の小刀・刀子 (4)



8. 土墳墓出土の鉄斧



9. 土墳墓出土の鉄鏃

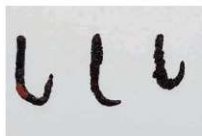




10. 土墳墓出土の鎌



11. 土墳墓出土の環



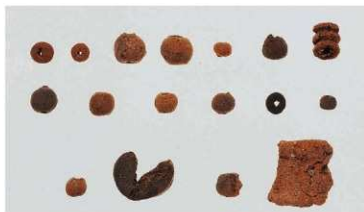
12. 土墳墓出土の釣り針



13. 土墳墓出土の鉄製品



14. 遺構出土の土器



15. 遺構出土の土製品 (1)



16. 遺構出土の土製品 (2)



17. 赤彩土器



18. 遺構出土の石製品

## 例 言

1. 本書は、柏木川改修と遊水地新設工事に伴い、財団法人北海道埋蔵文化財センターが平成13（2001）年度に発掘調査を実施した恵庭市西島松5遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。なお本報告書では、多量に出土した遺物などの関係で、台地上の遺構とその出土遺物について掲載し、低地部の遺構と遺物、盛土遺構と遺物、包含層出土の遺物については平成16（2004）年度に一括して報告する予定である。また本報告書には、平成13（2001）年度の報告書（北埋調報178）で報告できなかった保存処理完了の金属製品も掲載している。
2. 平成12・13年度の発掘調査、平成13年度の整理作業は第2調査部第2調査課、平成14年度の発掘調査と整理作業は第2調査部第1調査課が担当した。
3. 本書の執筆は、和泉田毅、佐藤剛、石井淳平、編集は和泉田毅が行った。各章・節などの執筆担当者は、以下のとおりである。  
Ⅰ・Ⅲ（3・4・6）・Ⅳ・Ⅴ（1・2・3・5・7）：和泉田毅 Ⅱ・Ⅲ（1・2・3・4・6）・Ⅳ・Ⅴ（3・4・6）：石井淳平。また出土遺物については、土器・土製品が佐藤剛、金属製品は石井淳平、石器・石製品は和泉田毅が分担・執筆した。
4. 整理作業の担当は、遺構が調査担当の調査員、土器・土製品が佐藤剛、金属製品・フローテーション資料が石井淳平、石器・石製品が新家水奈である。
5. 現場の写真撮影は、和泉田毅・遺構担当調査員、遺物等の写真撮影（遺構出土の土器・石器・金属製品）は立川トマス（第1調査部第1調査課）が行った。
6. 金属製品の保存処理は田口尚（第1調査部第1調査課）が行った。またその一部（大刀など20点）を財団法人元興寺文化財研究所に委託した。
7. 炭化植物種子の同定は、札幌国際大学地域総合研究センター客員研究員の吉崎昌一氏・椿坂恭代氏に依頼した。
8. 赤色物質のX線回析分析、動物遺存体の同定はバリノ・サーヴェイ株式会社に依頼した。
9. 石器などの石材鑑定は、新家水奈が行った。
10. 調査にあたっては、下記の諸機関および人々のご協力、ご助言をいただいた（順不同、敬称略）。  
独立行政法人奈良文化財研究所 岡村道雄、北海道開拓記念館 山田悟郎・平川善祥・右代啓視・鈴木琢也、元北海道開拓の村 野村崇、恵庭市郷土資料館 上屋真一・松谷純一・森秀之・長町章弘・佐藤幾子、千歳市教育委員会 大谷敏三・田村俊之・豊田宏良・松田淳子、千歳サケのふるさと館 高橋理、北広島市教育委員会 遠藤龍敏、苫小牧市博物館・苫小牧市埋蔵文化財調査センター 赤石慎三、伊達市教育委員会 大島直行・青野友哉、礼文町教育委員会 藤澤隆史、帯広百年記念館 北沢実・山原敏朗、余市水産博物館 乾芳宏、沙流川歴史館 森岡健治・長田佳宏、静内町郷土館 戴中剛司・斎藤大朋、小樽市教育委員会 青木誠・石神敏、小樽市博物館 石川直章、釧路市埋蔵文化財調査センター 西幸隆、寿都町教育委員会 早瀬良樹、木古内町教育委員会 菅野文二、七飯町歴史館 山田央 知内町郷土資料館 高橋豊彦、札幌医科大学 乗安整而・松村博文、札幌国際大学 深澤百合子、札幌国際大学短期大学部 関口明、札幌大学 木村英明、北海道大学 菊池俊彦・天野哲也・小笠原正明・小野裕子、青森県埋蔵文化財調査センター 木村高・成田滋彦、青森県立郷土館 鈴木克彦、八戸市教育委員会 宇部則保・村木淳、八戸市博物館 佐々木浩一、水沢市埋蔵文化財調査センター 千田幸夫、青森市教育委員会 児玉大成、三戸町教育委員会 野田尚志 階上町教育委員会 森淳、軽米町教育委員会 藤田直行、

浪岡町史編纂室 工藤清泰、岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 女鹿潤哉・安藤由紀夫、盛岡市教育委員会 八木光則、滝沢村埋蔵文化財センター 井上雅孝、秋田県埋蔵文化財センター 小島朋夏・宇田川浩一、秋田市教育委員会 小松正夫・日野久、秋田県立博物館 庄内昭男、鷹巣町教育委員会 榎本剛治、石川県埋蔵文化財センター 小嶋芳孝、弘前大学 藤沼邦彦・関根達人、東北学院大学 辻秀人、東北大学 藤澤教、筑波大学 日高慎・斎藤瑞徳、岡山理科大学 富岡直人、早稲田大学 菊池徹夫、國學院大学 鈴木靖民、 宮宏明、朴澤正耕、佐藤矩康、坂野慧、田中信一

## 記号等の説明

1. 遺構は以下の記号によって表記し、原則として発掘調査順に番号を付した。  
X: 周溝のある墓 H: 住居跡 P: 土塋墓および土塋 TP: Tピット F: 焼土  
SP: 小ピット HP: 住居跡の付属ピット HF: 住居跡の付属焼土(炉跡)  
M: 盛土遺構
2. 遺構図にはグリッド線に従い、方位記号を付した。真北は南北方向の基線(Rライン)に対して東偏22度51分01秒である。レベルは標高(単位m)を示す。
3. 遺構の規模は、「確認面での長軸長×短軸長/床(塋底面)での長軸長×短軸長/確認面からの最大深」の順で記した。一部破壊されているものについては現存長を( )で、不明のものは(一)で示した。
4. 掲載した実測図等の縮尺は、原則的に以下のとおりとし、スケールを付した。また変則的なものについても随時スケールを入れている。  
遺構実測図 1:40 土器実測図 1:3 土器拓影図 1:3 剥片石器実測図 1:2  
礫・礫石器実測図 1:3 土・石製品・鉄製品実測図 1:2  
なお、写真図版では、土器破片・礫・礫石器は 1:3、剥片石器は 1:2 に統一している。
5. 出土遺物および分布図等で使用している表示記号は、基本的に土器○・P、石器●・S・Fで示しているが、図独自に用いるものについては、その都度説明表示している。
6. 土層の色調は、『新版標準土色帖』(小山・竹原1967)および『土壌調査ハンドブック』(ペドロジスト懇談会1984)を使用し、カラーチャートの番号を付しているものがある。
7. 土層の混合状態を表現するために、以下のように表記している。  
A+B: AとBが同量混じる。 A>B: AにBが少量混じる。  
A≫B: AにBが微量に混じる。 A≐B: AとBとはほぼ等しい。
8. 土倉の記述には、下記の記号・略称を用いた場合がある。  
Ta-a: 樽前a降下軽石堆積物  
Ta-c: 樽前c降下軽石堆積物

# 目 次

口絵（カラー写真）

例言

記号等の説明

挿図目次

表目次

写真図版

I 調査の概要	1
1. 調査要項	1
2. 調査体制	1
3. 調査に至る経緯	1
4. 調査結果の概要	4
II 遺跡の位置と環境	9
1. 遺跡の位置と環境	9
2. 周辺の遺跡	11
3. 北大Ⅲ式期の土壇墓と周溝のある墓	11
III 調査の方法	15
1. 調査区の設定	15
2. 調査の方法	15
3. 土層	17
4. 整理の方法	18
5. 保存処理	19
6. 遺物の分類	21
IV 平成12年度出土金属製品	25
1. 概要	25
2. 土壇墓出土の金属製品	26
V 平成13年度 遺構と遺物	83
1. 概要	83
2. 住居跡	84
3. 土壇	110
4. Tピット	201
5. 焼土	205
6. 小ピット	226
7. 一括出土遺物	288

VI 自然科学的手法による分析結果 .....	303
1. 西島松5遺跡出土金属製品の自然科学的分析 .....	303
2. 出土金属製品の木質・塗膜・繊維質の分析 .....	339
3. 西島松5遺跡から出土した炭化植物種子 .....	355
4. 西島松5遺跡の自然科学的分析 .....	361
I. 赤色物質のX線回折分析 .....	361
II. 骨の種類 .....	363
VII 成果と問題点 .....	377
1. 土壌墓出土の金属製品について .....	377
2. 土器について .....	385
まとめ .....	387
引用・参考文献 .....	389
写真図版	
報告書抄録	

# 挿 図 目 次

図Ⅰ-1	遺跡の位置	2	図Ⅳ-30	P28	43
図Ⅰ-2	平成13年度発掘調査区	3	図Ⅳ-31	P28出土の金属製品	43
図Ⅰ-3	遺構位置図と最終面地形測量図	5~6	図Ⅳ-32	P29	44
図Ⅱ-1	発掘調査区周辺の地形	9	図Ⅳ-33	P29出土の金属製品(1)	44
図Ⅱ-2	遺跡周辺の地形図	10	図Ⅳ-34	P29出土の金属製品(2)	45
図Ⅱ-3	西島松5遺跡と周辺の遺跡	12	図Ⅳ-35	P33	46
図Ⅱ-4	北大Ⅲ式期~推文前期の墓検出遺跡分布図	14	図Ⅳ-36	P33出土の金属製品	46
図Ⅲ-1	調査区(上図) グリット設定図とグリットの呼称(下図)	16	図Ⅳ-37	P68	47
図Ⅲ-2	基本土層模式図	17	図Ⅳ-38	P68出土の金属製品	47
図Ⅲ-3	金属製品の部分名称と計測項目	23	図Ⅳ-39	P73	47
図Ⅳ-1	金属製品出土の遺構位置図	25	図Ⅳ-40	P73出土の金属製品	47
図Ⅳ-2	P1	26	図Ⅳ-41	P75	48
図Ⅳ-3	P1出土の金属製品	26	図Ⅳ-42	P75出土の金属製品	48
図Ⅳ-4	P2	27	図Ⅳ-43	P83	49
図Ⅳ-5	P2出土の金属製品	27	図Ⅳ-44	P83出土の金属製品	49
図Ⅳ-6	P3	28	図Ⅳ-45	P84	50
図Ⅳ-7	P3出土の金属製品	28	図Ⅳ-46	P84出土の金属製品	50
図Ⅳ-8	P5	29	図Ⅳ-47	P85	51
図Ⅳ-9	P5出土の金属製品	29	図Ⅳ-48	P85出土の金属製品	51
図Ⅳ-10	P6	30	図Ⅳ-49	P89	51
図Ⅳ-11	P6出土の金属製品	30	図Ⅳ-50	P89出土の金属製品	52
図Ⅳ-12	P7	31	図Ⅳ-51	P94	52
図Ⅳ-13	P7出土の金属製品	32	図Ⅳ-52	P94出土の金属製品	53
図Ⅳ-14	P9	32	図Ⅳ-53	P97	53
図Ⅳ-15	P9出土の金属製品	33	図Ⅳ-54	P97出土の金属製品	54
図Ⅳ-16	P14	34	図Ⅳ-55	P102	54
図Ⅳ-17	P14出土の金属製品	35	図Ⅳ-56	P102出土の金属製品	55
図Ⅳ-18	P16	36	図Ⅳ-57	P103	56
図Ⅳ-19	P16出土の金属製品	37	図Ⅳ-58	P103出土の金属製品	56
図Ⅳ-20	P19	38	図Ⅳ-59	P111	57
図Ⅳ-21	P19出土の金属製品	38	図Ⅳ-60	P111出土の金属製品	57
図Ⅳ-22	P21	39	図Ⅳ-61	P117	58
図Ⅳ-23	P21出土の金属製品	39	図Ⅳ-62	P117出土の金属製品	58
図Ⅳ-24	P22	40	図Ⅳ-63	P120	59
図Ⅳ-25	P22出土の金属製品	40	図Ⅳ-64	P120出土の金属製品	59
図Ⅳ-26	P23	41	図Ⅳ-65	P121	60
図Ⅳ-27	P23出土の金属製品	41	図Ⅳ-66	P121出土の金属製品	60
図Ⅳ-28	P24	42	図Ⅳ-67	P125	61
図Ⅳ-29	P24出土の金属製品	42	図Ⅳ-68	P125出土の金属製品	62

図Ⅳ-69	P127	63	図Ⅴ-21	H17	101~102
図Ⅳ-70	P127出土の金属製品	63	図Ⅴ-22	H18	103
図Ⅳ-71	P129	64	図Ⅴ-23	H18出土の土器	104
図Ⅳ-72	P129出土の金属製品	65	図Ⅴ-24	H19	105
図Ⅳ-73	P130	66	図Ⅴ-25	H19出土の土器	106
図Ⅳ-74	P130出土の金属製品(1)	67	図Ⅴ-26	土壇の位置図	111~112
図Ⅳ-75	P130出土の金属製品(2)	68	図Ⅴ-27	土壇(1)	154
図Ⅳ-76	P130出土の金属製品(3)	69	図Ⅴ-28	土壇(2)	155
図Ⅳ-77	P130出土の金属製品(4)	70	図Ⅴ-29	土壇(3)	156
図Ⅳ-78	P143	71	図Ⅴ-30	土壇(4)	157
図Ⅳ-79	P143出土の金属製品	72	図Ⅴ-31	土壇(5)	158
図Ⅳ-80	P145	73	図Ⅴ-32	土壇(6)	159
図Ⅳ-81	P145出土の金属製品	73	図Ⅴ-33	土壇(7)	160
図Ⅳ-82	P146	73	図Ⅴ-34	土壇(8)	161
図Ⅳ-83	P146出土の金属製品	74	図Ⅴ-35	土壇(9)	162
図Ⅳ-84	P150	75	図Ⅴ-36	土壇(10)	163
図Ⅳ-85	P150出土の金属製品	75	図Ⅴ-37	土壇(11)	164
図Ⅳ-86	P203	76	図Ⅴ-38	土壇(12)	165
図Ⅳ-87	P203出土の金属製品	76	図Ⅴ-39	土壇(13)	166
図Ⅳ-88	P207	77	図Ⅴ-40	土壇(14)	167
図Ⅳ-89	P207出土の金属製品	77	図Ⅴ-41	土壇(15)	168
図Ⅴ-1	住居跡の位置図	83	図Ⅴ-42	土壇(16)	169
図Ⅴ-2	H11	84	図Ⅴ-43	土壇(17)	170
図Ⅴ-3	H11出土の土器	85	図Ⅴ-44	土壇(18)	171
図Ⅴ-4	H11出土の石器	85	図Ⅴ-45	土壇(19)	172
図Ⅴ-5	H12	86	図Ⅴ-46	土壇出土の土器(1)	173
図Ⅴ-6	H12出土の土器と土製品	87	図Ⅴ-47	土壇出土の土器(2)	174
図Ⅴ-7	H13出土の土器	88	図Ⅴ-48	土壇出土の土器(3)	175
図Ⅴ-8	H13出土の石器	88	図Ⅴ-49	土壇出土の土器(4)	176
図Ⅴ-9	H13	89~90	図Ⅴ-50	土壇出土の土器と土製品(5)	177
図Ⅴ-10	H14	91	図Ⅴ-51	土壇出土の土器と土製品(6)	178
図Ⅴ-11	H14出土の土器	92	図Ⅴ-52	土壇出土の土器と土製品(7)	179
図Ⅴ-12	H14出土の石器	92	図Ⅴ-53	土壇出土の土器(8)	180
図Ⅴ-13	H15	93	図Ⅴ-54	土壇出土の土器(9)	181
図Ⅴ-14	H15出土の土器と土製品	95	図Ⅴ-55	土壇出土の土器(10)	182
図Ⅴ-15	H15出土の石器	95	図Ⅴ-56	土壇出土の石器(1)	183
図Ⅴ-16	H16	97	図Ⅴ-57	土壇出土の石器(2)	184
図Ⅴ-17	H16出土の土器と土製品	98	図Ⅴ-58	土壇出土の石器(3)	185
図Ⅴ-18	H16出土の石器と土製品	99	図Ⅴ-59	Tピットの位置図	201
図Ⅴ-19	H17出土の土器	100	図Ⅴ-60	Tピット	202
図Ⅴ-20	H17出土の石器	100	図Ⅴ-61	Tピット出土の土器	203



図V-62	Tピット出土の石器	203	図V-84	小ピットの土層断面図(3)	265
図V-63	焼土の位置図	206	図V-85	小ピットの土層断面図(4)	266
図V-64	焼土(1)	211	図V-86	小ピットの土層断面図(5)	267
図V-65	焼土(2)	212	図V-87	小ピットの土層断面図(6)	268
図V-66	焼土(3)	213	図V-88	小ピットの土層断面図(7)	269
図V-67	焼土出土の土器と土製品(1)	214	図V-89	小ピットの土層断面図(8)	270
図V-68	焼土出土の土器と土製品(2)	215	図V-90	小ピットの土層断面図(9)	271
図V-69	焼土出土の土器と土製品(3)	216	図V-91	小ピットの土層断面図(10)	272
図V-70	焼土出土の土器と土製品(4)	217	図V-92	小ピットの土層断面図(11)	273
図V-71	焼土出土の石器	218	図V-93	小ピット出土の土器	274
図V-72	小ピットの位置図	225	図V-94	小ピット出土の石器	275
図V-73	小ピット(1)	253~254	図V-95	一括出土遺物の位置図	288
図V-74	小ピット(2)	255	図V-96	一括1	291
図V-75	小ピット(3)	256	図V-97	一括2	292
図V-76	小ピット(4)	257	図V-98	一括3	293
図V-77	小ピット(5)	258	図V-99	一括4	294
図V-78	小ピット(6)	259	図V-100	一括1 出土の土器と石製品	295
図V-79	小ピット(7)	260	図V-101	一括2 出土の土器(1)	296
図V-80	小ピット(8)	261	図V-102	一括2 出土の土器(2)	297
図V-81	小ピット(9)	262	図V-103	一括3 出土の土器	297
図V-82	小ピットの土層断面図(1)	263	図V-104	一括4 出土の土器と石器	298
図V-83	小ピットの土層断面図(2)	264	図V-105	一括5 出土の土器	299

## Ⅴ Ⅰ

図1	P11-4 小刀・刀子分析箇所	309	図19	P112-1 蕨手刀分析箇所	323
図2	P12-4 直刀分析箇所	309	図20	P112-1 蕨手刀(鞘木の木材組織)	324
図3	P11-3 直刀分析箇所	310	図21	P128-1 直刀分析箇所	325
図4	P11-3 直刀の漆膜断面(分析No.1)	310	図22	P128-1 直刀(布)	326
図5	P11-5 直刀分析箇所	311	図23	P128-1 直刀(布)	327
図6	P11-5 直刀の漆膜断面(分析No.1)	311	図24	P128-1 直刀(布と鞘木)	328
図7	P12-3 小刀・刀子分析箇所	312	図25	P131-1 直刀分析箇所	329
図8	P15-2 直刀分析箇所	313	図26	X6-1 直刀分析箇所	330
図9	P15-2 直刀(漆膜)	314	図27	X6-1 直刀の漆膜断面	330
図10	P15-2 直刀(布)	315	図28	P11-4 直刀鞘部分のXRFスペクトル(分析No.1)	331
図11	P15-2 直刀(布)	316	図29	P12-4 直刀鞘部分のXRFスペクトル(分析No.1)	332
図12	P98-1 直刀分析箇所	317	図30	P12-3 刀子鞘部分のXRFスペクトル(分析No.1)	333
図13	P96-4 直刀分析箇所	317	図31	P12-3-2 刀子鞘部分のXRFスペクトル(分析No.2)	334
図14	P96-4 直刀(漆膜と鮫皮?)	318	図32	P98-1 直刀首金具部分(鍔)のXRFスペクトル(分析No.2)	335
図15	P30-8 直刀・小刀・刀子分析箇所	319	図33	P131-1 直刀鞘部分のXRFスペクトル(分析No.1)	336
図16	P30-8-1 直刀(漆膜と布)	320	図34	P11-3 直刀鞘部分の塗膜の赤外線吸収スペクトル(分析No.1)	337
図17	P30-8-1 直刀の布(SEM像)	321	図35	P11-5 直刀鞘部分の塗膜の赤外線吸収スペクトル(分析No.1)	337
図18	P30-8-1 直刀(組織)	322	図36	P12-3-2 小刀・刀子鞘部分の塗膜の赤外線吸収スペクトル(分析No.1)	337

図37	P15-2-1 直刀柄部分の塗膜の赤外吸収スペクトル (分析No.2)	337
図38	P15-2-1 直刀柄部分の塗膜の赤外吸収スペクトル (分析No.2)	337
図39	P15-2 直刀柄部分の塗膜の赤外吸収スペクトル (分析No.4)	337
図40	P98-1 直刀柄部分の塗膜の赤外吸収スペクトル (分析No.1)	338
図41	P96-4 直刀柄部分の塗膜の赤外吸収スペクトル (分析No.1)	338

## Ⅴ章 2

図1-1	P3-1小刀・刀子の外観・資料採取箇所	347
図1-2	P3-1-aの繊維断面	347
図2-1	P7-1小刀・刀子の外観・資料採取箇所	347
図2-2	P7-1-aの塗膜状破片断面	347
図2-3	P7-1-bの塗膜状破片断面	347
図2-4	P7-1-aの赤外吸収スペクトル	347
図2-5	P7-1-bの赤外吸収スペクトル	347
図3-1	P7-2小刀・刀子の外観・試料採取箇所	347
図3-2	P7-2-bの布破片断面	347
図3-3	P7-2-aの塗膜状破片断面	347
図3-4	P7-2-aの赤外吸収スペクトル	348
図3-5	P7-2-aの繊維断面	348
図4-1	P15-1小刀・刀子の外観・資材採取箇所	348
図4-2	P15-1-aの赤外吸収スペクトル	348
図4-3	P15-1-aの塗膜状破片断面	348
図5-1	P16-4-aの鉄環の外観	348
図5-2	P16-4-a布破片断面	348
図5-3	P16-4-aの繊維断面	348
図6-1	P16-3鉄斧の外観	349
図6-2	P16-13-aの布破片	349
図6-3	P16-13-bの布破片	349
図6-4	P16-13-aの糸断面	349
図6-5	P16-13-aの繊維断面	349
図6-6	P16-13-bの布断面	349
図6-7	P16-13-bの繊維断面	349
図7-1	P29-1小刀・刀子の外観・資料採取箇所	350
図7-2	P29-1-bの塗膜状破片断面	350
図7-3	P29-1-aの布破片断面	350
図7-4	P29-1-bの赤外吸収スペクトル	350
図7-5	P29-1-aの繊維断面	350
図8-1	P97-1小刀・刀子の外観	350
図8-2	P97-1-aの塗膜状破片断面	350
図8-3	P97-1-aの赤外吸収スペクトル	350

## Ⅴ章 4

図1	赤色顔料のX線回折結果	362
----	-------------	-----

図42	P30-8-1 直刀柄部分の塗膜の赤外吸収スペクトル (分析No.1)	338
図43	P30の8-2 小刀・刀子の塗膜の赤外吸収スペクトル (分析No.1)	338
図44	P128-1 直刀柄部分の塗膜の赤外吸収スペクトル (分析No.1)	338
図45	X6-1 直刀柄部分の塗膜の赤外吸収スペクトル (分析No.1)	338

図9-1	P97未掲載製品の 外観	351
図9-2	P97-X-aの布破片断面	351
図10-1	P97-2小刀・刀子の外観	351
図10-2	P97-2-aの塗膜状破片断面	351
図10-3	P97-2-aの赤外吸収スペクトル	351
図11-1	P98-4小刀・刀子の外観	351
図11-2	P98-4-aの塗膜状破片断面	351
図11-3	P98-4-aの赤外吸収スペクトル	351
図12-1	P101-15鎌子の外観	351
図12-2	P101-15-aの布破片断面	351
図13-1	P101-3鉄鎌の外観	352
図13-2	P101-3-aの塗膜状破片断面	352
図13-3	P101-3-aの赤外吸収スペクトル	352
図14-1	P102-2, 6-a鉄鎌の外観	352
図14-2	P102-2, 6-aの塗膜状破片断面	352
図14-3	P102-2, 6-aの赤外吸収スペクトル	352
図15-1	P125-5小刀・刀子の外観	352
図15-2	P125-5-aの塗膜状破片断面	352
図15-3	P125-5-aの赤外吸収スペクトル	352
図16-1	P125-6小刀・刀子の外観	353
図16-2	P125-6-aの塗膜状破片断面	353
図16-3	P125-6-aの赤外吸収スペクトル	353
図17-1	P130-3小刀・刀子の外観・資料採取箇所	353
図17-2	P130-3-aの柄部分の樹皮巻き断面	353
図18-1	P130-7小刀・刀子の外観	353
図18-2	P130-7-aの柄巻き破片断面	353
図18-3	P130-7-aの赤外吸収スペクトル	353
図19-1	P146-2鎌の外観	354
図19-2	P146-2-aの糸?の破片断面	354
図19-3	P146-2-aの繊維断面	354
図20-1	P150-1小刀・刀子の外観	354
図20-2	P150-1-aの柄部分の樹皮状破片断面	354

図Ⅷ-1 土墳嘉出土遺物一覧(1) .....	378	図Ⅷ-5 土墳嘉出土遺物一覧(5) .....	382
図Ⅷ-2 土墳嘉出土遺物一覧(2) .....	379	図Ⅷ-6 土墳嘉出土遺物一覧(6) .....	383
図Ⅷ-3 土墳嘉出土遺物一覧(3) .....	380	図Ⅷ-7 土墳嘉出土遺物一覧(7) .....	384
図Ⅷ-4 土墳嘉出土遺物一覧(4) .....	381		

## 表 目 次

表Ⅰ-1 平成13年度遺構一覧(本報告書分) .....	7	表Ⅴ-6 土墳掲載石器一覧 .....	191
表Ⅰ-2 平成13年度出土遺物(遺構) 一覧 土器など(本報告書分) .....	8	表Ⅴ-7 遺構別(土墳)出土土器・土製品一覧 .....	192
表Ⅰ-3 平成13年度出土遺物(遺構) 一覧 石器など(本報告書分) .....	8	表Ⅴ-8 遺構別(土墳)出土石器・石製品など一覧 .....	197
表Ⅰ-4 平成13年度出土遺物一覧(本報告書分) .....	8	表Ⅴ-9 Tピット掲載土器一覧 .....	204
表Ⅰ-5 平成12年度出土遺物(遺構)一覧金属製品 .....	8	表Ⅴ-10 Tピット掲載石器一覧 .....	204
表Ⅰ-6 平成12年度出土遺物(包含層)一覧金属製品 .....	8	表Ⅴ-11 遺構別(Tピット)出土土器一覧 .....	204
表Ⅱ-1 周辺遺跡一覧 .....	13	表Ⅴ-12 遺構別(Tピット)出土石器など一覧 .....	204
表Ⅱ-2 北大Ⅲ式期～後文前期の嘉検出遺跡一覧 .....	14	表Ⅴ-13 焼土一覧 .....	209
表Ⅳ-1 土墳嘉掲載直刀・小刀・刀子一覧 .....	78	表Ⅴ-14 焼土掲載土器・土製品一覧 .....	219
表Ⅳ-2 土墳嘉掲載鉄斧一覧 .....	79	表Ⅴ-15 焼土掲載石器一覧 .....	221
表Ⅳ-3 土墳嘉掲載鉄鏃一覧 .....	80	表Ⅴ-16 遺構別(焼土)出土土器・土製品一覧 .....	222
表Ⅳ-4 土墳嘉掲載鎌一覧 .....	80	表Ⅴ-17 遺構別(焼土)出土石器・石製品など一覧 .....	223
表Ⅳ-5 土墳嘉掲載金属製品一覧 .....	80	表Ⅴ-18 小ピット一覧 .....	227
表Ⅳ-6 遺構・包含層出土金属製品一覧 .....	81	表Ⅴ-19 小ピット掲載土器一覧 .....	275
表Ⅴ-1 住居跡掲載土器・土製品一覧 .....	106	表Ⅴ-20 小ピット掲載石器一覧 .....	275
表Ⅴ-2 住居跡掲載石器・石製品一覧 .....	107	表Ⅴ-21 遺構別(小ピット)出土土器一覧 .....	276
表Ⅴ-3 遺構別(住居跡)出土土器・土製品一覧 .....	108	表Ⅴ-22 遺構別(小ピット)出土石器など一覧 .....	285
表Ⅴ-4 遺構別(住居跡)出土石器・石製品など一覧 .....	109	表Ⅴ-23 一括出土遺物掲載土器一覧 .....	300
表Ⅴ-5 土墳掲載土器・土製品一覧 .....	186	表Ⅴ-24 一括出土遺物掲載石器・石製品一覧 .....	300

### Ⅳ章 1

表1 分析対象遺物と分析内容 .....	303
----------------------	-----

### Ⅳ章 2

表1 分析対象遺物と分析内容一覧 .....	339
------------------------	-----

### Ⅳ章 3

表1 西島松5遺跡炭化種子出土表 .....	358
------------------------	-----

### Ⅳ章 4

表1 分析試料一覧 .....	361
-----------------	-----

表2 出土分類群一覧 .....	364
------------------	-----

表3 骨類同定結果 .....	365
-----------------	-----

表2 繊維断面組織の分類 .....	340
--------------------	-----

表4 サケ科部位別数量 .....	371
-------------------	-----

表5 ニホンジカ部位別数量 .....	372
---------------------	-----

表6 イノシシ部位別数量 .....	374
--------------------	-----

## 写 真 図 版

図版1 完掘風景 .....	393
----------------	-----

図版2 遺構検出・作業風景 .....	394
---------------------	-----

図版3 住居跡の調査(1) H11・12 .....	395
----------------------------	-----

図版42 遺構出土の石器(2) 土壇出土石器(2) .....	434
---------------------------------	-----

図版43 遺構出土の石器(3) 土壇出土石器(3) .....	435
---------------------------------	-----

図版44 遺構出土の土器(7) 焼土出土石器(1) .....	436
---------------------------------	-----



# I 調査の概要

## 1. 調査要項

事業名：柏木川河川改修工事に伴う発掘調査  
 委託者：北海道札幌土木現業所  
 受託者：財団法人 北海道埋蔵文化財センター  
 遺跡名：西島松5遺跡（北海道教育委員会登録番号 A-04-38）  
 所在地：恵庭市西島松543、544-1～3、546-1・2  
 調査面積：3,123㎡  
 調査期間：平成13年4月1日～平成14年3月29日（現地調査 5月7日～10月31日）  
 整理期間：平成13年11月1日～平成15年3月29日

## 2. 調査体制

平成12年度

理事長 大澤 満	第2調査部長 鬼柳 彰
専務理事 宮崎 勝	第2調査課長 高橋和樹（発掘担当者）（平成12年6月27日まで）
常務理事 木村尚俊	主 査 和泉田毅（発掘担当者）
	主 任 中山昭大（平成12年6月26日から）
	主 任 末光正卓（平成12年6月23日まで）
	文化財保護主事 石井淳平（平成12年6月26日から）

平成13年度

理事長 大澤 満	第2調査部長 大沼忠春（第1調査部長兼務）
専務理事 宮崎 勝	第2調査課長 佐藤和雄
常務理事 木村尚俊（第1調査部長兼務）	主 査 和泉田毅（発掘担当者）
平成13年7月16日まで）	主 任 新家水奈
	主 任 佐藤 剛
	文化財保護主事 石井淳平

平成14年度

理事長 大澤 満（平成14年6月30日まで）	第2調査部長 西田 茂
理事長 森重権一（平成14年7月1日から）	第1調査課長 佐藤和雄
専務理事 宮崎 勝	主 任 土肥研晶
常務理事 畑 宏明（第1調査部長兼務）	主 任 佐藤 剛
平成14年7月1日から）	文化財保護主事 石井淳平
	主 査 和泉田毅（第2調査課）

## 3. 調査に至る経緯

恵庭市内を流れる柏木川は、陸上自衛隊島松演習場に源を発し、石狩川に流入する長さ約11kmの小河川である。この流域には多くの遺跡が点在し、恵庭市内で最も遺跡分布密度の濃いところである。ところで、石狩川本流およびそこに流入する小河川流域は過去に幾度となく洪水に見舞われてきた。

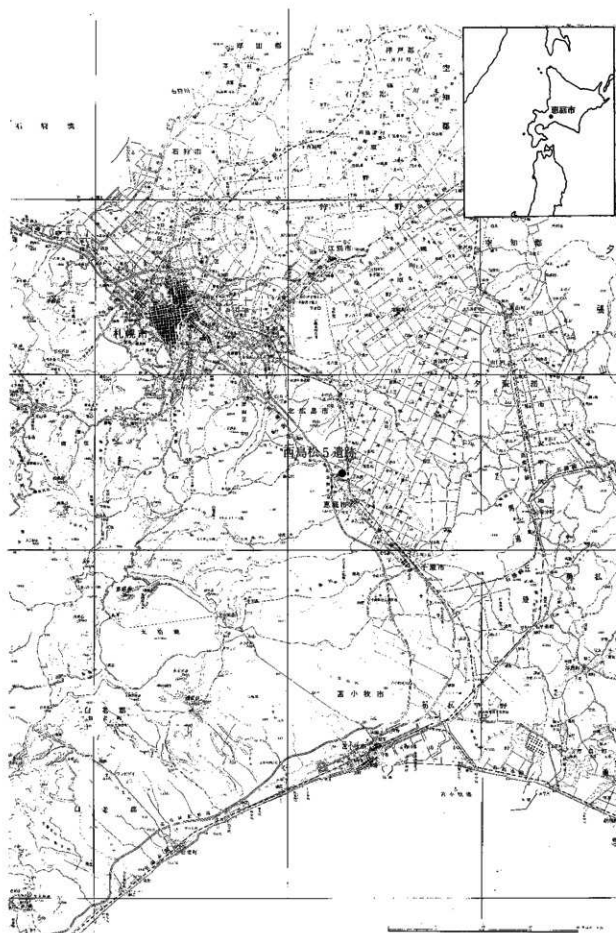
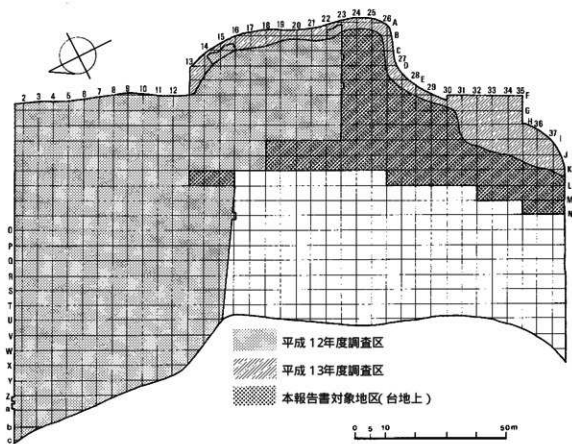


図1-1 遺跡位置 (国土地理院発行20万分の1地形図「札幌」・「昭小牧」を使用している)

柏木川もその例外ではなく、特にその下流の左岸一体は度々洪水被害をこうむってきた。このため、昭和58（1983）年、柏木川改修計画が策定された。昭和61（1986）年から現河川拡幅の改修工事が実施され、下流域から上流側（市道西六線～道道江別・恵庭大通付近）へ進められてきた。その後平成7年（1995）年、柏木川改修の延長と遊水地が計画され、平成9年（1997年）4月、柏木川改修計画増の区間（道道江別・恵庭線～道央自動車道）と第1・第2遊水地建設が決定された。工事主体である北海道札幌土木現業所から北海道教育委員会に第2遊水地について埋蔵文化財保護のための事前協議書が提出され、北海道教育委員会は平成10（1998）年10月、第2遊水地建設予定地内に含まれる西島松5遺跡の遺跡範囲確認調査を実施した。西島松5遺跡は、昭和39（1964）年、大場利夫・石川徹氏等によって西島松南D遺跡A地点、第1・第2地点として狭小範囲ではあるがその一部分が調査され、縄文時代後期～同晩期を主体とする遺物や擦文時代の住居跡などが発掘されており、北海道教育委員会による遺跡範囲確認調査によっても、縄文時代前期～統縄文時代の遺物・遺構が発見された。この結果を受けて関係者による協議が行われ、工事の性格上計画変更は極めて困難であることから、記録保存のための発掘調査を平成12年5月より当センターで実施することとなった。平成12年度発掘調査では、縄文時代中期～擦文時代の遺構が1,454カ所検出され、遺物が約276,700点出土した。なかでも統縄文時代～擦文時代の「周溝のある墓」や「土壇墓」が94基検出され、また大刀、刀子などの金属製品が277点出土し、大きな注目を集めた。更に発掘調査区外である東～南東側の斜面から斜面下にかけて遺物が出土し、土層の堆積状態などから遺跡範囲が広がることが予想された。このため北海道札幌土木現業所と北海道教育委員会の協議にもとづき、平成12年10月、北海道教育委員会によって試掘調査



図I-2 平成13年度発掘調査区

が実施された。この結果、斜面～斜面下と低地部の一部(約535m)に遺跡範囲が広がることが確認され、平成13年度の発掘調査範囲に組み込まれることになった。平成13年度当初発掘調査面積は、台地上、斜面～斜面下、低地部を含め4,800㎡である。また平成13年度には本遺跡の南西約400m、柏木川右岸にある西島松9遺跡も河川改修工事に伴い当センターによって発掘調査が実施され、平成14年度に報告書が刊行されている。

昭和61年から柏木川改修工事に伴い、恵庭市教育委員会によって、中島松1・4・5A・6・7遺跡、南島松2・3・4遺跡、西島松14・15・15B地点・17・18遺跡、仲町遺跡、柏木川13遺跡の発掘調査が行われ、報告書が刊行されている。

#### 4. 調査結果の概要

平成13年度調査面積は、平成12年度の試掘調査によって調査範囲が広がった部分(調査区の東～南側の斜面～斜面下低地部と南西側の低地部)も含めて、4,800㎡を予定していた。ところが南西側の斜面で盛土遺構が発見され、そこに大量の遺物が含まれていることが判明した。このため北海道教育委員会と北海道札幌土木現業所とで今後の調査の進行計画について協議が行われた。この結果、次年度以降の工事計画に支障をきたさないよう配慮し、予定調査面積を変更し、盛土遺構等の調査を優先することとなった。このような事情により、最終調査面積は、当初計画の約65%にあたる3,123㎡となった。

西島松5遺跡は、ほぼ南西→北東に流れる柏木川とその支流キトウシュメンナイ川に挟まれた低い台地上に立地している。調査区は標高約26m付近の平坦地と、その東～南～南西側に広がる斜面および標高24m付近の低地部分である。調査区の多くは畑地として利用されていたため、耕作の攪乱を受け、また斜面下の低地部は水田耕作や柏木川の氾濫を受け、宅地部分を除き遺跡の保存状態はあまり良くなかった。

遺構は、ほぼ調査区全体に広がっている。南西側低地部や西側平坦地でも検出されているが、大半は中央部付近に集中している。縄文～擦文時代の土壌2基以外はすべて縄文時代の遺構である。

遺物は、縄文時代早期～縄文時代の土器、石器などや土・石製品が出土している。

遺構は、住居跡9軒、土壌110基(115基)、Tピット2基、焼土94ヵ所(101ヵ所)、小ピット1,499個、一括出土遺物5ヵ所など(盛土遺構3ヵ所)が検出された(カッコ内の数字は、平成13年度調査により検出された全遺構数である)。

住居跡は、縄文時早期のもの3軒(H17・18・19)、縄文時代前期のもの2軒(H13・16)、縄文時代中期のもの1軒(H12)、縄文時代後期のもの2軒(H11・14)、縄文時代中期～後期のもの1軒(H15)が検出された。時期による分布域の違いは見られない。H17は、長径が約10mをこえる大型のものである。また壁際には浅い溝状の周溝がめぐっている。周溝内にはほぼ等間隔で小ピットがあることから見て、壁防護様施設が設けられていたものと思われる。H14は2本柱、H12・H16は4本柱、H13は6本柱の住居跡と思われる。

土壌は、110基検出され、ほぼ調査区全体に分布しているが、中央部付近に大半が集中している。縄文～擦文時代の可能性のある2基(P297、P320)以外はすべて縄文時代の土壌である。このうち土壌墓は59基で、縄文時代後期のもの46基、縄文時代晩期のもの9基などである。土壌は51基で、時期不明のものが多い。時期が推定できたものでは縄文時代後期のもの19基、縄文時代晩期のもの1基が検出されている。土壌、土壌墓とも、平面形は円形、楕円形、隅丸長方形の、掘り込みの浅いものが多い。遺物の出土状況、覆土の堆積状況(埋め戻しの状況)などから土壌墓を認定した。土壌の性格・



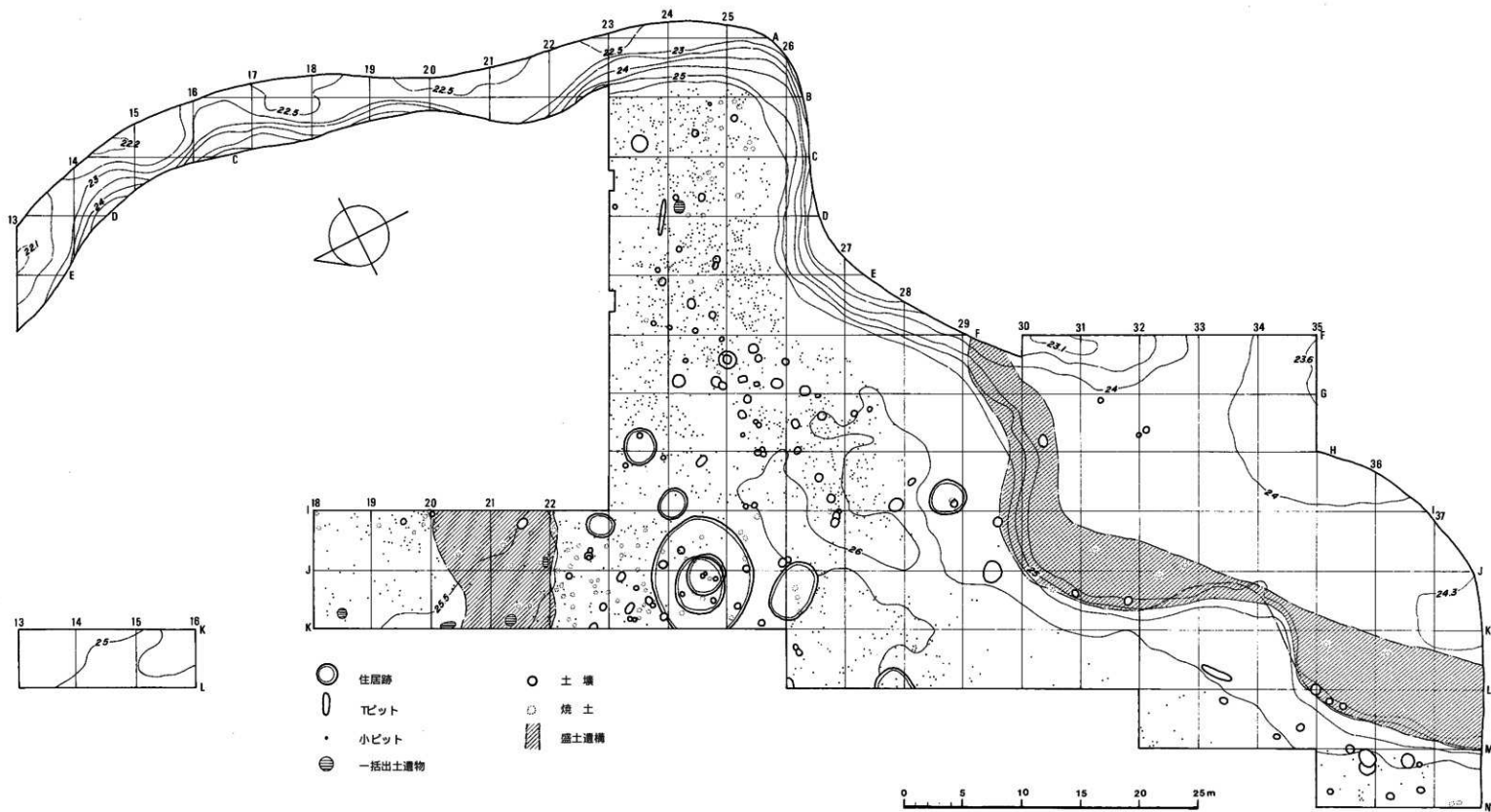


図 3 遺構位置図と最終面地形測量図

用途などは不明である。

Tピットは、昨年度の調査で検出されたものと同様の規模・形状を有するものが2基検出された。TP9は長軸方向北西-南東で、等高線にほぼ直交する。TP10は長軸方向がほぼ東西方向で、等高線に平行する。時期は不明である。

焼土は、調査区の中央部付近に多く分布し、とくに中央部北側に集中している。検出面や出土遺物などから見て、大半が縄文時代後期に属するものである。

小ピットは台地上に広く分布している。1,499個検出された。直径10~20cm、深さ10~50cm程度のもので多く、住居や建物を構成する柱穴と思われるが、一部の例外を除き、組み合わせは確認できなかった。ほとんどの柱穴は掘り方を有するが、まれに打ち込まれた杭状の柱穴もある。出土遺物などから見て、小ピットの多くは縄文時代後期~晩期に属するものと考えられる。

一括出土遺物は、5ヵ所で検出された。調査区の東側で1ヵ所（一括1）、北側で4ヵ所（一括2・3・4・5）あり、一括1・5は一時的な生活面でのもの、一括4は土壌に伴うものと思われるが、一括2・3は風倒木痕により動かされたものと思われる。

遺物は、土器、石器、土・石製品などが出土しており、その総点数35,049点である。この内訳は土器・土製品26,826点。石器・石製品など8,223点である。この他に獣・魚骨の骨片、炭化種子などの自然遺物なども出土している。

土器は、縄文時代早期~晩期、続縄文時代のもので出土しているが、なかでも縄文時代後期の堂林式、三谷式、御殿山式、縄文時代晩期の大洞BC式平行のもので多く出土している。

石器は、石鏃、石槍、石錐、つまみ付きナイフ、スクレイパー、石斧、すり石、たたき石、石皿などが出土している。なかでも石鏃が180点と他に比して出土点数が多い。またフレイクや礫・礫片が多く、約94%を占めている。

平成13年度調査では、予想をこえる多量の遺物が出土した。とくに盛土遺構からは約263,000点という多くの遺物が出土したため、報告を二回に分けて行うこととなった。本報告書では台地上の遺構とその出土遺物を取扱い、斜面~斜面下低地部、盛土遺構とそれに続く低地部および包含層出土の遺物については次年度以降に報告する予定である。

表I-1 平成13年度遺構一覧（本報告書分）

遺 構	縄文時代	続縄文時代	縄文時代					縄文時代	計	
			晩期	後期	中期	前期	早期			
住居跡(軒)				2	1		2	3	1	9
土壇墓(基)	1		9	46	1				2	59
土 壇(基)		1(?)	1	19					30	51
Tピット(基)									2	2
焼 土(カ所)				84			1		9	94
小ピット(個)								1,499	1,499	
一括出土遺物(カ所)				2			2	1		5
計	1	1	10	153	2	4	5	1,543	1,719	

表I-2 平成13年度出土遺物(遺構)一覧 土器など(本報告書分)

	Ia	Ib-3	Ib-4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVc-1	IVc-2	Vb	Vc	VI	土製品	総計
住居跡	1	209	23	278	1	179	4		934	4,814	11	11	23	11	6,499
土 壙		81	28	56	1	246	115		661	7,314	386	8	16	10	8,922
Tピット				2		9	3		2	33					49
焼 土		13	4	9		175	1	5	695	7,912	5	2	10	50	8,881
小ピット		4	4	4		29	10	1,029	162	212	14		5		1,473
一 括			11	740		4			111	136					1,002
計	1	307	70	1,089	2	642	133	1,034	2,565	20,421	416	21	54	71	26,826

表I-3 平成13年度出土遺物(遺構)一覧 石器など(本報告書分)

	石鏃	透眼 計付	石鏃	透眼 計付	スクレイパー	I フリテ	II フリテ	フリテ ナシ	小計	石斧	すり石	たまた ら	石 臼	砥石	磨 石	石鉄	原石	小計	石製品	合計
住居跡	49	2	8	6	18	5	11	824	923	6	5	5	1	7	12		2	38	2	963
土 壙	58	2	7	10	49	11	19	1,333	1,489	18	9	3	6	8	31		2	77	18	1,584
Tピット								19	19	1	1					3			5	24
焼 土	65		9	2	24	1	3	5,262	5,366	3	2			1	4		3	13	1	5,380
小ピット	7		1	2	5		3	178	196	2	4	1		2	7		3	19		215
一 括	1				2		2	10	15	2			12	1	20	5		40	2	57
合計	180	4	25	20	98	17	38	7,636	8,008	30	23	9	19	19	77	5	10	192	23	8,223

表I-4 平成13年度出土遺物(遺構)一覧(本報告書分)

	土器など	石器など	計
遺 構	26,826	8,223	35,049

表I-5 平成12年度出土遺物(遺構)一覧 金属製品

	直刀	小刀・ 刀子	鉄斧	鎌	鉄鏃	釣針	環	その他の 鉄製品	合計
土壙墓	14	77	12	6	25	4	8	58	206
周溝のある墓	1	1						2	4
計	15	78	12	6	25	4	8	60	210

表I-6 平成12年度出土遺物(包含層)一覧 金属製品

	直刀	小刀・ 刀子	鉄斧	鎌	鉄鏃	罌子	釣針	環	その他の 鉄製品	合計
包含層									67	67
計									67	67

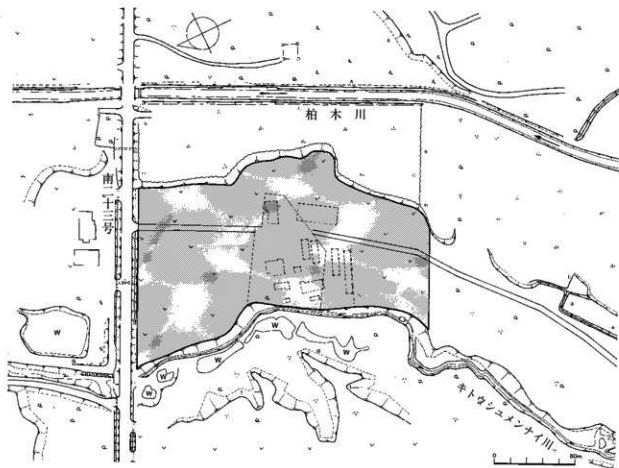
## II 遺跡の位置と環境

### 1. 遺跡の位置と環境

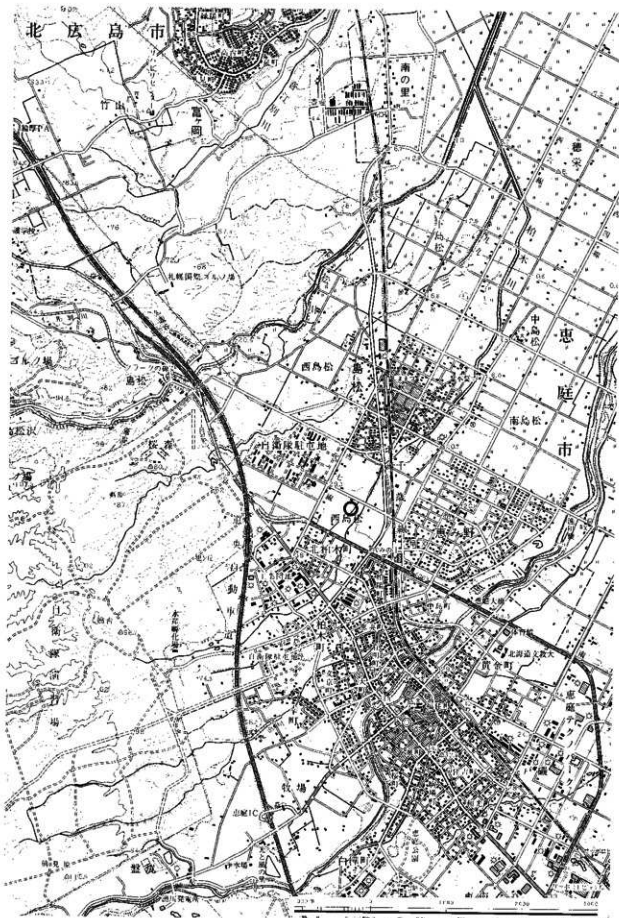
西島松5遺跡は恵庭市の西側、JR恵み野駅から北西約800mのところと位置する。南東側を柏木川、北西側を柏木川の支流であるキトウシュメンナイ川が流れ、当遺跡はこの二つの小河川に挟まれた標高約25mの低い台地上に立地する。柏木川とキトウシュメンナイ川は本遺跡より500mほど下流で柏木川に合流する。また、キトウシュメンナイ川は西島松5遺跡より500～600m上流に源流をもち、遺跡周辺でも川底から水が湧いているのが確認できる。柏木川に面する側の台地の縁は急激に落ち込んでおり、平野部における流路の変遷の様子が窺える。

柏木川のアイヌ語名はベケレベツ (Pekere pet) といい、「木立のない草だけの場所、見晴らしのよい川」の意である。一方、キトウシュメンナイ (Kitu ushi mem nay) は「森のたくさんみられる泉のある沢」の意とされ、当遺跡は、水場近くの木立の低い、比較的開けた土地につくられたものと思われる。先述したように現在でも遺跡付近の川底からは水がわき出しており、こうした状況を「メム」と表現したものと思われる。その意味で遺跡周辺の環境は、この小河川が命名された当時の面影を残しているといえる。

(石井淳平)



図II-1 発掘調査区周辺の地形



図Ⅱ-2 遺跡周辺の地形図 (国土地理院発行5万分の1地形図「恵庭」を  
使用している。○は西島松5遺跡)

## 2. 周辺の遺跡

恵庭市の遺跡は、茂漁川、柏木川、ルルマップ川とそれぞれに付随する小河川沿いに多く分布し、特に柏木川沿いには市内の遺跡の約半数が確認されている。柏木川11遺跡では東銅路Ⅱ式の土器が出土している。

縄文時代前期の遺物は西島松1遺跡で表面採集された静内中野式がある。

1962～1964年に行われた西島松南B遺跡、西島松D遺跡はそれぞれ西島松3遺跡、西島松5遺跡に相当し、北筒式の土器罫い炉をもつ住居跡1軒、擦文時代の竪穴住居2軒が検出されている。遺物は縄文時代後期から晩期が大半を占め、ほぼ完形の後北式土器も2個体出土している。また柏木川11遺跡では縄文時代後期後葉の住居跡が見つかった。柏木川11遺跡から国道を挟んで反対側に位置する西島松2遺跡を踏査したところ、縄文時代後期から晩期にかけての土器片を多量に採集することができた。若干の時間幅はあるものの、柏木川に沿って縄文時代後期後葉の遺跡が広がっていたようである。その他、柏木川流域では上流から柏木川1遺跡、柏木川13遺跡、島松旭町2遺跡、南島松4遺跡などが縄文時代後期の遺跡としてあげられる。

柏木川流域以外では、比較的近い茂漁川沿いに柏木B遺跡、柏木東遺跡、柏木A遺跡、茂漁1遺跡、茂漁5遺跡、茂漁6遺跡などが分布する(図Ⅱ-3、表Ⅱ-1)。他の時代の遺跡も縄文時代早期から擦文時代まで比較的多くの遺跡が立地している。  
(石井淳平)

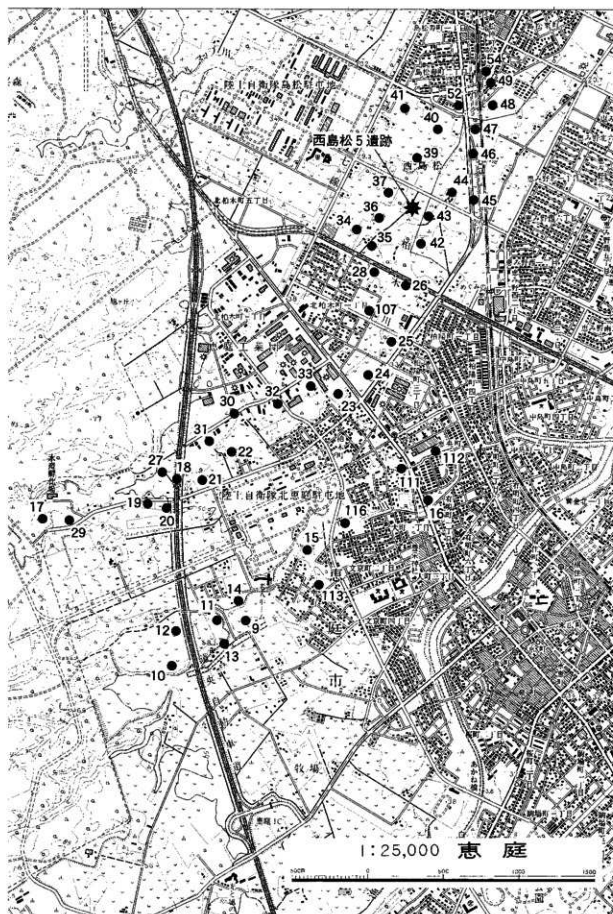
## 3. 北大Ⅲ式期の土壌墓と周溝のある墓

袋状ピットや墳底に小ピットをもつ北大Ⅲ式期の土壌墓は余市から千歳にかけての石狩低地帯に分布し、西島松5遺跡周辺ではユカンボシE5遺跡やE7遺跡、柏木川1遺跡などで見ついている。

本遺跡付近は石狩低地帯の中でも特に密集しており(図Ⅱ-4)、この地域が北大Ⅲ式期における一つの中心的な役割を果たしていたようである。また、この時期見ついている遺構の多くは墓であり、住居跡の検出例はきわめて少ない。西島松5遺跡でも土壌墓を残した人々の集落などは見つっていない。

周溝のある墓は、従来「北海道式古墳」と呼ばれていたものも含めると、これまでに江別市の町村農場1遺跡、後藤遺跡、恵庭市柏木東遺跡(茂漁古墳群)、千歳市ユカンボシC15遺跡の4遺跡で見ついている。これらは「古墳」の名称から明らかなように墳丘をもつものが普通であるが、ユカンボシC15遺跡で検出された「周溝のある墓」は墳丘をもたないことが確認されている。本遺跡で検出した「周溝のある墓」も墳丘は確認できていないが、耕作による削平のため、本来の姿は不明である。

北海道式古墳や「周溝のある墓」は8世紀から9世紀にかけて営まれたと考えられており、時期的には袋状ピットをもつ土壌墓に後続するようである。  
(石井淳平)

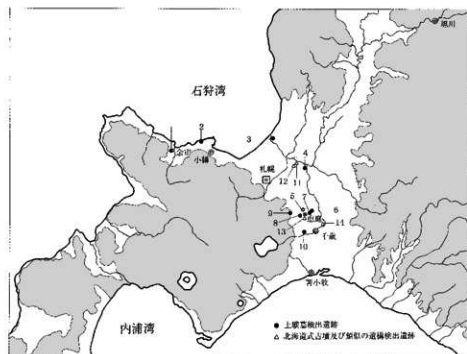


図Ⅱ-3 西島松5遺跡と周辺の遺跡

表Ⅱ-1 周辺遺跡一覧(恵庭市 A-04)

番号	遺跡	性格	時期	文献(複数ある場合は新しいもの)
9	柏木A	遺物包含地	推文	
10	柏木B	住居跡、墳墓	縄文(早～晩)、統縄(北大)	1981『北海道恵庭市 柏木B遺跡発掘調査報告書』
11	柏木C	遺物包含地		
12	柏木沢	遺物包含地	縄文(晩期)	
13	茂漁チャシ	チャシ跡	アイヌ	
14	柏木東(茂漁古墳群)	墳墓	推文	1966『恵庭遺跡』
15	茂漁1	遺物包含地	縄文(晩期)、統縄(後北)、推文(北大)	1979『統千歳遺跡』
16	茂漁2	遺物包含地	推文	
17	柏木水源池	墳墓	縄文(中・後期)、統縄、推文	
18	柏木川1	住居跡、墳墓	縄文(中・晩期)、推文	1971『柏木川』
19	柏木川2	遺物包含地	縄文(中・後期)	
20	柏木川3	遺物包含地	縄文(中・後期)	
21	柏木川4	遺物包含地	縄文(後期)	
22	柏木川5	遺物包含地	縄文(早・中・後期)	
23	柏木川6	遺物包含地		
24	柏木川7	住居跡	縄文(早・前・中期)	
25	柏木川8	住居跡、墳墓	縄文(中期)	1988『「柏木川8遺跡」「柏木川13遺跡」』
26	柏木川9	遺物包含地	縄文(中期)	
27	柏木川10	遺物包含地	縄文(中期)	
28	柏木川11	住居跡、墳墓	縄文(後期)	1955『柏木川11遺跡(Ⅱ)』
29	柏木川12	遺物包含地		
30	柏木工業団地1	住居跡	縄文(中・後・晩期)	
31	柏木工業団地2	住居跡	縄文(後期)、統縄、推文	
32	柏木工業団地3	住居跡		
33	柏木工業団地4	遺物包含地		
34	西島松1	遺物包含地	縄文(前期)	
35	西島松2	遺物包含地	縄文(後期)	
36	西島松3	住居跡	縄文(前～晩期)、推文	1966『恵庭遺跡』
37	西島松4	遺物包含地	縄文(後期)	
38	西島松5	住居跡		1966『恵庭遺跡』
39	西島松6	遺物包含地	縄文(前～後期)、推文	
40	西島松7	遺物包含地	縄文(早・中・後期)、推文	
41	西島松8	遺物包含地		
42	西島松9	遺物包含地		
43	西島松10	住居跡	縄文(晩期)、推文	
44	西島松11	遺物包含地		
45	西島松12	遺物包含地	縄文(中期)	
46	西島松13	遺物包含地	縄文	
47	西島松14	遺物包含地	縄文(中・後・晩期)	1993『「西島松14遺跡」「西島松15遺跡」』
48	西島松15	遺物包含地	縄文(中期)	1994『「西島松14遺跡」「西島松15遺跡B地点」』
49	西島松16	遺物包含地	推文	
52	島松寺町1	遺物包含地	縄文(後期)	
53	島松寺町2	遺物包含地	縄文(後・晩期)、推文	1966『恵庭遺跡』
54	島松神町	遺物包含地	縄文(早・中・後期)	1994『「島松神町遺跡」「西島松15遺跡B地点」』
107	柏木川13	住居跡	縄文(中期)、推文	
111	茂漁3	住居跡	取(沖)、取(中)、取(下)、取(湖)	
112	茂漁4	住居跡	取(沖)、取(中)、取(下)、取(湖)	1977『茂漁4遺跡』
113	茂漁5	遺物包含層	推文(北大目)	1997『茂漁5遺跡』
116	茂漁6	遺物包含層	統縄文・アイヌ	





図I-4 北大Ⅲ式期～擦文前期の墓検出遺跡分布図

表I-2 北大Ⅲ式期～擦文前期の墓検出遺跡一覧

番号	遺跡名	所在地	概要
1	天内山遺跡	余市町	北大Ⅲ式期の土壇墓7基
2	蘭島遺跡	小樽市	北大Ⅲ式期の土壇墓18基
3	ワッカオイ遺跡	石狩市	後北C2-D式の土壇墓13基、北大Ⅲ式期の土壇墓4基
4	萩ヶ岡遺跡	江別市	北大Ⅲ式期の土壇墓1基
5	西島松5遺跡	恵庭市	北大Ⅲ式～擦文前期の土壇墓84基、周溝のある墓6基
6	ユカンボシE5遺跡	恵庭市	北大Ⅲ式期の土壇墓1基
7	ユカンボシE7遺跡	恵庭市	北大Ⅲ式の墓23基
8	柏木川1遺跡	恵庭市	擦文時代前期の土壇墓1基、袋状ピットを伴う
9	島松沢3遺跡	恵庭市	土壇墓3基
10	ウサクマイ遺跡	千歳市	北大Ⅲ式期～擦文前期の土壇墓17基
11	町村農場1遺跡	江別市	北海道式古墳2基
12	後藤遺跡	江別市	北海道式古墳18基
13	柏木東遺跡	恵庭市	北海道式古墳14基
14	ユカンボシC15遺跡	千歳市	周溝のある墓3基

## Ⅲ 調査の方法

### 1. 調査区の設定(図Ⅲ-1)

西島松5遺跡の発掘調査区は柏木川河川改修工事におけるUSP0とUSP100を結ぶ南北方向の直線を基軸に、5×5mメッシュの区画として設定した。この基軸をRラインとし、東から西へ5mごとにアルファベットを付して表記した。同様にUSP0を0とし、北から南へ5mごとにアラビア数字を付して表記した。Rラインは真北に対して26°51'1"東偏する。

グリッド名は北東の交点におけるアルファベットとアラビア数字の組み合わせによって「M-20」のように呼称した。また、アルファベットは大文字によって表記し、Z以降は小文字に変えて表記した。

基準杭の平面直角座標系Ⅱ系による座標値は以下の通りである。

USP0 (R-0) : X=-121292.638 Y=-55345.279

USP100 (R-20) : X=-121381.857 Y=-55390.445 (石井淳平)

### 2. 調査の方法

#### (1) 調査の方法

今回報告する平成13年度調査区の台地上は、多量の遺物が出土すると予想したので、機械力はいわず、掘り下げは全て人力で行った。調査は河川改修工事の工程の都合上東側から開始し、順次に西へ調査区を広げた。

#### (2) 遺物の取り上げ

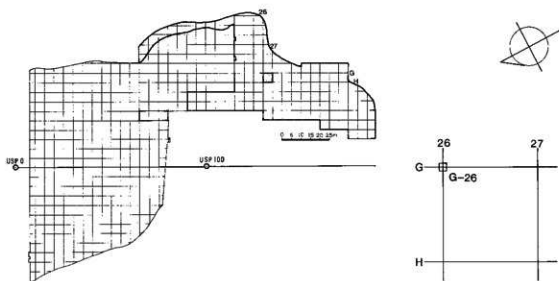
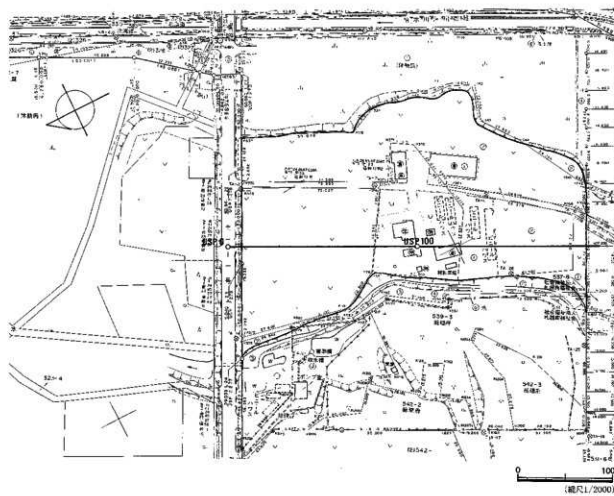
I層を含む包含層出土の遺物はグリッド毎、層位毎に取り上げた。遺構内の遺物は覆土内に混入したと判断したものについては層位のみを記録して取り上げ、壙底出土のものや一括性が高いと判断したものについては、図化または地点を記録して取り上げた。

#### (3) フローテーション・土壌水洗

住居床面付近の土壌、焼土などは、動物遺存体や種子などの微細遺物を抽出することを目的に、フローテーション・土壌水洗を行った。フローテーションは作業効率が低いため、採取した土壌の一部を抜きとり、作業を実施した。フローテーションを行わない残りの土壌については、全て土壌水洗を行った。

フローテーションは浮遊したものについては2mm、0.425mmのメッシュを通して回収し、沈下したものについては5mmのメッシュを通して回収した。

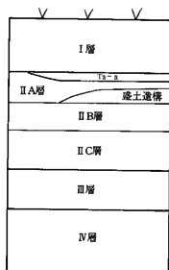
土壌水洗は5mmのメッシュを通して微細遺物の回収を行った。(石井淳平)



図Ⅲ-1 調査区(上図)・グリッド設定図とグリッド呼称(下図)

## 3. 土層

基本層序は、平成12年度調査における観察結果と基本的に同じであり、観察項目、観察手順とも前報告書（北埋調報178 Ⅲ、調査の方法 3. 土層）に準拠している。ただⅠライン～Kラインと18ライン～25ラインの範囲では耕作による攪乱・削平をあまり受けていなかったため、一部分にTa-aが残り、Ⅱ層が良好な状態で堆積していた。Ⅱ層観察の結果ほぼ三層に分層されることが判明し、上層からⅡA層、ⅡB層、ⅡC層として、調査・遺物の取り上げを行った。土層模式図は残存状態が最も良好と思われるⅠ-20付近の土層図をもとに作成した。なお土層の観察には『標準土色帖』（小山・竹原1967）および『土壌調査ハンドブック』（ベドロジスト懇談会1984）を用いている。



図Ⅲ-2 基本土層模式図

Ⅰ層：耕作表土 地表土、ta-a、Ⅱ層、Ⅲ層、Ⅳ層が耕作により混ぜられた結果生じた攪乱層。

樽前a降下軽石層 (Ta-a A.D.1739年降下) Ⅰ-21・22・23、J-21・22・23のくぼ地等に見られる。

## Ⅱ層：黒色腐植土

ⅡA層：黒色土 Ta-aが見られるところで確認された。乾燥すると白っぽくなる。B-Tm 苫小牧火山灰層が微量混入する。層厚は2～3cm程で、主に縄文時代～擦紋時代の遺物が含まれる。

ⅡB層：暗褐色土 Ⅰ-18・19・20・21・22・23・24 J-18・19・20・21・22・23・24に見られる。

層厚は7～10cmである。Ta-c（樽前C降下軽石。2,300～2,500年前降下）が微量混入する。主に縄文時代後期～晩期の遺物が含まれる。

ⅡC層：黒褐色土 ⅡB層が見られるところ、また耕作等の攪乱を深く受けわずかに残存するⅡ層は、このⅡC層に相当するものと思われる。粒子細かく、軟質土である。層厚は7～13cmである。主に縄文時代早期～後期の遺物が含まれる。

## Ⅲ層：暗褐色土～暗黄色土 Ⅱ層とⅣ層の漸移層

Ⅳ層：支笏軽石（約32,000年前降下）が、恵庭a降下軽石（En-a 15,000年～17,000年前降下）を若干量取り込んで二次堆積し、土壌化した層。Ⅳ層下位には、恵庭a降下軽石を主体とする水成二次堆積層が部分的に確認された。

#### 4. 整理の方法

##### (1) 土器

現地では、水洗、分類作業を行い、遺構ごともしくはグリッドごとに仮収納し、江別へ搬送した。江別の整理作業所では、注記、遺物台帳登録、接合、復元、分類変更、集計を行った。

分類は、後述の記号を用い、必要に応じて再分類などの分類変更を行った。

注記は、微細なものを除き、遺跡名「西島松5」を「西5」、続けて遺構名もしくは発掘区(グリッド名 例I-22など)、出土層位、遺物番号を記載した。遺構名は前述の記号を用いた。

遺物台帳登録は、出土遺物のデータを記載したカードをもとに、パソコンを用いて行い、集計した。

接合は、遺構内を中心に行った。周辺の遺物包含層との接合も想定されたため、出来る限り今回未報告の包含層出土資料とも行った。

復元した個体は実測図を作成し、破片資料は、時期のわかるものや文様が明瞭なものを中心に抽出し、拓影図・断面図を作成した。(佐藤 剛)

##### (2) 石器

本報告書掲載の遺構出土の石器は、現地で水洗、分類、遺物カード、遺物台帳作成などの一次整理作業を行った。二次整理作業は、再分類、石材鑑定などを行い、報告書掲載石器は定型的な石器から完型品を優先して抽出した。平成14年4月から抽出した石器を順次実測、トレースを行い、その後写真撮影、図版作成を行った。記述、遺物集計などの報告書作成作業を行い、記録類の整理とともに収納を行った。

##### (3) 金属製品

遺構毎に1点ずつ整理番号を付して管理した。クリーニングの結果、接合した資料は「P30-1,2」のように整理番号を並記し、2個体に分かれた資料は、「P 30-1-2」のように、枝番号を付けて管理した。

金属製品の写真撮影は、保存処理前と処理後に行った。保存処理前の写真撮影は、切先の向きや刃の位置が不明なものが多く、保存処理前と処理後の写真の向きは必ずしも一致しない。(石井淳平)

##### (4) 微細遺物

フローテーション、土壌水洗などで出土した炭化種子及び動物遺存体は、当センターにおいて一次分類を行い、整理番号を付した後、炭化種子は吉崎昌一氏・椿坂恭代氏に鑑定を依頼し、動物遺存体についてはバリノ・サーヴェイ株式会社に鑑定を依頼した。(石井淳平)

##### (5) 遺物の記録と保管

土器、石器、金属製品などの遺物の実測図、遺物集計表、写真などの記録類は当センターにおいて保管する。遺物類は報告書刊行の後、恵庭市教育委員会に返却し、保管される。(石井淳平)

## 5. 保存処理

北海道や東北北部では、鞘や柄などの木質、布などの有機質部分の保存状態が良好であるとされる。これらは出土金属製品の構造や埋納状況を検討するうえで好材料となる。これまで道内では千歳市ウサクマイA遺跡、恵庭市茂漁古墳群、江別市江別古墳群などで同様の金属製品が出土しているが、X線透視撮影や保存処理、各種分析などの報告例はほとんどない。詳細な形状の判然としない、サビや泥の固着した状態の実測図の掲載が中心であった。西島松5遺跡では今後の調査研究に有用な保存処理および分析を実施によって、鞘・柄などの木質・樹皮、骨角、漆膜、布・紐などの繊維製品が付着する良好な資料を数多く残すことができた。ここでは金属製品の保存処理工程とその概略を述べる。

保存処理の方法（詳細な工程は図Ⅲ-3を参照）

当センターで保存処理を実施した資料は北大Ⅲ式土器期から8～9世紀の標文文化期の墓域内に副葬された、直刀、小刀、刀子、袋状鉄斧、鉄鎌、鑊子、耳環、釘などの金属製品267点である。蔵手刀、儀杖刀、大型の大刀、直刀などのうち、漆塗りなどのある形態の明瞭な重要遺物20点は、当センターの現有機器、技術において、処理困難と判断し、実測図作成、X線透視撮影、各種材質分析を含めて元興寺文化財研究所保存処理センターへ保存処理を委託した。

保存処理対象となった金属製品は、内部のメタル分がサビとともに溶脱し、中空状態となっているものが多かった。特に遺構内に長期間置かれていたものは、大気中に露出した面に亀裂や漆膜の暴れなどの劣化が顕著に認められた。金属製品は単独で出土したものほか、数点がサビ・土壌とともに密着（癒着）したものなどがあり、X線透視などによる状態確認や資料の照合に多くの時間を要した。

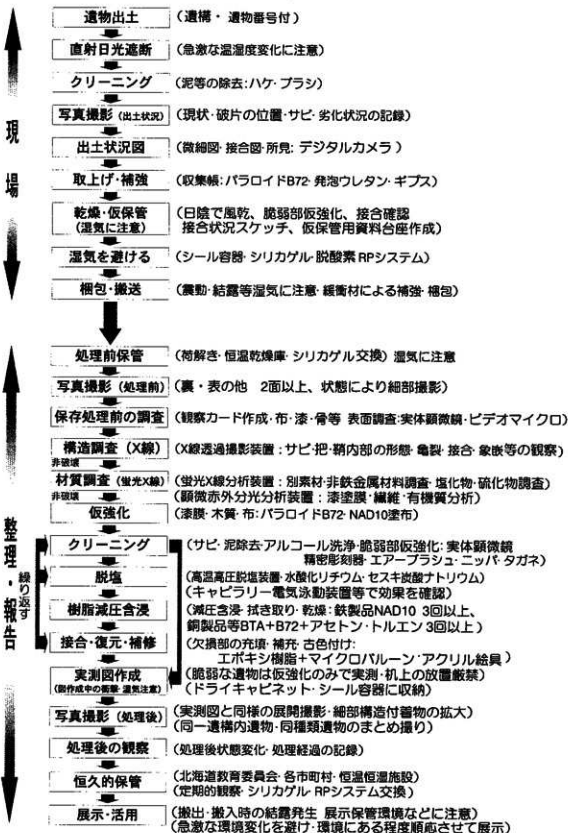
保存処理作業は、複合素材の状態観察に重点をおき、鏝、足金物、象眼、樹皮、骨、木質、漆膜、繊維、別素材の付着状況に注意を払った。担当課から引き渡された遺物は1点ずつ、出土状況図、出土状況写真、取上げ台帳と照合しながら、保存処理受入れ台帳を作成した。台帳確認後は順に、処理前の現状を写真撮影し、観察カードに受入時の状況をスケッチした。観察は肉眼観察と実体顕微鏡を中心に、HDビデオマイクロ装置や光学顕微鏡を併用して実施した。X線透視撮影は、2面以上を原則にフィルムとビデオプリント撮影を併用して実施し、得られた内部構造を観察カードに付記した。

脆弱な資料には、現場においてバンダー#17や数%のパラロイドB72溶液などを塗布し仮強化したことがある。サビや不要付着物の除去は、できる限り実体顕微鏡で観察しながら実施した。脱塩処理は塩化物イオンと硫化物イオンの両方に効果がある高温高压脱塩法（高温蒸気法）を実施した。銅や錫製品は蒸留水+0.2%BTA溶液に、鉄製品は蒸留水+0.2%BTA+0.1%ホウ砂溶液に浸漬して実施した。脆弱なものや木質・繊維等の有機質が残存するものは予め樹脂含浸してから高温高压脱塩を実施し、頑固なサビは脱塩後に除去した。樹脂含浸強化については写真撮影、実測図作成、遺物搬送に耐える程度の強度を目標とした。銅や錫製品にはBTA+トルエン+セトン+パラロイドB72の混合溶液を減圧含浸し、充分に乾燥させた後にトアインクラック（市販品）をスプレーした。鉄製品には、非水系のパラロイドNAD10を減圧含浸した。なお、資料表面は実測図作成及び写真撮影の障害とならないように、光沢を押しさげずに処理した。脱塩処理や樹脂含浸による変形、破損が懸念される脆弱遺物や布等の付着するものはクリーニング後に実測図作成、写真撮影を優先した。樹脂含浸後の接着・充填にはエポキシ系樹脂とフェノール樹脂マイクロバレーンを混合したベストや市販のエポキシパテを使用した。明瞭な折損部にはシアノアクリレート系樹脂（アロンアルファ）を使用した。充填箇所の古色付けは、実測・写真撮影後にアクリル絵の具を使用した。接着・充填箇所、分析サンプル採取箇所、分析先は観察カードに記載した。遺物の保管は大型のものは低湿乾燥庫に収納し、シール容器に収まるものはコンテナにまとめて保管している。シール容器に収まらない遺物は特種フィルム（エスカル）に脱酸素剤（RPシステム）とともにパックした。また、金属、樹種、骨角などの材質調査は、今後の整理保管計画の中で随時実施したい。一部の繊維、塗膜の構造・材質については、第Ⅴ章に報告した。

保存処理後の遺物については、保存処理期日、処理方法・保存処理先、保管方法を必ず記録し、できる限り急激な温度変化や湿度変化の少ない環境に保管すること。また、定期的な経過観察、シール容器内のシリカゲル交換、RPシステムなどによる収納を心がけるべきである。

（第1調査部第1調査課 保存処理部門）

# 金属製品の保存処理



図Ⅲ-3 金属製品の保存処理工程

## 6. 遺物の分類

## (1) 土器

土器は縄文時代早期に属する資料をⅠ群とし、以下順に前期をⅡ群、中期をⅢ群、後期をⅣ群、晩期をⅤ群、統縄文時代をⅥ群、擦文時代をⅦ群とした。各群毎に細分しうるものは群のあとにa～c類と付し、『Ⅱ群a類』の様に呼称した。

## Ⅰ群 縄文時代早期に属する土器

a類：胎土が密で、貝殻痕文、貝殻文、及び燃糸文、組紐圧痕文、絡条体圧痕文、貼付文、縄文等の施されるもの

b類：胎土が粗で、燃糸文、組紐圧痕文、絡条体圧痕文、貼付文、縄文等の施されるもの

## Ⅱ群 縄文時代前期に属する土器

a類：厚みがあり、縄文原体（0段多縄が多い）は条の幅が広く、地文の縄文が器面に深く施文される、丸底、尖底を特色とするもの

b類：地文が絡条体、燃糸文で、内面が磨かれる円筒土器下層式に相当するもの（今回は出土していない）

## Ⅲ群 縄文時代中期に属する土器

a類：貼付け文及びその文様構成を引く沈線文で文様帯が構成される、円筒土器上層式に相当、もしくはその系譜を引くと考えられるもの、および萩ヶ岡1・2式に相当するもの

b類：萩ヶ岡3・4式、天神山式、柏木川式、北筒式（トコロ6類）、および地文を施文する前に隆起する貼付けを行い、刺突文等で文様を構成する煉瓦台式に相当するもの

## Ⅳ群 縄文時代後期に属する土器

a類：余市式、タブコブ式、白坂3式、ウサクマイC式、十腰内Ia式に相当するもの（余市式として分類される、幅の広い貼付け文と無文帯をもち、刺突文、縄線文、沈線文などで文様帯が構成される一群は遺跡の状況によりⅢ群b類またはⅣ群a類の中で扱う。当遺跡ではⅣ群a類に分類した。）

b類：手稲式、ホッケマ式に相当するもの（今回は出土していない）

c類：堂林式、三ツ谷式、指の爪などによる器表面への斜めからの刺突（爪文と呼称）が施される御殿山式、湯の里3式に相当するもの

## Ⅴ群 縄文時代晩期に属する土器

a類：大洞B式、大洞BC式、及び主に半截竹管状工具による器表面への垂直な刺突（爪形文と呼称）が施される上ノ国式に相当するもの（今回は出土していない）

b類：大洞C1式、大洞C2式に相当するもの

c類：大洞A式、大洞A<sup>+</sup>式に相当するもの

## Ⅵ群 統縄文時代に属する土器群（北大Ⅲ式土器群も含む）

## Ⅶ群 擦文時代に属する土器群（今回は出土していない）

## 土製品

なお、Ⅰ群b類は、b-3類：コッタロ式、中茶路式に相当するもの、b-4類：東綱路Ⅳ式に相当するもの、Ⅳ群c類はc-1類：堂林式に相当するもの、c-2類：三ツ谷式、御殿山式に相当するものに細分した。

（佐藤 剛）



## (2) 石器・石製品

器種別の大分類にとどめ、細分は行っていない。整理作業で使用した分類の名称及び報告の際の概ねの掲載順は以下の通りである。

### 剥片石器

石鎌 石槍またはナイフ 石錐 つまみ付きナイフ スクレイパー  
Rフレイク(加工痕のある剥片) Uフレイク(使用痕のある剥片)  
フレイクおよびフレイク・チップ 石核 原石

### 礫石器

石斧 すり石 たたき石 台石 石皿 砥石 礫・礫片

### 石製品

玉 垂飾 石棒 異形石器など

## (3) 金属製品

直刀：刀身長が30cmを超える刃物。本来、小刀や刀子とは機能の違いによって区別されるべきものであるが、今回は刀身長の計測値により便宜的に区別した。

蕨手刀：柄部分が湾曲する独特の形状を有する直刀の一種である。

小刀・刀子：刀身長が30cm以下の刃物である。小刀と刀子は機能によって区別されるべきものと考えられるが、現段階では区別が困難なため同じカテゴリーに含めた。

鉄斧：今年度報告するものは全て「袋状鉄斧」とよばれる柄を差し込むためのソケットを有するものである。

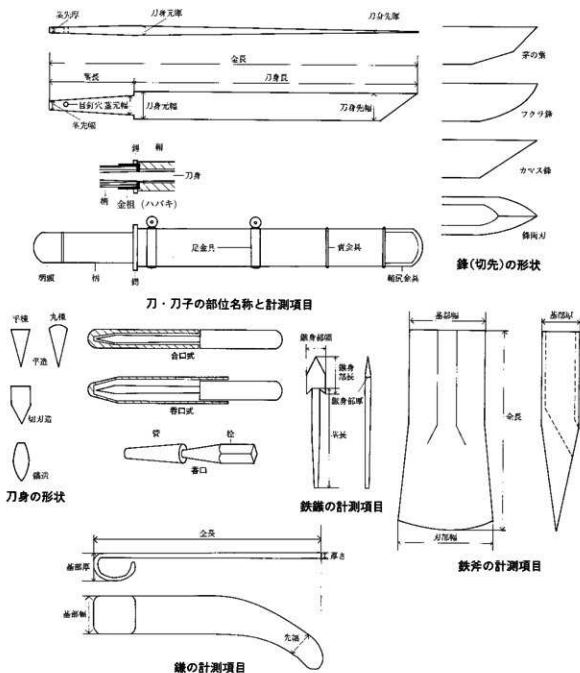
鎌：鎌身部の形状と茎の有無により

- ① かえしをもたないもの
- ② かえしをもつ有茎のもので、中柄に茎を差し込んで着柄するもの
- ③ かえしをもつ無茎のもので、切り込みを入れた中柄で鎌身部を挟んで着柄するものに分類できる。銛先の可能性のあるものも存在するが、全て鎌とした。

鎌：内湾する刃部をもち、幅に比して薄い刀身をもつ刃物を「鎌」と判断した。

鎌子：毛抜状の鉄製品

(石井淳平)



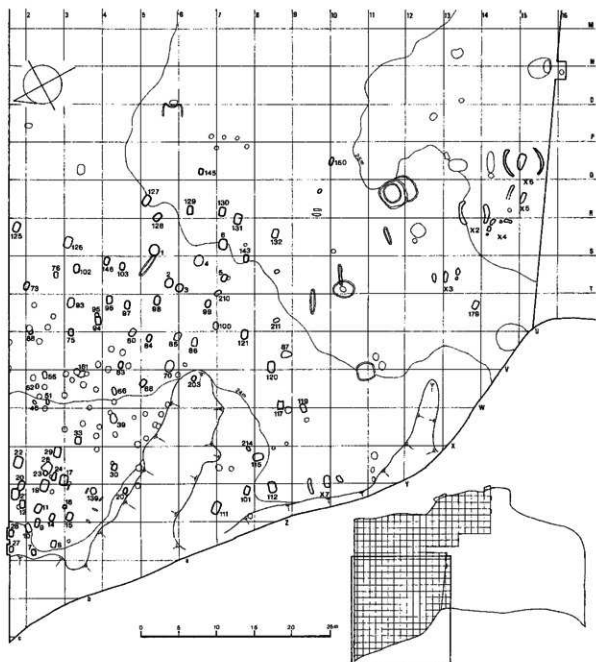
※表中の計測値は、X線透視写真から推定計測した金属（メタル）部分のみの数値である。鞘、柄、刀装具、矢柄などの木質（有機質）部は含んでいない。

図Ⅲ-3 金属製品の部分名称と計測項目

## IV 平成12年度出土金属製品

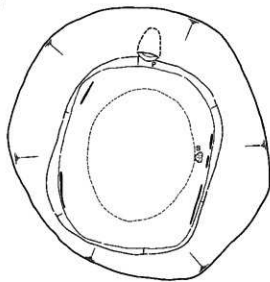
### 1. 概要

平成12年度調査で土墳墓・「周溝のある墓」、包含層から277点の金属製品が出土した。保存処理の都合上、前報告書（北埋調報178 2003）ではP 11・12・15・30・96・98・101・112・128・131・X 6出土の保存処理前の実測図を掲載し、説明した。本章では保存処理後の実測図を掲載し、出土状況と実測図を対照させて説明している。記述は、金属製品の出土状況を全体、そして実測図の番号順に個体説明し、保存処理後明らかとなった観察事項などについて、遺構ごとに説明している。なお金属製品の部分名称、計測項目などは前報告書（Ⅲ章 4. 調査の方法 図Ⅲ-5）に準拠している。



図Ⅳ-1 金属製品出土の遺構位置図

## 2 土墳墓出土の金属製品



図M-2 P1



図M-3 P1の出土の金属製品

### P1出土の金属製品 (図IV-2・3 表IV-5・6 図版53)

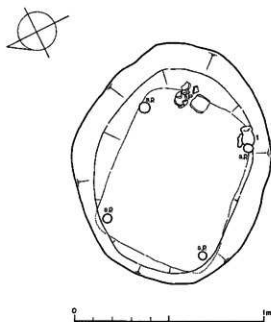
P1では金属製品および鉄片が4点出土している。覆土1層から1点、覆土3層から3点出土し、墳底付近からは出土していない。図IV-3-1は覆土3層(埋め戻し土)出土の鉄製品破片である。埋め戻し土中に混入したと思われる。

1は薄い板状の鉄製品で、小刀・刀子または鎌の可能性はある。先端部には薄く木質が付着する。

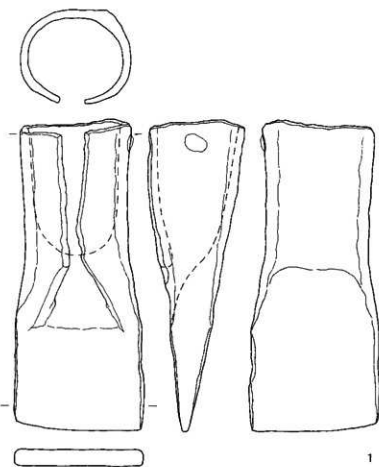
P 2出土の金属製品 (図IV-4・5 表IV-2・6 図版53)

P2では墳底面上で鉄斧が1点出土している。図IV-5-1は墳底の小ピット(南西コーナー)と壁の間で、基部を上直した状態で出土したものである。刃部は墳底面に突き刺さってはいなかった。立てかけてあったものと思われる。木柵外に置かれた副葬品であろう。

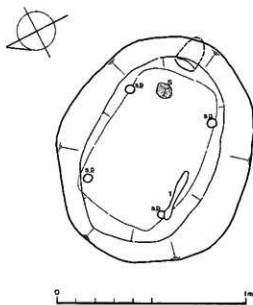
1は袋状の鉄斧で、本遺跡から出土したものの中では標準的な大きさである。基部から刃部にかけては、なめらかなラインを描き、境界は明瞭である。基部は肉薄である。基部の断面は円形である。



図IV-4 P2



図IV-5 P2の出土の金属製品

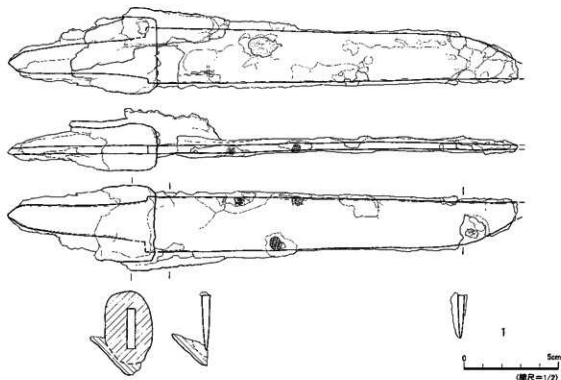


図Ⅳ-6 P3

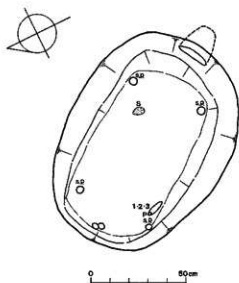
P3出土の金属製品(図Ⅳ-6・7 表Ⅳ-1・6 図版53・77)

P3では墳底直上から直刀と思われる金属製品が1点出土している。図Ⅳ-7-1は墳底の小ピット(北西コーナー付近)の壁側に平行する状態で出土したものである。刃先を頭部側に向けているが、もともとの状態なのか倒れたものかは不明である。一応、木柵外に置かれた副葬品と考えておく。

1は平棟平造の小刀・刀子である。切先はフクラ切先である。区は両区で、茎は幅を狭めながら真っ直ぐに延びる。柄元にハバキは確認できない。刀身の錆の中に、錆化していない繊維が残存する。直径約0.5mmの糸を用いた平織りの布である。刀身全体を包んでいたものと推測する。また、この布とは異なる、アンギン織り状の繊維が付着した痕跡もあり、刀身は異なる2種類の布で包まれていた可能性がある。鞘木は残存せず、刀身から柄にかかる部分に木質が付着する。鞘木か否かは不明である。



図Ⅳ-7 P3出土の金属製品

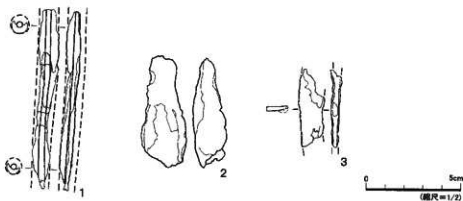


図Ⅳ-8 P5

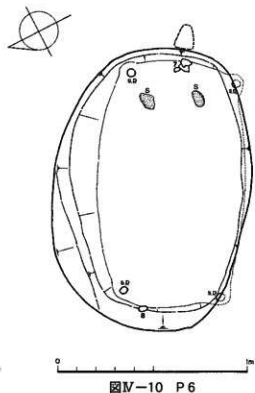
P5出土の金属製品 (図Ⅳ-8・9 表Ⅳ-1・3・6 図版53・54)

P5では壙底直上付近 (壙底より約5cm上方) と北壁側 (壙底より約4cm上方) などから9点の金属製品が出土している。図Ⅳ-9-1・2・3は壙底の小ピットの内で出土したものである。ほぼ水平の状態で、一団体様出土したものであるが、錯落しの結果、3点がかたまっていたことが判明した。遺体層の直上付近から出土していることから、副葬品と思われる。

1は有茎鉄鍔の茎部分である。茎の断面は円形で、矢柄の木質が付着する。2は小刀・刀子の柄部分である。茎は残存しない。3と同一個体の可能性がある。3は小刀・刀子の刃身部分である。2と同一個体の可能性がある。



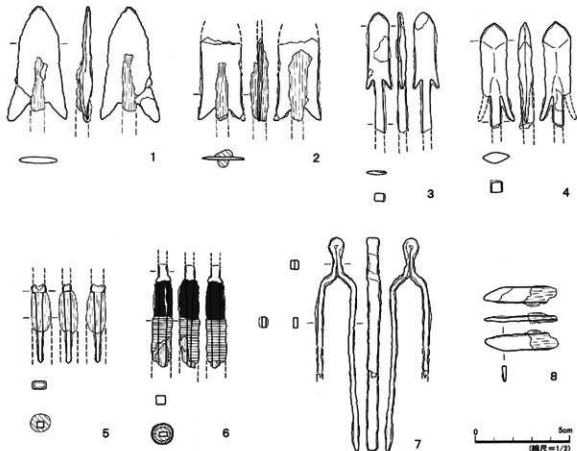
図Ⅳ-9 P5出土の金属製品



P 6出土の金属製品 (図IV-10・11 表IV-1・3・5・6 図版54・77)

P 6では覆土中、壙底直上付近などから16点の金属製品が出土した。図IV-11-1~6・8は覆土3層(埋め戻し土)上層付近で出土したものである。散らばった状態で出土しており、埋葬儀礼などに伴うものかどうかは不明である。図IV-11-7は袋状ビットの下方、壙底直上付近で出土したものである。鉄錆のかたまり状であったが、持ち手側を上にし、直立していた。木柵外に置かれた副葬品と思われる。

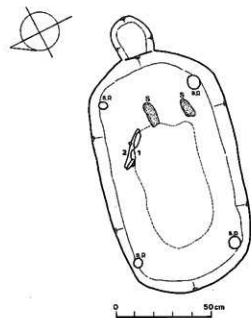
1は無茎で返しを有する鉄鎌である。矢柄の先端に鎌身部を挟み込んで着柄するもので、鎌身部に矢柄の木質が残存する。2は無茎で返しを有する鉄鎌である。返しの外反は小さく、鎌身部から真っ直ぐにのびる。1同様、矢柄の先端を割り、鎌身部を挟み込んで着柄するものである。鎌身部を挟み込んだ矢柄の木質が残存する。3は有茎で返しを有する鉄鎌である。鎌身部は先端がふくらみ、中程がやや絞られる。4に似るが、若干小型である。4は有茎で返しを有する鉄鎌である。鎌身部は細長く、先端が幅広で、茎に近い方がややすぼまる。5は有茎鉄鎌の茎で、断面は方形である。



図IV-11 P 6出土の金属製品



矢柄の木質が付着する。鎌身部に近い方と矢柄に近い方では茎の幅が大きく違っており、着柄部分には段差が存在する。6は有茎鉄鎌の茎である。断面は方形で、矢柄が残存する。矢柄表面には黒色漆の塗膜が確認でき、下半には樹皮が巻かれる。7は籬子である。薄い板状の針金で作られる。8は小刀・刀子の切先である。刀身に鞘の痕跡とみられる木質が付着する。

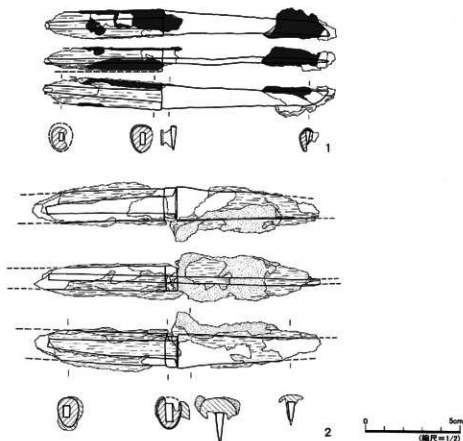


図Ⅳ-12 P7

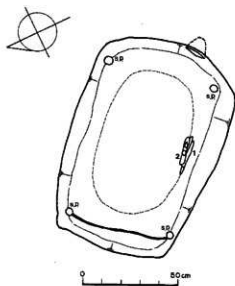
P7出土の金属製品（図Ⅳ-12・13 表Ⅳ-1・6  
図版54・55・77）

P7では墳底直上付近から4点の金属製品が出土している。これらは遺体層上にあり、柄部分を置き石側にして、一部重なった状態で出土した。遺体のそばに置かれた副葬品であろう。

1は小刀・刀子である。区は両区で、茎はやや幅を狭めながら真っ直ぐに延びる。柄は断面倒卵形で、柄元にはハバキが装着される。柄には黒色漆の塗膜が残存する。塗膜は柄に直接塗られた可能性もあるが、同様の漆膜がハバキや刀身にも及んでいることから、鞘の腐蝕に伴い、鞘に塗られていた塗膜が、柄に付着した可能性もある。刀身には鞘とみられる木質が付着しており、木質の表面には黒色漆の塗膜が残存する。2は小刀・刀子である。切先を欠く。区は両区で、茎は真っ直ぐに延びる。柄頭は残存せず、柄元にはハバキが装着される。鞘に黒色漆塗膜が見られるが、残存状態は悪い。鞘木の木質が柄に付着していることから、呑口式の鞘である。



図N-13 P7出土の金属製品



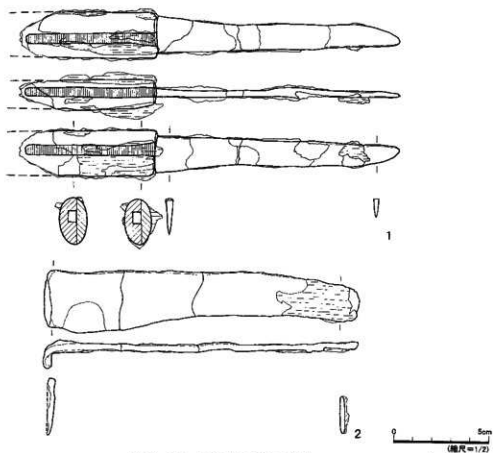
図N-14 P9

P9出土の金属製品(図N-14・15 表N-1・4・6 図版55・56・77)

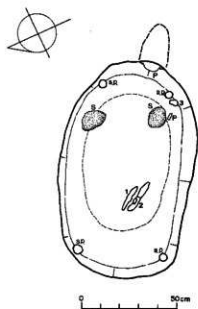
P9では墳底直上付近で金属製品が2点出土している。これらは墳底中央部南西側(墳底の小ピットの内側)遺体の右側、柄および基部部分を頭部側にし、一部重なるように(図N-15-1の上に図N-15-2が一部重なる)して出土した。木柙内、遺体のそばに置かれた副葬品であろう。

1は小刀・刀子で、切先はフクラ切先と推測する。区は大きな両区で、茎元の幅は狭い。茎は幅を変えず、真っ直ぐに延びる。X線写真では、茎に対して直角に細かい刻みが見える。これは茎に紐のようなものを巻いたものと推測する。柄元にハバキは確認できない。鞘の残存状態は悪く、切先付近に鞘の痕跡とみられる木質が付着する。柄元にも鞘とみられる木質が付着することから、鞘は呑口式の可能性が高い。

2は鎌である。基部を折り返してソケットを作り出すもので、折り返した先が破損している。刃部の湾曲は小さい。



図M-15 P9出土の金属製品

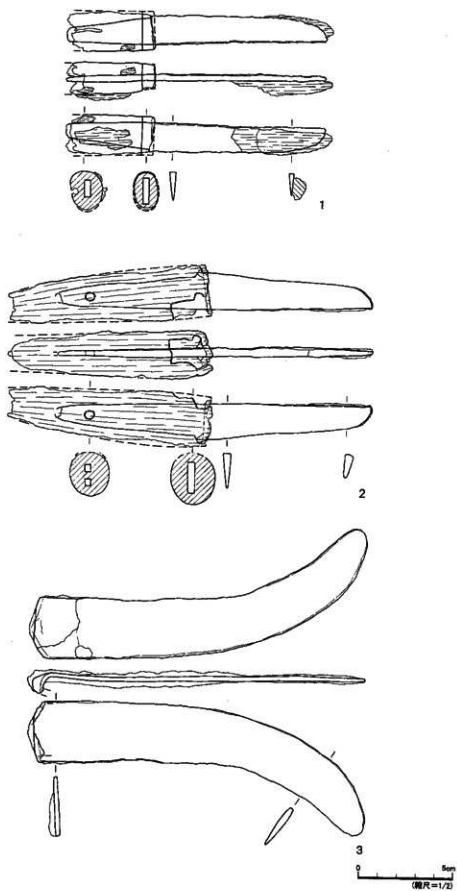


図IV-16 P 14

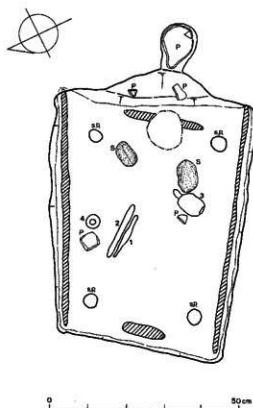
P 14出土の金属製品(図IV-16・17 表IV-1・4・6 図版57・77・78)

P 14では坑底直上で金属製品が3点出土している。図IV-17の1・2は坑底中央部やや西寄りのところで、ほぼ南北方向に2点並んで、遺体層上で出土したものである。柄部分を南側にしている。図IV-17-3は坑底の小ピット(南西コーナー)と壁の間に基部を上にし、直立して出土した。図IV-17-3は木柵外に立てられたもの。図IV-17-1・2は遺体のそばに置かれたもので、ともに副葬品であろう。

1は小刀・刀子である。区は刃区のみで、茎は棟側が真っ直ぐに伸び、刃側は棟に向かって斜めに直線的に伸びる。柄元にハバキが装着される。鞘の残存状況は悪く、切先に鞘の痕跡とみられる木質が付着する。柄に柄木とは異なる木質が付着していることから、呑口式の鞘の可能性はある。2は小刀・刀子である。区は刃区のみで、棟側は刀身と茎の境界で軽く屈曲する。茎は刀身に対して棟寄りに方向を変え、真っ直ぐに伸びる。茎先に目釘穴があげられる。ハバキは確認できない。刀身は幅広で、刃部は内湾気味となる。3は鎌である。基部は大部分を欠き、折り返し部分がわずかに残る。刃部は基部から約2/3のところまで、刃側に大きく湾曲する。



図IV-17 P 14出土の金属製品

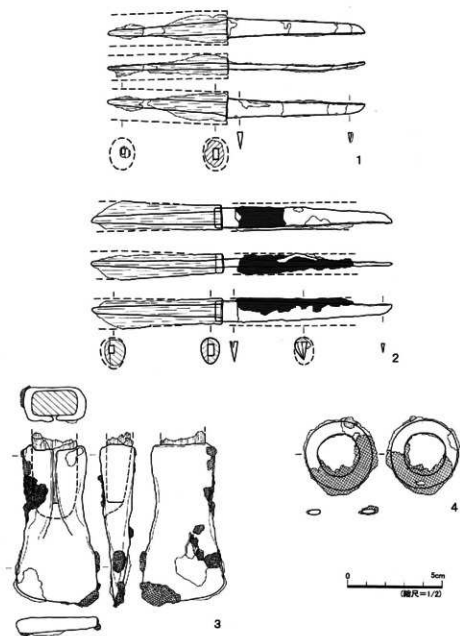


図Ⅳ-18 P 16

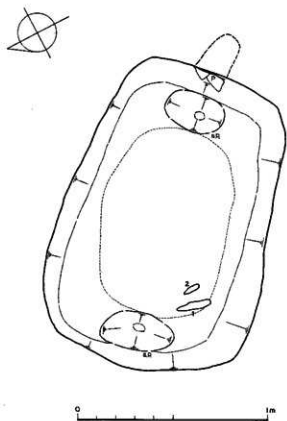
P 16出土の金属製品(図Ⅳ-18・19 表Ⅳ-1・2・5・6 図版57・58・78)

P 16では城底面から金属製品が4点出土している。図Ⅳ-19-1・2は城底面中央部やや北東寄り、ほぼ南北方向に2点並んで出土している。柄部分を頭部方向にしている。図Ⅳ-19-3は置き石に接するように、基部を置き石側にして出土している。図Ⅳ-19-4は図Ⅳ-19-1・2と壁の間で出土している。これらは木櫛内に置かれた副葬品であろう。

1は小刀・刀子で、切先はフクラ切先である。柄の残存状態は悪く、柄元付近のみ表面が残存する。区は両区で、茎は真っ直ぐに延びる。茎先は錆がふくれあがり、欠損する。2は小刀・刀子である。切先はカマス切先状に直線的に屈曲する。区は両区で、茎は真っ直ぐに延びる。X線写真では柄元にハバキ状の構造が見えるが、肉眼では確認できない。鞘は刀身の棟側に残存しており、表面には黒色漆の塗膜が残存する。3は小形の袋状鉄斧である。基部から刃部は緩やかに広がり、基部と刃部の境界は不明瞭である。基部には柄木が残存する。本体周囲には布が付着しており、全体が布で包まれていたものと考ええる。布は織りの粗いものと細かいものの二種類があり、織りの細かいものが下、織りの粗いものがその上に被さる。4は鉄環である。薄い板状の鉄板を切り抜いて環としたものである。裏表とも1/4を布に覆われる。布は目の細かい平織りで、錆により鉄環本体に癒着する。本来は鉄環を包んでいたものと推測する。



図IV-19 P16出土の金属製品

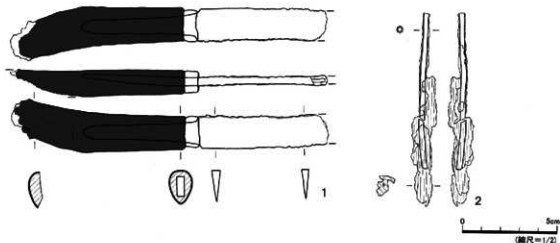


図IV-20 P19

P19出土の金属製品(図IV-20・21 表IV-1・5・6 図版58・78)

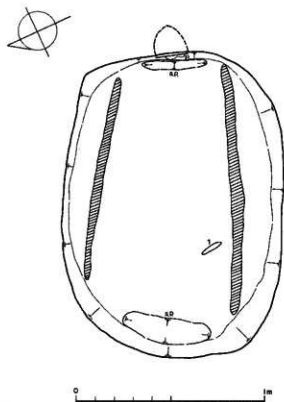
P19では墳底直上で金属製品が2点出土している。遺体の足付近と思われる北西壁側で、遺体層上から出土した。図IV-21-1は柄部分を、図IV-21-2は茎部分とともに南西側になっている。ともに遺体のそばに置かれた副葬品であろう。

1は小刀・刀子である。刀身の切先側を欠く。区は両区で、茎は先細りながら真っ直ぐに延びる。柄は棟側に湾曲し、柄頭側が太い。柄元にはハバキが装着され、柄全体に黒色漆塗膜が塗られる。鞘は残存しない。2は細長い棒状の鉄製品で、鎌または小刀・刀子の茎の可能性ある。全体の約半分を木質が覆う。



図IV-21 P19出土の金属製品



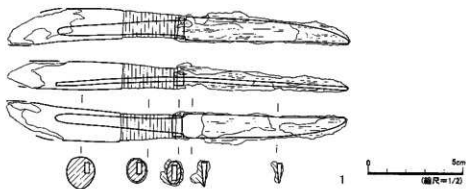


図IV-22 P 21

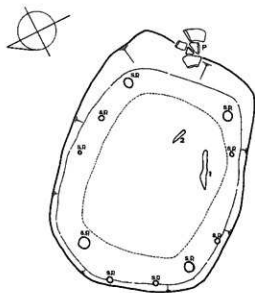
P 21出土の金属製品（図IV-22・23 表IV-1・6 図版59・78）

P 21では墳底面上で金属製品が1点出土している。図IV-23-1は木槲痕の内側、足付近と思われるところで、柄部分を南方向にして出土した。副葬品であろう。

1は小刀・刀子である。区は小さな両区で、茎は棟側に反り上がる。柄元から約3cmのところまでは1段細く造られ、柄元からこの部分まで樹皮が巻かれる。柄元にはハバキが装着されており、樹皮はハバキを覆うように巻かれる。刀身には鞘の痕跡とみられる木質が付着する。木質の一部が柄元を覆うことから、呑口式の鞘に納められていたものと考えられる。



図IV-23 P 21出土の金属製品

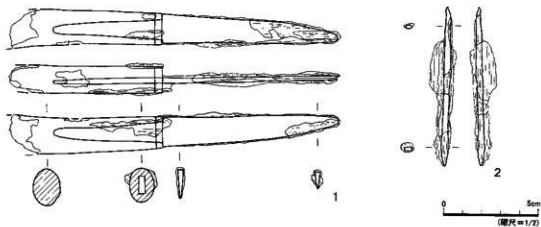


図IV-24 P 22

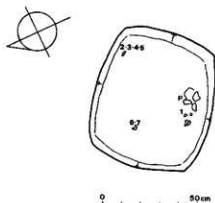
P 22出土の金属製品 (図IV-24・25 表IV-1・3・6 図版59・78)

P 22では壕底直上で金属製品が2点出土している。図IV-25-1・2とも中央部や南西寄りの遺体層上面付近で出土したもので、図IV-25-1は柄部分を頭位方向に向けている。副葬品であろう。

1は小刀・刀子である。区は兩区で、茎は先細りながら真っ直ぐに延びる。柄は柄頭に向かって太くなり、棟側に反り上がる。柄元にはハバキが装着される。刀身は切先をわずかに欠く。鞘はほとんど残存せず、刀身に鞘の痕跡とみられる木質が付着する。柄元付近にも鞘の一部とみられる木質が付着することから、呑口式の鞘の可能性がある。2は細長い棒状の鉄製品で、断面は長方形である。木質が付着するが、直径約1cmの筒状の部材と、その外側に付着する別の木質からなる。小刀・刀子の茎や鉄鏃の茎の可能性はあるが、付着する木質が小刀・刀子の柄としては細すぎること、本体の金属部分も小刀・刀子の茎としては長すぎることから、鉄鏃の茎と考える。



図IV-25 P 22出土の金属製品

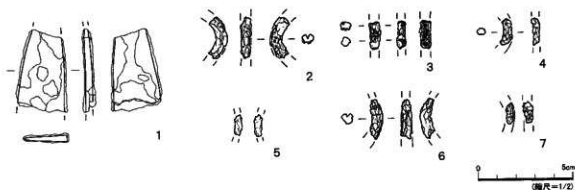


図IV-26 P 23

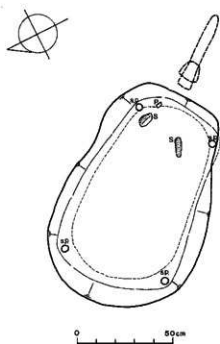
P 23出土の金属製品 (図IV-26・27 表IV-5・6  
図版59)

P 23では検出面と墳底面から金属製品1点と錫製耳環2点が出土している。金属製品は一括土器周辺で出土したものであり、錫製耳環は墳底面出土したものである。ただ上方が大きく削平攪乱されていることから見て、副葬品と考えられるけれども、原位置を保っているかどうかは不明である。

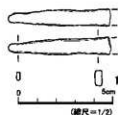
1は板状の鉄片である。鎌の刃部の可能性がある。2～7は金属製の環の破片である。昨年度報告した蛍光X線の分析結果から錫を主成分とする合金であることが判明している (田口2002)。



図IV-27 P 23出土の金属製品



図Ⅳ-28 P 24



図Ⅳ-29 P 24出土の金属製品

**P 24出土の金属製品** (図Ⅳ-28・29 表Ⅳ-1・6 図版59)

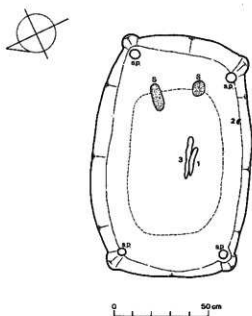
P 24では覆土中から金属製品が1点出土している。図Ⅳ-29-1は覆土1層(埋め戻し土)から出土したもので、埋め戻し土に混入したものと思われるが、人為的かどうかは不明である。

1は小刀・刀子の茎である。柄木は残存しない。茎は徐々に幅を狭めながら真っ直ぐに延びる。

**P 28出土の金属製品** (図Ⅳ-30・31 表Ⅳ-1・5・6 図版59・60・78)

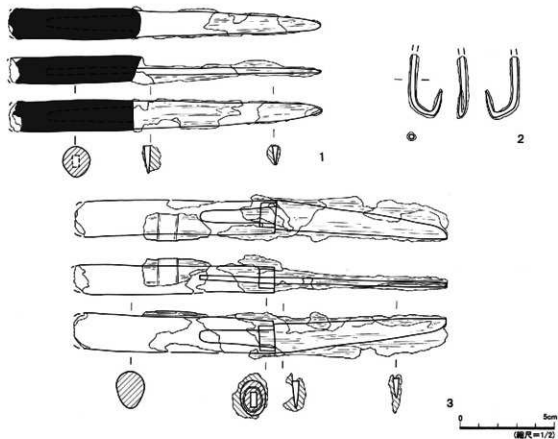
P 28では墳底面上で2点、覆土中から1点の金属製品が出土している。図Ⅳ-31-1・3は墳底中央部で、柄部分を頭位方向に2点並んで出土している。図Ⅳ-31-2は南西壁際、墳底より約18cm上方の覆土中(裏込め土か?)から出土したものである。図Ⅳ-31-1・3は位置関係から見て副葬品と考えられるが、図Ⅳ-31-2は人為的かどうかは不明である。

1は小刀・刀子である。X線写真からは区や茎の形状は不明瞭であるが、区は両区であると推測する。柄は断面倒卵形で、ハバキは確認できない。切先は徐々に細くなり、先端はとがる。鞘の残存状態は悪いが、黒色塗装膜が全面確認できる。2は釣り針である。直線的な輪郭で、2カ所で強く屈曲する。断面は円形である。3は小刀・刀子で、切先を欠く。区は両区で茎は短い。茎は刀身に対してやや斜側に傾く。柄頭の腐蝕が進む以外、柄の残存状態はよい。X線写真では柄元に方形の影が確認できるが、外面からはこの構造をみることができない。刀身を柄に装着する際に、円環状の鉄製部品

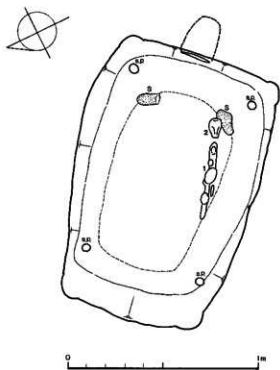


図N-30 P 28

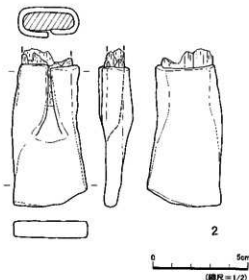
を柄縁に圧入したものと推測する。ハバキ同様、茎を柄に固定する役割を果たすものと推測する。鞘は舌口式で、刀身の周囲には鞘の痕跡とみられる木質が付着する。鞘の残存状態は柄側の方がよく、木質は柄を包むように付着する。また、飾り金具とみられる帯状の金具が柄に残る。



図N-31 P 28出土の金属製品



図Ⅳ-32 P 29

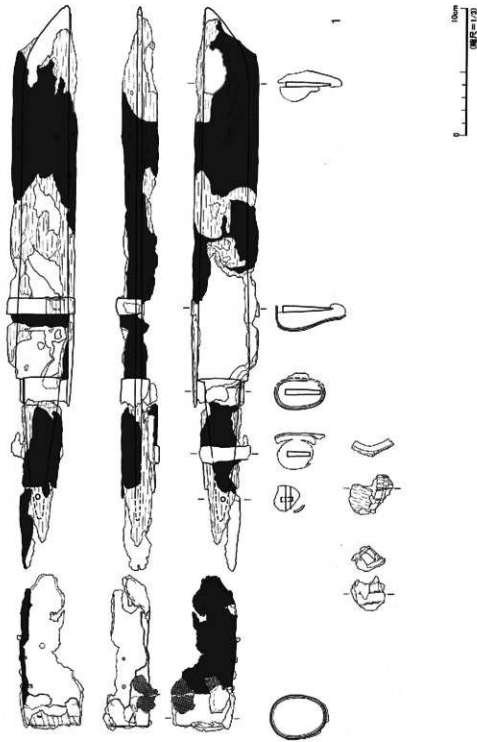


図Ⅳ-33 P 29出土の金属製品(1)

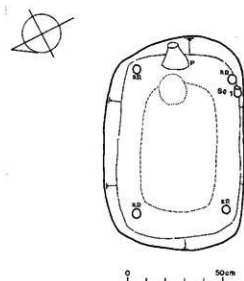
P 29出土の金属製品(図Ⅳ-32・33・34 表Ⅳ-1・2・6 図版60・61)

P 29では墳底面上と覆土中から金属製品が1点ずつ出土している。覆土中出土の鉄片は埋め戻し土に混入したものであろう。図Ⅳ-33・34-1・2はともに墳底面上で出土したもので、図Ⅳ-34-1は柄部分、図Ⅳ-33-2は基部を頭位方向に向け、ほぼ一直線状になって出土したものである。これらは副葬品であろう。

1は平棟平造の小刀・刀子である。柄の中程を欠いており、柄頭側と柄元側は接合しない。刀身に比べ柄が長く、刀身と柄の長さはほぼ等しい。切先はフクラ切先である。区は両区で、茎は先細りながら真っ直ぐに延びる。茎先には目釘穴が設けられる。柄は断面楕円形で、表面には黒色漆塗膜が確認できる。柄頭と柄木には明瞭な境界があり、柄頭は柄木とは別の材質で作られていた可能性がある。また、柄頭の端面は、円形の板をはめ込む構造になっている。柄頭にはアングン織状の織りの粗い布と、織りの細かい平織の布が付着する。柄の刃側の側面には長さ約5mmの錫(スズ)を主成分とする銚が打たれる。柄元にはハバキが装着される。柄元から1/5ほど柄頭に寄ったところに、幅約1cmの板状の金具または樹皮が付着する。本来は帯状に柄に巻かれていたものと推測する。鞘には広範囲に柄に塗られているものと同様の黒色漆塗膜を確認できる。刀身元から1/4のところ足金具が装着され、その上にアングン織状の繊維が付着する。鞘の側面には錫を主成分とする銚が打たれる。これらは形状、大きさともに柄に打たれたものと似る。2は小形の袋状鉄斧である。基部は隅丸方形で、柄の木質が残存する。基部から刃部へ向かう側面のラインは、屈曲や段差が無くなだらかである。



図IV-34 P 29出土の金属製品(2)

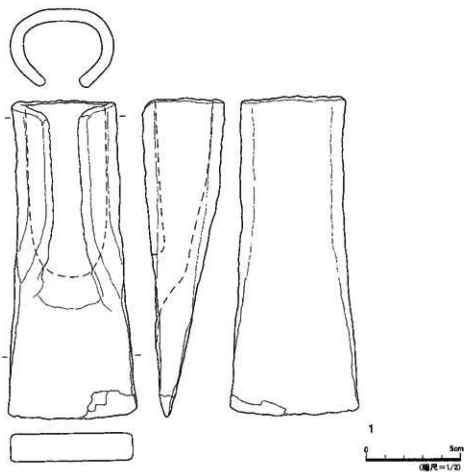


図Ⅳ-35 P 33

P 33出土の金属製品(図Ⅳ-35・36 表Ⅳ-2・6 図版61)

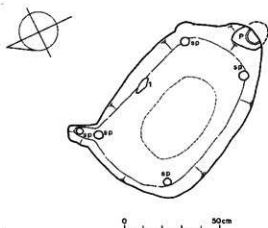
P 33では墳底面で金属製品が2点出土している。図Ⅳ-36-1は墳底の小ピット(南コーナーの小ピット)の壁際で出土したもので、基部を上にはほぼ直立している。木柵外に立てて置かれたもので、副葬品であろう。

1は袋状の鉄斧で、比較的大型のものである。刃部と基部の境界は不明瞭で、基部から刃部にかけての側面は、緩やかに広がりながら延びる。基部の断面は横方向に長い楕円形である。

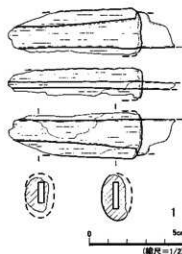


図Ⅳ-36 P 33出土の金属製品





図IV-37 P 68

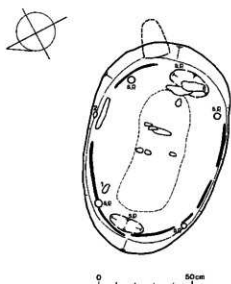


図IV-38 P 68 出土の金属製品

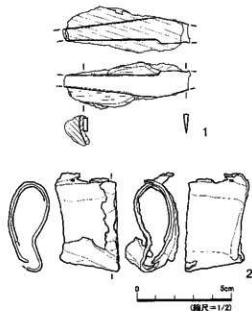
P 68出土の金属製品(図IV-37・38 表IV-1・6 図版62・78)

P 68では墳底直上で金属製品が1点出土している。図IV-38-1は東壁際で出土したもので、副葬品と思われる。

1は小刀・刀子の柄で、刀身がわずかに残存する。区は刃区のみの片区である。茎は棟側が真っ直ぐに延び、刃側が棟側に向かって幅を狭める。柄の残存状態は良好だが、柄元にハバキは確認できない。



図IV-39 P 73



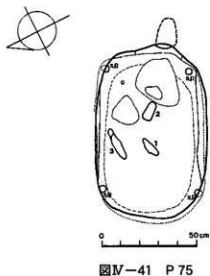
図IV-40 P 73 出土の金属製品

P 73出土の金属製品(図IV-39・40 表IV-1・5・6 図版62・78)

P 73では覆土中から金属製品が8点出土している。図IV-40-1・2はともに覆土4層中からの出土である。覆土4層中、墳底面から10~12cm上方に黒褐色が一層薄く堆積しており、金属製品はその直上から出土したものである。これらは追葬時の副葬品と思われる。

1は小刀・刀子の柄である。X線写真では別の小刀・刀子が付着しているようにも見えるが、肉眼

では確認できない。茎は刃区のみで、刃側は茎と刃部の境界で屈曲する。2は金属製の板を筒状に丸めた鉄製品である。板の厚さは1mm以下である。筒の長径は約5cmで、歪みを考慮に入れた推定の数値であるが、短径は約3cmである。貴金具などの刀装具の可能性もあるが、本遺構から刀剣類は出土していない。

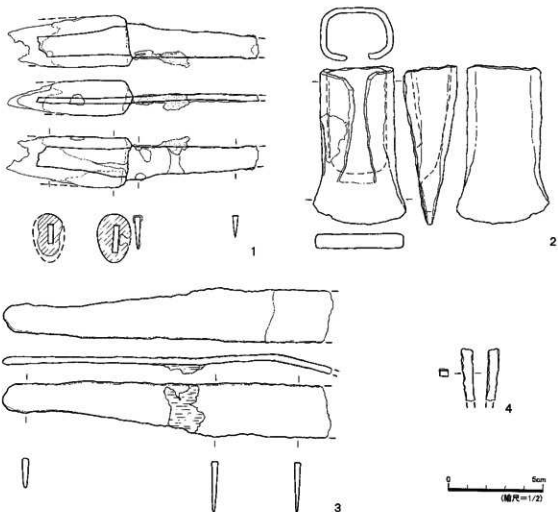


図Ⅳ-41 P 75

P75出土の金属製品(図Ⅳ-41・42 表Ⅳ-1・2・4・5・6 図版63・79)

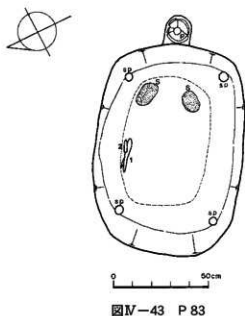
P75では金属製品が墳底面から3点、覆土中から1点出土している。図Ⅳ-42-1・2・3は墳底面から出土したもので、図Ⅳ-42-4は覆土中から出土したものである。図Ⅳ-42-4は埋め戻し土に混入したものであると思われる。図Ⅳ-42-1~3の出土状態は乱雑であるが、遺体付近に置かれた埋葬品であろう。

1は小刀・刀子である。刀身の切先側と柄頭を欠く。区はなく、茎の棟側は真っ直ぐに延びる。茎の刃側は



図Ⅳ-42 P75出土の金属製品

軽く屈曲し、やや内湾気味となる。柄は断面倒卵形で、ハバキは確認できない。刀身の元付近くに骨が付着する。2は小型の袋状鉄斧である。刃部に比べ、基部が大きい。基部の側面は真っ直ぐに延び、刃部は大きく開く。刃部は正面左側が摩耗する。3は鎌である。基部を欠く。先端は丸く、ややふくらむ。刀身の中程に樹皮または獣皮状の有機物が付着する。4は用途不明の鉄製品で、断面は方形である。

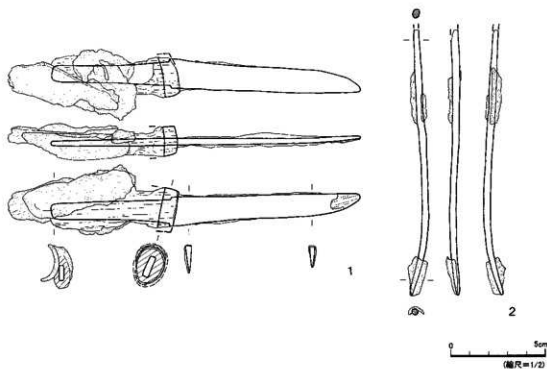


図Ⅳ-43 P 83

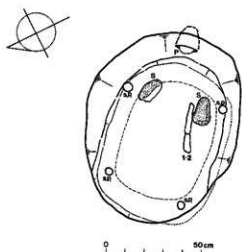
P 83出土の金属製品 (図Ⅳ-43・44 表Ⅳ-1・5・6 図版63・64・79)

P 83では墳底直上と覆土中から金属製品が4点出土している。図Ⅳ-44-1・2は墳底直上(遺体層上)中央部北東寄り、柄部分を頭位方向に向け、一部重なるようにした状態で出土したものである。遺体付近に置かれた副葬品であろう。

1は小刀・刀子である。区は小さな両区で、茎はわずかに幅を狭めながら真っ直ぐに延びる。柄の残存状況は悪く、木質が茎の周囲に付着する。柄には人骨とみられる骨が折り重なって付着する。柄元にはハバキがわずかに残存する。鞘は確認できない。2は細長い針状の鉄製品である。先端部と中央より下には木質または骨が付着する。本鉄製品を包むように付着することから、本製品を収めたケースの一部と推測する。



図Ⅳ-44 P 83出土の金属製品

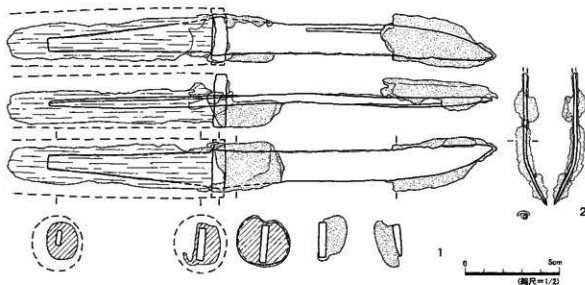


図IV-45 P 84

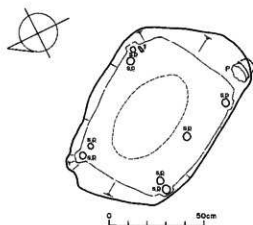
P 84出土の金属製品(図IV-45・46 表IV-1・5・6 図版64・79)

P 84では墳底直上付近で金属製品が2点出土している。図IV-46-1は置き石に刃先が接するような状態で出土したものである。取り上げ時には金属製品が1点と認識していたが、錯落しの結果図IV-46-2が付着していたものである。ともに副葬品であろう。

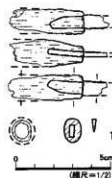
1は小刀・刀子である。切先は棟側に反り上がる。区は両区で、茎は真っ直ぐに延びる。柄元には幅約5mmの円環状のハバキが装着される。鞘は柄元と切先付近に残存する。空隙の多い多孔質の材質であることから、骨または角製と考える。2は針金状の鉄製品である。本体の金属部分を覆うように骨が付着する。骨製の容器に納められた針の可能性はある。



図IV-46 P 84出土の金属製品



図IV-47 P 85



図IV-48 P 85出土の金属製品

P 85出土の金属製品（図IV-47・48 表IV-1・6 図版64）

P 85では覆土中から金属製品が1点出土している。図IV-48-1は塙底の小ビット（東コーナーの小ビット）の壁際、塙底から約25cmほど上方の覆土中で出土したものである。木椽外に置かれた副葬品と思われる。

1は小刀・刀子である。元付近を除く刀身のほとんどと、柄頭を欠く。茎の形状ははっきりしないが、区をもたない構造と推測する。ハバキは確認できない。

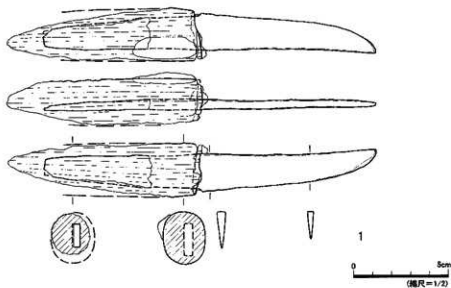


図IV-49 P 89

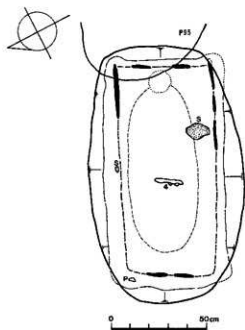
P 89出土の金属製品（図IV-49・50 表IV-1・6 図版64・65・79）

P 89では塙底直上付近から金属製品が1点出土している。図IV-50-1は南壁際で柄部分を頭方向に向け、水平の状態出土したものである。木椽外に置かれた副葬品と思われる。

1は小刀・刀子である。刀身は切先付近で反りをもつ。柄元が破損しており、区の形状は不明瞭であるが、刃区が存在が確認できる。茎は幅を狭めながら真っ直ぐに延びる。柄は良好に残存するが、柄頭付近は収縮により先細りする。



図IV-50 P89出土の金属製品

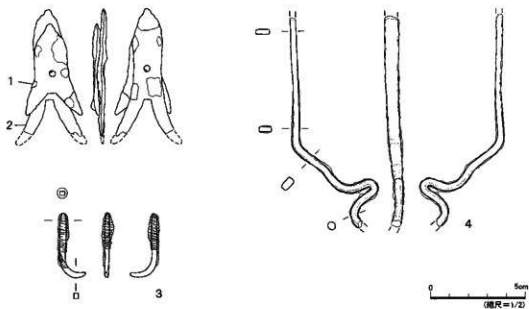


図IV-51 P94

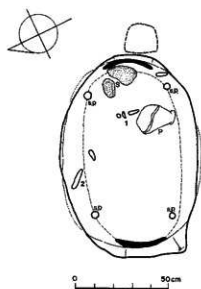
**P94出土の金属製品** (図IV-51・52 表IV-3・5・6 図版65)

P94では壙底直上付近と覆土中から金属製品が4点出土している。図IV-52-1・2・3は覆土3層中出土のもので、埋め戻し土に混入していたもので、人為的かどうかは不明である。図IV-52-4は遺体層上で出土したもので、遺体付近に置かれた副葬品と思われる。

1、2は返しを有する無茎の鉄鎌である。2個体が固く癒着しており、分離できない。いずれも鎌身部に直径約3mmの孔があげられる。鎌身部の幅はどちらもほぼ同じであるが、長さは2の方が長く、返しも大きい。3は釣り針である。断面は方形で、根本付近には紐が巻かれる。紐は直径1～1.5mmで右捻りである。4は細長い針金状の鉄板を折り曲げた鉄製品で、用途は不明である。真っ直ぐに延びる部分と、屈曲する部分からなり、真っ直ぐに延びる部分は断面長方形、屈曲する部分では断面円形となる。



図IV-52 P94出土の金属製品

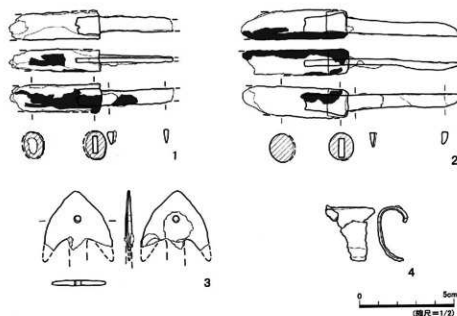


図IV-53 P97

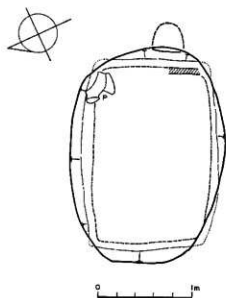
**P97出土の金属製品** (図IV-53・54 表IV-1・3・5・6 図版65・67・79)

P97では塘底直上と覆土中から金属製品が10点出土している。図IV-54-1・2は塘底直上で出土したもので、図IV-54-1は頭付近、図IV-54-2は北東壁側で出土したものである。ともに副葬品と思われる。図IV-54-3・4は覆土2層から出土したもので、埋め戻し土に混入していたものである。人為的なものかどうかは不明である。

1は小刀・刀子で切先を欠く。区はなく、茎は短い。柄には黒色漆塗膜が塗られる。鞘は残存しない。2は小刀・刀子である。柄頭が若干破損する。茎は棟側では真っ直ぐに延びるが、刃側では段をもち、刀身より幅広となる。柄には黒色漆塗膜が塗られる。肉眼ではハバキを確認できないが、X線写真では柄元にハバキ状の影が見える。刀身は厚みがあり、幅が狭く、長さが短い。3は大型の鉄鎌または鋤頭である。鎌身部は幅広で、中央には直径約3mmの孔があけられる。4は厚さ5mm前後の細鉄板を屈曲させた鉄製品である。刀剣類の刀装具を連想させるが、本遺構から刀剣類は出土していない。



図IV-54 P 97出土の金属製品



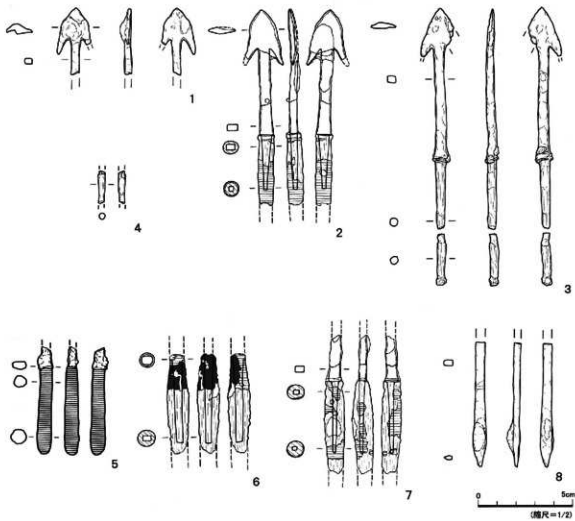
図IV-55 P 102

P 102出土の金属製品(図IV-55・56 表IV-3・5・6 図版66・67・79)

P 102では覆土中から金属製品が7点出土している。図IV-56-1・2・3・4・5・6・7は覆土2層(埋め戻し土)上面付近で礫とともに出土したものである。とくにまとまった出土状態ではないが、出土層位などから見て、埋葬儀礼にともなう、意識的に埋められたものと思われる。

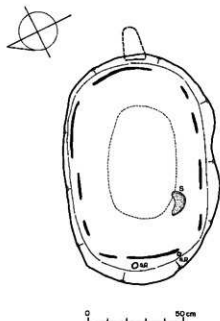
1は返しをもつ有茎の鉄鏃である。2は有茎の鉄鏃で、茎は長く、鏃身部には返しを有する。鏃身部は比較的小さい。茎は鏃身部と茎先の中間付近で段をもち、先細りしながら延びる。段より先で着柄されており、矢柄には樹皮が巻かれ、黒色漆塗膜が残存する。3は返しを有する有茎の鉄鏃である。茎は中央付近で一段細くなり、中柄の木質が付着する。4は釘状の鉄製品である。両端を欠く。5は鉄鏃の茎である。中柄が残存する。中柄の上から樹皮が巻かれる。6は鉄鏃の茎である。着柄されており、矢柄の鏃身部側には樹皮が巻かれ、その上から黒色漆塗膜が塗られる。7は鉄鏃の茎部分で、2と似た長



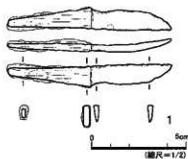


図IV-56 P 102出土の金属製品

い茎を有する。茎は先側2/3のところを着柄される。着柄された部分は段をもち、先細りしながら延びる。矢柄には樹皮が巻かれ、その上から木質のような有機物が付着する。8は鉄製の茎である。



図IV-57 P 103



図IV-58 P 103出土の金属製品

P 103出土の金属製品(図IV-57・58 表IV-1・6 図版66)

P 103では覆土中から金属製品が1点出土している。図IV-58-1は覆土4層上面付近で、焼土、礫とともにほぼ同一面で出土したものである。焼土や礫などの出土状態などから見て、埋葬儀礼にともなうものと思われる。

1は小刀・刀子である。区はなく、茎の棟側は真っ直ぐに延び、刃側は刃部との境界で軽く屈曲する。刀身の元付近は研ぎ減りのため内湾する。柄はほとんど残存せず、木質が茎の周囲に付着する。切先は棟側からみて左に曲がる。意図的なものか、土圧などで変形したものかは不明である。

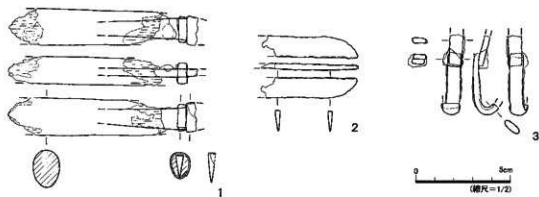


図IV-59 P 111

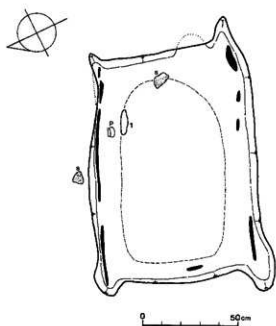
P 111出土の金属製品 (図IV-59・60 表IV-1・5・6 図版66・80)

P 111では墳底面と覆土中から金属製品が3点出土している。図IV-60-1・2は覆土2層上面付近で出土したものである。図IV-60-3は墳底面で出土したものである。図IV-60-1・2は墳底面より約10cmほど上で出土しているが、位置的に見て、図IV-60-3とも副葬品と考えて良いであろう。

1は小刀・刀子である。2と同一個体の可能性はある。区は両区で、茎は幅を狭めながら真っ直ぐに延びる。茎先を欠損する。柄は柄元と柄頭付近を欠き、柄元にはハバキが残存する。ハバキは幅約4mmの円環で、刃側に切れ目をもつ。柄元に板状の鉄板を巻き付けた構造である。2は小刀・刀子の切先である。3は用途不明の鉄製品で、2つの細長い鉄板が錆により癒着している。片方の先端はU字状に折り曲げられる。どちらも厚さは約3mmで、刃はつけられない。



図IV-60 P 111出土の金属製品

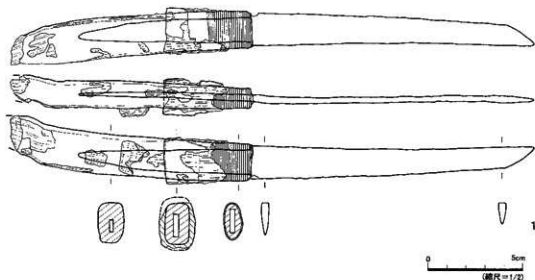


図M-61 P 117

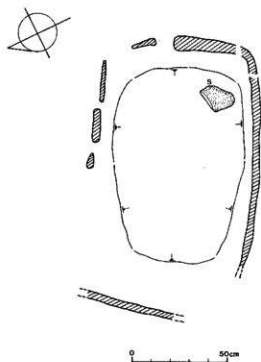
P 117出土の金属製品(図Ⅳ-61・62 表4-1・6 図版66・80)

P 117では墳底面から金属製品が1点出土している。図Ⅳ-62-1は頭部付近で、柄部分を頭部方向に向け、墳底面上で出土したものである。遺体付近におかれた副葬品であろう。

1は小刀・刀子である。刀身は切先に向かって幅を狭め、棟側に反る。区は両区で、茎は幅を狭めながら真っ直ぐに延びる。柄は断面隅丸方形で、棟側に反る。柄元は断面楕円形で、樹皮状の繊維が巻かれる。鞘木は柄元にもみ残存し、断面は柄木と同じく隅丸長方形である。呑口式の鞘である。



図M-62 P 117出土の金属製品

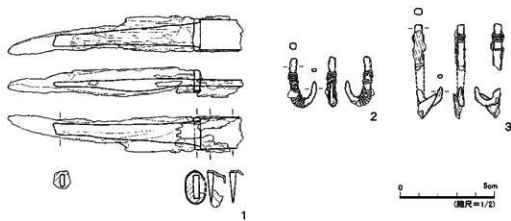


図M-63 P 120

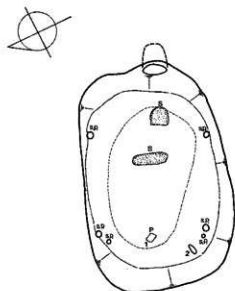
P 120出土の金属製品 (図IV-63・64 表IV-1・5・6 図版68・80)

P 120では検出面から金属製品が3点出土している。図IV-64-1・2・3はすべて検出面からの出土である。検出面は墳底から10~15cmほど上方であり、副葬品であるかどうかは不明である。ただ検出時にはひとかたまりの出土状態であった。

1は小刀・刀子である。刀身は大半を欠損し、元付近のみ残存する。区は両区で、茎はわずかに棟側に向かって反る。柄元には幅約5mmハバキが装着される。ハバキの表面には緑錆が浮いていることから、銅製と推測する。鞘の残存状態は悪く、木質が刀身に付着する。鞘の木質の一部が柄元に被さっていることから、呑口式の可能性がある。2は釣り針で、断面は方形である。根本からS燃りの屈曲部の間にZ燃りの糸が巻かれる。3は釣り針である。根本には糸が巻かれる。根本と屈曲部に木質が付着するが、別の遺物の一部が付着したものとする。根本と針先は接合しないが、同一個体と判断した。



図M-64 P 120出土の金属製品

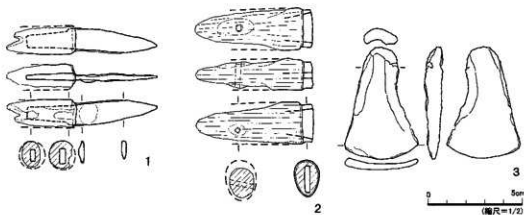


図IV-65 P 121

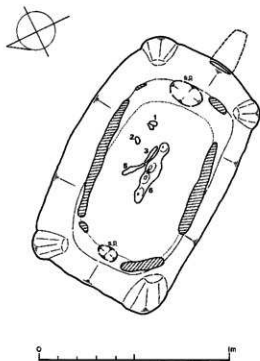
P 121出土の金属製品(図IV-65・66 表IV-1・2・6 図版68・80)

P 121では覆土中から金属製品が3点出土している。図IV-66-1・2は北西壁側の覆土中からの出土で、図IV-66-1は土器片の下から出土したものである。墳底面より約10cmほど上方に薄く褐色粘質土(遺体層)があり、図IV-66-1・2はこの土の上面付近で出土したものである。追葬時の副葬品と思われる。図IV-66-3は覆土3層中の出土で、埋め戻し時に混入していたもので、人為的かどうかは不明である。

1は小刀・刀子またはヤリガンナと推測される鉄製品である。刀身は両刃もしくは棟が明瞭に作り出されないものである。区は両区で、ハバキは確認できない。2は小刀・刀子の柄である。刀身と茎は残存せず、茎の痕跡が空洞として残る。柄元にはハバキが装着される。3は小型の鉄斧である。基部は袋状ではなく、軽く曲げられ、浅いU字形となる。



図IV-66 P 121出土の金属製品



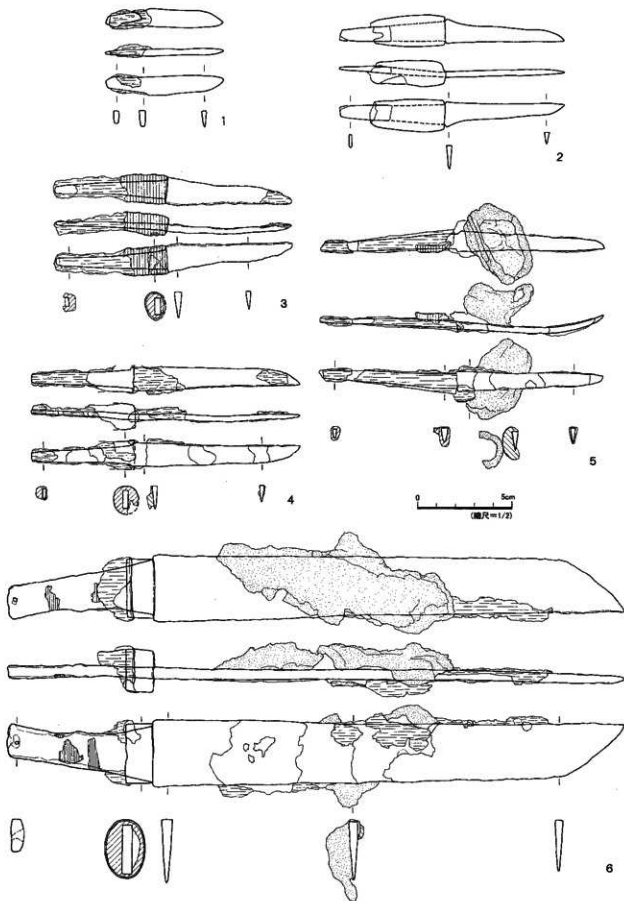
図IV-67 P 125

P 125出土の金属製品 (図IV-67・68 表IV-1・6 図版68・69・80)

P 125では墳底面で金属製品が6点出土している。図IV-68-4・6は墳底中央部、柄部分を頭位方向に向けており、図IV-68-4は6の上に重なって出土している。図IV-68-3・5も柄部分を頭位方向に向けており、図IV-68-1・2などととも遺体のそばに置かれた副葬品であろう。

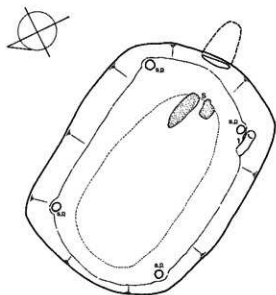
1は小刀・刀子である。区はなく、茎と刃部の境界では刃側が軽く屈曲する。柄は残存せず、茎の周囲に柄木の痕跡である木質が付着する。2は小刀・刀子である。区は小さな両区で、茎は若干棟側に反り上がる。柄は柄頭側の約半分を欠く。鞘は確認できない。3は小刀・刀子である。区は両区で、茎は若干幅を狭めながら真っ直ぐに延びる。柄元には樹皮が巻かれる。刀身の棟側は真っ直ぐに延び、刃側は刀身中央で緩く内湾する。4は小刀・刀子である。刀身は

真っ直ぐに延び、切先はフクラ切先である。区は両区で、刃区に比べて棟区が大きい。茎は真っ直ぐに延びる。柄木は柄元付近に残存し、ハバキは確認できない。鞘はほとんど残存せず、刀身に鞘の痕跡である木質が付着する。5は小刀・刀子である。切先は棟側からみて左に曲がる。区は棟側のみの片区で、刃側は刀身との境でわずかに屈曲する。茎は先細りながら真っ直ぐに延びる。柄は残存せず、茎の周囲に柄木の痕跡と思われる木質が付着する。黒色漆塗膜が確認される。鞘は樹皮が巻かれ、鞘口付近のみ残存する。鞘木の一部は柄側に延びて柄元を覆うことから、呑口式と考える。鞘には遺体の一部と考えられる骨が付着する。6は平棟平造の小刀・刀子で、切先は比較的直線的だがフクラ切先である。区は両区で、茎は若干棟側に反る。茎の先には目釘穴がつけられる。目釘は残存しない。柄木の残存状態は悪いが、柄元は比較的良好に残っており、ハバキが確認できる。黒色漆塗膜が確認された。鞘は残存せず、刀身に木質が付着する。刀身には遺体の一部とみられる骨が付着する。



図M-68 P 125出土の金属製品



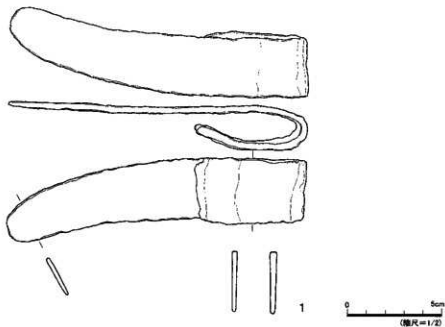


図IV-69 P 127

P 127出土の金属製品（図IV-69・70 表IV-4・6図版70）

P 127では墳底面から金属製品が1点出土している。図IV-70-1は墳底の小ピット（南西コーナーの小ピット）の壁際に基部を上にし、直立していた。わずかに刃部が墳底中に入り込んでいた。木槨外に立てられた副葬品であろう。

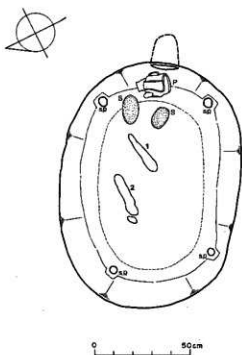
1は鎌である。基部を折り曲げて着柄部を作り出している。



図IV-70 P 127出土の金属製品

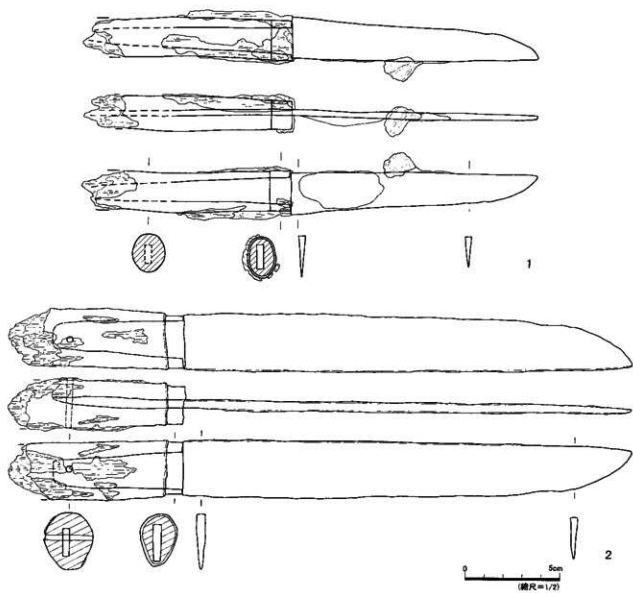
P129出土の金属製品(図Ⅳ-71・72 表Ⅳ-1・6 図版70・71・81)

P129では墳底面から金属製品が2点出土している。図Ⅳ-72-1・2とも柄部分を東方向にし、ほぼ平行した状態で、中央部付近で出土している。遺体のそばに置かれた副葬品であろう

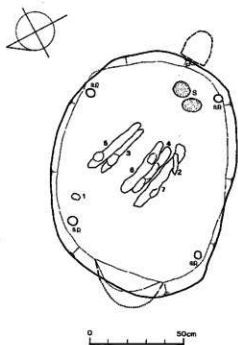


図Ⅳ-71 P129

1は小刀・刀子である。区は両区で茎は幅を狭めながら真っ直ぐに延びる。茎先は確認できない。柄元にはハバキが装着される。刀身に鞘は確認できないが、柄に鞘の痕跡とみられる木質が付着することから、呑口式の鞘の納められていた可能性がある。刀身中程の棟側に、骨が付着する。人骨の可能性が高い。2は平棟平造の小刀・刀子である。刀身は真っ直ぐに延び、切先はフクラ切先である。区は両区で、先細りながら真っ直ぐに延びる。茎先に目釘穴をもち、柄の表面に目釘を確認できる。柄元は一段削り込まれ、ハバキが装着される。柄の上には木質が付着する。別の遺物の一部が付着したものか、本遺物に直接関係するものかどうかは不明である。鞘は残存しない。



図N-72 P 129出土の金属製品



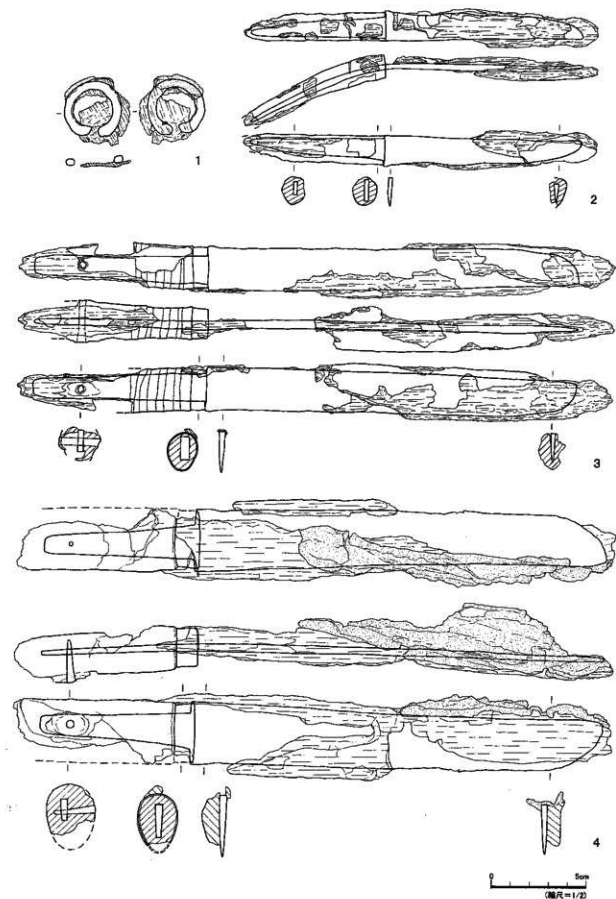
図Ⅶ-73 P 130

P 130出土の金属製品(図Ⅶ-73・74・75・76・77  
表Ⅶ-1・5・6 図版71・72・73・81・82)

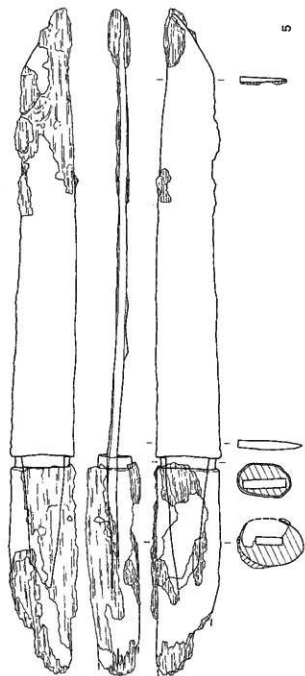
P 130では壕底直上から金属製品が7点出土している。図Ⅶ-74-1は環、図Ⅶ-74-2は図Ⅶ-77-7の上に重なっており、他は柄部分を置き石方向に向けて、ほぼ中央部から出土している。副葬品であろう。

1は直径約3.5cmの環である。断面は長方形で、環の一方所に幅約3cmの隙間がある。骨または角と、樹皮状の木質が付着する。本環に直接関連するものが、遺体や別の遺物の一部が付着したものは不明である。2は平棟平造の小刀・刀子である。棟側の柄元からみて全体が大きく右へ湾曲する。意図的に曲げられたものか、土圧などで変形したものかは不明である。区は両区で茎は棟側が真っ直ぐに伸び、刃側は棟寄りに幅を狭める。柄は断面楕円形で、柄元にハバキは確認できない。鞘の残存状況は悪く、刀身の切先付近に木質が付着する。3は平棟平造の小刀・刀子で、切先はフクラ切先である。区は両区で、茎は幅を狭め

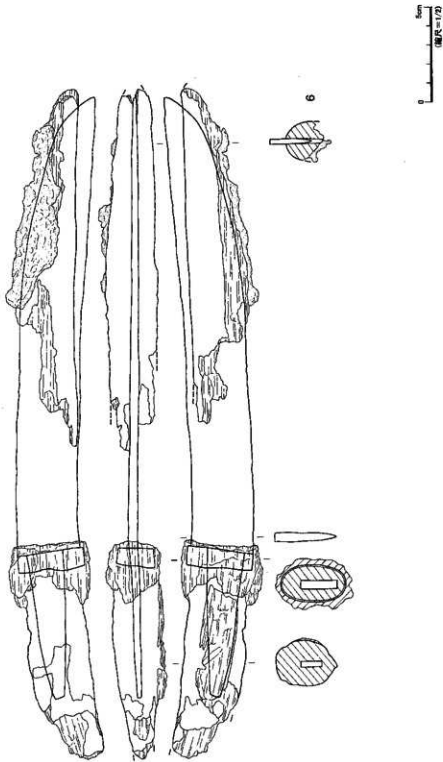
ながら真っ直ぐに伸びる。茎先には目釘穴が設けられ、柄元にはハバキが装着され、柄元から柄の中央付近までは樹皮が巻かれる。幅5~7mmで、柄元から柄頭に向かって巻き上げられる。鞘は刀身の真ん中から切先側に残存する。鞘木の痕跡とみられる木質が柄元を覆うことから、呑口式の鞘の可能性はある。4は平棟平造の小刀・刀子で、切先はフクラ切先である。区は両区で、茎は幅を狭めながら真っ直ぐに伸びる。茎先には目釘穴が設けられる。目釘は柄の裏側からは確認できないことから、表側から打ち込まれ、裏側には貫通していないものと考えられる。柄元は一段細くなり、ハバキが装着される。鞘木の一部が柄元を覆っていることから、呑口式の鞘と考える。鞘の切先寄りには人骨とみられる骨が付着する。5は平棟平造小刀・刀子である。切先はフクラ切先だが、直線的である。区は両区で、茎は幅を狭めながら真っ直ぐに伸びる。茎先の形状は確認できない。柄は本体とそこから被さるカバー状の部分からなる。カバー状の部分の材質は不明である。柄元には幅6mmのハバキが装着される。鞘は残存せず、刀身に鞘の痕跡とみられる木質が付着する。6は平棟平造の小刀・刀子で、切先はフクラ切先である。柄から刀身にかけて全体に反りをもつ。区は両区で、棟区が大きい。柄元には柄木とは別の木材が付着する。柄元はこの木材に覆われており、ハバキは肉眼では確認できないが、X線写真からはハバキ状の円筒形の構造物が柄元に装着されているのが確認できる。鞘は刀身の切先側に残存する。腐食のため、全体が刃側にずり落ちる。鞘の外側には人骨とみられる骨が付着する。7は平棟平造の小刀・刀子である。鞘、柄ともに黒色漆塗膜が全面に塗られる。刀身はわずかに反りもち、切先はフクラ切先である。区は両区で、茎は棟側に反る。柄は断面倒卵形で、柄元から3/4のところ棟側に屈曲する。柄全体に幅5~9mmの樹皮状の巻物が巻かれる。巻きの密度は粗く、ほどけかけたような状態である。これらの巻物にも、柄や鞘とよく似た黒色漆塗膜が塗られる。柄元の構造は肉眼で確認できないが、X線写真から柄元にハバキ状の構造物が装着されているのが確認できる。鞘には遺体の一部とみられる骨が付着する。



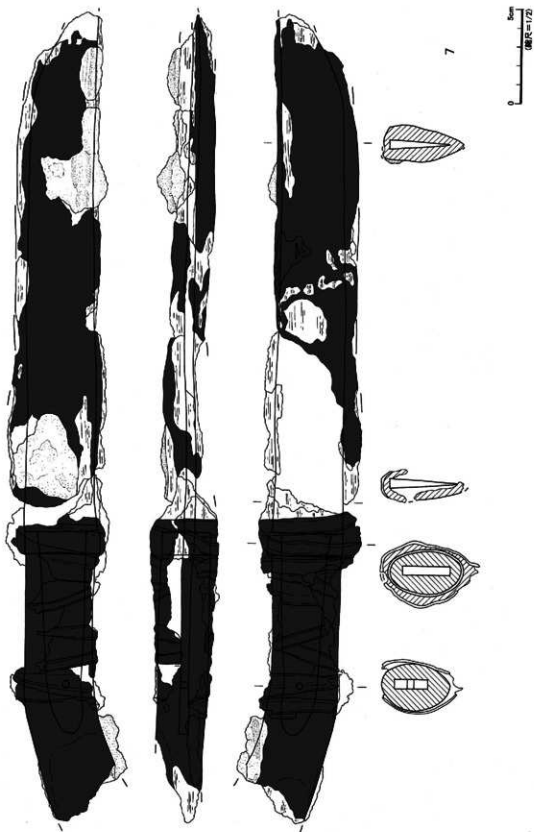
図M-74 P130出土の金属製品(1)



図IV-75 P 130出土の金属製品(2)



図IV-76 P 130出土の金属製品(3)

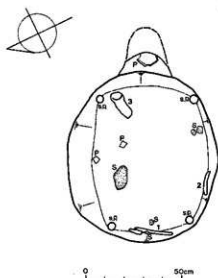


図IV-77 P 130出土の金属製品(4)



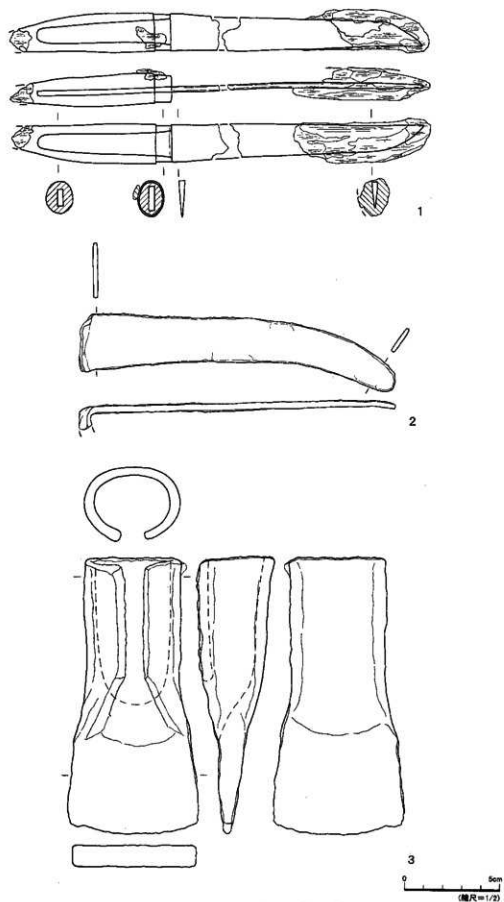
P 143出土の金属製品 (図IV-78・79 表IV-1・2・4・6 図版72・74・82)

P 143では壙底直上付近から金属製品が4点出土している。図IV-79-1・2は壁際から出土し、図IV-79-3は壙底の小ピット(東コーナーの小ピット)の横で、基部を上にし、ほぼ直立する状態で出土した。これらは木柙外に置かれたものと思われる。副葬品であろう。

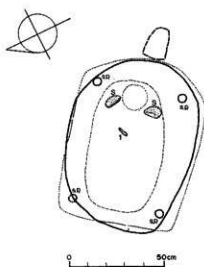


図IV-78 P 143

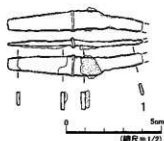
1は平棟平造の小刀・刀子である。刀身は幅に比べて薄い。区は両区で茎は幅を狭めながら真っ直ぐに延びる。柄元にはハバキが装着される。鞘は切先付近に残存する。柄元にも木質が付着しており、この木質が鞘木だとすると、呑口式の鞘の可能性がある。2は鎌である。基部は破損しているが、折り曲げてソケット状の着柄部を作り出すものである。刀身は基部から切先側2/3までは真っ直ぐに延び、先端は強く屈曲する。3は比較的大型の袋状鉄斧である。基部から刃部にかけては緩やかに広がり、明瞭な段差をもたない。基部の断面は円形である。



図N-79 P143出土の金属製品



図IV-80 P 145

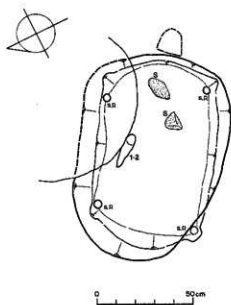


図IV-81 P 145出土の金属製品

## P 145出土の金属製品（図IV-80・81 表IV-1・6 図版74）

P 145では墳底面から金属製品が1点出土している。図IV-81-1は墳底中央部付近で出土したもので、副葬品であろう。

1は小刀・刀子である。柄、鞘ともに残存しない。区はなく、茎は刀身との境で緩く屈曲する。茎と刀身の境界にはハバキの痕跡が残る。刀身は元から約1cmのところ幅を減じ、切先に向かって真っ直ぐに延びる。

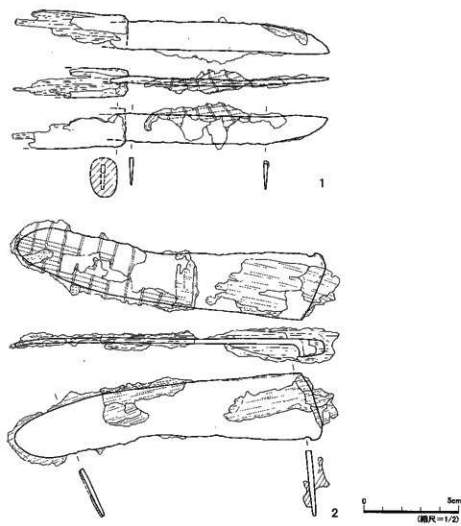


図IV-82 P 146

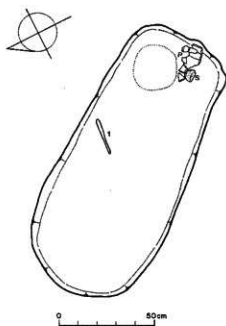
## P 146出土の金属製品（図IV-82・83 表IV-1・4・6 図版75・82）

P 146では墳底面と覆土中から金属製品が3点出土している。図IV-83-1・2は中央部北東壁寄りのところで、1と2が上下に重なって（1が上）出土したもので、1は柄部分を頭位方向に向けていた。遺体のそばに置かれた副葬品であろう。

1は小刀・刀子である。柄と茎を大きく破損する。断定はできないが区をもたないものと推測する。刀身にはアングン（Z燃り）織り状の布と、樹皮又は獣皮とみられる薄い皮が付着する。2は鎌である。刀身は中程から緩やかに湾曲する。基部はソケットを作り出すための屈曲部がわずかに残る。刀身にはアングン（Z燃り）織り状の布が付着する。1とともに布に包まれた状態で埋納されていたものと推測する。



図N-83 P146出土の金属製品

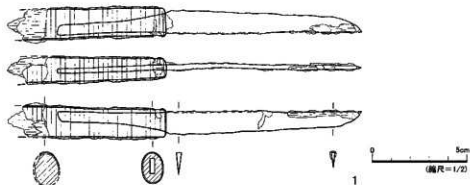


図Ⅳ-84 P 150

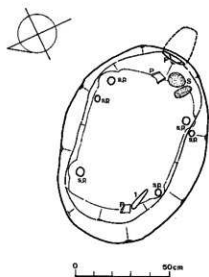
P 150出土金属製品（図Ⅳ-84・85 表Ⅳ-1・6 図版75・82）

P 150では墳底面から金属製品が1点出土している。図Ⅳ-85-1は柄部分を壁側にしている。遺体のそばに置かれた副葬品であろう。

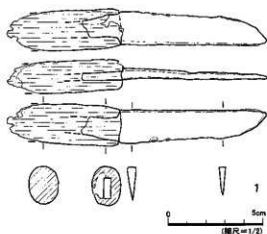
1は小刀・刀子である。区は片区で、刃側に小さな区をもつ。茎は棟側は真っ直ぐに延び、刃側は内湾し、徐々に幅を狭める。柄には樹皮が巻かれ、幅約5mmの樹皮を柄元から柄頭に向かって巻き上げる。鞘は残存せず、切先に鞘の痕跡とみられる木質が付着する。



図Ⅳ-85 P 150出土の金属製品



図Ⅳ-86 P 203



図Ⅳ-87 P 203出土の金属製品

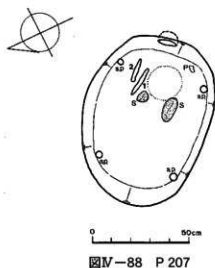
P 203出土の金属製品(図Ⅳ-86・87 表Ⅳ-1・6 図版76・82)

P 203では覆土中から金属製品が1点出土している。図Ⅳ-87-1は北西コーナー付近、墳底から約10cmほど上の覆土中から出土したものである。木柩外に置かれた副葬品であろう。

1は小刀・刀子である。刀身は幅広く真っ直ぐに延びる。切先はフクラ切先である。区は両区で茎の形状は不明である。

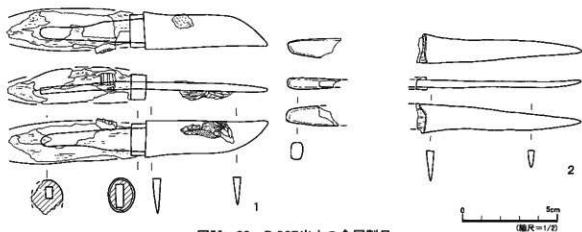
## P 207出土の金属製品 (図IV-88・89 表IV-1・6 図版76・82)

P 207では墳底面から金属製品が2点出土している。図IV-89-1・2とも頭部付近でまとまって出土している。遺体のそばに置かれた副葬品であろう。



図IV-88 P 207

1は小刀・刀子である。刀身は長さ要比幅広である。区は両区で、茎はやや刃側に湾曲する。茎は長く、刀身長とほぼ等しい。柄の残存状況は良くないが、紐巻きの痕跡が残る。柄元には幅8mmの円環状のハバキが装着される。鞘は残存しない。刀身には繊維質の物質が付着する。2は小刀・刀子である。刀身と茎が残存する。切先は細くとがる。茎の刀身側が残存しないため、区の状態ははっきりしない。刃側のみの片区と判断した。区付近には柄木の痕跡とみられる木質が付着する。



図IV-89 P 207出土の金属製品

表Ⅴ-1 土壌器掲載直刀、小刀・刀子一覽

遺構番号	図番号	層位	名称	全長 (cm)	刀身長 (cm)	茎長 (cm)	刀身光 幅(cm)	刀身元 幅(cm)	刀身元 厚(cm)	茎先幅 (cm)	茎元幅 (cm)	茎先厚 (cm)	整理 番号	取上 げ番号
P3	図Ⅳ-7-1	壙底直上	小刀・刀子	27.40	20.05	7.35	2.40	2.92	0.43	1.20	2.55	0.35	1	2
P5	図Ⅳ-9-2	壙底直上	小刀・刀子										8	5
P5	図Ⅳ-9-3	壙底直上	小刀・刀子										9	5
P6	図Ⅳ-11-8	壁	小刀・刀子				0.85						16	5
P7	図Ⅳ-13-1	壙底直上	小刀・刀子		8.80		0.75	1.80	0.30	0.40	0.60	0.25	1	4
P7	図Ⅳ-13-2	壙底直上	小刀・刀子					1.80	0.30	0.50	0.90	0.35	2	4-2
P9	図Ⅳ-15-1	壙底直上	小刀・刀子	19.90	12.90	7.00	1.00	1.90	0.40	0.50	0.70	0.45	1	1
P14	図Ⅳ-17-1	壙底直上	小刀・刀子	13.80	9.20	4.60	1.00	1.50	0.30	0.70	1.40	0.20	3	6
P14	図Ⅳ-17-2	壙底面	小刀・刀子	16.30	9.30	7.00	1.20	1.90	0.40	1.00	1.60	0.30	2	5
P16	図Ⅳ-19-1	壙底面	小刀・刀子	13.80	7.30	6.50	0.50	1.10	0.30	0.30	0.70	0.20	3	6
P16	図Ⅳ-19-2	壙底面	小刀・刀子	15.80	9.00	6.80	0.50	1.11	0.45	0.40	0.70	0.30	4	7
P19	図Ⅳ-21-1	壙底直上	小刀・刀子			6.10		1.70	0.40	0.70	1.10	0.20	1	4
P21	図Ⅳ-23-1	壙底直上	小刀・刀子	15.30	8.60	6.70	0.80	1.30	0.20	0.50	0.80	0.20	1	2
P22	図Ⅳ-25-1	壙底直上	小刀・刀子	15.00	9.25	5.75	0.70	1.50	0.30	0.50	0.80	0.20	2	3
P24	図Ⅳ-29-1	覆土上層	小刀・刀子									0.20	1	
P28	図Ⅳ-31-1	壙底直上	小刀・刀子		10.00		0.90	1.50	0.40				2	4
P28	図Ⅳ-31-3	壙底直上	小刀・刀子	13.50	9.10	4.40	0.70	1.50	0.30	0.60	0.90	0.25	3	5
P29	図Ⅳ-34-1	壙底面	小刀・刀子	40.30	29.50	10.80	3.60	4.10	0.50	0.75	2.80	0.40	2	3-1-4
P68	図Ⅳ-38-1	壙底直上	小刀・刀子					1.90	0.40		1.50		1	8
P73	図Ⅳ-40-1	覆土	小刀・刀子					1.30	0.23		1.20		1	1
P75	図Ⅳ-42-1	壙底面	小刀・刀子					1.70	0.30		1.50		2	2
P83	図Ⅳ-44-1	壙底面	小刀・刀子	16.30	10.00	6.30	1.65	1.55	0.38	0.84	1.20	0.30	4	4
P84	図Ⅳ-46-1	壙底面	小刀・刀子	23.50	14.80	8.70	2.00	2.00	0.50	0.70	1.80	0.30	1-1	3
P85	図Ⅳ-48-1	覆土	小刀・刀子			1.80		0.70	0.30	0.50	0.60	0.25	1	1
P89	図Ⅳ-50-1	壙底直上	小刀・刀子	17.70	9.30	8.40	1.10	1.90	0.50	1.00	1.80	0.30	1	2
P97	図Ⅳ-54-1	壙底直上	小刀・刀子					0.80	0.25	0.85	0.90	0.20	6, 8	7
P97	図Ⅳ-54-2	壙底直上	小刀・刀子	8.20	6.00	2.20	0.65	0.80	0.30	0.80	1.05	0.30	9, 10	8, 9
P103	図Ⅳ-58-1	覆土中位	小刀・刀子	9.20	4.30	4.90	0.90	1.00	0.30	0.40	1.05	0.30	1	2
P111	図Ⅳ-60-1	壙底直上	小刀・刀子					1.50	0.40		1.15		2	2
P111	図Ⅳ-60-2	壙底直上	小刀・刀子				1.00						2	2
P117	図Ⅳ-62-1	壙底面	小刀・刀子	24.20	15.10	9.10	1.10	1.70	0.40	0.55	1.30	0.15	1	3
P120	図Ⅳ-64-1	検出面	小刀・刀子			7.70		1.60	0.35	0.60	1.30	0.20	3	
P121	図Ⅳ-66-1	壙底直上	小刀・刀子	6.90	4.70	2.20	1.00	1.10	0.25	0.65	0.80	0.20	3	5
P121	図Ⅳ-66-2	覆土	小刀・刀子								1.60		2	4
P125	図Ⅳ-68-1	壙底面	小刀・刀子	6.20	4.00	2.20	0.80	1.00	0.40	0.60	0.80	0.30	2	2
P125	図Ⅳ-68-2	壙底面	小刀・刀子	11.80	6.30	5.50	0.60	1.25	0.30	0.60	1.05	0.30	1	1



遺構番号	図番号	層位	名称	全長 (cm)	刀身長 (cm)	茎長 (cm)	刀身元 幅(cm)	刀身元 幅(cm)	刀身元 厚(cm)	茎先幅 (cm)	茎元幅 (cm)	茎先厚 (cm)	整理 番号	取り上 げ番号
P125	図IV-68-3	壙底面	小刀・刀子	12.50	6.60	5.90	0.60	1.40	0.40	0.40	1.00	0.20	6 4	6 4
P125	図IV-68-4	壙底面	小刀・刀子	14.20	8.80	5.40	0.80	1.20	0.35	0.50	1.00	0.30	5	5
P125	図IV-68-5	壙底面	小刀・刀子		8.20		0.65	1.10	0.40	0.80			3	3
P125	図IV-68-6	壙底面	小刀・刀子	32.50	24.80	7.70	2.70	3.50	0.60	1.70	2.80	0.70	4	4
P129	図IV-72-1	壙底面	小刀・刀子		13.10		1.46	2.20	0.30	1.35			1	4
P129	図IV-72-2	壙底面	小刀・刀子	30.70	23.80	6.90	2.30	2.90	0.50	1.40	1.95	0.30	2	5
P130	図IV-74-2	壙底面	小刀・刀子	17.60	10.40	7.20	0.90	1.60	0.25	0.35	1.10	0.18	7	8
P130	図IV-74-3	壙底面	小刀・刀子	28.50	19.40	9.10	1.25	12.30	0.45	9.93	1.95	0.26	3	5
P130	図IV-74-4	壙底面	小刀・刀子	29.40	21.49	7.91	2.65	3.34	0.40	1.04	1.70		5	7
P130	図IV-75-5	壙底面	小刀・刀子		23.40		2.50	3.40	0.50	2.20			2	4
P130	図IV-76-6	壙底面	小刀・刀子	31.90	24.05	7.85	2.05	3.30	0.50	0.60	1.90	0.30	4	6
P130	図IV-77-7	壙底面	小刀・刀子	38.50	27.90	10.60	3.30	3.20	0.55	1.65	2.60	0.50	6	8
P143	図IV-79-1	覆土壁	小刀・刀子	20.76	13.30	7.46	1.25	1.90	0.30	0.80	1.80	0.25	3	11
P145	図IV-81-1	壙底面	小刀・刀子			3.40		1.00	0.30	0.70	0.95	0.20	1	3
P146	図IV-83-1	壙底面	小刀・刀子		10.75		1.20	1.40	0.36				3	1
P150	図IV-85-1	壙底床面	小刀・刀子	16.20	10.10	6.10	0.80	1.20	0.30	0.55	1.00	0.25	1	2
P203	図IV-87-1	覆土壁	小刀・刀子		7.80		1.40	1.70	0.60	1.20			1	4
P207	図IV-89-1	壙底面	小刀・刀子	12.00	6.44	5.56	1.40	1.90	0.40	0.65	1.25	0.34	2	2
P207	図IV-89-2	壙底面	小刀・刀子		8.30		0.85	1.50	0.40	1.30			1	1

表IV-2 土壙墓掲載鉄斧一覧

遺構番号	図番号	層位	全長 (cm)	刀部幅 (cm)	基部幅 (cm)	基部厚 (cm)	整理 番号	取り上げ 番号
P2	図IV-5-1	壙底直上	16.80	6.90	5.90	5.10	1	2
P16	図IV-19-3	壙底面	8.30	4.3	3.30	1.80	2	5
P29	図IV-33-2	覆土2層	7.50	3.90	3.20	1.60	1	
P33	図IV-36-1	壙底直上	16.80	6.20	5.50	4.40	1	3
P75	図IV-42-2	壙底面	8.30	4.30	3.90	2.90	4	4
P121	図IV-66-3	覆土3層	5.80	3.80	1.80	0.80	1	
P143	図IV-79-3	覆土	14.60	6.80	5.10	4.00	1	9

表Ⅳ-3 土墳墓掲載鉄鍍一覽

遺構番号	図番号	層位	全長 (cm)	總身部長 (cm)	總身部幅 (cm)	總身部厚 (cm)	長さ (cm)	整理 番号	取り上げ 番号
P5	図Ⅳ-9-1	墳底直上						7	5
P6	図Ⅳ-11-1	覆土4層直上		5.10	2.30	0.60		7	3
P6	図Ⅳ-11-2	覆土4層直上			2.10	0.20		8	3
P6	図Ⅳ-11-3	覆土4層直上		3.60	1.10	0.45		3	1
P6	図Ⅳ-11-4	覆土4層直上		3.90	1.40	0.70		4-1	1
P6	図Ⅳ-11-5	覆土4層直上						4-2	1
P6	図Ⅳ-11-6	覆土4層直上						5	1
P22	図Ⅳ-25-2	墳底直上						1	2
P94	図Ⅳ-52-1	覆土2層		3.70	1.80	0.30		3	5
P94	図Ⅳ-52-2	覆土2層		4.30	1.60	0.35		2	5
P97	図Ⅳ-54-3	覆土2層		2.50	3.40	0.25		1	
P102	図Ⅳ-56-1	覆土2層		1.60	1.60	0.30		7	
P102	図Ⅳ-56-2	覆土2層	9.60	2.50	1.60	0.40	7.10	5-2	11
P102	図Ⅳ-56-3	覆土2層	14.50	2.10	1.50	0.35	12.40	2	6
P102	図Ⅳ-56-5	覆土上層						3	8
P102	図Ⅳ-56-6	覆土2層						6	12
P102	図Ⅳ-56-7	覆土2層						5-2	11
P102	図Ⅳ-56-8	覆土上層						4	9

表Ⅳ-4 土墳墓掲載鉄鍍一覽

遺構番号	図番号	層位	全長 (cm)	基部幅 (cm)	先幅 (cm)	基部厚 (cm)	先厚 (cm)	整理 番号	取り上げ 番号
P9	図Ⅳ-15-2	墳底直上	16.70	3.10	1.90		0.40	2	1
P14	図Ⅳ-17-3	壁	17.90	3.20	2.40		0.40	1	4
P75	図Ⅳ-42-3	墳底面		2.7	1.50		0.40	3	3
P127	図Ⅳ-70-1	墳底面	15.20	3.30	2.20	2.85	0.20	1	3
P143	図Ⅳ-79-2	覆土壁	16.60	2.90	1.50		0.20	2	10
P146	図Ⅳ-83-2	墳底面	16.4	3.5	2.4		0.22	2	1

表Ⅳ-5 土墳墓掲載金属製品一覽

遺構番号	図番号	名称	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	整理 番号	取り上げ 番号
P1	図Ⅳ-3-1	鉄製品	覆土3層		1.50	0.20	3	
P6	図Ⅳ-11-7	籬子	覆土壁	11.30	2.10	0.60	15	4
P16	図Ⅳ-19-4	鉄環	墳底面	3.50	3.50	0.20	1	2
P19	図Ⅳ-21-2	鉄製品	墳底直上		0.25	0.25	2	5
P23	図Ⅳ-27-1	鉄製品	検出面		2.40	0.30	1	3

遺構番号	図番号	名称	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	整理 番号	取り上げ 番号
P23	図IV-27-2	環	壙底直上				3	7
P23	図IV-27-3	環	壙底直上				3	7
P23	図IV-27-4	環	壙底直上				3	7
P23	図IV-27-5	環	壙底直上				3	7
P23	図IV-27-6	環	壙底直上				2	4
P23	図IV-27-7	環	壙底直上				2	4
P28	図IV-31-2	釣り針	覆土		1.60	0.30	1	3
P73	図IV-40-2	鉄製品	覆土壁	4.70	2.90	2.30	8	8
P75	図IV-42-4	鉄製品	覆土上層		0.60	0.30	1	
P83	図IV-44-2	鉄製品	壙底面		0.35	0.30	3	4
P84	図IV-46-2	鉄製品	壙底面		0.20	0.20	1-2	3
P94	図IV-52-3	釣り針	覆土2層				4	8
P94	図IV-52-4	鉄製品	壙底直上		4.50	0.60	1	2
P95	図版65	鉄製品	覆土上層				1	
P97	図IV-54-4	鉄製品	覆土2層	2.80		1.60	3	
P102	図IV-56-4	鉄製品	覆土上層		0.40	0.40	1	1
P111	図IV-60-3	鉄製品	壙底面		0.70	0.30	1	1
P120	図IV-64-2	釣り針	検出面	2.60	1.90	0.35	1	
P120	図IV-64-3	釣り針	検出面	4.40	1.50	0.30	2	
P130	図IV-74-1	環	壙底直上	2.90	3.00	0.40	1	1

表IV-6 遺構・包含層出土金属製品一覧

遺構番号	直刀	小刀・刀子	鉄斧	鎌	鉄槌	錘子	釣り針	環	鉄製品	非掲載 鉄製品	合計
P1									1		1
P2			1								1
P3		1									1
P5		2			1					2	5
P6		1			6	1				4	12
P7		2								1	3
P9		1		1							2
P11	2	4	1						1		8
P12	1	4									5
P14		2		1							3
P15	1	1									3
P16		2	1					1			4
P17										1	1
P19		1							1		2
P20										1	1
P21	1										1

## 西島松5遺跡(2) 平成12・13年度

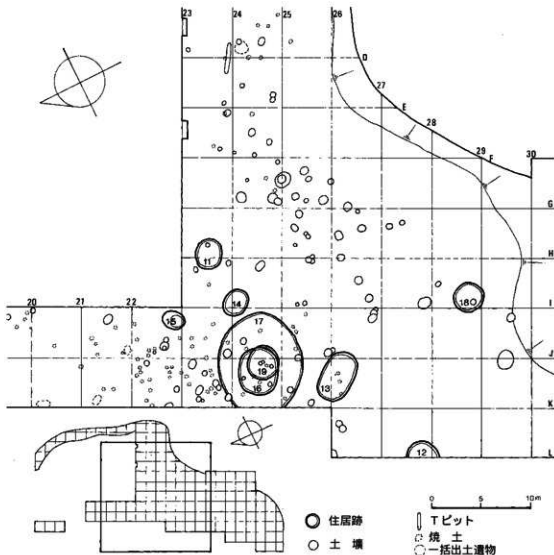
遺構番号	直刀	小刀・刀子	鉄斧	鎌	鉄櫛	種子	釣り針	環	鉄製品	非陶磁鉄製品	合計
P22	1				1						2
P23							1	6	1		7
P24										1	1
P28		2					1				3
P29		1	1								2
P30	1	3	2						3	2	11
P33			1								1
P68		1									1
P73		1							1	6	8
P75		1	1	1					1		4
P83		1							1	2	4
P84		1							1		2
P85		1									1
P89		1									1
P94					2		1		1		4
P95									1		1
P96	1	2			1						4
P97		2			1				1	3	7
P98	1	3							1		5
P99										1	1
P101	1	3			6	1			5	8	24
P102					7				1		8
P103		1									1
P111		2							1	1	4
P112	1										1
P117		1									1
P120		1					2				3
P121		2	1								3
P125		6									6
P127				1							1
P128	1	2	2							2	7
P129		2									2
P130		6						1			7
P131	1	3									4
P143		1	1	1							3
P145		1									1
P146		1		1						1	3
P150		1									1
P203		1									1
P207		2									2
X6	1	1								2	4
包含層										67	67
合計	15	78	12	6	25	2	4	8	21	106	277

## V 平成13年度 遺構と遺物

### 1. 概要

本章では、住居跡9軒、土壌110基、Tピット2基、焼土94カ所、小ピット1,499個、一括出土遺物5カ所とその出土遺物について掲載し、説明している。遺構は、住居跡、土壌、Tピット、焼土、小ピット、一括出土遺物の順に記載し、基本的には遺構番号順に説明している。住居跡は遺構ごとに説明し、土壌、Tピットは事実記載のあとに遺構図を掲載している。また焼土、小ピットは、規模・平面形・土層注記などについて一覧表にし、遺構図・土層断面の前に掲載している。

住居跡、土壌、Tピットはおおよそ位置、規模、確認・調査・土層（調査状況、土層）、床面（壊底）、壁、付属築物、遺物出土状況、出土遺物、重複・新旧関係、性格、時期の順で説明している。出土遺物実測図などは、住居跡が各遺構ごとに、他は遺構図、一覧表などのあとにそれぞれ土器、石器などの順にまとめて掲載している。また掲載土器・石器などは一覧表にして各項の最後にそれぞれまとめて掲載している。



図V-1 住居跡の位置図

## 2. 住居跡

H 11 (図V-2・3・4 表V-1・2・3・4 図版3・31)

位置：G-23 H-23 標高26.00m付近の平坦地に位置する。

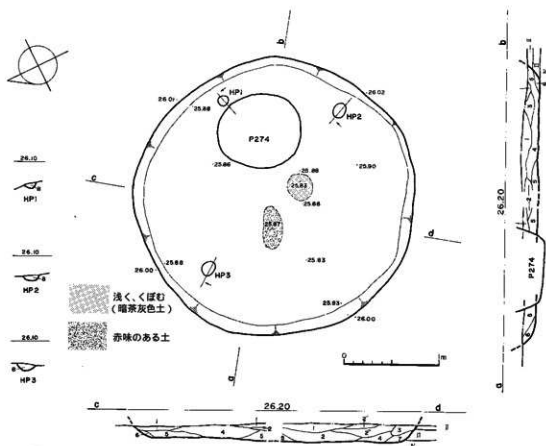
規模：2.96m/2.75m×2.92m/2.68m×0.20m 平面形：略円形 床面積：5.86㎡

確認・調査・土層：I層を除去し、III層直上付近で、黒褐色土および暗褐色土>黄色土の落ち込みを検出する。東側に黒褐色土>黄色土塊の円形状の落ち込みが見られたため、これをP274とし、この中心を通るように、十字の土層観察用の土手を設定し、P274の調査終了後覆土を掘り下げ、調査を行う。覆土を約20cm程度掘り下げ、暗黄灰色土の面と壁の立ち上がりを検出したことからこの面を床面と判断した。この面で小ピット3ヵ所、赤味のある部分も検出した。覆土はほぼ二層である。覆土1層は黒褐色土である(土層図1)。覆土2層は暗褐色土に黄色土がまじり合った混合土状の土である(土層図2)。土層図6・7は壁崩落の三角堆積土である。

床面：IV層をわずかに掘り込んで構築している。やや凹凸はあるがほぼ平坦で、軟質である。

壁：立ち上がりは全体的にほぼ急傾斜である。検出面からの壁高は、北壁が11cm、南東壁が10cm、南西壁が18cm、北西壁が12cmである。

付属構築物：炉跡～明瞭な炉跡は検出されていない。ただ床面中央付近に28cm×26cm、深さ2～5cmの円形状の浅いくぼみ(暗茶灰色土が堆積)と45cm×20cmの広がりをもつ赤味を帯びた楕円形状の範囲が検出された。はっきりと炉跡と断定できないが、火を使用した何らかの痕跡かと思われる。



H-11の土層

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 黒褐色土(わずかに軽石粒、黄色土粒を混入)     | 5 暗褐色土(わずかに黄色土粒が混入) |
| 2 暗褐色土 黄色土(やや粘質) 2より黄色土が少ない | 6 暗黄褐色土             |
| 3 暗黄色土(暗褐色土)5mm大の軽石を混入      | 7 茶褐色土              |
| 4 暗褐色土>黄色土(1cm大の軽石を混入)      | 8 暗褐色土(黒っぽい軟質)      |

図V-2 H11

付属ビット～壁際に円形状の落ち込みが三ヵ所検出されている (HP 1～3)。径11～17cm、深さ4～6cmで、丸味のある底面で、覆土は軟質の暗褐色土である。

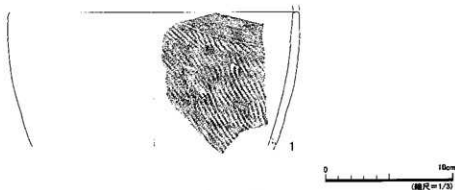
**遺物出土状況：**出土遺物総数は143点である。この内訳は土器121点、石器など22点である。遺物はすべて覆土中から出土したものである。土器ではIV群c-2類土器が104点出土し、他にI群b-3類・III群b類・IV群c-1類土器が出土している。石器では石鏃2点、石錐・つまみ付きナイフ各1点づつ、などが出土している。全体にまとまった出土状態ではない。

**出土遺物：**土器～1は深鉢の突起部に至る口縁部。口縁部下には幅1.8cmの無文帯があり、細めの沈線により区画している。三ツ谷式。

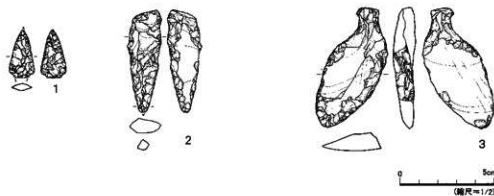
石器～1は有茎凸基の石鏃。基部欠損。石材は小球果を含む黒曜石。2は棒状の石錐。背面・腹面上半部に剥離面を残す。先端部欠損。石材は頁岩。3は片面周縁加工のつまみ付きナイフ。右側縁の刃部は急角度である。石材は珪質頁岩。

**重複・新旧関係：**本遺構は、P274と重複し、P274より古い住居跡である。

**時期：**出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。



図V-3 H11 出土の土器



図V-4 H11 出土の石器

## H 12 (図V-5・6 表V-1・3・4 図版4・31)

位置: K-27・28 標高26.00m付近の平坦地に位置する。 規模: (2.82m)/(2.57m)×一/一×(0.16m)  
 平面形: 不明。 床面積: 不明。 長軸方向: 不明。

確認・調査・土層: K-27・28の包含層調査中、Ⅲ層中で暗褐色土と黄色土のまじり合った土の落ち込みを検出する。北西側は調査区外にあるため、壁に直交するように土層観察用の土手を設定し、調査を行う。覆土を約15cm掘り下げ暗黄灰土の面と壁の立ち上がりを検出したことから、この面を床面とした。この面で小ピットを二カ所検出した。覆土はほぼ二層である。覆土1層は黄色土を多く混入する暗褐色土である(土層図1・2)。覆土2層は暗褐色土と黄色土がまじり合った混合土状の土である(土層図3~5)。土層図6は床面直上に薄く見られる土、土層図7は壁崩落土である。

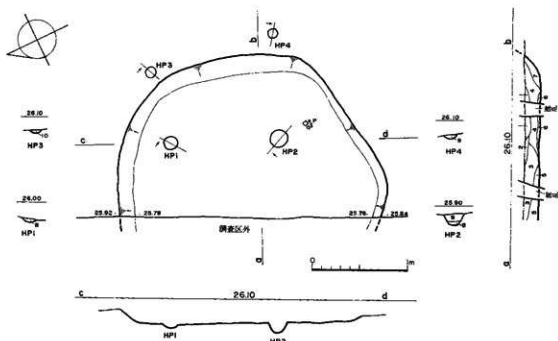
床面: Ⅳ層をわずかに掘り込んで構築している。ほぼ平坦で、堅い。

壁: 壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面から壁高は、北東壁が12cm、南東壁が16cm、南西壁が6cmである。

付属構築物: 炉跡~残存部では焼土などが検出されていない。付属ピット~床面で二個、壁外で二個の小ピットが検出されている。HP1・2は位置から見て支柱穴と思われる。HP1は15cm×15cm、深さ4cm、HP2は18cm×18cm、深さ12cm、HP3・4は11cm×11cm、深さ3cmで、丸い底面である。覆土は軟質の暗(黒)褐色土で、HP3はやや堅い土である。

遺物出土状況: 出土遺物総数は59点である。この内訳は土器44点、石器など15点である。HP2の南側、床面直上でⅢ群b類の土器片が4点かたまて出土している。その他はすべて覆土中出土のもので、まとまった出土状態でない。土器ではⅢ群b類土器が30点、他にⅠ群b-3類・Ⅳ群c-2類土器が出土している。石器では石鏃片などが出土している。

出土遺物: 土器~1は深鉢の胴部。縦の貼付上には竹管状工具による上から下への押しき文。2は土製品の玉。3は隅丸長方形の土製品。土偶の足部分の可能性もある。1は萩ヶ岡3式。2~3は三ツ谷式の時期に伴うものと考えられる。

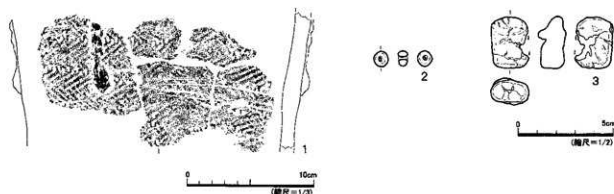


## H 12の土層

1 暗黄色土 暗褐色土(粘質土) 2 暗褐色土>黄色土(粘質土) 3 暗褐色土>黄色土 4 暗褐色土 黄色土 5 4より黄色土が多い  
 6 黄色土>5・4 7 褐色土(粘質土) 8 暗褐色土(軟質) 9 暗褐色土(軟質) 10 暗褐色土(堅い)

図V-5 H 12





図V-6 H12出土の土器と土製品

**重複・新旧関係：**本遺構は、他遺構と重複していない。

**時期：**床面直上出土の土器片の出土状態などから見て、Ⅲ群b類土器を伴う縄文時代中期のものと思われる。

本遺構は、北西側が調査区外にあるため平面形、規模、炉跡の有無などは不明である。

H13 (図V-7・8・9 表V-1・2・3・4 図版4・31)

**位置：**I-25・26 J-25・26 標高26.00m付近の平坦地に位置する。

**規模：**5.02m/4.60m×3.55m/2.97m×0.30m **平面形：**隅丸長方形状 **床面積：**11.65㎡

**長軸方向：**N-40° -W

**確認・調査・土層：**J-26周辺の包含層調査中、ⅡC層上面付近でⅡB層の落ち込みが検出され、また北東-南西方向に掘られた現代攪乱の断面で覆土状の土の落ち込みが確認された。ほぼ東西、南北に土層観察用の土手を設定し、ⅡB層から順次掘り下げ、調査を行う。ⅡB層下の覆土を約24cm程掘り下げ、暗黄灰色土の堅い面と壁の立ち上がりを検出したことから、この面を床面と判断する。この面で小ピットを13個と赤味のある土の広がりを検出する。覆土はほぼ三層である。覆土1層はⅡB層直下の土で、ⅡB層に黄色土が少量まじる土である(土層図1)。覆土2層は覆土1層より黄色が強く混入する土で(土層図2)、ともに自然堆積土である。覆土3層は暗褐色土、褐色土、黄色土などがまじり合った土である(土層図3・3'・4・8)。土層図5・6は壁の崩落土、土層図7は床面上に薄く見られた汚れた土である。

**床面：**IV層をわずかに掘り込んで構築されている。ほぼ平坦で、堅い。

**壁：**壁の立ち上がりは急傾斜である。検出面からの壁高は、東壁が27cm、南壁が22cm、西壁が23cm、北壁が29cmである。

**付属構築物：**炉跡～焼土や炉跡は検出されていない。ただHP2とHP4の間に50cm×40cmほどの範囲に赤味を帯びた軽石が見られた。炉跡といえるかどうかははっきりしない。付属ピット～小ピットは13個検出されている。このうちHP9・HP10は壁際にあり、直立している。他は床面にある小ピットで、HP1・2・4・5・6・7は位置、規模などから見て主柱穴と思われる。HP10・12・13は杭状で、他は底面が平坦か丸味を持つもので、すべて直立している。

**遺物出土状況：**出土遺物総数は1,807点である。この内訳は土器1,439点、石器など368点である。床面からはⅡ群a類土器2点(遺物取り上げ番号2)、壁際でⅣ群c-2類土器が4点(遺物取り上げ番号5)、柱穴状小ピット覆土中からⅣ群c-2類土器4点(遺物取り上げ番号2・6)、フレイク1点が

出土している。他はすべて覆土中からの出土である。覆土1・2層からは土器808点、石器など152点が出土し、またⅡB層では土器529点、石器など139点が出土した。土器はⅣ群c-2類土器が1,346点出土し、他にⅠ群b-3・4類・Ⅱ群b類・Ⅲ群b類・Ⅳ群a・c-1類土器、土製品などが出土している。石器では石鏃18点、石槍、つまみ付きナイフ、石斧、たたき石、すり石などが出土している。とくにフレイク、フレイク・チップが330点と多い。

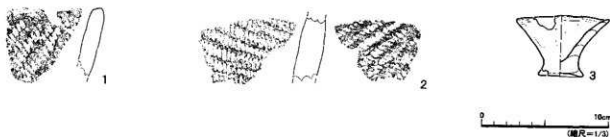
出土遺物：土器～1は深鉢の口縁部。口唇部断面は丸みのある方形。2は胴部。内面は外面と同一原体による縦位施文。厚みから1とは別個体と考えられ。3は、無文のミニチュア土器のほぼ完形品。底部は低い台を表現している。1・2は静内中野式、3は三ツ谷式。

石器～1～4は有茎凸基の石鏃。1は右側縁に剥離痕が見られ、厚手で、粗雑である。2は右かえしが欠損し、表面に礫皮面が残る。先端部は調整時の破損であろう。3の右側には調整時の剥離痕が見られる。4は左右のかえしが欠損するが、つくりは丁寧。石材は1が緑色の珪質頁岩。2～4は黒曜石で、2・3は小球果が含まみ、4が楕状である。5は片面周縁加工のつまみ付きナイフ。右側縁の刃部は急角度である。石材は頁岩。6は円礫を素材とし、ほぼ全面にたたき跡が見られる。すり痕もあり、わずかに煤様の黒色付着物がある。石材はカンラン岩。

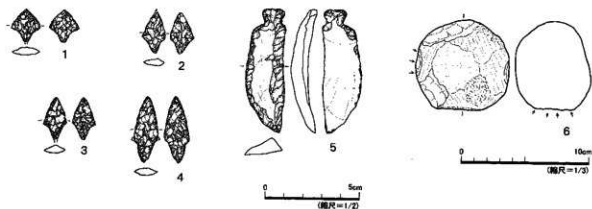
重複・新旧関係：他遺構と重複していない。

時期：床面出土の土器から見て、縄文時代前期の住居跡と思われる。

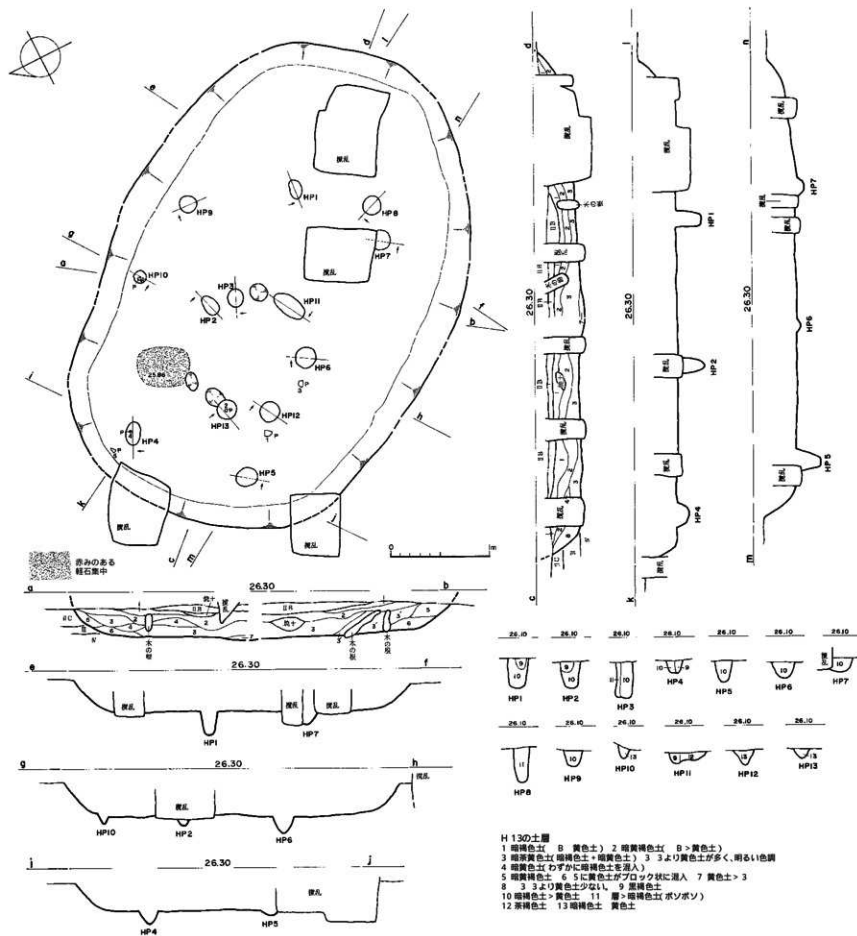
本遺構は、六本柱の住居跡と思われ、HP2とHP3は位置、規模から見て立て替えが行われたことを示している。なお床面の調査中、HP2・3・6・12・13を含むほぼ円形状に黒褐色土の細い落ち込みが検出された。当初礫の抜き取り痕かと考えていたが、はっきりとした痕跡を確認することはできなかった。



図V-7 H13出土の土器



図V-8 H13出土の石器



H 14 (図V-10・11・12 表V-1・2・3・4 図版5・31)

位置：H-23・24 I-23・24 標高26.00m付近の平坦地に位置する。

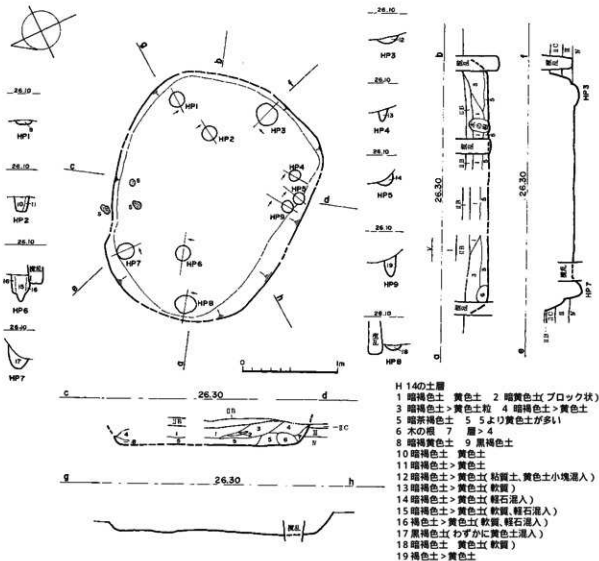
規模：2.60m/2.50m×2.02m/1.80m×0.28m 平面形：隅丸長方形状 床面積：3.76m<sup>2</sup>

長軸方向：N-40° -W

確認・調査・土層：H-24周辺の包含層調査中、II C層中でII B層の落ち込みが見られ、また南東-北西方向に掘られた現代覆土の壁面で覆土状の土の落ち込みを確認した。落ち込みの中心付近に十字の土層観察用の土手を設定し、II B層から順次掘り下げ、調査を行う。III層上面付近で、隅丸長方形の暗褐色土の落ち込みを検出する。II B層下の覆土を約20cm程掘り下げ、暗黄灰色土の堅い面と壁の立ち上がりを検出したことから、この面を床面と判断する。この面で小ピットを検出する。覆土はほぼ二層である。覆土1層は黄色土がまじる暗褐色土である(土層図1~4)。全体に堅く、しまっている。覆土2層は混合土状の土である(土層図5・5'・8)。土層図7は壁崩落土である。

床面：IV層を少し掘り込んで構築している。ほぼ平坦で、堅い。

壁：立ち上がりは全体的に急傾斜である。検出面からの壁高は、北東壁が25cm、南東壁が26cm、南西壁が22cm、北西壁が24cmである。



図V-10 H 14

付属構築物：炉跡～焼土などは検出されていない。付属ピット～小ピットは9個検出された。このうちHP2・HP6は床面中央部、他は壁際にある。HP4・6・9は細く、杭状、他の底面は平坦か、皿状のもので、すべて直立する。覆土はおおむね暗褐色土に黄色土がまじる土である。

遺物出土状況：出土遺物総数は563点である。この内訳は土器495点、石器など73点である。すべて覆土中からの出土で、とくにまとまった出土状態ではない。土器はIV群c-2類土器が469点で、他にIII群b類・IV群c-1類土器が出土している。石器では石鏃4点、石錐2点、スクレイパー2点、石斧3点、他にすり石やフレイク・チップ56点などが出土している。

出土遺物：土器～1は深鉢の口縁部。口唇部断面は内傾形。突瘤文が巡る。2は鉢の胴部。太めの沈線による弧状の多重沈線文。内面は磨いている。3は、深鉢の胴部。2本一組の沈線文。4は、深鉢の胴部。放射状の貼付上には爪による刻み。5は深鉢形土器の突起部。細めの平行沈線文があり、円形貼付には竹管状工具による刺突。1～2・5は三ツ谷式、3～4は萩ヶ岡2式。

石器～1は有茎凸基の石鏃。かたち美しく、調整丁寧。石材は小球果を含む黒曜石。2は素材のかたちを大きく変えず、敲打・すりで整形されている。基部上半は欠損。刃先には使用による欠けがあり、腹背両面に敲打・すりが風化した痕跡が認められる。石材は緑色泥岩。

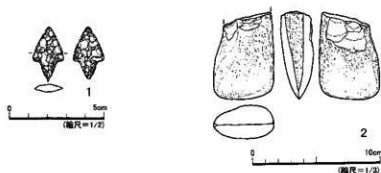
重複・新旧関係：他遺構と重複していない。

時期：出土遺物などからみて、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

本遺構は、二本柱の小型の住居跡である。



図V-11 H 14出土の土器



図V-12 H 14出土の石器

H 15 (図V-13・14・15 表V-1・2・3・4 図版5・6・32)

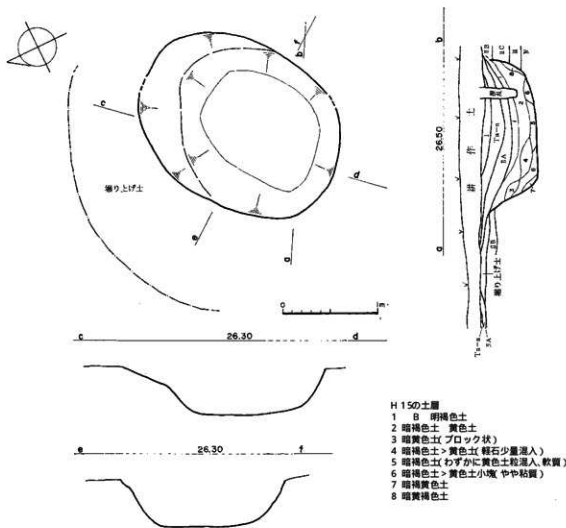
位置：I-22・23 標高26.00m付近の平坦地に位置する。

規模：2.23m/1.30m×1.70m/1.04m×0.50m 平面形：隅丸長方形状 床面積：1.14m<sup>2</sup>

長軸方向：N-57°-E

確認・調査・土層：I-22の包含層調査中、Ta-aおよびII A層を除去したところ、II B層上面付近で、巾約1m、高さ5~7cmほどのドーナツ状の高まりを検出する。遺構が想定されたことから23ラインに沿って土層観察用の土手を設定し、上記の高まりを検出する。遺構が想定されたことから23ラインに沿って土層観察用の土手を設定し、上記の高まりと遺構の関係を把握するための土手に沿って、また土手に直交する小トレンチを設定し、まずトレンチ調査を行う。この結果、ドーナツ状の高まりは本遺構の掘り上げ土と判明し、覆土を約25cm程掘り下げたところで、平坦で、堅い暗黄灰色土を検出する。また壁の立ち上がりも検出した。掘り込み面がII B層中であることも確認し、覆土を全体的に掘り下げる。覆土1層はほぼ三層である。覆土1層はII B層と掘り上げ土の流入土である(土層図1)。覆土2層は黄色土が多くまじる暗褐色土(土層図2)、覆土3層は黄色土が多くまじる暗褐色土(土層図4~6)である。土層図7・8は壁の崩落土である。全体に自然堆積状の綺麗な土で、床面直上に薄く、粘質で汚れた土が見受けられた。

床面：IV層を掘り込んで構築し、平坦で、堅い。



図V-13 H 15

壁：壁の立ち上がりは全体的に急傾斜で、長軸方向東側は中程で段状になっている。検出面からの壁高は40～48cmである。

付属構築物：焼土や小ピットなどは検出されていない。

遺物出土状況：出土遺物総数は2,789点である。この内訳は土器2,531点、石器など258点である。床面などからは出土遺物はなく、覆土1層、掘り下げ土などから遺物が多く出土している。土器はⅣ群c-2類土器が2,401点、他にⅡ群a類・Ⅲ群b類・Ⅳ群c-1類土器、土製品などが出土している。石器では石鎌15点、石錐3点、つまみ付きナイフ・砥石各2点ずつ、石槍などが出土している。

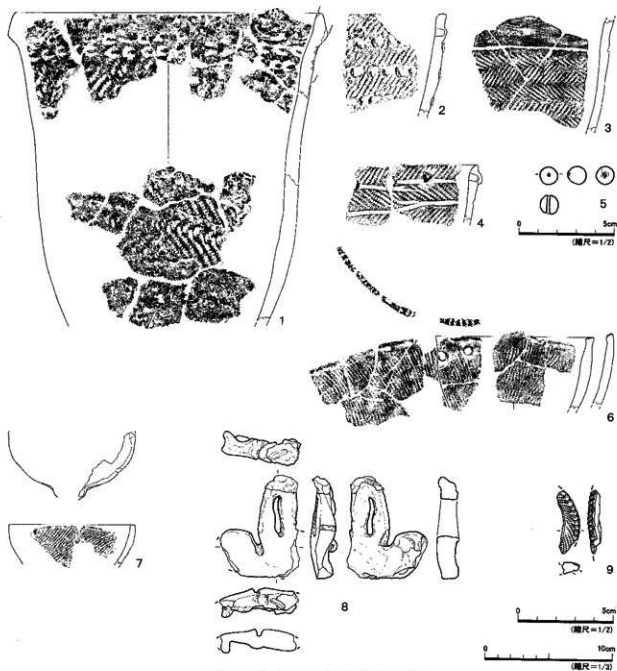
出土遺物：土器～1は深鉢の口縁部と胴部で同一個体、突起部は欠損。口唇部断面は三角形。口縁部下には縄文による馬蹄形圧痕。2は深鉢の口縁部。突縮文、3列の爪文が巡る。3は深鉢の胴部。無文帯があり、太めの沈線により、区画。4は深鉢の口縁部。太目の平行沈線文。突縮文が巡る。5は土製品の玉。6は浅鉢の口縁部～胴部。2つの焼成前穿孔があり、口唇上は縄の刻み。7は、片口付鉢の口縁部。片口は丸みのある短いくちばし状。8は土製品。大部分が欠損しており、全体の形状をまったく想定できない。縦長のすかし状の部分がある。9は土製品。内側と裏面は剥離している。円形になると考えられる。内面には弧状の沈線文があり、その部分から欠損している。外形の角に竹管状工具による斜めからの刺突。1は萩ヶ岡2式、2～4・7は三ツ谷式、6は大洞BC～C1式相当。5・8～9の土製品は三ツ谷式の時期に伴うものと考えられる。

石器～1・2は有茎凸基の石鎌。1は先端部欠損。裏面に剥離面が残る。2は表裏面に礫皮面が残る、両側縁は大きな波状につくっている。石材は1・2とも小球果を含む黒曜石で、2は半透明で縞状のものである。3は有茎の石槍またはナイフで、基部下端部にえぐり痕がある。石材は光沢のある黒曜石。4・5は石錐。4はつまみ部をもつ棒状のもの、5は棒状のもので、先端部は摩耗している。石材はともに珪質頁岩。

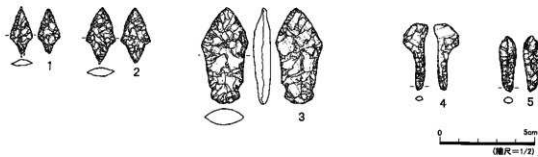
重複・新旧関係：本遺構は、他遺構と重複していない。

時期：出土遺物、掘り込み面などから、Ⅳ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

本遺構は、当初その大きさなどから見て土壕と考えて調査を行ったが、覆土の堆積状態の観察・検討の結果、付属構築物もなく、小型であるが、住居跡と判断した。本遺跡周辺の今後の調査結果などを踏まえ、今一度検討が必要と考えている。



図V-14 H15出土の土器と土製品



図V-15 H15出土の石器



H16(図V-16・17・18 表V-1・2・3・4 図版6・33)

位置: I-24 J-24 標高26.00m付近の平坦地に位置する。

規模: 4.80m/4.62m×4.12m/3.79m×0.32m 平面形: 楕円形状 床面積: 13.52m<sup>2</sup>

長軸方向: N-60° -W

確認・調査・土層: J-24周辺の包含層調査中、II C層中で暗褐色土の落ち込みが検出され、また北東-南西方向に掘られた現代攪乱の壁面で覆土状の土の落ち込みが確認された。グリッドラインに沿って土層観察用の土手を設定し、遺構確認を行いつつII C層を少しずつ掘り下げる。III層上面付近で黒褐色土の落ち込みを検出し、調査を行う。覆土を20~25cm程掘り下げ、暗黄灰色土の面と壁との立ち上がりを検出する。この面で土器片が出土し、小ピットも検出されたことから、この面を床面と判断する。掘り込み面はII C層中と思われる。覆土は三層に分けられる。覆土1層は黄色土が少量まじり合う暗褐色土である(土層図1)。自然堆積状の土である。覆土2層は軟質の黒褐色土(土層図2)、覆土3層は軽石がまじる混合土状の土で、床面中央部付近に見られる土である(土層図3)。土層図4~6は壁崩落土と思われる。

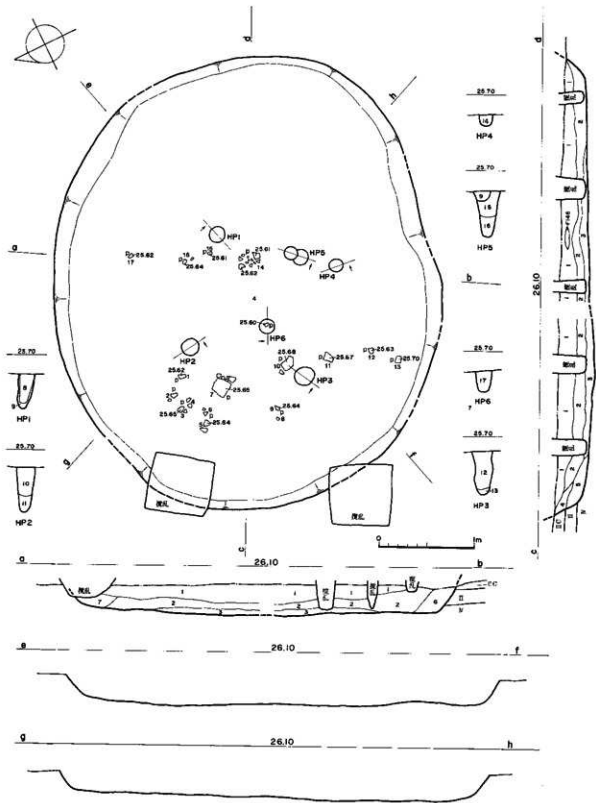
床面: IV層を少し掘り込んで構築している。やや凹凸はあるが、平坦で、軟質。

壁: 立ち上がりは全体的に急傾斜である。検出面からの壁高は、北東壁が21cm、南東壁が20cm、南西壁が28cm、北西壁が30cmである。

付属構築物: 炉跡~焼土などは検出されていない。付属ピット~柱穴状小ピットは6個検出されている。すべて床面中央付近にあり、底面はほぼ平らで、直立し、深い。HP1は、土層図8が柱跡で、土層図9は掘り方である。HP5は2個重複しており、土層図9が新しい小ピットである。HP1・2・3・4が主柱穴と思われる。覆土は黄色土と暗褐色土がまじり合った土である。

遺物出土状況: 出土遺物総数は1,432点である。この内訳は土器1,264点、石器など168点である。床面、小ピット覆土などからII群a類土器11点などが出土している。遺物取り上げ番号1~12・14・15・17は床面直上で出土した土器で、内面を上にし、ほぼ床面に貼り付いた状態で出土したもので、すべてII群a類土器である。他は覆土中からの出土で、覆土1・2層から大半が出土している。土器では、II群a類土器のほか、I群b-3類・III群b類・IV群c-1・2類土器や土製品が出土している。石器では石鏃8点、石錐・つまみ付きナイフ各2点ずつ、石斧、たたき石、すり石、砥石などが出土している。出土遺物: 土器~1は深鉢の口縁部~胴部。口縁部は8~9単位の波状を呈する。口唇部断面は丸みのある方形。2は深鉢の口縁部。口唇部断面は丸みのある方形。3は深鉢の胴部。小型である。4は深鉢の口縁部。口縁部に向かい厚みを減じる。口唇部断面は丸みのある方形。5は深鉢の胴部。4・5は同一個体の可能性がある。6は深鉢の口縁部~胴部。口縁部、胴部には沈線による文様があり、その間は無文帯がある。口縁部と胴部の文様帯には突縮文、貼縮文が巡る。縦長につまんでいるものと円形のものがある。7は、土製品の耳栓。8は土製品の玉。1~5は静内中野式、6は三ツ谷式。7~8の土製品は三ツ谷式の時期に伴うものと考えられる。

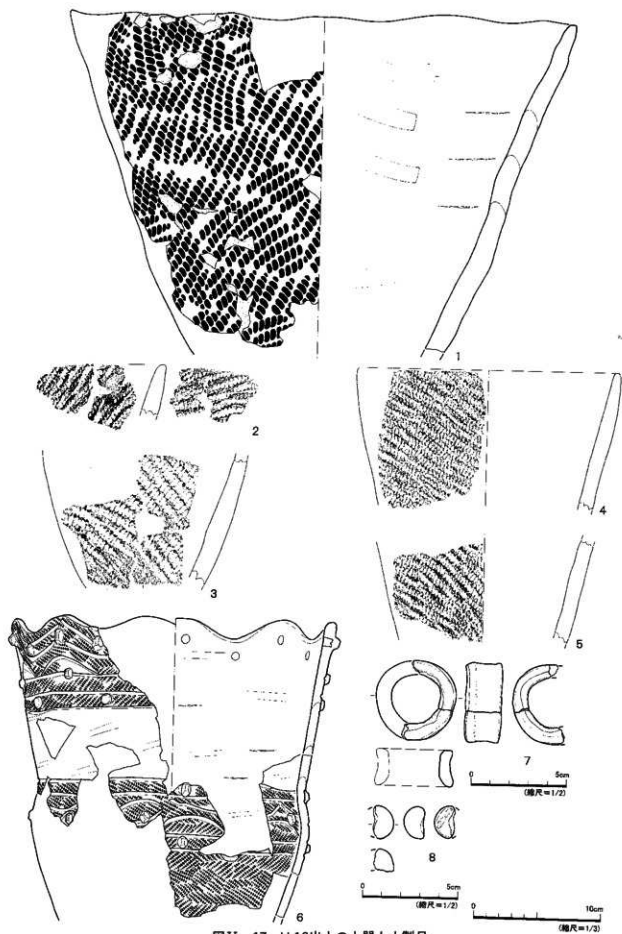
石器~1~5は有茎凸基の石鏃。1・2は右かえしがわずかに見られるもので、ともに未成品かと思われる。2は石錐への転用品と思われる。3は正三角形、4・5は二等辺三角形である。4の裏面に礫皮面が残る。石材は黒曜石で、3は小球果を含み、2は半透明、4は縮状のものである。6は貫孔する玉で、裏面に扇状の加工痕がある。石材はカンラン岩。7は小型でやや薄手の石斧である。素材を大きく変えず、基部を敲打し、刃部を丁寧に研磨している。石材は緑色泥岩。8は断面三角形の稜をすったもの。石材は安山岩。9は扁平礫を素材としたたたき石。上・下端の側面にたたき痕を残す。石材は砂岩。



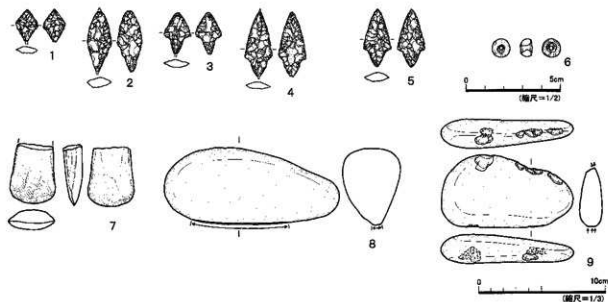
H 16の土層

- 1 暗褐色土 黄色土(やや粘質で、堅い) 2 黒褐色土(軟質) 3 暗茶灰色土(軽石混入) 4 暗褐色土>黄色土(軟質) 5 黄色土>暗褐色土(軟質) 6 4より黄色土少ない 7 ポソポソの暗褐色土(木の屑混入か?) 8 暗褐色土>黄色土(粘質) 9 黒褐色土 黄色土(軟質) 10 暗褐色土>黄色土(軟質、軽石混入) 11 褐色土+黄色土(粘質) 12 暗褐色土+黄色土(軽石混入、ポソポソ) 13 暗黄灰色土(粘質) 14 暗黄灰色土>褐色土(ポソポソ) 15 褐色土+黄色土(軟質) 16 暗黄灰色土 褐色土 17 暗黄灰色土+褐色土(やや粘質で、堅い、軽石混入)

図V-16 H 16



図V-17 H16出土の土器と土製品



図V-18 H16出土の石器と石製品

**重複・新旧関係：**本遺構は、H17・19、P 326・327・328・329・333と重複している。H17・19より新しく、土壌より古い住居跡である。

**時期：**床面直上の土器などから見て、Ⅱ群a類土器を伴う縄文時代前期のものと思われる。

本遺構は、4本柱の住居跡である。HP5・HP6との新旧関係ははっきりしないが、1本ないし2本の主柱から4本柱へと建て替えが行われた可能性がある。

H 17 (図V-19・20・21 表V-1・2・3・4 図版7・8・34)

**位置：**I-23・24・25 J-23・24・25 標高25.70m~25.88mのほぼ平坦地に位置する。

**規模：**(10.10m)/(9.70m)×8.07m/7.88m×0.22m 平面形：楕円形状 床面積：(63.26㎡)

**長軸方向：**N-72°-W

**確認・調査・土層：**包含層調査中、Ⅲ層上面付近で褐色土と黄色土のまじり合った土の落ち込みを検出する。グリットラインに沿ってキ状に土層観察用の土手を設定し、調査を行う。覆土を15~20cm程掘り下げ、暗黄灰色土の面と壁の立ち上がりを検出したことから、この面を床面と判断する。南東壁際の下場付近で、巾約10cm深さ5~10cmの溝状落ち込みが検出された。底面で径約5cm、深さ10cm程の杭状の小ピットが40~60cmの間隔で検出されたため、壁際全体を精査し、細い溝状の落ち込みがほぼ全周することが判明した。またこの面で柱穴状小ピットも検出された。覆土は褐色土を主体とし、暗黄色土、暗褐色土、軽石がまじり合った軟質土で、ほぼ一層である。遺物は覆土をほぼ3層に分けて取り上げている。

**床面：**Ⅳ層を少し掘り下げて構築している。南から北へゆるやかに傾斜している。やや凹凸があり、軟質である。

**壁：**立ち上がりはゆるやかな傾斜である。検出面からの壁高は、南東・北東壁が12cm、南西壁が16cm、北西壁が15cmである。

**付属構築物：**炉跡~焼土などは検出されなかった。付属ピット~柱穴状小ピットが20個検出された。HP1~3・18・5・6・16・8は床面中央部付近にあり、全て直立し、HP1・3・8・18はほぼ杭状で深い。主柱穴と思われる。HP9~15・19は壁から35~50cm内側をめぐる小ピットで、浅く、直

立している。覆土は暗褐色土、褐色土、黄色土がまじり合った土である。周溝～壁の下場付近に、上場が巾8～14cm、下場が巾3～4cm、深さ10cm前後の溝状の落ち込みが断続的にめぐっている。底面には径約10cm、深さ7～23cmの直立する小ピットが、15～28cmほどの間隔で確認された。覆土は暗褐色土>黄色土、褐色土>黄色土の軟質の土である。

**遺物出土状況：**出土遺物総数は443点である。この内訳は土器397点、石器など46点である。床面直上付近から土器2点、石器など3点出土しているが、覆土中出土の遺物同様まとまった出土状態ではない。土器ではⅠ群b-3類土器6点、他にⅡ群a類・Ⅲ群b類土器などが出土し、石器では石鏃2点、たたき石3点、すり石2点などが出土している。

**出土遺物：**土器～1は深鉢の底部。底部下端まで糸の細い縄文を施文。2は壺の肩部。注口付の可能性が高い。地文はなく、沈線間にハの字刺突文。赤彩している。1は中茶路式、2は堂林式。石器～1・2はすり石、3はたたき石。石材はすべて安山岩である。1・2は断面三角形の稜をすったもので、平坦面にすり痕がある。2には煤様の黒色付着物が見られる。3は扁平稜を素材とするもので、上下両端面に仕用痕がある。

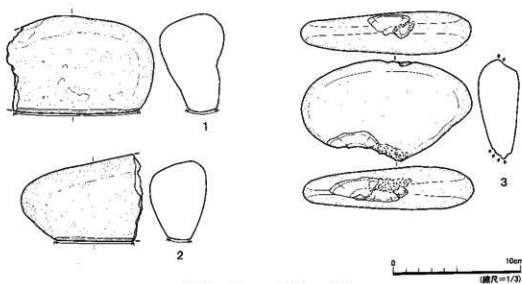
**重複・新旧関係：**本遺構は、H 16、H 19、P 292・293・300・311・315・326・327・328・329・333と重複している。H 19より新しく、H 16と土壙よりは古い住居跡である。

**時期：**出土遺物や検出面などから考え、縄文時代早期のものと思われる。

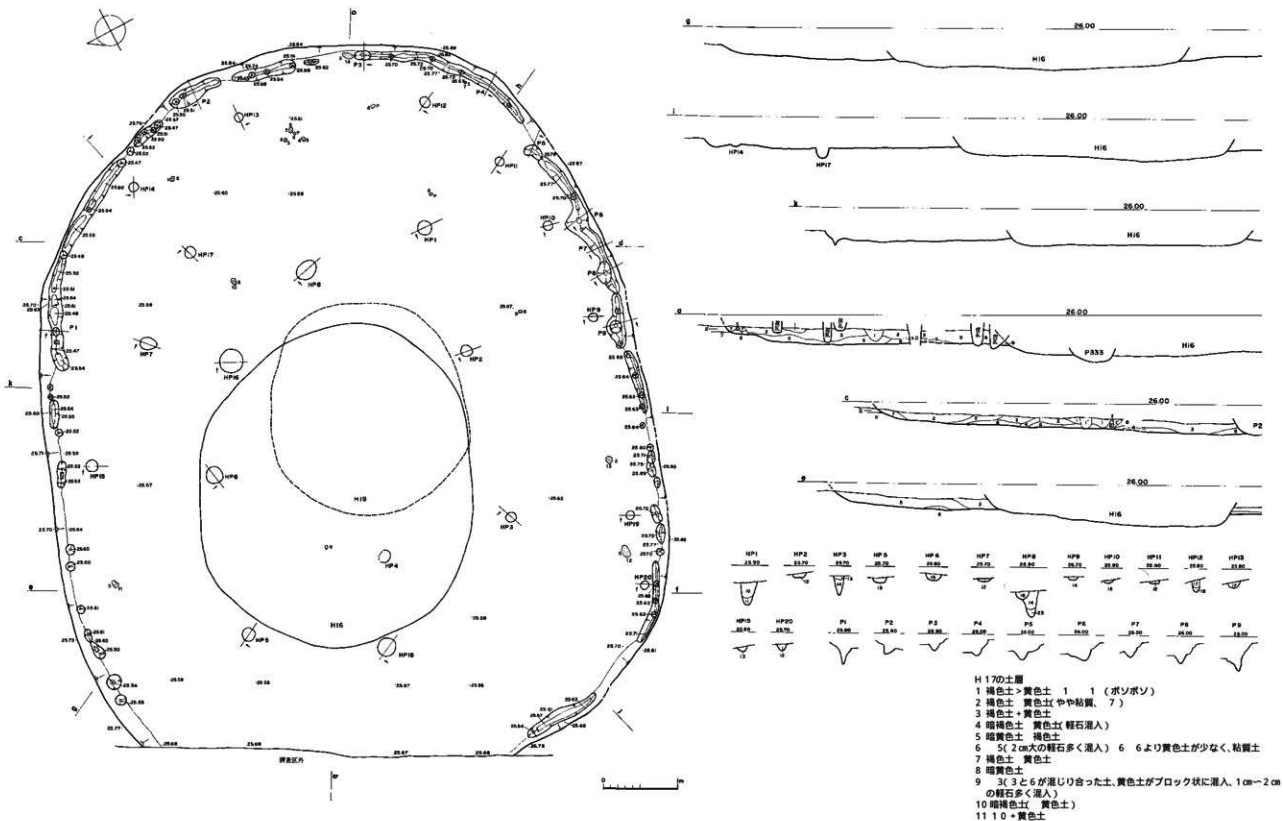
本遺構は、北西部が調査区外にあるため、全体は不明であるが、恐らく長軸10m以上の大型の住居跡である。床面中央部付近に8個の主柱穴と思われる小ピットが検出されているが、これだけでは形状が不整形となることから、6本ないし9本の主柱穴を有するものと推測される。また壁際には浅い、溝状の落ち込みが断続的にめぐり、壙底面には小ピットがつくられている。単なる周溝ではなく、壁くずれ防止の土止め用施設と思われる。



図V-19 H 17出土の土器



図V-20 H 17出土の土器



図V-21 H17

H170の土層

- 1 褐色土・黄色土 1 1 (ボソボソ)
- 2 褐色土・黄色土(やや粘質、7)
- 3 褐色土・黄色土
- 4 暗褐色土・黄色土(軽石混入)
- 5 暗黄色土 褐色土
- 6 5(2cm次の軽石多く混入) 6 6より黄色土が少なく、粘質土
- 7 褐色土 黄色土
- 8 暗黄色土
- 9 3(3と6が混り合った土、黄色土がブロック状に混入、1cm-2cmの軽石多く混入)
- 10 暗褐色土(黄色土)
- 11 10・黄色土

- 12 褐色土・黄色土
- 13 暗褐色土・黄色土(軟質)
- 14 褐色土・黄色土(軟質)
- 15 褐色土 黄色土
- 16 黄色土 14
- 17 暗褐色土・黄色土
- 18 暗黄色土(軟質)
- 19 褐色土・黄色土(重く、軽石混入)
- 20 褐色土・黄色土(軽石混入)
- 21 淡褐色土(ボロボロ)
- 22 褐色粘質土(やや堅い)
- 23 暗褐色土

## H 18 (図V-22・23 表V-1・3・4 図版7・34)

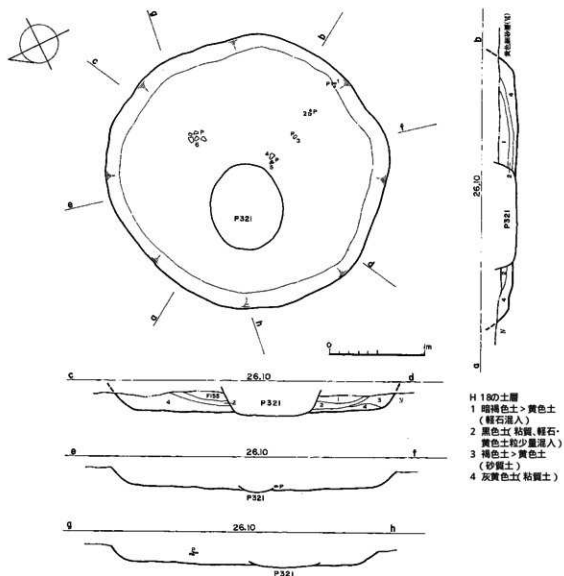
位置：H-28・29 I-28 標高25.93m~25.98m 北から南へゆるやかに傾斜する緩斜面に位置する。

規模：2.96m/2.62m×2.80m/2.56m×0.21m 平面形：略円形状 床面積：5.18㎡

確認・調査・土層：H-28周辺の包含層調中、I層を除去し、IV層上面付近で灰黄色土の落ち込みを検出する。ほぼ東西、南北方向に土層観察用の土手を設定し、本遺構上にあるF 155、P 321の調査終了後、覆土を掘り下げ、調査を行う。覆土を約17cm程掘り下げ暗黄灰色の堅い面と壁の立ち上がりを検出したことから、この面を床面と判断した。覆土は三層である。覆土1層は大きな軽石が混入する黄色土まじりの暗褐色土（土層図1）、覆土2層は粘質の黒色土（土層図2）である。覆土3層はIV層とあまり変わらない色調であるが、わずかに褐色土が混入する土で、サラサラしている（土層図3・4）。

床面：IV層中に構築されており、平坦で、堅い。

壁：立ち上がりはやや急傾斜である。検出面からの壁高は、東・西壁が16cm、南壁が17cm、北壁が12cmである。



図V-22 H 18

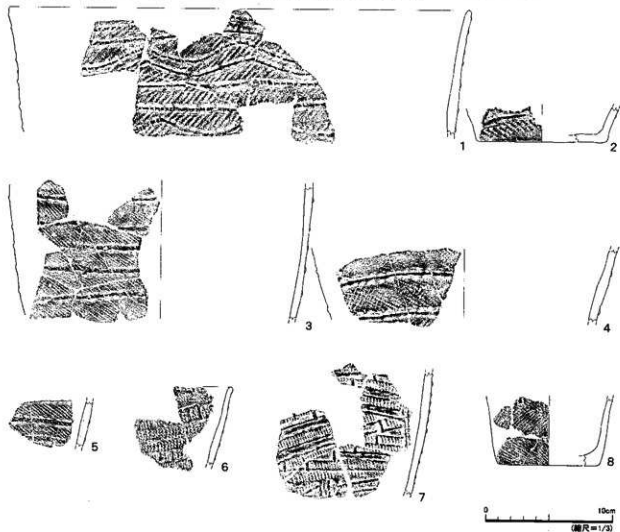
付属構築物：炉跡、小ピットなどは検出されていない。

遺物出土状況：出土遺物総数は211点である。この内訳は土器203点、石器など8点である。床面直上でI群b-3類土器片が1点出土しているが(遺物取り上げ番号3)、他は覆土中からの出土で、とくにまとまった出土状態ではない。石器などはフレイク、フレイク・チップが出土しているだけである。なお遺物取り上げ番号1・5は覆土3層、2・4・6は覆土2層出土の土器片である。

出土遺物：土器～1は大型の深鉢の口縁部。微隆起の貼付文の後に縄文を施文し、再度、貼付文をなで、調整している。その後、貼付上にヘラ状工具による刻み。2は深鉢の底部。微隆起の貼付文の後に縄文を施文。底部下端まで条の細い縄文を施文。3は深鉢の胴部。微隆起の貼付文の後に縄文を施文し、再度、貼付文をなで、調整している。その後、貼付上にヘラ状工具による縦の刻み。4は深鉢の胴部。微隆起の貼付文の後に縄文を施文し、再度、貼付文をなで、調整している。5は深鉢の胴部。微隆起の貼付文の後に縄文を施文。底部下端まで条の細い縄文を施文。6は深鉢の口縁部。微隆起の貼付文の後に縄文を施文。7は深鉢の胴部。微隆起の貼付文の後に短縄文の連続押圧。短縄文の連続押圧の一部には、断面方形の工具による短沈線文。8は小型の深鉢の底部。底部下端まで条の細い縄文を施文。1～8は中茶路式。

重複・新旧関係：本遺構は、P 321と重複していて、これより古い遺構である。

時期：出土遺物などから見て、I群b-3類土器を伴う縄文時代早期のものと思われる。



図V-23 H 18出土の土器



## H 19 (図V-24・25 表V-1・3・4 図版8・34)

位置：I-24 J-24 標高25.52m～25.64mのほぼ平坦地に位置する。

規模：2.88m/2.65m×2.62m/2.36m×0.29m 平面形：楕円形状 床面積：4.87m<sup>2</sup>

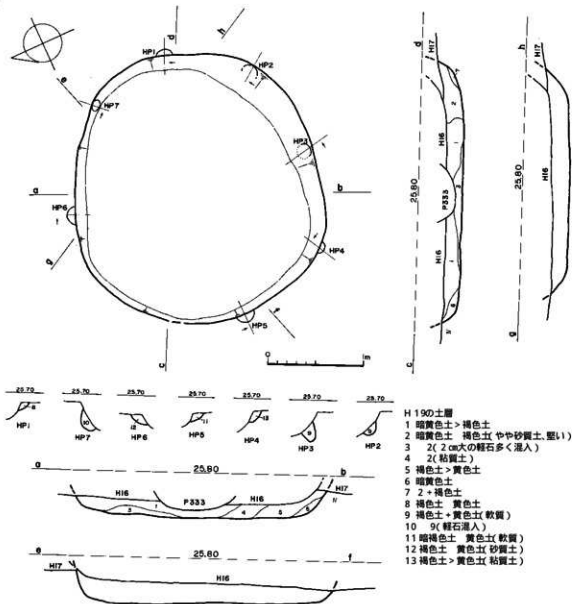
長軸方向：N-77°-W

確認・調査・土層：H16、H17の床面で褐色土まじりの暗黄色土の落ち込みを検出する。土層観測用の土手を設定し、調査を行う。覆土を18～28cm程掘り下げ、暗黄灰色土の面と壁の立ち上がりを検出したことから、この面を床面と判断する。覆土はほぼ一層で、暗黄色土を主体とし、褐色土や軽石がまじる砂質土である。

床面：IV層中に構築し、ほぼ平坦である。

壁：立ち上がりは急傾斜である。検出面からの壁高は、北東壁が13cm、南東壁が24cm、南西壁が29cm、北西壁が18cmである。

付属構築物：炬跡～焼土などは検出されていない。付属ビット～壁中に7個の柱穴状小ビットが検出された。



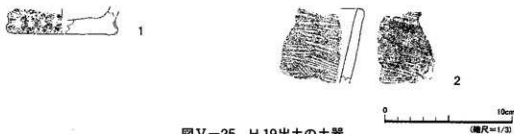
図V-24 H 19

遺物出土状況：出土遺物総数は8点である。土器が4点、フレイク、フレイクチップが4点で、すべて覆土中から出土したものである。まとまった出土状態ではない。

出土遺物：土器～1は深鉢の底部。三角形に外側に張り出す底部に短縄文の押圧。砂粒を多く含む。2は深鉢の口縁部。口唇部は外側に面を持ち、断面方形。内外面ともに貝殻条痕文。1はコッタロ式、2は貝殻条痕文系土器群。

重複・新旧関係：本遺構は、H 16、H 17、P 333と重複し、これらより古い遺構である。

時期：重複関係や出土遺物から見て、縄文時代早期のものと思われる。



図V-25 H 19出土の土器

表V-1 住居跡掲載土器・土製品一覧

図番号	図版番号	遺構名・グリッド	層位	取上げ番号	器種(部位)	分類	地文及び主な調整	型式名称	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考
V-3-1	31	H1c	層土2層		鉢 Ⅱ	Nc-2	RL	三ツ谷式	23.0	—	—	—	
V-6-1	31	H12	床面上	No1	鉢 Ⅱ	Ⅱb	H1+H12層	葎ヶ岡3式	—	—	—	—	
			覆土										
V-6-2	31	H12	ⅡA層		Ⅱ	土製品		三ツ谷式相当	—	—	—	—	
V-6-3	31	H12	ⅡA層		Ⅱ	土製品		三ツ谷式相当	—	—	—	—	
V-7-1	31	H13	床面	No3	鉢 Ⅱ	Ⅱa	LR多条	葎内 中野式	—	—	—	—	
V-7-2	31	H13	層土3層	No1	鉢 Ⅱ	Ⅱa	RL多条	葎内 中野式	—	—	—	—	内面縄文
V-7-3	31	H13b	ⅡB層		Ⅱ	Nc-2	無文	三ツ谷式	7.2	4.8	3.5	—	ミニチュア
V-11-1	31	H14f	層土2層		鉢 Ⅱ	Nc-2	LR	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-11-2	31	H14b	層土2層		Ⅱ	Nc-2	RL・LR	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-11-3	31	H14a	層土1層		鉢 Ⅱ	Ⅱa	L1+H12層	葎ヶ岡2式	—	—	—	—	
V-11-4	31	H14d	層土1層		鉢 Ⅱ	Ⅱa	L1+H12層	葎ヶ岡2式	—	—	—	—	
V-11-5	31	H14b	ⅡB層		鉢 ⅡB層	Nc-2	RL	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-14-1	32	H15	層土1層		鉢 Ⅱ, Ⅱ	Ⅱa	L1+H12層	葎ヶ岡2式	24.2	25.0	—	—	
			I-23 ⅡC層										
V-14-2	32	H15	堀上げ土		鉢 Ⅱ	Nc-2	LR	三ツ谷式	—	—	—	—	
			層土3層										
V-14-3	32	H15	層土2層		鉢 Ⅱ	Nc-2	RL・LR	三ツ谷式	—	—	—	—	
			I-23 ⅡC層										
V-14-4	32	H15	層土2層		鉢 Ⅱ	Nc-2	RL・LR	三ツ谷式	—	—	—	—	
			I-24 ⅡB層										
V-14-5	32	H15	層土1層		Ⅱ	土製品	RL縦走	三ツ谷式相当	—	—	—	—	
V-14-6	32	H15	ⅡB層		鉢 Ⅱ(Ⅱ)	Vc	LR	大淵BC<C1式相当	12.4	—	—	—	
V-14-7	32	H15	ⅡB層		Ⅱ	Nc-2		三ツ谷式	—	—	—	—	
V-14-8	32	H15	ⅡB層		Ⅱ	土製品		三ツ谷式相当	—	—	—	—	
V-14-9	32	H15	ⅡA層		Ⅱ	土製品	LR	三ツ谷式相当	—	—	—	—	
V-17-1	33	H16	層土	No1・6・7	深鉢(口～脚)	Ⅱa	LR多条	葎内 中野式	40.0	26.7	—	—	—
			層土2層										
			H16b ⅡI+Ⅱ										
			H16c ⅡI+Ⅱ										
			I-24 掘底										

図番号	図版番号	遺構名・グリット	層位	取上げ番号	器種	分類	地文及び主な調整	型式名称	口輪(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考	
V-17-2	33	H16	覆土	No2	鉢 Ⅱ	Ⅱa	L.R.多条	鉢内 中野式	—	—	—	—	内面陶文	
V-17-3	33	H16	覆土	No11-12	鉢 Ⅱ	Ⅱa	R.L.多条	鉢内 中野式	—	—	—	—		
V-17-4	33	H16a	覆土2層		鉢 Ⅱ	Ⅱa	R.L.多条	鉢内 中野式	20.5	—	—	—	4-5同-?	
V-17-5	33	H16	覆土	No14	鉢 Ⅱ	Ⅱa	R.L.多条	鉢内 中野式	—	—	—	—	4-5同-?	
		H16b	覆土2層											
V-17-6	33	H16d	覆土1層		鉢 Ⅱb-Ⅲ	Ⅱc-2	R.L.・L.R.	三ツ谷式	25.5	23.6	—	—		
		t-24	Ⅱa・Ⅱb・Ⅱc層											
		t-24	覆瓦											
		t-25	瓦層											
V-17-7	33	H16a	覆土1層		鉢	土製品		三ツ谷式相当	—	—	—	—		
V-17-8	33	H16a	覆土1層		Ⅱ	土製品		三ツ谷式相当	—	—	—	—		
V-19-1	34	H17c	覆土3層		鉢 Ⅱ	Ⅱb-3	L.R.	中茶碗式	—	—	9.5	—		
V-19-2	34	H17a	覆土2層		Ⅱ Ⅱ	Ⅱc-1	無文	壺林式	—	—	—	—	赤彩	
		t-21	ⅡB層											
V-23-1	34	H18c	ⅡB・Ⅱ層		鉢 Ⅱ	Ⅱb-3	L.R.	中茶碗式	36.2	—	—	—	大型	
V-23-2	34	H18	覆土2層		鉢 Ⅱ	Ⅱb-3	L.R.	中茶碗式	—	—	10.0	—		
V-23-3	34	H18a	ⅡB・Ⅱ層		鉢 Ⅱ	Ⅱb-3	L.R.	中茶碗式	—	—	—	—		
V-23-4	34	H18d	覆土2層		鉢 Ⅱ	Ⅱb-3	R.L.・L.R.	中茶碗式	—	—	—	—	結束1層	
V-23-5	34	H18	覆土2層		鉢 Ⅱ	Ⅱb-3	R.L.	中茶碗式	—	—	—	—		
V-23-6	34	H18c	覆土2層		鉢 Ⅱ	Ⅱb-3	R.L. 彫刻文	中茶碗式	—	—	—	—	6・7同-?	
		P322	覆土1層											
V-23-7	34	H18c	覆土2層		鉢 Ⅱ	Ⅱb-3	L.R. 彫刻文	中茶碗式	—	—	—	—	6・7同-?	
		P322	覆土1層											
V-23-8	34	H18a	覆土2層		鉢 Ⅱ	Ⅱb-3	L.R. 彫刻文	中茶碗式	—	—	8.0	—	小型	
V-25-1	34	H19	覆土	No3	鉢 Ⅱ	Ⅱb-3	L.R. 彫刻文	コッタ口式	—	—	8.3	—		
V-25-2	34	H19a	覆土		鉢 Ⅱ	Ⅱa	貝殻糸文	貝殻糸文系	—	—	—	—	内外面	

表V-2 住居跡掘載石器・石製品一覧

遺跡番号	図番号	名称	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考
H11	図V-4-1	石鏃	覆土2層	(2.50)	1.40	0.4	0.9	黒曜石	
	* 2	石鏃	覆土1層	5.40	1.83	0.78	7.4	頁岩	
	* 3	つまみ付きナイフ	*	6.40	3.80	0.12	21.4	珉質頁岩	
H13	図V-8-1	石鏃	覆土3層	1.70	1.53	0.40	0.7	珉質頁岩	
	* 2	*	Ⅱ B層	(2.10)	1.53	0.40	0.5	黒曜石	
	* 3	*	*	(2.25)	1.20	0.40	0.7	*	
	* 4	*	*	3.40	1.30	0.40	1.1	*	
	* 5	つまみ付きナイフ	覆土2層	6.50	2.10	1.30	9.6	頁岩	
	* 6	たたき石	*	7.10	7.30	5.95	488.0	カンラン岩	素材円礎
H14	図V-12-1	石鏃	覆土1層	2.70	1.60	0.40	0.9	黒曜石	
	* 2	石芥	*	(6.80)	4.70	2.60	123.0	緑色泥岩	
H15	図V-15-1	石鏃	掘り上げ土	(2.35)	1.20	0.32	0.6	黒曜石	
	* 2	*	*	(2.85)	1.50	0.44	1.1	*	
	* 3	石鏃又はナイフ	覆土1層	5.10	2.50	0.90	9.5	*	
	* 4	石鏃	Ⅱ B層	3.50	1.30	0.40	1.6	珉質頁岩	
	* 5	*	覆土1層	2.90	0.90	0.70	1.6	*	
H16	図V-18-1	*	覆土2層	(1.67)	1.10	0.35	0.4	黒曜石	
	* 2	*	覆土1層	(0.15)	1.35	0.35	1.4	*	
	* 3	*	*	2.05	1.40	0.41	0.7	*	
	* 4	*	*	3.40	1.43	0.40	1.2	*	
	* 5	石鏃	覆瓦	3.00	1.47	0.50	1.3	*	
	* 6	石製品	覆土1層	1.00	0.95	0.65	0.8	カンラン岩	玉
	* 7	石芥	覆土2層	(4.68)	3.62	1.57	38.3	緑色泥岩	
	* 8	すり石	覆土1層	6.00	13.90	4.60	518.0	安山岩	
	* 9	たたき石	覆土2層	5.80	10.40	2.30	171.0	砂岩	
H17	図V-20-1	すり石	覆土3層	(7.20)	11.55	5.00	630.0	安山岩	
	* 2	*	覆土	6.85	(9.55)	4.50	455.0	*	
	* 3	たたき石	*	8.00	13.40	3.40	465.0	*	

表V-3 遺構別(住居跡)出土土器・土製品一覧

遺構	出土層位	Ia	Ib-3	Ib-4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVc-1	IVc-2	Vb	Vc	VI	土製品	総計
H11	覆土1層						2			3	69			1		75
	覆土2層		5				6				35					46
	計		5				8			3	104			1		121
H12	IIA層														2	2
	覆土1層		6				26				6					38
	床面直上						4									4
	計		6				30				6				2	44
H13	攪乱											9				9
	II B層		1				20	1			507			1		530
	覆土1層						21	1			361			1		384
	覆土2層		1	3	1		25			3	386			4	1	424
	覆土3層				1	1	1	2		3	75					83
	HP覆土											4				4
	床面				2											2
	覆土壁											4				4
	計		2	3	4	1	67	4		6	1,346			6	1	1,440
H14	I層						2					18				20
	攪乱											18				18
	II層											3				3
	II B層											51				51
	覆土1層						7			17	297					321
	覆土2層										82					82
計						9			17	469					495	
H15	IIA層										487			6	1	494
	II B層						7		70	1,264	7	11		2	1,361	
	覆土1層			1		2				264	3		1	2	273	
	覆土2層					4			1	48						53
	覆土3層									1	44					45
	掘上げ土						1			1	294			9		305
計			1		14			73	2,401		10	11	16	5	2,531	
H16	攪乱				6		1			86						93
	覆土		1		58											59
	覆土1層		2		103		44			711	22			3	885	
	覆土2層		3		90		3			12	104					212
	覆土3層				3							1				4
	HP覆土				5											5
	床直上				6											6
計		6		271		48			809	127				3	1,264	
H17	攪乱						1			1	54					56
	覆土2層				2		2			22	307					333
	覆土3層		6													6
	床									1						1
	床直上											1				1
	計		6		2		3			24	361	1				397
H18	覆土															
	覆土1層		8													8
	覆土2層		152	20												172
	覆土3層		22													22
	床下直上		1													1
計		183	20												203	
H19	覆土	1	1							2						4
計		1	209	23	278	1	179	4		934	4,814	11	11	23	11	6,499

表V-4 遺構別(住居跡)出土石器・石製品など一覧

遺構名	出土層位	石種	用途(行)	形状	寸法(行)	重量(行)	小群	石斧	守り石	たまたき石	石槌・石重	砥石	石核	石製品	小群	合計
H11	表土1層	1	1	1	8	11										11
	表土2層	2		1	8	11										11
H12	表土1層	1	1	2	16	22										22
	表土2層	2		1	14	15										15
H13	表土1層	8	3	1	124	136					2			3	139	
	表土2層	2	1	1	38	43					1			1	44	
	表土3層	3	1	1	99	105			1		1			3	108	
	表土4層	4	1	1	68	75			1					1	76	
	計	17	1	6	2	3	330	360	1	1	1	4	1	8	368	
H14	表土1層	1	1	1	3	4										4
	表土2層	2		1	1	1										1
	表土3層	3	1	1	45	51		3						3	54	
	表土4層	4	1	1	10	10		1				2		4	14	
	計	4	2	2	56	66		3	1			2		7	73	
H15	表土1層	1		1	42	44										44
	表土2層	2	1	3	2	119	135				1			1	135	
	表土3層	3	1	2	28	35								1	36	
	表土4層	4	1	2	1	24	27								27	
	計	1	1	3	11	12					1			1	13	
H16	表土1層	1	3	2	5	1	4	225	256		2			2	258	
	表土2層	2		1	7	9				1				1	10	
	表土3層	3		1	15	15									15	
	表土4層	4	1	2	1	92	102		1		1			2	106	
	計	1	2	2	28	32	2	1	1	1	1			4	36	
H17	表土1層	1	1	1	1	1										1
	表土2層	2	2	4	143	159		2	1	1	1	1	1	2	9	168
	表土3層	3		7	7	7										7
	表土4層	4		1	20	22			1	1		6		8	8	
	計	1	2	2	1	1	1	1	1	2	2	2	4	20	26	
H18	表土1層	1		1	1	1										1
	表土2層	2		2	28	32		2		3				2	2	
	表土3層	3		4	4	4								14	46	
	表土4層	4		2	2	2									4	
	計	1	2	2	2	2									2	
H19	表土1層	1		8	8	8										8
	表土2層	2		3	3	3										3
	計	1	1	1	1	1									1	
計	表土1層	1	1	4	4	4										4
	計	1	1	4	4	4										4

### 3. 土壌

P 222 (図V-27 表V-7)

位置：C-23 規模：0.86m/(0.66m)×0.69m/(0.54m)×0.16m 平面形：楕円形

長軸方向：N-67° -W

調査状況：Ⅲ層調査中に楕円形のプランを確認した。東西方向に幅約10cmのセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。検出面から約10cmの深さで壙底を検出した。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：黒褐色土を主体とし、パミス、ローム粒を含む均質な土質である。埋め戻しによる堆積と考える。

壙底・壁：壙底はやや丸みをもち、壁は内湾気味に立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅳ群c類土器が少量出土した。

性格・時期：不明である。

(石井淳平)

P 223 (図V-27・46・47・56 表V-5・6・7・8 図版10・35・41)

位置：B-23 規模：1.70m/(1.45m)×1.55m/(1.51m)×0.26m 平面形：円形

調査状況：本遺構周辺ではⅡ層掘り下げ中から遺物が多量に出土しており、遺構の存在が予測できた。周囲のⅡ層を除去し、Ⅳ層上面を検出する際に、本遺構のプランを確認した。この時点では2つの遺構が切り合っているようにも見えたため、さらに全体を掘り下げ、正確なプランの検出を試みた。その結果、直径約1.5mのほぼ円形の土壌であることが判明した。検出面で土器片が多く出土したため、これらの出土状況を図化し、標高を測定して取り上げた。その後、東西方向にセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。検出面同様、埋土上層には土器片が多く含まれており、これらを残しながら掘り下げを進めた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去した。埋土中から出土した土器片は出土状況を図化した後、標高を測定して取り上げた。

土層：黒色土主体の土層1,2と、パミスを多く含む土層3~5に大別した。土層1,2には土器片が多く含まれ、土層3~5にはほとんど含まれない。いずれも埋め戻しによる堆積で、土層3~5が埋め戻された後、土層1,2の埋め戻しとともに土器片が廃棄されたものと考えられる。

壙底・壁：壙底は平らで、壁は直線的に立ち上がる。

遺物出土状況：検出面及び土層1,2から多量のⅣ群c類土器が出土した。

出土遺物：土器~1は深鉢。口唇断面は内傾形。底部は低台付。口縁部下には突瘤文が巡る。2は無文の深鉢の底部。低台付で、上げ底。3は深鉢の口縁部。口唇部断面は内傾形。突瘤文が巡る。4は無文の壺。胴部最大径の上部と胴部の1/3ほどの位置に2カ所の焼成前穿孔。5は深鉢の底部。低台付。6は深鉢の底部。低台付。7は片口付の鉢の口縁部。片口は大きくくちばし状に伸び、その端の口唇部にボタン状貼付と縄文回転施文。細めの沈線による多重沈線文。無文部は磨いている。10と同一個体の可能性が高い。8は壺の胴部。細めの沈線文。平行沈線間には半截竹管状工具による斜めからの刺突。ボタン状貼付には縦の刻み。9は深鉢の口縁部。突瘤文が巡る。10は鉢の口縁部。幅の広い突起部には棒状工具による刻み。中央に焼成前穿孔。口唇部にボタン状貼付と縄文施文。細めの沈線による多重沈線文。無文部は磨いている。11は深鉢の口縁部。口唇部断面は内傾形で、口唇上に縄文施文。細めの沈線により無文帯と縄文が交互に繰り返す。沈線には爪文が沿う。突瘤文。12は深鉢の胴部。細めの沈線文。13は壺の胴部。沈線文間に爪文。14は深鉢の口縁部。口唇部断面は内傾形。15は深鉢の胴部。16は深鉢の口縁部。口唇部断面は内傾形。突瘤文が巡る。1~16は三ツ谷式。

石器~1は有茎凸基の石鏃。二等辺三角形状で、突端部と茎部欠損する。石材は半透明で、縞状の黒

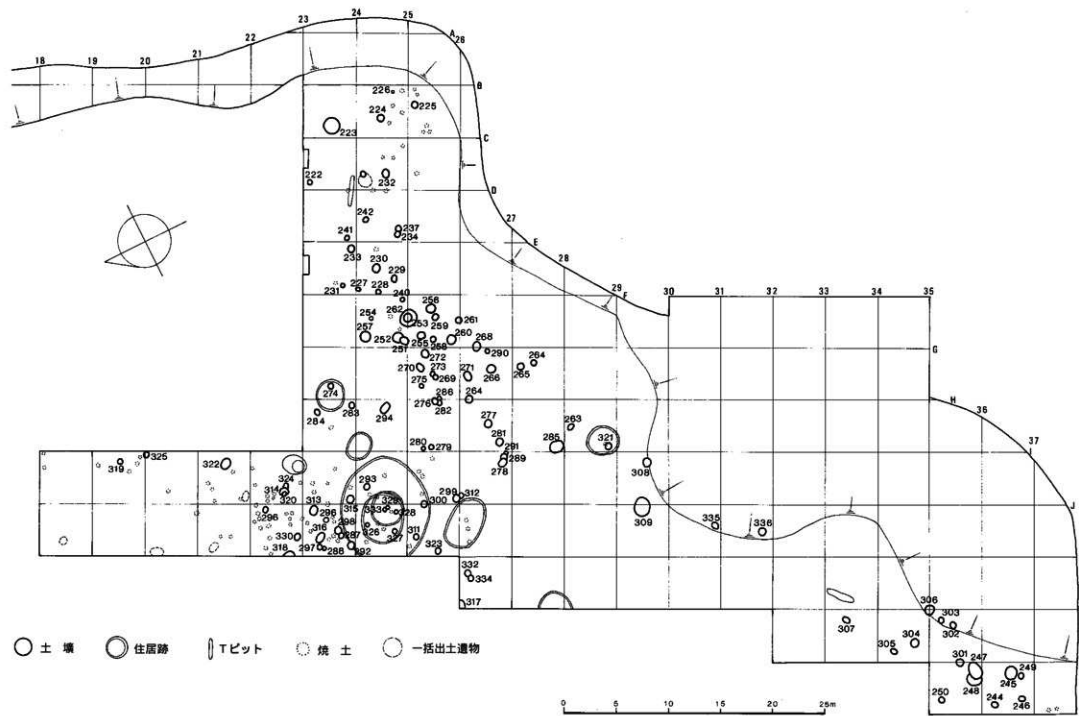


図 -26 土壌の位置図

曜石。2は片面周縁加工のつまみ付きナイフ。右側縁の刃部は急角度である。下端部欠損。石材は珪質頁岩。3は側面が敲打、他は研磨調整の石斧。基部欠損し、破損後に火熱を受けて、更に研磨調整している。石材は緑色泥岩。4は台石片で、平坦面、側面のたたき痕は煤付着後のもの。石材は安山岩である。

性格・時期：掘削直後に埋め戻されていること、埋土中からIV群c類土器がまとまって出土していることから、縄文時代後期後葉であろう。遺構の性格としては、墓、廃棄坑などの可能性があるが、調査結果からは判断できない。(石井淳平)

P 224 (図V-27 表V-7・8 図版10)

位置：B-24 標高25.88m付近 規模：0.94m/0.66m×0.86m/0.62m×0.14m 平面形：円形状  
 確認・調査・土層：Ⅲ層上面付近で黒褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約14cm掘り下げ暗黄灰色土の墳底面と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、微小の軽石と黄色土粒が少量まじる黒褐色土で、全体に堅くしまっている。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、やや軟質で、やや凹凸がある。壁の立ち上がりは全体にゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は84点である。この内訳は土器が73点、石器などが11点である。墳底直上付近でIV群c-2類の土器片が4点出土している。他は覆土中出土の遺物で、とくにまとまった出土状態でない。

性格：不明。 時期：出土土器などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 225 (図V-27・56 表V-6・7・8 図版10・41)

位置：B-25 標高25.83m～25.90m 規模：0.70m/0.51m×0.63m/0.50m×0.12m

平面形：長方形 長軸方向：N-32°-E

確認・調査・土層：Ⅲ層上面付近で暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約12cm程掘り下げ暗黄灰色土の墳底面と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ二層で、覆土1層はやや堅い黒褐色土(土層図1)、覆土2層は黄土色がまじる暗褐色土(土層図2)で、やや軟質である。

墳底・壁：墳底はわずかにIV層を掘り込んで構築している。やや凹凸があり、軟質である。壁の立ち上がりは全体にやや急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は39点である。この内訳は土器27点、石器など12点である。すべて覆土中出土の遺物で、まとまった出土状況ではない。

出土遺物：石器～5はつまみ部をもつ棒状の石錐。上端に剥離が残る。石材は頁岩。

性格：不明。 時期：出土遺物などから見てIV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 226 (図V-47 表V-5・7・8 図版10・36)

位置：B-24

確認・調査・土層：Ⅲ層上面付近で黒褐色土の落ち込みを検出する。検出面で一括土器が出土していたため土器を残して半載したところ、不整形の浅いくぼみであり、風倒木痕の可能性はある。ただ遺物番号を付して遺物を取り上げたため、P 226の出土として掲載、記述している。なお図面等は実測していないため掲載していない。

遺物出土状況：遺物はV群b類の土器片15点、フレイク・チップ1点出土している。



出土遺物：土器～17は深鉢の口縁部。口縁部は内湾し、縄線文が巡る。18は深鉢の口縁部。口縁部は内湾し、口唇上には棒状工具による刻み。縄線文が巡る。17～18は大洞BC～C1式相当。

性格：不明。 時期：縄文時代晩期。

P 227 (図V-28 表V-7・8 図版11)

位置：E-23・24 標高25.84m～25.91m 規模：0.73m/0.54m×0.57m/0.39m×0.09m

平面形：長円形状 長軸方向：N-59°-E

確認・調査・土層：Ⅲ層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約9cm程掘り下げ、暗黄灰色の墳底面と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、微小の黄色土粒を混入するやや軟質の暗褐色土である。

墳底・壁：墳底はⅣ層直上付近にあり、粘質でやや堅い。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は31点である。この内訳は土器が25点、石器など6点である。遺物はすべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。

性格：不明。 時期：出土遺物などから見て、Ⅳ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 228 (図V-28 表V-7・8 図版11)

位置：E-24 F-24 標高25.84m～25.87m 規模：0.70m/0.52m×0.56m/0.36m×0.11m

平面形：長方形 長軸方向：N-69°-E

確認・調査・土層：Ⅲ層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約11cm程掘り下げ暗黄灰色土の墳底面と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、黄色土がまじる粘質の暗褐色土で、自然堆積状のものである。

墳底・壁：墳底はⅣ層直上付近にあり、皿状を呈している。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は33点である。この内訳は土器26点、石器など7点である。遺物はすべて覆土中からの出土であり、土器ではⅣ群c-2類土器15点、Ⅴ群b類土器1点、石器ではスクレイパーが1点出土している。まとまった出土状態ではない。

性格：不明。 時期：出土遺物などから見て、縄文時代後期のものと思われる。

P 229 (図V-28 表V-7・8 図版11)

位置：E-24 標高25.88m～25.92m 規模：0.64m/0.46m×0.57m/0.44m×0.11m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-20°-W

確認・調査・土層：Ⅲ層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約11cm程掘り下げ暗黄灰色土の墳底面と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、黄色土粒まじりのやや粘質の暗褐色土である。炭化物が混入する。自然堆積状である。

墳底・壁：墳底はⅣ層上面付近で、ほぼ平坦。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は53点である。この内訳は土器43点、石器10点である。遺物はすべて覆土中からの出土で、土器ではⅣ群c-2類土器41点、Ⅳ群c-1類土器1点、土製品1点、石器では石礫片1点などが出土している。まとまった出土状態ではない。

性格：不明。 時期：出土遺物や周辺包含層出土の遺物などから見て、Ⅳ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 230 (図V-28・48 表V-5・7・8 図版11・36)

**位置:** E-24 標高25.84m付近 **規模:** 0.73m/0.54m×0.68m/0.54m×0.23m **平面形:** 円形状  
**確認・調査・土層:** III層中で黒褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約20cm程掘り下げ、墳底面と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、暗(黒)褐色土と黄色土のまじり合った汚れた混合土である。ただ遺物は土層図1・2を覆土上層、土層図3・5を覆土中層、土層図4・6・7を覆土下層として取り上げた。丁寧に作られている。

**墳底・壁:** 墳底はIV層と浅く掘り込んで構築している。平坦で、堅い。壁の立ち上がりは全体に急傾斜である。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は100点である。この内訳は土器89点、石器など11点である。遺物はすべて覆土中からの出土で、埋め戻し土に混入したものである。土器ではIV群c-2類土器が88点出土し、石器ではRフレイク、砥石片などが出土している。

**出土遺物:** 土器~19は深鉢の口縁部。口唇断面は内傾形。無文帯がある。沈線文が巡る。三ツ谷式。  
**性格:** 覆土の堆積状態などから見て、土壌墓と思われる。 **時期:** 周辺包含層出土の遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

#### P 231 (図V-28 表V-7・8 図版11)

**位置:** E-23 標高25.85m付近 **規模:** 0.44m/0.28m×0.41m/0.28m×0.10m **平面形:** 円形状  
**確認・調査・土層:** III層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、自然堆積土の土である。皿状である。

**墳底・壁:** 墳底はIV層上面付近に構築されており、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は21点である。この内訳は土器が16点、石器などが5点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。土器ではIV群c-2類土器片、石器では石錐片などが出土している。

**性格:** 不明。 **時期:** 周辺包含層出土の遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

#### P 232 (図V-28・48 表V-5・7・8 図版11・36)

**位置:** C-24 標高25.92m~25.96m **規模:** 1.10m/1.00m×0.91m/0.82m×0.10m

**平面形:** 楕円形状 **長軸方向:** N-59° -W

**確認・調査・土層:** III層直上付近で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、炭化物が多く混入している。

**墳底・壁:** 墳底はIV層直上付近に構築されている。中央部がやや高くなり、堅い。壁の立ち上がりはやや急傾斜である。全体に粗雑な作りである。

**遺物出土状況:** 遺物出土総数は14点である。この内訳は土器が13点、石器が1点である。すべて覆土中からの出土のもので、土器ではIV群c-2類の土器片が、石器では石皿片が出土している。まとまった出土状態ではない。

**出土遺物:** 土器~20は壺の口縁部。魚眼状三叉文風の沈線文と円形刺突。沈線間と円形刺突の周囲には半截竹管状工具による斜めからの刺突が巡る。21は深鉢または大型の鉢の胴部。平行沈線間に爪文と横長の貼付。貼付上はヘラ状工具による縦の刻み。20~21は三ツ谷式。

性格：不明。 時期：出土遺物などから、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 233 (図V-29・48 表V-5・7・8 図版11・36)

位置：E-23 標高25.74m付近 規模：0.92m×0.72m/0.91m×0.66m/0.21m 平面形：円形状  
確認・調査・土層：IV層上面付近で黄色土が混り合った暗褐色土の溶け込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を掘り下げ、土層図1・2中で土器片、焼土、炭化物、骨片が多く出土し、とくに焼土(FF1・2)付近で多く出土している。その下約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底面と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ二層である。覆土1層は黄色土まじりの暗褐色土(土層図1・2)で、焼土付近では炭化物・骨片が多い。覆土2層は褐色土と黄色土の埋め戻し状の混合土である(土層図4~6)。ポソポソしてやわらかい土である。墳底・壁：墳底はIV層を深く掘り込んで構築している。平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。全体に丁寧に作っている。

遺物出土状況：出土遺物総数は363点である。この内訳は土器298点、石器65点である。墳底直上付近でIV群c-2類土器片が10点、フレイク・チップが34点出土している。他は覆土中からの出土である。出土遺物：土器~22は深鉢の口縁部。口縁部下は無文帯で、細めの沈線文により区画。23は無文の鉢の口縁部。24は深鉢の口縁部。小波状口縁で、波頂部に縦の貼付。縄線文が巡る。25は深鉢の口縁部。口唇部断面は内傾形。突縮文が巡る。22~23・25は三ツ谷式。24は大洞BC~C1式相当の可能性もある。性格：覆土などの状態から土墳墓と思われる。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

本遺構では、埋め戻しの土の上で火を用いた埋葬儀礼が行われた様子を示している。儀礼後その上に土をのせて、埋葬したのではなかろうか。覆土は埋め戻し状の土であるが、二層間に違いが見られる。これは上述の様子を示唆しているものと思われる。

P 234 (図V-29 表V-7・8 図版12)

位置：D-24 標高26.00m付近 規模：0.69m/0.58m×0.58m/0.41m×0.14m  
平面形：長方形 長軸方向：N-56°-E  
確認・調査・土層：IV層直上付近で黄色土まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約12~13cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で埋め戻し状の混合土である。墳底・壁：墳底はIV層中にあり、やや凹凸がある。皿状である。堅い。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は18点である。この内訳は土器が12点、石器など6点である。全て覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。土器ではIV群c-2類土器が出土し、石器では石鏡片などが出土している。

重複・新旧関係：本遺構はP 237と重複しており、P 237より新しいものである。

性格：覆土の状態から見て、土墳墓と思われる。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 235 (図V-29・48・56 表V-5・6・7・8 図版12・36・41)

位置：C-24 標高25.84m~25.88m 規模：0.79m/0.56m×0.65m/0.48m×0.12m  
平面形：長方形 長軸方向：N-8°-W  
確認・調査・土層：III層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約10cm程

掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、黄色土が少量まじる暗褐色土である。上層は軟質で、ボソボソしており、炭化物・土器片が多く混入している。

墳底・壁：墳底はIV層を少し掘り込んで構築している。やや凹凸があり、軟質。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は166点である。この内訳は土器95点、石器など71点である。すべて覆土中からの出土で、出土土器はIV群c-2類土器、石器では石鏃片・砥石片が出土している。とくに一括した出土状態ではないが、土層図1周辺で多く出土している。

出土遺物：土器～26は深鉢の口縁部から胴部。口唇部外側に細い貼付が巡る。沈線間にヘラ状工具の先端による刺突。27は深鉢の口縁部。口唇部断面は内傾形。突瘤文が巡る。28は無文の深鉢の口縁部。平行沈線文、突瘤文が巡る。29は無文の深鉢の底部。低台付。26～29は三ツ谷式。

石器～6は二等辺三角形凹基、薄手の石鏃。石材は半透明、縞状の黒曜石である。

性格：不明。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 237 (図V-29・48・56 表V-5・6・7・8 図版12・36・41)

位置：D-24 標高26.02m付近 規模：0.96m/0.78m×0.84m/0.68m×0.25m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-55°-E

確認・調査・土層：Ⅲ層中で混合土状の土の落ち込みを検出する。P 234に切られており、P 234の調査後、半載し、調査を行う。覆土を約20～25cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ二層である。覆土1層は黄色土に暗褐色土が少量まじる混合土である(土層図1～3)。軟質土で、軽石が少量まじる。覆土2層は暗褐色粘質土である(土層図4・5)。遺物は覆土1層を上層、2層を下層としてそれぞれ取り上げた。

墳底・壁：墳底はIV層中に構築され、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。全体に丁寧な作りである。

遺物出土状況：出土遺物総数は57点である。この内訳は土器51点、石器など6点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではなく、埋め戻し土に混入したものである。出土土器はIV群c-2類土器が37点、V群b類土器が14点、石器では石鏃1点、スクレイパー2点などが出土している。

出土遺物：土器～30は深鉢の口縁部。口唇部断面は内傾形。縄線文が巡る。30は大洞BC～C1式相当。石器～7は有茎凸基の石鏃。左右のかえしが突き出している。石材は小球果を含む黒曜石。8は素材のかたちを大きく変えないもので、周縁調整し、刃部を作り出す。石材は光沢のある黒曜石。

重複・新旧関係：本遺構はP 234より古い遺構である。

性格：覆土の状態から見て、土塚墓と思われる。 時期：出土遺物などから見て、V群b類土器を伴う縄文時代晩期のものと思われる。

P 240 (図V-29・48 表V-5・7・8 図版12・36)

位置：F-24 標高25.90m 規模：0.46m/0.32m×0.45m/0.31×0.10m 平面形：円形状

確認・調査・土層：Ⅲ層中で一括遺物と暗褐色土の落ち込みを検出する。当初土器囲い炉を想定して半載し、調査を行う。覆土を5～6cm程掘り下げ土器の出土状態から土器囲い炉ではないと判断し、覆土をさらに4～5cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で、黄色土が少量まじる粘質の暗褐色土である。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、皿状である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は170点である。この内訳は土器157点、石器など13点である。出土土器はほぼ二個体分が内面を上にし、置かれた状態で、覆土中から出土した。すべてIV群c-2類土器である。石器は石錐片1点などが出土している。

出土遺物：土器～31は深鉢。口唇上に棒状工具による斜めの刻み。底部は低台付。32は深鉢の胴部。縄文は縦走る。31は三ツ谷式。32は大洞BC～C1式相当。

性格：土器の出土状態から見て、土壌墓かと思われる。 時期：出土遺物などから見て、IV群C-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 241 (図V-30・48 表V-5・7・8 図版12・37)

位置：D-23 規模：0.70m/(0.56m)×0.52m/(0.41m)×0.22m 平面形：楕円形

長軸方向：N-7°-W

調査状況：IV層上面で楕円形のプランを確認した。東西方向にセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。断面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：パミスを少量含む黒色～暗褐色土が主体で、埋め戻しによる堆積と考える。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、北東側がやや深い。壁はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物出土状況：IV群c類土器が一定量出土した。

出土遺物：土器～33は深鉢の突起部。中央に円形の刻み。口唇部外面に爪文。口縁部下は無文帯で、爪文により区画。34は深鉢の口縁部。小波状の刻み。突瘤文が巡る。35は深鉢の口縁部。小波状の刻み。突瘤文が巡る。34～35は三ツ谷式。

性格・時期：埋土中でIV群c類土器が一定量出土したことから、縄文時代後期後葉以降の可能性が高い。(石井淳平)

P 242 (図V-30 表V-7・8 図版12)

位置：M-36 規模：0.57m/(0.34m)×0.48m/(0.30m)×0.21m 平面形：楕円形

長軸方向：N-28°-W

調査状況：周辺は耕作によりIV層まで削平されており、I層除去後のIV層で検出した。南北方向に幅約10cmのセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後ベルトを除去して完掘した。

土層：三層に分層した。黒色土が主体でパミスを少量含む。パミスが一定量混入していることから、埋め戻しによる堆積と判断した。

墳底・壁：墳底は丸みもち、壁は内湾しながら立ち上がる。墳底と壁の境界は不明瞭である。

遺物出土状況：IV群c類土器、V群b類土器が少量出土した。

性格・時期：不明である。

(石井淳平)

P 244 (図V-30 表V-7・8 図版13)

位置：M-36 規模：0.80m/(0.61m)×0.79m/(0.60m)×— 平面形：円形

調査状況：周辺は耕作のためIV層まで削平されており、I層除去後のIV層で検出した。南北方向に幅約10cmのセクションベルトを設定し両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：三層に分層した。パミスを少量含む黒色土が主体で、埋め戻しによる堆積と考える。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁は内湾しながら立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅰ群b類土器、Ⅱ群a類土器が少量出土した。

性格・時期：不明である。

(石井淳平)

P 245 (図V-30・49 表V-5・7・8 図版13・37)

位置：M-36 規模：1.80m/(1.55m)×1.80m/(1.61m)×0.22m 平面形：円形

調査状況：周辺は包含層が存在せず、Ⅰ層除去後のⅣ層で検出した。東西方向に幅約10cmのセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：土層1以外はロームやバミスなどの混入物を多く含むことから、埋め戻しによる堆積と考える。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁は内湾しながら立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅲ群b類土器が少量出土したほか、石斧が出土した。

出土遺物：土器～36は深鉢の胴部、萩ヶ岡2式。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：墳底付近でⅢ群土器が出土した。先に推測したとおり、本遺構が人為的に埋め戻されたものとするならば、本遺構の埋没時期は縄文時代中期またはそれ以前である。遺構の性格は不明である。

(石井淳平)

P 246 (図V-30・56 表V-5・7・8 図版13)

位置：M-36 規模：(1.09m)/0.98m×0.96m/(0.85m)×0.29m 平面形：円形

調査状況：Ⅰ層除去後のⅣ層で検出した。周囲をⅣ層まで掘り下げプランを確認した後、調査を開始した。東西方向に幅約10cmのセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。カンラン岩の勾玉が埋土の中位で出土したため、出土地点を記録して取り上げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後完掘した。

土層：バミスを多く含む黒色土主体の埋土で、埋め戻しによる堆積の可能性が高い。

墳底・壁：墳底は平らで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅰ群b類土器、Ⅱ群a類土器、Ⅲ群b類土器、Ⅳ群c類土器が少量出土したほか、カンラン岩の勾玉が出土した。

出土遺物：石器～9は貫孔を有する垂飾石器製品。上端面に巾2cm、深さ1cmほどの浅い溝を作っている。石材はカンラン岩である。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：時期は不明である。墓塚の可能性はあるが、遺体の痕跡などは確認できなかった。また、カンラン岩の勾玉も埋土中位からの出土であるため、副葬品と断定することは出来ない。(石井淳平)

P 247 (図V-30・49 表V-5・7・8 図版13・37)

位置：M-35,36 規模：(1.74m)/1.38m×1.39m/(1.08m)×0.09m 平面形：楕円形

長軸方向：N-86° -E

調査状況：Ⅰ層除去後のⅣ層で検出した。P 248を切って掘り込まれていることがプランの観察から確認できた。2つの遺構の中央を通るように東西方向にセクションベルトを設定し、P 247のみ両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。埋土中で出土した比較的大型の土器と3点の石器は出土地点を記録して取り上げた。

土層：黒色土を主体としてバミスを若干含む。自然堆積と判断した。

墳底・壁：墳底は平らで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物出土状況：I群b類土器、石器片が少量出土した。

出土遺物：土器～37は浅鉢。口唇上は縄文施文後、棒状工具による刻み。後部の突起のみで、前部の突起は欠損している。底部は丸底。大洞BC～C1式相当。

重複・新旧関係：P 248を切る。

性格・時期：不明である。

(石井淳平)

P 248 (表V-7・8 図版13)

位置：M-35・36 規模：(1.91m)/1.73m×— / — ×0.12m 平面形：円形

調査状況：I層除去後のIV層で検出した。プランの観察から、P 247に切られることが確認できたため、2つの遺構の中心を通るように、セクションベルトを設定した。P 247の調査終了後、セクションベルトの両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：Ⅲ層起源の暗褐色土を主体とする。パミスをほとんど含まないことから、自然堆積層の可能性が高い。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁は緩やかに内湾しながら立ち上がる。

遺物出土状況：I群b類土器が少量出土した。

重複・新旧関係：P 247に切られる。

性格・時期：埋土が周辺の土壌が流れ込んだ自然堆積層と考えるならば、埋没の時期は周囲に黒色土が形成される以前である。

(石井淳平)

P 249 (図V-31 表V-7)

位置：M-36 規模：0.78m/(0.60m)×0.57m/(0.45m)×0.18m 平面形：楕円形

長軸方向：N-66° -W

調査状況：P 245の完掘後、壁際で検出した。P 245の完掘後に本遺構の存在に気づいたため、P 245との切り合い関係は不明である。南側を半載し、断面図の作成と写真撮影を行った。

土層：土層1は暗褐色土主体で、土層2は黒色土主体である。全体的にパミスを多く含むことから、埋め戻しによる堆積の可能性が高いと考える。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁は開き気味に立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅲ群b類土器、IV群c類土器が少量出土した。

重複・新旧関係：P 245と切り合う。

性格・時期：不明である。

(石井淳平)

P 250 (図V-31 表V-7・8 図版13)

位置：M-35 規模：0.94m/(0.68m)×0.72m/(0.59m)×0.40m 平面形：円形

調査状況：Ⅲ層掘り下げ中に確認した。プランが不明瞭であったため、IV層上面まで周囲を掘り下げて検出作業を行った。南北方向に幅約10cmのセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：土層1は黒色土主体、土層2、3はロームを多く含む暗褐色土が主体である。全体的にパミスを多く含む。埋め戻しによる堆積か自然堆積かは判断できない。

墳底・壁：墳底は丸く、壁は内湾しながら立ち上がる。墳底と壁との境界は不明瞭である。

遺物出土状況：IV群c類土器が出土した。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：不明である。

(石井淳平)

P 251 (図V-31・49 表V-5・7 図版13・37)

位置：F-24 標高25.90m～25.98m 規模：1.10m/0.90m×0.91m/0.78m×0.19m

平面形：楕円形 長軸方向：N-27° -E

確認・調査・土層：IV層上面付近で褐色土>黄色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約19cm程掘り下げ、暗黄灰色の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で、埋め戻し状の混合土である。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は66点である。この内訳は土器60点、石器など6点である。すべて覆土中からの出土であるが、下層付近から多い。ただまとまった出土状態ではなく、埋め戻し土に混入したものである。出土土器は、IV群c-2類土器が53点出土し、他にI群b-4類・II群a類・V群b類の土器片も若干出土している。

出土遺物：土器～38は深鉢の口縁部。口唇上は棒状工具による刻み。縄線により多重の方形文を施文。大洞BC～C1式相当。

重複・新旧関係：本遺構は、P 252と重複し、これより新しい遺構である。

性格：覆土の状態から見て、土墳墓と思われる。 時期：周辺包合層出土の遺物などから見て、V群b類土器を伴う縄文時代晩期のものと思われる。

P 252 (図V-31・49・56 表V-5・6・7・8 図版13・37・41)

位置：F-24 標高25.90m～25.96m 規模：(1.36m)/1.10m×1.26m/1.08m×0.26m

平面形：楕円形 長軸方向：N-88° -E

確認・調査・土層：IV層上面付近で混合土の落ち込みを検出する。P 251に切られているため、P 251の調査終了後、半載し、調査を行う。覆土を12～19cm程度掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、埋め戻し状の混合土である。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は88点である。この内訳は土器69点、石器19点である。墳底壁際で砥石が1点出土している。他は覆土中からの出土で、埋め戻し土に混入したものである。出土土器はIV群c-2類土器が58点などで、土製品が1点出土している。石器では石鎌片、スクレイパー、石斧片などが出土している。

出土遺物：土器～39は深鉢の口縁部～胴部。口唇部断面は内傾形。突瘤文と爪文が巡る。40は深鉢の口縁部。口唇部断面は切出し形。口縁部は小波状。沈線文を施文。41は深鉢の口縁部。突起は小さい山形。口唇部断面は切出し形。沈線文を施文。39～41は三ツ谷式。

石器～10は有茎凸基の石鎌。先端部、右かえしが欠損し、破損後被熱している。石材は黒曜石。11は板状の砥石。上面全体が使用されているが、部分的に巾約3cmほどはより使いこまれて凹んでいる。石材は砂岩。

重複・新旧関係：本遺構は、P 251と重複し、これより古い遺構である。

性格：覆土の状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類



土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 253 (図V-31・50・56 表V-5・6・7・8 図版14・37・41)

位置：F-24・25 標高25.88m～25.98m 規模：1.21m/0.94m×1.18m/0.94m×0.32m

平面形：円形状

確認・調査・土層：IV層上面で混合土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約30cm程掘り下げ暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ3層である。覆土1層は黄色土が少量混入する暗褐色土(土層図1)、覆土2層は粘質の埋め戻し状の混合土である(土層図2・3)。なお南壁側の土層図2と3の境目付近で焼土が流れ込み状に見られた。遺物は土層図1を覆土1層、土層図2を覆土2層、土層図3を覆土3層として取り上げた。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりはほぼ垂直で、全体に丁寧に作られている。

遺物出土状況：出土遺物総数は989点である。この内訳は土器869点、石器など120点である。遺物は覆土2層、とくに土層図2中で多く出土している。埋め戻し土に混入したものと思われる。出土土器はIV群c-2類土器が815点で、他にI群b-3・4類・IV群a・c-1類・V群b類土器なども出土し、土製品も1点出土している。石器では石鏃5点、他にスクレイパー、砥石片などが出土している。

出土遺物：土器～42は深鉢の胴部～底部。底部は弱い丸底。地文の縄文は縦走する。43は深鉢の口縁部。突瘤文と爪形文が巡る。44は深鉢の突起部。中央に円形の刻み。45は大型の鉢の口縁部。沈線間は無文で、磨消縄文。47の口縁部の可能性もある。46は無文の鉢の口縁部。47は注口付壺形の肩部。沈線間は無文。48は土製品の耳栓。49は深鉢の口縁部下～胴部。口縁部は胴部から内傾し、無文で、縄線文が巡る。地文の縄文は胴部上半で横走気味、下半で縦走する。50は壺の口縁部。頸部から屈曲する。口唇部外面にヘラ状工具による斜めの刻み。屈曲部に細めの沈線文と半載竹管状工具による斜め下方からの刺突文が巡り、一部に半載竹管状工具による正面からの刺突がある。51は壺の口縁部～胴部。やや丸みのある胴部から、口縁部はくの字に屈曲する。42・49・51は大洞BC～C1式相当。51は恵山式の可能性もある。43～47・50は三ツ谷式。48は三ツ谷式または大洞BC～C1の時期に伴うものと考えられる。

石器～12は有茎凸基の石鏃。側縁外湾し、つくりは粗雑である。石材は黒曜石。

重複・新旧関係：本遺構は、P 262と重複し、これより新しい遺構である。

性格：覆土の状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期：出土遺物などから、V群b類土器を伴う縄文時代晩期のものと思われる。

P 254 (図V-32・50 表V-5・7・8 図版14・38)

位置：F-24 標高25.85m付近 規模：0.46m/0.26m×0.45m/0.26m×0.07m 平面形：円形状

確認・調査・土層：IV層上面付近で暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約5～7cm程掘り下げ暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で、わずかに黄色土がまじる粘質の暗褐色土である。

墳底・壁：墳底はIV層を浅く掘り込んで構築し、皿状である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は20点で、この内訳は土器19点、石器など1点である。出土土器はIV群c-2類土器が18点出土している。全て覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。

出土遺物：土器～52は無文の小型の鉢の底部。底部は台付。細めの平行沈線文が巡る。三ツ谷式。

性格：不明。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 255 (図V-32・50・56 表V-5・6・7・8 図版14・38・41)

位置：F-25 標高26.00m付近 規模：0.90m/0.72m×0.76m/0.63m×0.32m

平面形：長方形 長軸方向：N-27°-E

確認・調査・土層：Ⅲ層中で混合土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約30cm程掘り下げ暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ二層である。覆土1層はサラサラした黒褐色土で(土層図1)、自然堆積状である。覆土2層は埋め戻し状の混合土である(土層図2~5)。遺物は三層に分けて取り上げている。覆土1層は土層図1、覆土2層は土層図2・3、覆土3層は土層図4・5である。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、平坦で、堅い。壁の立ち上がりはほぼ垂直的で、全体に丁寧に作られている。

遺物出土状況：出土遺物総数は316点である。この内訳は土器284点、石器など32点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。ただ墳底直上付近でIV群c-2類土器70点などが出土している。他は埋め戻し土に混入したものである。出土土器はIV群c-2類土器が277点で、他はIV群c-1類土器などが出土し、石器では石鏃1点、つまみ付きナイフ・スクレイパー各2点、たたき石1点などが出土している。

出土遺物：土器~53は深鉢の口縁部。無文帯があり、半截竹管状工具による斜めからの刺突により区画。A状突起がある。54は深鉢の口縁部。無文帯があり、沈線文により区画。A状突起がある。55は深鉢の口縁部。突縮文と爪文が巡る。56は無文の壺の肩部。57は浅鉢の口縁部~胴部。3つ1組の突起部がある。口縁部下には馬蹄形の縄線文。53~56は三ツ谷式。57は大洞BC~C1式相当。

石器~13は素材の形状を大きく変えないスクレイパーで、右側縁に刃部を作り出している。石材は頁岩。14は扁平礫を素材とするたたき石。上下面にたたき痕が残る。石材は安山岩。

性格：覆土の状態から見て、土墳墓と思われる。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 256 (図V-32・51・56 表V-5・6・7・8 図版14・15・38・41)

位置：F-25 標高25.94m付近 規模：1.22m/1.03m×1.13m/0.95m×0.37m 平面形：円形状

確認・調査・土層：Ⅲ層中で混合土状の土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を掘り下げたところ、西壁際土層図2中で流れ込み状に一括土器が出土する。写真撮影、実測のち取り上げ、更に約30cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ三層に分けられる。覆土1層は黒褐色で(土層図1)、自然堆積状の土である。覆土2層は黄色土がまじる暗褐色土で、埋め戻しの土である(土層図2~5)。覆土3層は墳底上の土で混合土である(土層図6)。遺物は覆土2層を二つに分けて覆土2・3層、覆土3層を覆土4層として取り上げている。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが、平坦で、堅い。壁の立ち上がりはほぼ垂直的である。丁寧に作られている。

遺物出土状況：出土遺物総数は434点である。この内訳は土器385点、石器など49点である。墳底直上付近で、V群b類土器片1点、すり石1点が出土しているが、他はすべて覆土中からの出土で、とくに覆土2層中から多く出土している。出土土器ではIV群c-2類土器が341点出土し、他にIV群c-1類、V群b類土器、土製品が出土している。石器では石鏃4点、つまみ付きナイフ1点、スクレイパー1点な

どが出土している。

**出土遺物：**土器～58は壺の肩部～胴部。地文の縄文は縦走する。59は鉢の胴部。磨消後、帯縄文を細かい縄文で施文。60は浅鉢の口縁部。口唇部に縄文による刻み。ノの字状の貼付文があり、貼付上は棒状工具による斜めの刻み。渦巻き状の沈線文があり、沈線には赤彩が残る。61は深鉢の口縁部。沈線文と三叉文様の刻線文。沈線文による文様の下には無文帯があり、半截竹管状工具による斜めからの刺突で区画。62は深鉢の口縁部。無文帯があり、沈線文で区画。爪文が巡る。58は大洞BC～C1式相当。59・61～62は三ツ谷式。60はタンネットウL式。

**石器～15・16**は有茎凸基の石鏃。15は左右非対称で、つくりは粗雑である。16は二等辺三角形で、裏面に剥裏面がのこる。先端部欠損。石材はともに黒曜石で、15は少球果を含む。17は片面周縁加工のつまみ付きナイフ。石材は光沢のある黒曜石。

**性格：**覆土、遺物出土状況などから見て、土壌墓と思われる。 **時期：**墳底直上出土の土器などから、V群b類土器を伴う縄文時代晩期のものと思われる。

P 257 (図V-32・51 表V-5・7・8 図版15・38)

**位置：**F-24 標高25.90m付近 **規模：**1.53m/1.20m×1.40m/1.10m×0.24m **平面形：**円形状  
**確認・調査・土層：**IV層上面付近で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約24cm程掘り下げ暗黄灰色土の落ち込みを検出する。覆土は三層に分けられる。覆土1層は黄色土をわずかに混入する暗褐色土である(土層図1)。自然堆積状である。覆土2層は埋め戻し状の混合土である(土層図2～5)。覆土3層は粘質で、黄色土が少量混入する暗(黒)褐色土である(土層図6・7)。遺物は覆土を上下二層に分けて取り上げている。

**墳底・壁：**墳底はIV層中にあり、皿状で、堅い。壁の立ち上がりはほぼ急傾斜である。

**遺物出土状況：**出土遺物総数は927点である。この内訳は土器868点、石器などが59点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。出土土器は、IV群c-2類土器が858点で、他にⅢ群b類・IV群a・c類土器が出土している。石器では石鏃2点、つまみ付きナイフ・スクレイパー・石斧片が各1点づつなどが出土している。

**出土遺物：**土器～63は壺の口縁部。口唇部断面は切出し形。細めの沈線文、半截竹管状工具による刺突文。地文の縄文は細かい縄文が横走する。64は深鉢の口縁部。口唇部外面に両方からつまむ爪文。爪文と突瘤文が巡る。65は深鉢の口縁部。突瘤文が巡る。63～65は三ツ谷式。

**性格：**覆土などの状況から見て、土壌墓と思われる。 **時期：**出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 258 (図V-32・51 表-5・7・8 図版15・38)

**位置：**F-25 標高25.97m～26.02m **規模：**0.65m/0.52m×0.55m/0.42m×0.23m

**平面形：**長方形 **長軸方向：**N-66° -E

**確認・調査・土層：**Ⅲ層中で混合土状の土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約23cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ二層に分けられる。覆土1層は混合土(土層図1・2)、覆土2層は黄色土を少量混入する粘質の暗褐色土である。

**墳底・壁：**墳底はIV層中にあり、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。丁寧に作られている。

**遺物出土状況：**出土遺物総数は12点で、この内訳は土器11点、石器など1点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。出土土器はIV群c-2類土器が9点、他にⅢ群b類・IV群

a類土器が出土している。石器はフレイク・チップ1点である。

出土遺物：土器～66は深鉢の口縁部。無文帯と沈線文が巡る。三ツ谷式。

性格：覆土の状態から見て、土墳墓と思われる。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

**P 259 (図V-33・51 表V-5・7・8 図版14・38)**

位置：F-25 標高26.00m付近 規模：0.88m/0.73m×0.73m/0.60m×0.29m

平面形：長方形 長軸方向：N-6° -W

確認・調査・土層：Ⅲ層中で混合土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約29cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、埋め戻し状の混合土である。遺物は土層図1を覆土1層、土層図2・3を覆土2層、土層図4を覆土3層として取り上げている。なお本遺構の北側で、0.70m×0.60mに広がる暗橙色焼土が検出されている。Ⅲ層中である。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが、平坦で、堅い。壁の立ち上がりはほぼ垂直的である。全体に丁寧に作られている。

遺物出土状況：出土遺物総数は424点である。この内訳は土器341点、石器など83点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。出土土器はIV群c-2類土器が330点、他にⅢ群b類、IV群c-1類土器などが出土している。石器では石鏃3点、スクレイパー1点などが出土している。

出土遺物：土器～67は無文の壺の肩部。外面の調整は粗い。三ツ谷式。

性格：覆土の状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

**P 260 (図V-33・61・57 表V-5・6・7・8 図版15・38・41)**

位置：F-25 標高26.02m付近 規模：1.03m/0.90m×1.10m/0.94m×0.30m 平面形：円形状

確認・調査・土層：Ⅲ層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約30cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と土の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ二層に分けられる。覆土1層は黄色土が少量まじる暗褐色土で、自然堆積と思われる(土層図1)。覆土2層は埋め戻し状の混合土である(土層図2～6)。遺物は土層図1が覆土1層、土層図2が覆土2層、土層図3～6を上下に分け、それぞれ覆土3・4層として取り上げている。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりはほぼ垂直的である。全体に丁寧に作られている。

遺物出土状況：出土遺物総数は397点である。この内訳は土器335点、石器など62点である。すべて覆土中出土のもので、埋め戻し土に混入したものである。土器ではIV群c-2類土器が300点、他にI群b-3類・IV群c-1類土器、土製品が出土している。石器では石鏃3点、スクレイパー3点、石斧片2点、たたき石1点などが出土している。

出土遺物：土器～68は深鉢の波状口縁部。口唇部断面は面取りのある切出し形。無文帯と沈線文、突縮文が巡る。69は深鉢の肩部。爪文が巡る。70は深鉢の口縁部。口唇部断面は幅の広い切出し形。沈線文で縦に区画した無文帯、突縮文が巡る。71は深鉢の口縁部。無文帯がある。72は無文の鉢の口縁部。口唇部上に棒状工具によるV字の刻み。73は無文の鉢の口縁部。口唇部上に棒状工具によるV字の刻み。72とは厚みと外形が異なるため別個体と考えられる。74は深鉢の肩部。沈線文と無文帯があり、爪文で区画。75は壺の肩部。地文は縦走気味。68～69・71・74は三ツ谷式。70は堂林式。72～73・75は大洞BC～C1式相当の可能性がある。

石器～18は有茎凸基の石鏃。正三角形。石材は少球果を含む黒曜石。

性格：覆土の状態などから見て、土壇墓と思われる。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 261 (図V-33・51 表V-5・7・8 図版15・38)

位置：F-25・26 標高26.02m付近 規模：0.72m/0.55m×0.64m/0.44m×0.12m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-43° E

確認・調査・土層：Ⅲ層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約10～12cm程掘り下げ、暗黄灰色土の壇底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で黄色土まじりの暗褐色土である。

壇底・壁：壇底はIV層をわずかに掘り込んで構築している。皿状である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は55点である。この内訳は土器52点、石器など3点である。すべて覆土中からの出土で、土器はすべてIV群c類土器、石器はフレイクなどである。

出土遺物：土器～76は深鉢の口縁部。口唇上にボタン状の貼付。沈線文、突瘤文が巡る。右側の突瘤文にはさらに粘土を貼付け、ボタン状の貼付としている。三ツ谷式。

性格：不明。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 262 (図V-33・51・57 表V-5・6・7・8 図版15・38・41)

位置：F-24・25 標高25.90m～25.80m 規模：2.41m/2.29m×1.80m/1.60m×0.12m

平面形：長方形形状 長軸方向：N-73° E

確認・調査・土層：Ⅲ層上面付近で黒褐色土の落ち込みを検出する。中央部にP 253が検出され、本遺構を切っていることが判明したため、P 253の調査終了後、半載し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の壇底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ二層に分けられる。覆土1層は黄色土をわずかに混入する黒褐色土(土層図1)で、覆土2層は黄色土を混入する暗褐色土(土層図2～5)である。ともに自然堆積状のものである。

壇底・壁：壇底はIV層直上付近にあり、皿状で、軟質である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は51点である。この内訳は土器39点、石器など12点である。すべて覆土中からの出土で、覆土に混入したものと思われる。土器ではIV群c-2類土器が29点、土製品1点などが出土し、石器では石鏃片1点、石錐片1点、スクレイパー2点などが出土している。

出土遺物：土器～77は土製品の玉。三ツ谷式の時期に伴うものと考えられる。

石器～19は素材の形状を大きく変えないスクレイパー。右側縁～下端周縁に刃部を作り出す。石材は頁岩。

重複・新旧関係：本遺構は、P 253と重複し、P 253より古い遺構である。

性格：不明。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 263 (図V-33・51 表V-5・7・8 図版16・38)

位置：H-28 標高26.02m付近 規模：1.01m/0.86m×0.79m/0.64m×0.08m

平面形：長方形形状 長軸方向：N-S

**確認・調査・土層**：IV層上面で混合土状の土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を5～8cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は埋め戻し状の混合土一層である。サラサラし、堅くしまっている。

**墳底・壁**：墳底はIV層をわずかに掘り込んで構築している。やや凹凸はあるが、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は29点である。この内訳は土器26点、石器など3点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。IV群c-2類土器25点、土製品1点が出土している。

**出土遺物**：土器～78はスタンプ形土製品の欠損品。下面は沈線様に丸くくぼむ。堂林式の時期に伴うものと考えられる。

**性格**：覆土の状態から見て、土墳墓と思われる。 **時期**：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

#### P 264 (図V-34・51 表V-5・7・8 図版16・38)

**位置**：G-27 標高26.02m付近 **規模**：0.82m/0.62m×0.72m/0.58m×0.12m

**平面形**：長円形状 **長軸方向**：N-22° -W

**確認・調査・土層**：IV層上面付近で混合土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、埋め戻し状の混合土である。上層（土層図1）には軽石と炭化物が少量混入している。遺物は上層を覆土1層、下層を覆土2層として取り上げた。

**墳底・壁**：墳底はIV層をわずかに掘り込んで構築している。皿状である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は70点である。この内訳は土器60点、石器など10点である。すべて覆土中からの出土で、埋め戻し土に混入したものである。土器ではIV群c-2類土器が60点、石器ではフレイクなどが出土している。

**出土遺物**：土器～79は深鉢の口縁部。無文帯があり、沈線文で区画。爪文が巡る。三ツ谷式。

**性格**：覆土の状態から見て、土墳墓と思われる。 **時期**：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う茂縄文時代後期後葉のものと思われる。

#### P 265 (図-34・51 表V-5・7・8 図版16・38)

**位置**：G-27 標高26.05m付近 **規模**：0.80m/0.71m×0.74m/0.64m×0.11m

**平面形**：長方形形状 **長軸方向**：N-39° -E

**確認・調査・土層**：IV層上面付近で混合土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は埋め戻し状の混合土で、黄色土小塊、軽石、炭化物などが混入している。

**墳底・壁**：墳底はIV層を少し掘り込んで構築している。皿状で、堅い。壁の立ち上がりは全体的に急傾斜である。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は80点である。この内訳は土器64点、石器など16点である。すべて覆土中からの出土で、埋め戻しの土に混入したものである。土器はすべてIV群c-2類土器で、石器などでは石礫片1点などが出土している。

**出土遺物**：土器～80は浅鉢。底部は上げ底気味。口唇上に半截竹管状工具による斜めからの刻み。口縁部に同じ工具による押し引き状の刺突が巡る。三ツ谷式。大洞B2～C1式相当の可能性もある。

**性格:** 覆土の状態などから、土墳墓と思われる。 **時期:** 出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 266 (図V-34・51・57 表V-5・6・7・8 図版16・38・41)

**位置:** G-26 標高26.10m付近 **規模:** 1.20m/0.80m×1.12m/0.71m×0.16m

**平面形:** 楕円形状 **長軸方向:** N-59° -W

**確認・調査・土層:** IV層上面付近で混合土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約15cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は埋め戻し状の混合土で、黄色土、軽石、炭化物などが混入している。全体に堅く、しまっている。

**墳底・壁:** 墳底はIV層中にあり、皿状で、堅い。壁の立ち上がりは全体的にゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は151点である。この内訳は土器など129点、石器など22点である。すべて覆土中からの出土で埋め戻し土に混入したものである。土器はIV群c-2類土器が118点、IV群c-1類土器が出土し、石器では石錐1点、スクレイパーなどが出土している。

**出土遺物:** 土器~81は深鉢の突起部。無文で、沈線文、爪文がある。82は深鉢の口縁部。沈線文、突瘤文が巡る。83は赤彩の鉢。底部は欠損しているが、台付と考える。口唇部には山形の突起と2つ1組の幅広の貼付。口縁部は内外面が段状になる。81~82は三ツ谷式。83は大洞A式相当。

石器~20は棒状の石錐。先端部欠損。石材は光沢のある黒曜石。

**性格:** 覆土の状態などから見て、土墳墓と思われる。 **時期:** 出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 267 (図V-34・52 表V-5・7・8 図版16・39)

**位置:** G-26 H-26 標高26.10m付近 **規模:** 1.02m/0.78m×1.03m/0.78m×0.32m

**平面形:** 楕円形状

**確認・調査・土層:** IV層上面で暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約30cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ二層に分けられる。覆土1層は黄色土粒がわずかに混入する暗褐色土で(土層図1)、自然堆積土と思われる。覆土2層は埋め戻し状の混合土である(土層図2~5)。遺物は土層図1を覆土1層、土層図2・3層を覆土2層、土層図4・5を覆土3層として取り上げている。

**墳底・壁:** 墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが、平坦で、堅い。壁の立ち上がりはほぼ急傾斜である。全体的に作りは丁寧である。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は204点である。この内訳は土器169点、石器など35点である。すべて覆土中からの出土であるが覆土1層から多く出土している。ただまとまった出土状態ではない。土器ではIV群c-2類土器が162点、他にI群b-4類・III群b類・IV群c-1類が出土している。石器は石錐・スクレイパー・石斧などが出土している。

**出土遺物:** 土器~84は深鉢の胴部。突瘤文が巡る。三ツ谷式。

**性格:** 覆土の堆積状態から、土墳墓と思われる。 **時期:** 出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 268 (図V-34・52・57 表V-5・6・7 図版16・39・42)

**位置:** F-26 G-26 標高26.02m~26.05m **規模:** 1.09m/0.97m×0.90m/0.80m×0.25m

**平面形:** 楕円形状 **長軸方向:** N-40° -W

**確認・調査・土層**：IV層上面で暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約25cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上りを検出する。覆土は二層に分けられる。覆土1層は黄色土、軽石が少量混入する暗褐色土である（土層図1・2）。覆土2層は混合土である。ともに埋め戻し状の土である。

**墳底・壁**：墳底はIV層中にあり、平坦で堅い。壁の立ち上りは急傾斜である。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は189点である。この内訳は土器161点、石器など28点である。すべて覆土中からの出土で、覆土1層で多く出土しているが、まとまった出土状態ではない。土器はIV群c-2類土器が1147点で、他にII群a類・IV群c-1類土器が出土している。

**出土遺物**：土器～85は深鉢の胴部。沈線文が巡る。86は深鉢の口縁部。口唇部断面は面取りのある切出し形。沈線文、無文帯、突瘤文が巡る。87は深鉢の口縁部。口唇部断面は面取りのある切出し形。細めの沈線文が巡る。88は深鉢の胴部。爪文が巡る。89は深鉢の胴部。沈線文が巡る。85～86は堂林式。87～89は三ツ谷式。石器～21は有茎凸基の石鏃。石材は光沢のある黒曜石。

**性格**：覆土の堆積状態などから見て、土壇墓と思われる。 **時期**：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

#### P 269 (図V-34 表V-7・8 図版17)

**位置**：G-25 標高26.04m付近 **規模**：0.61m/0.49m×0.54m/0.49m×0.10m

**平面形**：楕円形状 **長軸方向**：N-39°-E

**確認・調査・土層**：IV層上面で混合土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上りを検出する。墳底部が少し残存しているだけである。覆土は埋め戻し状の混合土である。

**墳底・壁**：墳底はIV層を浅く掘り込んで構築している。皿状や、やや凹凸がある。壁の立ち上りはゆるやかな傾斜と思われる。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は9点、この内訳はIV群c-2類土器8点、フレイク・チップ1点である。

**重複・新旧関係**：本遺構はP 273と重複しており、これより新しい遺構である。

**性格**：覆土の堆積状態などから見て、土壇墓と思われる。 **時期**：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

#### P 270 (図V-35 表V-7・8 図版17)

**位置**：G-25 標高26.01m～26.07m **規模**：0.94m/0.74m×0.80m/0.65m×0.17m

**平面形**：長方形 **長軸方向**：N-S

**確認・調査・土層**：IV層上面で暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を14～17cm程度掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上りを検出する。覆土は二層である。覆土1層は黄色土、軽石、炭化物を少量混入する暗褐色土である（土層図1）。自然堆積土と思われる。覆土2層は埋め戻し状の混合土である。

**墳底・壁**：墳底はIV層中にあり、平坦で、堅い。壁の立ち上りはゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は85点である。この内訳は土器76点、石器など9点である。すべて覆土中からの出土で、覆土1層から多く出土している。ただまとまった出土状態ではない。土器はIV群c-2類土器のみ、石器はフレイク、フレイク・チップのみである。

**性格**：覆土の堆積状態から見て、土壇墓と思われる。 **時期**：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。



P 271 (図V-35・52・57 表V-5・6・7・8 図版17・29・42)

位置: G-26 標高26.04m~26.10m 規模: 1.10m/0.87m×0.82m/0.62m×0.33m

平面形: 隅丸長方形 長軸方向: N-79° -E

確認・調査・土層: IV層上面で暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約30~33cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は二層に分けられる。覆土1層は黄色土が少量混入する暗褐色土である(土層図1)。覆土2層は埋め戻し状の混合土である。

墳底・壁: 墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが、平坦で堅い。壁の立ち上がりはほぼ垂直的である。

遺物出土状況: 出土遺物総数は268点である。この内訳は土器236点、石器など32点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。出土土器はIV群c-1類土器1点以外はすべてIV群c-2類土器である。石器では石鏃片、石錐各1点、スクレイパー2点などが出土している。

出土遺物: 土器~90は深鉢の胴部。地文の縄文は横走する91は壺の肩部。沈線文がある。92は壺の肩部。沈線文がある。90~92は三ツ谷式。90は大洞BC~C1式相当の可能性もある。

石器~22はつまみ部をもつ棒状の石錐。機能部欠損。ほぼ全面に赤色顔料付着する。石材は頁岩。

性格: 覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期: 出土遺物などから、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 272 (図V-35・52・57 表V-5・6・7・8 図版17・39・42)

位置: G-25 標高26.00m付近 規模: 1.22m/0.91m×1.22m/0.88m×0.34m 平面形: 円形状

確認・調査・土層: IV層上面で暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約30~34cm掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、埋め戻し状の混合土である。遺物は上層(主に土層図1)を覆土1層、下層を覆土2層として取り上げた。

墳底・壁: 墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが平坦で、堅い。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況: 出土遺物総数は256点である。この内訳は土器222点、石器など34点である。すべて覆土中からの出土である。出土土器はIV群c-2類221点で、V群b類土器が1点出土している。石器ではスクレイパー、石斧片、すり石各1点、石皿片2点などが出土している。

出土遺物: 土器~93は深鉢の口縁部。沈線文、口縁部に巡る爪文、両側から押さえた縦の爪文がある。

94は壺の胴部。細めの沈線文による文様。下半は無文。95は深鉢の口縁部。口唇部は小波状様の刻み。突縮文が巡る。96は深鉢の口縁部。口唇部は小波状様の刻み。爪文、突縮文が巡る。93~96は三ツ谷式。

石器~23は石皿片。平坦面、側面にたたき痕が残る。石材は安山岩。

性格: 覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期: 出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 273 (図V-34 表V-7・8 図版17)

位置: G-25 標高26.04m付近 規模: 0.57m/0.44m×0.56m/0.43m×0.10m 平面形: 方形

確認・調査・土層: IV層上面で暗褐色土の落ち込みを検出する。P 269に切られていることから、P 269の調査終了後、半載し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は黄色土、炭化物が少量混入する暗褐色土である。

墳底・壁: 墳底はIV層を浅く掘り込んで構築している。皿状で、やや凹凸がある。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況：**出土遺物総数は8点で、この内訳はIV群c-1・2類土器14点、礫・フレイク・チップ3点である。

**重複・新旧関係：**本遺構はP269と重複し、これより古い遺構である。

**性格：**覆土の堆積状態、形状などから見て、土壇墓と思われる。 **時期：**出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 274 (図V-35・52 表V-5・7・8 図版17・39)

**位置：**G-23 標高25.94m付近 **規模：**0.88m/0.65m×0.78m/0.61m×0.22m

**平面形：**楕円形状 **長軸方向：**N-30° -E

**確認・調査・土層：**IV層上面付近、H11の検出面で黒褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を18~22cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、黒褐色土に黄色土塊が混入する埋め戻し状の混合土である。

**墳底・壁：**墳底はIV層を少し掘り込んで構築し、やや凹凸はあるが平坦で、堅い。壁の立ち上がりは北側が急傾斜、他はゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況：**出土遺物総数は95点で、この内訳は土器86点、石器など9点である。すべて覆土中からの出土で、出土土器はIV群c-2類土器、石器はフレイク・チップのみである。

**出土遺物：**土器~97は深鉢の口縁部。口唇部は小波状様の斜めの刻み。突瘤文が巡る。98は鉢の胴部。沈線文、無文帯がある。99は深鉢の口縁部。口唇部外面に爪文。沈線文がある。97~99は三ツ谷式。

**性格：**覆土の堆積状態から見て、土壇墓と思われる。 **時期：**出土遺物から見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 275 (図V-35・52 表V-5・7・8 図版18・39)

**位置：**G-25 標高26.00m付近 **規模：**0.52m/0.36m×0.51m/0.38m×0.10m **平面形：**方形状

**確認・調査・土層：**Ⅲ層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で、黄色土が混入する暗褐色土で、自然堆積状である。

**墳底・壁：**墳底はIV層上面付近に構築し、皿状である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況：**出土遺物総数は10点で、IV群c-2類土器6点、V群b類土器1点、フレイク1点、フレイク・チップ3点が覆土中から出土している。

**出土遺物：**土器~100は壺の胴部。最大径の部分には棒状工具による列点状の楕円の連続押圧。その上には沈線文が巡る。下半は細かな縄文が縦走気味。P282の110は同一個体の可能性が高い。大洞BC~C1式相当。

**性格：**不明。 **時期：**出土遺物などから見て、縄文時代後期~晩期のもと思われる。

P 276 (図V-35・52 表V-5・7・8 図版17・39)

**位置：**G-25 H-25 標高26.04m付近 **規模：**0.96m/0.84m×0.81m/0.70m×0.24m

**平面形：**略長方形状 **長軸方向：**N-65° -E

**確認・調査・土層：**Ⅲ層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土はほぼ二層に分けられる。覆土1層は黄色土が少量混入する暗褐色土(土層図1・2)、覆土2層は混合土(土層図3~6)である。ともに埋め戻し状の土である。

**墳底・壁：**墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが平坦で、堅い。壁の立ち上がりはほぼ急傾斜である。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は191点である。この内訳は土器169点、石器など22点である。すべて覆土中からの出土で、埋め戻し土に混入したものであろう。土器はV群b類土器168点、土製品1点、石器ではスクレイパー5点などが出土している。

**出土遺物:** 土器～101は無文の鉢の口縁部。口唇部に2本の縄線文があり、口唇部断面は角張る。口縁部には棒状工具による多重沈線文。102は深鉢の胴部。地文の縄文は縦走る。103は鉢。底部は非常に弱い上げ底。口縁部には沈線文。地文の縄文は細かい。104は壺の口縁部から胴部。口縁部～頸部は無文で、肩部に棒状工具による幅の広い多重沈線文、一部は工字文。105は土製品の耳栓。101は三ツ谷式。101はVI群の可能性もある。102～104は大洞BC～C1式相当。105は三ツ谷式の時期に伴うと考えられる。

**重複・新旧関係:** 本遺構は、P282と重複し、これより新しい遺構である。

**性格:** 覆土の堆積状態などから見て、土壌墓と思われる。 **時期:** 出土遺物などから、V群b類土器を伴う縄文時代晩期のものと思われる。

P 277 (図V-36・52 表V-5・7・8 図版18・39)

**位置:** H-26 標高26.06m～26.10m **規模:** 0.95/0.76m×0.86m/0.68m×0.28m

**平面形:** 長方形 **長軸方向:** N-24° -W

**確認・調査・土層:** III層上面付近で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約28cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は二層で、覆土1層は黄色土が少量まじる暗褐色土(土層図1)で、覆土2層は埋め戻し状の混合土である(土層図2・3)。

**墳底・壁:** 墳底はIV層中にあり、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は109点である。この内訳は土器106点、石器など3点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。土器ではIV群c-2類土器が75点、他にIII群b類・IV群c-1類土器が出土し、石器ではフリイク・チップ3点が出土している。

**出土遺物:** 土器～106は深鉢の口縁部。口唇上は棒状工具による斜めの刻み。半截竹管状工具による挟り取るような爪文が巡る。三ツ谷式。

**性格:** 覆土の堆積状態から見て、土壌墓と思われる。 **時期:** 出土遺物などから、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 278 (図V-36・53・57 表V-5・6・7・8 図版18・39・42)

**位置:** I-26 標高26.03m付近 **規模:** 1.32m/1.10m×0.92m/0.65m×0.28m

**平面形:** 長方形 **長軸方向:** N-6° -W

**確認・調査・土層:** III層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げて、南壁付近で中心部方向に傾く一括土器が出土する。さらに約15cm掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は二層に分けられる。覆土1層は黄色土を少量混入する暗褐色土(土層図1)で、自然堆積状である。覆土2層は埋め戻し状の混合土である(土層図2～4)。

**墳底・壁:** 墳底はIV層中にあり、南側に少し傾斜しているが、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は126点である。この内訳は土器92点、石器など34点である。すべて覆土中からの出土である。覆土3層中で中心部方向に傾く一括土器が出土しているが、これは埋め戻し土に混入したものと思われる。出土土器は、V群b類土器が39点で、他にIII群b類、IV群c-1・2類土器が出土している。石器ではスクレイパー5点、石斧1点などが出土している。

出土遺物：土器～107は深鉢の胴部から底部。底部は平底。底面に縄文。地文の縄文は縦走る。108は深鉢の口縁部～胴部。口唇上は棒状工具による刻み。口縁部には縄線文。地文の縄文は縦走る。107・108は大洞BC～C1式相当。

石器～24は短冊形。部分的に磨かれている石斧。刃部に刃こぼれ状の剥離痕が見られる。石材は片岩。

重複・新旧関係：本遺構は、P 289と重複し、これより新しい遺構である。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土壌墓と思われる。 時期：出土遺物などから、V群b類土器を伴う縄文時代晩期のものと思われる。

P 279 (図V-36・57 表V-6・7・8 図版18・42)

位置：H-25 標高26.12m付近 規模：0.80m/0.54m×0.64m/0.44m×0.12m

平面形：長円形状 長軸方向：N-29° -W

確認・調査・土層：Ⅲ層中で混合土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で、混合土である。

墳底・壁：墳底はⅣ層を少し掘り込んで構築し、皿状である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は10点である。すべて覆土中からの出土で、Ⅳ群c-2類土器8点、石鏃1点などである。

出土遺物：石器～25は有茎凸基の石鏃。二等辺三角形状で、表面に剥離面、裏面に礫皮面が残る。石材は光沢のある黒曜石。

性格：墳底付近しか残存していないので全体ははっきりしないが、覆土の状態などから見ると、土壌墓の可能性はある。 時期：出土遺物などから、Ⅳ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 280 (図V-36 表V-7・8 図版18)

位置：H-25 標高26.10m付近 規模：1.08m/0.89m×(0.78m)/(0.60m)×0.12m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-57° -E

確認・調査・土層：Ⅲ層中で混合土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で、混合土である。

墳底・壁：墳底はⅣ層を少し掘り込んで構築し、皿状である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は15点である。すべて覆土中からの出土で、Ⅳ群c-2類土器11点、石器など4点である。

性格：墳底付近しか残存していないため全体ははっきりしないが、覆土の堆積状態などから見ると、土壌墓の可能性はある。 時期：出土遺物などから、Ⅳ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 281 (図V-36・54 表5・7・8 図版19・39)

位置：H-26 標高25.94m付近 規模：1.00m/0.87m×0.95m/0.80m×0.10m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-65° -E

確認・調査・土層：Ⅲ層中で混合土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、墳底面と壁の立ち上がりを検出した。覆土は一層で、混合土である。

墳底・壁：墳底はⅣ層直上付近に構築されている。ほぼ平坦である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は14点である。この内訳は土器13点、石器1点である。墳底面上でV群b類土器1点、石斧1点が並ぶように出土した。他はすべて覆土中からの出土である。

**出土遺物:** 土器～109は深鉢の口縁部。口縁部には縄端圧痕。地文の縄文は縦走する。大洞BC～C1式相当。

石器～27は石斧未成品。石材は緑色泥岩。

**性格:** 墳底面付近しか残存していないため全体ははっきりしないが、覆土の堆積状態などから見て、土壙墓の可能性はある。 **時期:** 出土遺物などから見て、V群a類土器を伴う縄文時代晩期のものと思われる。

P 282 (図V-36・54 表V-5・7・8 図版19・39)

**位置:** G-25 H-25 標高26.05m付近 **規模:** (0.80m)/(0.50m)×0.82m/0.64m×0.24m

**平面形:** 円形状

**確認・調査・土層:** III層中で黒褐色土の落ち込みを検出する。P 276に切られていたため、P 276の調査終了後、半截し調査を行う。覆土を約12cm程掘り下げたところで24cm×14cmの広がりをもつ黄橙色焼土を検出する。更に約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は二層で、覆土1層は黄色土を少量混入する黒褐色である(土層図1)。覆土2層は暗褐色土と黄色土の混合土である。焼土は覆土1層と2層の間で検出されたものである。

**墳底・壁:** 墳底はIV層中にあり、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は77点である。この内訳は土器65点、石器など12点である。すべて覆土中から出土したものである。土器はV群b類土器、他にIV群c-2類土器、I群b-4類土器が出土している。石器では石鏃、スクレイパー各1点などが出土している。

**出土遺物:** 土器～110は壺の胴部。最大径の部分には棒状工具による列点状の楕円の連続押圧。その上には沈線文が巡る。下半は細かな縄文が縦走気味。P 275の100は同一物体の可能性が高い。111は深鉢の口縁部。縄線文が巡る。平行な縄線文の下部に、波状またはV字状と考えられる縄線文がある。

112は深鉢の胴部。口縁部に至る屈曲部には波状の貼付文。貼付より上部は無文である。大洞BC～C1式相当。

**重複・新旧関係:** 本遺構は、P 276、P 286と重複しており、P 286より新しく、P 276より古い遺構である。

**性格:** 覆土の堆積状態などから見て、土壙墓と思われる。 **時期:** 出土遺物などから、V群b類土器を伴う縄文時代晩期のものと思われる。

P 283 (図V-37 表V-7・8 図版19)

**位置:** H-23 標高26.02m付近 **規模:** 0.73m/0.62m×0.62m/0.50m×0.08m

**平面形:** 楕円形状 **長軸方向:** N-41°-W

**確認・調査・土層:** III層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を5～8cm程度掘り下げ、墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で黄色土を少量混入する暗褐色土で、自然堆積状である。

**墳底・壁:** 墳底はIV層直上付近にあり、やや凹凸がある。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は31点である。すべて覆土中からの出土で、IV群c-2類土器28点、フレイク・チップ3点である。

**性格:** 不明。 **時期:** 縄文時代後期後葉。

## P 284 (図V-37 表V-7・8 図版19)

位置：H-23 標高25.95m付近 規模：0.73m/0.49m×0.64m/0.44m×0.09m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-72° -E

確認・調査・土層：Ⅲ層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を6~9cm程掘り下げ、墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は黄色土が少量混入する暗褐色土で、自然堆積状である。

墳底・壁：墳底はⅣ層上面付近にあり、皿状である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は28点である。すべて覆土中からの出土で、Ⅳ群c-2類土器が16点、フレイクなど12点である。

性格：不明。 時期：縄文時代後期後葉。

## P 285 (図V-37 表V-7・8 図版19)

位置：I-27・28 標高26.05m付近 規模：— / — × — / — × 0.12m

確認・調査・土層：Ⅲ層中で混合土の落ち込みを検出する。現代攪乱によって大きく削平されていたが、半載し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で、暗褐色土と黄色土小塊の混合土である。

墳底・壁：墳底はⅣ層を少し掘り込んで構築しており、皿状で、堅い。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は9点である。すべて覆土中からの出土で、土器ではⅣ群c-2類土器が5点、石器では石鎌2点、石斧片1点などである。

出土遺物：石器~26は有茎凸基の石鎌。二等辺三角形の薄手のもので、先端部、基部を欠損する。石材は半透明の黒曜石である。

性格：攪乱によって全体ははっきりしないが、覆土の堆積状態から見て、土壌墓の可能性が高い。

時期：出土遺物などから、Ⅳ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

## P 286 (図V-37・54・57 表V-5・6・7・8 図版20・39・42)

位置：G-25 H-25 標高26.05m付近 規模：(0.60m)/(0.45m)×0.51m/0.4m×0.15m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-87° -E

確認・調査・土層：Ⅲ層中で混合土の落ち込みを検出する。P 282に切られていたため、P 282の調査終了後、半載し、調査を行う。覆土を約14cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は暗褐色土と黄色土小塊の埋め戻し状の土である。

墳底・壁：墳底はⅣ層を少し掘り込んで構築しており、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は36点である。この内訳は土器32点、石器など4点である。すべて覆土中からの出土であるが、検出面で出土していた石皿は本遺構構築時に置かれたものかと思われる。土器はⅤ層b類土器が16点、他にⅣ群c-1・2類土器が出土している。石器では石皿1点などが出土している。

出土遺物：土器~113は壺の胴部。沈線文がある。大洞BC~C1式相当。

石器~28は安山岩の石皿で、平坦面にたたき痕が残る。

重複・新旧関係：本遺構はP 282と重複し、これより古い遺構である。

性格：覆土の堆積状態、遺物出土状態などから見て、土壌墓と思われる。 時期：出土遺物からⅤ

群b類土器を伴う縄文時代晩期のものと思われる。

P 287 (図V-37・54 表V-5・7・8 図版19・39)

位置：J-23 標高25.90m付近 規模：0.97m/0.72m×(0.91m)/0.70m×0.28m 平面形：円形状  
確認・調査・土層：ⅡC層中で黄色土まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。  
覆土を約28cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は埋め戻し状の混合土である。遺物は土層図1を覆土1層、土層図2を覆土2層、土層図3を覆土3層として取り上げた。

墳底・壁：墳底はⅣ層中にあり、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は98点である。この内訳は土器66点、石器など32点である。墳底直上付近からはⅢ群b類土器が23点出土していて、他はすべて覆土中からの出土である。出土土器はⅣ群c-2類土器3点、Ⅳ群c-1類土器10点、Ⅲ群b類土器52点、Ⅰ群b-3類土器1点で、石器では石鏃片1点、スクレイパー1点、他に石製品などが出土している。

出土遺物：土器～114は深鉢の口縁部。口縁部に貼付文があり、貼付上は爪による刻み。115と同一個体の可能性がある。115は深鉢の胴部。貼付文があり、貼付上は爪による刻み。114・115は萩ヶ岡1式。

重複・新旧関係：本遺構は、P 298と重複し、これより新しい遺構である。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土壇墓と思われる。 時期：出土遺物などからⅣ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 288 (図V-37・54・58 表V-5・6・7・8 図版20・40・42)

位置：J-23 標高26.00m付近 規模：(0.90m)/(0.70m)×(0.90m)/(0.70m)×0.18m

平面形：方形状

確認・調査・土層：ⅡC層中で黄色土混入の暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約18cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は暗褐色土と黄色土の混合土である。遺物は上・中・下層に分けて取り上げている。

墳底・壁：墳底はⅣ層を浅く掘り込んで構築している。平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は97点である。この内訳は土器78点、石器など19点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。土器ではⅣ群c-2類土器が72点、他にⅣ群c-1類土器などが出土している。石器では石鏃2点などが出土している。

出土遺物：土器～116は深鉢の口縁部。沈線文、突縮文が巡る。117は深鉢の胴部。118は無文の深鉢の底部。底部は台付。116・118は三ツ谷式。117は堂林式。

石器～29は有茎凸基の石鏃。左右非対称で、茎部欠損。石材は半透明、縞状の黒曜石。

重複・新旧関係：本遺構は、P297と重複し、これより新しい遺構である。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土壇墓と思われる。 時期：出土遺物などから、Ⅳ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 289 (図V-38・54 表V-5・7・8 図版18・40)

位置：I-26 標高26.00m付近 規模：(1.04m)/(0.78m)×(1.04m)/(0.74m)×0.30m

平面形：方形状

確認・調査・土層：Ⅲ層中で混合土状の暗褐色土の落ち込みを検出する。P 278に切られているためP 278の調査終了後、半載し、調査を行う。覆土を約30cm程掘り下げ、Ⅳ層の粗砂層で墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は軽石・炭化物・焼土などが混入する埋め戻し状の混合土で、ほぼ一層であ

る。土層図1で焼土が検出されたが混入したものである。遺物は土層図1を覆土1層、土層図2を覆土2層、土層図3～5を覆土3層として取り上げた。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、ほぼ平坦で、軟質。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は89点である。この内訳は土器79点、石器など10点である。すべて覆土中からの出土で、埋め戻し土に混入したものである。出土土器はIV群c-2類土器が69点、他にIII群b類・IV群c-1類土器が出土している。石器ではフレイク、フレイク・チップが出土しただけである。

出土遺物：土器～119は深鉢の口縁部。口縁部には縄端圧痕。地文の縄文は縦走する。大洞BC～C1式相当。

重複・新旧関係：本遺構はP 278とP 291と重複し、P 278より古く、P 291より新しい遺構である。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期：出土遺物などからIV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

#### P 290 (図V-38 表V-7・8 図版20)

位置：G-26 標高26.05m付近 規模：0.54m/0.42m×0.52m/0.41m×0.20m 平面形：円形状  
確認・調査・土層：IV層上面付近で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約20cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上りを検出する。覆土はほぼ一層で、黄色土小塊が混入する暗褐色土である。全体に粘質土である。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、凹凸があり、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は5点で、III群b類土器が2点、フレイク・チップが3点、覆土中から出土している。

性格：覆土の堆積状態から見て、土墳墓の可能性はある。 時期：出土遺物から見て、III群b類土器を伴う縄文時代中期のものと思われるが、断定はできない。

#### P 291 (図V-38・54 表V-5・7・8 図版18・40)

位置：I-26 標高26.00m付近 規模：0.90m/0.32m×(0.76m)/0.36m×0.44m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-40°-E

確認・調査・土層：IV層上面付近で暗褐色土の落ち込みを検出する。P 289に切られているものと判断し、P 289の調査終了後、調査を行う。覆土を40～44cm程掘り下げ、IV層の粗砂層上で墳底と壁に立ち上りを検出する。覆土はほぼ二層に分けられている。覆土1層は黄色土が少量まじる暗褐色土である(土層図1)。自然堆積状の土である。覆土2層は粘質の混合土である(土層図3・4)。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、ほぼ平坦で、軟質である。壁の立ち上がりは急傾斜で、中程で段上となっている。

遺物出土状況：出土遺物総数は12点で、V群b類土器11点、フレイク・チップ1点が覆土中から出土している。

出土遺物：土器～120は深鉢の底部。底部は丸底。底面は縄文。大洞BC～C1式相当。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期：出土遺物からは、V群b類土器を伴う縄文時代晩期のものと思われるが、P 289は縄文時代後期の土墳墓であるとする、新旧が逆転する。本来本遺構がP 289を切っていた可能性がある。調査過程またP289土層図1中出土の焼土と本遺構土層図2の焼土が同一のものと考えられることから、ここでは縄文時代晩期の遺構とし、P 278と同時期のものと考えておく。



P 292 (図V-38 表V-8 図版20)

位置：J-23・24 標高25.94m付近 規模：0.83m/0.70m×—/—×0.07m 平面形：方形  
確認・調査・土層：Ⅲ層上面付近で黄色土まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を6～8cm掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は混合土状の土である。

墳底・壁：墳底はⅣ層上面付近に構築され、平坦で、堅い。壁の立ち上がりはやや急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は10点で、Ⅳ群c-2類土器6点、石鏃1点、フレイク・チップ3点が覆土中から出土している。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期：出土遺物などから見て、Ⅳ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 293 (図V-38・58 表V-6・7・8 図版20・42)

位置：I-24 標高25.87m付近 規模：1.14m/0.87m×0.84m/0.61m×0.25m

平面形：長楕円形状 長軸方向：N-50° -W

確認・調査・土層：ⅡB層中で輪郭が確認された。ただ平面形が明瞭とならなかったため、包含層を少しずつ掘り下げ、遺構検出作業を行う。ⅡC層中で黄色土まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約24cmほど掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は二層に分けられる。覆土1層は自然堆積状の暗褐色土(土層図1)である。覆土2層は埋め戻し状の土である(土層図3～5)。なお土層図2はブロック状に流れ込んだ土と思われる。

墳底・壁：墳底はⅣ層を浅く掘り込んで構築され、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は197点である。この内訳は土器187点、石器など10点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。土器では、Ⅳ群c-2類土器が185点、他にⅢ群b類土器も出土し、石器では石鏃2点などが出土している。

出土遺物：石器～30は有茎凸基の石鏃。二等辺三角形状で、器形美しく、丁寧に作られている。石材は黒曜石。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期：出土遺物などから、Ⅳ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 294 (図V-38・54 表V-5・7 図版20・40)

位置：H-24 標高25.92m～25.96m 規模：1.47m/1.38m×0.82m/0.69m×0.10m

平面形：長方形 長軸方向：N-27° -W

確認・調査・土層：Ⅳ層上面で混合土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約10cm掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は埋め戻し状の混合土である。

墳底・壁：墳底はⅣ層を浅く掘り込んで構築され、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物は、覆土中でⅣ群c-2類土器が2点出土している。

出土遺物：土器～121は壺の肩部。細めの沈線文、ボタン状貼付がある。貼付上は棒状工具による円形の刺突。三ツ谷式。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期：規模・形状・方位・覆土などが、2000年度調査で発見された擦文時代前期の土墳墓と酷似している。位置的には一基のみ離れたところにあるが、ここでは擦文期の土墳墓と考えておく。

## P 295 (図V-39 表V-7・8 図版21)

位置：J-23 標高25.90m付近 規模：0.88m/0.64m×0.80m/0.61m×0.17m

平面形：長方形 長軸方向：N-80° -E

確認・調査・土層：II C層中で黄色土まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を10~15cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で全体にザラザラし、炭化物を混入する。遺物は土層図1を覆土1層、土層図2を覆土2層として取り上げている。

墳底・壁：墳底はIV層上面付近にあり、皿状である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は118点である。この内訳はIV群c-2類土器が80点、フレイク、フレイク・チップが38点で、すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。

性格：不明。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

## P 296 (図V-39・54 表5-5・7・8 図版21・40)

位置：J-22 標高25.82m付近 規模：1.14m/1.03m×1.04m/0.86m×0.32m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-62° -W

確認・調査・土層：J-22の包含層調査中、Ta-aの落ち込みが確認された。遺構が想定されたため土層観察用の土手を設定し、順次掘り下げ遺構検出を行う。この結果II C層中で黒褐色土の落ち込みを検出する。II A・II B層を掘り下げ、その約12cm程下で暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ二層である。覆土1層は焼土まじり (F 142の焼土) の黒褐色土で (土層図1)、自然堆積土と思われる。覆土2層は埋め戻し状の混合土である (土層図2~6)。遺物は土層図1を覆土1層、土層図2・3・5を覆土2層、土層図4・5を覆土3層として取り上げている。

墳底・壁：墳底はIV層を浅く掘り込んで構築している。平坦で、堅い。壁の立ち上がりはほぼ垂直的である。全体に丁寧な作りである。

遺物出土状況：出土遺物総数は380点である。この内訳は土器328点、石器など53点である。すべて覆土中からの出土で、埋め戻し土に混入したものである。土器はIV群c-2類土器が375点、他にIII群b類、IV群c-1類土器、土製品1点が出土している。石器では、石鏃片3点などが出土している。

出土遺物：土器~122は壺の肩部。細めの沈線文、ボタン状貼付がある。貼付上は棒状工具による円形の刺突。123は深鉢の口縁部。124は深鉢の口縁部。口縁部は小波状で、口唇部断面は面取りのある切出し形。沈線文、突窟文が巡る。122~123は三ツ谷式。124は堂林式。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期：掘り込み面や出土遺物から見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

## P 297 (図V-39 表V-7・8 図版21)

位置：J-23 標高25.85~25.92m 規模：— / — ×0.79m/0.65m×0.18m

平面形：楕円形状? 長軸方向：N-73° -E

確認・調査・土層：III層上面付近で黄色土まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。P 288に切られていたためP 288の調査終了後、半載し、調査を行う。覆土を約18cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、埋め戻し状の混合土である。遺物は土層図1を覆土1層、土層図2を覆土2層として取り上げている。

墳底・壁：墳底はIV層上面付近にあり、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は96点である。この内訳は土器72点、石器など24点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。土器はIV群c-1類土器、石器ではフレイク、礫などが出土している。

**重複・新旧関係**：本遺構はP 288と重複し、これより古い遺構である。

**性格**：覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 **時期**：出土遺物などから見て、IV群c-1類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 298 (図V-39・54 表V-5・7・8 図版21・40)

**位置**：J-23 標高25.90m付近 **規模**：— / — ×1.06m/0.85m×0.22m

**平面形**：楕円形状？ **長軸方向**：N-47° -W

**確認・調査・土層**：Ⅲ層上面付近で黄色土まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。検出面でF 134も検出され、P 287に切られていたため、F134、P287の調査終了後、半載し、調査を行う。覆土を約22cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は埋め戻し状の混合土である。墳底直上(1~3cm上方)で土器片がちらばった状態で出土したが、混合土中にまじったものと判断した。

**墳底・壁**：墳底はIV層を浅く掘り込んで構築されている。平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は149点である。この内訳は土器129点、石器など20点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。土器ではⅢ群b類土器が119点、IV群c-1類土器9点、石器などは石鏃片、石槍片各1点ずつなどが出土している。

**出土遺物**：土器~125は深鉢の胴部。貼付文があり、貼付上は爪による刻み。126は深鉢の口縁部。口唇部はやや丸みがある。127は深鉢の胴部。125は萩ヶ岡1式。126は煉瓦台式。127は萩ヶ岡2式。126はⅡ群の可能性はある。

**重複・新旧関係**：本遺構はP 287と重複し、これより古い遺構である。

**性格**：覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 **時期**：出土遺物などから見て、IV群c-1類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 299 (図V-39・54 表V-6・7・8 図版22・40)

**位置**：I-25・26 標高26.15m付近 **規模**：0.79m/0.62m×0.74m/0.55m×0.23m

**平面形**：楕円形状 **長軸方向**：N-55° -W

**確認・調査・土層**：Ⅲ層上面で暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約20cm掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ二層である。覆土1層は自然堆積状の暗褐色土である(土層図1)。覆土2層は埋め戻し状の混合土である(土層図2・3)。

**墳底・壁**：墳底はIV層中にあり、ほぼ平坦である。壁の立ち上がりは急傾斜である。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は28点である。この内訳は土器23点、石器など5点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。土器はIV群c-2類土器21点、他にⅢ群b類・IV群c-1類土器が出土し、石器ではスクレイパー1点などが出土している。

**出土遺物**：土器~128は深鉢の突起部。突起部外面は欠損。口唇部外面に貼付があり、貼付上はヘラ状工具による沈線文。萩ヶ岡2式。

**重複・新旧関係**：本遺構はP 312と重複し、これより新しい遺構である。

**性格**：覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 **時期**：出土遺物などからIV群c-2類土

器を伴う縄文時代後期のものと思われる。

P 300 (図V-40・54 表V-6・7・8 図版21・40)

位置：I-25 J-25 標高26.02m付近 規模：0.95m/0.80m×0.78m/(0.64m)×0.12m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-55°-E

確認・調査・土層：Ⅲ層上面付近で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を5～10cm掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は自然堆積状の土である。

墳底・壁：墳底はⅣ層上面付近にあり、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりはやや急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は107点である。この内訳はⅣ群c-2類土器102点、すり石1点、フレイク・チップ5点で、すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。

出土遺物：土器～129は無文の鉢の口縁部。口唇部は小波状様の刻み。口縁部に沿って爪文。130は無文の鉢の口縁部。131は鉢の口縁部。口唇部断面は切出し形。129～131は三ツ谷式。

性格・不明。 時期：出土遺物などからⅣ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 301 (図V-40・58 表V-6・7・8 図版22・43)

位置：L・M-35 規模：1.09m/(0.89m)×1.03m/(0.90m)×0.30m 平面形：円形

調査状況：Ⅳ層上面で検出した。南北方向にセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。埋土がⅣ層土とよく似た褐色土であったため、東側を10cm程度掘りすぎた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後セクションベルトを除去して完掘した。

土層：Ⅳ層土起源と思われる褐色土が主体である。埋め戻しによる堆積か自然堆積かは判断できない。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅱ群a類土器が出土した。

出土遺物：石器～31は片面周縁加工のつまみ付きナイフ。左側縁～下端部にかけて破損している。石材は頁岩。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：不明である。

(石井淳平)

P 302 (図V-40・54 表V-5・7・8 図版22・40)

位置：L-35 規模：1.08m/(1.05m)×1.00m/(0.91m)×0.42m 平面形：円形

調査状況：柏木川の低位段丘面へと続く段丘崖の縁で検出した。本遺構と埋土の状況や形状がよく似るP 303、P 306が同じく段丘の縁に沿って分布する。東西方向に幅約10cmのセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：土層1は黒色土主体、土層2はローム粒を多く含むしまりのない褐色土である。土層2は埋め戻しによる人為的な堆積層で、土層1は自然堆積層である。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅱ群a類土器、Ⅲ群b類土器が少量出土し、Ⅳ群c類土器がやや多く出土した。出土遺物の多くは上層の黒色土層から出土したものである。

出土遺物：土器～132は深鉢の胴部。波状の沈線文、無文帯が巡る。三ツ谷式。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：規模、形状からは土墳墓を連想するが、本遺構は掘削後わずかに埋め戻された後に放置されたものである。したがって埋葬施設と断定することはできない。

(石井淳平)

P 303 (図V-40・54 表V-5・7・8 図版22・40)

位置：L-35 規模：1.27m/(1.16m)×0.97m/(0.89m)×0.32m 平面形：楕円形

長軸方向：N-74°-E

調査状況：柏木川の低位段丘面に続く段丘崖の縁で検出した。付近には埋土、形状がよく似たP 302、P 306が段丘の縁に沿って分布する。北西～南東方向に幅約10cmのセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して取り上げた。

土層：土層1～4が黒色土主体、土層5がしまりのない褐色土主体の土層である。土層5は埋め戻しによる堆積、土層1～4は自然堆積である。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁は垂直に立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅱ群a類土器、Ⅲ群b類土器が少量出土し、Ⅳ群c類土器がやや多く出土した。

出土遺物：土器～133は深鉢の口縁部。口縁部は小波状。沈線文、突瘤文、無文帯が巡る。三ツ谷式。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：性格、時期ともに不明であるが、規模や土層の堆積状況がP 302、P 306によく似ることから、近い時期に構築された同じ性格の遺構であると考えられる。P 302同様、わずかに埋め戻された後に放置されたものである。

(石井淳平)

P 304 (図V-40・54 表V-7・8 図版23)

位置：L-34 規模：1.26m/(1.14m)×1.16m/(1.07m)×0.12m 平面形：円形

調査状況：Ⅳ層で検出した。東西方向にセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。墳底で焼土を検出した。墳底面が赤変していることから、本遺構の墳底面でたき火をしたものと推測する。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：下層はバミスを多く含む褐色土、上層は黒色土主体である。土層2、3が埋め戻しによる堆積の可能性が高い。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁は開きながら立ち上がる。墳底との境界は不明瞭である。

遺物出土状況：Ⅰ群b類土器、Ⅱ群a類土器が少量出土した。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：不明である。

(石井淳平)

P 305 (図V-40・54 表V-5・7 図版40)

位置：L-34 規模：0.90m/(0.75m)×0.54m/(0.44m)×0.18m 平面形：楕円形

長軸方向：N-29°-E

調査状況：Ⅰ層除去後のⅣ層で検出した。短軸方向にセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：Ⅳ層土起源の黄褐色土層と黒色土層から成る。埋め戻しによる堆積の可能性が高い。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁はやや開き気味に立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅰ群b類土器、Ⅳ群c類土器が少量出土した。

出土遺物：土器～134は壺の肩部。沈線文間にハの字の刺突文。堂林式。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：不明である。

(石井淳平)

P 306 (図V-41 表V-7 図版22)

位置：K-34・35 L-34・35 規模：1.14m/(1.08m)×0.84m/(0.80m)×0.22m

平面形：楕円形 長軸方向：N-51° -E

調査状況：柏木川の低位段丘面へ続く段丘崖の縁で検出した。Ⅲ層掘り下げ中に掘り込みの大部分を包含層と誤認して掘り上げてしまった。埋土や形状から、P 302、P 303と同じ性格の遺構である可能性が高いと予測し、調査を開始した。短軸方向にセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：掘りすぎのため、墳底から10cm程度の厚さだけ埋土が残存していた。残存部分はしまりのない褐色土主体である。P 302、P 303の下層の堆積層とよく似ており、埋め戻しの可能性が高いと考える。墳底・壁：墳底は平らで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅳ群c類土器が少量出土した。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：残存する埋土は埋め戻しによるものであるが、上層の埋土の状況は不明である。規模、形状からは土壇墓を連想するが、隣接するP 302、P 303に似ることから、これらと同様、土壇墓である可能性は低いと考える。 (石井淳平)

#### P 307 (図V-41 表V-8 図版23)

位置：L-33 規模：1.42m/(1.28m)×0.75m/(0.78m)×0.37m 平面形：楕円形

長軸方向：N-43° -E

調査状況：Ⅰ層除去後のⅣ層で検出した。東西方向に幅約10cmのセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：バミスを多く含む暗褐色土が主体である。埋土が均質であること、バミスを多く含むことから、埋め戻しによる堆積の可能性が高いと考える。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物出土状況：出土しなかった。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：不明である。 (石井淳平)

#### P 308 (図V-41 表V-7・8 図版23)

位置：I-29 規模：1.02m/(0.90m)×1.00m/(0.82m)×0.10m 平面形：円形

調査状況：Ⅰ層除去後のⅣ層で検出した。低地部へ続く斜面の近くに位置する。南北方向に幅約10cmのセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。断面図、平面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。

土層：黒褐色土主体の堆積である。自然堆積か埋め戻しによる堆積かは判断できない。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁は開き気味に立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅱ群b類土器が少量と、Ⅳ群c類土器がやや多く出土した。また、黒曜石製の大型の剥片が出土した。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：不明である。 (石井淳平)

#### P 309 (図V-41・54 表V-5・7・8 図版23・40)

位置：I・J-29 規模：2.11m/(1.84m)×1.90m/(1.60m)×0.21m 平面形：円形

**調査状況**：I層除去後のIV層で検出した。南北方向と東西方向に十字にセクションベルトを設定し、掘り下げを行った。東西方向のセクションベルトにて断面図作成と写真撮影を行った。その後セクションベルトを除去して完掘し、平面図を作成した。

**土層**：土層1は黒色土主体、土層2は褐色土主体である。中央がくぼむ堆積構造であることから、自然堆積層と判断した。

**壊底・壁**：壊底はほぼ平らで、壁は開き気味に立ち上がる。

**遺物出土状況**：I群b類土器、V群b類土器が少量出土し、IV群c類土器がやや多く出土した。MA層の遺物が、埋め戻しの際に混入したものと推測する。

**出土遺物**：土器～135は壺の口縁部。口唇部断面は切出し形。口唇上に縄文回転施文。半截竹管状工具による斜めからの押し引き状の刺突、細めの沈線文、無文帯が巡る。三ツ谷式。

**重複・新旧関係**：なし。

**性格・時期**：不明である。(石井淳平)

### P 310

**位置**：G-30 **規模**：1.75m(1.30m)×0.96m(0.69m)×0.80m **平面形**：隅丸長方形

**長軸方向**：N-68°-E

**調査状況**：M1層掘り下げ中に掘り込みが存在することに気づいた。プランが不明瞭であったため、セクションベルトを設定し、MA層及び、IIb層の掘り下げを行った。IIb層上面でプランを確認できたため、掘り下げを中止し、セクションベルトより南側を完掘した。断面図作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘し、平面図を作成した。

**土層**：土層1～6は黄褐色土主体、土層7・8は黒色土主体である。堆積状況から埋め戻しによる人為的な堆積である。断面観察から、MA2層を切って掘り込まれていると判断した。MA1層との先後関係は不明である。

**壊底・壁**：壊底は丸く、壁は壊底との境界が不明瞭である。

**遺物出土状況**：出土しなかった。

**重複・新旧関係**：なし。

**性格・時期**：MA2層を切って掘り込まれていることから、後期後葉以降に構築されたものとする。遺構の形状からは墓塚を連想させるが、断定できる根拠は無い。(石井淳平)

### P 311 (図V-41 表V-7)

**位置**：J-25 **標高**25.92m～25.98m **規模**：0.87m/0.68m×(0.64m)/(0.53m)×0.09m

**平面形**：楕円形 **長軸方向**：N-46°-W

**確認・調査・土層**：III層中で黄色土まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。

覆土を7～9cm掘り下げ、暗黄灰色土の壊底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で、自然堆積状の暗褐色土である。

**壊底・壁**：壊底はIV層上面付近にあり、やや皿状である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況**：遺物はIV群a類土器3点、IV群c-1類土器3点が覆土中から出土した。まとまった出土状態ではない。

**性格**：不明。 **時期**：出土遺物から、IV群c-1類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

### P 312 (図V-39 表V-7・8 図版22)

位置：I-26 標高26.10m付近 規模：—/—×(0.63m)/(0.45m)×0.10m

平面形：楕円形状？ 長軸方向：N-S

確認・調査・土層：Ⅲ層上面で暗褐色土の落ち込みを検出する。P 299に切られていたため、P 299の調査終了後、半截し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、暗黄灰色土の壙底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で、自然堆積状の暗褐色土である。

壙底・壁：壙底はⅣ層上面付近にあり、皿状である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は13点で、Ⅳ群c-1類土器11点、フレイク・チップ2点が覆土中から出土している。

性格：不明。 時期：出土遺物などから、Ⅳ群c-1類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 313 (図V-42・55・58 表V-5・6・7・8 図版23・40・43)

位置：I-23 J-23 標高25.90m付近 規模：1.40m/1.16m×1.28m/1.04m×0.32m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-40°-W

確認・調査・土層：Ⅲ層上面付近で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を20～30cm程掘り下げ、暗黄灰色土の壙底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は二層である。覆土1層は黄色土まじりの暗褐色土で(土層図1)、自然堆積状の土である。覆土2層は埋め戻し状の混合土である(土層図2～6)。

壙底・壁：壙底はⅣ層中にあり、やや皿状で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は60点である。この内訳は土器56点、石器など4点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。

出土遺物：土器～136は深鉢の底部。外面に縄文押圧。137は深鉢の胴部。地文の縄文は燃糸文系。136はコッタロ式。137は東銅路Ⅳ式。

石器～32は片面周縁加工のつまみ付きナイフ。裏面左側縁も加工し、刃部を作り出している。石材は頁岩。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土壙墓と思われる。 時期：出土遺物などから見て、Ⅳ群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 314 (図V-42 表V-7・8 図版23)

位置：I-22 J-22 標高25.90m付近 規模：1.03m/0.86m×0.94m/0.78m×0.23m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-31°-W

確認・調査・土層：Ta-aを除去したところで浅いくぼみが見られたため土層観察用の土手を設定し、遺構検出を行いつつ、ⅡA、ⅡB層を順次掘り下げる。F 123の少し下で黄色土を少量まじる暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行っている時P 320が確認されたため、P 320の調査を行い、その終了後、本遺構の調査を行う。覆土はほぼ一層で、黄色土のまじる暗褐色土である(土層図1・2)。

壙底・壁：壙底はⅣ層上面付近にあり、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は67点である。この内訳は土器56点、石器など11点である。ⅡB層は土層図3・4出土の遺物である。出土土器はⅣ群c-2類土器49点、他にⅠ群b-4類・Ⅲ群b類・Ⅳ群c-1類土器が出土し、石器では石鏃片1点などが出土している。

重複・新旧関係：本遺構はP 320・P 324と重複し、P 324より新しく、P 320より古い遺構である。

性格：規模、つくりなどから見ると、土壙墓が想定されるが、明瞭ではない。 時期：出土土器な



どから、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 315 (図V-42 表V-7・8 図版24)

位置：I-23・24 標高25.90m付近 規模：1.20m/0.95m×1.00m/0.80m×0.15m

平面形：楕円形 長軸方向：N-37° -W

確認・調査・土層：II A層上面でTa-aの落ち込みが見られ、遺構を想定し、包含層調査を行う。IV層上面付近で黄色土まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約15cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は自然堆積状の土である。遺物は下層を覆土2層として取り上げている。

墳底・壁：墳底はIV層上面付近にあり、平坦である。壁の立ち上がりは北壁がややゆるやか、他は急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は52点である。この内訳は土器47点、石器など5点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。土器はIV群c-2類土器35点やI群b-3・4類・III群b類・IV群c-1類土器が出土している。

性格：不明。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 316 (図V-42・55・58 表V-5・6・7・8 図版24・40・43)

位置：J-23 標高25.84m～25.90m 規模：1.80m/1.65m×(1.10m)/(0.83m)×0.26m

平面形：長方形 長軸方向：N-17° -W

確認・調査・土層：III層上面で暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約25cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は二層で、覆土1層は自然堆積状の土(土層図1)である。覆土2層は堅くしまった埋め戻し状の混合土である(土層図2)。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：出土遺物総数は48点である。この内訳は土器31点、石器など17点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。土器はIV群c-2類土器が24点、他にII群a類・III群b類・IV群c-1類土器が出土し、石器では石鏃2点、すり石1点などが出土している。

出土遺物：土器～138は壺の胴部。最大径に半載竹管状工具による斜めからの刺突。ほかの壺と比べ、厚みがある。三ツ谷式。

石器～33は二等辺三角形平基の石鏃。裏面に剥離面が残る。石材は黒曜石。34は円形の扁平礫を素材としたすり石。すり面や上面平坦面にたたき痕が見られ、側面は被熱で剥落している。石材は安山岩。

重複・新旧関係：本遺構は、P 297と接近していたが、調査の結果、P 297を切っており、これより新しい遺構と判明した。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 317 (図V-42・58 表V-6・8 図版24・43)

位置：K-26 標高25.94m付近 規模：— / — × — / — ×(0.42m)

確認・調査・土層：IV層直上付近で褐色土>黄色土の落ち込みを検出する。覆土を約25cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で、埋め戻し状の混合土である。遺物は土層図2・3を覆土上層で取り上げた。遺構の大半が調査区外にあると考えられ、全体は不明である。

**墳底・壁**：墳底はIV層中にあり、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜で、南西壁では中程で段上になっている。

**遺物出土状況**：出土遺物は覆土中から石斧3点、すり石2点が出土しただけである。

**出土遺物**：石器～35はややばち形様の石斧。全面磨製。刃先摩耗している。石材は緑泥岩。36・37は断面三角形の稜をすったすり石である。37の側面にはすり痕が見られ、石皿として使用されていた可能性がある。石材はともに安山岩である。

**性格**：全体は不明であるが、覆土の埋積状態から見て、土墳墓と思われる。 **時期**：掘り込み面（II B層中）から見て、縄文時代後期後葉のものと思われる。

#### P 318 (図V-43 表V-7・8)

**位置**：J-22 標高25.86m付近 **規模**：— / — × — / — × 0.28m

**確認・調査・土層**：III層上面付近で暗褐色土の落ち込みを検出する。覆土を約28cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上りを検出する。覆土は二層で、覆土1層は黄色土まじりの暗褐色土で、自然堆積状の土である（土層図1）。覆土2層は埋め戻し状の混合土である（土層図2～4）。北西側は調査区外であるため、全体は不明である。

**墳底・壁**：墳底はIV層を浅く掘り込んで構築され、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

**遺物出土状況**：遺物はI群b-3類土器2点、II群a類土器1点、石器ではフレイク、礫各1点、フレイク・チップ2点が、覆土中から出土している。

**性格**：調査部分の覆土の堆積状態から見て、土墳墓と思われる。

**時期**：縄文時代。

#### P 319 (図V-43 表V-7・8 図版24)

**位置**：I-19 標高25.73m付近 **規模**：0.76m/0.62m×0.74m/0.62m×0.16m **平面形**：円形状

**確認・調査・土層**：IV層上面付近で黒褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を12～15cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上りを検出する。覆土は一層で、自然堆積状の黒褐色土である。

**墳底・壁**：墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは南壁がゆるやか、他は急傾斜である。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は62点である。この内訳は土器49点、石器など12点である。すべて覆土中からの出土で、まとまった出土状態ではない。土器はIV群c-2類土器18点、IV群c-1類土器31点、石器では石鏃片、すり石片各1点づつなどが出土している。

**性格**：不明。 **時期**：出土遺物などから、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものであろう。

#### P 320 (図V-42・55・58 表V-5・6・7・8 図版24・40・43)

**位置**：J-22 標高25.83m付近 **規模**：(0.54m)/(0.44m)×(0.48m)/(0.38m)×0.20m

**平面形**：円形状？

**確認・調査・土層**：P 314の調査中、P 314の北壁より内側にほぼ急傾斜の状態で土器片がややかたまって出土した。またP 314の土層観察用手でP 314を切る落ち込みを検出したことから、P 320として調査を行った。覆土中にはF 123の焼土が一部流れ込んでおり、II B層上面付近からの掘り込みをもつ遺構と思われる。覆土は黄色土を混入する暗褐色土である。

**壊底・壁**：壊底はP314の覆土中に構築されているものと思われる。壁の立ち上がりは急傾斜であったと思われる。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は105点である。この内訳は土器89点、石器など16点である。すべて覆土中からの出土である。土器はIV群c-1類土器76点、IV群c-2類土器4点、VI群土器が9点、石器では石鏃片、砥石各1点づつなどが出土している。

**出土遺物**：土器～139は深鉢の口縁部。口縁部断面は切出し形。突瘤文が巡る。140は深鉢の口縁部。口縁部は4つの突起。口唇部は外傾し、口唇部の内外の角に刻み。文様は微隆起線文による帯状文。突起下には円形文の充填文様。141は鉢の口縁部。139・141は三ツ谷式。140は後北C2・D式。石器～38は楕円形状で扁平礫の砥石。表裏両面使用している。石材は軽石。

**重複・新旧関係**：本遺構はP314と重複し、これより新しい遺構である。

**性格**：不明。 **時期**：IV群c-1類土器をがままとって出土しているが、VI群土器が覆土中から出土していることから見て、縄文時代後期後葉のものと考える。

P 321 (図V-43・55・58 表V-5・6・7・8 図版24・40・43)

**位置**：H-28 標高25.84m～25.92m **規模**：1.14m/0.97m×1.01m/0.86m×0.25m

**平面形**：楕円形状 **長軸方向**：N-62° -W

**確認・調査・土層**：IV層上面付近で黒褐色土>黄色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約25cm程掘り下げ、暗黄灰色土の壊底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、埋め戻し状の混合土である。軽石を混入し、ポソポソしている。

**壊底・壁**：壊底はIV層中にあり、平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

**遺物出土の状況**：出土遺物総数は24点で、土器が6点、石器などが18点である。壊底直上付近で土器3点が出土したが、これらを含め覆土中に混入したものと思われる。土器はIV群c-2類土器2点、I群b-3類、III群b類土器などが出土し、石器では石鏃2点などが出土している。

**出土遺物**：土器～142は深鉢の胴部。貼付文があり、貼付上はヘラ状工具による沈線文。143は深鉢の底部。微隆起による貼付文。142は秋ヶ岡2式。143は中茶路式。

石器～39は有茎凸基の石鏃。裏面に剥離面が残る。基部欠損。石材は黒曜石。

**重複・新旧関係**：本遺構は、H 18、F 155と重複し、これらより新しい機構である。

**性格**：覆土の堆積状態などから見て、土壌墓と思われる。 **時期**：出土遺物などから見て、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

P 322 (図V-43・55 表V-5・7・8 図版25・40)

**位置**：I-21 標高25.68m付近 **規模**：1.16m/0.92m×0.76m/0.54m×0.52m

**平面形**：長方形 **長軸方向**：N-13° -E

**確認・調査・土層**：I-21の包含層調査中、IIc層上面付近で楕円形状に広がる暗褐色土>黄色土の落ち込みが検出された。遺構が想定されたため土層観察用の土手を設定し、掘り下げ、調査を行った。この結果、この大きな落ち込みは風倒木痕と判明し、その底面で、一括土器が出土した。周辺を精査したところ黒褐色土>黄色土の落ち込みが検出された。一括土器の写真撮影・実測ののち、その落ち込みを半載し、調査を行った。覆土を約50cm程掘り下げ、壊底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、粘質で軽石を多く混入する埋め戻し状の混合土である。

**壊底・壁**：壊底はIV層を深く掘り込んで構築され、平坦で、堅い。壁の立ち上がりはほぼ垂直である。全体に丁寧に作られている。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は189点で、すべて土器である。覆土直上で土器が一個体横倒しで、押しつぶされた状態で出土している。これは風倒木痕の影響で流れ込んだものと思われる。他は覆土中からの出土で、まとまった出土状態でない。IV群c-2類土器が12点、IV群c-1類が29点、IV群a類土器が108点、他にI群b-3・4類、II群a類、III群b類土器が出土している。

**出土遺物**：土器～144は深鉢。口唇部断面は角張り、口縁部は広い折返し口縁。145は鉢の口縁部。細めの沈線文、無文帯がある。144は余市式。145は三ツ谷式。

**性格**：覆土の堆積状態などから見て、土壇墓と思われる。 **時期**：出土遺物などから、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

#### P 323 (図V-44 図版25)

**位置**：J-25 標高25.93m～26.08m **規模**：0.87m/(0.63m)×0.83m/0.55m×0.22m

**平面形**：楕円形状 **長軸方向**：N-36° -W

**確認・調査・土層**：Ⅲ層中で暗褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約22cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は一層で、自然堆積状の土である。

**墳底・壁**：墳底はIV層上面付近にあり、やや皿状で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

**遺物出土状況**：遺物は覆土中からスクレイパー1点、フレイク・チップ11点が出土している。

**性格**：不明。 **時期**：縄文時代。

#### P 324 (図V-44・58 表V-6・7・8 図版25・43)

**位置**：I-22 標高25.74m付近 **規模**：— / — ×0.64m/0.50m×0.16m

**平面形**：楕円形状 **長軸方向**：N-42° -W

**確認・調査・土層**：P 314墳底面の北側に広がる黒褐色土>黄色土の落ち込みが見られ、周辺を精査したところ、Ⅲ層上面付近で黒褐色土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約15cm程掘り下げ、墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土はほぼ一層で、黄色まじりの黒褐色土で、自然堆積状の土である。

**墳底・壁**：墳底はIV層上面付近にあり、皿状で、軟質である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況**：出土遺物は土器4点、石器などが3点で、すべて覆土中からの出土である。

**出土遺物**：石器～40はスクレイパー。右側縁を加工・調整し、刃部を作り出している。石材は縞状の黒曜石。

**重複・新旧関係**：本遺構はP 314と重複し、これより古い遺構である。

**性格**：不明。 **時期**：出土遺物などから、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものであろう。

#### P 325 (図V-44・45 表V-5・7・8 図版25・40)

**位置**：I-19・22 標高25.80m付近 **規模**：0.74m/0.67m×0.52m/0.44m×0.22m

**平面形**：楕円形状 **長軸方向**：N-64° -E

**確認・調査・土層**：ⅡC層上面付近で混合土の落ち込みを検出する。半截し、調査を行う。覆土を約20cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は埋め戻し状の混合土である。

軽石、炭化物、骨片を多く混入する。南～西壁側の覆土下層には骨片はなく、周辺にあったものが埋め戻し土に混入したと思われる。

**墳底・壁**：墳底はIV層を浅く掘り込んで構築され、平坦で、堅い。壁の立ち上がりはほぼ垂直的であ

る。

**遺物出土状況**：出土遺物総数は36点で、土器22点、石器など14点が出土している。墳底直上で、すり石、礫が各1点ずつ出土し、他はすべて覆土中からの出土である。土器はIV群c-2類土器19点、IV群c-1類土器3点が出土し、石器では、すり石2点などが出土している。

**出土遺物**：土器～146は深鉢の口縁部。沈線文がある。突起がある可能性がある。IV群c-1類の新しい段階。

**性格**：覆土の堆積状態などから見て、土壌墓と思われる。 **時期**：出土遺物などから、IV群c-2類土器を伴う縄文時代後期後葉のものと思われる。

#### P 326 (図V-44 表V-7 図版25)

**位置**：J-24 標高25.60m付近 **規模**：0.70m/0.60m×0.56m/0.50m×0.12m

**平面形**：楕円形状 **長軸方向**：N-30° -E

**確認・調査・土層**：H 16床面で黄色土塊まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約10cm程掘り下げ、墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は混合土状の土である。

**墳底・壁**：墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

**遺物出土状況**：覆土中からII群a類土器が3点出土しているだけである。

**重複・新旧関係**：本遺構はH 16と重複している。覆土がやわらかいことから考え、H 16よりも新しい遺構と思われる。

**性格**：不明。 **時期**：縄文時代。

#### P 327 (図V-44 図版25)

**位置**：J-24 標高25.62m付近 **規模**：0.75m/0.62m×0.50m/0.38m×0.07m

**平面形**：長方形 **長軸方向**：N-30° -W

**確認・調査・土層**：H 16床面で黄色土塊まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約7cm程掘り下げ、墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は混合土状の土である。

**墳底・壁**：墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

**遺物出土状況**：遺物は出土していない。

**重複・新旧関係**：本遺構はH 16と重複している。覆土がやわらかいことから考え、H 16よりも新しい遺構と思われる。

**性格**：不明。 **時期**：P 326と形状・覆土などが類似していることから考え、P 326と同時期のものと思われる。縄文時代。

#### P 328 (図V-44 表V-7 図版26)

**位置**：J-24 標高25.50m～25.60m **規模**：0.60m/0.42m×0.49m/0.34m×0.07m

**平面形**：楕円形状 **長軸方向**：N-37° -W

**確認・調査・土層**：H 16床面で黄色土まじりの褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。

覆土を約7cm程掘り下げ、墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は混合土状の土である。

**墳底・壁**：墳底はIV層中にあり、やや凹凸はあるが、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：遺物は覆土中からⅠ群b-4類土器・Ⅱ群a類土器各1点ずつ出土している。

重複・新旧関係：本遺構はH 16と重複している。覆土がやわらかいことから考え、H 16よりも新しい遺構と思われる。

性格：不明。 時期：縄文時代。

#### P 329 (図V-45 図版26)

位置：I-24 J-24 標高25.45m～25.50m 規模：0.65m/0.42m×0.52m/0.38m×0.18m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-61°-E

確認・調査・土層：H 16床面で黄色土まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。

覆土を約7cm程掘り下げ、墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は混合土状の土である。

墳底・壁：墳底はⅣ層中にあり、やや凹凸はあるが、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：遺物は出土していない。

重複・新旧関係：本遺構はH 16、P 333と重複している。覆土がやわらかいことから考え、P 333、H 16よりも新しい遺構と思われる。

性格：不明。 時期：縄文時代。

#### P 330 (図V-45 図版26)

位置：J-22 標高25.72m～25.76m 規模：1.12m/1.02m×0.82m/0.70m×0.15m

平面形：長方形形状 長軸方向：N-36°-W

確認・調査・土層：Ⅲ層上面付近で黒褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約15cm程掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上がりを検出する。覆土は黄色土、軽石まじりの黒褐色土である。自然堆積状の土である。

墳底・壁：墳底はⅣ層上面付近にあり、やや凹凸はあるが、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりは急傾斜である。

遺物出土状況：遺物は出土していない。

性格：不明。 時期：縄文時代。

#### P 331 (図V-7・8)

位置：J-20

確認・調査・土層：Ⅲ層上面付近で黄色土まじりの黒褐色土の落ち込みを検出する。北西側が調査区外であるため、J-20グリッドの部分だけ、覆土を掘り下げる。全体は不明である。遺物は検出面で取り上げたが、遺構図は、次年度調査区に大半が残るため、実測しなかった。

遺物出土状況：検出面（覆土中）でⅡ群a類土器1点、礫6点が出土した。

性格：不明。 時期：縄文時代。

#### P 332 (図V-45 図版26)

位置：K-26 標高25.70m付近 規模：0.60m/0.44m×0.58m/0.38m×0.46m 平面形：円形状

確認・調査・土層：P 334の調査で、覆土を墳底付近まで掘り下げたところ、東側の墳底が円形状に深くなっているのが確認され、二つの遺構が重複していたことが判明した。覆土はP 334と同じ混合土が堆積していた。

墳底・壁：墳底はIV層を深く掘り込んで構築している。ほぼ平坦で、軟質の粗砂層が墳底面である。壁の立ち上がりは垂直面である。

遺物出土状況：遺物は出土していない。

重複・新旧関係：本遺構は、P 334と重複し、これより古い遺構である。

性格：不明。 時期：縄文時代。

P 333 (図V-45 図版26)

位置：J-24 標高25.45m付近 規模：(0.60m)/(0.47m)×(0.51m)/(0.36m)×0.09m

平面形：楕円形状 長軸方向：N-6° -E

確認・調査・土層：H 16床面で検出する。P 329に切られていたため、P 329の調査終了後、調査を行う。覆土は黄色土まじりの暗褐色土である。軟質土である。

墳底・壁：墳底はIV層中にあり、平坦である。壁の立ち上がりはゆるやかな傾斜である。

遺物出土状況：遺物は出土していない。

重複・新旧関係：本遺構はP 329・H 16と重複している。P 329より古く、H 16より新しい遺構と思われる。

性格：不明。 時期：縄文時代。

P 334 (図V-45・58 表V-6・7・8 図版26・43)

位置：K-26 標高25.70m付近 規模：(0.88m)/0.70m×0.74m/0.56m×0.40m

平面形：長方形形状 長軸方向：N-60° -E

確認・調査・土層：IV層上面付近で黄色土まじりの暗褐色土の落ち込みを検出する。半載し、調査を行う。覆土を約40cm程度掘り下げ、暗黄灰色土の墳底と壁の立ち上りを検出する。覆土は黒(暗)褐色土、黄色土、軽石のまじり合った軟質の混合土である。

墳底・壁：墳底はIV層を深く掘り込んで構築している。凹凸はあるが、ほぼ平坦で、堅い。壁の立ち上がりは垂直的である。

遺物出土状況：遺物は覆土の中からI群b-4類土器3点、つまみ付きナイフ1点が出土している。

出土遺物：石器~41は片面全面加工のつまみ付きナイフ。石材は頁岩。

重複・新旧関係：本遺構はP 332と重複し、これより新しい遺構である。

性格：覆土の堆積状態などから見て、土墳墓と思われる。 時期：縄文時代後期後葉。

P 335 (図V-55・58 表V-5・6・7・8 図版40・43)

位置：J-30・31 規模：1.18m/(0.96m)×0.94m/(0.80m)×0.46m 平面形：円形

調査状況：低地部へ続く斜面のⅢ層掘り下げ中に検出した。東西方向に幅約10cmのセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。

土層：パミスを少量含む黒色土が主体である。土層2はパミスをほとんど含まない黒色土で、雨水などの流入により堆積したものと考える。

墳底・壁：墳底は丸みをもち、壁は開きながら立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅲ群b類土器、剥片が少量出土し、IV群c類土器が多量に出土した。

出土遺物：土器~147は無文の壺または小型の深鉢の底部。底部は小さな上げ底。148は深鉢の口縁部。口唇部断面は面取りのある切出し形。沈線文、突瘤文が巡る。147は堂林式。148は三ツ谷式。

石器~42は板状の砥石片。石材は砂岩。

重複・新旧関係：なし。

性格・時期：不明である。

(石井淳平)

P 336 (図V-55 表V-5・7・8 図版26・40)

位置：J-31 規模：— / — × — / — × 0.12m 平面形：円形

調査状況：低地部へ続く斜面で検出した。確認が遅れたため、南側はⅡb層掘り下げた時に大部分を掘り下げてしまった。東西方向に半截した。断面図作成と写真撮影の後、完掘した。

土層：黒褐色土主体の単層でバミスを多く含む。埋め戻しによる堆積の可能性がある。

墳底・壁：墳底はほぼ平らで、壁は開き気味に立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅲ群b類土器が少量出土し、Ⅳ群c類土器がやや多く出土した。

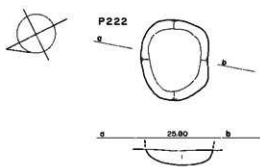
出土遺物：土器～149は深鉢の口縁部。口唇部断面は切出し形。沈線文が巡る。堂林式。

重複・新旧関係：なし。

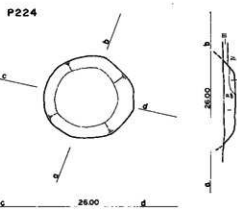
性格・時期：不明である。

(石井淳平)

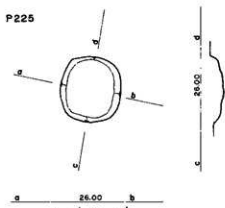




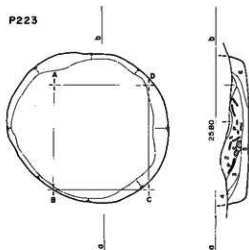
P 222の土層  
1 10YR2/1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅  
□-ム取(径3-7mm)2%含む



P 224の土層  
1 黒褐色土(微小軽石がわずかに混入、上層には黄色土粒が少量混入、全体に堅い)  
2 暗褐色土+黄色土粒(軟質)



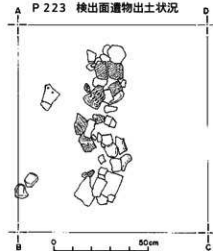
P 225の土層  
1 黒褐色土(やや硬い)  
2 暗褐色土+黄色土(やや軟質)  
3 褐色土+黄色土(軟質)



P 223の土層  
1 7.5YR3/3 暗褐色埴埴土 粘性中 堅密度堅 炭化物(径3-5mm)1%含む  
2 10YR2/1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径10mm)1%含む  
炭化物(径5-7mm)1%含む  
3 10YR2/3 黒褐色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム取(径2mm)7%含む  
4 10YR2/2 黒褐色埴埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径1mm)1%含む  
5 10YR2/1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム取(径5-10mm)7%含む  
6 10YR2/1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム取(径2mm)1%含む

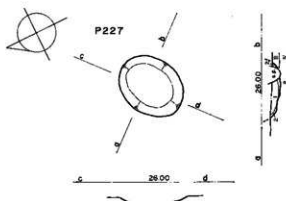


P 223 検出面遺物出土状況

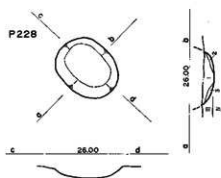


P 223 遺物出土状況

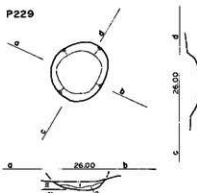
図 -27 土壌(1)



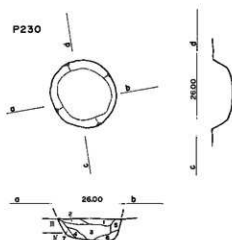
P 227の土層  
1 暗褐色土(微小の黄色土粒混入)  
2 層>1(粘質)



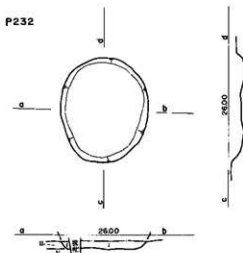
P 228の土層  
1 暗褐色土 黄色土(やや粘質)  
2 層>1(粘質)  
3 1> 凝 粘質



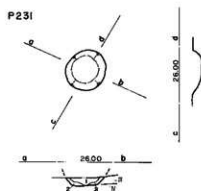
P 229の土層  
1 暗褐色土(わずかに黄色土粒が混入、やや粘質)  
2 層>1(粘質)



P 230の土層  
1 暗褐色土>黄色土(斑点状)  
2 黒褐色土(粘質)  
3 暗褐色土 黄色土(斑点状、炭化物少量混入)  
4 暗褐色土 黄色土(水口ボロ)  
5 暗褐色土(わずかに黄色土混入)  
6 暗褐色土>黄色土(粘質)  
7 層 層 暗褐色土



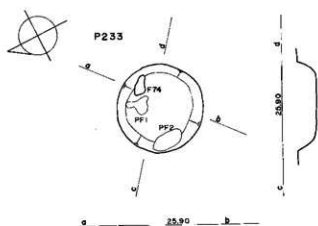
P 232の土層  
1 暗褐色土 黄色土(5mm大の軽石少量混入)



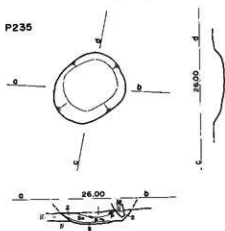
P 231の土層  
1 暗褐色土  
2 層>1



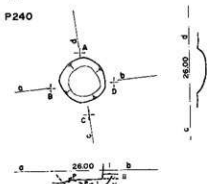
図 -28 土坑(2)



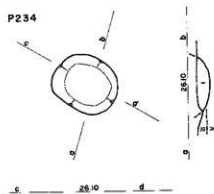
- P 233の土層  
 1 暗褐色土 > 黄色土  
 2 暗褐色土 黄色土  
 3 F 74(明褐色焼土) 3 明褐色焼土  
 4 黒褐色土 > 黄色土  
 5 黄色土 > 褐色土  
 6 褐色土 + 黄色土(混合土)



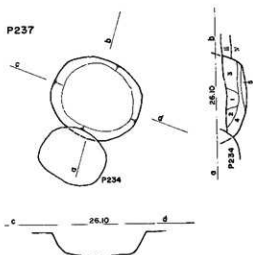
- P 235の土層  
 1 暗褐色土 黄色土(軟質、ボンボン)  
 2 暗褐色土 黄色土  
 3 2 > 層



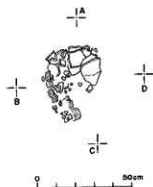
- P 240の土層  
 1 暗褐色土(わずかに黄色土混入)



- P 234の土層  
 1 暗褐色土 > 黄色土



- P 237の土層  
 1 黄色土 暗褐色土(軟質)  
 2 暗褐色土 黄色土  
 3 暗褐色土 > 黄色土(軽石混入)  
 4 暗褐色土(粘質土)  
 5 4 + 層



P240 検出面遺物出土状況



図 -29 土壌(3)

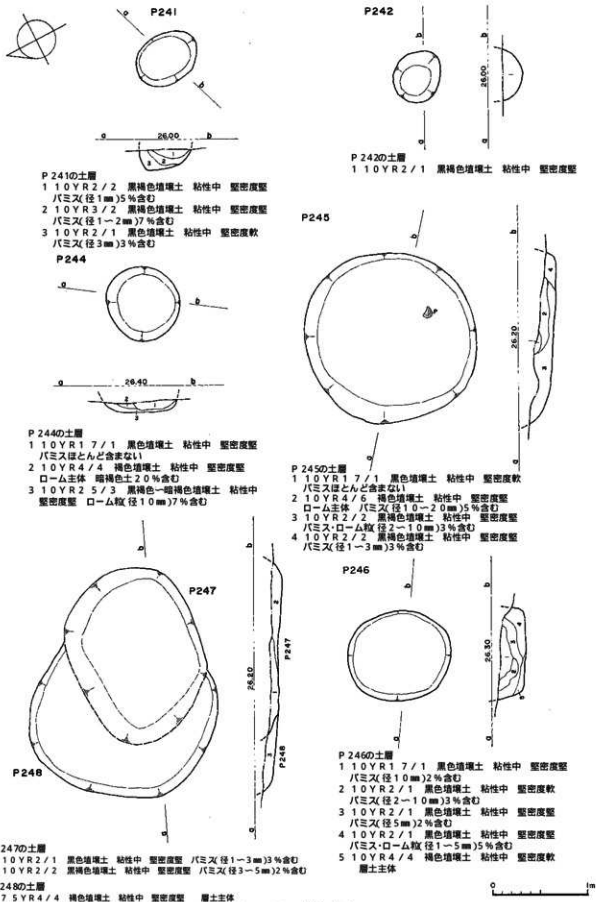
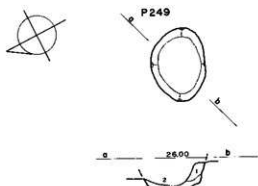
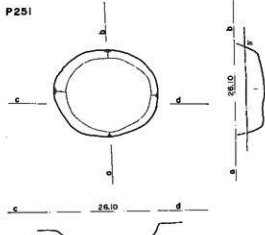


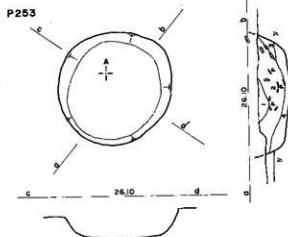
図 -30 土坑(4)



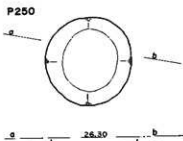
P 249の土層  
 1 10YR3/3 暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 バミズ(径15-20mm)3%含む  
 2 10YR17/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 ローム粒(径3-5mm)3%含む



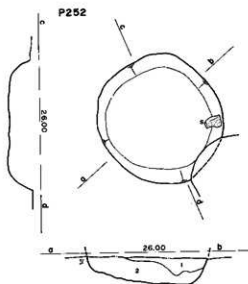
P 251の土層  
 1 褐色土>黄色土(1cm大の軽石多く混入)



P 253の土層  
 1 暗褐色土 黄色土(粒子細かい)  
 2 暗褐色土>黄色土(やや粘質)  
 3 暗黄褐色土(粘質土)  
 4 暗褐色土+黄色土



P 250の土層  
 1 10YR17/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 バミズ(径5-10mm)3%含む  
 2 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性弱 堅密度軟  
 ローム2%含む  
 3 10YR2/3 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 バミズ・ローム粒(径3-5mm)5%含む



P 252の土層  
 1 暗褐色土 黄色土  
 2 黄色土+褐色土+軽石



P253 遺物出土状況

0 50cm

0 1m

図 -31 土坑(5)

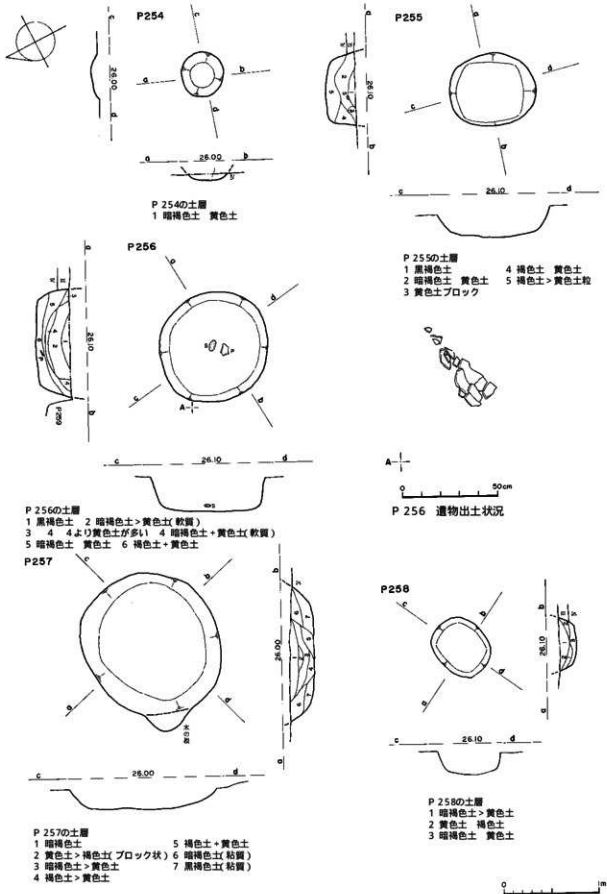


図 -32 土壌(6)

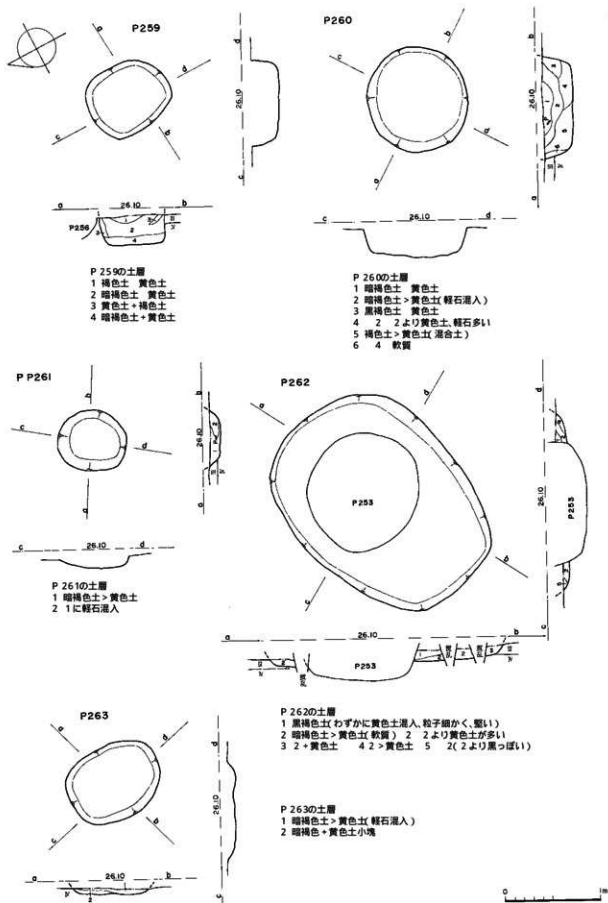
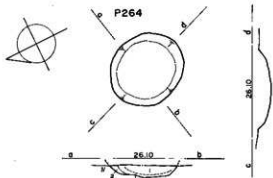
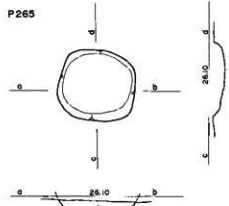


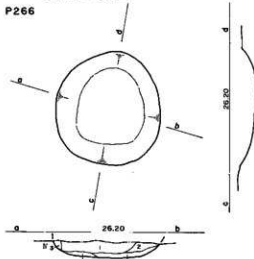
図 -33 土層(7)



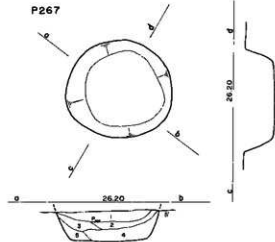
P 264の土層  
 1 暗褐色土>黄色土(堅い) 1より暗褐色土が多く、ボソボソしている。  
 2 暗褐色土 黄色土



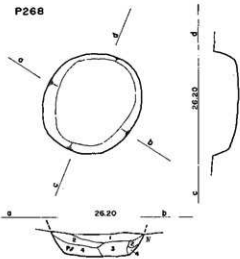
P 265の土層  
 1 暗褐色土>黄色土



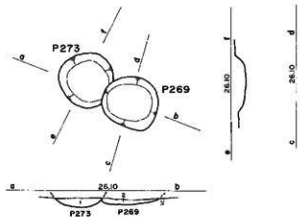
P 266の土層  
 1 暗褐色土>黄色土(軽石、炭化物混入、堅い)  
 2 黒褐色土(軽石、黄色土粒少量混入)  
 3 2(堅い)  
 4 1(黄色土塊混入、軟質) 5 1>黄色土



P 267の土層  
 1 暗褐色土(わずかに黄色土粒混入)  
 2 暗褐色土>黄色土小塊  
 3 2より黄色土小塊が少ない  
 4 黄色土小塊>暗褐色土  
 5 4より黄色土小塊が少ない(軟質)



P 268の土層  
 1 暗褐色土 黄色土  
 2 1より黄色土少なく、軟質  
 3 黄色土>暗褐色土  
 4 暗褐色土+黄色土



P 269・P 273の土層  
 1 暗褐色土>黄色土(P 269)  
 2 暗褐色土 黄色土(P 273)



図 -34 土層(8)



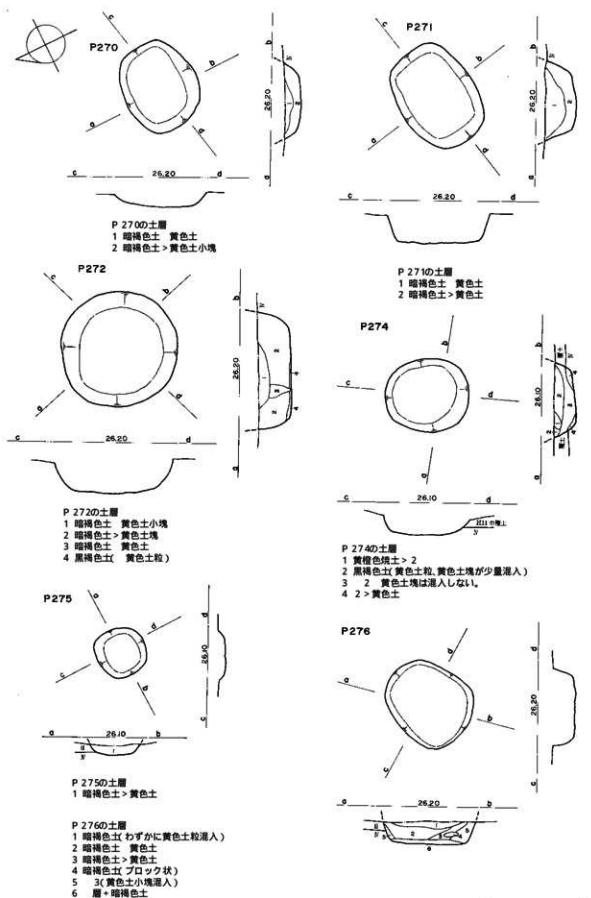
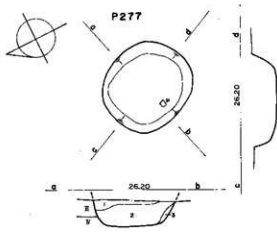
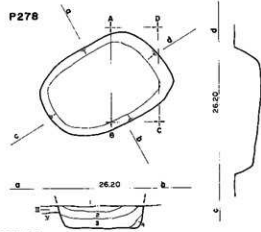


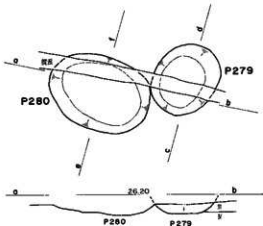
図 -35 土層(9)



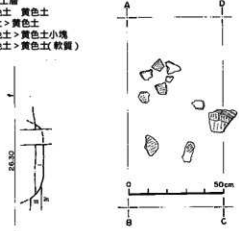
P 277の土層  
 1 暗褐色土 黄色土  
 2 暗褐色土 + 黄色土  
 3 暗褐色土 > 黄色土(ボソボソ)



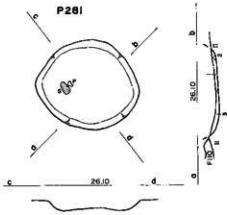
P 278の土層  
 1 暗褐色土 黄色土  
 2 褐色土 > 黄色土  
 3 暗褐色土 > 黄色土(小塊)  
 4 暗褐色土 > 黄色土(軟質)



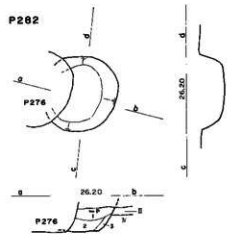
P 279の土層 1 暗褐色土 > 黄色土  
 P 280の土層 1 暗褐色土 > 黄色土



P 278 遺物出土状況



P 281の土層  
 1 褐色土 + 黄色土  
 2 暗褐色土(わずかに黄色土粒混入)  
 3 暗褐色土 > 黄色土



P 282の土層  
 1 暗褐色土 黄色土(やや軟質)  
 2 褐色土 > 黄色土(黄色土小塊混入)  
 3 暗褐色土 > 黄色土(ボロボロ)

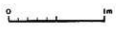


図 -36 土壌 (10)

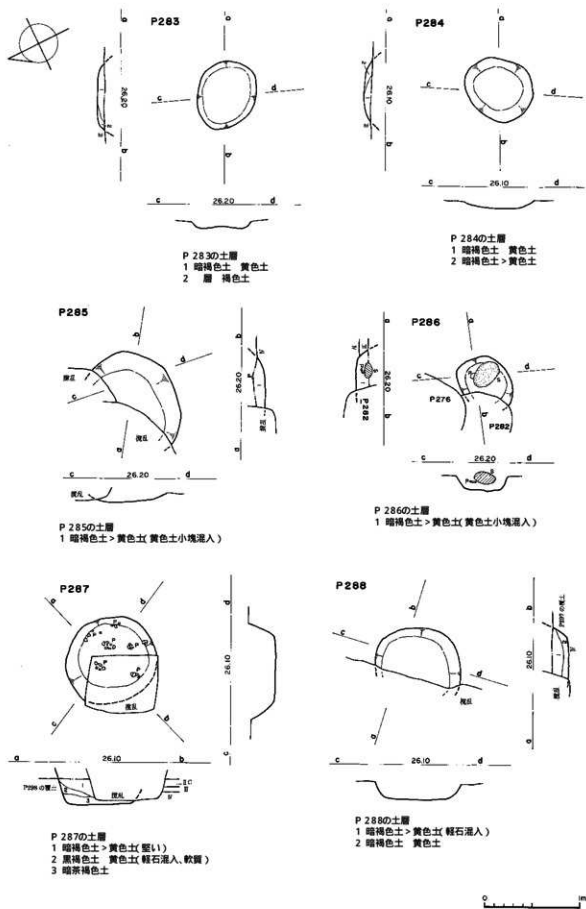


図 -37 土壌(11)

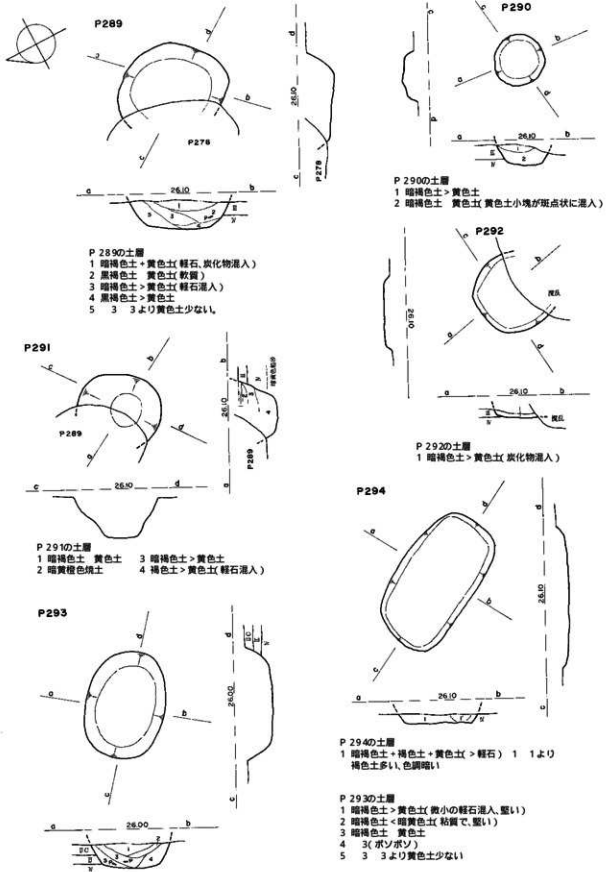


図 -38 土壌 (12)

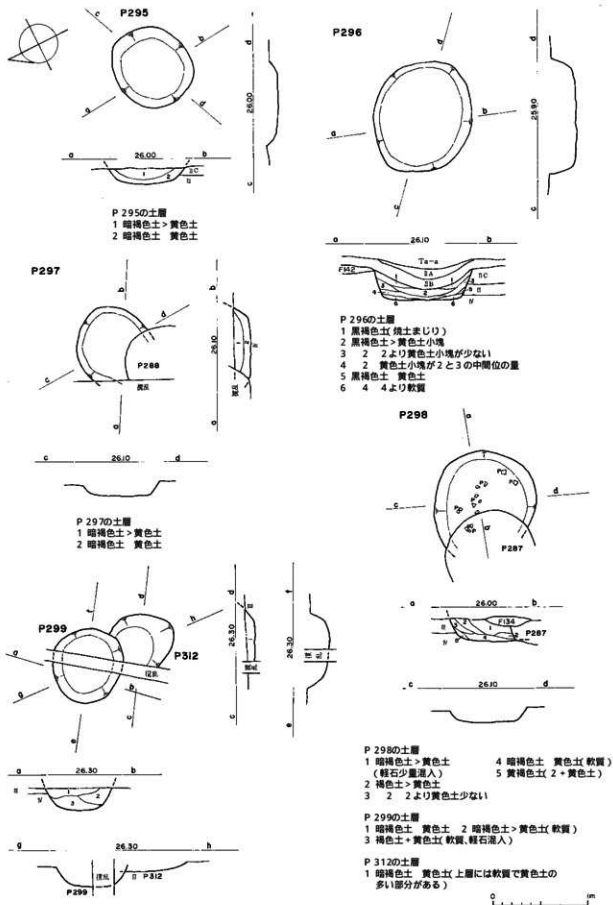


図 -39 土壌(13)

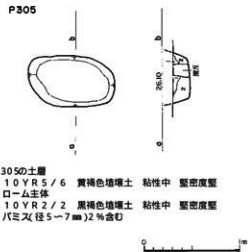
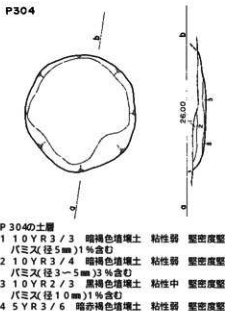
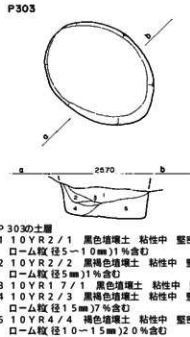
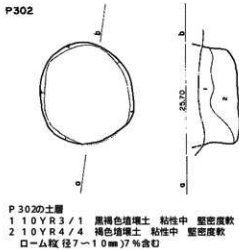
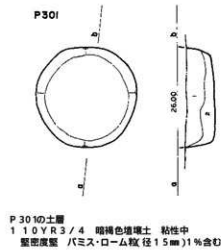
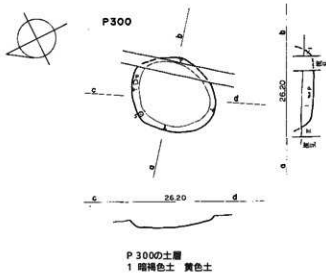
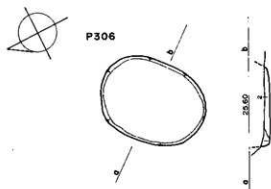
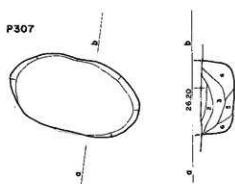


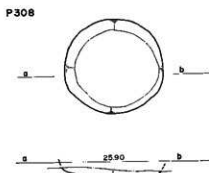
図 -40 土壌 (14)



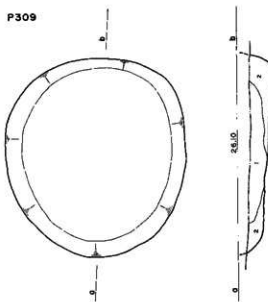
- P 306の土層**  
 1 10YR 2 / 1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 パミズ(径5~10mm)1%含む  
 2 10YR 3 / 4 暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度軟  
 パミズ(径3~5mm)5%含む



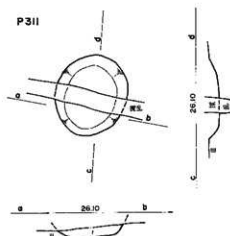
- P 307の土層**  
 1 10YR 3 / 2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 パミズ・ローム粒(径10~15mm)2%含む  
 2 10YR 4 / 3 にぶい黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 ローム粒(径5mm)3%含む  
 3 10YR 2 / 2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 ローム粒(径10~15mm)5%含む  
 4 10YR 4 / 3 にぶい黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 パミズ(径3~5mm)2%含む  
 5 10YR 4 / 4 褐色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 ローム主体 暗褐色土15%含む  
 6 10YR 4 / 3 にぶい黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 ローム粒(径7mm)3%含む



- P 308の土層**  
 1 10YR 2 / 1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 パミズ(径1mm)1%含む



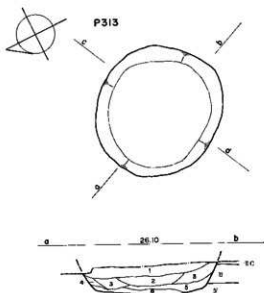
- P 309の土層**  
 1 10YR 2 / 1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 パミズ(径10mm)3%含む  
 2 10YR 4 / 4 褐色埴壤土 粘性中 堅密度堅  
 パミズ(径3~10mm)5%含む



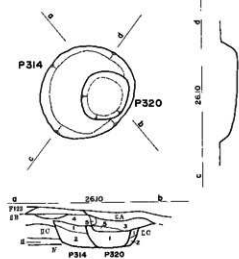
- P 311の土層**  
 1 暗褐色土 黄色土(軽石少量混入)



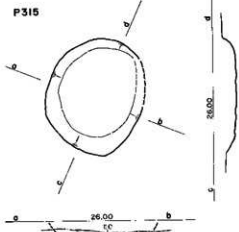
図 -41 土層 (15)



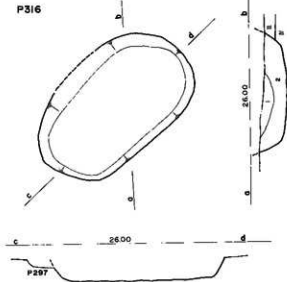
- P 313の土層  
 1 暗褐色土 黄色土(堅い)  
 2 黄色土>褐色土(軽石混入)  
 3 褐色土>黄色土  
 4 3 3より黄色土が少ない  
 5 褐色土 黄色土  
 6 暗黄色土 褐色土



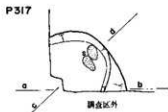
- P 314の土層  
 1 暗褐色土(ボソボソし、わずかに黄色土粒混入)  
 2 暗褐色土 黄色土  
 3 暗褐色土>黄色土(軽石混入、粒子細かい)  
 4 3 3より黄色土が多い  
 5 F 15(明黄色焼土) 5 5に3が混じる。



- P 315の土層  
 1 暗褐色土 黄色土(堅い)  
 2 1 層



- P 316の土層  
 1 暗褐色土 黄色土(堅く、しまる)  
 2 暗茶褐色土(軽石混入)



- P 317の土層  
 1 黒色土(軟質、ボソボソ)  
 2 褐色土>黄色土(軽石混入)  
 3 暗褐色土 黄色土(軽石混入)  
 4 暗褐色土>黄色土(軽石混入)

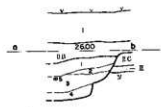


図 -42 土坑 (16)



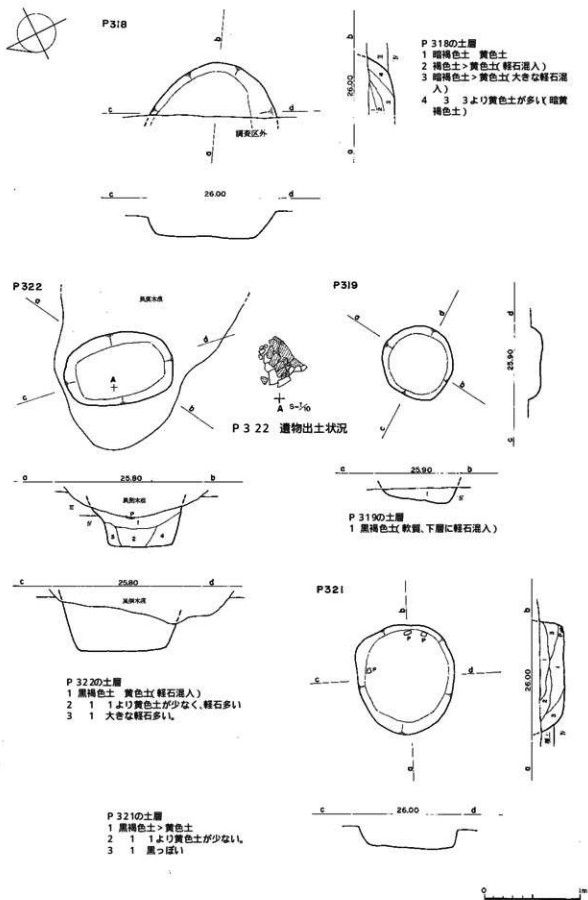
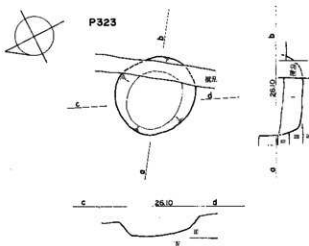
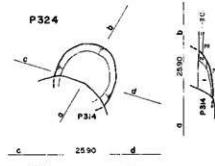


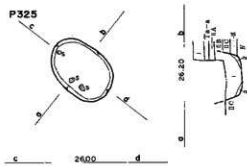
図 -43 土壌 (17)



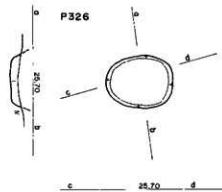
P 323の土層  
1 暗褐色土 黄色土(堅く、しまる。下層はやや黒っぽい。)



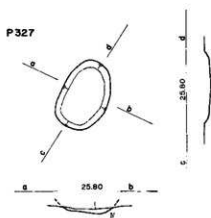
P 324の土層  
1 黒褐色土 2 1 ボソボソしている  
3 1 + 層



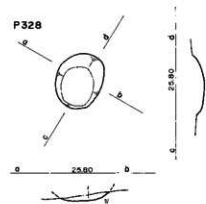
P 325の土層  
1 暗黄色土 > 暗褐色土  
2 黒褐色土



P 326の土層  
1 暗褐色土 > 黄色土(軟質)



P 327の土層  
1 暗褐色土 > 黄色土(軟質)



P 328の土層  
1 褐色土 > 黄色土(軟質)



図 -44 土坑 (18)

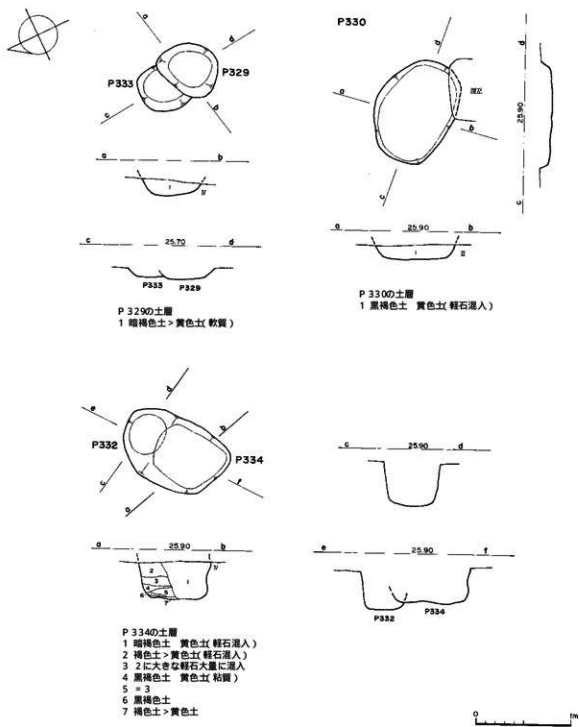


図 -45 土壌 (19)

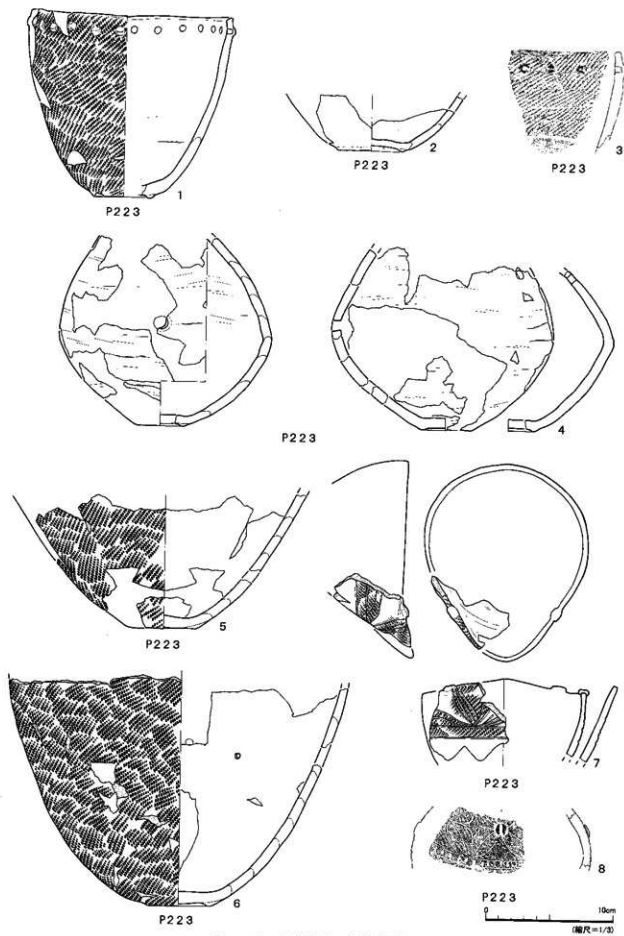


図 -46 土壇出土の土器 (1)

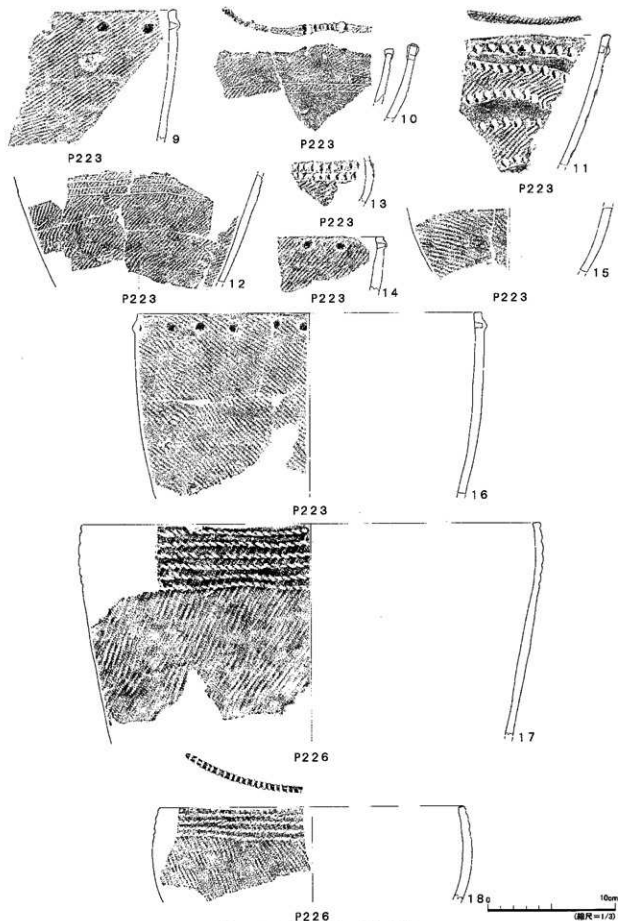


図 47 土壇出土の土器(2)

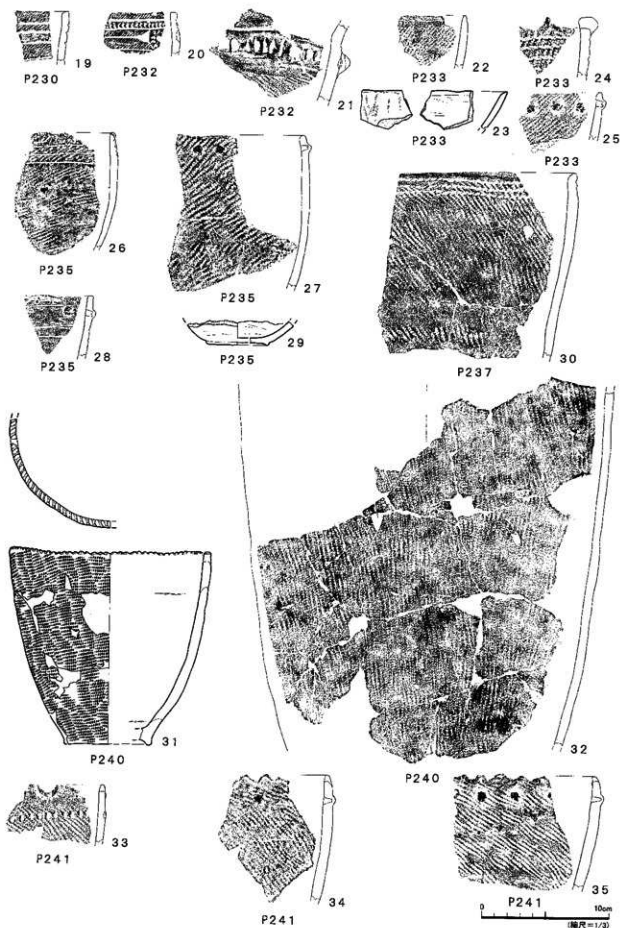


図 一48 土壇出土の土器(3)

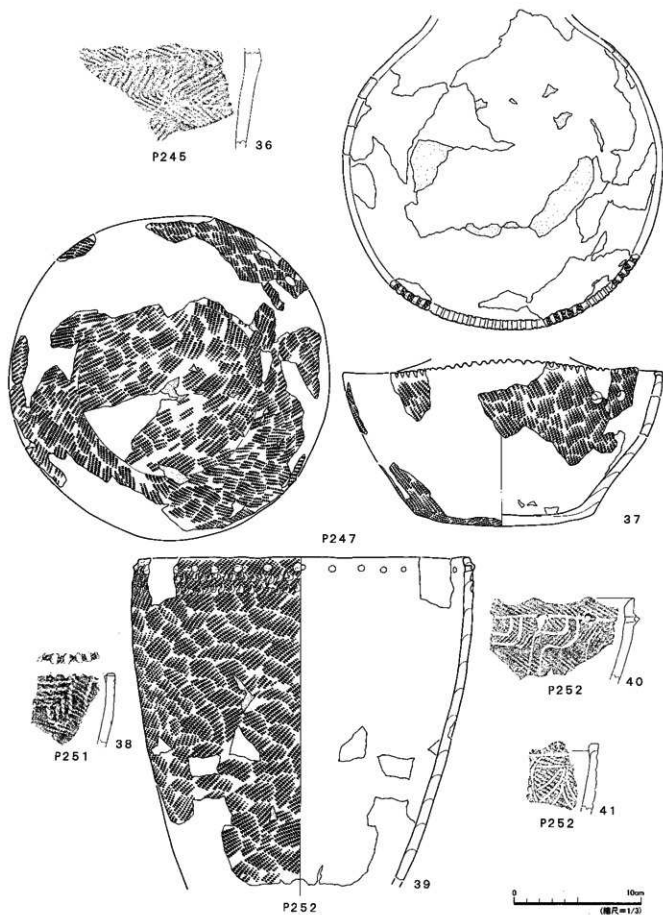


図 一49 土壇出土の土器(4)

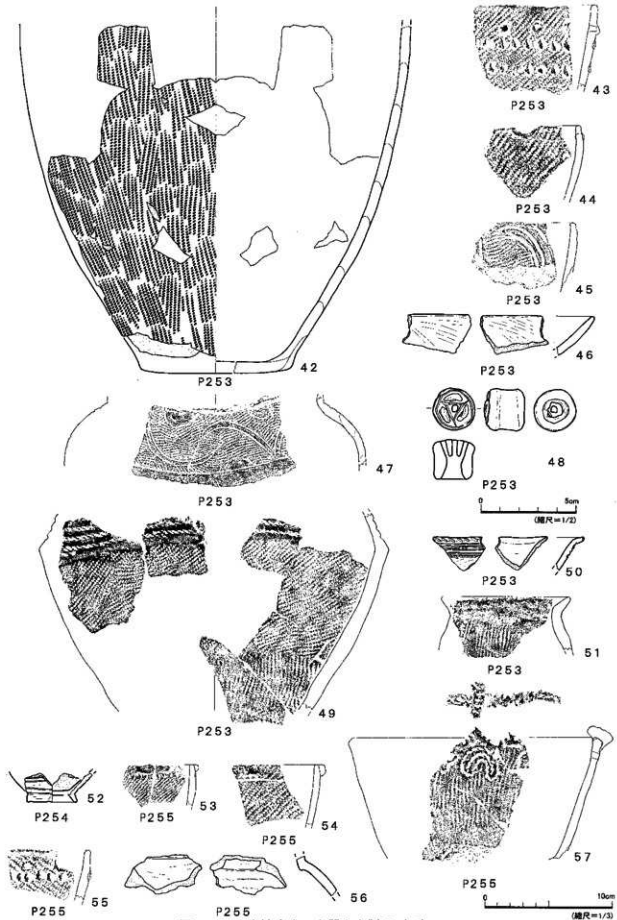


図 -50 土壌出土の土器と土製品 (5)



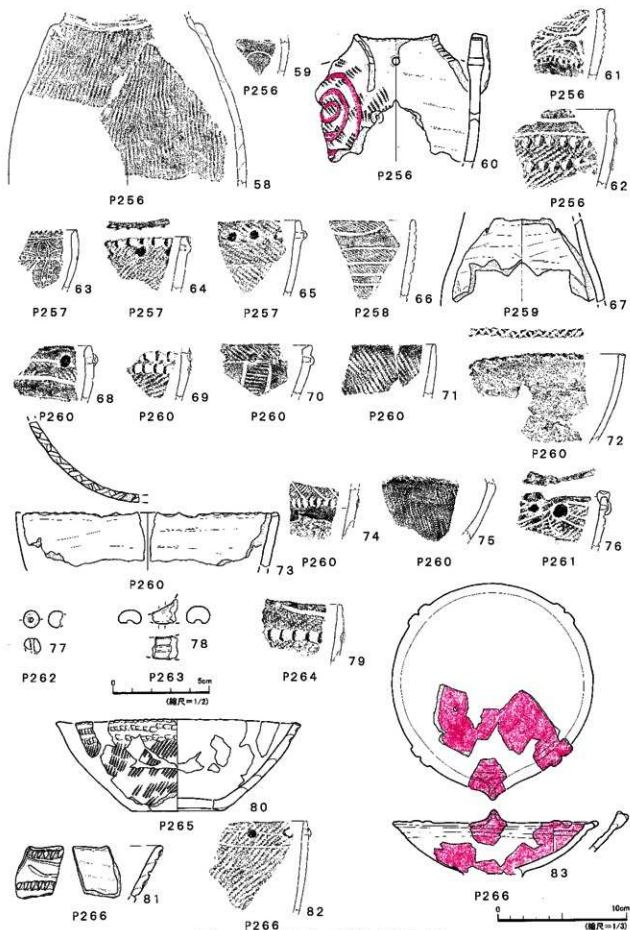


図 -51 土坑出土の土器と土製品(6)

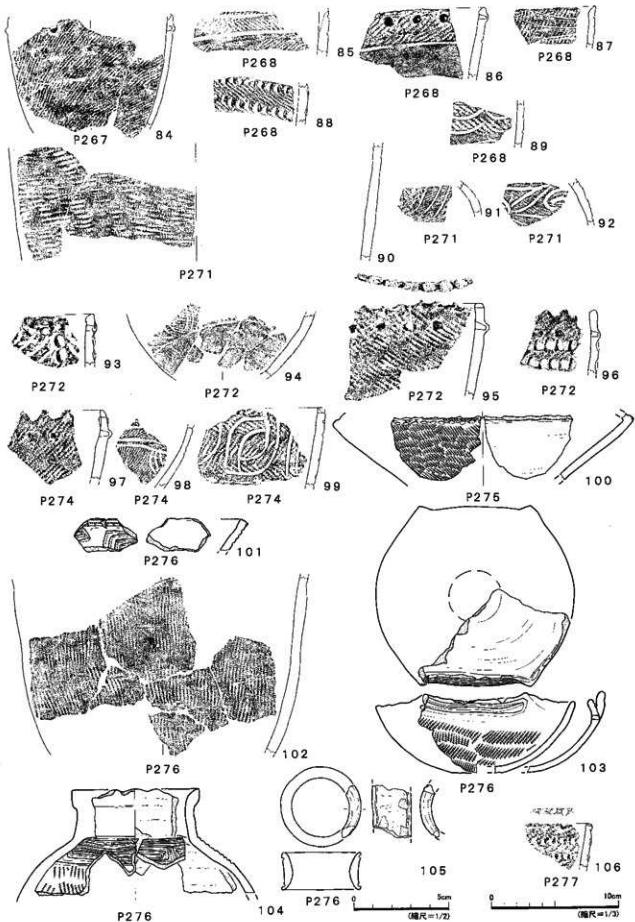


図 -52 土壌出土の土器と土製品 (7)

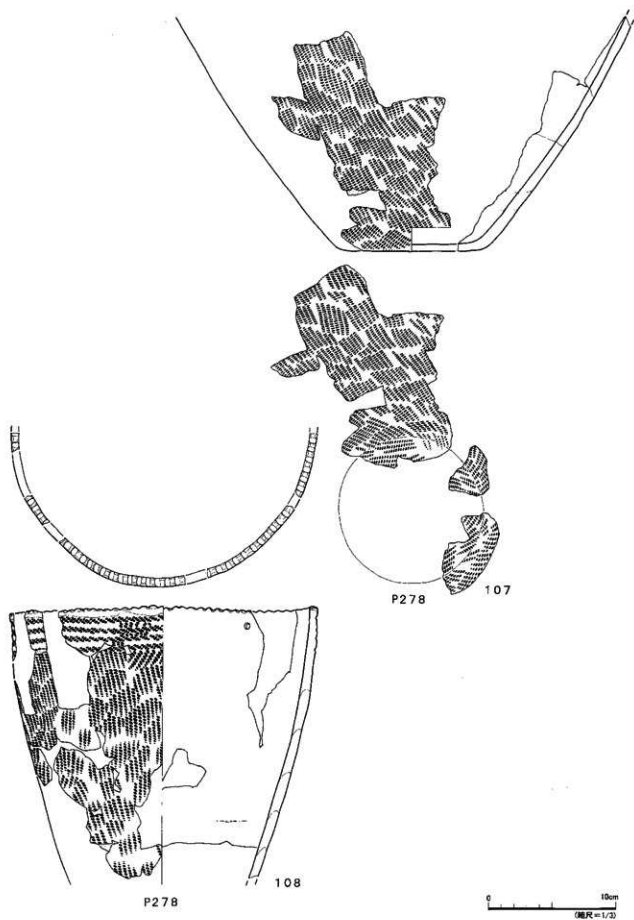


図 一53 土壇出土の土器(8)

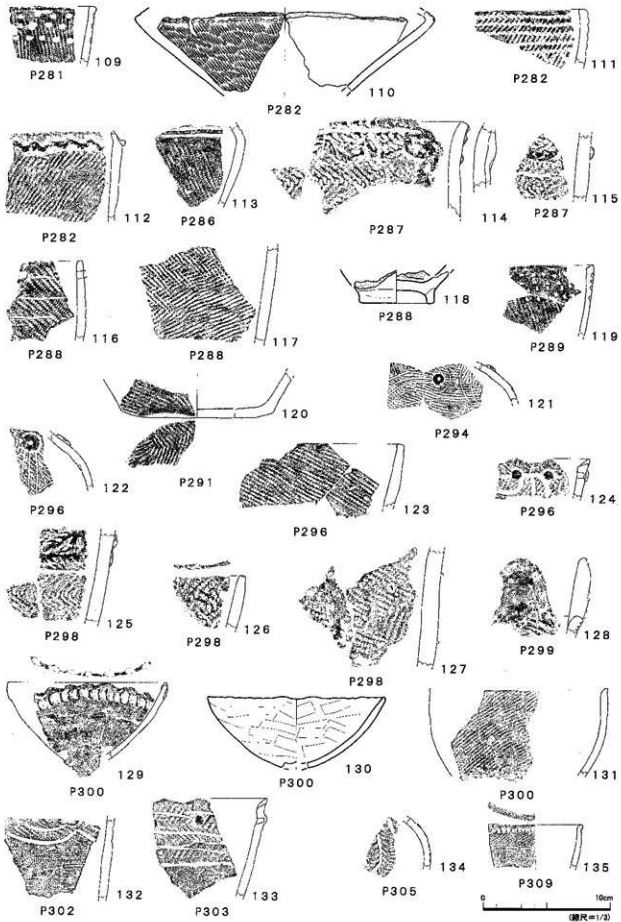


図 -54 土壇出土の土器 (9)

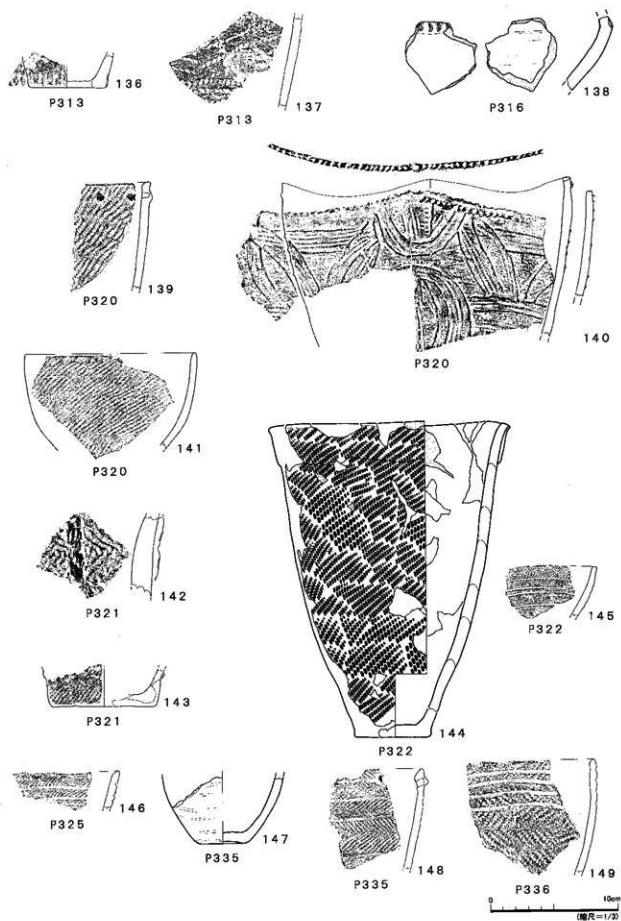


図 55 土壇出土の土器(10)

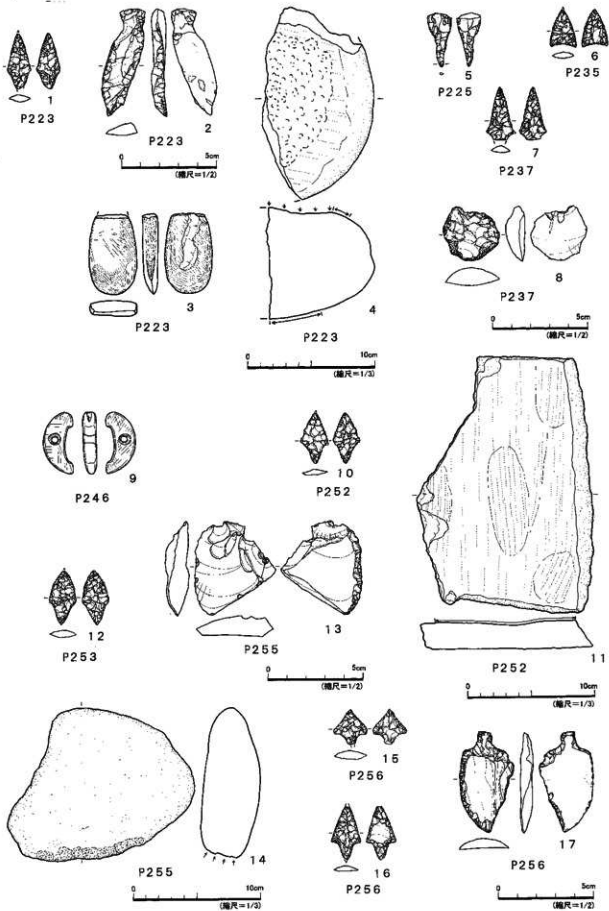


図 -56 土壌出土の石器 (1)

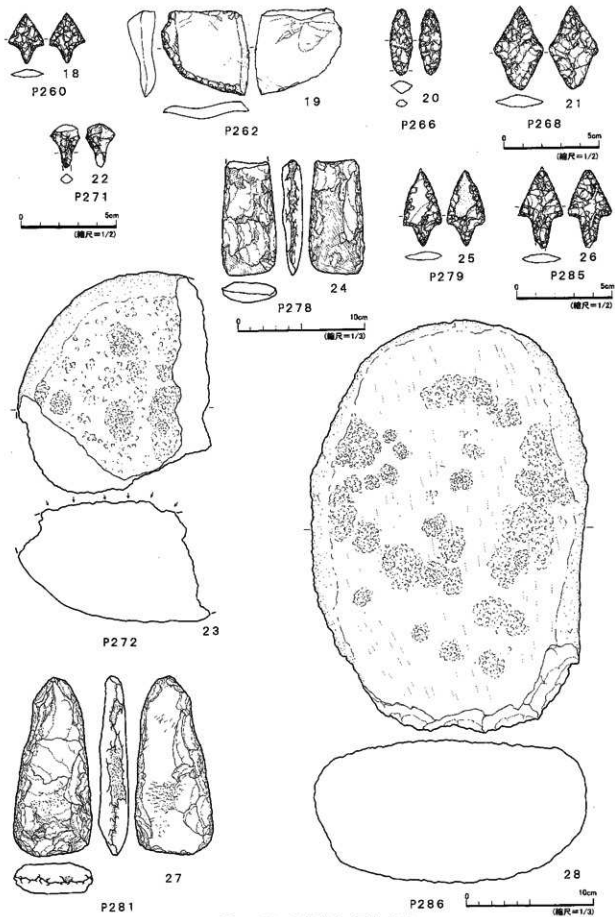


図 57 土壌出土の石器(2)

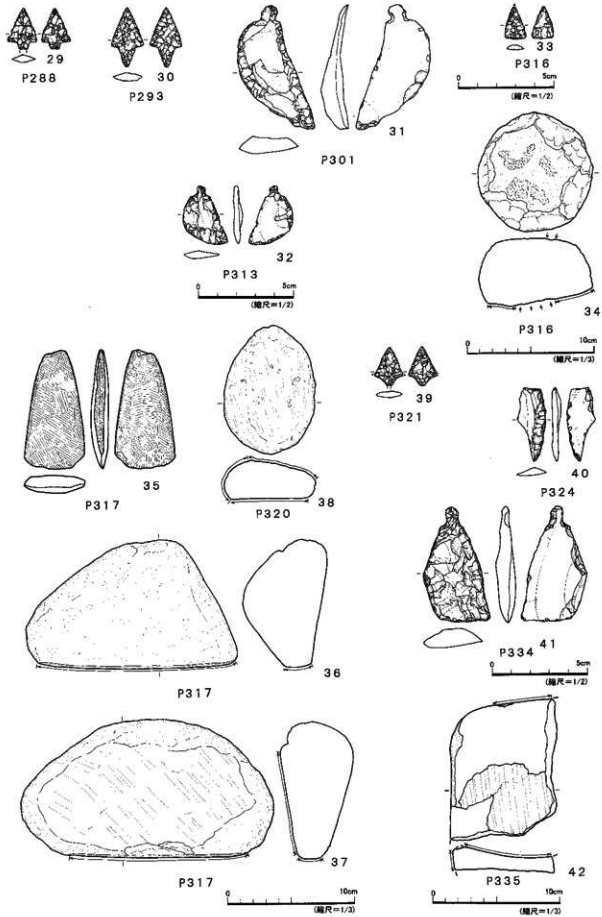


図 58 土壇出土の石器 (3)



表V-5 土坑掲載土器・土製品一覧

図番号	図版番号	遺構名・グリット	層位	取上げ番号	器種(部位)	分類	地文及び主な調整	型式名称	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考
V-46-1	35	P 223	検出面	No.13・21	深鉢(完)	IVc-2	L R	三ツ谷式	15.9	14.6	4.6	-	
			II層(-括)										
			II層(-括下)										
			C-23 I層										
V-46-2	35	P 223	検出面	No.8	深鉢(底)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	5.1	-	
			覆土										
V-46-3	35	P 223	検出面・覆土	No.9	深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
			覆土										
V-46-4	35	P 223	検出面	No.25~27	壺(胴~底)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	14.4	3.8	16.6	孔2つ
			覆土										
			P 224 検出面										
			B-23 I・II層										
V-46-5	35	P 223	検出面・覆土	No.6	深鉢(底)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	10.4	5.7	-	
			覆土										
V-46-6	35	P 223	覆土	No.1~6・8・11~14・24	深鉢(底)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	18.0	4.9	-	
			B-23 I・II層										
V-46-7	35	P 223	覆土		鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	13.0	-	-	-	
			P 235 覆土										
V-46-8	35	P 223	覆土		壺(胴)	IVc-2	R L	三ツ谷式	14.0	-	-	-	
V-47-9	35	P 223	覆土	No.28	深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-47-10	35	P 223	検出面・覆土		鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-47-11	35	P 223	覆土	No.16	深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-47-12	35	P 223	検出面・覆土		深鉢(胴)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
			B-23 I・II層										
V-47-13	35	P 223	覆土		壺(胴)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-47-14	35	P 223	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-47-15	35	P 223	検出面		深鉢(胴)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
			B-20 II層										
V-47-16	35	P 223	覆土	No.23	深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
			B-23 II層										
V-47-17	36	P 226	覆土		深鉢(口)	V b	L R	大淵BC~C1式	36.0	17.3	-	-	
V-47-18	36	P 226	覆土		深鉢(口)	V b	R L	大淵BC~C1式	24.0	-	-	-	
V-48-19	36	P 230	覆土上位		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-48-20	36	P 232	覆土		壺(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-48-21	36	P 232	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-48-22	36	P 233	覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-48-23	36	P 233	覆土2層		鉢(口)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-48-24	36	P 233	覆土1層		深鉢(口)	V b	L R	大淵BC~C1式	-	-	-	-	
V-48-25	36	P 233	覆土1層		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-48-26	36	P 235	覆土		深鉢(口~胴)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-48-27	36	P 235	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-48-28	36	P 235	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	

図番号	図版番号	遺構名・グリット	層位	取上げ番号	器種(部位)	分類	地文及び主な調整	型式名称	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考	
V-48-29	36	P235	覆土		深鉢(底)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	5.0	-		
V-48-30	36	P237	覆土・覆土上位		深鉢(口)	Vb	R L	焼取<口>型	-	-	-	-		
V-48-31	36	P240	検出面(一括)	No.5	深鉢(完)	IVc-2	L R横走	三ツ谷式	15.7	15.5	7.0	-		
			覆土											
		F-24	II層											
V-48-32	36	P240	検出面(一括)		深鉢(口)	IVc-2	R L縦走	大洞BC~C1式相当	29.6	-	-	-		
			F-24											III層
		F-25												
V-48-33	37	P241	覆土		深鉢(突起)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-		
V-48-34	37	P241	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-		
V-48-35	37	P241	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-		
V-49-36	37	P245	覆土		深鉢(胴)	IIIa	L R+L R縦走	鉄ノ筒2式	-	-	-	-		
V-49-37	37	P247	覆土3層	No.4~6・9・10	浅鉢(口~底)	Vb	R L縦走ぎみ	大洞BC~C1式相当	25.1	13.0	14.1	-		
			覆土1・2・3層											
			P278											覆土2層
		P281 P289 P291 SP1945 H-26 I-26	覆土											
			P252											覆土2層
														I・II・III層
														覆土・覆土2層
														覆土
V-49-38	37	P251	覆土2層		深鉢(口)	Vb	R L	焼取<口>型	-	-	-	-		
V-49-39	37	P252	覆土		深鉢(口~胴)	IVc-2	L R	三ツ谷式	26.0	25.8	-	-		
			F-24											
V-49-40	37	P252	覆土・覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	R L・L R	三ツ谷式	-	-	-	-		
V-49-41	37	P252	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L縦走	三ツ谷式	-	-	-	-		
V-50-42	37	P253	I層	No.1・27	深鉢(胴~底)	Vb	L R	大洞BC~C1式相当	-	27.4	11.5	-		
			覆土2層											
		P256	覆土2層(裏面一括)											
			覆土2・3層											
			F-25											I層
V-50-43	37	P253	覆土3層		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-		
V-50-44	37	P253	覆土2層	No.5	深鉢(突起)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-		
V-50-45	37	P253	覆土2層	No.21	鉢(口)	IVc-2	L R斜縁	三ツ谷式	-	-	-	-	大型	
V-50-46	37	P253	覆土2層	No.14	深鉢(突起)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	-	-		
V-50-47	37	P253	覆土2層	No.13	口付土器(胴)	IVc-2	R L・L R縦走	三ツ谷式	16.9	-	-	23.6		
V-50-48	37	P253	覆土2層	No.23	耳栓	土製品		三ツ谷式相当	2.2	2.2	-	-		
V-50-49	37	P253	覆土2層		深鉢(口下~胴)	Vb	L R	大洞BC~C1式相当	-	-	-	26.5		
			覆土3層											
		F-25	I層											

## 西島松5遺跡(2) 平成12・13年度

図番号	図版番号	遺構名・グリット	層位	取上げ番号	器種(部位)	分類	地文及び主な調整	型式名称	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考
V-50-50	37	P253	覆土		壺(口)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-50-51	37	P253	1層		壺(口~胴)	Vb	R.L.多条	焼灰<口縁	9.4	-	-	-	
V-50-52	38	P254	覆土		鉢(底)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	4.0	-	小型
V-50-53	38	P255	覆土3層		深鉢(口)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-50-54	38	P255	覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-50-55	38	P255	覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	R.L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-50-56	38	P255	覆土2層		壺(胴)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-50-57	38	P255	覆土1層		浅鉢(口~胴)	Vb	L.R縦走	焼灰<口縁	20.4	-	-	-	
V-51-58	38	P256	墳底面		壺(肩~胴)	Vb	L.R多条	大洞BC~C1式相当	11.6	-	-	-	
			覆土2・3層										
V-51-59	38	P256	覆土3層		鉢(胴)	IVc-2	L.R縦走	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-60	38	P256	覆土2層		浅鉢(口)	Vc	R.L	タナノリ	11.6	-	-	-	赤彩
V-51-61	38	P256	覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-62	38	P256	覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-63	38	P257c	覆土2層		壺(口)	IVc-2	無筋R横走	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-64	38	P257a	覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-65		P257c	覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	R.L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-66	38	P258	覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	R.L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-67	38	P259	覆土2・3層		壺(胴)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-68	38	P260	覆土4層		深鉢(口)	IVc-2	R.L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-69	38	P260	覆土3層		深鉢(胴)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-70	38	P260	覆土3層		深鉢(口)	IVc-1	R.L	堂林式	-	-	-	-	
V-51-71	38	P260	覆土3層		深鉢(口)	IVc-2	R.L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-72	38	P260	覆土2・4層		鉢(口)	Vb	無文	焼灰<口縁	-	-	-	-	
V-51-73	38	P260	覆土2層		鉢(口)	Vb	無文	焼灰<口縁	20.6	-	-	-	
V-51-74	38	P260	覆土2層		深鉢(胴)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-75	38	P260	覆土1層		壺(胴)	Vb	R.L	焼灰<口縁	-	-	-	-	
V-51-76	38	P261	覆土1層		深鉢(口)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-77	38	P262	覆土1層		玉	土製品		三ツ谷式相当	-	-	-	-	
V-51-78	38	P263	覆土		スリヤ土製品	土製品		堂林式相当	-	-	-	-	
V-51-79	38	P264	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-80	38	P265	覆土1層		鉢(完)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	19.0	7.2	7.0	-	
V-51-81	38	P266	覆土1層		深鉢(突起)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-82	38	P266	覆土1層		深鉢(口)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-51-83	38	P266	覆土1層		鉢(口~胴)	Vc	無文	大瓶式相当	16.0	5.0	4.6	-	赤彩
		P268											
V-52-84	39	P267	覆土1層		深鉢(胴)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	12.8	-	-	-	
		H-26											
V-52-85	39	P268	覆土2層		深鉢(胴)	IVc-1	R.L・L.R	堂林式	-	-	-	-	
V-52-86	39	P268	覆土1層		深鉢(口)	IVc-1	L.R	堂林式	-	-	-	-	
V-52-87	39	P268	覆土1層		深鉢(口)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-88	39	P268	覆土1層		深鉢(胴)	IVc-2	R.L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-89	39	P268	覆土1層		深鉢(胴)	IVc-2	R.L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-90	39	P271	覆土1層		深鉢(胴)	IVc-2	L.R横走	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-91	39	P271	覆土1層		壺(胴)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-92	39	P271	覆土1層		壺(胴)	IVc-2	R.L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-93	39	P272	覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	L.R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-94	39	P272	覆土2層		壺(胴)	IVc-2	R.L	三ツ谷式	-	-	-	-	

図番号	図版番号	遺構名・グリット	層位	取上げ番号	器種(部位)	分類	地文及び主な調整	型式名称	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考
V-52-95	39	P272	覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-96	39	P272	覆土1層		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-97	39	P274	覆土2層		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-98	39	P274	覆土1層		鉢(胴)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-99	39	P274	覆土1層		深鉢(口)	IVc-2	R L・L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-52-100	39	P275	覆土		壺(胴)	V b	R L	焼灰<G>型	-	-	-	6.8	109同-?
V-52-101	39	P276	覆土1・2層		鉢(口)	V b	L R押圧	焼灰<G>型	-	-	-	-	
V-52-102	39	P276 P286	覆土1・2層 覆土		深鉢(胴)	V b	R L縦走	焼灰<G>型	-	-	-	-	
V-52-103	39	P276	覆土1層		鉢(口~底)	V b	L R	焼灰<G>型	15.6	6.3	4.0	-	
V-52-104	39	P276	覆土1・2層		壺(口~胴)	V b	R L	焼灰<G>型	10.0	-	-	-	
V-52-105	39	P276	覆土		耳栓	土製品		三ツ谷式相当	-	-	-	-	
V-52-106	39	P277	覆土1層		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-53-107	39	P278 P281 P289 H-26 I-26	覆土2層 覆土3層 覆土3層 墳底面 覆土 II層 II・III層	No.7・8	深鉢(胴~底)	V b	R L	大洞BC~C1式相当	-	-	10.0	-	
V-53-108	39	P278 P289 F110 H-26 I-26	覆土 覆土1層 覆土2・3層 I・攪乱・II層 I・II・III層		深鉢(口~胴)	V b	L R縦走	大洞BC~C1式相当	24.3	22.5	-	-	
V-54-109	39	P281	覆土		深鉢(口)	V b	R L	焼灰<G>型	-	-	-	-	
V-54-110	39	P282 P286	覆土2層 覆土		壺(胴)	V b	R L	焼灰<G>型	-	-	-	9.7	
V-54-111	39	P282	覆土1層		深鉢(口)	V b	L R	焼灰<G>型	-	-	-	-	
V-54-112	39	P282	覆土1層		深鉢(胴)	V b	L R	焼灰<G>型	-	-	-	-	100同-?
V-54-113	39	P286	覆土1層		壺(胴)	V b	R L	焼灰<G>型	-	-	-	-	
V-54-114	39	P287 P298	床直上 覆土	No.2	深鉢(口)	Ⅲa	R L・R L縦走	萩ヶ岡1式	-	-	-	-	115同-?
V-54-115	39	P287 P298	床直上 覆土	No.1 No.7	深鉢(胴)	Ⅲa	R L・R L縦走	萩ヶ岡1式	-	-	-	-	114同-?
V-54-116	40	P288	覆土中位		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-54-117	40	P288	覆土中位		深鉢(胴)	IVc-1	R L・L R	堂林式	-	-	-	-	
V-54-118	40	P288	覆土		深鉢(底)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	6.0	-	
V-54-119	40	P289	覆土1層		深鉢(口)	V b	R L	焼灰<G>型	-	-	-	-	
V-54-120	40	P291	覆土		深鉢(底)	V b	R L	焼灰<G>型	-	-	6.0	-	
V-54-121	40	P294 H-23	覆土1層 III層		壺(胴)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-54-122	40	P296	覆土1層		壺(胴)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-54-123	40	P296	覆土1層		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-54-124	40	P296	II B層		深鉢(口)	IVc-1	R L・L R	堂林式	-	-	-	-	
V-54-125	40	P298	覆土 覆土	No.10	深鉢(胴)	Ⅲa	R L・R L縦走	萩ヶ岡1式	-	-	-	-	
V-54-126	40	P298	覆土		深鉢(口)	Ⅲa	R L・R L縦走	煉瓦台式	-	-	-	-	
V-54-127	40	P298	覆土上位		深鉢(胴)	Ⅲa	R L・R L縦走	萩ヶ岡2式	-	-	-	-	

図番号	図版番号	遺構名・グリット	層位	取上げ番号	器種(部位)	分類	地文及び主な調整	型式名称	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考
V-54-128	40	P 299	覆土1層		深鉢(突起)	Ⅲa	L R	萩ヶ岡2式	-	-	-	-	ヘラ
V-54-129	40	P 300	覆土		鉢(口)	Ⅳc-2	無文	三ツ谷式	12.5	-	-	-	
V-54-130	40	P 300	覆土		鉢(口)	Ⅳc-2	無文	三ツ谷式	14.0	5.6	-	-	
V-54-131	40	P 300	覆土		鉢(口)	Ⅳc-2	無節R	三ツ谷式	14.0	-	-	-	
V-54-132	40	P 302	覆土1層		深鉢(胴)	Ⅳc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-54-133	40	P 303	覆土1層		深鉢(口)	Ⅳc-1	RL・LR	堂林式	-	-	-	-	
V-54-134	40	P 305	覆土		壺(胴)	Ⅳc-1	無文	堂林式	-	-	-	-	
V-54-135	40	P 309	覆土1層		壺(口)	Ⅳc-2	L R	三ツ谷式	7.4	-	-	-	
V-55-136	40	P 313	覆土2層		深鉢(底)	I b-3	L R 押圧	コッタロ式	-	-	6.1	-	
V-55-137	40	P 313	覆土		深鉢(胴)	I b-4	R・L 磨滅	東細器Ⅳ式	-	-	-	-	
V-55-138	40	P 316	覆土1層		壺(胴)	Ⅳc-2	無文	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-55-139	40	P 320	覆土	No.7	深鉢(口)	Ⅳc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-55-140	40	P 320	覆土	No.2	深鉢(口)	Ⅳ	R L 多条	萩ヶ岡D式	22.7	-	-	-	帯状縄文
V-55-141	40	P 320	覆土	No.1	鉢(口)	Ⅳc-2	L R	三ツ谷式	13.5	-	-	-	
V-55-142	40	P 321	覆土	No.1	深鉢(胴)	Ⅲa	RL・LR 磨滅	萩ヶ岡2式	-	-	-	-	ヘラ
V-55-143	40	P 321	覆土1層	No.2	深鉢(底)	I b-3	L R	中茶路式	-	-	-	-	
V-55-144	40	P 322	覆土上位	No.1~3	深鉢(完)	Ⅳa	L R 多条	余市式	18.9	24.7	5.9	-	
V-55-145	40	P 322	覆土1層		鉢(口)	Ⅳc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-55-146	40	P 325	覆土		深鉢(口)	Ⅳc-1	L R	堂林式	-	-	-	-	
V-55-147	40	P 335	覆土		深鉢(底)	Ⅳc-1	無文	堂林式	-	-	2.5	-	
V-55-148	40	P 335	覆土		深鉢(口)	Ⅳc-2	RL・LR	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-55-149	40	P 336	覆土		深鉢(口)	Ⅳc-1	RL・LR	堂林式	-	-	-	-	

表V-6 土城掘載石器一覧

遺構番号	図番号	名称	層位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	石材	備考
P223	図V-56-1	石鏝	覆土	2.90	1.20	0.40	0.80	黒曜石	
		* 2 つまみ付きナイフ	*	5.70	2.30	0.80	8.40	珪質頁岩	被熱
		* 3 石斧	*	(6.24)	3.73	1.21	49.40	泥岩	黒色付着物あり
		* 4 台石	*	(15.20)	(8.90)	9.20	1.5kg	安山岩	煤付着
P225	* 5	石鏝	*	2.90	1.30	0.90	2.20	頁岩	
P235	* 6	石鏝	*	(1.95)	1.30	0.32	0.50	黒曜石	
P237	* 7	*	*	(2.80)	1.40	0.45	1.00	*	
	* 8 スクレイパー	覆土上層	2.90	3.00	1.00	7.60	*		
P246	* 9	石製品	覆土	3.25	1.60	0.75	5.50	カンラン岩	玉
P252	* 10	石鏝	*	2.70	1.40	0.36	0.90	黒曜石	被熱
	* 11 砥石	壁面	20.20	13.90	2.35	990.00	砂岩		
P253	* 12	石鏝	覆土	2.85	1.40	0.40	1.00	黒曜石	
P255	* 13 スクレイパー	覆土3層	4.95	4.25	1.30	18.50	頁岩		
	* 14 たたき石	覆土2層	12.0	15.0	4.50	1.10kg	安山岩		
P256	* 15 石鏝	*	(1.90)	1.80	0.50	0.80	黒曜石		
	* 16 *	*	(2.80)	1.60	0.30	0.90	*		
	* 17 つまみ付きナイフ	*	5.30	2.90	0.70	7.30	*		
P260	図V-57-18	石鏝	*	2.60	1.90	0.45	1.00	*	
P262	* 19 スクレイパー	覆土1層	4.50	4.70	0.90	20.00	頁岩		
P266	* 20	石鏝	*	3.45	1.10	0.65	2.10	黒曜石	
P268	* 21	石鏝	*	4.40	2.60	0.70	4.60	*	
P271	* 22	石鏝	*	2.30	1.50	0.70	1.60	頁岩	赤色顔料付着
P272	* 23	石皿	*	(17.40)	(15.20)	(9.60)	3.2kg	安山岩	
P278	* 24	石斧	覆土3層	(8.90)	4.25	1.60	93.30	片岩	
P279	* 25	石鏝	覆土	4.00	2.00	0.45	2.00	黒曜石	
P285	* 26	*	*	(4.10)	2.20	0.45	2.40	*	
P281	* 27	石斧	壕底面	14.00	6.00	2.40	265.10	緑色泥岩	
P286	* 28	石皿	覆土	32.30	21.90	11.20	10.3kg	安山岩	
P288	図V-58-29	石鏝	覆土下層	(2.15)	1.50	0.40	0.80	黒曜石	
P293	* 30	*	覆土1層	3.10	1.70	0.45	1.20	*	
P301	* 31	つまみ付きナイフ	覆土	6.50	4.10	1.50	18.00	頁岩	
P313	* 32	*	覆土1層	3.10	2.30	0.50	2.50	*	
P316	* 33	石鏝	覆土2層	1.68	1.10	0.27	0.40	黒曜石	
	* 34	すり石	覆土1層	9.36	9.00	5.40	640.00	安山岩	
P317	* 35	石斧	覆土上層	9.30	4.70	1.40	84.00	緑色泥岩	
	* 36	すり石	*	10.20	16.50	6.65	1.4kg	安山岩	
	* 37	*	*	10.90	19.90	5.75	1.8kg		
P320	* 38	砥石	覆土1層	10.10	7.20	3.00	81.10	軽石	
P321	* 39	石鏝	覆土	(2.00)	1.50	0.35	0.60	黒曜石	
P324	* 40	スクレイパー	覆土	3.90	1.60	0.50	2.00	黒曜石	
P334	* 41	つまみ付きナイフ	*	6.10	3.50	1.00	17.10	頁岩	
P335	* 42	砥石	*	(11.10)	(8.60)	(2.00)	(210.00)	砂岩	

表V-7 遺構別(土壌)出土土器・土製品一覧

遺構	出土層位	Ia	Ib-3	Ib-4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVc-1	IVc-2	Vb	Vc	VI	土製品	総計
P222	攪乱										2					2
P223	検出面				1		4			2	226					233
	覆土		1	2	5		10	1		2	314	1				336
	計		1	2	6		14	1		4	540	1				569
P224	覆土				1						68					69
	堆底直上										4					4
	計				1						72					73
P225	覆土						2		1	24						27
P226	覆土											15				15
P227	覆土										25					25
P228	覆土										25	1				26
P229	覆土										16					16
	覆土1層								1	19						20
	覆土2層										6				1	7
	計								1	41					1	43
P230	覆土上位										41					41
	覆土中位										32					32
	覆土下位									1	15					16
	計									1	88					89
P231	覆土									16						16
P232	覆土										13					13
P233	覆土1層										223	1				224
	覆土2層			1							42					43
	覆土壁面										21					21
	床直上										10					10
	計			1							296	1				298
P234	覆土									12						12
P235	覆土									95						95
P237	覆土										18	8				26
	覆土上位										15	6				21
	覆土下位										4					4
	計										37	14				51
P240	覆土										31					31
	検出面										126					126
	計										157					157
P241	覆土									56						56
P242	覆土									5	3					8
P244	覆土			1	4											5
P245	覆土						6									6
P246	覆土		2		7		1		7	20						37
P247	覆土		9	1												10
P248	覆土		3													3
P249	覆土						6				11					17
P250	覆土									31						31
P251	覆土			1	2											3
	覆土2層				1				1	53	2					57
	計			1	3				1	53	2					60
P252	覆土						2		7	54	1				1	65
	堆底直上									4						4
	計						2		7	58	1			1		69

遺構	出土層位	Ia	Ib-3	Ib-4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVc-1	IVc-2	Vb	Vc	VI	土製品	総計
P253	I層		1	1	2			1			247	17				269
	覆土										46					46
	覆土1層								1	6						7
	覆土2層				2				3	452	19			6	1	483
	覆土3層									64						64
	計		1	1	4			1	4	815	36			6	1	869
P254	覆土										18	1				19
P255	覆土1層								2	49	4					55
	覆土2層									158	1					159
	覆土3層									70						70
	計								2	277	5					284
P256	覆土1層										6					6
	覆土2層								3	114	26					143
	覆土3層								8	199	1				1	209
	覆土4層								1	21	4					26
	城底直上										1					1
	計								12	340	32				1	385
P257	覆土1層										142					142
	覆土2層						4	1		5	716					726
	計						4	1		5	858					868
P258	覆土1層							1			2					3
	覆土2層						1				7					8
	計						1	1			9					11
P259	II層										42					42
	覆土1層									1	16					17
	覆土2層					1				5	242	1				249
	覆土3層									1	30	2				33
	計						1			7	330	3				341
P260	覆土1層									2	41	8				51
	覆土2層		1							2	75	7				85
	覆土3層									5	82					87
	覆土4層									8	102	1			1	112
	計		1							17	300	16			1	335
P261	覆土1層								51	1						52
P262	覆土1層				2					3	13				1	19
	覆土2層				2					2	16					20
	計				4					5	29				1	39
P263	覆土										9				1	10
	覆土1層										16					16
	計										25				1	26
P264	覆土										43					43
	覆土1層										17					17
	計										60					60
P265	覆土										30					30
	覆土1層										34					34
	計										64					64
P266	覆土									1						1
	覆土1層				1					8	118		1			128
	計				1					9	118		1			129
P267	覆土1層		1				2			1	145					149
	覆土2層						1				12					13



## 西島松5遺跡(2) 平成12・13年度

遺構	出土層位	Ia	Ib-3	Ib-4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVc-1	IVc-2	Vb	Vc	VI	土製品	総計
P267	覆土3層									2	5					7
	計		1				3			3	162					169
P268	覆土1層				1					1	135		7			144
	覆土2層									5	12					17
	計				1					6	147		7			161
P269	覆土										3					3
	覆土1層										5					5
	計										8					8
P270	覆土1層										60					60
	覆土2層										16					16
	計										76					76
P271	覆土1層										106					106
	覆土2層									1	129					130
	計									1	235					236
P272	覆土1層										88					88
	覆土2層										133	1				134
	計										221	1				222
P273	覆土1層								1	13						14
P274	覆土1層										80					80
	覆土2層										6					6
	計										86					86
P275	覆土									6	1					7
P276	覆土1層											102			1	103
	覆土2層											66				66
	計											168			1	169
P277	覆土1層					1			1	75						77
	覆土2層									29						29
	計					1			1	30	75					106
P278	覆土1層										14	15				29
	覆土2層						2				4	14				20
	覆土3層						1		1	34	10					46
	計						3		1	52	39					95
P279	覆土									8						8
P280	覆土									11						11
P281	覆土										2	10				12
	墳底面											1				1
	計											2	11			13
P282	覆土1層										37	2				39
	覆土2層			1							23	2				26
	計			1							60	4				65
P283	覆土									28						28
P284	覆土									16						16
P285	覆土									5						5
P286	覆土								1	15	16					32
P287	覆土1層						17			5						22
	覆土2層									1	3					4
	覆土3層		1				12			4						17
	床直上						23									23
	計		1				52			10	3					66
P288	覆土									2	49	1				52
	覆土上位									2	10					12
	覆土中位								1	11						12

遺構	出土層位	Ia	Ib-3	Ib-4	IIa	IIb	III	Na	Nc	Nc-1	Nc-2	Vb	Vc	VI	土製品	総計
P288	覆土下位										2					2
	計									5	72	1				78
P289	覆土1層						1			1	31					33
	覆土2層						1			4	20	1				26
	覆土3層						1				18	1				20
	計						3			5	69	2				79
P290	覆土						2									2
P291	覆土											11				11
P292	覆土										6					6
P293	覆土1層						1				73					74
	覆土2層						1				112					113
	計						2				185					187
P294	覆土										1					1
	覆土1層										1					1
	計										2					2
P295	覆土										34					34
	覆土1層										46					46
	計										80					80
P296	ⅡA層										13				1	14
	ⅡB層									3	101					104
	覆土1層						1				120					121
	覆土2層						1				62					63
	覆土3層						1			1	79					81
計						3			4	375				1	383	
P297	覆土									6						6
	覆土1層										32					32
	覆土2層										34					34
	計										72					72
P298	覆土				1		71			8						80
	覆土1層						34									34
	覆土上位						14			1						15
	計				1		119			9						129
P299	覆土1層						1			1	16					18
	覆土2層										5					5
	計						1			1	21					23
P300	覆土										102					102
P301	覆土				4											4
P302	覆土1層				3		2			47	1					53
	覆土2層						1			2						3
	計				3		3			49	1					56
P303	覆土1層				2		4			22						28
P304	覆土		1		3											4
P305	覆土			1	1					2						4
P306	覆土1層										8					8
	覆土2層										2					2
	計										10					10
P308	覆土					1				2	39					42
P309	覆土1層			5							36	1				42
	覆土2層				3											3
	計			5	3						36					45
P311	覆土							3		3						6
P312	覆土									11						11

## 西島松5遺跡(2) 平成12・13年度

遺構	出土層位	Ia	Ib-3	Ib-4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVc-1	IVc-2	Vb	Vc	VI	土製品	総計
P313	覆土1層		13	4							23					40
	覆土2層		5	2							5					12
	計		18	6							28					52
P314	II B層			1	1						44			1		47
	覆土1層						1		3	5						9
	計			1	1		1		3	49				1		56
P315	II C層						2		5							7
	覆土			1			1		1	35						38
	覆土2層		1				1									2
	計		1	1			4		6	35						47
P316	覆土1層						2		2	20						24
	覆土2層				3					4						7
	計				3		2		2	24						31
P318	覆土				1											1
	覆土1層		2													2
	計		2		1											3
P319	覆土							31	18						49	
P320	覆土								28	4			4		36	
	覆土1層								48				5		53	
	計								76	4			9		89	
P321	覆土						1									1
	覆土1層		3								2					5
	計		3				1				2					6
P322	覆土1層		33	3	1		2			29	12					80
	覆土上位						1	108								109
	計		33	3	1		3	108		29	12					189
P324	覆土								2	2					4	
P325	覆土								3	19					22	
P326	覆土				3										3	
P328	覆土			1	1										2	
P331	検出面				1										1	
P334	覆土			3											3	
P335	覆土						1		76	4					81	
P336	覆土						1		30					1	32	
計			81	28	56	1	246	115	661	7,314	386	8	16	10	8,922	







西島松5遺跡(2) 平成12・13年度

遺跡名	出土部位	石蔵	土蔵跡	石蔵	2層土	3層土	4層土	5層土	6層土	7層土	石斧	守口石	たき石	赤石	赤石	石杖	鎌・鋤	破石	石製品	小磁	合計	
F296	計	3				1															53	53
F297	廃土																				2	2
F298	廃土1層																				7	7
F299	廃土2層																				14	14
F300	計																				23	23
F301	廃土	1				1															4	4
F302	廃土1層																				1	1
F303	廃土2層																				20	20
F304	計																				1	1
F305	廃土																				4	4
F306	廃土																				5	5
F307	廃土																				12	12
F308	廃土																				2	2
F309	廃土1層																				2	2
F310	廃土2層																				2	2
F311	計																				3	3
F312	廃土																				8	8
F313	廃土1層																				9	9
F314	廃土2層																				2	2
F315	計																				11	11
F316	廃土																				3	3
F317	廃土1層																				5	5
F318	廃土2層																				11	11
F319	計																				2	2
F320	廃土																				3	3
F321	廃土																				8	8
F322	廃土1層																				12	12
F323	廃土2層																				2	2
F324	計																				4	4
F325	廃土																				6	6
F326	堆積土																				1	1
F327	計																				1	1
F328	出土位置																				26	26
F329	廃土																				4	4
F330	廃土																				14	14

## 4 Tピット

TP 9 (図V-60・61・62 表V-9・10・11・12 図版27・40・47)

位置：O・P-23 規模：3.14m/(3.14m)×0.63m/(0.12m)×1.15m 長軸方向：N-68°-W  
 調査状況：Ⅲ層掘り下げ中に細長い楕円形のプランを確認した。その時点ではプランが不明瞭であったためⅣ層上面まで全体を削り、プランの検出を行った。最終的な平面形は細長い棒状となったことから、本遺構をTピットと判断した。短軸方向に幅約30cmのセクションベルトを設定し、両側を掘り下げた。断面図の作成と写真撮影の後、セクションベルトを除去して完掘した。完掘後、墳底を精査し杭列の検出を行ったが、検出できなかった。

土層：三層に大別した。土層11は雨水の流入などにより周囲のⅡ層土が流れ込んだものである。土層2～10は壁面の崩落による堆積土である。南側の壁面が大きくえぐれていることから、土層2～10は主にここからの崩落土に由来するものとする。土層1は本遺構の埋没がほぼ完了した後に堆積したⅡ層土である。

墳底・壁：墳底は平らで、杭列などは確認できなかった。壁は墳底付近はほぼ垂直に立ち上がり、墳底と墳口の間付近より上部では、広がりながら立ち上がる。特に南側が大きく広がる。

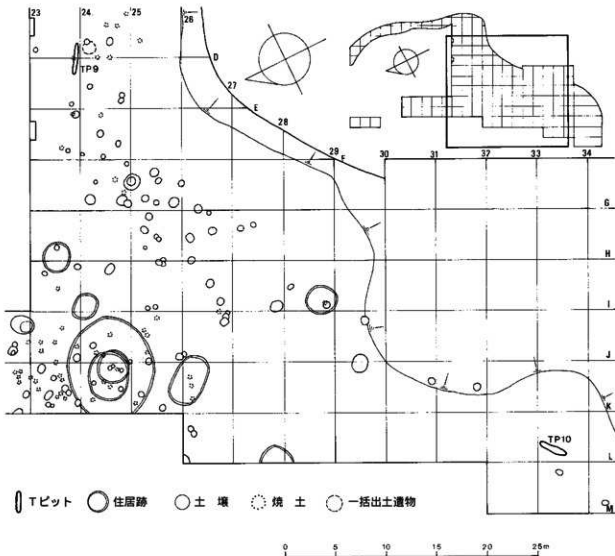
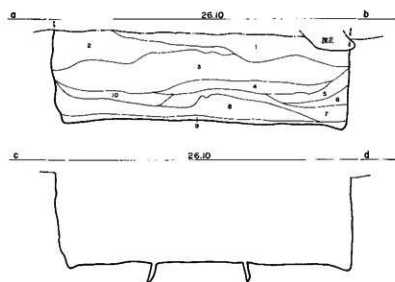
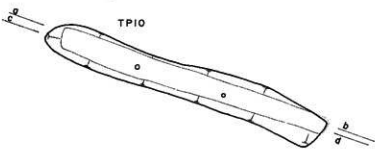
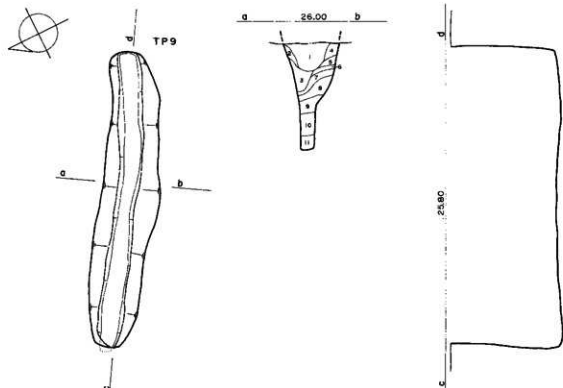


図 59 Tピットの位置図





- TP9の土層
- 1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型  
バミス度 径3-5mm)5%含む
  - 2 10YR2/5/3 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型  
バミス度 径1-2mm)1%含む
  - 3 10YR2/3 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型  
ローム度 径5-10mm)1%含む
  - 4 10YR3/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型
  - 5 10YR/ 褐色埴壤土 粘性中 堅密度型  
羅土主体
  - 6 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型  
ローム度 径7-10mm)10%含む
  - 7 10YR/ 褐色埴壤土 粘性中 堅密度型  
羅土主体 ローム20%含む
  - 8 10YR5/6 黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型  
羅土主体
  - 9 10YR5/6 黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型  
バミス度 径1-5mm)15%含む
  - 10 10YR5/6 黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型  
バミス度 径1-5mm)15%含む
  - 11 10YR17/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型  
バミス度 径2-3mm)3%含む

- TP10の土層
- 1 7SYR17/1 黒色埴壤土 粘性弱 堅密度型  
バミス度 径5-20mm)7%含む
  - 2 7SYR17/1 黒色埴壤土 粘性弱 堅密度型  
バミス度 径2-5mm)3%
  - 7SYR4/4の土層30%(ばんやりと混じる)
  - 3 7SYR17/1 黄褐色埴壤土 粘性弱 堅密度型
  - 4 7SYR17/1 黒色埴壤土 粘性弱 堅密度型  
バミス度 径10mm)3%
  - 7SYR4/4の土層50%程度ブロック状に混じる
  - 5 7SYR17/1 黒色埴壤土 粘性弱 堅密度型  
バミス度 径2-3mm)3%
  - バミス度 径10-25mm)10%含む
  - 6 7SYR17/1 黒色埴壤土 粘性弱 堅密度型  
バミス50%以上、部分的に7SYR4/4の土層が  
ブロック状に混じる
  - 7 7SYR17/1 黒色埴壤土 粘性弱 堅密度型  
バミス度 径2-5mm)7%含む
  - 8 10YR5/6 黄褐色埴壤土 粘性弱  
堅密度すこぶ型
  - 9 7SYR17/1 黒色埴壤土 粘性弱 堅密度型  
バミス度 径2-5mm)5%含む
  - 10 7SYR17/1 黒色埴壤土 粘性弱 堅密度型  
バミス度 径10-25mm)2%  
バミス50%以上含む

図 -60 Tピット



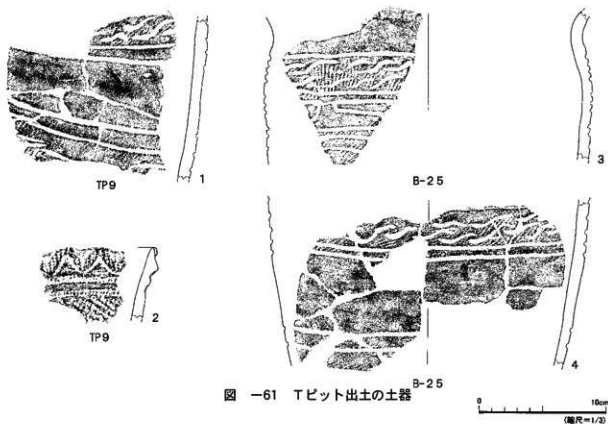


図 -61 Tピット出土の土器

遺物出土状況：土層1でIV群c類土器、土層11でIII群a類土器が出土した。

出土遺物：土器～1は深鉢の胴部。沈線文、無文帯がある。3・4と同一個体の可能性が高い。2は深鉢の口縁部。口唇部断面は三角形。口唇部外面に波状の貼付。貼付上と口唇部下は燃糸文の押圧。3は深鉢の頸部～胴部。4は深鉢の胴部。1・3・4は白板3式相当。2はサイベ沢VI式相当。

石器～1は断面三角形の稜をすったすり石。石材は安山岩。

時期：III群土器が出土した土層11は壁面崩落以前の堆積層である。本遺構の構築から壁面崩落までの期間は不明であるが、それほど長い期間ではなかったと考える。従って、本遺構の構築時期は縄文時代中期またはそれ以前の可能性が高いと考える。(石井淳平)

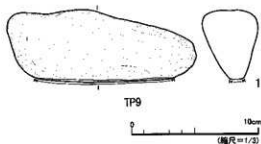


図 -62 Tピット出土の石器

TP 10 (図V-60 表V-11)

位置：K-33 規模：3.10m/(2.97m)×0.34m/(0.24m)×0.92m 長軸方向：N-47° -E

調査状況：I層除去後のIV層で検出した。平面図の作成と検出写真の撮影を行った。セクションラインを長軸方向に設定し、このラインより東側を奥行き約3m、深さ約1mに掘り下げ、土層断面の観

察を行った。断面図の作成と写真撮影の後完掘した。墳底面を精査し2カ所で杭痕を検出した。杭痕の平面図作成の後半裁し、エレベーション図の作成と写真撮影を行った。

土層：雨水の流入などによって流れ込んだ黒色土と、壁面崩落土に由来する黄褐色土が交互に堆積する。墳底・壁：墳底は平らで、杭痕を2カ所で検出した。壁はほぼ垂直に立ち上がり、壙口付近で開き気味に立ち上がる。

遺物出土状況：Ⅱ群a類土器、Ⅲ群a類土器、Ⅲ群b類土器、Ⅳ群a類土器、Ⅳ群c類土器が少量出土した。

時期：不明である。

(石井淳平)

表V-9 Tピット掲載土器一覧

図番号	図版番号	遺構名・グリット	層位	取上げ番号	器種(部位)	分類	地文及び主な調整	型式名称	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考
V-61-1	40	TP9	覆土		深鉢(脚)	Ⅳa	L R	白版3式相当	-	-	-	-	1・3・4同一
		B-25	Ⅲ層										
V-61-2	40	TP9	覆土		深鉢(口)	Ⅲa	R L R 熊糸文 押圧	サイベ沢Ⅴ式相当	-	-	-	-	
V-61-3	40	B-25	Ⅲ層		深鉢(脚)	Ⅳa	L R	白版3式相当	-	-	-	-	1・3・4同一
V-61-4	40	B-25	Ⅲ層		深鉢(脚)	Ⅳa	L R	白版3式相当	-	-	-	24.0	1・3・4同一

表V-10 Tピット掲載石器一覧

遺構番号	図番号	名称	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材	備考
TP9	図V-62-1	すり石	覆土	5.70	14.8	4.40	461.00	安山岩	

表V-11 遺構別(Tピット)出土土器一覧

遺構	出土層位	Ia	Ib-3	Ib-4	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲ	Ⅳa	Ⅳc	Ⅳc-1	Ⅳc-2	Vb	Vc	Ⅵ	土製品	総計
TP9	覆土						6	1		2	24					33
	覆土1層										9					9
	覆土2層						1									1
	計						7	1		2	33					43
TP10	覆土1層						2									2
	覆土2層				2			2								4
	計				2		2	2								6
計				2		9	3		2	33						49

表V-12 遺構別(Tピット)出土石器など一覧

遺構名	出土層位	石鏃	石鏃(口)	石鏃(口)	石鏃(口)	石鏃(口)	石鏃(口)	石鏃(口)	石鏃(口)	小計	石斧	すり石	たまり石	石	石	石	石	石	石	小計	合計	
TP9	覆土									17	17	1	1								5	22
	覆土2層									2	2											2
	計									19	19	1	1								5	24

## 5. 焼土 (図V-64~71 表V-13~17 図版28・29・44~47)

ここで取り上げた焼土はⅡ層・Ⅲ層で検出されたものである。検出された焼土の総数は94カ所である。このうちⅢ層上面付近ではF68・150・156、Ⅳ層上面付近ではF155の4カ所が検出されているだけで、他はすべてⅡ層中で検出された焼土である。報告にあたっては、全体の状況、傾向等について記述し、個々の位置・検出層位・規模・形状・色調(土層注記)などについては一覧表にして掲載した。

分布: 焼土は調査区のほぼ全体に分布している。本報告書対象地区である台地上では大きく二つのまとまりが見られる。即ち①調査区の東側(F57~F77)、②中央部北側付近(次年度以降調査地区に広がっているようである)で、調査区西側でも2カ所検出されている。検出層位との関係を見ると、①はⅡB層、②はⅡB層、ⅡC層、Ⅲ層検出の焼土である。

構造: 平面形は円形状、楕円形状、長方形などのものが、不定形状のものが多く、規模なども明確に把握しがたい状態である。規模は1.48~0.22mまで種々あるが、0.50m前後のものが多く、他に層厚は最大0.14m、最小0.02mで、0.05m前後のものが多く、断面形は皿状のものが多く、他に波状、椀状のものもあり、層界は明瞭なものが多い。

色調: 全体に色調は明黄橙色のものが多く、他に暗橙黄色、明灰色、暗黄色などの色調を呈するものもある。

遺物出土状況: 焼土中あるいは焼土直上付近から遺物が多く出土している。土器ではⅣ群c-2類土器の出土数がもっとも多く、他にⅠ群b-3・4類、Ⅱ群a類、Ⅲ群、Ⅴ群c-1類土器などが出土している。F62・65・90・95・106・142・では300点以上の土器片が出土している。また、F82・83・93・95・98・99・105・110・113・127・128・142では土製品も出土している。石器では石鏃、つまみ付きナイフ、スクレイパーなどが出土しているが、フレイク・チップが圧倒的に多い。とくにF65・95・114では200点以上のフレイク・チップが出土している。F65・142では骨製品が各1点出土している。分析中のため、改めて報告する予定である。

出土遺物: 土器~F57~1は小型の深鉢の底部。底部は低台付。三ツ谷式。

F62~2は深鉢の口縁部。突起部は丸みのある台形。突瘤文が巡る。3は深鉢の口縁部。沈線文、突瘤文が巡る。4は深鉢の胴部。爪文が巡る。5は深鉢の胴部。沈線文間に爪文。6は鉢の口縁部。7は壺の底部。2~7は三ツ谷式。

F65~8は無文の壺の頸部~胴部。肩がやや張り、頸部は広い。9は深鉢の口縁部。口唇部断面は切出し形。8~9は三ツ谷式。

F71~10は深鉢の口縁部から胴部。口縁部はくの字に直線的に短く開く。ウサクマイC式。

F74~11は土製品の鼓形の玉。外面にヘラ状工具による短い沈線文。小型の深鉢の底部。三ツ谷式の時期に伴うと考えられる。

F75~12は深鉢の口縁部。縄線文が巡る。地文の縄文は縦走する。大洞BC~C1式。

F80~13は注口付壺の無文の注口部。注口部下に沈線文と2つ1組の丸形の貼付。三ツ谷式。

F82~14は深鉢の口縁部。口縁部断面は切出し形。沈線文、突瘤文が巡る。15・16は土製品の玉。14は三ツ谷式。15・16は三ツ谷式の時期に伴うと考えられる。

F83~17は深鉢の口縁部。突起部は小さな山形。沈線文がある。三ツ谷式。

F89~18は深鉢の突起部。口唇部断面は薄い三角形で、口唇部外面に半截竹管状工具による沈線文。突起下には縦の貼付文があり、貼付上に半截竹管状工具による刺突文。萩ヶ岡2式。

F90~19は鉢の突起部。突起部の口唇上は棒状工具による刻み。細めの沈線文による帯縄文。20は深

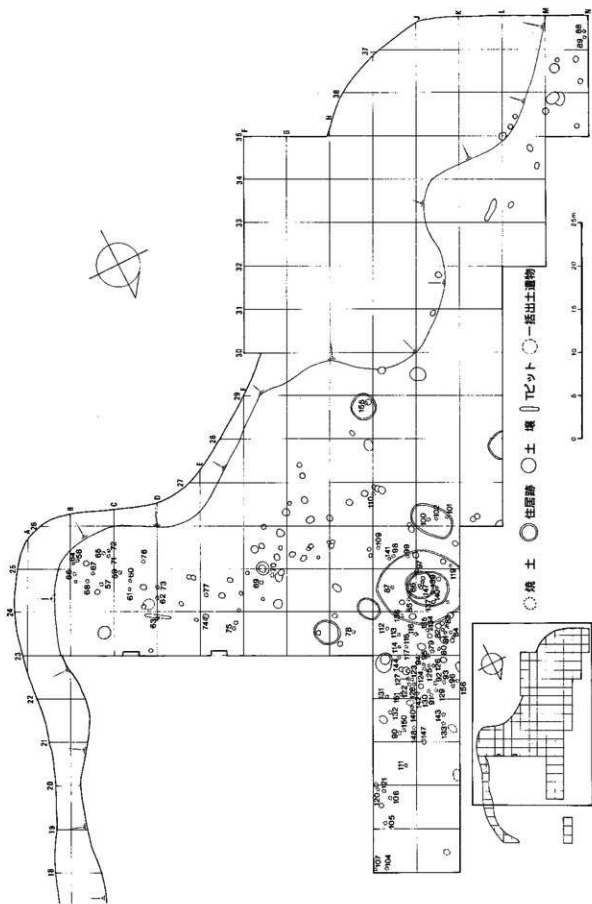


図 V-63 焼土の位置図

鉢の口縁部。小波状様の爪による斜めの刻み。21は深鉢の口縁部。無文帯にA状突起、沈線文、爪文がある。22は鉢の口縁部。沈線文、無文帯、沈線文間に半載竹管状工具による斜めからの刺突。23は無文の鉢。底部は台付。19～23は三ツ谷式。

F92～24は無文の鉢の口縁部。2つ1組のA状突起。三ツ谷式。

F93～25は注口付壺の無文の注口部。注口部下には1つの丸形の貼付。三ツ谷式。

F95～26は注口付壺の無文の注口部。注口部下には2つ1組の丸形の貼付。27～30は土製品の玉。26は三ツ谷式。27～30は三ツ谷式の時期に伴うと考えられる。

F98～31は土製品の玉。三ツ谷式の時期に伴うと考えられる。

F104～32は壺の口縁部。突起部は欠損。細めの沈線による帯縄文。三ツ谷式。

F105～33は土製品の玉。両端は欠損している。筒形で、外面は沈線によりジャバラ状になる。34は土製品の玉。ドーナツ型で外面には沈線文が巡る。33～34は三ツ谷式の時期に伴うと考えられる。

F106～35は深鉢の口縁部。口唇部断面は切出し形。爪文、突瘤文が巡る。36は無文の鉢の口縁部。幅の広い沈線による弧状の多重沈線文。35～36は三ツ谷式。

F110～37は深鉢の口縁部から胴部。縄端による押圧が巡る。地文の縄文は縦走する。38は深鉢の口縁部から胴部。縄端による押圧が巡る。地文の縄文は縦走する。37と同一個体の可能性があるが、厚みと口唇部断面、縄端による押圧の形状がやや異なるため、別個体と判断した。37～38は大洞BC～C1式。

F111～39は深鉢の口縁部～胴部。レンズ状と弧状の多重沈線文が展開し、平行沈線文が巡る。口縁部は内傾し、口唇部は内側に面を持つ。40は深鉢の口縁部。口縁部は小波状様の指先による斜めの刻み。39～40は三ツ谷式。

F113～41は深鉢の口縁部。突起部は欠損。沈線文がある。42は土製品の耳栓。上面と下面にヘラ状工具による刺突。43は土製品の玉。41は三ツ谷式。42～43は三ツ谷式の時期に伴うと考えられる。

F121～44は深鉢の口縁部～胴部。4単位の波状口縁。波状口縁間に小さな山形の突起。突起上には棒状工具による3本の刻み。細めの沈線によるレンズ状文、縦の貼付、平行沈線文が巡る。縦の貼付上には棒状工具による刻み。赤彩が全面にあるが、残存状況は良くない。三ツ谷式。

F122～45は深鉢の口縁部。沈線文、無文帯、口唇に沿う爪文がある。46は深鉢の口縁部。突起部は小さな山形。47は深鉢の口縁部。突瘤文が巡る。45～47は三ツ谷式。

F123～48は無文の鉢の口縁部。三ツ谷式。

F127～49～51は土製品の玉。52は深鉢の口縁部。53は深鉢の胴部。多重沈線文がある。ボタン状と考えられる貼付が剥離している。51は小型の深鉢の底部。底部は低台付。54はミニチュアの壺。頸部は広い。細めの沈線による多重沈線文。55は深鉢の口縁部～胴部。口唇上に楕円形の貼付。貼付上に棒状工具による縦の刻み。沈線文、突瘤文が巡る。胴部下半に沈線文があり、その下は無文。49～51は三ツ谷式の時期に伴うと考えられる。52～55は三ツ谷式。

F128～56は土製品の耳栓。57は土製品の玉。56～57は三ツ谷式の時期に伴うと考える。

F131～58は深鉢の口縁部から胴部。無文帯があり、沈線文で区画。沈線文の一部で弧状がある。爪文が巡る。三ツ谷式。

F142～59は深鉢の口縁部。口唇部断面は切り出し形。突起部は半円形で、棒状工具による刻み。突瘤文が巡る。60は小波状様の斜めの刻み。突瘤文が巡る。61は深鉢の口縁部。口唇部断面は切り出し形。62は小型の壺の胴部から底部。底部は小さい台付。63は土製品の玉。59～62は三ツ谷式。63は三ツ谷式の時期に伴うと考えられる。

F149～64は深鉢の口縁部。口縁部断面は切出し形。沈線文、突瘤文が巡る。三ツ谷式。

F154～65は深鉢の口縁部。口縁部断面は切出し形。突瘤文が巡る。66は深鉢の口縁部。A状突起、無文帯、太目の沈線文、円形の刺突文が巡る。円形の刺突文は斜めからの刺突。65～66は三ツ谷式。

石器～1はF58出土のスクレイパー。素材を大きく変えない片面周縁加工のもの。被熱した素材を用いている。石材は半透明の黒曜石。2～6はF62出土のもので、2～5は有茎凸基の石鏃。2は先端部と茎部の欠損。3は身が厚く、先端部欠損。4は側縁外湾気味で、右かえしと茎部欠損。5は二等辺三角形形状で、薄く、裏面に剥離面が残る。石材はすべて黒曜石。2・5は少球果を含み、4は光沢がある。6は素材の形状を大きく変えないスクレイパー。片面周縁加工のもので、右側縁部には礫皮面が残る。石材は頁岩。7～9はF65出土の石鏃。すべて有茎凸基のもので、7は左右非対称、8は正三角形形状、9は二等辺三角形の小形のものである。石材はすべて黒曜石。7は半透明、9は少球果を含む。10はF80出土の石鏃。つまみ部をもつ棒状のもので、上端面に剥離面が残る。石材は頁岩。11・12はF82出土のもので、11は有茎凸基の石鏃、12は素材の形状を大きく変えないスクレイパーである。11は左かえしを欠損し、つくりは粗雑である。12は片面周縁加工のもので、表面に礫皮面が残る。石材はともに黒曜石で、11は少球果を含む。13はF90出土の石鏃。有茎凸基のもので、右かえしを欠損する。石材は少球果を含む黒曜石。14～16はF95出土の石鏃。すべて有茎凸基のもので、14は正三角形形状で、茎部欠損。15・16は二等辺三角形形状のもので、15は剥離面が残る、右かえし欠損。16はかえしが丸味をもち、茎部が欠損する。石材は3点とも黒曜石で、14は半透明、15・16は少球果を含む。17はF105出土の石鏃。有茎凸基で、側縁外湾し、右かえしと茎部を欠損する。石材は少球果を含む黒曜石。18～20はF106出土のもので、18は有茎凸基の石鏃。表裏両面に剥離面が残る、周縁部を調整している。19・20はつまみ部をもつ棒状の石鏃。20の機能部欠損。石材は18が少球果を含む黒曜石、19・20はメノウ。21はF107出土の石鏃。有茎凸基のもので、二等辺三角形形状、茎部欠損する。石材は半透明、縞状の黒曜石。22・23はF127出土のもので、22は有茎凸基の石鏃で、二等辺三角形形状、加工・調整は丁寧に行われている。石材は光沢のある黒曜石。23は素材の形状を大きく変えない、縦長で右側縁に刃部を作るスクレイパーである。下端面付近に礫皮面が残る。石材は半透明の黒曜石。24はF130出土のもので、有茎凸基の石鏃。厚手で、ほぼ正三角形形状である。石材は黒曜石。25・26はF131出土のもので、25は有茎凸基の石鏃。二等辺三角形で丁寧な調整を加えている。石材は少球果を含む黒曜石。26は素材の形状を大きく変えないスクレイパー。片面周縁加工のもので、両側縁の刃部は急角度に作り出している。下端部は調整中に破損したものと思われる。石材は頁岩。27はF154出土の石鏃。有茎凸基で、二等辺三角形の美しい形状を作っている。被熱している。石材は黒曜石。28はF116出土のすり石。円礫を素材とし、全面にたたいた後すっている。石材はカンラン岩。

時期：Ⅱ層中で検出された焼土は、検出層位や出土土器などから見て縄文時代後期後葉に形成されたものと思われる。またⅣ層上面付近で検出されたF155は出土遺物なども含めて考えると縄文時代早期の焼土と思われる。

焼土の性格は、二次堆積のものもあるが、おおむね安定した堆積状態を示していることから、野外炉と見て良いであろう。焼土中に炭化物、骨片を含むものもあり、とくにF65・70・75・77・92～96・107～111・120～122・124・129・149では多量の骨片が混入していた。生活喚をただよわせる焼土である。またF127の焼土下面には土器片が貼り付くように集中し、F131の焼土上面では土器片が集中した状態で検出されている。

検出層位や出土遺物などから見ると、調査区中央部北側(②)～東側(①)へという時間差がある。生活の場が移動している様子がうかがえる。

表 -13 焼土一覧

遺構番号	位置	検出面	平面形	長径(m)	短径(m)	厚さ(m)	層界	断面形	色調(土層記)	備考	
F57	B-24	Ⅱ層中	不定形	1.28	0.62	0.02~0.05	明瞭	波状	1.黄褐色焼土 2.Ⅱ>Ⅰ	地焼	
F58	B-25	Ⅱ層中	楕円形状	0.60	0.41	0.04~0.06	明瞭	波状	1.黄褐色焼土 2.Ⅱ>黄褐色土	地焼	
F59	C-24	Ⅱ層中	不定形	0.22	0.16	0.03	明瞭	小波状	1.黄褐色焼土>Ⅱ	二次焼積	
F60	C-24	Ⅱ層中	扇三角形	0.40	0.28	0.01	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土(粘質)	地焼	
F61	C-24	Ⅱ層中	不定形	0.40	0.20	0.04	不明瞭	小波状	1.黄褐色焼土>Ⅱ	二次焼積	
F62	C-24 D-24	Ⅱ層中	楕円形状	0.88	0.52	0.03	やや不明瞭	塊状	1.黄褐色焼土(粘質、骨片多し)	地焼	
F63	C-23	Ⅱ層中	白粉状	0.45	0.45	0.04	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土(粘質 2.Ⅱ>Ⅰ)	地焼	
F64	B-25	Ⅱ層中	楕円形状	0.70	0.64	0.14	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土(伊賀土)	地焼	
F65	B-25	Ⅱ層中	不定形	1.25	1.20	0.06	やや不明瞭	塊状	1.黄褐色焼土 2.Ⅱ>Ⅰ 3.明瞭焼土(伊賀土)	地焼、骨片多し	
F66	B-24	Ⅱ層中	円形状	0.44	0.42	0.09	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土	地焼	
F67	B-24	Ⅱ層中	不定形	—	0.24	0.07	やや不明瞭	塊状	1.黄褐色焼土 2.Ⅱ>Ⅱ	地焼	
F68	B-24	Ⅱ層上層	五角形状	0.45	0.44	0.13	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土	地焼	
F69	F-24	Ⅱ層中	不整形円形	0.48	0.26	0.04	不明瞭	波状	1.黄褐色焼土(飯沼) 2.Ⅱ>黄褐色土(粘質)	二次焼積、骨片多し	
F70	F-24	Ⅱ層中	長方形	0.73	0.30	0.04~0.07	不明瞭	波状	1.黄褐色焼土(飯沼) 2.Ⅱ>黄褐色土(飯沼)	二次焼積、骨片多し	
F71	B-25	Ⅱ層中	楕円形状	0.36	0.24	0.08	不明瞭	塊状	1.黄褐色焼土(飯沼) 2.Ⅱ>黄褐色土(飯沼)	地焼	
F72	B-25	Ⅱ層中	楕円形状	0.40	0.36	0.03~0.06	不明瞭	小波状	1.黄褐色焼土 2.Ⅱ>黄褐色土 3.Ⅱ>黄褐色土	二次焼積	
F73	C-24 D-24	Ⅱ層中	不定形	0.55	0.22	0.03	明瞭	波状	1.黄褐色焼土(やや粘質)	地焼	
F74	E-23	Ⅱ層中	楕円形状	0.22	0.17	0.12	明瞭	波状	1.黄褐色焼土	F233の覆土に亙る	
F75	E-23	Ⅱ層上層	不整形円形	0.70	0.56	0.03	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土(炭化物、骨片多量入り)	地焼	
F76	C-25	Ⅱ層中	不定形	0.48	0.44	0.08	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土 2.Ⅱ>Ⅱ	地焼	
F77	E-24	Ⅱ層直上	不定形	0.86	0.57	0.06	明瞭	塊状	1.照土(埋み丸) 2.照土(埋み丸) 3.照土(埋み丸)	地焼	
F78	H-23	Ⅱ層中	—	—	—	0.05~0.07	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土 2.黄褐色焼土	地焼	
F79	J-23	Ⅱ層中	—	—	—	0.05	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土(骨片多し)	地焼、ⅡA 中か?	
F80	J-23	Ⅱ層中	楕円形状	0.34	0.30	0.05	不明瞭	塊状	1.黄褐色焼土>Ⅱ	二次焼積、ⅡA 中か?	
F81	J-23	Ⅱ層中	長方形	0.56	0.43	0.06	明瞭	—	1.黄褐色焼土	二次焼積、ⅡB 中か?	
F82	J-23	Ⅱ層中	方形	0.82	0.80	0.10	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土	地焼、ⅡB 中か?	
F83	J-23	Ⅱ層中	—	—	—	0.27	0.04	不明瞭	塊状	1.Ⅱ>黄褐色焼土	二次焼積、ⅡB 中か?
F84	J-23	Ⅱ層中?	ひょうたん形	0.48	0.46	0.04	不明瞭	—	1.黄褐色焼土 2.ⅡC>Ⅰ	二次焼積	
F85	I-24	Ⅱ層中?	楕円形状	0.44	0.29	0.04~0.05	不明瞭	—	1.黄褐色焼土>ⅡB 2.ⅡB>黄褐色焼土	二次焼積	
F86	I-24	Ⅱ層中?	—	—	—	0.06	やや不明瞭	塊状	1.黄褐色焼土	地焼	
F87	I-24	Ⅱ層中?	円形状	0.34	0.33	0.06	不明瞭	—	1.黄褐色焼土	二次焼積	
F88	L-37	Ⅱ層上層?	楕円形状	0.37	0.23	—	—	—	1.黄褐色焼土	地焼	
F89	L-37	Ⅱ層上層?	楕円形状	0.51	0.44	—	—	—	1.黄褐色焼土	地焼	
F90	I-21	Ⅱ層中?	長方形	0.55	0.47	0.06	明瞭	波状	1.黄褐色焼土	地焼	
F91	J-22	Ⅱ層中?	長方形	0.76	0.65	0.10	明瞭	—	1.黄褐色焼土	地焼	
F92	J-22	Ⅱ層中?	楕円形状	0.48	0.41	0.05	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土(骨片、土層片多し)	地焼	
F93	J-22	Ⅱ層中?	楕円形状	0.48	0.44	0.07	明瞭	塊状	1.2>黄褐色土 2.黄褐色焼土	地焼、骨片、土層片多し	
F94	J-22	Ⅱ層中?	—	—	—	0.07	明瞭	—	1.黄褐色焼土(骨片多し)	地焼	
F95	J-22・23	Ⅱ層中	不定形	1.48	0.84	0.13	明瞭	塊状	1.黄褐色土 2.黄褐色土 3.黄褐色土 4.Ⅱ(骨片多し)	地焼、ⅡC直上付近?	
F96	J-22	Ⅱ層中?	楕円形状	0.46	0.34	0.04	不明瞭	塊状	1.黄褐色焼土(骨片多し)	地焼	
F97	I-24 J-24	Ⅱ層中?	不定形	1.10	0.40	—	不明瞭	波状	1.黄褐色土>黄褐色焼土	二次焼積	
F98	I-25	Ⅱ層中	楕円形状	0.56	0.54	0.05	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土	地焼、ⅡC直上付近?	
F99	I-25	Ⅱ層中	長円形状	0.40	0.24	0.03	不明瞭	塊状	1.黄褐色焼土>ⅡB	二次焼積	
F100	J-26	Ⅱ層中	—	—	—	0.06	明瞭	—	1.黄褐色焼土(骨片の骨片多し)	地焼	
F101	J-26	Ⅱ層中	長楕円形状	0.77	0.40	0.06	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土	地焼	
F102	J-26	Ⅱ層中	—	—	—	0.03	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土	地焼	
F104	I-18	Ⅱ層下層	楕円形状	0.38	—	0.04	明瞭	—	1.黄褐色焼土	地焼	
F105	I-19	Ⅱ層下層	不定形	1.13	0.74	0.08	明瞭	大波状	1.黄褐色焼土(骨片多し)	地焼	
F106	I-19	Ⅱ層下層	楕円形状	0.70	0.60	0.08	不明瞭	波状	1.黄褐色焼土	二次焼積	
F107	I-18	Ⅱ層中	—	—	—	0.05	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土(骨片多し)	地焼	
F109	I-25	Ⅱ層中	楕円形状	0.50	0.30	0.02	不明瞭	波状	1.黄褐色土>黄褐色焼土(骨片多し)	二次焼積	
F110	H-26 I-26	Ⅱ層中	不定形	0.86	0.62	0.08	明瞭	波状	1.黄褐色焼土(骨片、土層片多し)	地焼	
F111	I-20	MC中	不定形	0.85	0.70	0.04	明瞭	波状	1.明瞭焼土(併行、土層?、炭化物多し)	地焼、MC2層中	
F112	I-23	Ⅱ層直上	長方形	0.63	0.40	0.04~0.08	明瞭	塊状	1.明瞭焼土 2.Ⅰ>黄褐色土	地焼	
F113	I-23	Ⅱ層直上	不定形	0.76	0.40	0.07	明瞭	波状	1.2>黄褐色土 2.黄褐色焼土	地焼	
F114	I-23	Ⅱ層直上	不定形	0.80	0.38	0.10	明瞭	波状	1.2>黄褐色土(骨片多し) 2.黄褐色焼土	地焼、F117の上方	
F115	I-23	Ⅱ層直上	楕円形状	0.24	0.11	0.03	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土	地焼	
F116	I-23 J-23	Ⅱ層直上	楕円形状	0.88	0.70	0.04~0.06	明瞭	塊状	1.黄褐色焼土	地焼	



## 西島松5遺跡(2) 平成12・13年度

遺構番号	位置	検出面	平面形	長径(m)	短径(m)	厚さ(m)	層界	断面形	色調(土層注記)	備考
F117	I-23	ⅡC層直上	不定形	0.56	0.22	0.04	やや不明瞭	段状	1.暗褐色土(数小の骨片多し)	地境
F119	J-24・25	ⅡB層中	楕円形状	(0.70)	0.529	(0.07)	明瞭	段状	1.暗褐色土(骨片、土層片多し)	地境
F120	I-19	ⅡC2層中	不定形	0.81	0.62	0.08	明瞭	段状	1.暗褐色土(骨片、土層片多し)	地境
F121	I-19	ⅡB層上面	楕円形状	0.57	0.46	0.06	明瞭	段状	1.明褐色土(骨片、土層片多し)	地境
F122	I-22	ⅡB層中	長楕円形	1.06	0.65	0.08	明瞭	段状	1.明褐色土(骨片多し)	地境
F123	I-22	ⅡB層中	長方形	0.76	0.47	0.06	明瞭	段状	1.暗褐色土 2.暗褐色土	地境
F124	J-22	ⅡB層中	不定形	(1.04)	(0.20)	0.04~0.08	やや不明瞭	波状	1.黄褐色土 2.1>暗褐色土	地境、ⅡC直上、骨片多し
F125	J-22	ⅡB層中	楕円形状	0.50	0.30	0.06	不明瞭	段状	1.暗褐色土 2.1>暗褐色土	二次堆積、ⅡC直上
F126	J-22	ⅡB層中	楕円形状	0.36	(0.25)	0.03	不明瞭	段状	1.暗褐色土 2.暗褐色土	二次堆積、ⅡC直上
F127	I-22	ⅡB層中	楕円形状	1.00	0.84	0.10	明瞭	段状	1.2>褐色土 2.明褐色土	地境、ⅡC直上、骨片多し(土層片多し)
F128	I-22	ⅡC層直上	楕円形状	0.80	0.52	0.09	不明瞭	段状	1.暗褐色土 2.1>暗褐色土	二次堆積
F129	J-22	ⅡB層中	長方形	(0.68)	0.54	0.05	やや不明瞭	段状	1.暗褐色土(小骨片多し)	地境
F130	J-22	ⅡB層中	不定形	(0.90)	0.40	0.04	不明瞭	—	1.暗褐色土 2.1>ⅡC 3.ⅡC>1	二次堆積
F131	I-22	ⅡB層中	楕円形状	0.42	0.32	0.02	やや不明瞭	段状	1.暗褐色土(直上に土層片多し)	地境
F132	I-21	ⅡB層中	円形状	0.38	0.36	0.03	不明瞭	段状	1.暗褐色土>ⅡB	二次堆積、ⅡC直上
F133	J-21	ⅡC層上面	不定形	0.68	0.60	0.06	明瞭	段状	1.黄褐色土 2.1>ⅡC	地境
F134	J-23	ⅡC層中	円形状	—	0.47	0.10	明瞭	塊状	1.黄褐色土	地境、P298の覆土中
F135	J-23	ⅡC層中	楕円形状	0.36	0.28	0.05	明瞭	塊状	1.黄褐色土	地境
F136	I-23	ⅡC層中	楕円形状	0.40	0.34	0.08	不明瞭	段状	1.ⅡC 2.暗褐色土 3.2>ⅡC	二次堆積
F137	J-24	ⅡC層中	方形	0.40	0.38	0.05	不明瞭	波状	1.暗褐色土 2.暗褐色土	地境
F138	J-24	ⅡC層中	楕円形状	0.66	0.58	0.08	明瞭	段状	1.暗褐色土	地境
F139	J-24	ⅡC層中	—	—	—	0.05	明瞭	小波状	1.黄褐色土 2.暗褐色土	地境
F140	J-24	ⅡC層中	—	(0.70)	(0.50)	0.05	明瞭	段状	1.黄褐色土 2.1>ⅡC	地境
F141	I-25	Ⅱ層上面	長楕円形	0.46	0.24	—	—	—	1.黄褐色土	地境(?)
F142	I-22 J-22	ⅡC層直上	楕円形状	1.08	0.86	0.08	明瞭	段状	1.暗褐色土 2.ⅡC(暗褐色土 1.5C>1 骨片多し)	地境
F143	J-21	ⅡC層上面	楕円形状	0.43	0.37	0.04	不明瞭	段状	1.暗褐色土 2.ⅡC	二次堆積
F144	I-22	ⅡC層上面	不定形	0.80	0.54	0.04	明瞭	段状	1.暗褐色土	地境
F145	J-24	ⅡC層上層	楕円形状	0.30	0.25	0.16	明瞭	鉢状	1.暗褐色土	地境
F146	J-24	H16の覆土中	—	—	—	0.06~0.08	明瞭	段状	1.暗褐色土	地境
F147	J-20	ⅡC層上面	—	—	—	0.06~0.08	明瞭	段状	1.黄褐色土	地境
F148	I-21 J-21	ⅡC層中	不定形	0.50	0.22	0.04	やや不明瞭	段状	1.暗褐色土(数小の骨片多し)	地境
F149	I-21	ⅡC層上面	不定形	0.46	0.36	0.06	不明瞭	段状	1.暗褐色土 2.暗褐色土(骨片、小骨多し)	二次堆積、段差?
F150	I-21	Ⅱ層上面	三角形	0.53	0.50	0.10	—	—	1.明褐色土	地境
F151	J-22	ⅡC層中	不定形	0.76	0.40	0.10	—	—	1.暗褐色土 2.ⅡC(数小の骨片多し)	二次堆積
F154	I-19・20	ⅡB層上面	長楕円形	0.58	0.37	0.03	明瞭	段状	1.暗褐色土 2.暗褐色土	地境
F155	H-28	Ⅱ層上面	楕円形状	(0.60)	(0.50)	0.09	明瞭	段状	1.明褐色土	地境
F156	J-22	Ⅱ層上面	長円形状	0.47	0.36	0.04	—	—	1.暗褐色土 2.1>ⅡB	地境

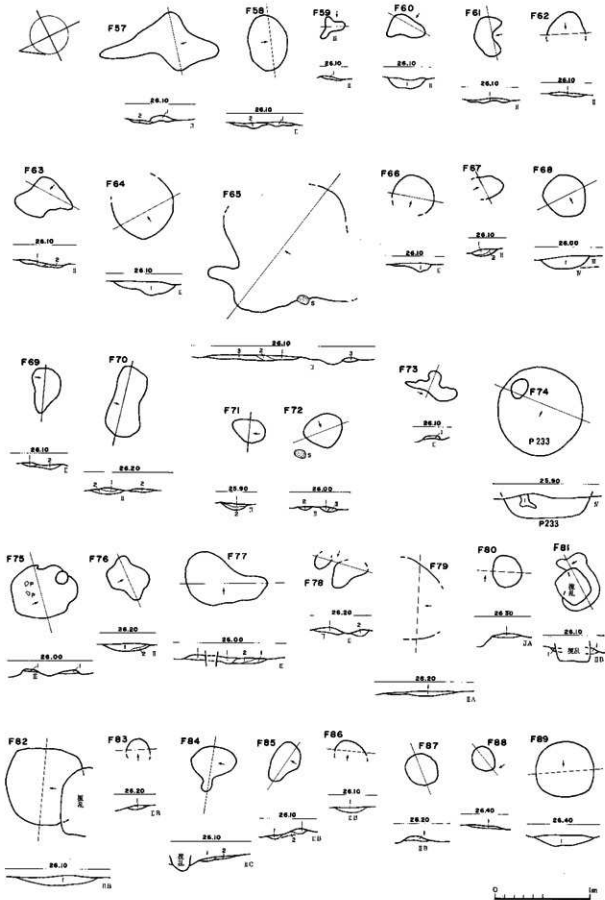


図 -64 焼土 (1)

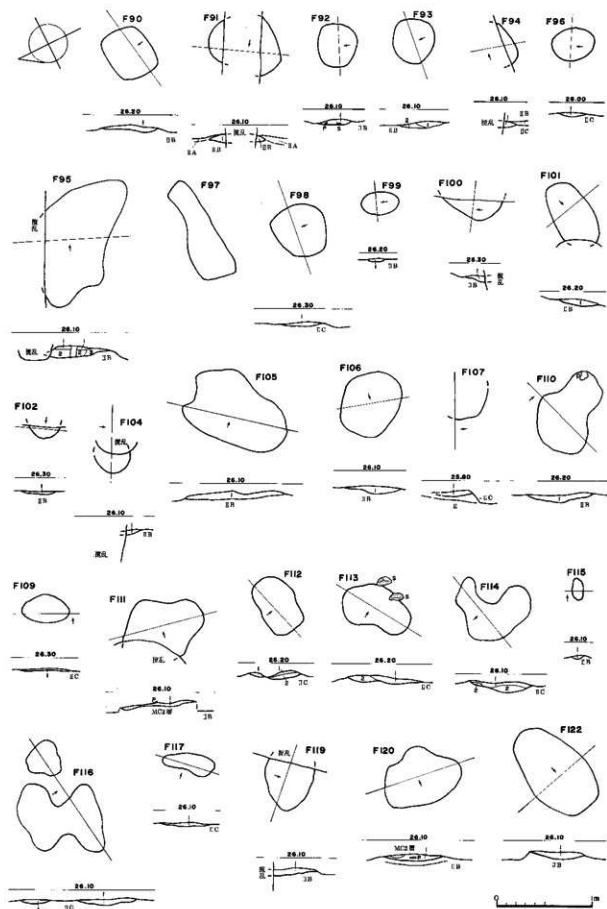


図 -65 焼土(2)

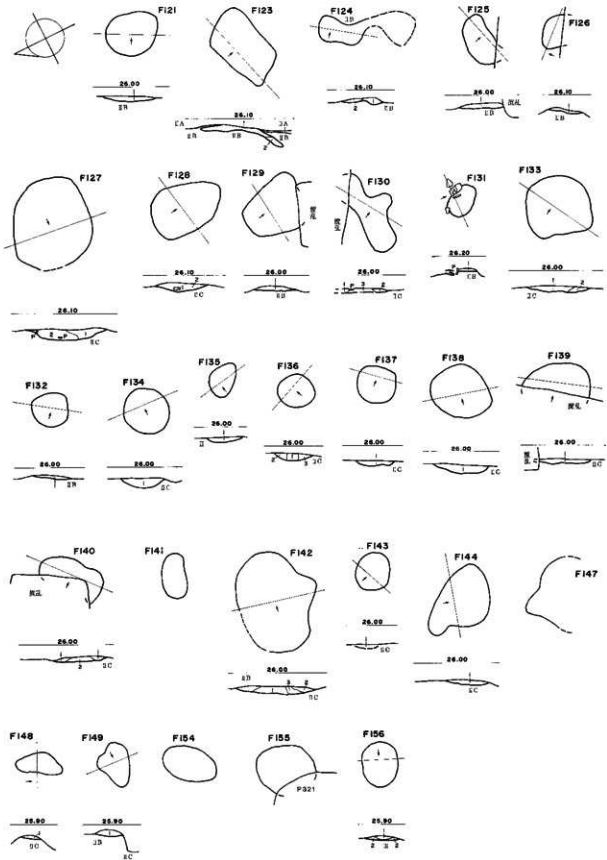


図 -66 焼土 (3)

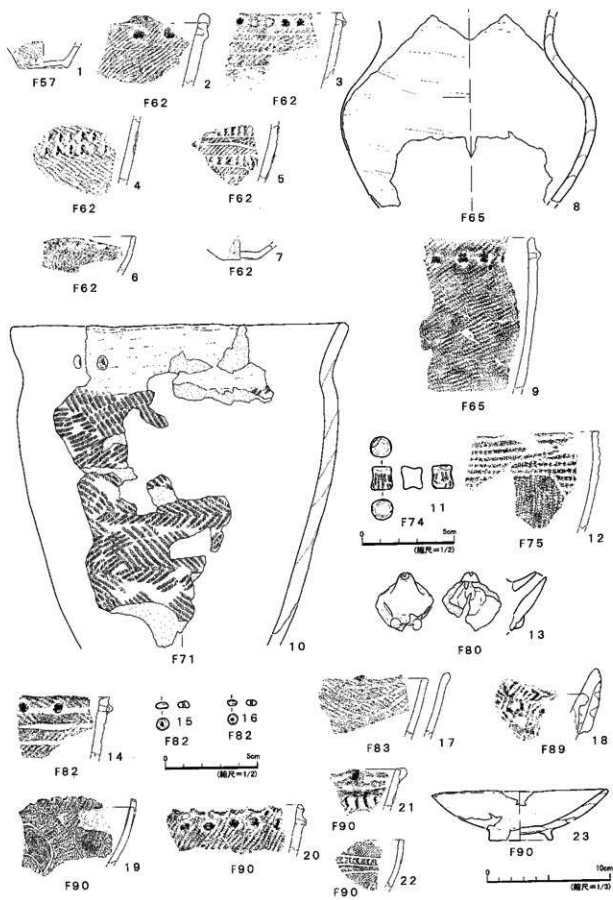


図 一67 焼土出土の土器と土製品(1)

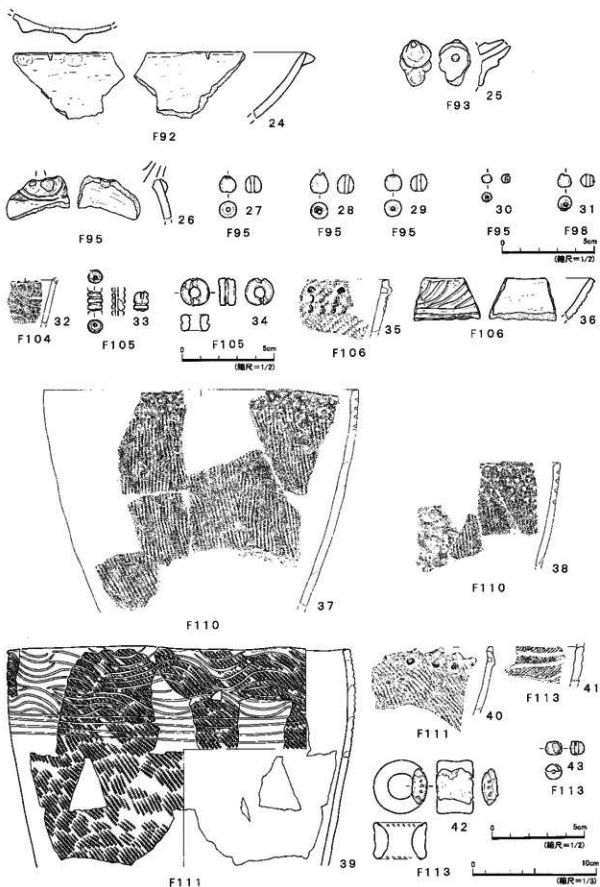


図 -68 焼土出土の土器と土製品(2)

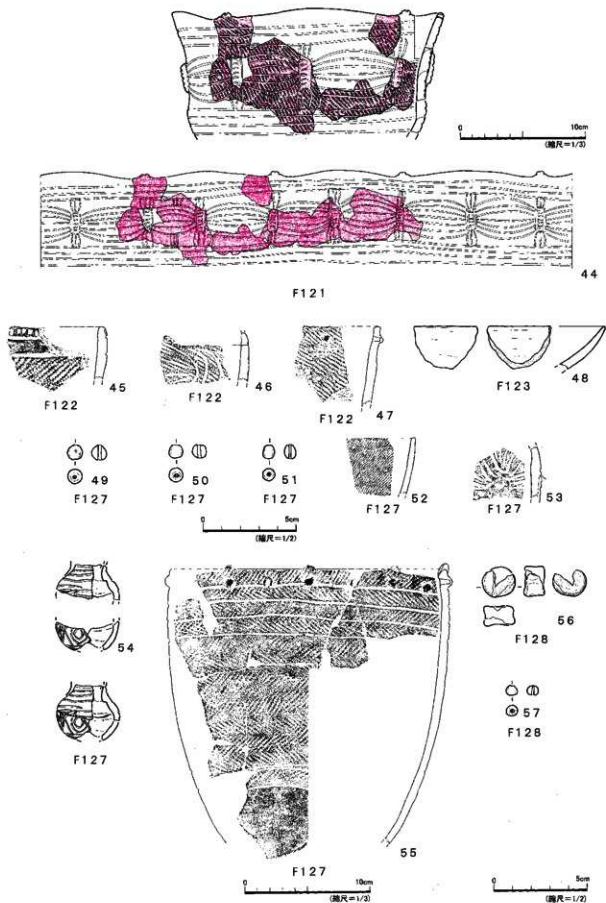


図 69 焼土出土の土器と土製品(3)

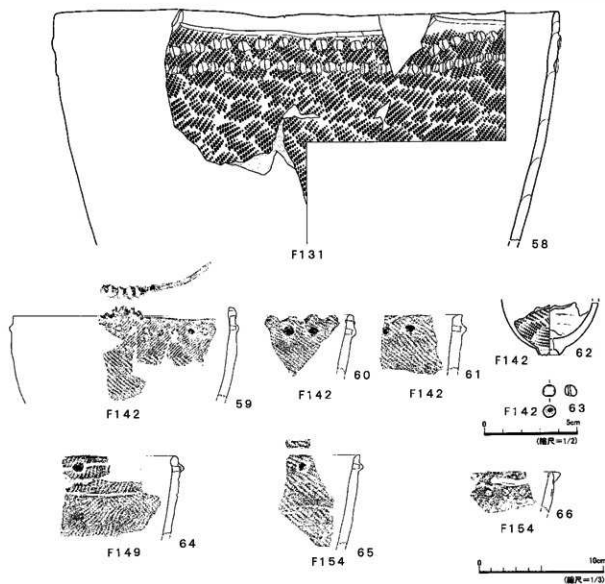


図 -70 焼土出土の土器と土製品(4)



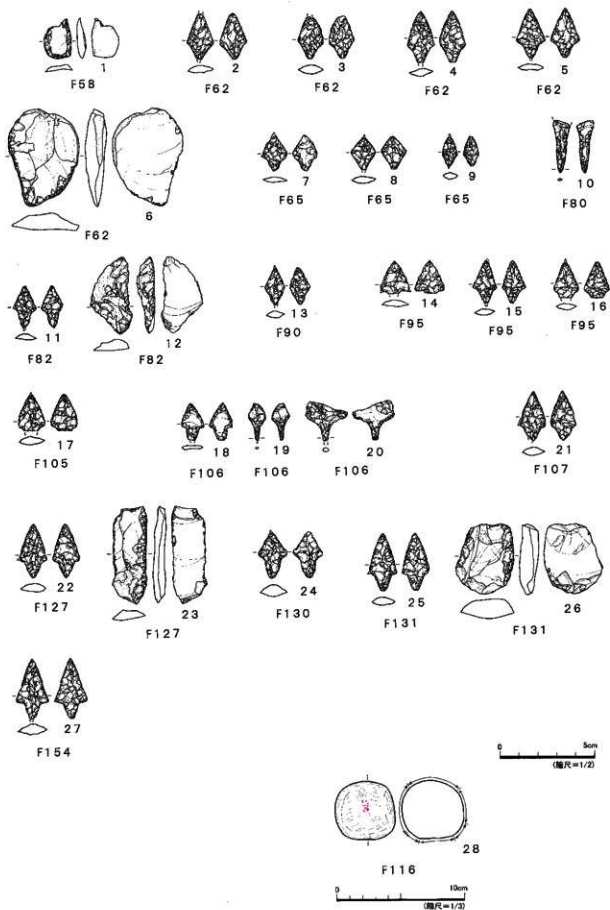


図 71 焼土出土の石器

表 14 焼土掲載土器・土製品一覧

図番号	図版番号	遺構名・グリット	層位	取上げ番号	器種(部位)	分類	地文及び主な調整	型式名称	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考
V-67-1	44	F57	覆土		深鉢(底)	IVc-2	R L	三ツ矢式	—	—	3.7	—	
V-67-2	44	F62	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ矢式	—	—	—	—	
V-67-3	44	F62	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-4	44	F62	覆土		深鉢(脚)	IVc-2	R L	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-5	44	F62	覆土		深鉢(脚)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-6	44	F62	覆土		鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-7	44	F62	覆土		壺(底)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	2.8	—	
V-67-8	44	F65 B-25	覆土 II層(ガケ)		壺(胴)	IVc-2	無文	三ツ谷式	—	15.5	—	20.5	
V-67-9	44	F65	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-10	44	F71 A-23 A-24 B-24 B-25	覆土 I層(ガケ) I・II層 II・III層 (ガケ)		深鉢(口・脚)	IVa	無部L+無部R 結束1種	ウサクマイC式	27.2	26.0	—	—	
V-67-11	44	F74	焼土		玉	土製品		三ツ谷式相当	1.2	1.25	—	—	フローテーション92
V-67-12	44	F75	覆土		深鉢(口)	Vb	L R	大淵BC~C1相当	—	—	—	—	
V-67-13	44	F80	覆土		部(噴槍部)	IVc-2	無文	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-14	44	F82	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L・L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-15	44	F82	覆土		玉	土製品		三ツ谷式相当	0.7	0.35	—	—	(J-23) フローテーション130
V-67-16	44	F82	覆土		玉	土製品		三ツ谷式相当	0.55	0.32	—	—	
V-67-17	44	F83	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-18	44	F89	覆土		深鉢(突起)	IIIa	—	萩ヶ岡2式	—	—	—	—	
V-67-19	44	F90	覆土		鉢(突起)	IVc-2	L R 先端後磨消	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-20	44	F90	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-21	44	F90	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-22	44	F90	覆土		鉢(口)	IVc-2	L R 縦縄文	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-67-23	44	F90 I-21	覆土 I層		鉢(完)	IVc-2	無文	三ツ谷式	14.3	4.1	5.2	—	
V-68-24	44	F92	覆土		鉢(口)	IVc-2	無文	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-68-25	44	F93	覆土		部(噴槍部)	IVc-2	無文	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-68-26	44	F95 I-23	覆土 II層		部(噴槍部)	IVc-2	無文	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-68-27	44	F95	焼土		玉	土製品		三ツ谷式相当	0.9	0.9	—	—	(J-23) フローテーション257
V-68-28	44	F95	焼土		玉	土製品		三ツ谷式相当	0.95	1.15	—	—	(J-23) フローテーション256
V-68-29	44	F95	焼土		玉	土製品		三ツ谷式相当	—	—	—	—	(J-23) フローテーション257
V-68-30	44	F95	焼土		玉	土製品		三ツ谷式相当	0.55	0.5	—	—	(J-23) フローテーション257
V-68-31	44	F98	焼土		玉	土製品		三ツ谷式相当	—	—	—	—	フローテーション119
V-68-32	44	F104	覆土		壺(口)	IVc-2	L R 縦縄文・刻線・滑消	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-68-33	45	F105	覆土		玉	土製品		三ツ谷式相当	—	—	—	—	
V-68-34	45	F105	覆土		玉	土製品		三ツ谷式相当	1.55	1.5	—	—	
V-68-35	45	F106	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	

図番号	図版番号	遺構名・グリット	層位	取上げ番号	器種(部位)	分類	地文及び主な調整	型式名称	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考
V-68-36	45	F106	覆土		鉢(口)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-68-37	45	F110 H-26	覆土 II層		深鉢(口~胴)	Vb	R L	大綱BC~C1類	25.8	17.5	-	-	
V-68-38	45	F110 H-26	覆土 II層		深鉢(口~胴)	Vb	R L	大綱BC~C1類	-	-	-	-	
V-68-39	45	F111	覆土										
		I-20	攪乱・MC2 ・MC3層										
		I-21	攪乱		深鉢(口~胴)	IVc-2	R L	三ツ谷式	27.8	17.7	-	-	
		I-24	II層										
	J20	MC2 I層											
V-68-40	45	F111	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-68-41	45	F113	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-68-42	45	F113	覆土		耳栓	土製品		三ツ谷式相当					
V-68-43	45	F113	覆土		玉	土製品		三ツ谷式相当					
V-69-44	45	F121	覆土										
		H-21	I層										
		I-19	II層		深鉢(口~胴)	IVc-2	R L	三ツ谷式	21.8	-	-	-	赤影
		I-20	II B MC2層										
	J-24	II A層											
V-69-45	45	F122	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-69-46	45	F122	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-69-47	45	F122	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-69-48	45	F123	覆土		鉢(口)	IVc-2	無文	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-69-49	45	F127	焼土		玉	土製品		三ツ谷式相当					(G22) フローテーション239
V-69-50	45	F127	覆土		玉	土製品		三ツ谷式相当					(G22) フローテーション289
V-69-51	45	F127	焼土		玉	土製品		三ツ谷式相当					(G22) フローテーション268
V-69-52	45	F127	II B (焼土下)		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-69-53	45	F127	II B (焼土下)		深鉢(胴)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-69-54	45	F127	II B (焼土下)		壺(胴~胴)	IVc-2	無文	三ツ谷式	2.8	4.4	-	-	ミニチュア
V-69-55	45	F127	覆土										
			II B (焼土直下) II B (焼土下)		深鉢(口~胴)	IVc-2	R L・L R	三ツ谷式	22.2	23.0	-	-	
V-69-56	45	F128	覆土		耳栓	土製品		三ツ谷式相当					
V-69-57	45	F128	覆土		玉	土製品		三ツ谷式相当					
V-70-58	45	F131 I-21	覆土										
			MC2層		深鉢(口~胴)	IVc-2	L R	三ツ谷式	40.5	15.5	-	-	
V-70-59	45	F142	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L・L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-70-60	45	F142	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-70-61	45	F142	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-70-62	45	F142	覆土		壺(胴~底)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	1.6	-	小型
V-70-63	46	F142	覆土		玉	土製品		三ツ谷式相当					

図番号	図版番号	遺構名・グリット	層位	取上げ番号	器種(部位)	分類	地文及び主な調整	型式名称	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考
V-70-64	46	F149	覆土		深鉢(I)	IVc-2	R L・L R	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-70-65	46	F154	覆土		深鉢(I)	IVc-2	R L	三ツ谷式	-	-	-	-	
V-70-66	46	F154	覆土		深鉢(I)	IVc-2	L R	三ツ谷式	-	-	-	-	

表V-15 焼土掲載石器一覧

遺構番号	図番号	名称	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材	備考
F58	図V-71-1	スクレイパー	焼土	2.10	1.50	0.50	0.80	黒曜石	被熱
F62	図V-71-2	石鏃	焼土	(2.40)	1.40	0.40	(0.90)	黒曜石	
F62	図V-71-3	石鏃	焼土	(2.20)	1.30	0.50	(1.00)	黒曜石	
F62	図V-71-4	石鏃	焼土	(2.20)	1.40	0.45	(1.00)	黒曜石	
F62	図V-71-5	石鏃	焼土	2.60	1.55	0.40	0.70	黒曜石	
F62	図V-71-6	スクレイパー	焼土	5.20	3.70	1.10	17.70	頁岩	
F65	図V-71-7	石鏃	焼土	1.90	1.30	0.30	0.40	黒曜石	
F65	図V-71-8	石鏃	焼土	(1.70)	1.30	0.40	(0.50)	黒曜石	
F65	図V-71-9	石鏃	焼土	(1.50)	0.80	0.35	(0.30)	黒曜石	
F80	図V-71-10	石鏃	焼土	2.80	0.90	0.40	0.80	頁岩	
F82	図V-71-11	石鏃	焼土	2.25	1.15	0.36	0.70	黒曜石	
F82	図V-71-12	スクレイパー	焼土	4.00	2.00	0.95	3.80	黒曜石	
F90	図V-71-13	石鏃	焼土	(2.00)	1.00	0.40	(0.40)	黒曜石	
F95	図V-71-14	石鏃	焼土	(1.76)	1.54	0.38	0.50	黒曜石	
F95	図V-71-15	石鏃	焼土	(2.25)	1.25	0.40	0.70	黒曜石	
F95	図V-71-16	石鏃	焼土	(1.87)	1.30	0.37	0.60	黒曜石	
F105	図V-71-17	石鏃	焼土	(1.90)	1.40	0.45	1.00	黒曜石	
F106	図V-71-18	石鏃	焼土	(1.90)	1.15	0.24	0.50	黒曜石	
F106	図V-71-19	石鏃	焼土	2.00	1.00	0.40	0.50	メノウ	
F106	図V-71-20	石鏃	焼土	(2.10)	2.20	0.40	1.30	メノウ	
F107	図V-71-21	石鏃	焼土	2.60	1.35	0.45	0.80	黒曜石	
F127	図V-71-22	石鏃	焼土	2.80	1.40	0.50	1.00	黒曜石	
F127	図V-71-23	スクレイパー	焼土	5.20	1.90	0.70	5.70	黒曜石	
F130	図V-71-24	石鏃	焼土	2.50	1.50	0.65	1.20	黒曜石	
F131	図V-71-25	石鏃	焼土	2.50	1.40	0.40	0.80	黒曜石	
F131	図V-71-26	スクレイパー	焼土	3.70	3.10	1.00	14.10	頁岩	
F154	図V-71-27	石鏃	焼土	3.00	1.70	0.54	1.30	黒曜石	被熱
F116	図V-71-28	すり石	焼土	4.60	4.70	4.90	200.00	カンラン岩	

表V-16 遺構別(焼土)出土土器・土製品一覧

遺構	出土層位	Ia	Ib3	Ib4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVc-1	IVc-2	Vb	Vc	VI	土製品	総計
F57	焼土			1			3				103					107
F58	焼土						2				21					23
F59	焼土										11					11
F60	焼土										17					17
F61	焼土						4				94					98
F62	焼土						6			16	456				2	480
F63	焼土										41					41
F64	焼土										32					32
F65	焼土				2		2			48	757				9	818
F66	焼土										127					127
F67	焼土										28					28
F69	焼土									2	61					63
F70	焼土										83				2	85
F71	焼土			3			86	5								94
F72	焼土										3					3
F73	焼土										19					19
F74	焼土										23				1	24
F75	焼土										117	4				121
F76	焼土						2				7					9
F77	焼土									48	2					50
F78	焼土										18					18
F79	焼土										18					18
F80	焼土										70					70
F81	焼土						3			11	9					23
F82	焼土						2			5	276				8	291
F83	焼土										25				3	28
F84	焼土						1				10					11
F85	焼土										36					36
F86	焼土										54					54
F87	焼土						4			1	11					16
F88	焼土										1					1
F89	焼土				1		17				1					19
F90	焼土									1	419					420
F91	焼土									1	187					188
F92	焼土										118					118
F93	焼土										184				3	187
F94	焼土										54					54
F95	焼土										497				4	501
F96	焼土						1				11					12
F97	焼土										28					28
F98	焼土										18				1	19
F99	焼土										24				2	26
F100	焼土										23					23
F101	焼土						1				60					61
F102	焼土										25					25
F104	焼土										87					87
F105	焼土										332			1	2	335
F106	焼土										425					425
F107	焼土										26					26
F110	焼土										15		2	6	4	27
F111	焼土									12	51					63
F112	焼土										48					48
F113	焼土						4				198				2	204
F114	焼土						1			157	1					159
F115	焼土										117					117
F116	焼土										115					115
F117	焼土						2			11	8					21
F119	焼土									49	36			3		88
F120	焼土										122					122
F121	焼土										152					152
F122	焼土										302					302

遺構	出土層位	Ia	Ib-3	Ib-4	IIa	IIb	II	IIIa	IIIc	IVc-1	IVc-2	Vb	Vc	VI	土製品	総計	
F123	焼土										106					106	
F124	焼土						3				9					12	
F125	焼土										5					5	
F126	焼土				1											1	
F127	II B(焼土下)									185	3					188	
	II B(焼土下)									24						24	
	焼土										298				4	302	
	砂									209	301				4	514	
F128	焼土								2	365				2	369		
F129	焼土										62					62	
F130	焼土									40	46					86	
F131	焼土				3		2			6	97	1				109	
F132	焼土										30					30	
F133	焼土				2					6	3					11	
F134	焼土						3									3	
F135	焼土											5				5	
F136	焼土							6			3					9	
F137	焼土						3									3	
F138	焼土											7				7	
F139	焼土									11						11	
F140	焼土						13				5					18	
F142	焼土											546			1	547	
F143	焼土											13				13	
F144	焼土									19						19	
F145	焼土					2				18						20	
F147	焼土								1			4				5	
F148	焼土						1				3					4	
F149	焼土						1			2	26					29	
F154	焼土									8	69					77	
F155	焼土		13													13	
F156	焼土									4	1					5	
計			13	4	9			175	1	5	695	7,912	5	2	10	50	8,881

表V-17 遺構別（焼土）出土石器・石製品など一覧

遺構名	出土層位	石槌 石槌ヌ 石ナイフ	石槌 石ナイフ	ツバサ ナイフ	スクレイ パー	フレ イク	ウフレ イク	75-イク チップ	小石	石片	すり石	天然石	白石・ 石槌	硝子 石	石球	原石	石製品	小計	計		
F57	焼土							29	29										29	29	
F58	焼土				1			27	28											28	28
F60	焼土							11	11											11	11
F61	焼土							24	24											24	24
F62	焼土	4			2			104	110											110	110
F63	焼土	1			1			87	89											89	89
F64	焼土							17	17											17	17
F65	焼土	10			5		1	555	571					1					1	572	572
F66	焼土	2						197	199											199	199
F67	焼土							19	19											19	19
F68	焼土							2	2											2	2
F69	焼土							40	40											40	40
F70	焼土	1						79	80											80	80
F71	焼土							9	9											9	9
F73	焼土							20	20											20	20
F74	焼土							27	27											27	27
F75	焼土							21	21											21	21
F77	焼土							48	48											48	48
F78	焼土							14	14											14	14
F79	焼土							6	6											6	6
F80	焼土			2				47	49											49	49
F81	焼土							21	21											21	21
F82	焼土	2		1		2		255	260	1							1	2		262	262
F83	焼土	1			1			41	43											43	43
F84	焼土							7	7											7	7
F85	焼土				1			10	11											11	11

## 西島松5遺跡(2) 平成12・13年度

遺跡名	出土層位	石種	石種又はナイフ	石種	つまみ付ナイフ	スタレナイフ	石フリ	リフリ	フリテップ	小計	石屏	すり石	たたき石	台石・石皿	瓦石	鏡・鏝片	石鏡	取石	石製品	小計	計
F86	雑土								17	17											17
F87	雑土								13	13											13
F88	雑土								5	5											5
F89	雑土								165	165											165
F90	雑土	5				1			183	189		1								1	190
F91	雑土			1					1	51	53										53
F92	雑土								1	44	45										45
F93	雑土									57	57										57
F94	雑土									41	41										41
F95	雑土	5				1				216	222							1		1	223
F96	雑土									16	16										16
F97	雑土					1				12	13										13
F98	雑土	1								15	16										16
F99	雑土									17	17										17
F100	雑土									22	22										22
F101	雑土	2								143	145										145
F102	雑土									9	9										9
F104	雑土					1				98	99										99
F105	雑土	1		1						222	224										224
F106	雑土	2		2		2				187	193	1								1	194
F107	雑土	1								197	198										198
F110	雑土									42	42										42
F111	雑土	1								29	30										30
F112	雑土									10	10										10
F113	雑土	4								100	104							1		1	105
F114	雑土	1								310	311										311
F115	雑土	1								38	39							1		1	40
F116	雑土									39	39		1							1	40
F117	雑土	1				1				17	19										19
F119	雑土	1								42	43										43
F120	雑土	2			1					22	25	1								1	26
F121	雑土	1								44	45										45
F122	雑土	3		2						203	208										208
F123	雑土	1					1			96	97										97
F124	雑土									4	4										4
F125	雑土									15	15										15
F127	雑土	4				1				197	202			1	1					2	204
F128	雑土	1								108	109				1					1	110
F129	雑土									23	23										23
F130	雑土	1								44	45										45
F131	雑土	1				1				4	6										6
F132	雑土									7	7										7
F133	雑土					1				32	33										33
F135	雑土									3	3										3
F137	雑土									7	7										7
F138	雑土									3	3										3
F139	雑土									7	7										7
F140	雑土									48	48										48
F142	雑土	2				2				249	253										253
F143	雑土									15	15										15
F144	雑土									5	5										5
F145	雑土									2	2										2
F147	雑土									5	5										5
F148	雑土									3	3										3
F149	雑土	1								10	11										11
F154	雑土	1								28	29				1					1	30
F155	雑土									1	1										1
F156	雑土									4	4										4

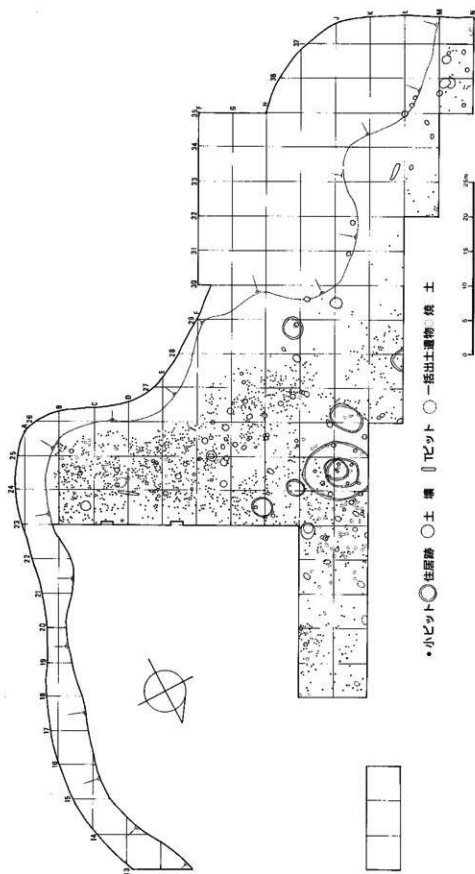


図 一72 小ピットの位置図



## 6. 小ピット (図V-73~92 表V-18)

位置と分布: MA層より北側の台地上に分布する。小ピットの分布範囲は、縄文時代後期後葉から晩期前葉の遺物の密集域とほぼ重なることから、多くは後期後葉から晩期前葉の住居に伴う柱穴と推測する。ここの住居を構成する、小ピットの組み合わせや配列は確認できない。

構造: 先端がとがる杭状のものと、堀方をもつものが存在し、多くは堀方をもつ。

性格: 住居に伴う柱穴と推測する。

時期: 縄文時代後期後葉から晩期前葉の遺物の密集域と小ピットの分布範囲の一致に何らかの関連があると考えるならば、小ピットの多くは、縄文時代後期後葉から晩期前葉に構築された可能性が高い。

### 小ピット出土の土器 (図V-93 表V-19・21 図版48)

SP1019~1は注口付壺の胴部。注口部は剥離しており形状は不明。肩部にヘラ状工具による刺突列、細めの沈線文、無文帯が巡る。下半は無文。三ツ谷式。

SP1085~2は深鉢の口縁部。沈線文、突瘤文が巡る。堂林式。

SP1106~3は深鉢の底部。弱い上げ底。堂林式。

SP1177~4は無文の鉢の口縁部。三ツ谷式。

SP1183~5は深鉢の胴部。細めの沈線文がある。堂林式。三ツ谷式の可能性がある。

SP1223~6は深鉢の胴部。沈線文がある。堂林式。

SP1246~7は深鉢の口縁部。波状口縁。口唇部断面は面のある切出し形。沈線文、突瘤文が巡る。堂林式。

SP1419~8は壺の肩部。半截竹管状工具による2本同時施文の沈線と太めの沈線による文様。半截竹管状工具による2本同時施文の沈線による文様はハート形と考える。堂林式。

SP1539~9は深鉢の口縁部。口唇部断面は切出し形。三ツ谷式。

SP1592~10は大型の鉢。底部は台付で外面まで地文の縄文を施文。口縁部は2つ1組の丸みのある山形の貼付が5単位。無文帯は爪文で区画。三ツ谷式。

SP1599~11は深鉢の底部。台部は無文。三ツ谷式。

SP1672~12は深鉢の胴部。沈線文があり、沈線間に爪文。三ツ谷式。

SP1716~13は深鉢の口縁部。沈線文、口縁に沿う爪文がある。三ツ谷式。

SP1731~14は深鉢の口縁部。口縁部は小波状様の斜めの刻み。三ツ谷式。

SP2073~15は小型の深鉢の胴部。細めの沈線文。三ツ谷式。

SP2115~16は深鉢の胴部。三ツ谷式。

SP2216~17は深鉢の胴部。半截竹管状工具による2本1組の平行沈線文。萩ヶ岡2式。

SP2320~18は深鉢の胴部。半截竹管状工具による2本1組の平行沈線文。RL+RL(結束1種)とLR多条の2種類の原体を用いている。萩ヶ岡2式。

SP2321~19は深鉢の口縁部。口縁部は小波状様の斜めの刻み。沈線文、突瘤文、沈線文間に爪文。三ツ谷式。

SP2407~20は深鉢の胴部。沈線文、無文帯、沈線文間には半截竹管状工具による斜めの刺突。三ツ谷式。

SP2511~21は深鉢の底部。外面は無文。白坂3式相当。

## 小ピット出土の石器 (図V-94 表V-20・22 図版52)

1はSP1242出土のつまみ付きナイフ。片面周縁加工のもので、石材はメノウである。2はSP1280出土の石鏃。尖頭部が加工・調整している未成品である。石材は少球果を含む黒曜石。3は素材の一部に刺突部を作り出した石鏃である。機能部は欠損する。石材は珪負頁岩。4はSP1748出土の石鏃。有茎凸基のもので、裏面に剝離面が残る。側縁外湾気味で、つくり丁寧。石材は光沢のある黒曜石。5はSP2303出土のすり石。断面三角形の稜をすったもので、平坦面にすり痕があり、石皿として使用されていた可能性がある。石材は安山岩。6はSP2304出土のつまみ付きナイフ。片面全面加工のものである。石材は頁岩。

表V-18 小ピット一覽

遺構番号	位置	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	土色・土質
SP1014	B 23	0.20	0.18	0.32	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径15mm) 9%含む 柱状 2 10YR3 4 暗褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム主体で暗褐色土 20%含む
SP1015	B 23	0.15	0.15	0.29	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径10mm) 2%含む 柱状 2 10YR3 4 黒褐色埴土 ローム粒 (径10mm) 10%含む
SP1016	B 23	0.16	0.16	0.13	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径5-10mm) 3%含む
SP1017	B 23	0.19	0.17	0.14	1 10YR2 1.5 黒-黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径10-20mm) 3%含む
SP1018	B 23	0.17	0.16	0.25	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度軟 パリス (径3mm) 2%含む
SP1019	B 23	0.20	0.18	0.13	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パリス (径5mm) 2%含む
SP1020	B 23	0.15	0.15	0.21	1 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径10-15mm) 19%含む
SP1021	B 23	0.18	0.17	0.24	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径10-20mm) 10%含む
SP1022	B 23	2.20	0.18	0.22	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム 7%含む
SP1023	B 23	0.19	0.15	0.13	1 10YR2 1 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パリス (径7mm) 2%含む ローム粒 (径15mm) 10%含む
SP1024	B 23	0.28	0.06	0.24	1 10YR2 1 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム 10%含む 2 10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム 9%含む
SP1025	B 23	0.15	0.14	0.15	1 10YR2 1 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径5-10mm) 2%含む 2 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径5-10mm) 3%含む
SP1026	B 23	0.36	0.25	0.15	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度すこぶる堅 ローム 19%含む 2 10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度すこぶる堅 ローム 7%含む
SP1027	B 23	0.15	0.15	0.09	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP1028	B 23	0.27	0.11	0.22	1 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パリス (径1-2mm) 9%含む 2 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パリス (径1-2mm) 3%含む
SP1029	B 23	0.14	0.12	0.15	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径3-10mm) 3%含む
SP1030	B 22.23	0.18	0.16	0.20	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径10-15mm) 7%含む
SP1031	B 23	0.17	0.15	0.17	1 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度すこぶる堅 パリス (径3mm) 9%含む 2 10YR4 3 に近い黄褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パリス (径1-2mm) 9%含む
SP1032	B 23	0.13	0.10	0.14	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP1033	B 23	0.13	0.14	0.14	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径10-15mm) 2%含む
SP1034	B 23	0.14	0.13	0.15	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径3-9mm) 2%含む
SP1035	B 23	2.50	2.00	0.16	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 炭化物少量含む 2 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パリス (径2-3mm) 3%含む
SP1036	B 23	0.14	0.12	0.16	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅
SP1037	B 23	0.14	0.14	0.16	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP1038	B 23	0.17	0.17	0.16	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パリス (径2mm) 9%含む 2 10YR3 3 暗褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム 19%含む
SP1039	B 23	0.15	0.13	0.28	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径10-15mm) 3%含む 2 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP1040	B 23 C 23	0.15	0.15	0.16	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パリス (径3-9mm) 9%含む
SP1041	B 23	0.16	0.14	0.08	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パリス (径5mm) 9%含む
SP1042	B 23	0.15	0.14	0.08	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径5-10mm) 2%含む
SP1043	B 23	0.15	0.14	0.13	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パリス (径5-10mm) 2%含む
SP1044	B 23	0.13	0.12	0.12	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径5mm) 2% 炭化物 (径10-20mm) 少量
SP1045	B 23	0.15	0.13	0.15	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径2-3mm) 9%含む
SP1046	B 23	0.17	0.16	0.18	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 ローム粒 (径5mm) 2% 炭化物 3%含む
SP1047	B 23	0.15	0.13	0.15	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径5-15mm)

遺構番号	位置	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	土色・土質
SP1046	B 23	0.20	0.14	0.18	1 10YR2 1 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径2mm) 7%含む 2 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 □-ム 19%含む
SP1049	B 23	0.13	0.11	0.12	1 10YR2 1.5 黒一黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム 7%含む
SP1050	B 23	0.16	0.16	0.13	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム 19% 炭化物 7%含む
SP1051	B 23	0.15	0.14	0.19	1 10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 (倉) 埴土主体 1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 柱礎 2 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 9%含む
SP1052	B 23	0.22	0.14	0.13	□-ム粒(径7-10mm) 19%含む 3 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 9%含む
SP1053	B 23	0.15	0.14	0.10	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径2mm) 2%含む
SP1054	B 23	0.12	0.12	0.08	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径3mm) 7%含む
SP1055	B 23	0.15	0.14	0.13	1 10YR2 2.5 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径10mm) 29%含む
SP1056	B 23	0.19	0.16	0.16	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム 3%含む
SP1057	B 23	0.16	0.15	0.17	1 10YR2 2 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム 9%含む
SP1058	B 23	0.17	0.15	0.13	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径10-20mm) 9%含む
SP1059	B 23	0.14	0.13	0.19	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径3mm) 2%含む
SP1060	B 23	0.17	0.14	0.10	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径1-2mm) 7%含む
SP1061	B 23	0.12	0.10	0.15	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径10-15mm) 7%含む 2 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 柱礎
SP1062	B 23	0.15	0.12	0.16	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径1mm) 9%含む 2 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径10mm) 30%含む
SP1063	B 23	0.16	0.15	0.20	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径10-15mm) 3%含む
SP1064	B 23	0.17	0.13	0.80	1 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 2%含む
SP1065	C 23	0.15	0.15	0.22	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟
SP1066	C 23	0.15	0.13	0.12	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径2mm) 7%含む
SP1067	C 23	0.18	0.15	0.17	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 7%含む
SP1068	C 23	0.15	0.14	0.22	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム塊 30%含む 2 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟
SP1069	C 23	0.19	0.18	0.14	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径10mm) 7%含む
SP1070	C 23	0.13	0.12	0.21	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径3mm) 2%含む
SP1071	C 23	0.12	0.11	0.15	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径10-15mm) 3%含む
SP1072	C 23	0.12	0.11	0.08	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径3mm) 7%含む
SP1073	C 23	0.27	0.25	0.17	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 2 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 パズ(径2mm) 7%含む
SP1074	C 23	0.15	0.13	0.18	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径2mm) 3%含む
SP1075	C 23	0.19	0.18	0.2	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性弱 堅密度堅 パズ(径5mm) 2%含む
SP1076	C 23	0.15	0.14	0.80	1 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径2-3mm) 7%含む
SP1077	C 23	0.12	0.11	0.18	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径10mm) 7%含む
SP1078	C 23	0.21	0.20	0.22	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径5-10mm) 9%含む
SP1079	C 23	0.21	0.17	0.15	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径3-5mm) 7%含む
SP1080	C 23	0.19	0.19	0.21	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径3-10mm) 3%含む
SP1081	C 23	0.16	0.14	0.06	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅
SP1082	C 23	0.13	0.12	0.25	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 □-ム粒(径10-15mm) 10%含む
SP1083	C 23	0.15	0.12	0.24	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径3-5mm) 2%含む
SP1084	C 23	0.19	0.17	0.14	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 炭化物・パズ(径2mm) 7%含む
SP1085	C 23	0.13	0.12	0.16	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度軟
SP1086	C 23	0.14	0.12	0.15	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径5mm) 7%含む
SP1087	C 23	0.13	0.12	0.11	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径3mm) 7%含む
SP1088	C 23	0.14	0.13	0.13	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径5-10mm) 7%含む
SP1089	C 23	0.16	0.13	0.14	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径10mm) 2%含む
SP1090	C 23	0.14	0.12	0.13	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径3mm) 3%含む
SP1091	C 23	0.16	0.14	0.10	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径3-10mm) 2%含む 土器片含む
SP1092	C 23	0.30	0.25	0.16	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径3-5mm) 3%含む 2 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度しょう 粒
SP1093	C 23	0.14	0.14	0.14	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径5-10mm) 9%含む
SP1094	C 23	0.18	0.15	0.22	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径1-2mm) 7% □-ム粒(径5mm) 9%含む
SP1095	C 23	0.19	0.17	0.80	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅
SP1096	C 23	0.16	0.14	0.14	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径2-5mm) 7%含む
SP1097	C 23	0.18	0.15	0.08	1 10YR2 2 黒色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径3mm) 7%含む
SP1098	C 23	0.14	0.12	0.16	1 10YR2 1.5 黒一黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 パズ(径1-2mm) 7%含む
SP1099	C 23	0.16	0.14	0.17	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度堅 □-ム粒(径5-15mm) 10%含む

遺構番号	位置	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	土色・土質			
SP1100	C 23	0.17	0.16	0.14	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10mm) 1%含む
SP1101	B 25	0.20	0.14	0.18	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径3-5mm) 7%含む
SP1102	B 25	0.19	0.18	0.15	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径2-3mm) 7%含む
SP1103	B 25	0.17	0.16	0.23	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度軟	ローム粒(径15-15mm) 2%含む
SP1104	B 25	0.17	0.14	0.10	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径2-3mm) 7%含む
SP1105	B 25	0.13	0.12	0.10	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	パミス(径1mm) 7%含む
SP1106	B 25	0.13	0.11	0.12	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度軟	ローム粒(径2mm) 2%含む
SP1107	B 25	0.11	0.10	0.11	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径3-10mm) 3%含む
SP1108	B 25	0.25	0.17	0.16	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-15mm) 3%含む
SP1109	B 25	0.22	0.20	0.15	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	パミス(径10mm) 2% ローム粒(径5-10mm) 9%含む
SP1110	B 25 A 25	0.17	0.17	0.07	1	10YR2 3 黒褐色埴土	粘性中 堅密度軟	ローム 7%含む
SP1111	B 25	0.14	0.10	0.11	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径5-10mm) 3%含む
SP1112	B 25	0.19	0.17	0.12	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-15mm) 3%含む
SP1113	B 25	0.18	0.16	0.17	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-15mm) 9%含む
SP1114	B 25	0.12	0.12	0.29	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径5mm) 7%含む(打込み)
SP1115	B 25	0.31	0.26	0.22	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径5mm) 7%含む 2 10YR2 2 黒色埴土
SP1116	B 25	0.08	0.07	0.11	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径2-5mm) 3%含む(打込み)
SP1117	B 25	0.13	0.13	0.25	1	10YR17 1 黒色埴土	粘性中 堅密度軟	ローム粒(径3mm) 2%含む 柱礎 2 10YR2 1 黒色埴土
SP1118	B 25	0.24	0.16	0.15	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径5-7mm) 2%含む
SP1119	A 25	0.08	0.07	0.08	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度しょう	
SP1120	A 25	0.12	0.11	0.09	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度しょう	
SP1121	A 25	0.20	0.21	0.18	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度軟	ローム粒(径5-10mm) 9%含む
SP1122	A 25	0.20	0.15	0.12	1	10YR2 3 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム 15%含む
SP1123	A 25	0.20	0.20	0.12	1	10YR3 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度軟	柱礎 2 10YR2 1 黒色埴土
SP1124	A 25 24	0.16	0.11	0.16	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-15mm) 2%含む
SP1125	A 24	0.15	0.13	0.16	1	10YR2 3 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ロームブロック10%含む 2 10YR2 1 黒色埴土
SP1126	A 24	0.15	0.12	0.21	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10mm) 7%含む 2 10YR2 1 黒色埴土
SP1127	A 24	0.13	0.13	0.16	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-15mm) 15%含む
SP1128	A 24	0.21	0.18	0.12	1	10YR17 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径5-10mm) 3%含む 炭化物 7%含む
SP1129	A 24	0.13	0.13	0.15	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-15mm) 3%含む
SP1130	A 24	0.14	0.14	0.12	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-15mm) 9%含む
SP1131	A 24	0.12	0.12	0.13	1	10YR4 3 にぶい黄褐色埴土	粘性中 堅密度軟(金) 層土主体	
SP1132	A 24	0.11	0.11	0.06	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10mm) 7%含む
SP1133	A 24	0.21	0.14	0.16	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径5-15mm) 9%含む
SP1134	B 24	0.16	0.15	0.10	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-20mm) 7%含む
SP1135	B 24	0.19	0.17	0.14	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10mm) 10%含む
SP1136	B 24	0.14	0.12	0.16	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径5mm) 7%含む(打込み)
SP1137	B 24	0.16	0.13	0.06	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	パミス(径3-5mm) 2%含む
SP1138	B 24	0.11	0.09	0.14	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度軟	パミス・ローム粒(径5-10mm) 3%含む
SP1139	B 24	0.15	0.15	0.05	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ロームブロック7%含む
SP1140	B 24	0.12	0.11	0.10	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-20mm) 10%含む
SP1141	B 24	0.13	0.13	0.12	1	10YR3 4 暗褐色埴土	粘性中 堅密度整(金) 層土主体で黒色土粒	(径10-15mm) 9%含む
SP1142	B 24	0.12	0.10	0.11	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	パミス(径10mm) 2%含む
SP1143	B 24	0.17	0.13	0.10	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-15mm) 9%含む
SP1144	B 24	0.20	0.18	0.09	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径5mm) 3%含む
SP1145	B 24	0.17	0.16	0.09	1	10YR3 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径5-20mm) 19%含む
SP1146	B 24	0.24	0.20	0.09	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-20mm) 10%含む
SP1147	B 24	0.13	0.12	0.10	1	10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径10-20mm) 7%含む
SP1148	B 24	0.15	0.14	0.15	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径2mm) 19%含む
SP1149	B 24	0.30	0.29	0.10	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	ローム粒(径3-15mm) 7%含む
SP1150	B 24	0.18	0.15	0.06	1	10YR17 1 黒色埴土	粘性中 堅密度軟	パミス(径3-5mm) 2%含む
SP1151	B 24	0.20	0.18	0.15	1	10YR17 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	パミス(径5mm) 3%含む
SP1152	B 24	0.16	0.16	0.15	1	10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整	パミス(径3mm) 7%含む

遺構番号	位置	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	土色・土質						
SP1153	B 24	0.16	0.18	0.11	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径3-5mm)	3%含む
SP1154	B 24	0.15	0.14	0.13	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径3-5mm)	5%含む
SP1155	B 24	0.10	0.09	0.13	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径5-15mm)	3%含む
SP1156	B 24	0.13	0.10	0.09	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	パミス(径1-3mm)	2%含む
SP1157	B 24	0.13	0.13	0.10	1	10YR 17 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径10-15mm)	7%含む
SP1158	B 24	0.13	0.13	0.10	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径7mm)	7%含む
SP1159	B 24	0.15	0.14	0.17	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径3-5mm)	7%含む
SP1160	B 24	0.14	0.13	0.12	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径5-10mm)	5%含む
SP1161	B 24	0.18	0.17	0.12	1	10YR 17 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	パミス(径3-5mm)	7%含む
SP1162	B 24	0.11	0.11	0.15	1	10YR 17 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	柱礎 2 10YR2 2 黒色埴土	粘性中 堅密度整
SP1163	B 24	0.20	0.16	0.13	1	10YR2 2	黒褐色埴土	粘性中	堅密度整	ロームブロック	19%含む
SP1164	B 24	0.18	0.16	0.20	1	10YR2 2	黒褐色埴土	粘性中	堅密度整	パミス・ローム粒(径3-5mm)	5%含む
SP1165	B 24	0.20	0.13	0.12	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径3-5mm)	7%含む
SP1166	B 24	0.31	0.12	0.10	1	10YR2 2	黒褐色埴土	粘性中	堅密度整	ローム	20%含む
SP1167	B 24	0.18	0.13	0.06	1	10YR 2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ロームブロック	25%含む
SP1168	B 24	0.18	0.17	0.14	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径10mm)	7%含む
SP1169	B 24	0.16	0.14	0.14	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径5-10mm)	5%含む
SP1170	B 24	0.24	0.18	0.15	1	10YR 17 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径5-7mm)	7%含む
SP1171	B 24	0.16	0.14	0.08	1	10YR2 2	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径5mm) 7% 炭化粉粒(径5mm)	7%含む
SP1172	B 24	0.11	0.10	0.18	1	10YR2 2	黒色埴土	粘性中	堅密度軟	ローム粒(径5-10mm)	2%含む
SP1173	B 24	0.15	0.15	0.15	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	パミス(径5mm) 3% ローム粒(径10mm)	2%含む
SP1174	B 24	0.15	0.15	0.33	1	10YR2 2	黒褐色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径10-15mm)	2% 炭化物 7%含む
SP1175	B 24	0.22	0.15	0.18	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径20mm)	3%含む
SP1176	B 24	0.26	0.23	0.15	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ロームブロック 3% パミス(径3mm)	7%含む
SP1177	B 24 23	0.16	0.13	0.13	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径10-15mm)	2%含む
SP1178	B 24 23	0.17	0.17	0.15	1	10YR 17 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径5-7mm) 5% 炭化物 7%含む	
SP1179	B 24	0.16	0.14	0.12	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径3-5mm) 2% 炭化物 7%含む	
SP1180	B 24	0.18	0.15	0.15	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径5-10mm) 7%含む 2 10YR3 3 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 ローム 30%含む
SP1181	B 24	0.17	0.17	0.24	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径3-5mm)	7%含む
SP1182	B 24	0.18	0.15	0.14	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径3-10mm)	7%含む
SP1183	B 24	0.18	0.13	0.14	1	10YR2 2	黒褐色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径10mm)	2%含む
SP1184	B 24	0.16	0.13	0.12	1	10YR2 2	黒褐色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径5-7mm)	3%含む
SP1185	B 24	0.15	0.14	0.10	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径3-5mm) 3-7%含む	
SP1186	B 24	0.15	0.13	0.10	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径3mm)	5%含む
SP1187	B 24	0.19	0.16	0.07	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	パミス(径1mm)	7%含む
SP1188	B 24	0.10	0.08	0.16	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	パミス(径3mm)	7%含む
SP1189	B 24	0.29	0.25	0.14	1	10YR2 2	黒褐色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径5-15mm)	10%含む
SP1190	B 24	0.15	0.14	0.09	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径3-10mm)	7%含む
SP1191	B 24	0.12	0.09	0.10	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径3mm)	7%含む
SP1192	B 24	0.11	0.11	0.17	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度軟	パミス(径3-3mm)	7%含む
SP1193	B 24	0.15	0.15	0.10	1	10YR 17 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	パミス(径5mm)	5%含む
SP1286	C 25	0.16	0.12	0.08	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整		
SP1287	C 25	0.17	0.14	0.21	1	10YR 17 1	黒色埴土	粘性中	堅密度軟	ローム粒(径5mm)	7%含む
SP1288	C 25	0.21	0.21	0.12	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度軟	ローム粒(径10mm)	3%含む
SP1289	C 25	0.23	0.20	0.12	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整		
SP1290	C 25	0.14	0.13	0.07	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径10mm)	3%含む
SP1291	C 25	0.23	0.20	0.14	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	パミス・ローム(径1-3mm)	5%含む
SP1292	C 24	0.20	0.20	0.25	1	10YR3 3	黒褐色埴土	粘性中	堅密度整	パミス・ローム(径10mm)	7%含む
SP1293	C 24	0.20	0.18	0.10	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整		
SP1294	C 24	0.20	0.16	0.15	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	パミス(径2mm)	7%含む
SP1295	C 24	0.23	0.19	0.20	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径10-15mm)	3%含む
SP1296	C 24	0.24	0.25	0.20	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	パミス(径1-2mm)	3%含む
SP1297	C 24	0.11	0.12	0.10	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径10mm)	7%含む
SP1298	C 24	0.13	0.14	0.08	1	10YR2 2	黒褐色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径10mm)	3%含む
SP1299	C 24	0.12	0.12	0.12	1	10YR2 3	黒褐色埴土	粘性中	堅密度整		
SP1300	C 24	0.15	0.14	0.10	1	10YR2 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径2-5mm)	7%含む
SP1301	C 24 B 24	0.20	0.80	0.12	1	10Y17 1	黒色埴土	粘性中	堅密度整	ローム粒(径1-3mm)	3%含む

遺構番号	位置	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	土色・土質	
SP1302	C 24 B 24	0.15	0.15	0.14	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3-10mm) 7%含む
SP1303	C 24 B 24	0.16	0.15	0.10	1	10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 10mm) 3%含む
SP1304	C 23	0.15	0.15	0.15	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3mm) 5%含む
SP1305	C 23 C 24	0.15	0.13	0.10	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3-5mm) 3%含む
SP1306	C 24	0.14	0.12	0.08	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3-10mm) 2%含む
SP1307	C 24	0.12	0.10	0.15	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 10mm) 5%含む
SP1308	C 24	0.16	0.15	0.18	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 15-20mm) 7%含む
SP1309	C 24	0.20	0.19	0.80	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス・ローム粒 (径 3mm) 2%含む
SP1310	C 24	0.17	0.17	0.11	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 10-15mm) 9%含む
SP1311	C 24	0.15	0.10	0.09	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 5-10mm) 2%含む
SP1312	C 24	0.16	0.15	0.07	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス・ローム粒 (径 3-5mm) 3%含む
SP1313	C 24	0.14	0.12	0.13	1	10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 15-19mm) 7%含む
SP1314	C 24	0.20	0.18	0.14	1	10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 1-3mm) 2%含む
SP1315	C 24	0.20	0.13	0.10	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス粒 (径 1mm) 2%含む
SP1316	C 24	0.12	0.12	0.10	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3-3mm) 10%含む
SP1317	C 24	0.12	0.12	0.13	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3-10mm) 2%含む
SP1318	C 24	0.23	0.21	0.07	1	10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス粒 (径 1mm) 7%含む
SP1319	C 24	0.14	0.14	0.06	1	10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス粒 (径 1-2mm) 2%含む
SP1320	C 24	0.18	0.16	0.20	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 パミス・ローム粒 (径 3-10mm) 10%含む
SP1321	C 24	0.15	0.13	0.09	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整
SP1322	C 24	0.11	0.11	0.07	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 2-10mm) 3%含む
SP1323	C 24	0.15	0.12	0.25	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 パミス (径 3mm) 7%含む
SP1324	C 24	0.15	0.16	0.13	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス・ローム粒 (径 2-5mm) 2%含む
SP1325	C 24	0.19	0.13	0.14	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 10-15mm) 10 炭水化物 (径 10mm) 12%含む
SP1326	C 24	0.20	0.13	0.15	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス (径 1mm) 2%含む
SP1327	C 24	0.22	0.20	0.13	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 5-10mm) 7%含む
SP1328	C 24	0.22	0.15	0.07	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス (径 3-5mm) 2%含む
SP1329	C 24	0.14	0.08	0.20	1	10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 10-15mm) 3%含む 柱礎 10YR4 6 褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム主体
SP1330	C 24	0.20	0.18	0.15	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム10%含む
SP1331	C 24	0.20	0.19	0.20	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3-5mm) 9%含む
SP1332	C 24	0.22	0.20	0.19	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3mm) 2%含む
SP1333	C 24	0.25	0.20	0.14	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 5-10mm) 7%含む
SP1334	C 24	0.19	0.14	0.06	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3-10mm) 3%含む
SP1335	C 24	0.18	0.17	0.18	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス (径 1-3mm) 3%含む
SP1336	C 24	0.13	0.13	0.10	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス (径 3-5mm) 3%含む
SP1337	C 24	0.23	0.20	0.17	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス (径 10-15mm) 3%含む
SP1338	C 24	0.12	0.11	0.17	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3mm) 7%含む
SP1339	C 24	0.16	0.15	0.10	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ロームブロック10%含む
SP1340	C 24	0.17	0.16	0.15	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 パミス・ローム粒 (径 3mm) 7%含む
SP1341	C 24	0.18	0.16	0.13	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス (径 1-2mm) 3%含む
SP1342	C 24	0.17	0.15	0.06	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 5-10mm) 7%含む
SP1343	C 24 D 24	0.12	0.12	0.13	1	10YR3 3 暗褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3mm) 3%含む
SP1344	C 24 D 24	0.22	0.20	0.12	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 1-3mm) 2%含む
SP1345	C 24	0.14	0.14	0.09	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 パミス (径 5-10mm) 7%含む
SP1346	C 24	0.14	0.12	0.07	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス (径 2mm) 2%含む
SP1347	C 24	0.16	0.16	0.21	1	10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス (径 3-5mm) 9%含む
SP1348	C 24	0.23	0.20	0.12	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 3-5mm) 3 炭水化物 (径 5mm) 2%含む
SP1349	C 24	0.15	0.14	0.07	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 10mm) 2%含む
SP1350	D 25	0.13	0.13	0.07	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 5mm) 9%含む
SP1351	D 25	0.19	0.18	0.07	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 10mm) 3%含む
SP1352	D 25	0.19	0.17	0.11	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 10-20mm) 3%含む
SP1353	D 25	0.14	0.14	0.10	1	10YR3 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 10-20mm) 10%含む
SP1354	D 25	0.13	0.12	0.12	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径 15mm) 19%含む

遺構番号	位置	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	土色・土質	
SP1355	D 25	0.15	0.15	0.09	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径3-5mm) 10%含む
SP1356	D 25	0.23	0.17	0.15	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径2-5mm) 10%含む
SP1357	D 25	0.18	0.16	0.07	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10mm) 9%含む
SP1358	D 25	0.20	0.19	0.13	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10mm) 3 炭化物(径2mm) 7%含む
SP1359	D 25	0.20	0.20	0.11	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 パミス(径3-2mm) 7%含む
SP1360	D 25	0.11	0.09	0.14	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径3-5mm) 10%含む
SP1361	D 25	0.16	0.15	0.11	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径15mm) 7%含む 炭化物(径5mm) 1%含む
SP1362	D 25	0.15	0.14	0.11	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 パミス・ロ-ム粒(径3-10mm) 3%含む
SP1363	D 25	0.13	0.12	0.07	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 パミス・ロ-ム粒(径2-2mm) 3%含む
SP1364	D 25	0.14	0.14	0.12	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径2-3mm)
SP1365	D 25	0.18	0.18	0.24	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10-15mm) 7%含む 抜き取り 2 10YR 17 1 黒褐色埴埴土
SP1366	D 25	0.19	0.14	0.13	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10-15mm) 9%含む
SP1367	D 25	0.14	0.12	0.07	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径7-10mm) 3%含む
SP1368	D 25	0.17	0.15	0.12	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径15-20mm) 7%含む
SP1369	D 25	0.17	0.14	0.13	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10-15mm) 9%含む
SP1370	D 25	0.12	0.12	0.10	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10-20mm) 7%含む
SP1371	D 25	0.14	0.13	0.09	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 炭化物(径5-7mm) 2%含む
SP1372	D 25	0.16	0.15	0.20	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径3mm) 7%含む 注履 2 10YR2 1 黒色埴埴土
SP1373	D 25	0.19	0.14	0.10	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10-20mm) 10%含む
SP1374	D 25	0.18	0.16	0.14	1 10YR3 3 暗褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径3mm) 2%含む
SP1375	D 25	0.15	0.15	0.09	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10mm) 2%含む
SP1376	D 25	0.16	0.13	0.80	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10-15mm) 2%含む
SP1377	D 25	0.15	0.15	0.11	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅
SP1378	D 25	0.14	0.13	0.13	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 パミス(径5mm) 7%含む
SP1379	D 25	0.18	0.17	0.11	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10-15mm) 9%含む
SP1380	D 25	0.18	0.18	0.15	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径3-5mm) 7%含む
SP1381	D 25	0.17	0.17	0.09	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径5mm) 10%含む
SP1382	D 25	0.24	0.23	0.14	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径5-10mm) 3%含む
SP1383	D 25	0.14	0.13	0.11	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径1-3mm) 9%含む
SP1384	D 25	0.45	0.37	0.10	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 パミス・ロ-ム粒(径5-5mm) 3%含む
SP1385	D 25	0.17	0.13	0.10	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度しよう 2 10YR2 1 黒褐色埴埴土
SP1386	D 25	0.17	0.17	0.23	1 10YR2 3 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径20mm) 3%含む
SP1387	D 25	0.17	0.17	0.19	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径3mm) 2%含む 2 10YR2 2 黒褐色埴埴土
SP1388	D 25	0.21	0.19	0.10	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径7-10mm) 9%含む
SP1389	D 25	0.20	0.17	0.07	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径3-5mm) 3%含む
SP1390	D 25	0.24	0.19	0.10	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径3-10mm) 2%含む
SP1391	D 25	0.14	0.13	0.13	1 10YR17 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度軟 柱礎 2 10YR2 1 黒褐色埴埴土
SP1392	D 25	0.15	0.15	0.08	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10mm) 2%含む
SP1393	D 25	0.13	0.12	0.18	1 10YR3 3 暗褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 (金) 層土主体 杭
SP1394	D 25	0.17	0.16	0.15	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径7-10mm) 7% 炭化物(径10mm) 7%含む
SP1395	D 25	0.09	0.08	0.08	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径5-7mm) 3%含む
SP1396	D 25	0.24	0.21	0.14	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径15-20mm) 9%含む
SP1397	D 25	0.13	0.13	0.05	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 パミス(径2-3mm) 7%含む
SP1398	D 25	0.18	0.18	0.13	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径3-5mm) 9%含む
SP1399	D 25	0.18	0.18	0.10	1 10YR3 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅
SP1400	D 25	0.15	0.14	0.07	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 パミス(径3mm) 7%含む
SP1401	D 25	0.15	0.15	0.12	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径15mm) 7%含む
SP1402	D 25	0.27	0.26	0.10	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径3-10mm) 7%含む
SP1403	D 25	0.17	0.17	0.05	1 10YR3 4 暗褐色埴埴土	粘性中 堅密度軟 ロ-ム粒(径3-10mm) 9%含む
SP1404	D 25	0.28	0.25	0.12	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径10-15mm) 3% 炭化物(径2mm) 7%含む
SP1405	D 25	0.12	0.12	0.17	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 パミス(径3mm) 7%含む
SP1406	D 25	0.15	0.13	0.14	1 10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径1mm) 2%含む
SP1407	D 25	0.14	0.13	0.08	1 10YR17 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度堅 ロ-ム粒(径3-5mm) 3%含む
SP1408	D 25	0.19	0.17	0.08	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度堅 炭化物(径5mm) 2%含む

遺構番号	位置	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	土色・土質
SP1409	D 25	0.18	0.17	0.08	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 炭化物(径3-5mm) 7%含む
SP1410	D 25	0.24	0.21	0.07	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 パミス・ローム粒(径3-10mm) 9%含む
SP1411	D 25	0.19	0.18	0.10	1 10YR3 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 パミス・ローム粒(径5-10mm) 3%含む
SP1412	D 25	0.19	0.17	0.10	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 ローム粒(径3mm) 7%含む
SP1413	D 24	0.17	0.15	0.07	1 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径1-3mm) 2%含む
SP1414	D 24	0.13	0.13	0.08	1 10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 パミス(径30mm) 2%含む
SP1415	D 24	0.12	0.13	0.07	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 7%含む
SP1416	D 24	0.12	0.12	0.13	1 10YR3 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム 7%含む
SP1417	D 24	0.19	0.18	0.10	1 10YR2 1 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 パミス(径1mm) 7%含む
SP1418	D 24	0.19	0.18	0.16	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 パミス・ローム粒 9%含む
SP1419	D 24	0.37	0.33	0.90	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 2 10YR3 4 暗褐色埴土 粘性中 堅密度型 (企鵝土主体) パミス(径3-7mm) 2%含む
SP1420	D 24	0.13	0.12	0.90	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径7-10mm) 7%含む
SP1421	D 24	0.20	0.17	0.22	1 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 7%含む
SP1422	D 24	0.18	0.19	0.07	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径1-2mm) 2% 炭化物(径5mm) 7%含む
SP1423	D 24	0.14	0.13	0.15	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3-5mm) 2%含む
SP1424	D 24	0.15	0.14	0.20	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 7%含む
SP1425	D 24	0.15	0.18	0.05	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3-5mm) 3%含む
SP1426	D 24	0.19	0.17	0.07	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5-10mm) 2%含む
SP1427	D 24	0.18	0.18	0.10	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10mm) 7%含む
SP1428	D 24	0.14	0.14	0.13	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5-10mm) 3%含む
SP1429	D 24	0.20	0.15	0.26	1 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 パミス・ローム粒(径3-7mm) 7%含む
SP1430	D 24	0.16	0.14	0.07	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 9%含む
SP1431	D 24	0.15	0.14	0.16	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10-15mm) 3%含む
SP1432	D 24	0.27	0.19	0.15	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5-10mm) 3%含む
SP1433	D 24	0.13	0.12	0.10	1 10YR3 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10mm) 3%含む
SP1434	D 24	0.20	0.20	0.15	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10mm) 10%含む
SP1435	D 24	0.20	0.18	0.15	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3-5mm) 19%含む
SP1436	D 24	0.19	0.18	0.24	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10-15mm) 7%含む
SP1437	D 24	0.22	0.20	0.08	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 9%含む
SP1438	D 24	0.16	0.15	0.13	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 7%含む
SP1439	D 24	0.16	0.16	0.15	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 パミス・ローム粒(径3-5mm) 9%含む
SP1440	D 24	0.17	0.17	0.12	1 10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5-7mm) 2%含む
SP1441	D 24	0.14	0.10	0.07	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径2mm) 2-3%含む
SP1442	D 24	0.12	0.11	0.10	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3-5mm) 2%含む
SP1443	D 24	0.16	0.13	0.17	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10-15mm) 7%含む 炭化物(径5mm) 2%含む
SP1444	D 24	0.13	0.12	0.14	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 2%含む 炭化物(径5mm) 7%含む
SP1445	D 24	0.25	0.24	0.08	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10mm) 7%含む
SP1446	D 24	0.20	0.20	0.11	1 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径2mm) 7%含む
SP1447	D 24	0.16	0.15	0.19	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径2-3mm) 3%含む
SP1448	D 24	0.15	0.15	0.10	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径1-3mm) 2%含む
SP1449	D 24	0.20	0.20	0.08	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3-5mm) 2%含む
SP1450	D 24	0.24	0.23	0.15	1 10YR07 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 15%含む
SP1451	D 24	0.16	0.15	0.17	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3-5mm) 3%含む
SP1452	D 24	0.14	0.14	0.20	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径1-3mm) 7%含む
SP1453	D 24	0.15	0.15	0.16	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5-10mm) 3%含む
SP1454	D 24	0.14	0.13	0.10	1 10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5-10mm) 2%含む
SP1455	D 24	0.15	0.14	0.12	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5-10mm) 7%含む
SP1456	D 24	0.19	0.18	0.09	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3-5mm) 7%含む 炭化物(径5mm) 3%
SP1457	D 24	0.13	0.12	0.09	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10-20mm) 2%含む
SP1458	D 24	0.11	0.10	0.07	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 7%含む
SP1459	D 24	0.13	0.11	0.07	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 パミス(径1mm) 7%含む
SP1460	D 24	0.15	0.14	0.17	1 10YR4 3 にぶい黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 2%含む
SP1461	D 24	0.17	0.17	0.12	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 7%含む
SP1462	D 24	0.15	0.12	0.08	1 10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3-7mm) 7%含む
SP1463	D 24	0.17	0.17	0.09	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 炭化物(径5-10mm) 7%含む
SP1464	D 24	0.19	0.18	0.10	1 10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 7%含む
SP1465	D 24	0.16	0.15	0.12	1 10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 2%含む
SP1466	D 24	0.16	0.15	0.10	1 10YR17 / 1 黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径0mm) 3%含む



遺構番号	位置	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	土色・土質			
SP1467	D 24	0.15	0.13	0.23	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径10mm) 3%含む	
SP1468	D 24	0.17	0.17	0.16	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径2mm) 7%含む	
SP1469	D 24	0.19	0.18	0.21	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径7-10mm) 3%含む	
SP1470	D 24	0.19	0.18	0.19	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム 7%含む	
SP1471	D 24	0.13	0.12	0.07	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径20mm) 19%含む	
SP1472	D 24	0.15	0.15	0.10	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径5-10mm) 3%含む	
SP1473	D 24	0.16	0.12	0.08	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径10mm) 7%含む	
SP1474	D 24	0.20	0.19	0.11	1	10YR17 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3mm) 2%含む	
SP1475	D 24	0.19	0.17	0.12	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径5mm) 3%含む	
SP1476	D 24	0.16	0.16	0.10	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	パミス(径10mm) 2%含む	
SP1477	D 24	0.12	0.10	0.08	1	10YR17 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3mm) 3%含む	
SP1478	D 24	0.17	0.16	0.13	1	10YR2 2 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	パミス・ロ-ム粒(径5mm) 2%含む	
SP1479	D 24	0.15	0.15	0.10	1	10YR4 6 褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ムブロック 30%含む	
SP1480	D 24	0.19	0.15	0.19	1	10YR17 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径5mm) 7%含む	
SP1481	D 23/24	0.19	0.19	0.10	1	10YR2 3 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	パミス・ロ-ム粒 19%含む	
SP1482	D 23/24	0.12	0.11	0.07	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	パミス 3%含む	
SP1483	D 24	0.18	0.18	0.10	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径5-10mm) 2%含む	
SP1484					1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径20mm) 9% 2%含む	
SP1485					1	10YR2 2 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整		
SP1486					1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	パミス・ロ-ム粒(径5-15mm) 3%含む	
SP1487					1	10YR2 1 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径5mm) 3%含む	
SP1488	E 25	0.18	0.14	0.07	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径5-2mm) 2%含む	
SP1489	E 25	0.15	0.15	0.14	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	パミス(径5mm) 3% 炭化物(径5mm) 2%含む	
SP1490	E 25	0.12	0.12	0.11	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3-5mm) 2%含む	
SP1491	E 25	0.14	0.13	0.12	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3-5mm) 7%含む	
SP1492	E 25	0.13	0.09	0.09	1	10YR2 1 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径2-5mm) 7%含む	
SP1493	E 25	0.15	0.13	0.09	1	10YR3 1 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径5-10mm) 9%含む	
SP1494	E 25	0.18	0.16	0.15	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径5-10mm) 3%含む	
SP1495	E 25	0.15	0.15	0.14	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径5mm) 7%含む	
SP1496	E 25	0.26	0.18	0.21	1	10YR3 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	パミス(径1-2mm) 7%含む	
SP1497	E 25	0.15	0.15	0.12	1	10YR3 3 暗褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	パミス(径10-15mm) 2%含む	
SP1498	E 25	0.11	0.10	0.04	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径10mm) 2%含む	
SP1499	E 25	0.13	0.13	0.13	1	10YR3 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径5-2mm) 9%含む	
SP1500	E 25	0.17	0.15	0.14	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム 9%含む	
SP1501	E 25	0.15	0.15	0.09	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3-5mm) 7%含む	
SP1502	E 25	0.15	0.10	0.13	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3-5mm) 2%含む	
SP1503	E 25	0.22	0.20	0.14	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径10mm) 3%含む	
SP1504	E 25	0.16	0.11	0.13	1	10YR4 4 褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3mm) 20%含む	
SP1505	E 25	0.15	0.13	0.09	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整		
SP1506	E 25	0.16	0.16	0.09	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径10-20mm) 10%含む	
SP1507	E 25	0.16	0.12	0.13	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径5mm) 2%含む	
SP1508	E 25	0.16	0.16	0.15	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3-5mm) 19%含む	
SP1509	E 25	0.15	0.15	0.09	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	パミス(径1mm) 7%含む	
SP1510	E 25	0.23	0.18	0.07	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径10mm) 2%含む	
SP1511	E 25	0.16	0.16	0.08	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	パミス(径1-2mm) 7%含む	
SP1512	E 25	0.11	0.11	0.11	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径10mm) 3%含む	
SP1513	E 25	0.18	0.17	0.08	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	パミス・ロ-ム粒(径1-3mm) 2%含む	
SP1514	E 25	0.12	0.12	0.18	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3mm) 7%含む	
SP1515	E 25	0.17	0.16	0.10	1	10YR17 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3mm) 7%含む	
SP1516	E 25	0.15	0.14	0.08	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径10mm) 7%含む	
SP1517	E 25	0.14	0.12	0.20	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	(企) 層土主体 黒色土 9%含む	
SP1518	E 25	0.17	0.15	0.07	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3-5mm) 7%含む	
SP1519	E 25	0.17	0.15	0.10	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径10-20mm) 7%含む	
SP1520	E 25	0.14	0.12	0.20	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径10mm) 7%含む	
SP1521	E 25	0.17	0.14	0.11	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径15-20mm) 2%含む	
SP1522	E 25	0.13	0.14	0.08	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径1mm) 2%含む	
SP1523	E 25	0.16	0.13	0.10	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	焼土粒(径1mm) 3%含む	
SP1524	E 25	0.22	0.18	0.10	1	10YR2 3 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3-5mm) 7%含む	
SP1525	E 25	0.15	0.13	0.10	1	10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3-5mm) 7%含む 2 10YR3 2 黒褐色埴埴土 粘液中 緊密度整	ロ-ム粒(径3-5mm) 9%含む

遺構番号	位置	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	土色・土質		
SP1526	E 25	0.13	0.13	0.04	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度軟 □-ム粒 (径5-10mm) 7%含む
SP1527	E 25	0.12	0.11	0.09	1	10YR 3 3 暗褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬
SP1251	E 23	0.18	0.15	0.18	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 /バース (径5-10mm) 3%含む
SP1528	E 25	0.20	0.17	0.12	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3-10mm) 7%含む
SP1529	E 25	0.12	0.10	0.80	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 /バース (径5-10mm) 7%含む
SP1530	E 25	0.14	0.14	0.50	1	10YR2 3 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5mm) 7%含む
SP1531	E 25	0.12	0.10	0.10	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5mm) 3%含む 炭化物 (径5mm) 1%含む
SP1532	E 25	0.10	0.10	0.05	1	10YR2 2 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP1533	E 25	0.19	0.17	0.09	1	10YR 17 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3-7mm) 3%含む
SP1534	E 25	0.18	0.17	0.07	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5-7mm) 2%含む
SP1535	E 25	0.18	0.16	0.08	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径10mm) 13%含む
SP1536	E 25	0.17	0.15	0.08	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP1537	E 25	0.18	0.13	0.08	1	10YR 17 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬
SP1538	E 25	0.16	0.16	0.09	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5mm) 2%含む
SP1539	E 25	0.15	0.15	0.13	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径10mm) 9% 炭化物 (径5mm) 7%含む
SP1540	E 25	0.15	0.14	0.07	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬
SP1541	E 25	0.17	0.14	0.14	1	10YR2 2 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径10mm) 3%含む
SP1542	E 25	0.17	0.15	0.12	1	10YR 3 3 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム20%含む
SP1543	E 25	0.34	0.23	0.20	1	10YR 17 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径10-15mm) 3%含む
SP1544	E 25	0.15	0.12	0.10	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径10mm) 2%含む
SP1545	E 25	0.13	0.10	0.09	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5-10mm) 2%含む
SP1546	E 25	0.18	0.15	0.13	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度軟 □-ム粒 (径5-7mm) 2%含む
SP1547	E 25	0.15	0.15	0.08	1	10YR 17 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径10mm) 5%含む
SP1548	E 25	0.14	0.13	0.11	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3mm) 7%含む
SP1549	E 25	0.18	0.14	0.21	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5mm) 3%含む
SP1550	E 25	0.18	0.18	0.28	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5-10mm) 9%含む
SP1551	E 25	0.14	0.14	0.09	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3mm) 2%含む
SP1552	E 25	0.10	0.08	0.20	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5-10mm) 3%含む
SP1553	E 25	0.18	0.15	0.16	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5mm) 7%含む
SP1554	E 25	0.15	0.11	0.17	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径2-3mm) 7%含む
SP1555	E 25	0.15	0.13	0.16			
SP1556	E 25	0.12	0.12	0.08			
SP1557	E 25	0.15	0.12	0.13	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬
SP1558	E 25	0.18	0.15	0.10	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径10mm) 7%含む
SP1559	E 25	0.12	0.10	0.14			
SP1560	E 25	0.14	0.12	0.15			
SP1561	E 25	0.15	0.15	0.08			
SP1562	E 24	0.16	0.13	0.15	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径20mm) 2%含む
SP1563	E 25	0.18	0.18	0.17	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5-15mm) 7%含む
SP1564	E 25	0.20	0.16	0.07	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3mm) 2%含む
SP1565	E 25	0.11	0.10	0.11	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径2-3mm) 3%含む
SP1566	E 24	0.13	0.12	0.07	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP1561	E 25	0.15	0.15	0.08			
SP1567	E 24	0.15	0.14	0.06	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径2mm) 3%含む
SP1568	E 24	0.18	0.17	0.10	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP1569	E 24	0.17	0.16	0.09	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3-10mm) 3%含む
SP1570	E 24	0.15	0.14	0.14	1	10YR 17 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3mm) 9%含む
SP1571	E 24	0.17	0.12	0.07	1	10YR2 2 黒褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3-5mm) 9%含む
SP1572	E 24	0.17	0.16	0.14	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径10mm) 9%含む
SP1573	E 24	0.25	0.20	0.14	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径10-15mm) 7%含む
SP1574	E 24	0.16	0.13	0.17	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5mm) 3%含む
SP1575	E 24	0.17	0.15	0.29	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径3mm) 2%含む
SP1576	E 24	0.17	0.14	0.12	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径10-13mm) 7%含む
SP1577	E 24	0.16	0.11	0.09	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径5-10mm) 2%含む
SP1578	E 24	0.16	0.15	0.14	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径10-20mm) 3%含む
SP1579	E 24	0.12	0.10	0.08	1	10YR 17 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度軟
SP1580	E 24	0.14	0.14	0.08	1	10YR2 1 黒色埴埴土	粘性中 堅密度硬 □-ム粒 (径2mm) 7%含む
SP1581	E 24	0.12	0.12	0.16	1	10YR 3 3 暗褐色埴埴土	粘性中 堅密度硬 珪質土主体

遺構番号	位置	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	土色・土質	
SP1582	E 24	0.17	0.15	0.13	1	10YR 17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス(径10mm) 2%含む
SP1583	E 24	0.20	0.14	0.12		
SP1584	E 24	0.15	0.13	0.30		
SP1585	E 24	0.15	0.15	0.11	1	10YR 17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径1-3mm) 2%含む
SP1586	E 24	0.23	0.22	0.05	1	10YR 2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5mm) 3%含む
SP1587	E 24	0.16	0.12	0.07	1	10YR 17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径10mm) 7%含む
SP1588	E 24	0.10	0.10	0.16	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径1mm) 7%含む
SP1589	E 24	0.16	0.17	0.15	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5mm) 9%含む
SP1590	E 24	0.16	0.16	0.12	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3-5mm) 2%含む
SP1591	E 24	0.19	0.18	0.10	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径10mm) 3%含む
SP1592	E 24	0.18	0.19	0.20	1	10YR 17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径12mm) 7%含む
SP1593	E 24	0.14	0.13	0.04	1	10YR 17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3-5mm) 2%含む
SP1594	E 24	0.20	0.18	0.19	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整
SP1595	E 24	0.15	0.14	0.08	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整
SP1596	E 24	0.21	0.17	0.18	1	10YR 17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径10mm) 3%含む
SP1597	E 24	0.19	0.17	0.12	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整
SP1598	E 24	0.11	0.10	0.09	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3mm) 2%含む
SP1599	E 24	0.21	0.15	0.16	1	10YR 17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径10mm) 3%含む
SP1600	E 24	0.11	0.10	0.15	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径7-10mm) 7%含む
SP1601	E 24	0.19	0.17	0.08	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径10mm) 7%含む
SP1602	E 24	0.14	0.10	0.10	1	10YR 17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整
SP1603	E 24	0.16	0.15	0.12	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径2-3mm) 3%含む
SP1604	E 24	0.13	0.13	0.14	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス(径3mm) 7%含む
SP1605	E 24	0.08	0.08	0.12	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整
SP1606	E 24	0.19	0.18	0.09	1	10YR 2 1 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径10mm) 9%含む
SP1607	E 24	0.15	0.13	0.12	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径7mm) 2%含む
SP1608	E 24	0.29	0.26	0.15	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス(径3mm) 7%含む 2 10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3mm) 3%含む
SP1609	E 24	0.24	0.21	0.08	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3-5mm) 2%含む
SP1610	E 24	0.20	0.18	0.11	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス(径2mm) 3%含む
SP1611	E 24	0.16	0.14	0.06	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス(径1-2mm) 2%含む
SP1612	E 24	0.23	0.27	0.09	1	10YR 2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 パミス(径3mm) 7%含む
SP1613	E 24	0.22	0.18	0.10	1	10YR 2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム 9%含む
SP1614	E 24	0.14	0.14	0.15	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5-10mm) 2%含む
SP1615	E 24	0.12	0.10	0.18	1	10YR 2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径10-15mm) 3%含む
SP1616	E 24	0.17	0.15	0.11	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5-7mm) 3%含む
SP1617	F 23	0.24	0.20	0.19	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径2-3mm) 2%含む
SP1618	F 23	0.13	0.12	0.10	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3-5mm) 2%含む
SP1619	F 23	0.20	0.18	0.15	1	10YR 2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3-10mm) 3%含む 2 10YR 3 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3mm) 7%含む
SP1620	F 23	0.14	0.12	0.16	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径1-2mm) 2%含む 2 10YR 3 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3-5mm) 3%含む
SP1621	F 23	0.15	0.14	0.08	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3-5mm) 3%含む
SP1622	F 23	0.23	0.19	0.18	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5mm) 2%含む
SP1623	F 23	0.23	0.16	0.44	1	10YR 2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5-7mm) 7%含む 2 10YR 2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5mm) 2%含む
SP1624	F 23	0.18	0.12	0.16	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5mm) 2%含む
SP1625	F 23	0.15	0.14	0.12	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3mm) 2%含む
SP1626	F 23	0.18	0.15	0.13	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径10mm) 3%含む
SP1627	F 23	0.13	0.12	0.05	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス、〇-ム粒(径5mm) 3%含む 2 10YR 2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5mm) 2%含む
SP1628	F 23	0.20	0.14	0.23	1	10YR 2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5-10mm) 9%含む 2 10YR 17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5mm) 7%含む
SP1629	F 23	0.13	0.12	0.07	1	10YR 2 1 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5-10mm) 3%含む
SP1630	F 23	0.12	0.08	0.06	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5-7mm) 7%含む
SP1631	F 23	0.13	0.13	0.05	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径5mm) 3%含む
SP1632	F 23	0.18	0.15	0.15	1	10YR 3 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 パミス(径1mm) 7%含む
SP1633	F 23	0.20	0.18	0.10	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径3mm) 7%含む
SP1634	F 23	0.22	0.21	0.10	1	10YR 17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 パミス(径3-5mm) 2%含む
SP1635	F 23	0.15	0.13	0.04	1	10YR 2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径2mm) 7%含む
SP1636	F 23	0.18	0.17	0.09	1	10YR 2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 〇-ム粒(径1-2mm) 7%含む

遺構番号	位置	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	土色・土質	
SP1637	F 23	0.20	0.17	0.12	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP1638	F 23	0.16	0.15	0.15	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 バリス・ローム粒 (径7-10mm) 9%含む
SP1639	F 23	0.15	0.14	0.17	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP1640	F 23	0.18	0.18	0.08	1	10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径5mm) 7%含む
SP1641	F 23	0.24	0.18	0.08	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径1-2mm) 7%含む
SP1642	F 23	0.15	0.13	0.07	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径1-2mm) 7%含む
SP1643	F 23	0.17	0.17	0.15	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP1644	F 23	0.24	0.12	0.12	1	10YR3 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3-5mm) 10%含む
SP1645	F 23	0.18	0.18	0.10	1	10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP1646	G 23 H 23	0.11	0.10	0.11	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径5mm) 9%含む
SP1647	G 23	0.14	0.14	0.14	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP1648	G 23	0.18	0.17	0.16	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 バリス・ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP1649	G 23	0.17	0.15	0.18	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス・ローム粒 (径5mm) 9%含む
SP1650	G 23	0.18	0.15	0.15	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径5-10mm) 3% 炭化物 (径5mm) 7%含む
SP1651	G 22 23	0.18	0.18	0.13	1	10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径3mm) 7%含む
SP1652	G 23	0.17	0.13	0.16	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径3-10mm) 7%含む
SP1653	G 23	0.16	0.16	0.07	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3-10mm) 7%含む
SP1654	G 23	0.14	0.10	0.08	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 バリス・ローム粒 (径3-5mm) 9%含む
SP1655	G 23	0.15	0.13	0.08	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径3mm) 7%含む
SP1656	G 23	0.13	0.09	0.09	1	10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP1657	G 23	0.15	0.13	0.11	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径5-10mm) 3%含む
SP1658	G 23	0.16	0.16	0.11	1	10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径15mm) 3%含む
SP1659	G 23	0.15	0.15	0.12	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径10mm) 2% 炭化物 (径3mm) 7%含む
SP1660	G 23	0.19	0.16	0.16	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3-15mm) 3%含む
SP1661	G 23	0.16	0.15	0.15	1	10YR3 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3-10mm) 7%含む
SP1662	G 23	0.16	0.15	0.08	1	10YR3 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径15mm) 15%含む
SP1663	G 23	0.17	0.14	0.07	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス・ローム粒 (3-15mm) 9%含む
SP1664	H 23	0.19	0.18	0.17	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3-10mm) 3%含む
SP1665	G 23 H 23	0.24	0.17	0.18	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度軟 バリス (径1-2mm) 7%含む 2 10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径10mm) 7%含む
SP1666	G 23 24	0.16	0.14	0.17	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径1mm) 7%含む
SP1667	G 23 24	0.16	0.15	0.16	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3-10mm) 2%含む
SP1668	G 23	0.18	0.13	0.11	1	10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス・ローム粒 (3-5mm) 7%含む
SP1669	G 23	0.19	0.17	0.19	1	10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス・ローム粒 (3-10mm) 10%含む
SP1670	G 23	0.22	0.15	0.11	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径3-15mm) 2%含む
SP1671	G 23	0.18	0.17	0.11	1	10YR3 4 暗褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム 15%含む
SP1672	G 23	0.19	0.15	0.12	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径10-15mm) 2%含む
SP1673	G 23	0.17	0.13	0.06	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP1674	G 23	0.19	0.17	0.06	1	10YR3 4 暗褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径15mm) 10%含む
SP1675	G 23	0.20	0.17	0.07	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径10mm) 9%含む
SP1676	G 23	0.13	0.13	0.10	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径5-2mm) 3%含む
SP1677	F 23 G 23	0.14	0.14	0.15	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 バリス・ローム粒 (径5-7mm) 9%含む
SP1678	G 23	0.16	0.15	0.21	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径7mm) 7%含む
SP1679	G 23	0.11	0.08	0.06	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径5-10mm) 3%含む
SP1680	G 23	0.12	0.10	0.07	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径2mm) 2%含む
SP1681	G 23	0.17	0.14	0.11	1	10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP1682	G 23	0.12	0.09	0.50	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3mm) 9%含む
SP1683	G 23	0.15	0.12	0.08	1	10YR17 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP1684	G 23	0.14	0.13	0.08	1	10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径5-10mm) 7%含む
SP1685	G 23	0.19	0.18	0.07	1	10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径10-15mm) 7%含む
SP1686	G 23	0.16	0.14	0.11	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径3-5mm) 9%含む
SP1687	G 23	0.17	0.17	0.11	1	10YR3 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP1688	G 23	0.11	0.11	0.04	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP1689	G 23	0.15	0.14	0.14	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径10mm) 7%含む
SP1690	G 23	0.24	0.15	0.10	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径3mm) 9%含む
SP1691	H 24	0.20	0.17	0.10	1	10YR2 1 黒色埴土 粘性中 堅密度整 バリス (径1mm) 2%含む
SP1692	H 24	0.16	0.13	0.16	1	10YR2 2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径1-3mm) 2%含む
SP1693	G 24	0.21	0.19	0.12	1	10YR2 3 黒褐色埴土 粘性中 堅密度整 ローム粒 (径5mm) 7%含む

遺構番号	位置	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	土色・土質	
SP1694	G 24	0.18	0.12	0.07	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3mm) 2%含む
SP1695	G 24	0.18	0.15	0.11	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 パリス(径3mm) 7%含む
SP1696	H 24	0.19	0.17	0.20	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度軟 ロ—ム粒(径3mm) 7%含む
SP1697	G 24	0.19	0.18	0.12	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 パリス(径3mm) 7%含む
SP1698	G 24	0.18	0.16	0.15	1 10YR1 7 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径10mm) 2%含む
SP1699	G 24	0.16	0.11	0.09	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径10mm) 3%含む
SP1700	H 24	0.15	0.13	0.14	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5-10mm) 7%含む 炭化物(径10mm) 7%含む
SP1701	H 24	0.15	0.13	0.05	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5-10mm) 3%含む
SP1702	G 24	0.21	0.17	0.12	1 10YR1 7 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3-3mm) 2%含む
SP1703	G 24	0.16	0.13	0.22	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度軟 パリス(径5mm) 7%含む
SP1704	G 24	0.18	0.15	0.17	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5mm) 3%含む
SP1705	G 24	0.18	0.13	0.15	1 10YR2 3 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 パリス(径3mm) 7% 焼土粒(径3mm) 7%含む
SP1706	G 24	0.18	0.17	0.23	1 10YR2 3 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3-5mm) 3%含む
SP1707	G 24	0.15	0.14	0.05	1 10YR1 7 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 パリス(径5mm) 2%含む
SP1708	G 24	0.19	0.17	0.12	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 パリス・ロ—ム粒(径5mm) 3%含む
SP1709	G 24	0.29	0.15	0.23	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 パリス・ロ—ム粒(径3-15mm) 9%含む
SP1710	G 24	0.11	0.11	0.12	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5-10mm) 7%含む
SP1711	G 24	0.21	0.18	0.08	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3-5mm) 10%含む
SP1712	G 24	0.18	0.16	0.14	1 10YR1 7 1 黒色埴土	粘性中 堅密度軟 ロ—ム粒(径2mm) 3%含む
SP1713	G 23 24	0.22	0.21	0.21	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 パリス(径5-10mm) 7%含む
SP1714	G 24	0.17	0.15	0.08	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 パリス(径3mm) 7%含む
SP1715	G 24 F 24	0.19	0.14	0.11	1 10YR1 7 1 黒色埴土	粘性中 堅密度軟 ロ—ム粒(径5mm) 2%含む
SP1716	G 24 F 24	0.13	0.13	0.01	1 10YR1 7 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径10mm) 7%含む
SP1717	F 23 24	0.29	0.21	0.14		
SP1718	F 24	0.14	0.13	0.12		
SP1719	F 24	0.21	0.16	0.20		
SP1720	F 23 24	0.14	0.14	0.07		
SP1721	F 24	0.22	0.16	0.13	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3mm) 3%含む
SP1722	F 23-24	0.16	0.11	0.27		
SP1723	F 24	0.15	0.15	0.10	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5mm) 7%含む
SP1724	F 24	0.14	0.11	0.16	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度軟 杭
SP1725	F 24	0.18	0.17	0.11	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒 2%含む
SP1726	F 24	0.22	0.12	0.07	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5-10mm) 3%含む
SP1727	F 24	0.16	0.11	0.05	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3mm) 7%含む
SP1728	F 24	0.12	0.11	0.09	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3mm) 7%含む
SP1729	F 24	0.13	0.12	0.08	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5mm) 5%含む
SP1730	F 24	0.10	0.09	0.06	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5mm) 3%含む
SP1731	F 24	0.16	0.13	0.13	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3mm) 3%含む
SP1732	F 24	0.09	0.09	0.11	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5-2mm) 3%含む
SP1733	F 24	0.13	0.12	0.07	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径10mm) 3%含む
SP1734	F 24	0.19	0.18	0.08	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3mm) 7%含む
SP1735	F 24	0.18	0.14	0.18	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3-5mm) 2%含む
SP1736	F 24	0.09	0.08	0.07	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5mm) 3%含む
SP1737	F 24	0.19	0.11	0.12	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3-5mm) 7%含む
SP1738	F 24	0.17	0.10	0.05	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5mm) 3%含む
SP1739	F 24	0.20	0.11	0.14	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3mm) 3%含む
SP1740	F 24	0.10	0.10	0.05	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整
SP1741	F 24	0.18	0.14	0.11	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3-10mm) 2%含む
SP1742	F 24	0.13	0.07	0.05	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5mm) 7%含む
SP1743	F 24	0.14	0.14	0.12	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径1-3mm) 2%含む
SP1744	F 24	0.11	0.11	0.03	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム 3%含む
SP1745	F 24	0.15	0.13	0.14	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径1-2mm) 7%含む
SP1746	F 24	0.12	0.10	0.07	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3-2mm) 2%含む
SP1747	F 24	0.07	0.07	0.29	1 10YR2 2 黒褐色埴土	粘性中 堅密度軟 ロ—ム粒(径5-2mm) 3%含む 杭
SP1748	F 24	0.27	0.19	0.09	1 10YR1 7 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径15-20mm) 1%含む
SP1749	F 24	0.23	0.23	0.15	1 10YR1 7 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径3-5mm) 2%含む
SP1750	F 24	0.14	0.20	0.06	1 10YR2 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径5mm) 3%含む
SP1751	F 24	0.16	0.15	0.08	1 10YR1 7 1 黒色埴土	粘性中 堅密度整 ロ—ム粒(径1-2mm) 7%含む

遺構番号	位置	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	土色・土質
SP1752	F 24	0.14	0.11	0.09	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径2-5mm) 2%含む
SP1753	F 24	0.12	0.12	0.12	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3mm) 7%含む
SP1754	F 24	0.19	0.18	0.15	1 10YR17 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度軟 柱礎 2 10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5-15mm) 9%含む
SP1755	F 24	0.20	0.17	0.08	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 3%含む
SP1756	F 25	0.12	0.08	0.06	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 7%含む
SP1757	F 25	0.15	0.10	0.09	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 7%含む
SP1758	F 25	0.35	0.28	0.14	1 10YR17 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度しよゝ □-ム粒(径3-5mm) 7%含む
SP1759	F 25	0.15	0.14	0.12	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-5mm) 3%含む
SP1760	F 25	0.14	0.10	0.08	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-5mm) 9%含む
SP1761	F 25	0.18	0.13	0.06	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径2-3mm) 2%含む
SP1762	F 25	0.11	0.09	0.06	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 2%含む
SP1763	F 25	0.15	0.13	0.15	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3mm) 2%含む
SP1764	F 25 E 25	0.28	0.15	0.08	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径2-5mm) 2%含む
SP1765	F 25 E 25	0.08		0.07	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-5mm) 3%含む
SP1766	F 25	0.27	0.12	0.09	1 10YR2 3 黒褐色埴埴土 粘液中 堅密度堅 パズス □-ム粒(径2mm) 2%含む
SP1767	F 25	0.14	0.13	0.09	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 7% 炭化物(径5mm) 7%含む
SP1768	F 25	0.15	0.11	0.10	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-5mm) 9%含む 2 10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-5mm) 7%含む
SP1769	F 25	0.10	0.10	0.09	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 7%含む
SP1770	F 25	0.12	0.11	0.05	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 7%含む
SP1771	F 25	0.11	0.08	0.12	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5-10mm) 3%含む 杭
SP1772	F 25	0.13	0.12	0.07	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 パズス □-ム粒(径3-5mm) 7%含む
SP1773	F 25	0.15	0.15	0.12	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5-15mm) 7%含む
SP1774	F 25	0.09	0.08	0.06	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 2%含む
SP1775	F 25	0.10	0.10	0.05	1 10YR17 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3mm) 7%含む
SP1776	F 25	0.13	0.10	0.09	1 10YR17 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-5mm) 2%含む
SP1777	F 25	0.15	0.10	0.05	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-5mm) 9%含む
SP1778	F 25	0.11	0.10	0.05	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-5mm) 2%含む
SP1779	F 25	0.24	0.18	0.08	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 柱礎 2 10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径10mm) 10%含む
SP1780	F 25	0.12	0.09	0.12	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-3mm) 3%含む
SP1781	F 25	0.13	0.11	0.10	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 7%含む
SP1782	F 25	0.24	0.15	0.11	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-2mm) 15%含む
SP1783	G 25	0.13	0.13	0.07	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3mm) 3%含む
SP1784	G 25	0.12	0.10	0.06	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-5mm) 9% 炭化物 7%含む
SP1785	G 25	0.14	0.12	0.08	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 9%含む
SP1786	G 25	0.18	0.11	0.09	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5-10mm) 7%含む
SP1787	G 25	0.12	0.11	0.05	1 10YR17 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3mm) 9%含む
SP1788	G 25	0.15	0.13	0.05	1 10YR3 2 黒褐色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 3%含む
SP1789	G 25	0.12	0.11	0.05	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径2-3mm) 3%含む
SP1790	G 25	0.17	0.16	0.15	1 10YR17 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径7-10mm) 10%含む
SP1791	G 25	0.13	0.13	0.07	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 7%含む
SP1792	G 25	0.16	0.13	0.06	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 3%含む
SP1793	G 25	0.14	0.11	0.13	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5mm) 2%含む
SP1794	G 25	0.17	0.14	0.14	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 堅密度軟 パズス(径1-2mm) 7%含む
SP1795	G 25	0.13	0.09	0.09	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5-15mm) 7%含む
SP1796	G 25	0.08	0.08	0.20	1 10YR2 2 黒褐色埴埴土 粘液中 堅密度軟 □-ム粒(径5mm) 7%含む 杭
SP1797	G 25	0.14	0.11	0.13	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径3-10mm) 9%含む
SP1798	G 25	0.18	0.12	0.15	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度軟 柱礎 2 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム 20%含む
SP1799	G 25	0.13	0.12	0.12	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5-10mm) 2%含む
SP1800	G 25	0.15	0.12	0.17	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径10mm) 3%含む
SP1801	G 25	0.20	0.15	0.06	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径15-20mm) 3%含む
SP1802	G 25	0.09	0.09	0.22	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度軟 □-ムブロック 10%含む
SP1803	G 25	0.23	0.21	0.14	1 10YR2 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度軟 □-ム粒(径10-15mm) 2%含む
SP1804	G 25	0.12	0.10	0.17	1 10YR17 1 黒色埴埴土 粘液中 堅密度堅 □-ム粒(径5-10mm) 2%含む 杭

遺構番号	位置	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	土色・土質
SP1805	G 25	0.15	0.12	0.10	1 10YR 1.7 黒色埴埴土 粘性中 堅密度軟 □-△粒(径5mm) 7%含む 柱痕 2 10YR 2.2 黒褐色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒 10%含む
SP1806	G 25	0.10	0.19	0.07	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度軟 □-△粒(径3-5mm) 3%含む
SP1807	G 25	0.15	0.14	0.26	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径3-5mm) 3%含む
SP1808	G 25	0.13	0.09	0.06	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径3mm) 7%含む
SP1809	G 25	0.13	0.13	0.05	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5mm) 12%含む
SP1810	G 25	0.18	0.15	0.15	1 10YR 1.7 1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10-15mm) 3%含む
SP1811	G 25	0.14	0.13	0.10	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径3-10mm) 9%含む
SP1812	G 25	0.17	0.12	0.14	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒 3%含む
SP1813	G 25	0.19	0.17	0.06	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径3-5mm) 3%含む
SP1814	G 25	0.22	0.16	0.06	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10-15mm) 9%含む
SP1815	G 25	0.14	0.13	0.11	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径1mm) 7%含む
SP1816	G 25	0.12	0.11	0.07	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径1-2mm) 3%含む
SP1817	G 25	0.10	0.09	0.08	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径1mm) 3%含む
SP1818	G 25	0.13	0.13	0.08	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10mm) 7%含む
SP1819	G 25	0.10	0.09	0.09	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5-10mm) 2%含む
SP1820	G 26	0.18	0.14	0.12	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5mm) 7%含む
SP1821	G 26	0.12	0.07	0.10	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10mm) 9%含む
SP1822	G 26	0.15	0.12	0.08	1 10YR 2.2 黒褐色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10mm) 7%含む
SP1823	G 26	0.15	0.13	0.10	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径15mm) 3%含む
SP1824	G 26	0.19	0.14	0.22	1 10YR 1.7 1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10-15mm) 3%含む
SP1825	G 26	0.14	0.09	0.07	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10mm) 7%含む
SP1826	G 26	0.16	0.10	0.06	1 10YR 1.7 1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 パミス・ローム粒(径3mm) 2%含む
SP1827	G 26	0.28	0.20	0.11	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径3-10mm) 9%含む
SP1828	G 26	0.11	0.09	0.04	1 10YR 2.2 黒褐色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径2mm) 7%含む
SP1829	G 26	0.14	0.09	0.19	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5-10mm) 3%含む
SP1830	G 26	0.18	0.14	0.07	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径3-15mm) 9%含む
SP1831	G 26	0.14	0.10	0.12	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径2mm) 2%含む
SP1832	G 26	0.12	0.10	0.07	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径1mm) 7%含む
SP1833	G 26	0.14	0.13	0.06	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径1mm) 7%含む
SP1834	G 26	0.18	0.15	0.08	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5mm) 7%含む
SP1835	G 26	0.11	0.08	0.08	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5-10mm) 7%含む
SP1836	G 26	0.21	0.15	0.12	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10mm) 2%含む 2 10YR 2.2 黒褐色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径20mm) 20%含む
SP1837	G 26	0.12	0.11	0.04	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10mm) 9%含む
SP1838	G 26	0.14	0.12	0.07	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5mm) 2%含む
SP1839	G 26	0.14	0.12	0.09	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5-7mm) 2%含む
SP1840	G 26	0.12	0.10	0.12	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径2-3mm) 2%含む
SP1841	G 26	0.17	0.13	0.12	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径3mm) 7%含む
SP1842	G 26	0.09	0.07	0.19	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10mm) 9%含む 杭
SP1843	G 26	0.16	0.14	0.01	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径3-5mm) 3%含む
SP1844	G 26	0.13	0.12	0.07	1 10YR 2.2 黒褐色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5mm) 3%含む
SP1845	G 26	0.19	0.14	0.07	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5-10mm) 9%含む
SP1846	G 26	0.13	0.16	0.09	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5-7mm) 3%含む
SP1847	G 26	0.19	0.12	0.15	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10-15mm) 9%含む
SP1848	G 26	0.26		0.10	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5mm) 9%含む 2 10YR 1.7 1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅
SP1849	G 26	0.17	0.11	0.12	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10mm) 2%含む
SP1850	G 26	0.14	0.14	0.09	1 10YR 1.7 1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 パミス(径3mm) 7%含む
SP1851	G 26	0.24	0.14	0.08	1 10YR 1.7 1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5-10mm) 3%含む 2 10YR 2.2 黒褐色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5-10mm) 3%含む
SP1852	G 26	0.19	0.15	0.13	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径3-5mm) 3%含む
SP1853	G 26	0.17	0.14	0.09	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5-10mm) 7%含む
SP1854	G 26	0.19	0.12	0.06	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5-15mm) 3%含む
SP1855	G 26	0.16		0.08	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径5mm) 7%含む
SP1856	G 26	0.13	0.13	0.09	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10mm) 3%含む
SP1857	G 26	0.11	0.11	0.09	1 10YR 2.2 黒褐色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10mm) 7%含む
SP1858	G 26	0.16	0.09	0.08	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径10mm) 2%含む
SP1859	G 26	0.18	0.08	0.06	1 10YR 2.2 黒褐色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径15mm) 3%含む
SP1861	G 26	0.15	0.12	0.06	1 10YR 2.1 黒色埴埴土 粘性中 堅密度堅 □-△粒(径3mm) 3%含む

遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質	
SP1862	G-26	0.14	0.15	0.09	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 5%含む
SP1863	G-26	0.14	0.10	0.06	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径15mm) 7%含む
SP1864	G-26	0.13	0.10	0.04	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 2%含む
SP1865	G-26	0.19	0.13	0.05	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む
SP1866	G-26	0.16	0.16	0.08	1 10YR1.7/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP1867	G-26	0.14	0.13	0.09	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-10mm) 3%含む
SP1868	G-26	0.11	0.10	0.12	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 1%含む
SP1869	G-25-26	0.12	0.11	0.10	1 10YR1.7/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 1%含む
SP1870	G-25-26	0.15	0.07	0.07	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 2%含む
SP1871	G-25-26	0.09	0.09	0.18	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む 枕
SP1872	G-26	0.18	0.17	0.13	1 10YR3/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ハリス (径10mm) 1%含む
SP1873	G-26	0.17	0.12	0.10	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 1%含む
SP1874	F-26	0.16	0.13	0.08	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP1875	F-26	0.13	0.11	0.09	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1876	F-26	0.11	0.10	0.09	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 1%含む
SP1877	F-26	0.14	0.14	0.08	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む
SP1878	F-26	0.11	0.11	0.05	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 5%含む
SP1879	F-26	0.13	0.11	0.09	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP1880	F-26	0.15	0.13	0.09	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径15-20mm) 10%含む
SP1881	F-26	0.14	0.11	0.08	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 7%含む
SP1882	F-26	0.15	0.11	0.07	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ハリス (径5-10mm) 3%含む
SP1883	F-26	0.11	0.11	0.03	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む
SP1884	F-26	0.11	0.10	0.04	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP1885	F-26	0.11	0.09	0.07	1 10YR1.7/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2-3mm) 5%
SP1886	F-26	0.21	0.16	0.11	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 1%含む
SP1887	F-26	0.19	0.13	0.11	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2-3mm) 5%含む
SP1888	F-26	0.09	0.09	0.12	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む 枕
SP1889	F-26	0.14	0.13	0.05	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP1890	F-26	0.16	0.13	0.04	1 10YR1.7/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1891	F-26	0.18	0.14	0.10	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1892	F-26	0.18	0.15	0.08	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP1893	F-26	0.12	0.09	0.11	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム15%含む
SP1894	F-26	0.14	0.12	0.07	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10-15mm) 3%含む
SP1895	F-26	0.21	0.16	0.07	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1896	F-26	0.13	0.12	0.06	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2-5mm) 5%含む
SP1897	F-27	0.09	0.07	0.25	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 3%含む 枕
SP1898	F-26-27	0.24	0.23	0.07	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2-3mm) 3%含む
SP1899	F-27	0.15	0.10	0.05	1 10YR1.7/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 1%含む
SP1900	F-27	0.10	0.10	0.13	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1901	F-27	0.18	0.17	0.05	1 10YR1.7/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む
SP1902	F-27	0.11	0.11	0.06	1 10YR1.7/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 5%含む
SP1903	H-24-25	0.21	0.13	0.12	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 2%含む
SP1904	H-25	0.14	0.11	0.11	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP1905	H-25	0.18	0.17	0.08	1 10YR3/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP1906	H-25	0.17	0.10	0.26	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ハリス・ローム粒 (径10-15mm) 1%含む
SP1907	H-25	0.13	0.10	0.07	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 7%含む
SP1908	H-25	0.14	0.09	0.09	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 5%含む
SP1909	H-25	0.15	0.05	0.05	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP1910	H-25	0.25	0.20	0.11	1 10YR3/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 5%含む 2 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP1911	H-25	0.12	0.11	0.07	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP1912	H-25	0.17	0.10	0.12	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1913	H-25-26	0.20	0.17	0.17	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 2%含む
SP1914	H-25	0.17	0.08	0.06	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 5%含む
SP1915	H-25	0.15	0.15	0.14	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP1916	H-25	0.14	0.12	0.26	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む 2 10YR3/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP1917	H-25	0.16	0.06	0.06	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 2%含む
SP1918	H-25	0.13	0.13	0.05	1 10YR2/2	黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 5%含む
SP1919	H-25	0.22	0.17	0.09	1 10YR2/1	黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む



遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質
SP1920	H-25	0.17	0.13	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1921	H-25	0.15	0.14	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP1922	H-25	0.10	0.09	0.11	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP1923	H-26	0.16	0.14	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 7%含む
SP1924	H-26	0.15	0.13	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 5%含む
SP1925	H-26	0.14	0.14	0.21	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径10mm) 5%含む 柱状 2 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP1926	H-26	0.10	0.09	0.05	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 10%含む
SP1927	H-26	0.18	0.16	0.12	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 15%含む
SP1928	H-26	0.14	0.10	0.10	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む 2 10YR4/4 褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム主体 黒色土10%含む
SP1929	H-26	0.17	0.14	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 5%含む
SP1930	H-26	0.12	0.10	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP1931	H-26	0.13	0.11	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 5%含む
SP1932	H-26	0.20	0.14	0.10	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP1933	H-26	0.09	0.07	0.03	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム7%含む
SP1934	H-26	0.20	0.14	0.04	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 7%含む
SP1935	H-26	0.10	0.06	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 3%含む
SP1936	H-26	0.14	0.10	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1937	H-26	0.19	0.15	0.08	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 15%含む
SP1938	H-26	0.13	0.09	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む
SP1939	H-26	0.13	0.13	0.10	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 7%含む
SP1940	H-26	0.25	0.22	0.12	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-15mm) 1%含む
SP1941	H-26	0.16	0.14	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP1942	H-26	0.15	0.13	0.36	1 10YR4/3 赤い・黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP1943	H-26	0.24	0.16	0.05	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む
SP1944	H-26	0.10	0.10	0.04	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP1945	H-26	0.25	0.19	0.12	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型
SP1946	H-26	0.13	0.07	0.17	17.5YR3/3 暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 2%含む
SP1947	H-26	0.09	0.08	0.14	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む 枕
SP1948	H-26	0.14	0.13	0.11	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 7%含む
SP1949	H-26	0.19	0.15	0.06	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1950	H-26	0.13	0.06		1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 2%含む
SP1951	H-26	0.14	0.12	0.05	1 10YR2/2黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 7%含む
SP1952	H-26	0.16	0.11	0.07	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP1953	H-26	0.27	0.16	0.18	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 2%含む 2 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 10%含む
SP1954	H-26	0.15	0.13	0.10	1 10YR2/2黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 5%含む
SP1955	H-26	0.13	0.15		1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径15mm) 3%含む
SP1956	G,J-H-26	0.19	0.105	0.09	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1957	H-26	0.16	0.11	0.02	1 10YR2/2黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 7%含む
SP1958	H-26	0.19	0.13	0.05	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 10%含む
SP1959	H-26	0.11	0.09	0.09	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径15mm) 15%含む
SP1960	H-26	0.09	0.10		1 10YR5/4赤い・黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム主体
SP1961	H-26	0.13	0.11	0.06	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 7%含む
SP1962	H-26	0.14	0.10	0.05	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP1963	H-26	0.17	0.17	0.07	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 3%含む
SP1964	H-26	0.14	0.09	0.09	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 5%含む
SP1965	H-26	0.12	0.11	0.03	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 7%含む
SP1966	H-26	0.16	0.07	0.04	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 3%含む
SP1967	H-27	0.11	0.10	0.05	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 5%含む
SP1968	H-27	0.16	0.16	0.09	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 5%含む
SP1969	H-27	0.20	0.18	0.09	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 7%含む
SP1970	H-27	0.18	0.17	0.09	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム15%含む
SP1971	H-27	0.13	0.10	0.08	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP1972	H-27	0.18	0.17	0.05	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 7%含む
SP1973	H-27	0.21	0.17	0.15	1 10YR5/6黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ロームP ロック主体暗褐色土20%含む
SP1974	H-27	0.11	0.10	0.04	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 7%含む
SP1975	H-27	0.17	0.15	0.14	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 10%含む
SP1976	H-27	0.15	0.12	0.04	1 10YR2/2黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む

遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質
SP1977	H-27	0.10	0.10	0.14	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10~15mm) 10%含む
SP1978	H-27	0.11	0.10	0.13	1 10YR2/2黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~7mm) 7%含む
SP1979	H-27	0.19	0.18	0.13	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP1980	H-27	0.23	0.23	0.18	1 10YR2/2黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~5mm) 10%含む
SP1981	H-27	0.19	0.14	0.12	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む
SP1982	H-27	0.11	0.08	0.18	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 7%含む
SP1983	H-27	0.10	0.08	0.10	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP1984	H-27	0.19	0.14	0.19	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径5mm) 2%含む 柱頭 2 10YR2/2黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 15%含む
SP1985	H-27	0.19	0.18	0.10	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP1986	H-27	0.21	0.16	0.12	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP1987	H-27	0.12	0.09	0.04	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~5mm) 5%含む
SP1988	H-27	0.17	0.11	0.09	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10~15mm) 10%含む
SP1989	H-27	0.14	0.12	0.07	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む
SP1990	H-27	0.15	0.12	0.07	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP1991	H-26.27	0.16	0.09	0.14	1 10YR2/2黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 1%含む
SP1992	H-27	0.13	0.11	0.15	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10~20mm) 5%含む
SP1993	H-27	0.15	0.10	0.08	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1994	H-27	0.14	0.12	0.07	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1995	H-27	0.28	0.17	0.15	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 1%含む
SP1996	H-27	0.15	0.10	0.08	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 2%含む
SP1997	H-27	0.19	0.22	0.06	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~5mm) 2%含む 210YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP1998	H-27	0.22	0.16	0.07	1 10YR2/2黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP1999	H-27	0.16	0.12	0.15	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む
SP2000	H-27	0.13	0.13	0.06	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 7%含む
SP2001	H-27	0.18	0.18	0.16	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 1%含む
SP2002	H-27	0.19	0.13	0.12	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 2%含む
SP2003	H-27	0.16	0.12	0.08	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 2%含む
SP2004	H-27	0.09	0.09	0.14	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10~15mm) 3%含む
SP2005	H-27	0.13	0.11	0.05	1 10YR2/1黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~5mm) 2%含む
SP2006	G-27	0.18	0.15	0.11	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2007	G-27	0.22	0.17	0.07	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 1%含む
SP2008	G-27	0.11	0.09	0.15	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~5mm) 7%含む
SP2009	G-27	0.16	0.14	0.08	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2010	G-27	0.08	0.07	0.05	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2011	G-27	0.15	0.13	0.07	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~5mm) 2%含む
SP2012	G-27	0.16	0.12	0.06	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP2013	G-27	0.16	0.13	0.09	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP2014	G-27	0.13	0.08	0.20	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 1%含む
SP2015	G-27	0.14	0.11	0.10	1 10YR2/2黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5~10mm) 7%含む
SP2016	G-27	0.22	0.17	0.08	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型パリス、ローム粒 (径3~5mm) 3%含む
SP2017	G-27	0.21	0.19	0.08	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む
SP2018	G-27	0.17	0.11	0.04	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP2019	G-27	0.19	0.13	0.05	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む
SP2020	G-27	0.14	0.10	0.05	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型パリス、ローム粒 (径3mm) 5%含む
SP2021	G-27	0.15	0.14	0.12	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 柱頭 210YR5/4 における黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム主体 黒褐色土15%含む
SP2022	G-27	0.13	0.12	0.05	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2023	G-27	0.17	0.16	0.09	1 10YR1.7/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度軟 柱頭 210YR3/3 暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム主体 黒褐色土15%含む
SP2024	G-27	0.14	0.11	0.08	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 2%含む
SP2025	G-27	0.13	0.13	0.15	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~5mm) 5%含む
SP2026	M-37	0.21	0.18	0.10	1 10YR2/1黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2027	M-36	0.17	0.15	0.05	1 10YR3/3暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP2028	M-36	0.19	0.14	0.14	1 10YR4/4褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム主体
SP2029	M-36	0.13	0.10	0.09	1 10YR4/3における黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型
SP2030	M-36	0.18	0.09	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径2mm) 1%含む
SP2031	M-36	0.13	0.08	0.13	1 10YR4/4 褐色埴壤土 粘性中 堅密度型
SP2032	M-36	0.14	0.19	0.10	1 10YR4/4 褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 2%含む

遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質	
SP2033	M-36	0.16	0.10	0.12	1 10YR2/2	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP2034	M-35	0.18	0.15	0.06	1 10YK3/3	暗褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2035	M-35	0.18	0.14	0.10	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 パリス (径5-10mm) 1%含む
SP2036	M-35	0.15	0.14	0.14	1 10YK3/3	暗褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 2%含む
SP2037	M-35	0.17	0.12	0.26	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 2%含む 枕
SP2038	M-35	0.20	0.18	0.16	1 10YK3/3	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 5%含む 210YR2/2 黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 5%含む
SP2039	M-35	0.22	0.17	0.13	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 5%含む
SP2040	M-35	0.18	0.13	0.07	1 10YK3/2	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 3%含む
SP2041	M-35	0.17	0.13	0.05	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-7mm) 3%含む
SP2042	M-35	0.20	0.13	0.24	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 1%含む
SP2043	M-35	0.27	0.10	0.11	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 1%含む
SP2044	M-35	0.10	0.08	0.13	1 10YR2/2	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 5%含む 枕
SP2045	L-36	0.14	0.12	0.10	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP2046	L-36	0.16	0.13	0.17	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 2%含む
SP2047	L-35	0.26	0.23	0.10	1 10YK3/3	暗褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm)
SP2048	L-35	0.13	0.12	0.12	1 10YR2/2	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 2%含む
SP2049	L-35	0.12	0.08	0.12	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 3%含む 枕
SP2050	L-35	0.15	0.13	0.15	1 10YR2/2	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10-15mm) 3%含む
SP2051	L-35	0.13	0.13	0.03	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型
SP2052	L-35	0.15	0.14	0.03	1 10YK3/2	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP2053	H-23	0.15	0.11	0.04	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2054	H-23	0.12	0.11	0.04	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 パリス・ローム粒 (径10mm) 1%含む
SP2055	H-23	0.17	0.14	0.27	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 3%含む
SP2056	H-23	0.17	0.11	0.11	1 10YR2/2	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む
SP2057	H-23	0.15	0.14	0.09	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2058	H-23	0.14	0.09	0.04	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 5%含む
SP2059	H-23	0.13	0.09	0.10	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2060	H-23	0.13	0.12	0.11	1 10YR1.7/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 5%含む
SP2061	H-23	0.18	0.15	0.28	1 10YK3/3	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 パリス・ローム粒 (径2-3mm) 3%含む
SP2062	H-23	0.15	0.13	0.04	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP2063	H-23	0.20	0.17	0.06	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 5%含む
SP2064	H-23	0.15	0.10	0.04	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 1%含む
SP2065	H-23	0.15	0.11	0.04	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む
SP2066	H-23 G-23	0.19	0.17	0.17	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径15mm) 2%含む
SP2067	G-23	0.13	0.13	0.18	1 10YR2/2	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10-15mm) 7%含む
SP2068	H-23	0.22	0.18	0.19	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 1%含む
SP2069	H-23	0.15	0.11	0.06	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2070	H-23	0.18	0.15	0.08	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 パリス・ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2071	H-23	0.18	0.14	0.08	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径15-20mm) 30%含む
SP2072	H-23	0.19	0.10	0.08	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 2%含む
SP2073	H-23	0.20	0.18	0.19	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型
SP2074	H-23	0.16	0.16	0.15	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム3%含む
SP2075	H-23	0.20	0.17	0.16	1 10YR1.7/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 5%含む
SP2076	H-24	0.20	0.14	0.10	1 10YR2/2	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒を含む
SP2077	H-24	0.24	0.19	0.19	1 10YR2/1	堅密度型 パリス (径1mm) 1%含む
SP2078	H-24	0.10	0.14	0.20	1 10YR2/2	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 パリス (径5mm) 2%含む
SP2079	H-24			0.08	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2.3mm) 3%含む
SP2080	H-24	0.17	0.17	0.10	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 2%含む
SP2081	H-24	0.19	0.15	0.15	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 パリス (径2mm) 1%含む
SP2082	H-24	0.14	0.09	0.03	1 10YR1.7/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 2%含む
SP2083	H-24	0.17	0.15	0.05	1 10YR2/2	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 5%含む
SP2084	H-24	0.23	0.15	0.24	1 10YR2/2	黒褐色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2085	H-24	0.13	0.10	0.07	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-7mm) 2%含む
SP2086	H-24	0.15	0.15	0.04	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 5%含む
SP2087	H-24	0.20	0.15	0.15	1 10YR1.7/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2088	H-24	0.19	0.13	0.04	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型
SP2089	H-24	0.15	0.14	0.06	1 10YR1.7/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 2%含む
SP2090	H-24	0.12	0.12	0.07	1 10YR2/1	黒色埴土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む

遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質
SP2091	H-24 G-24	0.17	0.13	0.28	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径3mm) 2%含む 2 10YR2/3 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径5-10mm) 7%含む
SP2092	H-24	0.17	0.18	0.24	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス・ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2093	H-24	0.16	0.14	0.22	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2094	H-24	0.11	0.10	0.09	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 2%含む
SP2095	H-24	0.21	0.20	0.12	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2096	H-23.24	0.14	0.13	0.06	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2097	K-26	0.21	0.17	0.23	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10-15mm) 3%含む
SP2098	K-26	0.15	0.14	0.04	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む
SP2099	K-26	0.16	0.13	0.06	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2100	K-26	0.20	0.18	0.08	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径7-10mm) 2%含む
SP2101	K-26	0.17	0.13	0.10	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む
SP2102	K-26	0.13	0.13	0.13	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径10mm) 1%含む 2 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 1%含む
SP2103	K-26	0.15	0.13	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2104	K-26.27	0.15	0.14	0.09	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径15-20mm) 3%含む
SP2105	K-26	0.16	0.16	0.15	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2106	K-26	0.10	0.07	0.08	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2107	K-26	0.12	0.10	0.11	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP2108	K-26	0.11	0.10	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP2109	K-26	0.14	0.11	0.20	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径3mm) 3%含む
SP2110	K-26	0.15	0.12	0.16	1 10YR2/3 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径10mm) 3%含む
SP2111	K-26	0.13	0.10	0.10	1 10YR3/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径7mm) 2%含む
SP2112	K-26	0.17	0.11	0.20	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 1%含む
SP2113	K-26	0.15	0.12	0.30	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 1%含む
SP2114	K-26	0.13	0.11	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 2%含む
SP2115	K-26	0.15	0.15	0.09	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径10mm) 3%含む
SP2116	K-26	0.13	0.11	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2117	K-27	0.23	0.18	0.18	1 10YR4/3 にごり黄褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径15mm) 7%含む
SP2118	K-27	0.18	0.16	0.23	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2119	K-27	0.18	0.15	0.12	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2120	K-27	0.19	0.16	0.17	1 10YR3/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2121	K-27	0.13	0.11	0.04	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む
SP2122	K-27	0.17	0.17	0.18	1 10YR3/3 暗褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径10mm) 3%含む
SP2123	K-27	0.21	0.21	0.11	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径15mm) 3%含む
SP2124	K-27	0.20	0.15	0.05	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 5%含む
SP2125	K-27	0.16	0.15	0.26	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む 柱状 2 10YR4/3 にごり黄褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10-15mm) 3%含む
SP2126	K-27	0.14	0.11	0.19	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径3mm) 1%含む
SP2127	K-27	0.11	0.10	0.15	1 10YR2/2 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP2128	K-27	0.22	0.18	0.11	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2129	K-27	0.13	0.13	0.23	1 10YR3/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 5%含む
SP2130	K-27	0.14	0.12	0.24	1 10YR2/3 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス・ローム粒 (径3-7mm) 2%含む
SP2131	K-27	0.16	0.11	0.04	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 2%含む
SP2132	K-27	0.19	0.15	0.10	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 7%含む
SP2133	K-27	0.19	0.15	0.10	1 10YR3/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP2134	K-27	0.19	0.16	0.18	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む 2 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径3-5mm) 5%含む
SP2135	K-27	0.13	0.10	0.18	1 10YR2/1 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 2%含む
SP2136	K-27	0.15	0.11	0.30	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10-20mm) 5%含む
SP2137	K-27	0.09	0.08	0.15	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2138	K-27	0.13	0.09	0.16	1 10YR3/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 5%含む
SP2139	K-27	0.09	0.09	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径7mm) 2%含む
SP2140	L-34	0.15	0.19	0.08	1 10YR4/6 褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径5mm) 1%含む
SP2141	L-34	0.13	0.12	0.13	1 10YR4/6 褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径3mm) 1%含む
SP2142	L-34	0.13	0.11	0.04	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径7mm) 3%含む
SP2143	L-34	0.14	0.14	0.06	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径5-10mm) 3%含む
SP2144	L-34	0.10	0.10	0.13	1 10YR5/6 黄褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径7mm) 1%含む
SP2145	K-28	0.17	0.13	0.06	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2146	K-28	0.15	0.15	0.12	1 10YR3/3 暗褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 パミス (径10-15mm) 2%含む

遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質	
SP2147	K-28	0.13	0.10	0.04	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2148	K-28	0.10	0.10	0.09	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2149	K-28	0.20	0.15	0.52	1 10YR2/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ロームブロック15%含む
SP2150	K-28	0.18	0.15	0.34	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2151	K-28	0.18	0.17	0.17	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2152	K-28	0.21	0.20	0.13	1 10YR2/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む
SP2153	K-28	0.16	0.15	0.26	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 7%含む
SP2154	K-28	0.18	0.17	0.14	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 パリス (径5mm) 1%含む
SP2155	K-28	0.21	0.10	0.11	1 10YR2/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 5%含む
SP2156	K-28	0.14	0.12	0.18	1 10YR2/2	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 7%含む 2 10YR2/2 黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む
SP2157	K-28	0.14	0.14	0.20	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 5%含む
SP2158	K-28	0.12	0.10	0.10	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む
SP2159	K-28	0.13	0.12	0.06	1 10YR2/3	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む
SP2160	K-28	0.12	0.90	0.18	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径10-15mm) 5%含む 柱眼 2 10YR4/3 に赤い黄褐色焼土 粘土中 堅密度型 パリス (径5mm) 2%含む
SP2161	K-28	0.12	0.12	0.11	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径15-20mm) 7%含む
SP2162	K-28	0.12	0.90	0.20	1 10YR2/2	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 3%含む
SP2163	K-28	0.15	0.12	0.06	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2164	K-28	0.12	0.90	0.11	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2165	K-28	0.17	0.13	0.13	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 2%含む
SP2166	K-28	0.11	0.11	0.11	1 10YR2/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2167	K-28	0.10	0.09	0.14	1 10YR2/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 パリス・ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2168	K-28	0.22	0.15	0.24	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP2169	L-29	0.19	0.14	0.32	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 7%含む
SP2170	L-29	0.13	0.10	0.11	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む 桃
SP2171	L-29	0.11	0.11	0.09	1 10YR2/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2172	L-29	0.12	0.09	0.13	1 10YR2/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 パリス (径5mm) 1%含む
SP2173	L-29	0.17	0.13	0.08	1 10YR3/4	暗褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む
SP2174	K-30	0.32	0.24	0.34	1 10YR1/7	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径15mm) 7%含む
SP2175	K-30	0.14	0.12	0.13	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 パリス (径3-5mm) 2%含む
SP2176	K-30	0.20	0.24	0.36	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 7%含む
SP2177	K-30	0.14	0.12	0.06	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む
SP2178	K-30.31	0.40	0.30	0.17	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径10-15mm) 7%含む
SP2179	K-30	0.30	0.26	0.20	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径10-15mm) 10%含む
SP2180	K-31	0.18	0.12	0.04	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 5%含む
SP2181	K-31	0.12	0.09	0.07	1 10YR2/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2182	J-27	0.20	0.19	0.24	1 10YR2/3	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 5%含む
SP2183	J-27	0.12	0.10	0.19		
SP2184	J-27	0.16	0.15	0.11		
SP2185	J-27	0.21	0.17	0.07		
SP2186	J-27	0.18	0.11	0.11	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP2187	J-27	0.11	0.10	0.13	1 10YR2/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 5%含む
SP2188	J-27	0.17	0.12	0.13	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 1%含む
SP2189	J-27	0.17	0.16	0.04	1 10YR1/7	黒色焼土 粘土中 堅密度型
SP2190	J-27	0.19	0.16	0.05	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2191	J-27	0.15	0.15	0.11	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 1%含む
SP2192	J-27	0.15	0.15	0.13	1 10YR2/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型
SP2193	J-27	0.14	0.14	0.07	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2194	J-27 J-28	0.16	0.12	0.11	1 10YR3/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径2-3mm) 2%含む
SP2195	J-28	0.16	0.10	0.08	1 10YR2/3	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 1%含む
SP2196	J-28	0.18	0.13	0.16	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 柱眼 2 10YR2/3 黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 5%含む
SP2197	J-28	0.18	0.12	0.05	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2198	J-28	0.21	0.12	0.16	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 7%含む
SP2199	J-28	0.17	0.14	0.19	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP2200	J-28	0.15	0.10	0.14	1 10YR2/1	黒色焼土 粘土中 堅密度型 パリス (径2mm) 1%含む
SP2201	J-28	0.25	0.20	0.08	1 10YR2/2	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径1mm) 1%含む
SP2202	J-28	0.21	0.18	0.11	1 10YR2/1	黒褐色焼土 粘土中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 2%含む

遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質
SP2203	J-28	0.27	0.20	0.10	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3-5mm) 2%含む
SP2204	J-26	0.13	0.13	0.15	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 7%含む
SP2205	J-26	0.13	0.13	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP2206	J-26	0.15	0.14	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 7%含む
SP2207	J-26	0.15	0.14	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 5%含む
SP2208	J-26	0.19	0.13	0.10	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2209	J-26	0.10	0.10	0.15	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 2%含む
SP2210	J-26	0.15	0.12	0.07	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 1%含む
SP2211	J-26	0.12	0.10	0.15	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む
SP2212	J-26	0.14	0.13	0.12	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2213	J-26	0.13	0.13	0.07	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む
SP2214	J-26	0.10	0.08	0.10	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP2215	J-26	0.15	0.15	0.03	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2216	J-26	0.14	0.13	0.15	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2217	J-26	0.14	0.11	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2218	J-26	0.18	0.16	0.13	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2219	J-26	0.13	0.12	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 7%含む
SP2220	J-26	0.12	0.12	0.20	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径2mm) 3%含む 柱状 2 10YR4/6 褐色埴壤土 粘性中 堅密度型
SP2221	J-26	0.14	0.10	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2222	J-26	0.10	0.09	0.02	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径1-2mm) 5%含む
SP2223	J-26	0.14	0.14	0.06	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10-15mm) 5%含む
SP2224	J-26	0.15	0.13	0.18	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径15mm) 1%含む
SP2225	J-26	0.15	0.12	0.09	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径1-2mm) 2%含む
SP2226	J-26	0.16	0.12	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 10%含む
SP2227	J-26	0.11	0.10	0.04	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 7%含む
SP2228	1-26	0.21	0.17	0.34	1 10YR4/3 濃い黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度軟 パミス (径10-15mm) 3%含む 2 10YR5/6 黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度軟
SP2229	1-26	0.14	0.13	0.13	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2-5mm) 5%含む 2 10YR5/6 黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム主体
SP2230	1-26	0.20	0.15	0.13	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 3%含む
SP2231	1-26	0.17	0.17	0.14	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度軟 柱状 2 10YR4/4 褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 15%含む
SP2232	1-26	0.14	0.14	0.20	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む 杭
SP2233	1-26	0.15	0.10	0.11	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む 2 10YR3/3 濃い黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 7%含む
SP2234	1-26	0.15	0.13	0.10	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP2235	1-26	0.10	0.08	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) %含む
SP2236	1-26	0.15	0.14	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む
SP2237	1-26	0.16	0.14	0.06	1 10YR2/2 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 7%含む
SP2238	1-26	0.16	0.16	0.10	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-7mm) 3%含む
SP2239	1-26	0.15	0.12	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む
SP2240	1-26	0.15	0.14	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2241	1-26	0.13	0.13	0.05	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型
SP2242	1-26		0.15	0.24	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-7mm) 3%含む 2 10YR3/4 暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 15%含む
SP2243	1-26	0.20	0.19	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP2244	L-33	0.15	0.12	0.15	1 10YR3/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3% 炭化物 (径10mm) 1%含む
SP2245	L-33	0.15	0.14	0.09	1 10YR4/4 褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 5%含む
SP2246	L-33	0.14	0.14	0.04	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP2247	L-32	0.20	0.17	0.09	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む 2 10YR3/4 暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 5%含む
SP2248	L-32	0.22	0.14	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型
SP2249	L-32	0.17	0.14	0.27	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 3%含む
SP2250	L-32	0.17	0.12	0.07	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP2251	L-32	0.24	0.21	0.25	1 10YR1.7/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2252	L-32	0.17	0.15	0.10	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 2%含む
SP2253	L-32	0.32	0.25	0.08	1 10YR3/3 暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 2%含む
SP2254	L-32	0.16	0.13	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む
SP2255	L-32	0.16	0.11	0.06	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む

遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質
SP2256	L-32	0.15	0.12	0.14	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径2mm) 2%含む
SP2257	L-32	0.24	0.21	0.13	1 10YR4/3 濃い黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径10mm) 1%含む 2 10YR4/4 褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径30mm) 10%含む
SP2258	L-32	0.19	0.17	0.08	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10mm) 3%含む
SP2259	L-32	0.24	0.18	0.09	1 10YK3/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径7mm) 5%含む
SP2260	I-18	0.27	0.22	0.25	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3-5mm) 7%含む
SP2261	I-18	0.28	0.22	0.26	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径10mm) 7%含む
SP2262	I-18	0.19	0.09	0.09	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3mm) 2%含む
SP2263	I-18	0.15	0.21	0.15	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3mm) 1%含む
SP2264	I-18	0.22	0.16	0.04	1 10YR1/2 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径10mm) 1%含む
SP2265	I-18	0.17	0.10	0.21	1 10YR1/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 2%含む
SP2266	I-18	0.24	0.18	0.28	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径7-10mm) 7%含む
SP2267	I-18	0.20	0.14	0.17	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3-7mm) 5%含む
SP2268	I-18	0.16	0.15	0.23	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3-5mm) 3%含む
SP2269	I-18	0.23	0.16	0.15	1 10YR1/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 3%含む
SP2270	I-18	0.17	0.13	0.15	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3mm) 3%含む
SP2271	I-18	0.22	0.11	0.09	1 10YR2/3 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム5%含む
SP2272	I-18	0.26	0.23	0.16	1 10YK3/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径10mm) 3%含む
SP2273	I-18	0.25	0.22	0.24	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3mm) 5%含む
SP2274	J-18	0.14	0.12	0.13	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3-5mm) 3%含む
SP2275	J-18	0.19	0.15	0.11	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 2%含む
SP2276	I-18 J-18	0.13	0.12	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 3%含む
SP2277	J-18	0.21	0.20	0.12	1 10YR1/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3mm) 2%含む
SP2278	J-18	0.13	0.12	0.16	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 1%含む
SP2279	J-18	0.23	0.19	0.21	1 10YR1/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径7-10mm) 5%含む
SP2280	J-18	0.16	0.15	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 2%含む
SP2281	J-18	0.24	0.20	0.12	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 1%含む
SP2282	J-18	0.26	0.24	0.18	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径5-7mm) 7%含む
SP2283	J-17	0.22	0.14	0.16	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径4mm) 2%含む
SP2284	J-18	0.17	0.17	0.15	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径10mm) 5%含む
SP2285	J-18	0.21	0.16	0.16	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3-15mm) 7%含む
SP2286	J-18	0.15	0.15	0.23	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3-5mm) 3%含む
SP2287	I-28	0.20	0.14	0.11	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3mm) 1%含む
SP2288	I-28	0.18	0.14	0.53	1 10YR1/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径5mm) 2%含む 2 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径5mm) 2%含む
SP2289	I-28	0.16	0.13	0.03	1 10YR1/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径5mm) 3%含む
SP2290	I-28	0.10	0.09	0.04	1 10YR1/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 3%含む
SP2291	I-28	0.14	0.12	0.10	1 10YR1/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径7mm) 2%含む
SP2292	I-28	0.12	0.10	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径1mm) 1%含む
SP2293	I-28	0.19	0.14	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径1-2mm) 15%含む
SP2294	I-28	0.18	0.16	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径2mm) 1%含む
SP2295	I-28	0.15	0.13	0.10	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3mm) 3%含む
SP2296	I-28	0.13	0.13	0.29	1 10YK3/3 暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度軟
SP2297	I-28	0.16	0.11	0.06	1 10YR1/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型
SP2298	I-28	0.11	0.10	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 2%含む
SP2299	I-28	0.27	0.26	0.16	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10-15mm) 3%含む
SP2300	I-28	0.12	0.10	0.19	1 10YR1/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度軟 ローム粒(径10-15mm) 3%含む
SP2301	I-28	0.14	0.11	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 1%含む
SP2302	I-28	0.11	0.09	0.06	1 10YR2/2 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型
SP2303	J-28	0.23	0.20	0.14	1 10YK3/3 暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3mm) 1%含む
SP2304	I-28 J-28	0.29	0.24	0.16	1 10YR2/3 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径3-5mm) 1%含む
SP2305	I-28 J-28	0.33	0.25	0.12	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径5-7mm) 2%含む
SP2306	I-28 J-28	0.28	0.23	0.11	1 10YK3/3 暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径5-7mm) 2%含む
SP2307	J-28	0.15	0.13	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 2%含む
SP2308	I-19	0.16	0.13	0.12	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径15mm) 3%含む
SP2309	I-19	0.14	0.14	0.09	1 10YR2/1 黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パリス(径2-4mm) 3%含む

遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質		
SP2310	1-19	0.15	0.15	0.09	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む
SP2311	1-19	0.14	0.10	0.18	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径3mm) 5%含む
SP2312	1-19	0.17	0.14	0.23	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径7mm) 5%含む
SP2313	1-19	0.13	0.13	0.05	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径10mm) 3%含む
SP2314	1-19	0.13	0.13	0.08	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3mm) 5%含む
SP2315	1-19	0.12	0.11	0.14	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3mm) 2%含む
SP2316	1-19	0.15	0.14	0.04	1 10YR2/3	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5mm) 5%含む
SP2317	1-19	0.19	0.18	0.05	1 10YR2/3	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3mm) 3%含む
SP2318	1-19	0.13	0.12	0.09	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3mm) 3%含む
SP2319	1-19	0.16	0.15	0.13	1 10YR2/1	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径10mm) 5%含む
SP2320	1-19	0.18	0.16	0.18	1 10YR2/1	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 1%含む
SP2321	1-19	0.19	0.18	0.18	1 10YR2/3	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径7-10mm) 5%含む
SP2322	1-19	0.15	0.14	0.08	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5mm) 1%含む
SP2323	1-19	0.14	0.13	0.04	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径2mm) 1%含む
SP2324	1-19	0.14	0.12	0.14	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径2-3mm) 3%含む
SP2325	1-19	0.17	0.16	0.11	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5-10mm) 5%含む
SP2326	1-19	0.34	0.34	0.11	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3mm) 1%含む
SP2327	1-19	0.11	0.10	0.03	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3-5mm) 2%含む
SP2328	1-19	0.18	0.13	0.13	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径1mm) 1%含む
SP2329	1-19	0.11	0.11	0.16	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP2330	1-19	0.20	0.12	0.11	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径7mm) 3%含む
SP2331	1-19	0.18	0.14	0.16	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2332	1-19	0.12	0.11	0.05	1 10YR1.7/1	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2333	1-19	0.21	0.14	0.10	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径2-4mm) 5%含む
SP2334	1-19	0.15	0.13	0.20	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径2-3mm) 3%含む
SP2335	1-19	0.24	0.22	0.32	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径10-20mm) 7%含む
SP2336	1-19	0.15	0.12	0.18	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3mm) 2%含む
SP2337	1-19	0.34	0.18	0.06	1 10YR3/3	暗褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3mm) 5%含む 2 10YR1.7/3 黒褐色埴壤土 粘性中
SP2338	1-19	0.18	0.18	0.17	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径10mm) 5%含む
SP2339	1-19	0.20	0.26	0.14	1 10YR3/4	暗褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3-10mm) 3%含む
SP2340	1-19	0.11	0.10	0.10	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径1-2mm) 5%含む
SP2341	1-19	0.12	0.10	0.07	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3mm) 3%含む
SP2342	1-19	0.11	0.09	0.11	1 10YR3/4	暗褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 5%含む
SP2343	1-19	0.11	0.11	0.08	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5mm) 3%含む
SP2344	1-19	0.14	0.13	0.05	1 10YR2/3	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3-5mm) 3%含む
SP2345	1-19	0.14	0.14	0.18	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5-10mm) 7%含む
SP2346	1-19	0.12	0.12	0.16	1 10YR2/3	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径5-10mm) 10%含む
SP2347	1-19	0.16	0.14	0.11	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2348	1-19	0.16	0.15	0.22	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5mm) 2%含む
SP2349	1-19	0.17	0.17	0.04	1 10YR3/3	暗褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径7mm) 7%含む
SP2350	1-19	0.14	0.11	0.03	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3-5mm) 3%含む
SP2351	1-19	0.09	0.09	0.02	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5mm) 1%含む
SP2352	1-19	0.12	0.12	0.03	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5mm) 2%含む
SP2353	1-19	0.18	0.17	0.16	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3-5mm) 5%含む
SP2354	1-19	0.23	0.20	0.10	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径3-10mm) 3%含む
SP2355	1-19	0.20	0.15	0.11	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2356	1-19-20	0.20	0.19	0.22	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径1mm) 1%含む 柱根 2 10YR3/4 暗褐色埴壤土 粘性中
SP2357	1-20	0.17	0.16	0.08	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5-7mm) 15%含む
SP2358	1-20	0.18	0.13	0.20	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 3%含む
SP2359	1-20	0.15	0.14	0.23	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5mm) 3%含む
SP2360	1-20	0.16	0.15	0.07	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5-10mm) 3%含む
SP2361	1-20	0.14	0.14	0.09	1 10YR2/3	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径10-15mm) 5%含む
SP2362	1-20	0.17	0.12	0.06	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径5-7mm) 5%含む
SP2363	1-20	0.09	0.09	0.13	1 10YR3/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径10mm) 10%含む
SP2364	1-20	0.19	0.17	0.09	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径7mm) 1%含む
SP2365	1-20	0.19	0.18	0.08	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP2366	1-20	0.22	0.22	0.20	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径10mm) 7%含む
SP2367	1-20	0.22	0.18	0.10	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中	堅密度型 バミス (径15mm) 7%含む



遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質
SP2368	J-20	0.13	0.11	0.11	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 2%含む
SP2369	J-20	0.14	0.14	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径2mm) 2%含む
SP2370	J-20	0.11	0.11	0.18	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 杖
SP2371	J-20	0.15	0.12	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 柱根 2 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10mm) 5%含む
SP2372	J-20	0.12	0.08	0.18	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 2%含む
SP2373	J-20	0.13	0.12	0.09	1 10YK3/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径7mm) 5%含む
SP2374	J-20	0.19	0.17	0.20	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径3~7mm) 5%含む
SP2375	J-20	0.20	0.20	0.19	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5mm) 1%含む
SP2376	J-21	0.19	0.18	0.16	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径2mm) 1%含む
SP2377	J-21	0.16	0.14	0.15	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径3mm) 2%含む
SP2378	J-21	0.15	0.11	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム15%含む
SP2379	J-21	0.16	0.13	0.04	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10mm) 2%含む
SP2380	J-21	0.18	0.16	0.09	1 10YR2/3 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径1mm) 2%含む
SP2381	J-21	0.16	0.14	0.09	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径3~7mm) 1%含む
SP2382	J-21	0.15	0.11	0.03	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径3mm) 3%含む
SP2383	J-21	0.11	0.11	0.18	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径10mm) 2%含む
SP2384	J-21	0.12	0.11	0.20	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径7mm) 2%含む
SP2385	J-21	0.18	0.14	0.05	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径2mm) 3%含む
SP2386	J-21	0.15	0.14	0.02	1 10YK2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 1%含む
SP2387	J-21	0.19	0.17	0.09	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5mm) 3%含む
SP2388	J-21	0.19	0.18	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5~10mm) 3%含む
SP2389	J-21	0.16	0.10	0.19	1 10YR2/3 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5~7mm) 5%含む 杖
SP2390	J-21	0.13	0.05	0.12	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径2mm) 1%含む
SP2391	J-21	0.15	0.15	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径3~5mm) 2%含む
SP2392	J-21	0.16	0.15	0.12	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度軟 ローム粒(径7~10mm) 2%含む
SP2393	J-21	0.22	0.20	0.25	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5~10mm) 3%含む
SP2394	J-22	0.16	0.11	0.06	1 10YR1.7/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径3mm) 3%含む
SP2395	J-22	0.14	0.09	0.12	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5~10mm) 7%含む
SP2396	J-22	0.19	0.14	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3~5mm) 3%含む
SP2397	J-22	0.13	0.12	0.03	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径1mm) 1%含む
SP2398	J-22	0.16	0.14	0.03	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径2~3mm) 1%含む
SP2399	J-22	0.17	0.15	0.26	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度軟 バミス(径5mm) 1%含む
SP2400	J-22	0.25	0.24	0.18	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径3mm) 2%含む
SP2401	J-22	0.29	0.18	0.12	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 1%含む
SP2402	J-22	0.14	0.14	0.26	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度軟 杖
SP2403	J-22	0.19	0.18	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 3%含む
SP2404	J-22	0.25	0.21	0.08	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径2~3mm) 5%含む
SP2405	J-22	0.11	0.11	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5mm) 3%含む
SP2406	J-22	0.19	0.16	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径5mm) 2%含む
SP2407	J-22	0.22	0.18	0.07	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 白色年粘土粒(径5mm) 5%含む
SP2408	J-22	0.17	0.14	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3mm) 2%含む
SP2409	J-22	0.19	0.18	0.07	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス・ローム粒(径3mm) 1%含む
SP2410	J-22	0.20	0.17	0.11	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5~10mm) 5%含む
SP2411	J-22	0.23	0.22	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5~10mm) 2%含む
SP2412	J-22	0.21	0.20	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径2mm) 3%含む
SP2413	J-22	0.13	0.12	0.05	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径2mm) 2%含む
SP2414	J-22	0.16	0.15	0.08	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10mm) 5%含む
SP2415	J-22	0.22	0.21	0.19	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5mm) 5%含む
SP2416	J-22	0.17	0.15	0.29	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5~10mm) 2%含む
SP2417	J-22	0.13	0.13	0.06	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5mm) 3%含む
SP2418	J-22 K-22	0.16	0.15	0.15	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径10mm) 2%含む
SP2419	J-22	0.16	0.14	0.07	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5~7mm) 5%含む
SP2420	J-22	0.14	0.14	0.20	1 10YR2/2 黒褐色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5~10mm) 3%含む 2 10YR2/1 黒色埴 壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径3mm) 3%含む
SP2421	J-22	0.09	0.09	0.03	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径5mm) 10%含む
SP2422	J-22	0.11	0.10	0.15	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 ローム粒(径3~5mm) 5%含む
SP2423	J-22	0.15	0.14	0.21	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径7mm) 2%含む
SP2424	J-22	0.13	0.13	0.06	1 10YR2/1 黒色埴壌土 粘性中 堅密度型 バミス(径3mm) 1%含む

遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質
SP2425	J-22	0.14	0.12	0.12	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2426	J-22	0.19	0.19	0.09	1 10YR1.7/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3mm) 2%含む
SP2427	J-22	0.29	0.26	0.12	1 10YR3/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径5mm) 3%含む
SP2428	J-29	0.21	0.14	0.12	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10-15mm) 3%含む
SP2429	J-29	0.14	0.14	0.05	1 10YR4/3 濃い黄褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径7mm) 3%含む
SP2430	J-29	0.25	0.15	0.11	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 3%含む
SP2431	1-29	0.22	0.17	0.12	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 炭化物2%含む 柱礎 2 10YR3/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 5%含む
SP2432	1-23	0.18	0.15	0.06	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2433	1-23	0.15	0.13	0.08	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 3%含む
SP2434	1-23	0.34	0.16	0.09	1 10YR1.7/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 3%含む
SP2435	1-23	0.12	0.09	0.13	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10-30mm) 5%含む
SP2436	1-23	0.17	0.13	0.06	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 1%含む
SP2437	1-23	0.16	0.11	0.06	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径5mm) 3%含む
SP2438	1-23	0.16	0.09	0.11	1 10YR1.7/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径10mm) 1%含む
SP2439	1-23	0.16	0.14	0.11	1 10YR3/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径10-15mm) 7%含む
SP2440	1-23	0.17	0.15	0.20	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5-7mm) 5%含む
SP2441	1-23	0.17	0.14	0.17	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 7%含む
SP2442	1-23	0.14	0.12	0.10	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 2%含む
SP2443	1-23	0.12	0.12	0.24	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径10mm) 3%含む
SP2444	1-23	0.29	0.18	0.09	1 10YR1.7/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型
SP2445	1-23 J-23	0.17	0.13	0.16	1 10YR1.7/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2446	1-23	0.16	0.11	0.15	1 10YR3/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP2447	1-23	0.14	0.09	0.31	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む 枕
SP2448	1-23	0.24	0.21	0.14	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2449	1-23 J-23	0.16	0.16	0.07	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径5mm) 1%含む
SP2450	1-23	0.15	0.13	0.08	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 7%含む
SP2451	1-23	0.21	0.17	0.09	1 10YR3/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 3%含む
SP2452	1-23	0.20	0.15	0.12	1 10YR3/4 暗褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 2%含む
SP2453	1-23	0.20	0.14	0.07	1 10YR1.7/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 1%含む
SP2454	1-23	0.17	0.13	0.17	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3mm) 5%含む
SP2455	1-23	0.17	0.17	0.18	1 10YR2/3 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径5mm) 2%含む
SP2456	1-23	0.09	0.09	0.08	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP2457	1-23	0.14	0.09	0.05	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径1mm) 1%含む
SP2458	1-23	0.05	0.13	0.05	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 2%含む
SP2459	1-23	0.16	0.14	0.09	1 10YR2/3 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3mm) 3%含む
SP2460	1-23	0.15	0.14	0.05	1 10YR1.7/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径5mm) 7%含む
SP2461	1-23	0.16	0.14	0.14	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径5mm) 3%含む
SP2462	1-23	0.14	0.13	0.06	1 10YR1.7/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 3%含む
SP2463	1-23	0.16	0.13	0.16	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径10mm) 3%含む
SP2464	J-23	0.17	0.16	0.37	1 10YR1.72/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7-10mm) 1%含む 枕
SP2465	J-23	0.17	0.16	0.20	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3mm) 3%含む
SP2466	J-23	0.11	0.08	0.22	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3-5mm) 2%含む
SP2467	J-23	0.13	0.10	0.16	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10mm) 3%含む
SP2468	J-23	0.22	0.16	0.07	1 10YR1.7/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径5mm) 2%含む
SP2469	J-23	0.13	0.13	0.12	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2-3mm) 3%含む
SP2470	J-23	0.16	0.14	0.08	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3mm) 5%含む
SP2471	J-23	0.17	0.17	0.17	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3-10mm) 3%含む
SP2472	J-23 J-24	0.16	0.13	0.07	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2473	J-24	0.16	0.10	0.09	1 10YR1.7/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 3%含む
SP2474	J-23	0.13	0.10	0.11	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径10-20mm) 7%含む
SP2475	J-23	0.23	0.18	0.06	1 10YR1.7/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3-5mm) 2%含む
SP2476	J-23	0.18	0.15	0.05	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2477	J-23	0.17	0.15	0.10	1 10YR2/2 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径10mm) 3%含む
SP2478	J-23	0.15	0.12	0.16	1 10YR2/3 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3-7mm) 2%含む
SP2479	1-24	0.18	0.15	0.01	1 10YR2/1 黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 1%含む

遺構番号	位置	長径(m)	短径(m)	深さ(m)	土色・土質	
SP2480	I-24	0.16	0.15	0.23	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径5~15mm) 3%含む
SP2481	I-25		0.14	0.08	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径75mm) 2%含む
SP2482	I-24	0.16	0.10	0.07	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径55mm) 1%含む
SP2483	H-24 I-24	0.17	0.20		1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径7mm) 1%含む
SP2484	I-24	0.17	0.16	0.16	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3~5mm) 2%含む
SP2485	I-24	0.13	0.13	0.07	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2~3mm) 5%含む
SP2486	I-24	0.19	0.15	0.04	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3mm) 3%含む
SP2487	I-2v	0.21	0.17	0.06	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~5mm) 3%含む
SP2488	I-24	0.19	0.15	0.07	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~5mm) 7%含む
SP2489	I-24	0.19	0.14	0.05	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径5mm) 5%含む
SP2490	I-24	0.18	0.15	0.17	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3mm) 7%含む
SP2491	I-24	0.15	0.10	0.06	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径1mm) 2%含む
SP2492	I-24	0.16	0.12	0.14	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径2~10mm) 3%含む
SP2493	I-24	0.09	0.09	0.17	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径5~7mm) 1%含む
SP2494	I-24	0.14	0.12	0.12	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径5mm) 1%含む
SP2495	I-24	0.18	0.11	0.04	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2496	I-24	0.19	0.15	0.06	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径15mm) 1%含む
SP2497	J-24	0.19	0.17	0.07	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 7%含む
SP2498	I-25	0.17		0.20	1 10YR2/2	黒褐色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径5~10mm) 3%含む
SP2499	I-25	0.12	0.09	0.08	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径3mm) 3%含む
SP2500	I-25	0.21	0.15	0.06	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~5mm) 1%含む
SP2501	I-25	0.20	0.12	0.09	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径3~5mm) 7%含む
SP2502	I-25		0.13	0.06	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2mm) 3%含む
SP2503	I-25	0.15	0.10	0.07	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5~7mm) 1%含む
SP2504	I-25	0.14	0.13	0.08	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2505	I-25	0.11	0.10	0.05	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5mm) 1%含む
SP2506	I-25	0.13	0.12	0.06	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径7mm) 1%含む
SP2507	I-25	0.09	0.09	0.08	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2~3mm) 3%含む
SP2508	I-25		0.12	0.08	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径5~7mm) 2%含む
SP2509	J-25	0.19		0.26	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度軟 ローム粒 (径3~5mm) 2%含む
SP2510	J-25	0.13	0.09	0.06	1 10YR2/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径2mm) 3%含む
SP2511	J-25	0.29	0.20	0.22	1 10YR2/2	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 パミス (径7mm) 2%含む
SP2512	J-25	0.19	0.14	0.20	1 10YR1.7/1	黒色埴壤土 粘性中 堅密度型 ローム粒 (径2~3mm) 2%含む

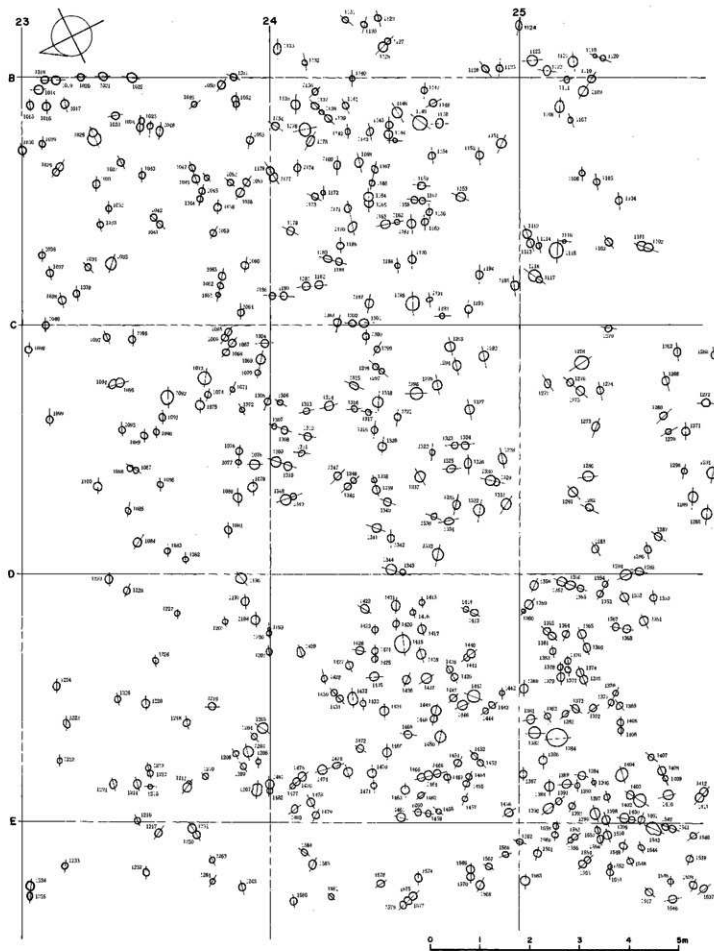


図 -73 小ピット (1)

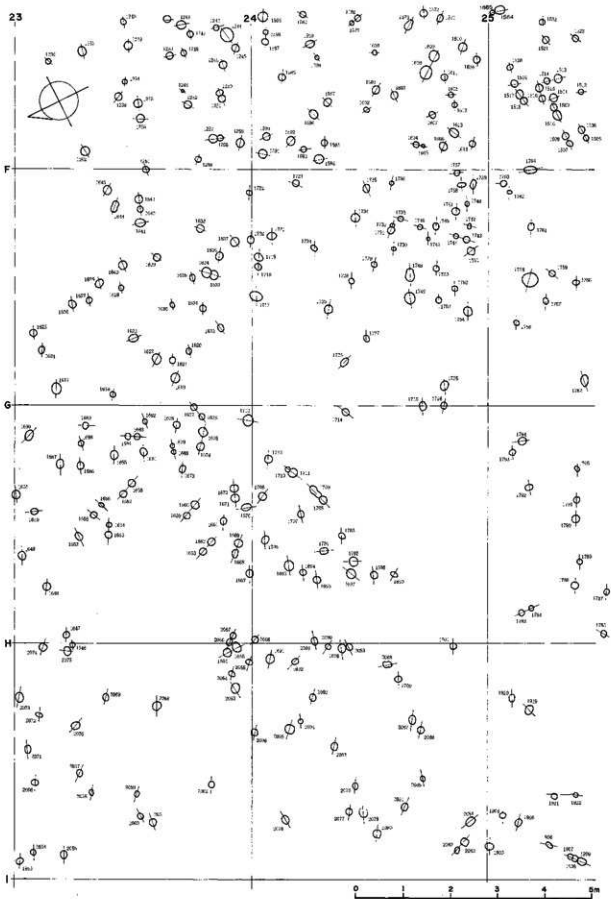


図 -74 小ピット (2)

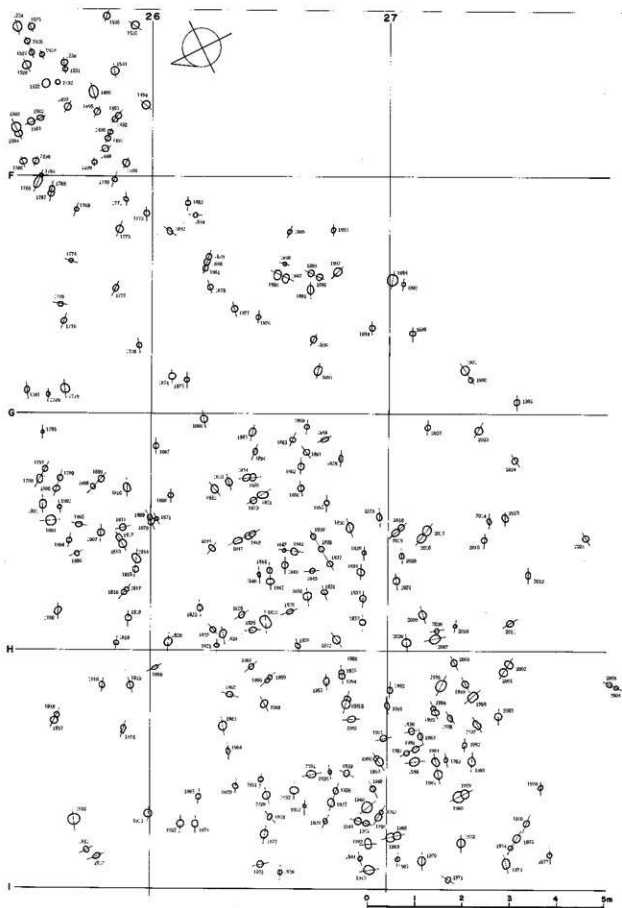


図 -75 小ピット(3)

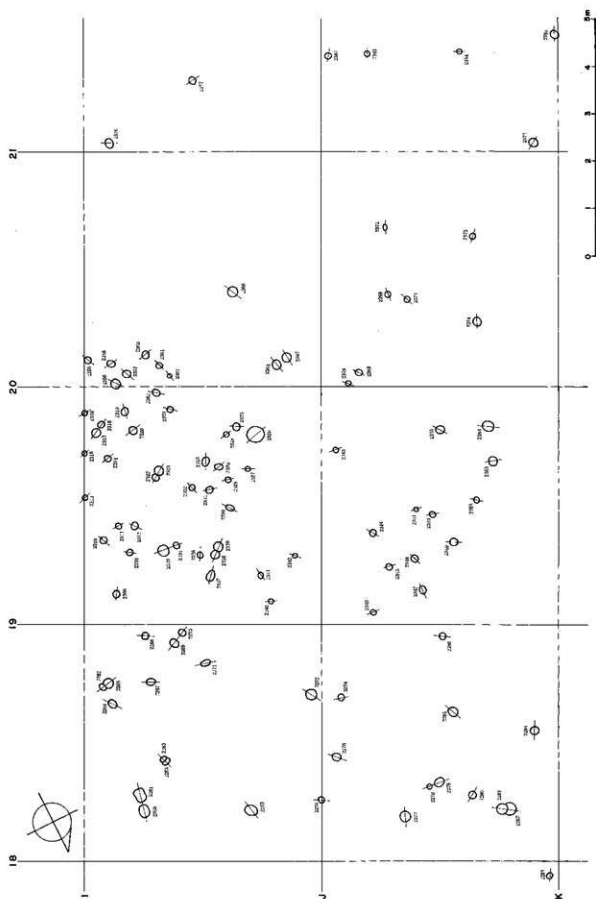


図 一76 小ピット (4)

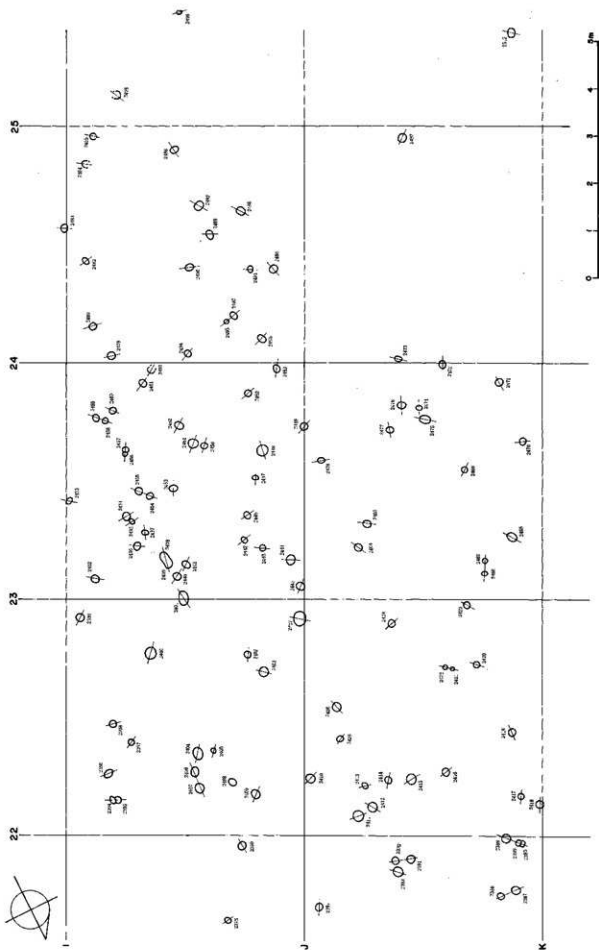


図 77 小ピット(5)



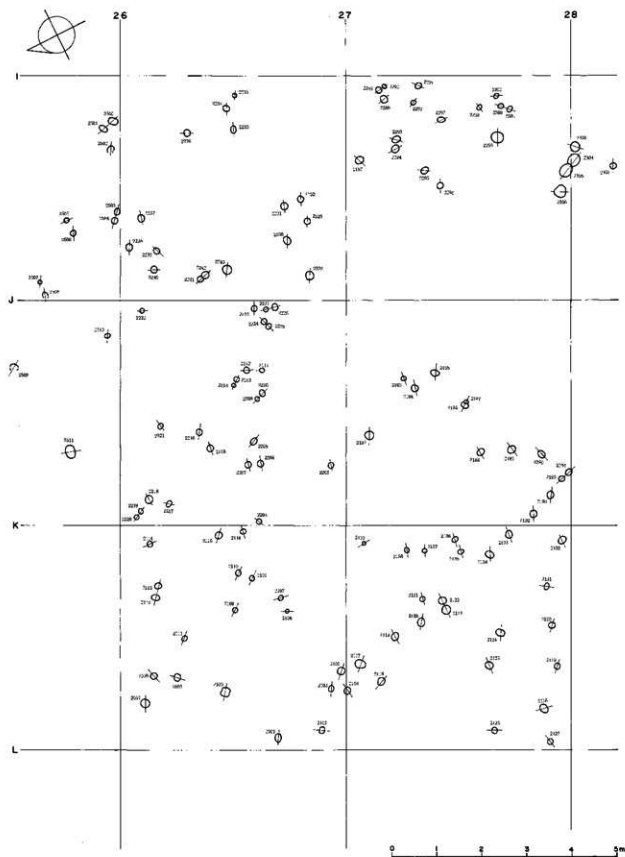


図 -78 小ピット (6)

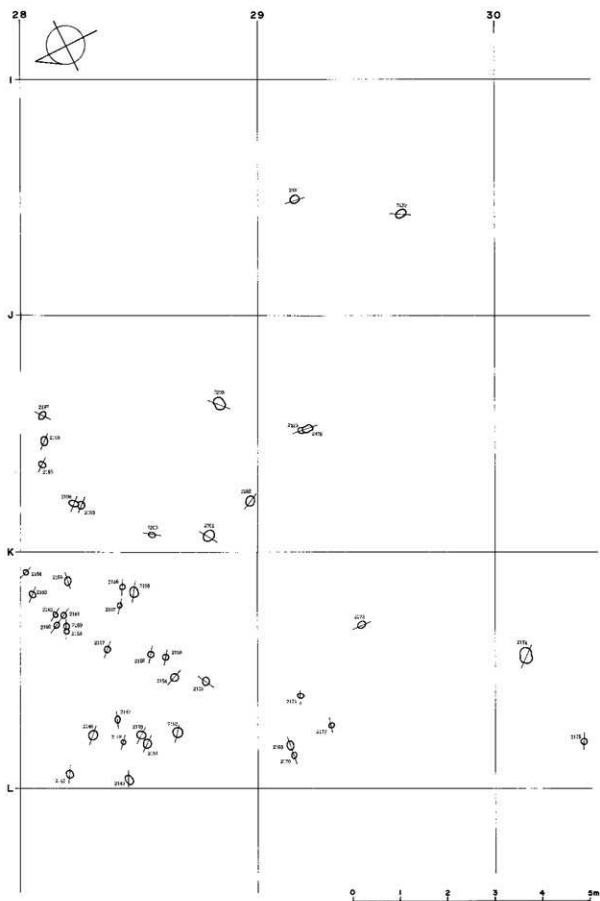


図 -79 小ピット(7)

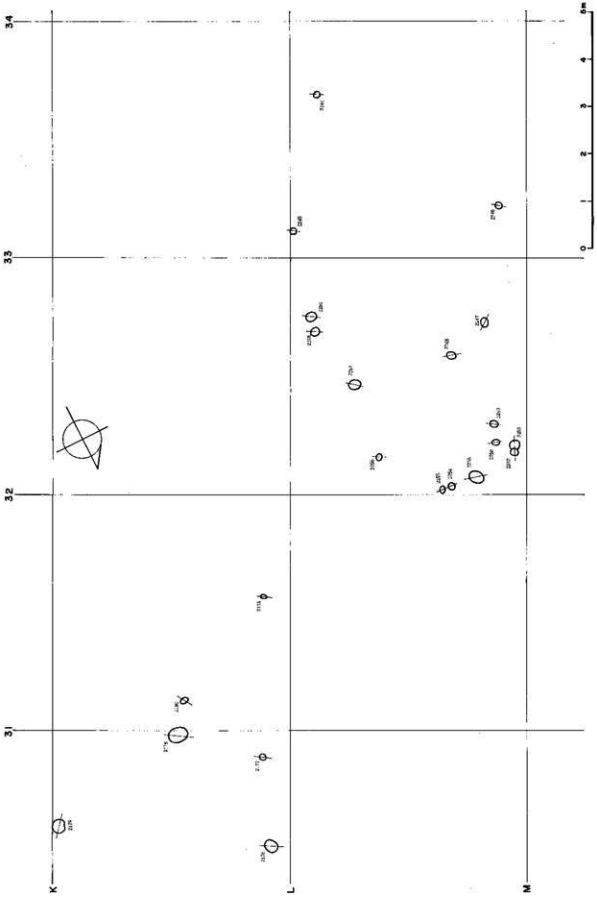
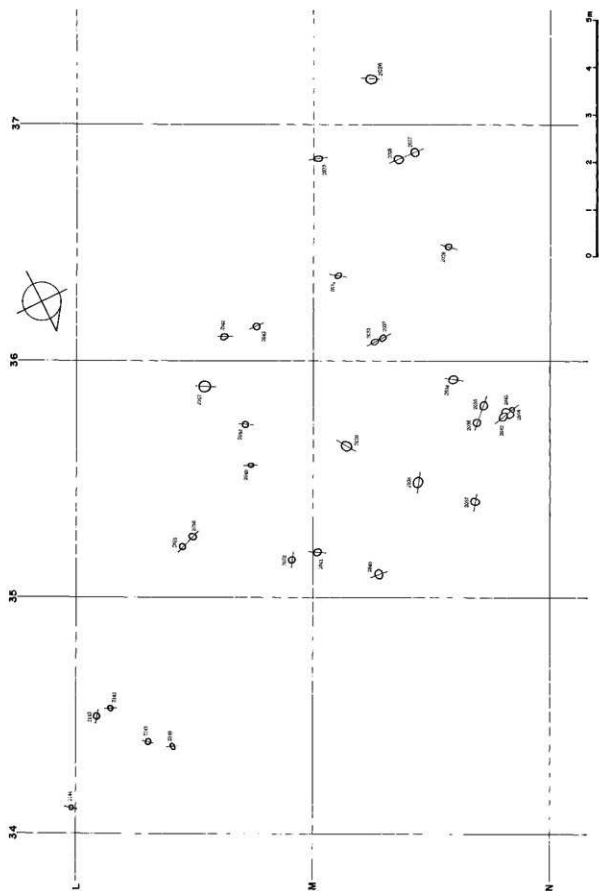


図 80 小ピット (8)



図一81 小ピット(9)

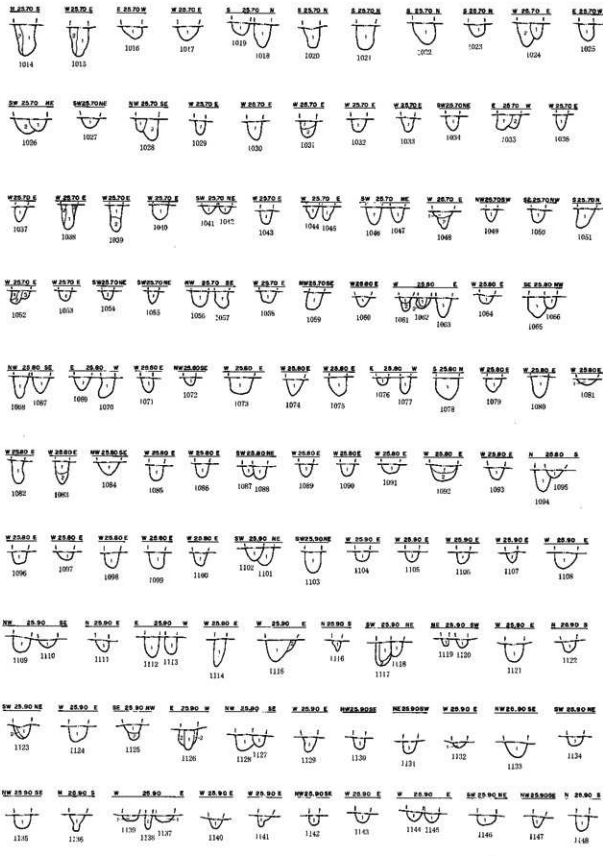


図 -82 小ピットの土層断面図(1)

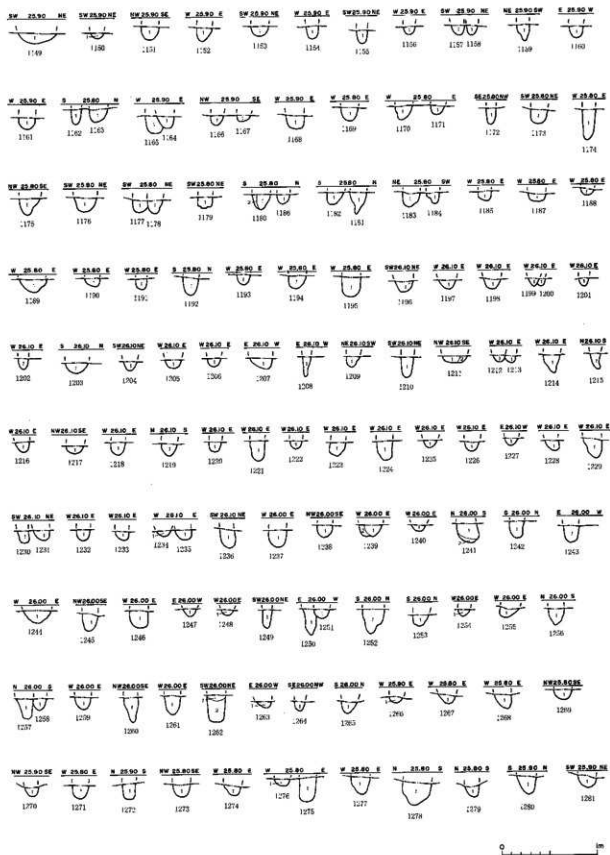


図 -83 小ピットの土層断面図(2)

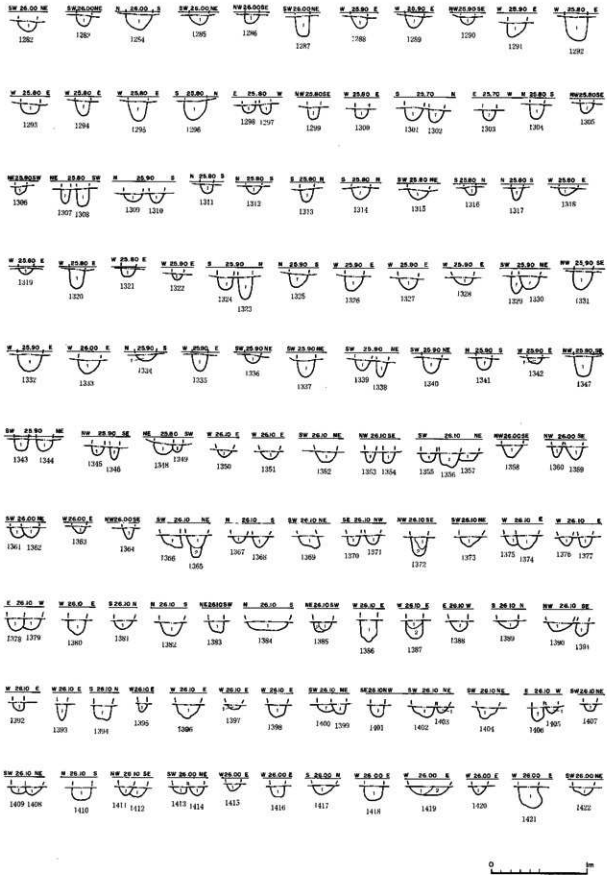


図 -84 小ピットの土層断面図(3)

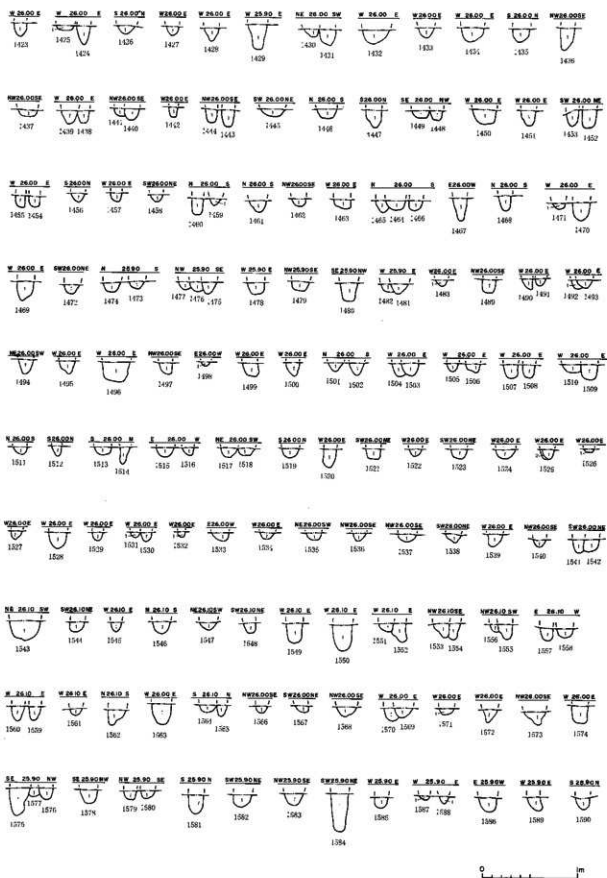


図 85 小ピットの土層断面図(4)



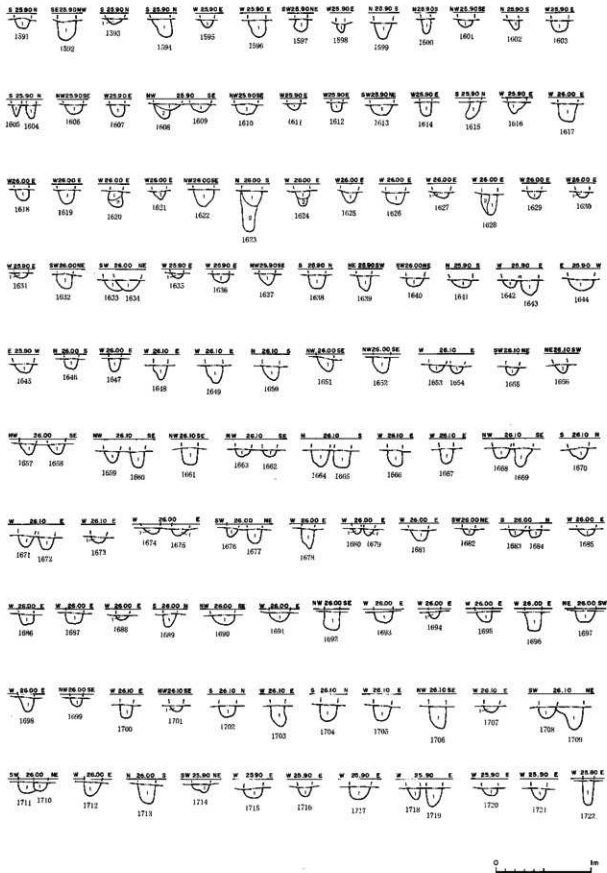


図 -86 小ピットの土層断面図(5)

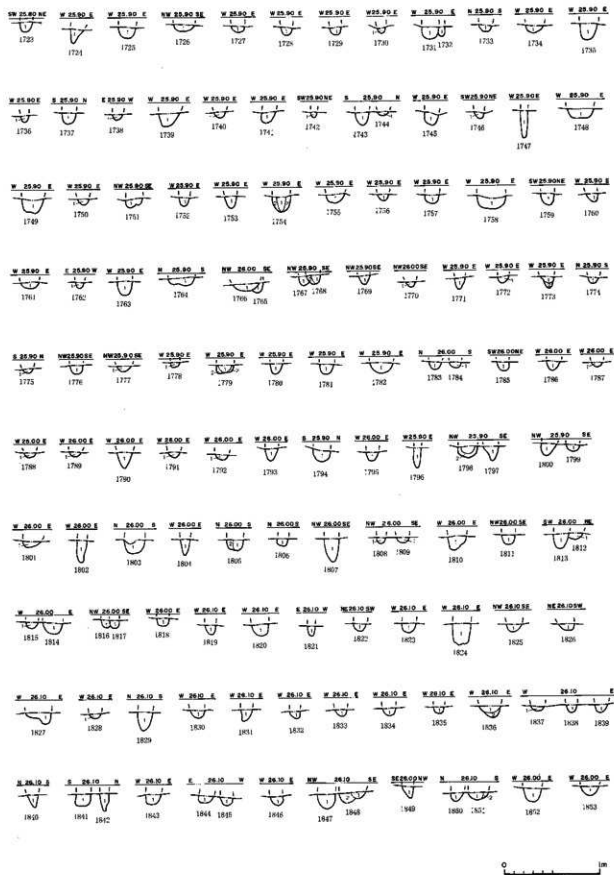


図 -87 小ピットの土層断面図(6)

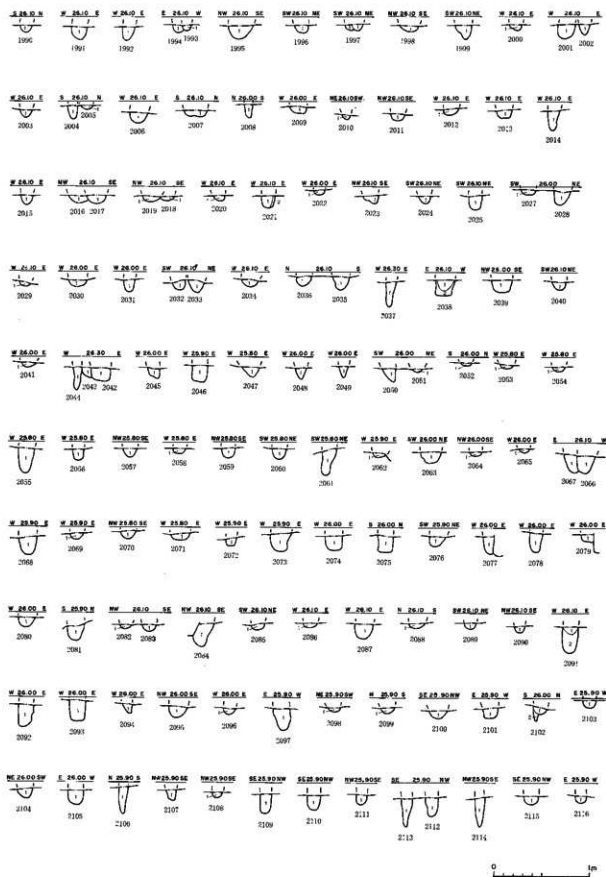


図 -88 小ピットの土層断面図(7)

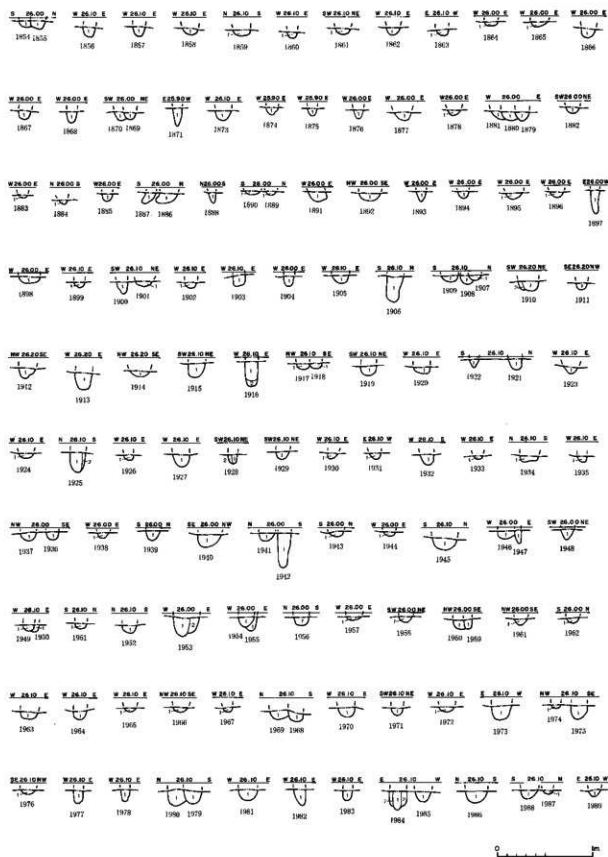


図 -89 小ピットの土層断面図 (8)



図 90 小ピットの土層断面図 (9)

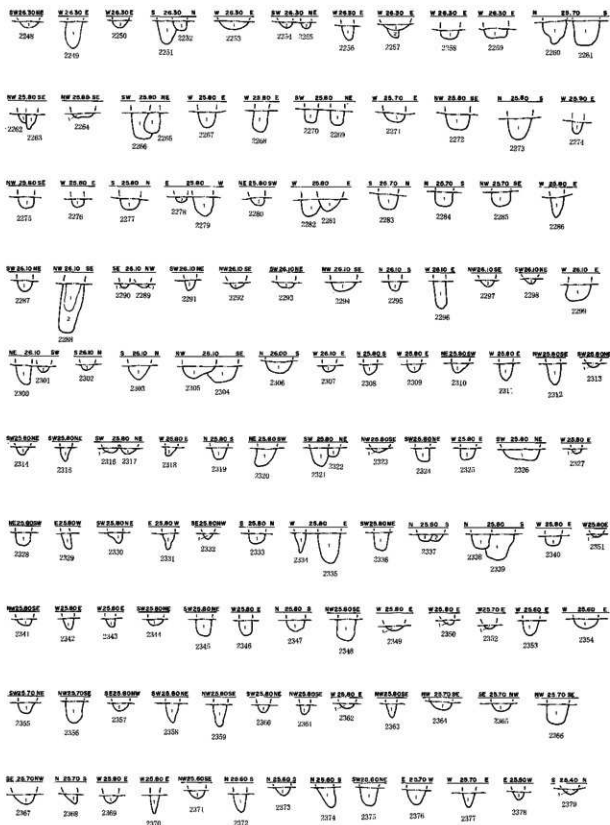


図 91 小ピットの土層断面図(10)

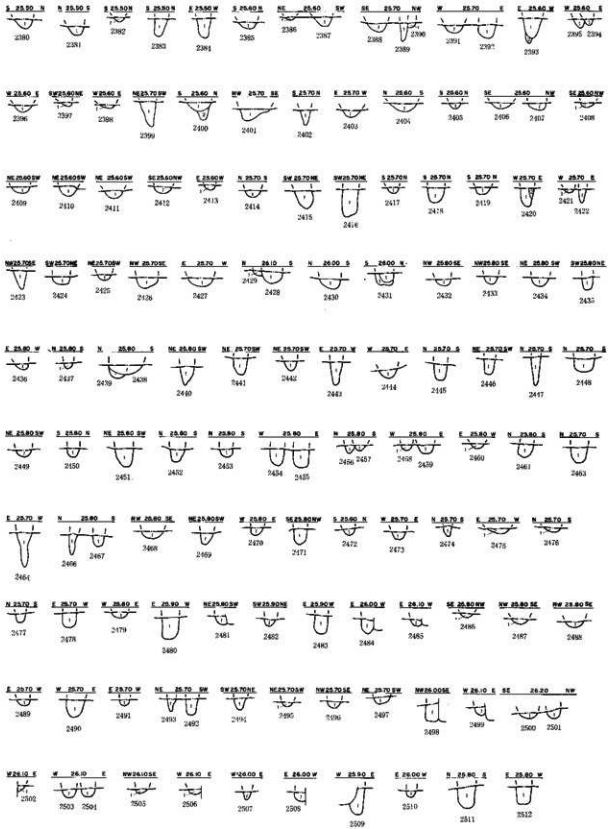


図 -92 小ピットの土層断面図 (11)

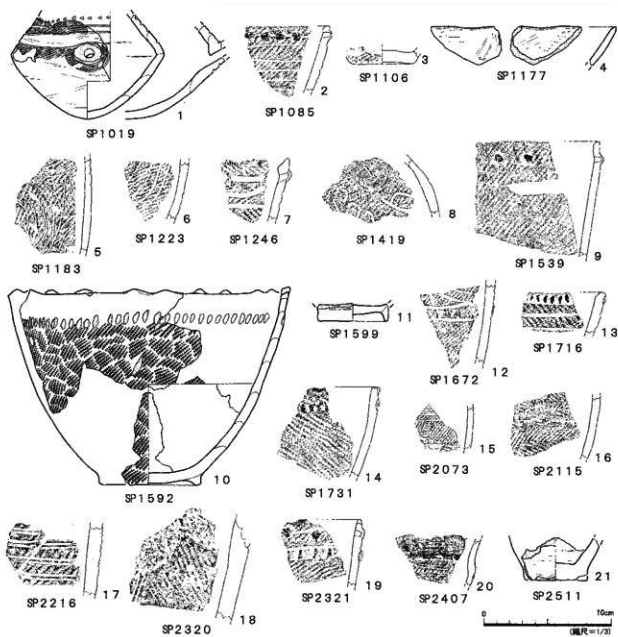


図 93 小ビット出土の土器



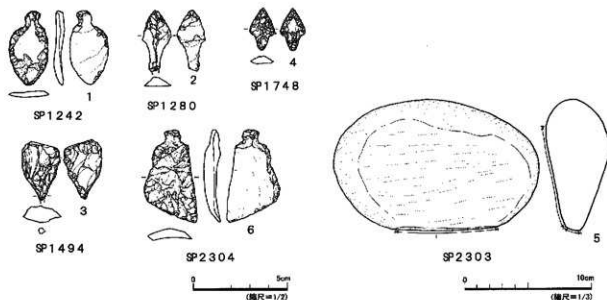


図 94 小ピット出土の石器

表 19 小ピット掘載土器一覧

図 番号	図版 番号	遺構名・ 番号	層位	取上げ 番号	器種 (部位)	分類	地文及び 主な調整	型式名称	口径 (cm)	器高 (cm)	底径 (cm)	最大径 (cm)	備考
V-93-1	48	SP1019 B-22	覆土 豆類(ガケ)		注口付 壺	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	8.0	—(丸底)	12.0	
V-93-2	48	SP1085	覆土		深鉢(口)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-93-3	48	SP1106	覆土		深鉢(口)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	4.8	—	
V-93-4	48	SP1177	覆土		深鉢(口)	IVc-2	無文	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-93-5	48	SP1183	覆土		深鉢(脚)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-93-6	48	SP1223	覆土		深鉢(口)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-93-7	48	SP1246	覆土		深鉢(口)	IVc-1	R L・L R	堂林式	—	—	—	—	
V-93-8	48	SP1419	覆土		壺(肩)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-93-9	48	SP1539	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-93-10	48	SP1592	覆土		鉢(完)	IVc-2	L R	三ツ谷式	22.0	15.5	7.5	—	
V-93-11	48	SP1599	覆土		深鉢(底)	IVc-2	無文	三ツ谷式	—	—	5.6	—	
V-93-12	48	SP1672	覆土		深鉢(脚)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-93-13	48	SP1716	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-93-14	48	SP1731	覆土		深鉢(口)	IVc-2	R L	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-93-15	48	SP2073	覆土		深鉢(脚)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	小型
V-93-16	48	SP2115	覆土		深鉢(脚)	IVc-2	R L・L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-93-17	48	SP2216	覆土		深鉢(脚)	Ⅲa	L R 多条	板ヶ岡2式	—	—	—	—	
V-93-18	48	SP2320	覆土		深鉢(脚)	Ⅲa	板ヶ岡2式	板ヶ岡2式	—	—	—	—	原体2種
V-93-19	48	SP2321	覆土		深鉢(口)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-93-20	48	SP2407	覆土		深鉢(脚)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-93-21	48	SP2511	覆土		深鉢(底)	Vb	無文	板ヶ岡2式	—	—	5.0	—	

表 20 小ピット掘載土器一覧

遺構番号	図番号	名称	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材	備考
SP1242	1	つまみ付き	覆土	3.90	2.10	0.50	3.70	メノウ	
SP1280	2	石鏃	覆土	3.25	1.50	0.60	1.50	黒曜石	
SP1494	3	石鏃	覆土	(3.10)	1.50	0.90	(5.30)	瑠璃頁岩	
SP1748	4	石鏃	覆土	2.20	1.30	0.40	0.80	黒曜石	
SP2303	5	すり石	覆土	10.40	16.15	5.00	1.2kg	安山岩	
SP2304	6	つまみ付き	覆土	4.90	2.80	0.90	6.80	頁岩	

表V-21 遺構別(小ピット)出土土器一覧

遺構	出土層位	Ia	Ib3	Ib4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVe1	IVe-2	Vb	Vc	M	土製品	総計
SP1014	覆土								3							3
SP1015	覆土											31				31
SP1017	覆土						2									2
SP1019	覆土											4				4
SP1021	覆土										2					2
SP1026	覆土								1		1					2
SP1027	覆土								3							3
SP1030	覆土									1	1					2
SP1032	覆土									2						2
SP1034	覆土									1	1					2
SP1035	覆土								3		1					4
SP1036	覆土								3							3
SP1037	覆土								1							1
SP1039	覆土											4				4
SP1046	覆土								2							2
SP1051	覆土								5							5
SP1053	覆土								2							2
SP1055	覆土									2		1				3
SP1058	覆土								2							2
SP1073	覆土								5		1					6
SP1075	覆土								1		1					2
SP1077	覆土										1					1
SP1080	覆土								10							10
SP1081	覆土								1							1
SP1082	覆土								3							3
SP1085	覆土										2	2				4
SP1090	覆土				1				5		2					8
SP1092	覆土								4							4
SP1094	覆土											8				8
SP1095	覆土								5							5
SP1098	覆土								2							2
SP1101	覆土									6						6
SP1102	覆土										1					1
SP1103	覆土									1						1
SP1106	覆土									1						1
SP1115	覆土									6						6
SP1117	覆土									1						1
SP1118	覆土								4	1						5
SP1121	覆土								1							1
SP1125	覆土								2							2
SP1129	覆土								2							2
SP1133	覆土								4		2					6
SP1149	覆土								1							1
SP1153	覆土								1							1
SP1154	覆土								1	1						2
SP1155	覆土								1							1
SP1165	覆土								4							4
SP1168	覆土								1							1
SP1169	覆土								3							3
SP1173	覆土								3							3
SP1176	覆土								2		2					4
SP1177	覆土										1					1
SP1178	覆土								1							1
SP1180	覆土								2							2
SP1182	覆土								1							1
SP1183	覆土								2	1						3
SP1186	覆土						1		2							3
SP1187	覆土						1		1							2
SP1192	覆土						1		2							3
SP1194	覆土								1							1

遺 構	出土層位	Ia	Ib3	Ib4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVe1	IVe-2	Vb	Vc	M	土製品	総 計
SP1195	覆土								7							7
SP1199	覆土								4							4
SP1201	覆土								1							1
SP1203	覆土								1		1					2
SP1205	覆土								1							1
SP1206	覆土								4							4
SP1210	覆土								1							1
SP1215	覆土								1							1
SP1216	覆土						1									1
SP1219	覆土									3						3
SP1223	覆土									5						5
SP1225	覆土									1						1
SP1226	覆土								1							1
SP1227	覆土								1							1
SP1229	覆土										1					1
SP1231	覆土								1							1
SP1233	覆土								1							1
SP1236	覆土								4	1						5
SP1241	覆土								5							5
SP1244	覆土								4							4
SP1246	覆土									2						2
SP1247	覆土								3							3
SP1249	覆土								2							2
SP1252	覆土						1		2							3
SP1253	覆土									3						3
SP1254	覆土								1							1
SP1255	覆土								3							3
SP1256	覆土								7		1					8
SP1258	覆土								8							8
SP1259	覆土								4							4
SP1261	覆土								2							2
SP1262	覆土								5							5
SP1265	覆土								1							1
SP1268	覆土									1						1
SP1273	覆土								1							1
SP1274	覆土								1							1
SP1275	覆土								2							2
SP1278	覆土									8						8
SP1280	覆土								5							5
SP1284	覆土								4							4
SP1285	覆土						1		1							2
SP1287	覆土								4							4
SP1289	覆土						2									2
SP1291	覆土						2									2
SP1293	覆土						1									1
SP1295	覆土								4							4
SP1296	覆土								2							2
SP1303	覆土								2							2
SP1304	覆土								2							2
SP1308	覆土								1							1
SP1312	覆土						1		3							4
SP1313	覆土								1							1
SP1314	覆土								6							6
SP1317	覆土										1					1
SP1323	覆土									2						2
SP1324	覆土								2							2
SP1326	覆土								3							3
SP1327	覆土								2							2
SP1328	覆土								5							5
SP1329	覆土								2							2

## 西島松5遺跡(2) 平成12・13年度

遺構	出土層位	Ia	Ib3	Ib4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVe1	IVe-2	Vb	Vc	M	土製品	総計
SP1330	覆土								3							3
SP1331	覆土						1		1		1					3
SP1332	覆土								4							4
SP1333	覆土								6							6
SP1334	覆土								2							2
SP1336	覆土								1							1
SP1337	覆土										1					1
SP1338	覆土								5							5
SP1339	覆土								2							2
SP1343	覆土								2							2
SP1344	覆土								1							1
SP1345	覆土								1							1
SP1346	覆土								4							4
SP1347	覆土								1							1
SP1348	覆土										2					2
SP1349	覆土										1					1
SP1351	覆土								3							3
SP1352	覆土								5							5
SP1353	覆土								2							2
SP1355	覆土								2							2
SP1356	覆土								1							1
SP1357	覆土								3		2					5
SP1358	覆土								1		1					2
SP1359	覆土			1					2		1					4
SP1360	覆土								4							4
SP1362	覆土			1												1
SP1365	覆土						1		4							5
SP1366	覆土								5							5
SP1367	覆土								1							1
SP1368	覆土								5							5
SP1369	覆土								1							1
SP1372	覆土								6							6
SP1374	覆土								5	1						6
SP1378	覆土						1		8							9
SP1379	覆土								3							3
SP1380	覆土								3							3
SP1382	覆土								2							2
SP1384	覆土								1							1
SP1385	覆土										1					1
SP1387	覆土									1						1
SP1388	覆土									1						1
SP1390	覆土								1							1
SP1394	覆土										1					1
SP1396	覆土								27							27
SP1399	覆土								1							1
SP1400	覆土								3							3
SP1402	覆土										5					5
SP1404	覆土								5	1						6
SP1405	覆土								2							2
SP1406	覆土								1		1					2
SP1407	覆土									1						1
SP1410	覆土										1					1
SP1411	覆土								8							8
SP1413	覆土						1									1
SP1416	覆土								2	1						3
SP1417	覆土								5							5
SP1419	覆土								3	1	1					5
SP1421	覆土								7							7
SP1422	覆土								1							1
SP1423	覆土								1		1					2

遺構	出土層位	Ia	Ib3	Ib4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVe1	IVe-2	Vb	Vc	M	土製品	総計
SP1424	覆土								2		1					3
SP1426	覆土									1						1
SP1428	覆土								3							3
SP1430	覆土										1					1
SP1431	覆土								3							3
SP1434	覆土								4							4
SP1435	覆土								3							3
SP1436	覆土								7							7
SP1437	覆土								1		1					2
SP1438	覆土								1							1
SP1441	覆土								1							1
SP1443	覆土								3							3
SP1444	覆土								1							1
SP1445	覆土								2		1					3
SP1446	覆土								2							2
SP1448	覆土									1						1
SP1450	覆土									9						9
SP1452	覆土								1							1
SP1456	覆土								3							3
SP1459	覆土										1					1
SP1461	覆土									1						1
SP1465	覆土								2							2
SP1466	覆土								2							2
SP1467	覆土								7							7
SP1468	覆土								2							2
SP1469	覆土								1							1
SP1470	覆土								8	1						9
SP1471	覆土								3							3
SP1472	覆土								1							1
SP1473	覆土								5		1					6
SP1475	覆土										2					2
SP1476	覆土								1							1
SP1479	覆土								2	1						3
SP1483	覆土								2							2
SP1495	覆土										4					4
SP1499	覆土										2					2
SP1501	覆土								2							2
SP1502	覆土								5							5
SP1504	覆土							2	3	4						9
SP1505	覆土								1							1
SP1507	覆土								8							8
SP1508	覆土								2							2
SP1509	覆土								7		3					10
SP1510	覆土								3							3
SP1511	覆土								5							5
SP1513	覆土								6							6
SP1514	覆土								1							1
SP1515	覆土								3		1					4
SP1517	覆土								6							6
SP1518	覆土								3							3
SP1519	覆土								1		1					2
SP1520	覆土								1							1
SP1521	覆土								1		1					2
SP1523	覆土								6							6
SP1524	覆土								3							3
SP1527	覆土										1					1
SP1528	覆土								3		1					4
SP1529	覆土								4							4
SP1532	覆土								1							1
SP1533	覆土								3							3

## 西島松5遺跡(2) 平成12・13年度

遺構	出土層位	Ia	Ib3	Ib4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVe1	IVe-2	Vb	Vc	M	土製品	総計
SP1534	覆土								1							1
SP1539	覆土									2	2					4
SP1541	覆土								2							2
SP1542	覆土								1							1
SP1543	覆土								4							4
SP1545	覆土								1							1
SP1547	覆土								4							4
SP1549	覆土								1							1
SP1550	覆土								2							2
SP1551	覆土								1							1
SP1552	覆土										1					1
SP1553	覆土								1							1
SP1554	覆土									2						2
SP1555	覆土								1							1
SP1556	覆土								6							6
SP1557	覆土								2							2
SP1558	覆土								2	1						3
SP1559	覆土								1							1
SP1562	覆土						1									1
SP1564	覆土										1					1
SP1571	覆土								2							2
SP1572	覆土								1							1
SP1574	覆土										2					2
SP1576	覆土								1							1
SP1577	覆土								9							9
SP1578	覆土								3	1						4
SP1579	覆土								2							2
SP1580	覆土								1							1
SP1581	覆土								2							2
SP1582	覆土								1							1
SP1583	覆土										2					2
SP1585	覆土									1						1
SP1586	覆土								3							3
SP1587	覆土								4							4
SP1589	覆土								1							1
SP1590	覆土								1							1
SP1592	覆土										17					17
SP1594	覆土								1							1
SP1599	覆土										8					8
SP1604	覆土										5					5
SP1605	覆土								5							5
SP1606	覆土								3							3
SP1607	覆土										8					8
SP1611	覆土								3							3
SP1612	覆土								1							1
SP1613	覆土								1							1
SP1617	覆土								1							1
SP1618	覆土								2							2
SP1621	覆土										2					2
SP1623	覆土								9	1						10
SP1624	覆土								1							1
SP1625	覆土									4						4
SP1631	覆土								3							3
SP1632	覆土								1							1
SP1633	覆土								1							1
SP1634	覆土								7							7
SP1635	覆土										1					1
SP1636	覆土								1							1
SP1637	覆土								3	1						4
SP1639	覆土								1							1

遺構	出土層位	Ia	Ib3	Ib4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVe1	IVe-2	Vb	Vc	M	土製品	総計
SP1641	覆土								3							3
SP1642	覆土								5		1					6
SP1643	覆土								5							5
SP1644	覆土								9	1						10
SP1645	覆土								6							6
SP1646	覆土								2	1						3
SP1647	覆土								4							4
SP1650	覆土								1							1
SP1651	覆土								2							2
SP1652	覆土									2						2
SP1655	覆土				1											1
SP1656	覆土								2							2
SP1658	覆土								2							2
SP1660	覆土								1							1
SP1661	覆土								1		1					2
SP1663	覆土								2		1					3
SP1664	覆土								5							5
SP1665	覆土								2							2
SP1666	覆土								1							1
SP1669	覆土						1									1
SP1672	覆土										1					1
SP1674	覆土								1							1
SP1676	覆土								3							3
SP1677	覆土								3		2					5
SP1678	覆土								1							1
SP1682	覆土										1					1
SP1687	覆土										1					1
SP1688	覆土								1							1
SP1689	覆土								4							4
SP1690	覆土								2							2
SP1691	覆土								4							4
SP1694	覆土								1							1
SP1696	覆土									1						1
SP1697	覆土								2							2
SP1698	覆土									2						2
SP1699	覆土								1							1
SP1702	覆土								3							3
SP1704	覆土								2							2
SP1705	覆土									1						1
SP1706	覆土								2							2
SP1709	覆土								1							1
SP1713	覆土									3						3
SP1714	覆土									1						1
SP1716	覆土									2						2
SP1717	覆土								6							6
SP1719	覆土									1						1
SP1721	覆土								1							1
SP1723	覆土								4							4
SP1724	覆土										1					1
SP1729	覆土								2							2
SP1731	覆土										3					3
SP1735	覆土								3							3
SP1738	覆土								1							1
SP1739	覆土								2							2
SP1741	覆土								1							1
SP1743	覆土				1				6							7
SP1748	覆土						1		2							3
SP1752	覆土								1							1
SP1753	覆土								2		4					6
SP1756	覆土								1							1

## 西島松5遺跡(2) 平成12・13年度

遺構	出土層位	Ia	Ib3	Ib4	Ila	Ilb	II	IIa	IIc	IIe1	IIc-2	Vb	Vc	M	土製品	総計
SP1758	覆土								5							5
SP1764	覆土								2							2
SP1766	覆土								1							1
SP1767	覆土								1							1
SP1768	覆土								1							1
SP1772	覆土								1							1
SP1782	覆土								2	2	1					5
SP1786	覆土								1							1
SP1801	覆土										1					1
SP1803	覆土								3							3
SP1809	覆土								1							1
SP1810	覆土							5								5
SP1812	覆土								4							4
SP1813	覆土								2							2
SP1814	覆土								7							7
SP1816	覆土								4							4
SP1826	覆土								2							2
SP1827	覆土								1							1
SP1830	覆土								1							1
SP1831	覆土								6							6
SP1832	覆土								1							1
SP1833	覆土											1				1
SP1834	覆土								2	1						3
SP1836	覆土									1						1
SP1841	覆土									1						1
SP1848	覆土								3							3
SP1852	覆土								2							2
SP1853	覆土								3							3
SP1855	覆土								4							4
SP1856	覆土								1							1
SP1858	覆土								1							1
SP1867	覆土								1							1
SP1871	覆土								1							1
SP1873	覆土								1							1
SP1874	覆土								4		1					5
SP1880	覆土								3		1					3
SP1885	覆土								2							2
SP1887	覆土								2							2
SP1895	覆土								1							1
SP1913	覆土								1		1					2
SP1918	覆土								1							1
SP1919	覆土								3							3
SP1925	覆土								1							1
SP1928	覆土								2							2
SP1936	覆土								2							2
SP1939	覆土								1							1
SP1940	覆土								2							2
SP1941	覆土								1							1
SP1945	覆土											8				8
SP1947	覆土								1							1
SP1950	覆土								1							1
SP1953	覆土								1							1
SP1954	覆土								3							3
SP1963	覆土									2						2
SP1969	覆土								2	1						3
SP1970	覆土								1							1
SP1973	覆土								1							1
SP1975	覆土									4						4
SP1977	覆土									4						4
SP1979	覆土									1						1



遺構	出土層位	Ia	Ib3	Ib4	Ila	Ilb	III	IIa	IIc	IIe1	IIe-2	Vb	Vc	M	土製品	総計
SP1980	覆土									4						4
SP1981	覆土								5							5
SP1982	覆土								1							1
SP1983	覆土								1							1
SP1984	覆土								1							1
SP1986	覆土									1						1
SP1987	覆土								1							1
SP1989	覆土								1							1
SP1992	覆土								1							1
SP1995	覆土								3							3
SP1996	覆土								2							2
SP1998	覆土								2							2
SP1999	覆土								1							1
SP2001	覆土								1							1
SP2011	覆土								3							3
SP2013	覆土									1						1
SP2025	覆土								2							2
SP2063	覆土								2							2
SP2064	覆土								2							2
SP2066	覆土								10	1						11
SP2067	覆土								2							2
SP2068	覆土								1							1
SP2071	覆土									3						3
SP2073	覆土									2						2
SP2075	覆土								3							3
SP2080	覆土								1							1
SP2088	覆土								1							1
SP2115	覆土									1						1
SP2119	覆土			1												1
SP2147	覆土								1							1
SP2148	覆土								1							1
SP2153	覆土								1							1
SP2154	覆土											1				1
SP2157	覆土									2						2
SP2160	覆土										1					1
SP2174	覆土						1									1
SP2186	覆土									1						1
SP2188	覆土									2						2
SP2190	覆土									1						1
SP2196	覆土								1	1						2
SP2199	覆土									1						1
SP2200	覆土								1	1						2
SP2201	覆土								1	1						2
SP2203	覆土				1											1
SP2206	覆土									1						1
SP2216	覆土						2			2						4
SP2224	覆土									3						3
SP2234	覆土											1				1
SP2263	覆土									1						1
SP2265	覆土								1							1
SP2266	覆土		1						6							7
SP2267	覆土								1		1					2
SP2268	覆土									1						1
SP2275	覆土											1				1
SP2278	覆土								1							1
SP2279	覆土								3							3
SP2282	覆土			1			1		1							3
SP2283	覆土								3		3					6
SP2285	覆土						1		1							2
SP2287	覆土										1					1

## 西島松5遺跡(2) 平成12・13年度

遺構	出土層位	Ia	Ib3	Ib4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVe1	IVe-2	Vb	Vc	M	土製品	総計
SP2291	覆土									2						2
SP2297	覆土								1							1
SP2304	覆土		3													3
SP2306	覆土								1							1
SP2308	覆土								1							1
SP2311	覆土								1							1
SP2314	覆土									1	1					2
SP2319	覆土									2						2
SP2320	覆土					2		28	1	1						32
SP2321	覆土									1				1		2
SP2323	覆土								1							1
SP2325	覆土								2							2
SP2326	覆土								8	2	9					19
SP2328	覆土								6		1			4		11
SP2330	覆土								3							3
SP2331	覆土								1		1					2
SP2332	覆土								2							2
SP2336	覆土								1		1					2
SP2340	覆土								1							1
SP2347	覆土								3							3
SP2357	覆土								4		1					4
SP2358	覆土								2							2
SP2360	覆土								3		1	1				5
SP2375	覆土									1						1
SP2387	覆土								1							1
SP2389	覆土								1							1
SP2392	覆土								2							2
SP2395	覆土									1						1
SP2401	覆土								2	1						3
SP2407	覆土									2						2
SP2408	覆土									2						2
SP2409	覆土								1							1
SP2411	覆土								1							1
SP2414	覆土								3							3
SP2423	覆土								2							2
SP2424	覆土									2						2
SP2429	覆土								3							3
SP2430	覆土								1							1
SP2449	覆土								3							3
SP2476	覆土								1							1
SP2503	覆土											1				1
SP2511	覆土						1									1
不明	表様								1							1
計			4	4	4		29	10	1,029	162	212	14		5		1,473

表V-22 遺構別(小ピット)出土石器など一覧

遺構名	出土層位	石類	石造文 土灰イ	石類	2点 ホトイ イ(バー)	スク イ	スフレ イ	リフレ イ	フレ イ	小研	石屑	すり 石	穴 石	台石 石	砥石	磨 石	石 類	石 類	石 類	小研	計
SP1017	層土								2	2											2
SP1022	層土								1	1											1
SP1023	層土														1						1
SP1027	層土												1								1
SP1032	層土								1	1											1
SP1035	層土								1	1											1
SP1039	層土								1	1								1			2
SP1046	層土								1	1											1
SP1058	層土								1	1											1
SP1083	層土								1	1											1
SP1085	層土								1	1											1
SP1092	層土								1	1											1
SP1094	層土								1	1											1
SP1095	層土								2	2											2
SP1096	層土								1	1											1
SP1103	層土															1					1
SP1112	層土															1					1
SP1115	層土											1									1
SP1117	層土								1	1											1
SP1118	層土								1	1											1
SP1121	層土								1	1											1
SP1124	層土								1	1											1
SP1133	層土								1	1											1
SP1135	層土								1	1											1
SP1168	層土								1	1											1
SP1170	層土											1									1
SP1189	層土								1	1											1
SP1192	層土								1	1											1
SP1195	層土								1	1											1
SP1222	層土					1			1	2											2
SP1242	層土				1				1												1
SP1249	層土								1	1											1
SP1253	層土								1	1											1
SP1256	層土								2	2											2
SP1262	層土								1	1											1
SP1265	層土								1	1											1
SP1278	層土								2	2											2
SP1280	層土	1							1												1
SP1284	層土					1			2	3											3
SP1285	層土								1	1											1
SP1293	層土								1	1											1
SP1295	層土								1	1											1
SP1296	層土								2	2											2
SP1301	層土								1	1											1
SP1306	層土								1	1											1
SP1308	層土								1	1											1
SP1314	層土								1	1											1
SP1324	層土								1	1											1
SP1327	層土								1	1											1
SP1330	層土														1						1
SP1346	層土								1	1											1
SP1357	層土								1	1											1
SP1379	層土								1	1											1
SP1382	層土								2	2											2
SP1390	層土											1									1
SP1396	層土								1	1											1
SP1409	層土								1	1											1



## V 平成13年度 遺構と遺物

遺構名	出土層位	石類	石類文 字タイプ	石類	つばき形 石タイプ	スラ イバー	Rフレ イタ	Jフレ イタ	フレイ チップ	小計	石屑	すり石	たばこ 灰	台石・ 石組	磁石	陶・ 磁片	石積	礎石	石製品	小計	計		
SP1724	層土								1	1											1		
SP1730	層土								1	1												1	
SP1739	層土								1	1												1	
SP1748	層土	1								1												1	
SP1755	層土								2	2												2	
SP1764	層土																	1			1	1	
SP1777	層土								1	1												1	
SP1810	層土							1		1												1	
SP1818	層土							1		1												1	
SP1854	層土								1	1												1	
SP1858	層土								1	1												1	
SP1865	層土								1	1												1	
SP1900	層土																					2	
SP1919	層土								1	1												1	
SP1940	層土								1	1												1	
SP1947	層土								1	1												1	
SP1973	層土																1					1	1
SP1980	層土															1						1	1
SP1987	層土								1	1												1	
SP1988	層土								1	1												1	
SP1998	層土								1	1												1	
SP2017	層土								1	1												1	
SP2022	層土								1	1												1	
SP2026	層土								1	1												1	
SP2068	層土					1				1												1	
SP2073	層土								1	1												1	
SP2075	層土								1	1												1	
SP2095	層土								1	1												1	
SP2104	層土															1						1	1
SP2147	層土								1	1												1	
SP2151	層土								1	1	1											1	2
SP2154	層土															1						1	1
SP2166	層土								1	1												1	
SP2200	層土								5	5												5	
SP2231	層土															1						1	1
SP2266	層土								1	1												1	
SP2269	層土								1	1												1	
SP2270	層土								1	1												1	
SP2282	層土								1	1												1	
SP2283	層土								1	1												1	
SP2285	層土								1	1												1	
SP2303	層土											1										1	1
SP2304	層土				1					1												1	
SP2320	層土	1								5	6											6	
SP2325	層土									2	2											2	
SP2326	層土									3	3											3	
SP2331	層土								1	1												1	
SP2395	層土								1	1												1	
SP2410	層土								1	1												1	
SP2424	層土								1	1												1	
SP2429	層土									3	3											3	
SP2434	層土								1	1												1	
SP2467	層土								1	1												1	

## 7. 一括出土遺物

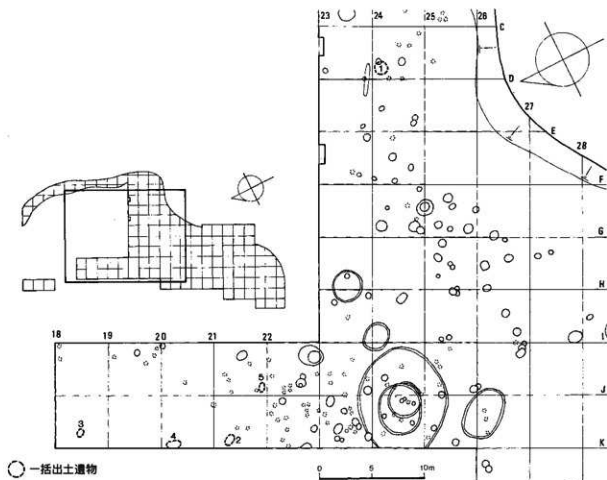
一括出土遺物1(一括1)(図V-96・100 表V-23~26 図版29・49)

位置:C-24 標高25.87m~25.94mのほぼ平坦地に位置する。

確認・調査:C-24の包含層調査中、I層を除去し、II層中で1.50m×1.00mほどの楕円形の広がりをもう土器片のまとまりが検出された。遺物はII層に黄色土が少量まじる土の中にあり、また炭化物も多く散在していた。遺構に伴う遺物集中であることも想定されたため、周辺精査しつつ遺構検出作業を行う。III層上面付近まで掘り下げ調査したけれども、遺構の落ち込みは検出されず、一括出土遺物として写真撮影ののち記録しつつ遺物を取り上げる。一括出土遺物の下は不整形に浅いくぼみとなっていた。遺物(とくに土器片)は余りまとまった出土状態ではなく、器面の表、裏も一定していない。浅いくぼみにII層の土とともに自然堆積したものと思われる。

遺物出土状態:出土遺物総数は101点である。石製品2点、フレイク・チップ2点、砥石1点、礫8点の他はすべて土器片である。出土土器はIV群c-2類が1点、他はIV群c-1類土器である。接合関係では、一括出土遺物の上下、I層とII層中出土の土器片と数点接合しただけで、他はすべて一括出土遺物間での接合である。

出土遺物:土器~1は深鉢の口縁部。縦と横の多重沈線文がある。突瘤文が巡る。2は深鉢の口縁部。沈線文、突瘤文が巡る。3は深鉢の口縁部から胴部。口縁部は内湾する。突瘤文が巡る。4は深鉢の口縁部。突瘤文が巡る。5は深鉢の口縁部。口縁部断面は切出し形。突瘤文が巡る。6は深鉢の口縁部。突瘤文が巡る。7は鉢。底部は低台付。突瘤文が巡る。8は深鉢の胴部。沈線文がある。9は深鉢の胴部。沈線文、無文帯がある。爪文がめぐる。10は深鉢の胴部。沈線文があり、沈線間に爪文。



図V-95 一括出土遺物の位置図

11は壺の胴部。沈線文、沈線文間に爪文、ボタン状貼付がある。下半は無文。12は深鉢の胴部。13は大型の深鉢の胴部。無文帯の部分で沈線文による区画。14は壺の肩部。細めの沈線による多重沈線文。15は深鉢の口縁部。沈線文、突瘤文が巡る。口唇部断面は切出し形。16は深鉢の口縁部。多重沈線文。突瘤文が巡る。17は深鉢の口縁部。多重沈線文。突瘤文が巡る。18は深鉢の胴部。沈線文、無文帯が巡る。下半は無文。1～6・8～10・12・14～18は堂林式。7・11・13は三ツ谷式。石器～1は貫孔する玉。石材はカンラン岩。2は自然貫孔の可能性が大きいが、これを垂飾として使用していたことも考えられるので、ここに掲載した。

時期：出土土器などから見て、縄文時代終期後葉のものである。

#### 一括出土遺物 2(一括 2) (図V-97・101・102 表V-23～26 図版29・50)

位置：J-21 標高25.30m付近の平坦地に位置する。

確認・調査：J-21の包含層調査中、Ⅲ層上面付近で風倒木痕と思われる軽石まじりの黒褐色土の落ち込みが検出された。一部に土器片が見られたことから中央付近に土層観察用の土手を設定して掘り下げる。約1.00～0.50mの範囲でほぼ二カ所に土器片のまとまりが検出された。南側のまとまりは大型の破片で、内面を上にしたものが多く、北側のまとまりは底部付近のものがほぼ直立した状態で出土した。なお本一括出土遺物の上方の「ⅡC層中」(70cm×50cmの範囲)でも土器片のまとまりが検出されており、これも含めて一括出土遺物 2として遺物を取り上げている。

遺物出土状況：出土遺物総数は542点である。この内訳は土器534点、石器8点である。ⅡC層中のものは331点、石器8点で風倒木痕中のもは土器のみ203点出土している。出土土器はⅡ群a類土器が531点で、他にはⅣ群c-1・2類土器が3点出土している。ⅡC層中のもはと風倒木痕中のもはが接合している。

出土遺物：土器～1は深鉢。底部は尖底。口唇部断面は隅丸の方形。口縁部はゆるやかな波状口縁で3単位。口縁部付近で弱く開く。内面の縄文は縦位や斜位の回転施文。2は深鉢。底部は尖底。口唇部断面は隅丸の方形。口縁部付近で弱く内湾。口縁部はゆるやかな波状口縁で4単位。内面の縄文は斜位の回転施文で横走する。1～2は静内中野式。

性格・時期：周辺に遺構は見られず、ⅡC層中にあった土器片が風倒木によりⅣ層中に入り込んだものであろう。出土土器はⅡ群a類土器である。

#### 一括出土遺物 3(一括 3) (図V-98・103 表V-23～26 図版30・50)

位置：J-18 標高25.65m付近の平坦地に位置する。

確認・調査：J-18の包含層調査中、Ⅲ層上面付近で東西に広がる風倒木痕が確認され、その東側で器面の内面を上にし、ほぼ水平の状態ですり片が一括出土した。

遺物出土状況：出土遺物総数は20点で、この内訳は土器11点、石器9点である。底部付近の土器片は出土していない。

出土遺物：土器～1は深鉢の口縁部。燃糸文。東銅路Ⅳ式。

性格・時期：周辺に遺構は見られず、ⅡC層中にあった土器片が風倒木によりⅣ層中に入り込んだものであろう。出土土器はⅠ群b-4類土器である。

#### 一括出土遺物 4(一括 4) (図V-99・104 表V-23～26 図版30・50)

位置：J-20 標高25.60m付近の平坦地に位置する。

確認・調査：J-20の包含層調査中、Ⅲ層上面付近で黄色土が少量まじる粘質の黒褐色土の落ち込みを検出する。北側の一部は調査区外に広がっているため全体は明らかではなかった。南側で土器片の

一部が出土していたため、そこに土層観察用の土手を設定し、黒褐色土を掘り下げる。壁の立ち上がりや底面の状況から風倒木痕と判断する。ただ北側は黒褐色土の輪郭が明瞭であったことから考えると、土壌を風倒木痕が破壊している可能性もある。従って遺物は南側の一部(遺物番号を付したのもの)だけを取り上げた。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は136点で、石皿片(遺物取り上げ番号4・7・11)以外はすべてⅡ群a類の土器片である。土器は横倒の状態出土している。

**出土遺物:** 土器～1は深鉢の口縁部から胴部。口唇部断面は隅丸の方形。口縁部はゆるやかな波状口縁で5単位。口縁部付近で弱く開く。内面の縄文は縦位や斜位の回転軸文で縦走気味である。静内中野式。

石器～1は石皿である。使用面にたたき痕も残る。被熱し、剥落している。石材は凝灰岩。

**性格・時期:** 先述したように土壌を風倒木が破壊している可能性もあり、そうであるならば土壌に伴う一括遺物と考えられる。次年度以降の調査結果を待つことにする。出土土器はⅡ群a類のもので、縄文時代前期のものと思われる。

#### 一括出土遺物 5(一括 5) (図V-105 表V-23～26 図版30・51)

**位置:** I-21

**確認・調査:** I-21の包含層調査中、ⅡC層上面付近でほぼ1.50m×0.50mの範囲に広がる土器片が一括出土した。

**遺物出土状況:** 出土遺物総数は209点である。この内訳は土器194点、石器15点である。周辺出土の土器片や石器などもこれに加えている。遺物は内面を上にしたまともも見られるが、大半がバラバラの状態出土している。出土土器はⅣ群c-2類土器が133点、他にⅡ群a類、Ⅲ群b類、Ⅳ群c-1類土器が少数出土している。

**出土遺物:** 土器～1は深鉢の口縁部。口唇部断面はやや尖り気味の隅丸の方形。2は深鉢の胴部。3は深鉢の口縁部。口唇部断面は隅丸の方形。4は深鉢の口縁部～胴部。突起部は半円形で頂部に棒状工具による刻み。爪文、突瘤文が巡る。5は深鉢の口縁部。爪文、突瘤文が巡る。6は深鉢の口縁部。口唇部断面は面取りのある切出し形。沈線文、突瘤文が巡る。7は深鉢の口縁部。口唇部断面は面取りのある切出し形。斜めの沈線文、平行沈線文、突瘤文が巡る。8は深鉢の口縁部。口縁部は小波状様の斜めの刻み。突瘤文が巡る。9は深鉢の口縁部。口縁部は切出し形。突瘤文が巡る。10は深鉢の口縁部。突瘤文が巡る。11は深鉢の底部。底部は台付。無文の台部の境に太目の沈線文。12は深鉢の胴部。13は無文の大型の鉢の口縁部。1・2・3は静内中野式。4～13は三ツ谷式。

**性格・時期:** 本遺構の北東側、ⅡC層上面付近でF 149が検出されている。位置・レベルから見てこの焼土に関係する一括土器と思われる。出土土器から見て、Ⅳ群c-2類土器を伴う縄文時代後期のものかと思われるが、出土層位から考えると、もう少し古い時期のものとも思われる。



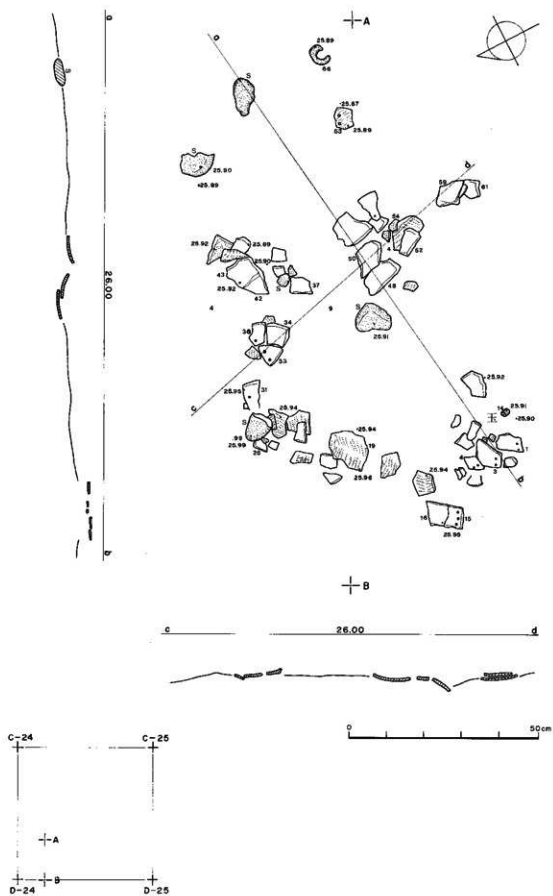


図 -96 一括1

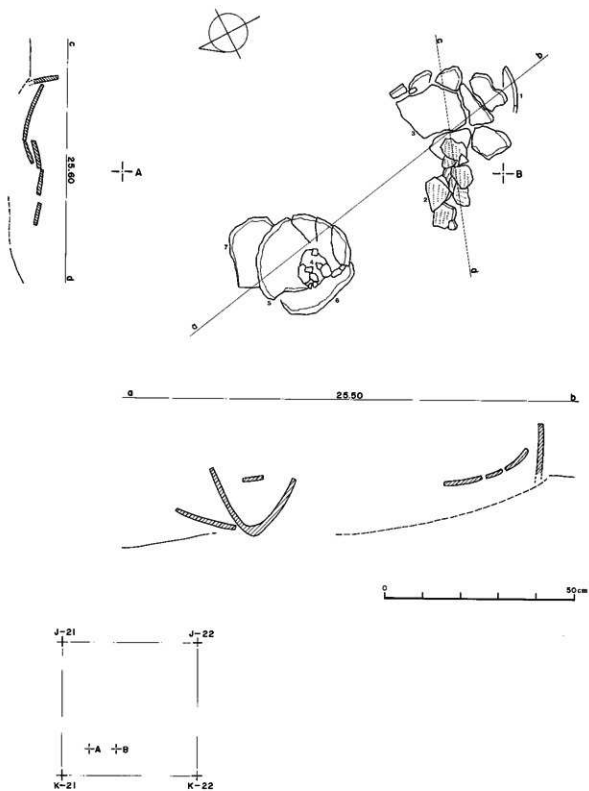
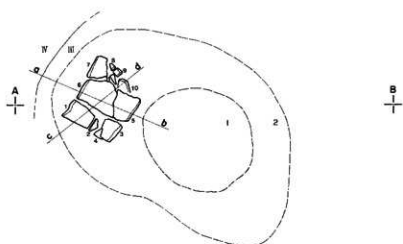


図 -97 一括2



a ————— 25.80 ————— b      c ————— 25.80 ————— d



1 暗褐色土(軽石混入)

2 褐色土 黄色土

0 ————— 50cm —————

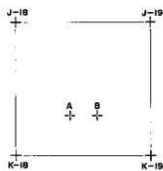


図 -98 一括3

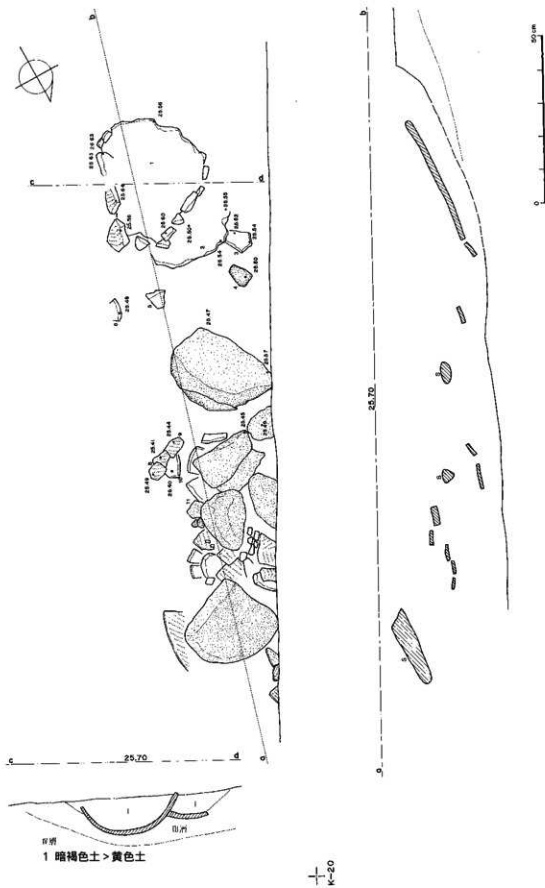


図 99 一括4

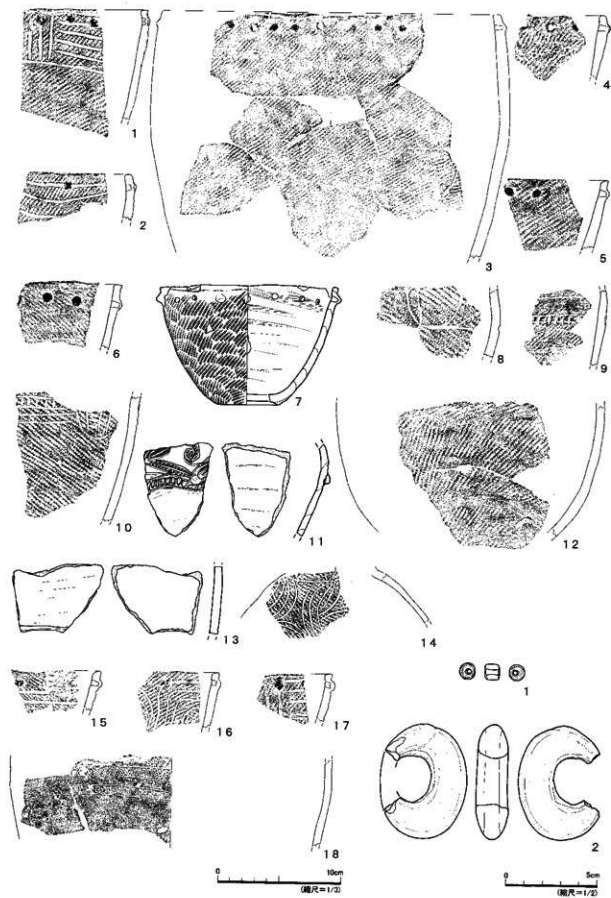


図 -100 一括1 出土の土器と石製品

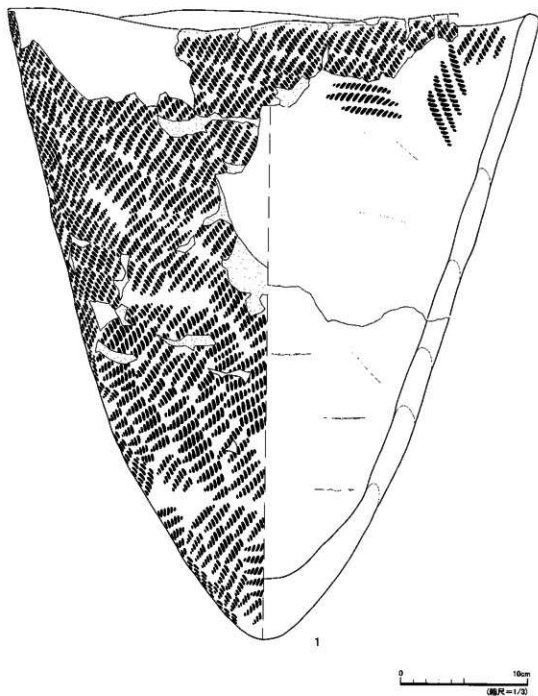


図 101 一括2 出土の土器(1)

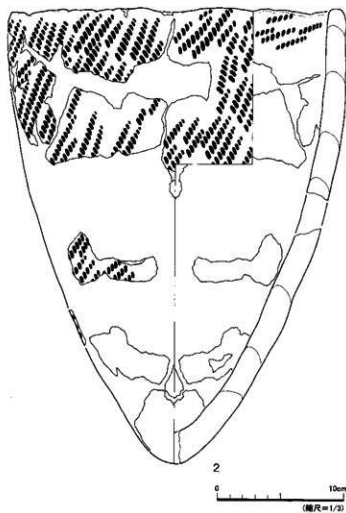


図 -102 一括2 出土の土器(2)

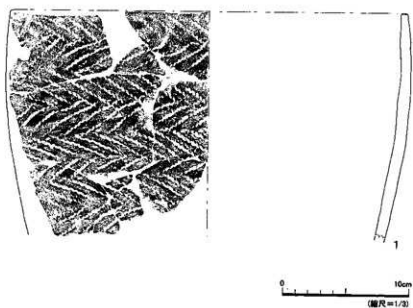


図 -103 一括3 出土の土器

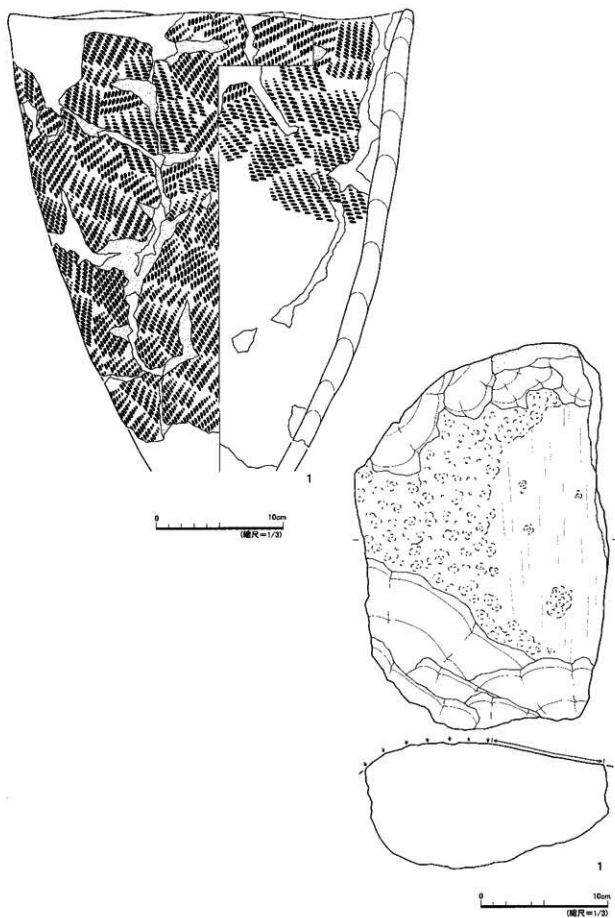


図 -104 一括4 出土の土器と石器



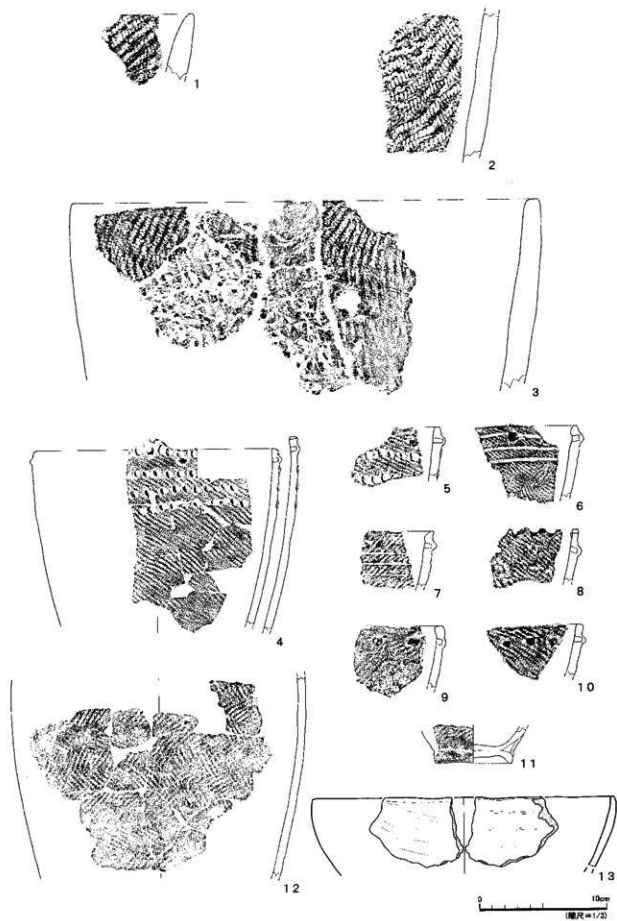


図 -105 一括5 出土の土器

表V-23 一括出土遺物掲載土器一覧

図番号	図取番号	遺構名・グリット	層位	取上り番号	器種(部位)	分類	地文及び土質調整	形式名称	口径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	最大径(cm)	備考
V-100-1	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.15-16	深鉢(II)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-100-2	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.31	深鉢(II)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-100-3	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.3-4-11・ 19-52-24	深鉢 (I→II)	IVc-1	L R	堂林式	27.7	20.0	—	—	
V-100-4	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.26	深鉢(II)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-100-5	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.1	深鉢(II)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-100-6	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.63	深鉢(II)	IVc-1	R L	堂林式	—	—	—	—	
V-100-7	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.33・ 34-36	鉢(完)	IVc-2	L R	三ツ谷式	14.5	9.8	4.9	—	
V-100-8	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.33	深鉢(脚)	IVc-1	R L	堂林式	—	—	—	—	
V-100-9	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.61	深鉢(脚)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-100-10	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.42-43	深鉢(脚)	IVc-1	R L	堂林式	—	—	—	—	
V-100-11	49	一括1 (C-24)	II層(一括下)	No.37	皿(脚)	IVc-2	L R 磨納	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-100-12	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.49-50	深鉢(脚)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-100-13	49	一括1 (C-24)	II層(一括)	No.59	深鉢(脚)	IVc-2	無文	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-100-14	49	一括1 (C-24)	II層(一括下)		皿(脚)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-100-15	49	一括1 (C-24)	II層(一括下)	No.3直下	深鉢(II)	IVc-1	R L	堂林式	—	—	—	—	
V-100-16	49	一括1 (C-24)	II層(一括下)		深鉢(II)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-100-17	49	一括1 (C-24)	II層(一括下)		深鉢(II)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-100-18	49	一括1 (C-24)	II層(一括下)		深鉢(脚)	IVc-1	L R	堂林式	—	—	—	—	
V-101-1	50	一括2 (J-21)	II層(一括) 風倒木坑内 II C層中位(一括)	No.1~7 No.1	深鉢(完)	IIa	L R 多条	静内中野式	41.9	49.5	—(丸底)	—	内面磨文
V-102-2	50	一括2 (J-21)	II C層中位(一括)	No.1	深鉢(完)	IIa	L R 多条	静内中野式	26.0	35.8	—(丸底)	—	内面磨文
V-103-1	50	一括3 (J-18)	II C層上(一括)	No.1~11	深鉢(II)	I b-4	R・L 磨納	東園Ⅳ式	40.1	18.5	—	—	
V-104-1	50	一括4 (J-20)	II層(一括) 風倒木坑内 II C層	No.1~3	深鉢 (I→II)	IIa	L R 多条	静内中野式	31.8	33.8	—	—	内面磨文
V-105-1	51	一括5 (I-20)	II層(一括) 風倒木坑内	No.8	深鉢(II)	IIa	L R 多条	静内中野式	—	—	—	—	
V-105-2	51	一括5 (I-20)	II層(一括) 風倒木坑内	No.10	深鉢(脚)	IIa	L R 多条	静内中野式	—	—	—	—	
V-105-3	51	一括5 (I-21)	II C層上位 (一括)		深鉢(II)	IIa	L R 多条	静内中野式	37.0	16.0	—	—	
V-105-4	51	一括5 (I-21)	II C層上位 (一括)		深鉢 (I→II)	IVc-2	R L	三ツ谷式	19.3	16.0	—	—	
V-105-5	51	一括5 (I-21)	II C層上位 (一括)		深鉢(II)	IVc-2	R L	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-105-6	51	一括5 (I-21)	II C層上位 (一括)		深鉢(II)	IVc-2	R L	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-105-7	51	一括5 (I-21)	II C層上位 (一括)		深鉢(II)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-105-8	51	一括5 (I-21)	II C層上位 (一括)		深鉢(II)	IVc-2	R L	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-105-9	51	一括5 (I-21)	II C層上位 (一括)		深鉢(II)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-105-10	51	一括5 (I-21)	II C層上位 (一括)		深鉢(II)	IVc-2	R L	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-105-11	51	一括5 (I-21)	II C層上位 (一括)		深鉢(脚)	IVc-2	L R	三ツ谷式	—	—	6.0	—	
V-105-12	51	一括5 (I-21)	II C層上位 (一括)		深鉢(脚)	IVc-2	R L・L R	三ツ谷式	—	—	—	—	
V-105-13	51	一括5 (I-21)	II C層上位 (一括)		鉢(II)	IVc-2	無文	三ツ谷式	24.0	—	—	—	大型

表V-24 一括出土遺物掲載石器・石製品一覧

遺構番号	図番号	名称	層位	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石材	備考
一括1	図V-100-1	石製品	II層	0.90	0.85	0.85	1.00	カンラン岩	玉
一括1	図V-100-2	石製品	II層	6.20	(4.45)	1.80	56.10	泥岩	自然孔?垂磨?
一括4	図V-104-1	石皿	II層	(30.50)	(16.00)	10.50	5kg	凝灰岩	

表 -25 遺構別（一括出土遺物）出土土器一覧

遺構	出土層位	Ia	Ib-3	Ib-4	IIa	IIb	III	IVa	IVc	IVc-1	IVc-2	Vb	Vc	VI	土製品	総計
一括1 (C-24)	II層									87	1					88
一括2 (J-21)	II層				202						1					203
	II C層中位				329					1	1					331
	計				531					1	2					534
一括3 (J-18)	III層直上			11												11
一括4 (J-20)	II層				124											124
一括5 (I-20)	II層				51											51
一括5 (I-21)	II層				34	4				23						61
	II C層上位										133					133
	計				34	4				23	133					194
計			11	740	4				111	136						1,002

表 -26 遺構別（一括出土遺物）出土石器など一覧

遺構名	出土層位	石鏃 石鏃又はナイフ	石鏃	つばね きナイフ	スクレイパー	Rフレイク	Uフレイク	フレイクチップ	小計	石斧	すり石	とぎ石	台石・石皿	砥石	鏡・鏡片	石核	原石	石製品	小計	計
一括1 (C-24)	II層							2	2					1	8				9	11
一括2 (J-21)	II C層中位							2	2		2				4				6	8
一括3 (J-19)	III層直上				2	2		4								5			5	9
一括4 (J-20)	II層												12						12	12
一括5 (I-21)	風倒木痕	1						1	2						4				4	6
	II C層上位							5	5						4				4	9
	計	1						6	7						8				8	15

## VI 自然科学的手法による分析結果

### 1. 西島松5遺跡出土金属製品の自然科学的分析

(財)元興寺文化財研究所

井上美知子 植田直見

#### 1. 遺物名および分析内容

西島松5遺跡から出土した以下の表の金属製品の付着物について分析をおこなった。

表1 分析対象遺物と分析内容

(北埋調報178集掲載遺物)

遺構名・掲載No名称	鞘木の 樹種鑑定	漆か? (FT-IR)	漆膜(断 面観察)	布の 記録	布(繊維種 同定)	紐の 記録	鹿角? (XRF)	その他
P11-4 小刀・刀子							○	
P12-4 直刀							○	
P11-3 直刀		○	○					
P11-5 直刀		○	○					
P12-3-1 小刀・刀子							○	
P12-3-2 小刀・刀子		○					○	
P15-2-1 直刀		○	○	○	○			
P15-2-2 直刀		○	○	○	○			
P98-1 直刀		○						○(金具痕)
P96-4 直刀		○	○					○(鮫皮?)
P30-8-1 直刀		○	○	○	○	○		
P30-8-2 小刀・刀子		○						
P112-1 蕨手刀	○							
P128-1 直刀	○	○		○	○			
P131-1 直刀							○	
X6-1 直刀		○	○					

#### 2. 使用機器および分析条件

- 走査型電子顕微鏡(以下、SEM)(株日立製作所 S-3500N)
- 金属顕微鏡(株オリンパス製 BH2-UMA)
- マイクロスコープ(株キーエンス社製 VH-7000)
- エネルギー分散型ケイ光X線分析装置(以下、XRF)(セイコーインスツルメンツ(株製 SEA5230)  
試料の微小領域にX線を照射し、その際に試料から放出される各元素に固有の蛍光X線を検出することにより元素を同定する。試料室が真空であればナトリウムより重い元素が検出可能である。大気圧であればカリウムより重い元素の検出感度が高い。

\*測定条件 励起電圧：45kV、コリメータ：1.8mm、測定時間300秒

- フーリエ変換型赤外分光光度計（以下、FT-IR）（日本電子株式会社 JIR-6000）

試料に赤外を照射し、そこから得られる分子の構造に応じた固有の周波数の吸収を解析し、化合物の種類を同定する。

\*分析条件 KBr(臭化カリウム)錠剤法(極微量の試料をKBrと混ぜ合わせプレスして錠剤にする)  
分解能  $2\text{ cm}^{-1}$  検出器 TGS

### 3. 方法および結果

#### ① P11-4 小刀・刀子

柄の淡い黄土色部分（図1・分析No1）をXRF（試料室真空）で元素分析をおこなった。

その結果、本体の鉄（Fe）の他に、主な元素としてカルシウム（Ca）、リン（P）が検出された（図28）。骨や角の主成分は磷酸カルシウムであり、刀装具によく用いられる鹿角の可能性が高いと考えられた。

#### ② P12-4 直刀

柄の淡い黄土色部分（図2・分析No1）をXRF（試料室真空）で元素分析をおこなった。

その結果、本体の鉄（Fe）の他に、主な元素としてリン（P）が検出されたがカルシウム（Ca）のピークは比較的低いため断定はできないが鹿角などの可能性が高いと考えられた（図29）。

#### ③ P11-3 直刀

鞘の中央部分（図3・分析No1）に黒色の塗膜が観察された。ごく微量の塗膜を採取してFT-IRで分析をおこなった。また、塗膜をエポキシ樹脂に包埋後研磨をおこない膜の断面を観察した。なお、ほとんどの遺物の塗膜には鉄さびが付着し、また強度を保持するため樹脂が塗布されているものが多かった。そこで、サンプリングした試料はまず酢酸エチル、アセトンに浸漬し樹脂を除去した。次に17%HCl水溶液に浸漬した後、蒸留水で洗浄し乾燥させたものを分析に使用した。以下、他の遺物の塗膜についても同様な操作を行った。

その結果、FT-IRでは、典型的な漆の吸収が確認された（図34）。また、漆膜はサビの生成によって一部剥離しており、下地の状態は不明であった。塗膜は2層観察された（図4）。また、塗膜の断面および肉眼観察の結果、動物の皮の上に塗られた可能性が高いと考えられたが、漆以外はそのほとんどが有機物として残在していないため断定はできなかった。

#### ④ P11-5 直刀

鞘部分（図5・分析No1）に黒色の塗膜が観察された。ごく微量の塗膜を採取してFT-IRで分析をおこなった。また、塗膜をエポキシ樹脂に包埋後研磨をおこない膜の断面を観察した。

その結果、FT-IRでは、典型的な漆の吸収が確認された（図35）。また、漆膜はサビの生成によって一部剥離しており、断面形状からは下地の状態は不明であったが、松煙等を混入したと考えられる層が2層観察された（図6）。

## ⑤ P12-3-1 小刀・刀子、P12-3-2 小刀・刀子

P12-3-1の柄の淡い黄土色部分(図7・分析№1)をXRF(試料室真空)で元素分析をおこなった。その結果、本体の鉄(Fe)の他に、主な元素としてリン(P)が検出されたがカルシウム(Ca)のピークは比較的低いため断定はできないが鹿角などの可能性が高いと考えられた(図30)。

P12-3-2の柄の淡い黄土色部分(図7・分析№2)をXRF(試料室真空)で元素分析をおこなった。その結果、本体の鉄(Fe)の他に、主な元素としてリン(P)が検出されたがカルシウム(Ca)のピークは比較的低いため断定はできないが鹿角などの可能性が高いと考えられた(図31)。

また、鞘に黒色の塗膜(図7・分析№3)が観察された。ごく微量の塗膜を採取してFT-IRで分析をおこなった結果、漆が塗布されていることがわかった(図36)

## ⑥ P15-2-1 直刀、P15-2-2 直刀

P15-2-1の柄部分(図8・分析№1、2)に黒色の塗膜が観察された。2箇所からごく微量の塗膜を採取してFT-IRで分析をおこなった。また、塗膜をエポキシ樹脂に包埋後研磨をおこない膜の断面を観察した。

その結果、FT-IRでは、典型的な漆の吸収が確認された(図37、38)。また、№1の漆膜は柄に巻かれた繊維状のものの上に塗布されていた。しかし、繊維は消失しており繊維種を同定することはできなかった(図9上・分析№1)。№2は柄尻部分に塗布された漆膜で、松煙等を混入した可能性が高く、それぞれの厚みは均一ではないが2層合わせて80~90 $\mu$ mであった(図9中・分析№2)。

つぎに、鐔に付着した布(図8・分析№3)の記録と繊維種の同定をおこなった。布はマイクロスコープで観察した結果、平織であった(図10上、中)。ごく微量の経糸を採取し、SEMで繊維の断面形状を観察した。

その結果、繊維種は、絹の様な動物性繊維ではなく、植物性の繊維と考えられたが、劣化が著しく同定することができなかった(図10下)。

P15-2-2の柄部分(図8・分析№4)に黒色の塗膜が観察された。ごく微量の塗膜を採取してFT-IRで分析をおこなった。また、塗膜をエポキシ樹脂に包埋後研磨をおこない膜の断面を観察した。

その結果、FT-IRでは、典型的な漆の吸収が確認された(図39)。また、漆膜は柄に巻かれた樹皮状のものの上に塗布されていたが樹皮状部分は消失しておりその種類を同定することはできなかった(図9下・分析№4)。

つぎに、鐔に付着した布(図8・分析№5)の記録と繊維種の同定をおこなった。布はマイクロスコープで観察した結果、緻密な平織りであった(図11上)。ごく微量の経糸を採取し、SEMで繊維の断面形状を観察した結果、繊維の抜け殻が丸みを帯びた三角形であり、絹であることが判った(図11下)。

## ⑦ P98-1 直刀

鞘部分(図12・分析№1)に黒色の塗膜が観察された。ごく微量の塗膜を採取してFT-IRで分析をおこなった結果、漆が塗布されていることがわかった(図40)。

つぎに、鞘の貴金具の痕跡が残った部分(図12・分析№2)をXRF(試料室大気圧)で元素分析をおこなった。

その結果、主成分として銅(Cu)、微量成分としてヒ素(As)、ビスマス(Bi)、銀(Ag)、スズ(Sn)が検出された(図32)。これらのことより、貴金具は主成分として銅を含む金属で製作されている可能性が高いが、微量成分との関係を確定するにはいたらなかった。

#### ⑧ P96-4 直刀

鞘部分(図13・分析No1)に黒色の塗膜が観察された。ごく微量の塗膜を採取してFT-IRで分析をおこなった。また、塗膜をエポキシ樹脂に包埋後研磨をおこない膜の断面を観察した。

その結果、FT-IRでは、典型的な漆の吸収が確認された(図41)。また、漆膜はサビの生成によって一部剥離しており、断面形状からは、下地の状態は不明であった。塗膜は、松煙等を混入した可能性の高いそれぞれ30~40 $\mu$ mの厚みのある3層が観察された(図14上)。

また、柄の一部に布目様の痕跡が観察された(図13・分析No2)。マイクロSCOPEで観察した結果、直径が約800 $\mu$ mの円形が規則正しく並んでいることから、柄に巻かれた鮫皮の可能性が高いと考えられた(図14中、下)。

#### ⑨ P30-8-1 直刀、P30-8-2 小刀・刀子

P30-8-1の直刀の鞘部分(図15・分析No1)に黒色の塗膜が観察された。ごく微量の塗膜を採取してFT-IRで分析をおこなった。また、塗膜をエポキシ樹脂に包埋後研磨をおこない膜の断面を観察した。

その結果、FT-IRでは、典型的な漆の吸収が確認された(図42)。また、漆膜はサビの生成によって一部剥離しており、断面形状からは下地の状態は不明であった。塗膜は、松煙等を混入したと考えられる層(50~60 $\mu$ m)と透(すき)漆状の層(50~60 $\mu$ m)が観察された(図16上)。

つぎに、鐔と鞘に付着した布(図15・分析No2、図16中)の記録と繊維種の同定をおこなった。布はマイクロSCOPEで観察した結果、平織りであった(図16下)。ごく微量の経糸を採取し、SEMで繊維の断面形状を観察した。その結果、繊維種は、絹の様な動物性繊維ではなく、植物性の繊維と考えられたが、劣化が著しく同定をおこなうことができなかった(図17)。

また、布の反対面に幅が約5mmの2畝の組紐の付着がみられた(図18上)。

P30-8-2の小刀・刀子(図15・分析No4)に黒色の塗膜が観察された。ごく微量の塗膜を採取してFT-IRで分析をおこなった結果、漆が塗布されていることがわかった(図43)。

#### ⑩ P112-1 蕨手刀

鞘木(図19・分析No1)を微量採取し、木口面、柃目面、板目面をSEMで観察し、樹種の同定をおこなった。

鞘木は広葉樹散孔材で、道管径が50 $\mu$ m、放射組織は2~3列で同性であることより、カエデ科の樹木と考えられた(図20)。

#### ⑪ P128-1 直刀

鞘部分(図21・分析No1)に黒色の塗膜が観察された。ごく微量の塗膜を採取してFT-IRで分析をおこなった結果、漆が塗布されていることがわかった(図44)。

鐔、および鞘部分に付着した布(図21・分析No2,3,4)の記録と繊維種の同定をおこなった。布はマ

イクロスコープで観察した結果、平織であった(図22,23)。分析No.2の布をごく微量の経糸を採取し、SEMで繊維の断面形状を観察した。その結果、繊維種は、絹のような動物性繊維ではなく、植物性の繊維と考えられたが、劣化が著しく同定をおこなうことができなかった(図24上)。

つぎに、鞘木(図21・分析No.5)を微量採取し、木口面と柃目面をSEMで観察し、樹種の同定をおこなった。

鞘木は針葉樹で、早材から晩材への移行は急で、分野壁孔がヒノキ型であることより、ヒノキの可能性が高いと考えられた(図24下)。

#### ⑫ P131-1 直刀

柄の破片の淡い黄土色部分(図25・分析No.1)をXRF(試料室真空)で元素分析をおこなった。その結果、鉄(Fe)の他に、主な元素としてカルシウム(Ca)、リン(P)が検出された(図33)。骨や角の主成分は磷酸カルシウムであり、刀装具によく用いられる鹿角の可能性が高いと考えられた。

#### ⑬ X6-1 直刀

鞘部分(図26・分析No.1)に黒色の塗膜が観察された。ごく微量の塗膜を採取してFT-IRで分析をおこなった。また、塗膜をエポキシ樹脂に包埋後研磨をおこない膜の断面を観察した。

その結果、FT-IRでは、典型的な漆の吸収が確認された(図45)。また、漆膜はサビの生成によって、一部剥離しており、断面形状からは、下地の状態は不明であった。塗膜は、透漆状の塗膜が2層(上層60 $\mu$ m、下層100 $\mu$ m)観察された(図27)。



分析No.1(鹿角?)

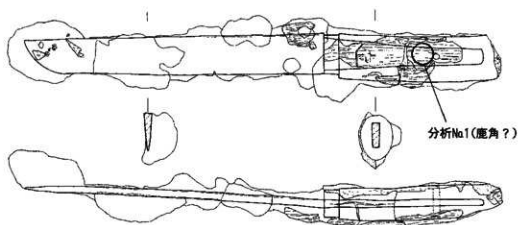
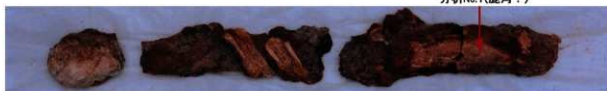


図1 P11-4 小刀・刀子分析箇所

分析No.1(鹿角?)

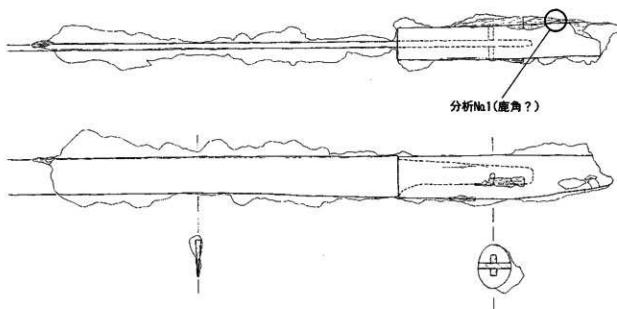


図2 P12-4 直刀分析箇所

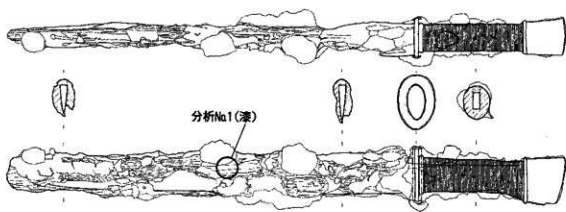


図3 P11-3 直刀分析箇所



a (落射光・暗視野)



b (透過光)

図4 P11-3 直刀の漆膜断面(分析NO.1)

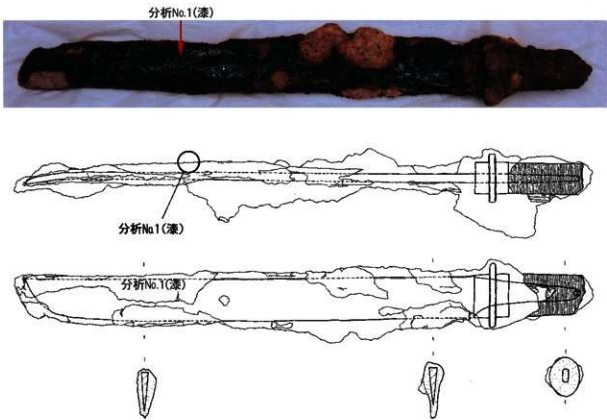


図5 P11-5 直刀分析箇所

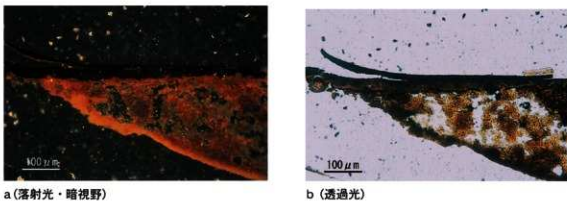


図6 P11-5 直刀の漆膜断面(分析No.1)

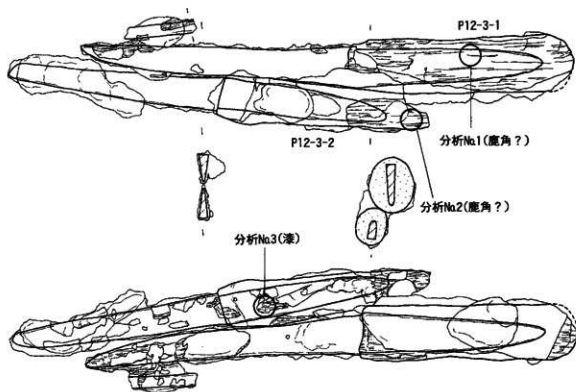
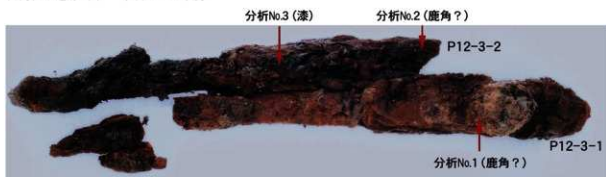


图7 P12-3 小刀・刀子分析箇所

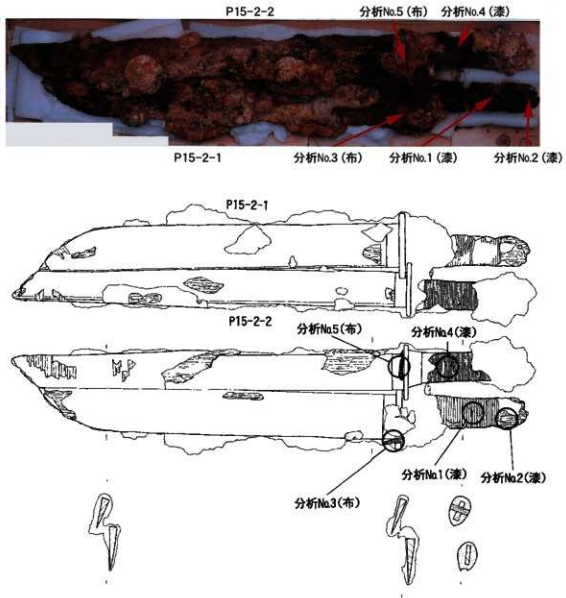
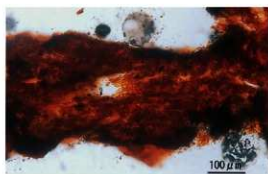


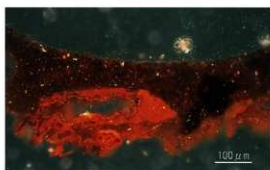
図8 P15-2 直刀分析箇所



a (反射光・暗視野)

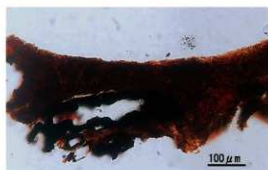


b (透過光)

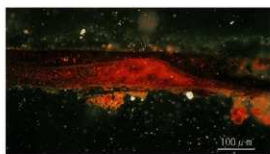


a (反射光・暗視野)

分析No.1の漆膜断面



b (透過光)

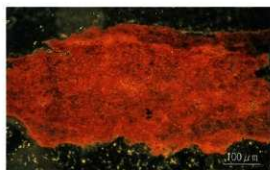


a (反射光・暗視野)

分析No.2の漆膜断面

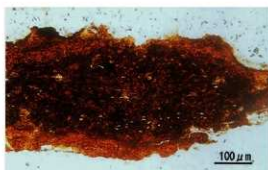


b (透過光)



a (反射光・暗視野)

分析No.4の漆膜断面



b (透過光)

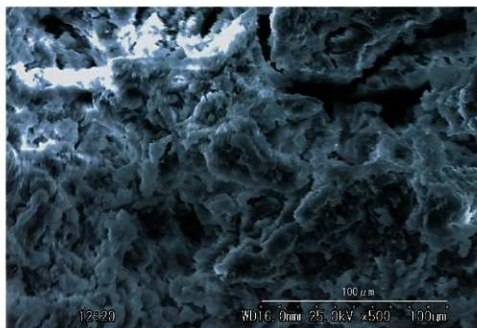
図9 P15-2 直刀(漆膜)



分析No.3.No.5の布



分析No.3の布 (マイクログラフ像)

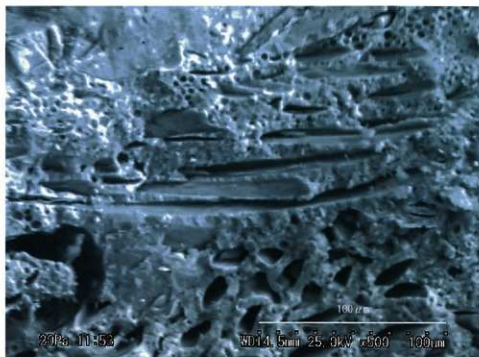


分析No.3の布 (SEM像)

図10 P15-2 直刀(布)



分析No.5の布(マイクログラフ像)



分析No.5の布(SEM像)

図11 P15-2 直刀(布)



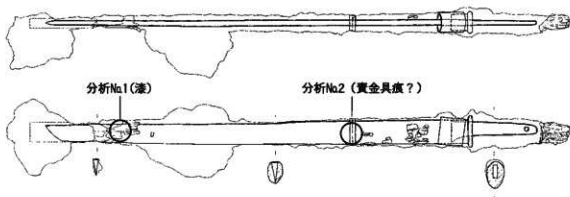


図12 P98-1 直刀分析箇所



分析No.1 (漆)

分析No.2 (酸皮)

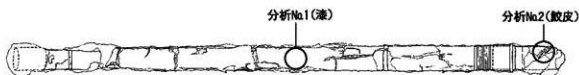
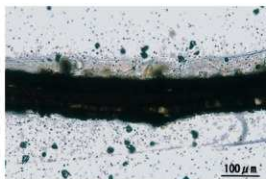


図13 P96-4 直刀分析箇所



a (落射光・暗視野)



b (透過光)

分析No.1の漆膜断面



分析No.1の柄部分



分析No.2の柄部分・鮫皮? (マイクログラフ像)

図14 P96-4 直刀(漆膜と鮫皮?)

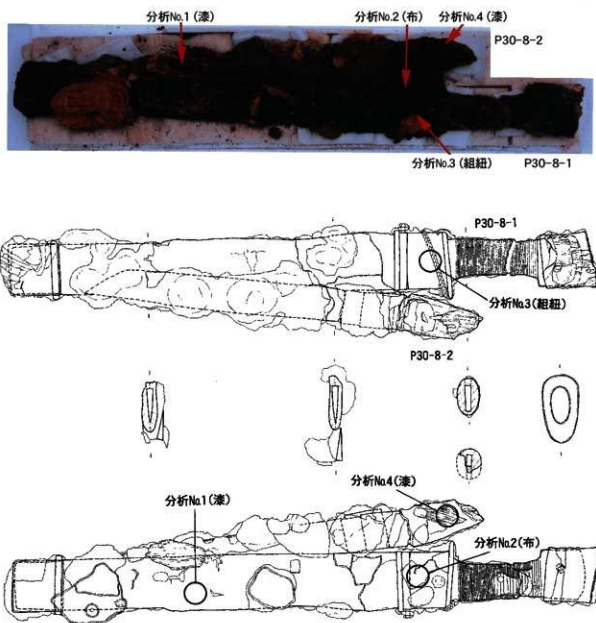
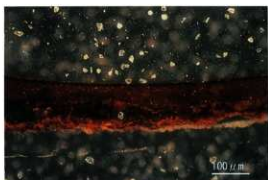
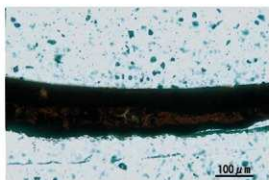


図15 P30-8 直刀・小刀・刀子分析箇所



a (落射光・暗視野)



b (透過光)

分析No.1の漆膜断面



分析No.2の布



分析No.2の布(マイクログラフ)

図16 P30-8 直刀(漆膜と布)

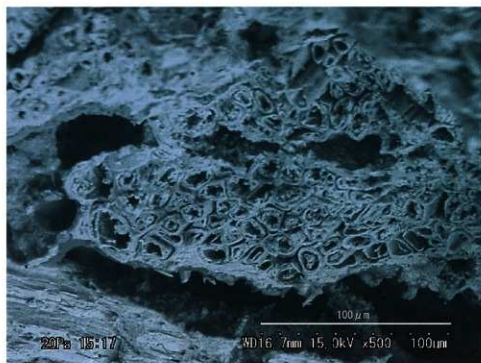


図17 P30-8 直刀の布(SEM像)



分析No.3の組紐



分析No.3の組紐(マイクロスコープ像)

図18 P30-8 直刀(組紐)

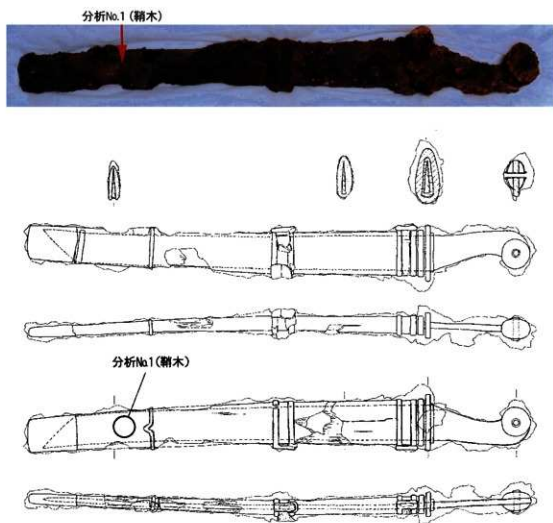


図19 P112-1 折叠刀分析箇所



a 木口面



c 柁目面



b 板目面

図20 P112-1 蕨手刀(鞘木の木材組織)



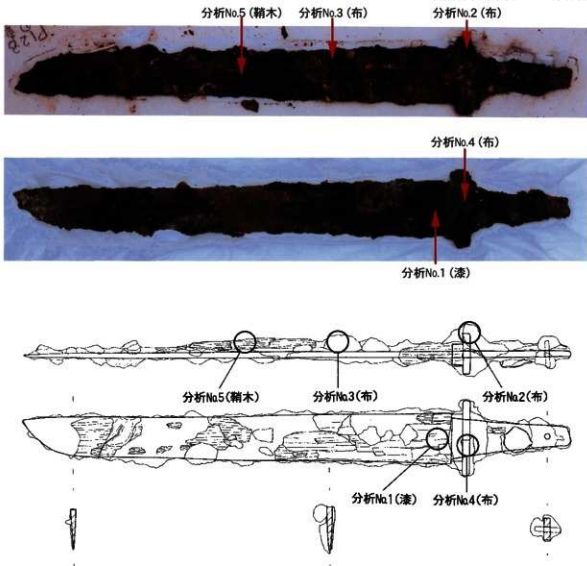


図21 P128-1 直刀分析箇所



分析No.2の布



分析No.3の布



分析No.4の布

図22 P128-1 直刀(布)



分析No.2の布(マイクログラフ像)

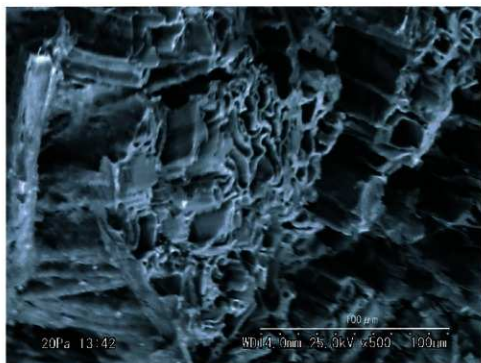


分析No.3の布(マイクログラフ像)



分析No.4の布(マイクログラフ像)

図23 P128-1 直刀(布)



分析No.2の布の繊維(SEM像)



分析No.5の榊木の木材繊維

図24 P128-1 直刀(布と榊木)



分析No.1 (鹿角?)

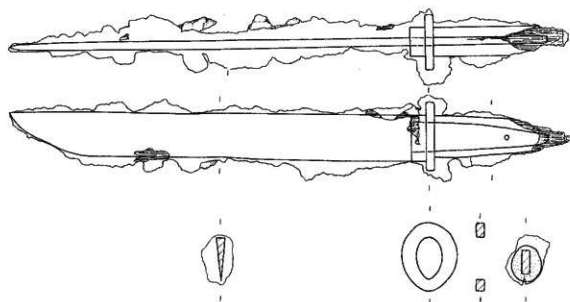


図25 P131-1 直刀分析箇所

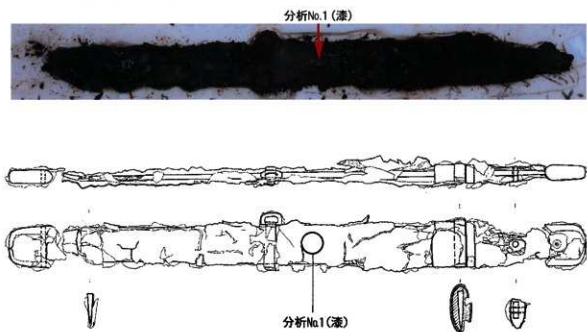


図26 X6-1 直刀分析箇所

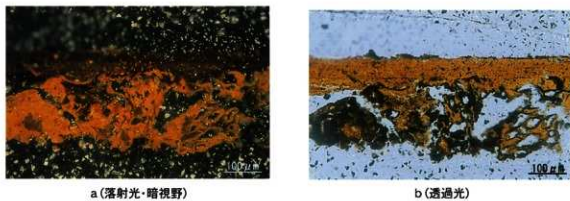


図27 X6-1 直刀の漆膜断面

## [測定条件]

測定装置	SEA5230
測定時間(秒)	300
有効時間(秒)	221
試料室雰囲気	真空
コリメーター	φ1.8mm
励起電圧(kV)	45
管電流(μA)	32
コメント	01112北海道1

## [試料像]



視野: [XY] 6.60 4.95(mm)

## [スペクトル]

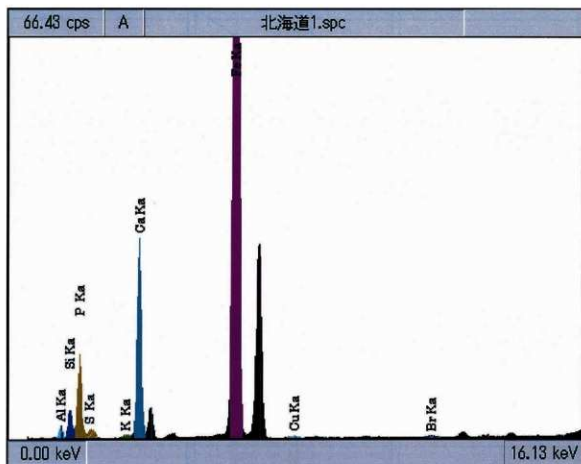


図28 P11-4 直刀・柄部分のXRFスペクトル(分析No.1)

[測定条件]

測定装置	SEA5230
測定時間(秒)	180
有効時間(秒)	131
試料室雰囲気	真空
コリメーター	φ1.8mm
励起電圧(kV)	45
管電流(μA)	20
コメント	01112北海道4

[試料像]



視野: [XY] 6.60 4.95(mm)

[スペクトル]

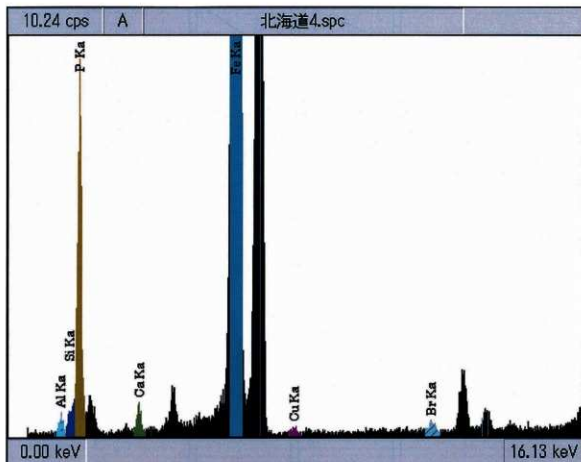


図29 P12-4 直刀・柄部分のXRFスペクトル(分析No.1)



## [測定条件]

測定装置	SEA5230
測定時間(秒)	180
有効時間(秒)	131
試料室雰囲気	真空
コリメーター	φ 1.8mm
励起電圧(kV)	45
管電流(μA)	16
コメント	01112北海道5

## [試料像]



## [スペクトル]

視野: [XY] 6.60 4.95(mm)

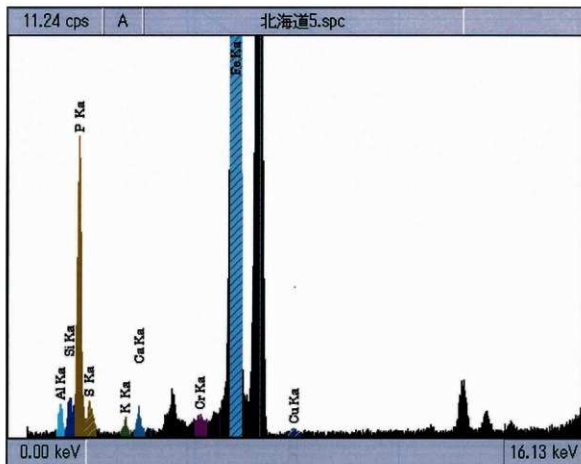


図30 P12-3 刀子・柄部分のXRFスペクトル (分析No.1)

[測定条件]

測定装置	SEA5230
測定時間(秒)	180
有効時間(秒)	133
試料室雰囲気	真空
コリメーター	φ1.8mm
励起電圧(kV)	45
管電流(μA)	16
コメント	01112北海道6

[試料像]



視野: [XY] 6.60 4.95(mm)

[スペクトル]

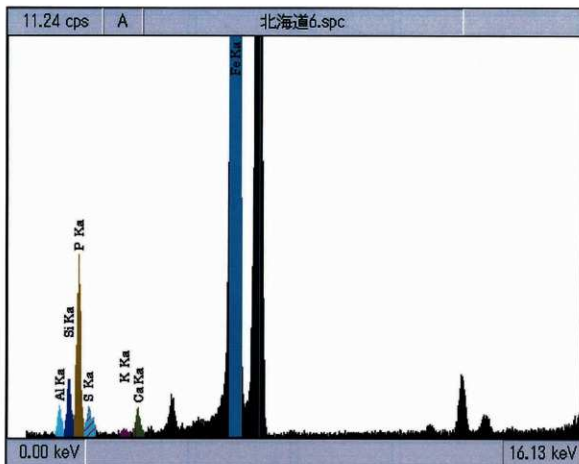


図31 P12-3-2 刀子・柄部分のXRFスペクトル(分析No.2)

## [測定条件]

測定装置	SEA5230
測定時間(秒)	300
有効時間(秒)	291
試料室雰囲気	大気
コリメーター	φ0.1mm
励起電圧(kV)	50
管電流(μA)	1000
コメント	01112北海道10

## [試料像]



視野：[XY] 6.60 4.95(mm)

## [スペクトル]

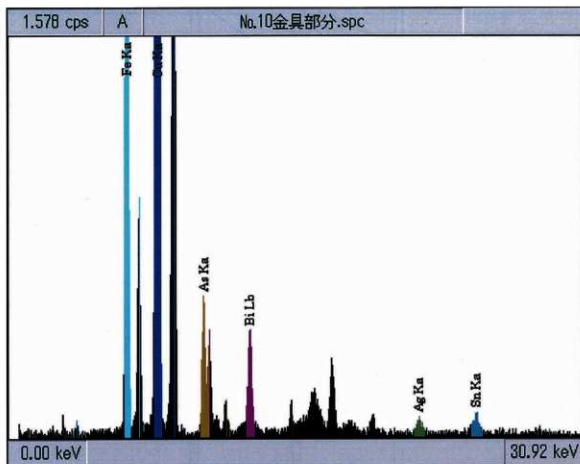


図32 P98-1 直刀・貴金属部分(痕跡)のXRFスペクトル(分析No.2)

[測定条件]

測定装置	SEA5230
測定時間(秒)	180
有効時間(秒)	128
試料室雰囲気	真空
コリメーター	φ1.8mm
励起電圧(kV)	45
管電流(μA)	20
コメント	01112北海道19

[試料像]



視野: [XY] 6.60 4.95(mm)

[スペクトル]

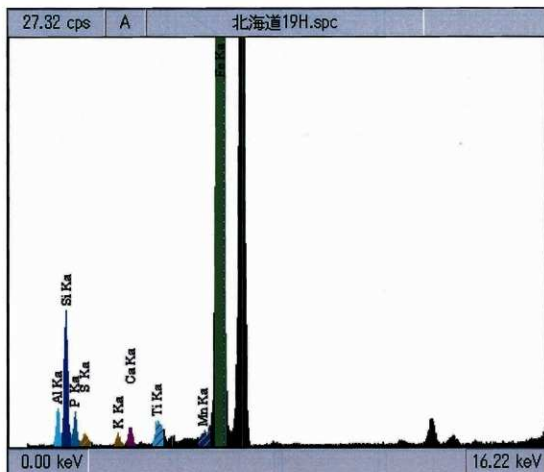


図33 P131-1 直刀・柄部分のXRFスペクトル(分析No.1)

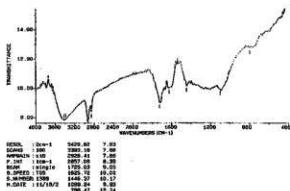


図34 P11-3 直刀鞘部分の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.1)

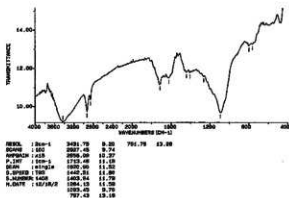


図35 P11-5 直刀鞘部分の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.1)

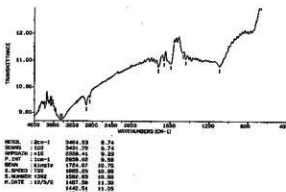


図36 P12-3-2 小刀・刀子鞘部分の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.3)

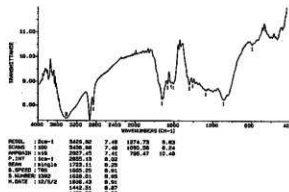


図37 P15-2-1 直刀柄部分の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.1)

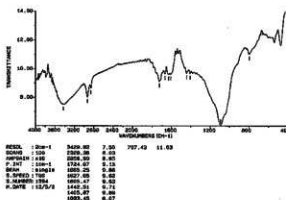


図38 P15-2-1 直刀柄部分の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.2)

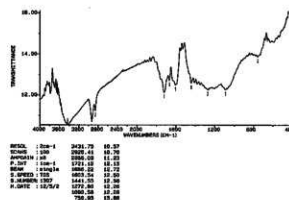


図39 P15-2-2 直刀柄部分の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.4)

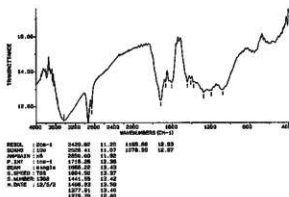


図40 P98-1 直刀鞘部分の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.1)

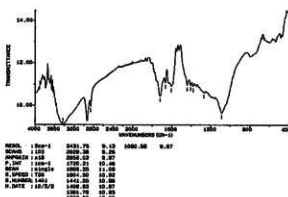


図41 P96-4 直刀鞘部分の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.1)

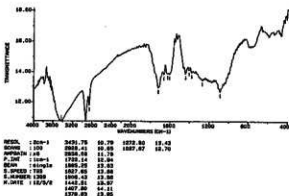


図42 P30-8-1 直刀鞘部分の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.1)

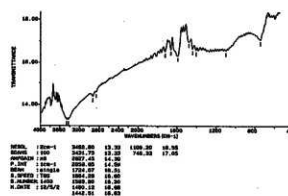


図43 P30-8-2 小刀・刀子の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.4)

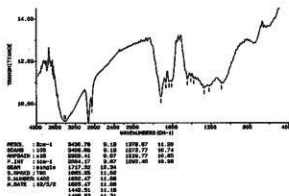


図44 P128-1 直刀鞘部分の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.1)

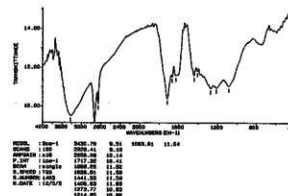


図45 X6-1 直刀鞘部分の塗膜の赤外吸収スペクトル(分析No.1)

## 2. 出土金属製品の木質・塗膜・繊維質の分析

(財) 北海道埋蔵文化センター 田口 尚  
星野智彦

## 1. はじめに

西島松5遺跡から出土した金属製品には木質・塗膜・繊維質とともに出土しているものが多々ある。道内では、当該期の金属製品の分析例は少なく、この分析が今後の調査研究の一助となると考える。本報告では、これら出土遺物のうち、有機質部分の構造・材質を調査することを目的とした。

## 2. 調査概要

## (1) 調査資料

調査した資料と調査項目は次の通りである(表1)。試料採取は最少限にとどめ、試料から剥落した破片を主に用いた。採取箇所や剥落した部分が判明した試料については、資料の実測図に位置を記した。

## (2) 調査方法

## 1) 観察

各調査項目別の方法は次の通りである。

表1 分析対象遺物と分析内容一覧

遺構番号 -埋蔵地	遺物名称	試料No.	塗膜の 断面観察	塗膜の 材質分析 (FT-IR)	繊維断面の 断面観察	樹皮巻き 断面観察	その他	備 考
P3-1	小刀・刀子	P3-1-a			○			刃部に布付着
P7-1	小刀・刀子	P7-1-a	○	○	○			
P7-1	小刀・刀子	P7-1-b	○	○				
P7-2	小刀・刀子	P7-2-a	○	○				
P7-2	小刀・刀子	P7-2-b			○			付着土壌中に塗膜状破片
P15-1	小刀・刀子	P15-1-a	○	○				北埋蔵集178集 <sup>4)</sup> 産駒済み
P16-4	鉄環	P16-4-a			○			鉄環両面に布付着
P16-3	鉄斧	P16-3-a			○			鉄斧表面に2種類の布付着
P16-3	鉄斧	P16-3-b			○			鉄斧表面に2種類の布付着
P29-1	小刀・刀子	P29-1-a			○			柄頭部分に布付着
P29-1	小刀・刀子	P29-1-b	○	○				
P29-1	小刀・刀子	P29-1-c					紙 (EDX)	蛍光X線分析を行った
P97-1	小刀・刀子	P97-1-a	○	○				
P97-未掲載		P97-X-a			○			鉄片表面に布
P97-2	小刀・刀子	P97-2-a	○	○				
P98-4	小刀・刀子	P98-4-a	○	○				北埋蔵集178集 <sup>4)</sup> 産駒済み
P101-15	鏃	P101-15-a			○			北埋蔵集178集 <sup>4)</sup> 産駒済み
P101-3	鉄鏃	P101-3-a	○	○				
P102-2.6	鉄鏃	P102-2.6-a	○	○				二点のうちいずれかに付着
P125-5	小刀・刀子	P125-5-a	○	○				
P125-6	小刀・刀子	P125-6-a	○	○				
P130-3	小刀・刀子	P130-3-a				○		
P130-7	小刀・刀子	P130-7-a	○	○				
P146-2	鏃	P146-2-a			○			刃部にアングレン状編み物付着
P150-1	小刀・刀子	P150-1-a				○		




繊維試料については肉眼観察、実体顕微鏡（ニコン製SMZ-10）観察により、織りの構造、構成している糸（繊維集合）の径について調査した。試料断面の薄片試料を作製して断面観察を行い、繊維試料は糸の集合状態・径、また単繊維の形態について調査した。（糸の径は、便宜上太い方をタテ糸とした。）単繊維種の形態は、顕微鏡観察で確認された繊維断面形状から本報告では3つのタイプに分類した（表2）。

薄片試料の作製は次の通り行った。各試料から得られた微小試料（2mm × 2mm程度）をエポキシ系樹脂に包埋し、スライドガラスに接着し、耐水ペーパー・研磨剤を用いて薄片試料を作製した。薄片試料を光学顕微鏡（ニコン製Labophot-2）により検鏡した。各試料から得られた微小試料（2mm × 2mm程度）をエポキシ系樹脂に包埋し、スライドガラスに接着し、耐水ペーパー（#360～#2000）・研磨剤（#3000～#6000）を用いて薄片試料を作製した。薄片試料は光学顕微鏡（ニコン製Labophot-2）により検鏡した。

塗膜状試料については肉眼、実体顕微鏡（ニコン製SMZ-10）観察により、遺物に付着・塗彩された塗膜状破片の状態を調査した。試料の薄片試料を作製して断面観察を行い、層構造、各層の厚さ、各層に含まれる不純物の径、分布に着目して分析した。

また、塗膜状試料の材質を定性的に把握するため、フーリエ変換赤外分光光度計（島津製作所FTIR 8400）及び付属のATR（ASI社製DuraSampleIR：1回反射型ダイヤモンド結晶）装置により分析を行った。試料は遺物取り上げ時やその後の保存処理で使われた樹脂（パラロイドB72等）をアセトンなどで除去し測定した。試料は、装置付属のプレス器によりATR結晶に密着させて測定した。プレス圧は試料の赤外吸収スペクトルが確認できる程度とした。測定条件を分解能 $2\text{ cm}^{-1}$ 、測定範囲 $4200\sim 600\text{ cm}^{-1}$ 、積算回数20回とした。

表2 繊維断面組織の分類

タイプ	A	B	C
模式図			
断面形状	角に丸みをおびる三角形	扁平でゴツゴツした楕円が多く、中空部分がある	丸みのある楕円で中空部分がある

### 3. 調査結果

#### P3-1 小刀・刀子（図1-1～2）

##### 試料No.P3-1-a

試料はサビ窟の内部から検出された白色の繊維で、当初は弾力性があった。刃部を包みこむように付着した布破片を採取し試料とした（図1-1）。実体顕微鏡観察では、布は平織りで、撚りはタテヨコ糸ともS撚りである。糸の太さは、タテ糸 $0.5\sim 0.9\text{ mm}$ 、ヨコ糸 $0.5\sim 0.7\text{ mm}$ であった。試料断面を観察した結果、単繊維断面は、長軸 $10\sim 30\mu\text{m}$ 、短軸で $10\sim 20\mu\text{m}$ 丸みのだ円形で中空部分があるため、繊維分類をCタイプとした（図1-2）。

#### P7-1 小刀・刀子（図2-1～5）

##### 試料No.P7-1-a

柄表面に付着した塗膜状破片を微量採取し試料とした（図2-1）。試料断面を観察した結果、表面



から平織りと思われる布層と赤褐色層の2層が観察された(図2-2)。然りは明瞭ではない。布層と赤褐色層の間には空隙の見える部分があり、赤褐色層と布層が密着した状態だった可能性は低い。糸断面(繊維集合)は長軸で0.2~0.3mmで、短軸は約0.1mmであった。単繊維断面は長軸で5~10 $\mu\text{m}$ 、短軸で5 $\mu\text{m}$ 以下、丸みをおびた三角形が多く見られたため、Aタイプに分類した。赤褐色層の面をATR結晶に密着させてFT-IR分析を試みたが、材質については漆なのか、漆が劣化したものなのか確認できなかった(図2-4)。

#### 試料No.P7-1-b

資料の柄表面から剥落した塗膜状破片を試料とした。資料の表面が比較的平滑な面をATR結晶に密着させてFT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜であると判断した(図2-5)。試料断面を観察した結果、黄褐色層(厚さ40~50 $\mu\text{m}$ )、黄色層(5~10 $\mu\text{m}$ )、黒色層(5~10 $\mu\text{m}$ )の3層が観察された。黄褐色層には、黒色粒子状物質が観察された(図2-3)。この粒状物質は、1 $\mu\text{m}$ 以下で、これらが凝集して5 $\mu\text{m}$ 程度の大きさの塊として観察された。また、この黒色粒子は黄褐色層と黄色層の界面に凝集しているように見える。また、素地は確認できていないが下地の構造の一部と考えられる。

### P7-2 小刀・刀子(図3-1~5)

#### 試料No.P7-2-a

資料の柄表面から剥落した塗膜状破片を試料とした。資料の表面が比較的平滑な面をATR結晶に密着させてFT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜であると判断した(図3-4)。試料断面を観察した結果、表面から灰褐色層(厚さ約10 $\mu\text{m}$ )、黒色層(厚さ約10 $\mu\text{m}$ )、黄色層(厚さ180 $\mu\text{m}$ )の3層が確認された(図3-3)。灰褐色層は粒状物質があり、1 $\mu\text{m}$ 以下のものが観察された。黒色層は灰褐色層と黄色層の凹凸を埋めていた。このことから黄色層は木質(木地)、黒色層は下地層、灰褐色層は上塗り層と考えられる。

#### 試料No.P7-2-b

資料の刃部切先付近に土壌とともに付着していた平織りの布片を試料とした。試料断面を観察した結果、糸断面(繊維集合)は長軸で0.2~0.3mm、短軸で約0.1mmだった。単繊維断面は、内部の抜け殻が長軸で10~15 $\mu\text{m}$ 、短軸で5~10 $\mu\text{m}$ 、丸みをおびた三角形のものが多く見られたため、繊維分類をAタイプとした(図3-2,5)。

### P15-1 小刀・刀子(図4-1~3)

#### 試料No.P15-1-a

資料刃部表面の木質に付着していた塗膜状破片を試料とした(図4-1)。試料で黒色に見える面をATR結晶に密着させてFT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜であると判断した(図4-3)。試料断面を観察した結果、黒色層(厚さ50~60 $\mu\text{m}$ )、褐色層(厚さ40~50 $\mu\text{m}$ )、黄色層(厚さ約140 $\mu\text{m}$ )の3層を確認した(図4-2)。褐色層には、1~10 $\mu\text{m}$ の黒色粒子が分散していた。黒色層には1~30 $\mu\text{m}$ 程度の鋭角の黒色粒子状物質が含まれ、褐色層と黒色層の界面に凝集しているように観察された。また、この層には表面に黒色粒子が全く含まない部分も見られ、この粒状物質が均一に分散していないようである。褐色層にもこれと類似する粒状物質を確認した。褐色層と黒色層の界面は平滑である。黄色層は木質(木地)または下地層と推測される。

#### P16-4 鉄環(図5-1~3)

##### 試料No.P16-4-a

この鉄環の両面には同一のものと考えられる布が付着していた。織りは平織りで、撚りは見られなかった。剥落した布破片を試料とし、断面を観察した結果、糸断面(繊維断面)は長軸で0.3~0.4mm、短軸で約0.2mmであった。単繊維断面は、内部の抜け殻が長軸10~20 $\mu$ m、短軸5~10 $\mu$ m、丸みを帯びた三角形のため、繊維分類をAタイプとした(図5-2,3)。

#### P16-3 鉄斧(図6-1~7)

糸の太さの異なる布が鉄斧の表面に二種類付着していた。糸の太い布を試料No.P16-3-a、糸の細い布を試料No.P16-3-bとした。

##### 試料No.P16-3-a

資料の実体顕微鏡による観察では、布は平織り、撚りはタテヨコ糸ともS撚りである。剥落した布破片を試料とした(図6-2)。試料断面を観察した結果、糸の太さは長軸で0.3~0.4mm、短軸で0.2~0.3mmであった。また、糸(繊維集合)に楕円の繊維束が2つを観察された。(図6-4)。単繊維断面は、抜け殻が長軸で15~30 $\mu$ m、短軸で10~15 $\mu$ m、扁平な楕円の中空部分が多いため、繊維分類をBタイプとした(図6-5)。

##### 試料No.P16-3-b

資料の実体顕微鏡による観察では、布は平織り、糸の撚りは確認できなかった。糸の太さは、タテ糸約0.2mm、ヨコ糸約0.1mmであった。剥落した布破片を試料とした(図6-3)。試料断面を観察した結果、糸(繊維集合)断面は、長軸0.2~0.3mm、短軸0.1mmであった。単繊維断面は、内部の抜け殻が長軸10~20 $\mu$ m、短軸3~5 $\mu$ m、丸みを帯びた三角形のため、繊維分類をAタイプとした(図6-6,7)。

#### P29-1 小刀・刀子(図7-1~5)

##### 試料No.P29-1-a

円筒形の柄頭の外周に何層にも重なる布が一部に確認された。資料の実体顕微鏡による観察では、布は平織りで撚りはほとんど見られなかった。糸の太さはタテ糸で約0.1mmで、ヨコ糸はタテ糸に隠れてほとんど観察できなかった。この布の微小破片を試料とした(図7-1)。試料断面を観察した結果、布層と褐色層が観察された。褐色層においては、布層の上にさらに別布が重なっていることを推測させる円形の糸の輪郭を確認した(図7-3)。タテ糸断面(繊維集合)は、長軸で10~20 $\mu$ m、短軸で5~10 $\mu$ mであった。単繊維断面は、抜け殻が長軸10~20 $\mu$ m、短軸3~5 $\mu$ m、楕円ないし三角形であったため、繊維分類をAとした(図7-5)。

##### 試料No.P29-1-b

柄部分の黒色塗膜状薄片が付着する木質片を試料とした(図7-1)。黒色の試料面をATR結晶に密着させてFT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜であると判断した(図7-4)。試料断面を観察した結果、黄色層の木質上に黒色層(厚さ5~10 $\mu$ m)とその上に暗褐色層(厚さ約5 $\mu$ m)の3層が観察された(図7-2)。暗褐色層には1 $\mu$ m以下の黒色粒子状物質が確認された。黒色層にも暗褐色層と同様の粒子が存在するように観察されるが、層全体が一様に黒いため明瞭ではない。

##### 試料No.P29-1-c

刃のある面の柄と鞘の部分に銚(釘)が観察された。銚の頭部分には、塗膜状の付着物は観察され

なかったため、塗膜の上から打込まれた装飾的な要素をもつ紙と考えられる。剥落した紙の一部をXRF（蛍光X線分析）にて元素分析を行った。その結果、紙はスズを主成分としたものであった。

#### P97-1 小刀・刀子（図8-1～3）

試料No.P97-1-a

剥落した塗膜状破片を試料とした。黒色の試料面をATR結晶に密着させ、FT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜であると判断した（図8-3）。試料断面の観察では、表層に褐色層（厚さ約10 $\mu$ m）、中層に黄色層（厚さ50 $\mu$ m程度）、下地層に黒色層（厚さ約1～5 $\mu$ m）の3層が確認された。表層の褐色層は中層の黄色層が変色・劣化した層の可能性もある。下地層の黒色層から素地と剥離したものと考えられる（図8-2）。

#### P97 未掲載品（鉄製品片 遺物番号7）（図9-1～2）

試料No.P97-X-a

本資料は板状の鉄片に平織りの布が幾重にも重なって付着している。実体顕微鏡による観察では、糸の撚りはほとんど見られなかった。糸の太さは部位によって大きく異なり、0.1～0.5mm程度の幅があり、0.2mm程度のものが多く観察された。剥落した布破片を試料として断面を観察した結果、サビ層の上に布層が確認された。糸（繊維集合）断面は長軸約0.2mm、短軸約0.1mmであった。単繊維断面は、内部の抜け殻が長軸で5～10 $\mu$ m、短軸で約5 $\mu$ mの楕円ないし三角形であるため、繊維分類をAタイプとした（図9-2）。

#### P97-2 小刀・刀子（図10-1～2）

試料No.P97-2-a

剥落した塗膜状破片を試料とした。黒色の試料面をATR結晶に密着させてFT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜であると判断した（図10-3）。試料断面の観察では、表層に暗褐色層（厚さ10～15 $\mu$ m）、中層に褐色層（厚さ70～90 $\mu$ m）、下層に黒色層（厚さ10～15 $\mu$ m）の3層が観察された。表層の暗褐色層は褐色層が変色・劣化した層の可能性もある。下層の黒色層から素地と剥離したものと考えられる（図10-2）。

#### P98-4 小刀・刀子（図11-1～3）

試料No.P98-4-a

剥落した塗膜状破片を試料とした。試料の黒色に見える面をATR結晶に密着させてFT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜であると判断した（図11-3）。試料断面の観察では、暗褐色層（厚さ50～80 $\mu$ m）と赤褐色層（厚さ50～80 $\mu$ m）の2層と半円状に見える黒色の部分が2箇所確認された（図11-2）。半円に見える黒色の部分は、黒色粒状物質（1～10 $\mu$ m）の凝集した箇所であった。暗褐色層、赤褐色には角張った黒色の粒状物質（1～10 $\mu$ m）が観察され、特に暗褐色層で粒状物質の密度が高かった。

#### P101-15 鑷子（図12-1）

試料No.P101-15-a

鑷子表面に布が付着していた。実体顕微鏡の観察では、布は平織り、糸の撚りはほとんど見られなかった。剥落した布破片を試料とした。試料断面の観察では、糸（繊維集合）断面は長軸で0.6～0.7

mm、短軸で0.4~0.5mmであった。単繊維断面は、内部の抜け殻が長軸で10~20 $\mu$ m、短軸で5~10 $\mu$ mの楕円ないし三角形であるため、繊維分類をAタイプとした(図12-2)。

### P101-3 鉄鏝(図13-1~3)

試料No.P101-3-a

資料表面に付着していた塗膜状破片を試料とした。試料の黒色に見える面をATR結晶に密着させてFT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜であると判断した(図13-3)。試料の断面観察では、茶褐色層(厚さ10~30 $\mu$ m)1層を確認した。茶褐色層には、1 $\mu$ m以下の黒色粒状物質と部分的に黄色(5~20 $\mu$ m)や赤色褐色(5~10 $\mu$ m)の粒状物質が観察された(図13-2)。

### P102-2,6 鉄鏝(図14-1~3)

試料No.P102-2,6-a

剥落した塗膜状破片を試料とした。黒色の試料面をATR結晶に密着させてFT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜であると判断した(図14-3)。試料の断面観察では、黄色層(厚さ100~200 $\mu$ m)と赤褐色層(厚さ約20 $\mu$ m)の2層が確認された(図14-2)。黄色の塗膜層には気泡と思われる空隙と赤褐色の粒状物質(1 $\mu$ m以下)が観察された。

### P125-5 小刀・刀子(図15-1~3)

試料No.P125-5-a

剥落した塗膜片を試料とした。黒色に見える試料面をATR結晶に密着させてFT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜であると判断した(図15-3)。試料の断面観察では、層構造は不明瞭ではあるが、表面から茶褐色層(約10 $\mu$ m)、茶色層(厚さ約5~30 $\mu$ m)、黄褐色層(厚さ約10~30 $\mu$ m)、黒色粒子を含む茶色層(厚さ30~50 $\mu$ m)、黄色層(30~40 $\mu$ m)の5層が観察された(図15-2)。茶色層は黒色粒状物質(2~3 $\mu$ m)を不均一に含み、一部では波状に分布している。表層の茶褐色層は黄褐色層が変色・劣化した層の可能性はある。

### P125-6 小刀・刀子(図16-1~3)

試料No.P125-6-a

剥落した塗膜片を試料とした。黒色の試料面をATR結晶に密着させ、FT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜と判断した(図16-3)。試料の断面観察では、暗褐色層(約5 $\mu$ m)、黒色層(約5 $\mu$ m)、黄色層(30~40 $\mu$ m)の3層を確認した。暗褐色層と黒色層は2層合わせて厚さが10 $\mu$ m程度であり、どちらの層からも黒色の粒子物質(1~5 $\mu$ m)が観察された(図16-2)。

### P130-3 小刀・刀子(図17-1・2)

試料No.P130-3-a

柄の帯状樹皮巻き部分の破片を試料とした。試料の断面観察では、樹皮と思われる褐色層(厚さ約150 $\mu$ m)、赤褐色層(厚さ50~100 $\mu$ m)、そして素地(木地)と思われる黄色層(厚さ約200 $\mu$ m)の3層を確認した。樹皮と思われる褐色層は厚さ150 $\mu$ m程度で、比較的均一であり、連続した重なりとして観察された(図17-2)。樹皮層と木質層の間にある赤褐色層は、接着層に沈着したサビ層の可能性はある。

## P130-7 小刀・刀子 (図18-1～3)

## 試料No.P130-7-a

柄に巻かれた黒色破片を試料とした。黒色の試料面をATR結晶に密着させ、FT-IR分析を行った。その結果、漆の吸収が確認され、漆膜であると判断した (図18-3)。試料の断面観察では、層構造は明瞭ではないが、黒色粒状物質が分散する褐色層 (厚さ30～40 $\mu$ m)、黒色粒状物質が密になっている黒色層 (厚さ5～10 $\mu$ m)、そして黄色層 (厚さ10～30 $\mu$ m)の3層が確認された (図18-2)。試料の素地は獣皮や樹皮などを想定したが、劣化のため、情報は得られなかった。

## P146-2 鎌 (図19-1～3)

## 試料No.P146-2-a

鎌の表面は、アンギンに包まれていた。剥落したアンギン繊維の破片を試料とした。試料の断面観察では、繊維束 (糸?) 断面はほぼ円形であり、長軸で0.1mm、短軸で0.08mmであった。単繊維断面は長軸5～10 $\mu$ m、短軸で約3～8 $\mu$ mの不鮮明な楕円ないし鋭角な三角形にも見えるが、繊維の分類までには至らなかった (図19.2,3)。

## P150-1 小刀・刀子 (図20-1・2)

## 試料No.p150-1-a

剥落した樹皮状破片を試料とした。試料の断面観察では、樹皮層、黒色層、木地層の3層を確認した (図20-1)。樹皮層と木地層の間には、接着層に沈着したサビ層が見られる。

## 4. 考察

## (1) 繊維種同定について

繊維種同定にあたって、3種類のタイプに分類した (表2)。各分類の繊維種は参考文献<sup>12)</sup>をもとに下記のように判断した。

Aタイプは、繊維断面が丸みをもった中空の三角形であるため、絹であると判断した。

Bタイプは、繊維断面が扁平な楕円で中空であった。苧麻などの植物系繊維と考えられるが、繊維の特定までには至らなかった。

Cタイプは、繊維断面が楕円であり、中空部分がある。なかには扁平な楕円のものもあり、麻などの植物系繊維と考えられるが、繊維の特定には至らなかった。

また、試料No.P146-2-a (鎌) から採取した繊維は、植物系の繊維であるが、設定した3種類のタイプには含まれない。植物系繊維については、擦文時代～アイヌ文化期に使用されていたオヒョウ、シナノキ、ハルニレなどの内樹皮繊維の可能性もあり、今後も分析を継続したい。

## (2) 付着繊維について

絹と判断した繊維片は、すべて平織りの布であった。P3-1 小刀・刀子に付着した布は刃部を包み込むように直に接しているため、鞘を用いずに布で直接刃部を包んで保護したと考えられる。

また、繊維が付着しているのは各資料の表面である場合が多いことから、絹布は、各資料を包むための布であったか、もしくは埋葬された人物の衣服の残片とも考えられる。多くの布においては、糸の太さが長軸で0.1～0.3mm、短軸が0.1mm程度の扁平な楕円形であったのに対し、試料No.P101-15-a 鐮子の布は長軸0.6～0.7mm、短軸0.4～0.5mmとほぼ円形であり、他のものの2倍の太さがあった。糸 (繊維集合) 中に数個単位の繊維束が存在するものと思われるが、今回の観察では不明瞭であった。

### (3) 小刀・刀子の塗膜状層について

塗膜状破片の断面観察では、黒色の粒状物質の含まれる黒色層が確認された。(P7-1-b、P15-1-a、P125-1-a)。これらの層では粒子が下層との界面で凝集している様子が観察された。岡田文男らの報告<sup>3)</sup>では、黒色漆中の発色成分に鉄、油煙、木炭粉を検出し、鉄による黒色漆には黒色粒子が確認できず、黒色粒子が見えるものに油煙、木炭粉を用いたものをあげている。木炭粉の粒子は木材組織を観察できるとしている。本試料では、確認された黒色粒子に木材組織が見られないため、油煙を含んだ黒色漆片の可能性が高い。今後、蛍光X線分析などによる元素分析を行い詳細を確認したい。

また、FT-IRによる塗膜状破片の材質分析を行ったが、漆の赤外吸収スペクトルの基礎データが不足していたため、見城敏子の報告にある類似漆研究<sup>4)</sup>、佐藤昌憲らの報告<sup>5)</sup>による漆の赤外線吸収スペクトル、および市販の漆の赤外吸収スペクトルを参考に試料の赤外線吸収スペクトルと比較検討し、漆と判断した。今後は、漆の赤外吸収スペクトルの基礎データ収集とともに北海道産の漆属および縄文時代以後についてのデータ収集が重要な課題である。

## 5. まとめ

- (1) 塗膜状の破片の多くは、FT-IR分析の結果、漆膜と判断された。
- (2) 小刀・刀子、鉄鎌から採取した塗膜状破片の黒色層では、黒色の粒子が分散、凝集して分布している。油煙などの炭素粒子と考えられるが、この粒子の元素分析は今後の課題である。
- (3) 分析した布では繊維種を絹と植物性繊維が見られた。植物性繊維については、繊維種の同定に至らなかった。
- (4) 絹と判断した布はすべて平織りであった。また、繊維断面形状がB、Cタイプに分類した布も平織りであった。P146-2(鎌)はアンギンに包まれていたが繊維の種類については分類できなかった。

## 参考文献

### 繊維種同定関係

- 1) 布目順郎「目で見る繊維考古学-繊維遺物資料集成-」染織と生活社、1992年
- 2) 繊維学会編「図説 繊維の形態」朝倉書店、1982年
- 3) 岡田文男、成瀬正和、田川真千子、北村昭斉「平安前期の出土黒色漆器に利用された黒色顔料」古文化財の科学39、P39-48、1994年
- 4) (財)北海道埋蔵文化財センター「千歳市西島松5遺跡(北埋調報178集)」2002年
- 5) 見城敏子「漆類天然物の赤外吸収スペクトル」保存科学No.21、P47-53、1982年
- 6) 佐藤昌憲「出土遺物に依存する漆の顕微赤外分析による同定」文化財保存修復学会第19大会講演要旨集、P20-21、1997年

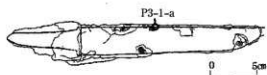


図1-1 P3-1小刀・刀子の外観・試料採取箇所

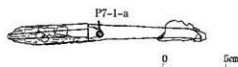


図2-1 P7-1小刀・刀子の外観・試料採取箇所

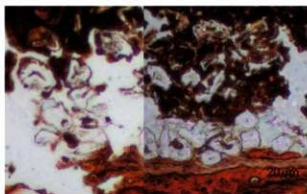


図1-2 P3-1-aの繊維断面



図2-2 P7-1-aの塗膜状破片断面

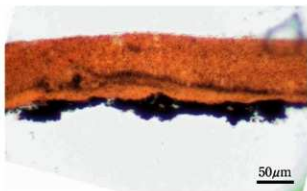


図2-3 P7-1-bの塗膜状破片断面

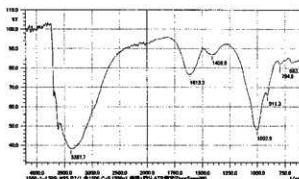


図2-4 P7-1-aの赤外吸収スペクトル

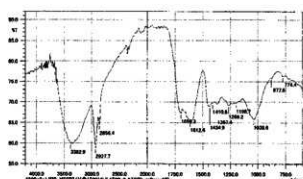


図2-5 P7-1-bの赤外吸収スペクトル

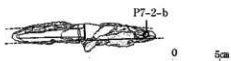


図3-1 P7-2小刀・刀子の外観・試料採取箇所



図3-2 P7-2-bの布破片断面

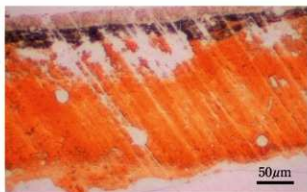


図3-3 P7-2-aの塗膜状破片断面

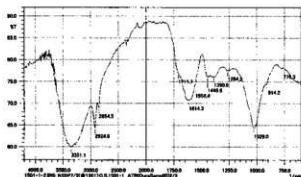


図3-4 P7-2-aの赤外吸収スペクトル

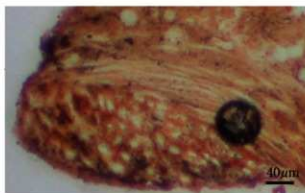


図3-5 P7-2-aの繊維断面



図4-1 P15-1小刀・刀子の外観・試料採取箇所

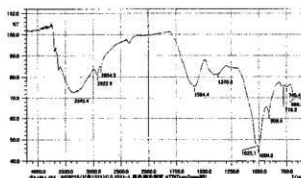


図4-2 P15-1-aの赤外吸収スペクトル

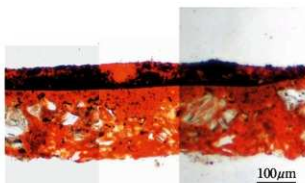


図4-3 P15-1-aの塗膜状破片断面

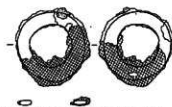


図5-1 P16-4-aの鉄環の外観

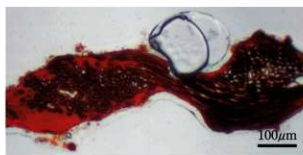


図5-2 P16-4-aの布破片断面

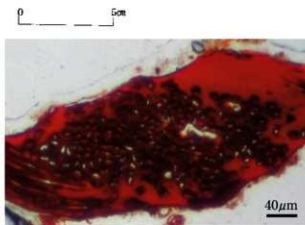


図5-3 P16-4-aの繊維断面



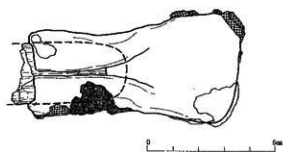


図6-1 P16-3鉄斧の外観



図6-2 P16-3-aの布破片



図6-3 P16-3-bの布破片

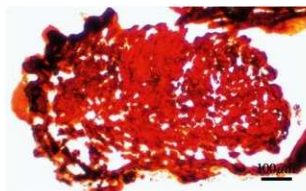


図6-4 P16-3-aの糸断面

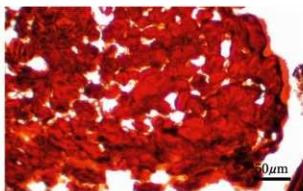


図6-5 P16-3-aの繊維断面

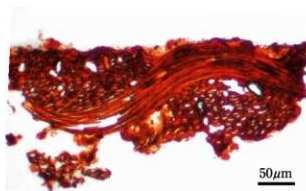


図6-6 P16-3-bの布断面

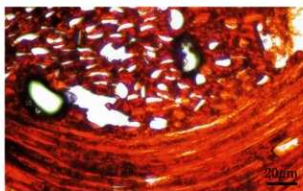


図6-7 P16-3-bの繊維断面



図7-1 P29-1小刀・刀子の外観・試料採取箇所



図7-2 P29-1-bの塗膜状破片断面



図7-3 P29-1-aの布破片断面

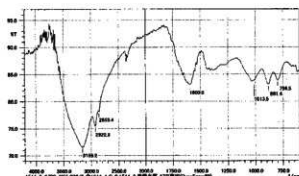


図7-4 P29-1-bの赤外吸収スペクトル

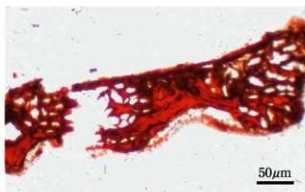


図7-5 P29-1-aの繊維断面



図8-1 P97-1小刀・刀子の外観

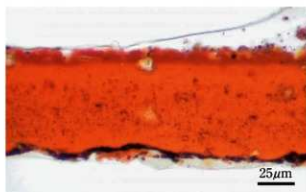


図8-2 P97-1-aの塗膜状破片断面

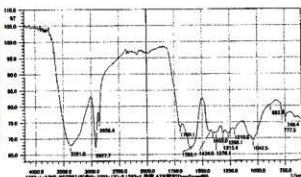


図8-3 P97-1-aの赤外吸収スペクトル

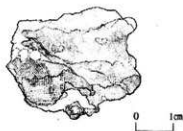


図9-1 P97未掲載製品の外觀



図9-2 P97-X-aの布破片断面

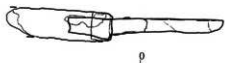


図10-1 P97-2小刀・刀子の外觀



図11-1 P98-4小刀・刀子の外觀

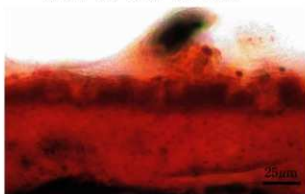


図10-2 P97-2-aの塗膜状破片断面



図11-2 P98-4-aの塗膜状破片断面

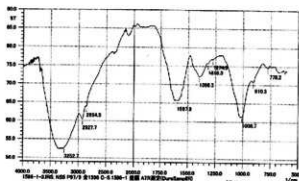


図10-3 P97-2-aの赤外吸収スペクトル

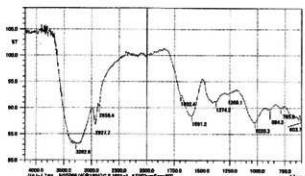


図11-3 P98-4-aの赤外吸収スペクトル



図12-1 P101-15の鑷子外觀

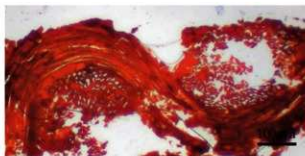


図12-2 P101-15-aの布破片断面



図13-1 P101-3鉄錐の外観



図13-2 P101-3-aの塗膜状破片断面

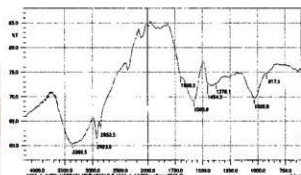


図13-3 P101-3-aの赤外吸収スペクトル

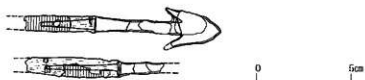


図14-1 P102-2,6-a鉄錐の外観



図14-2 P102-2,6-aの塗膜状破片断面

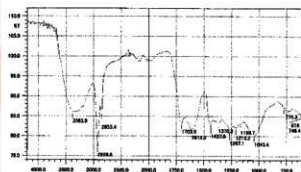


図14-3 P102-2,6-aの赤外吸収スペクトル

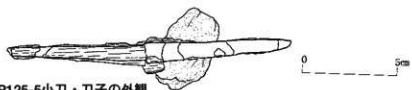


図15-1 P125-5小刀・刀子の外観

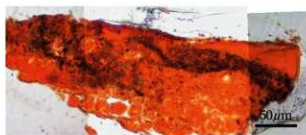


図15-2 P125-5-aの塗膜状破片断面

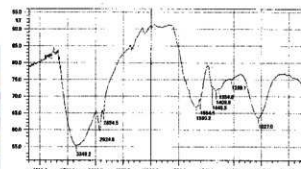


図15-3 P125-5-aの赤外吸収スペクトル



図16-1 P125-6小刀・刀子の外観



図16-2 P125-6-aの塗膜状破片断面

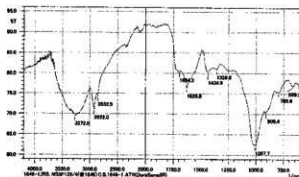


図16-3 P125-6-aの赤外吸収スペクトル



図17-1 P130-3小刀・刀子の外観  
・試料採取箇所

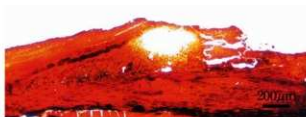


図17-2 P130-3-aの柄部分の樹皮巻き断面



図18-1 P130-7小刀・刀子の外観

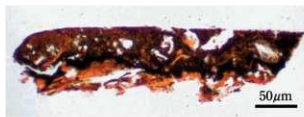


図18-2 P130-7-aの柄巻き破片断面

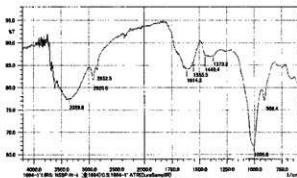


図18-3 P130-7-aの赤外吸収スペクトル

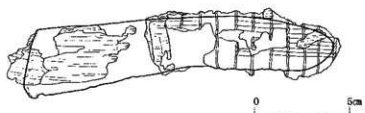


図19-1 P146-2鏃の外観

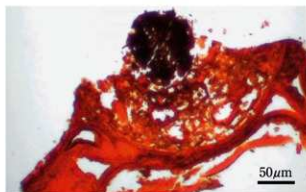


図19-2 P146-2-aの糸?の破片断面

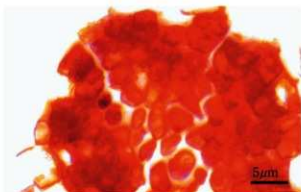


図19-3 P146-2-aの繊維断面

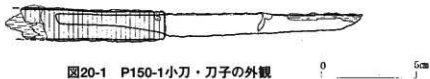


図20-1 P150-1小刀・刀子の外観

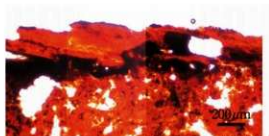


図20-2 P150-1-aの柄部分の樹皮状破片断面

## 3. 西島松5遺跡から出土した炭化植物種子

よししままつ 5 遺跡から出土した  
吉崎昌一・楢坂恭代\*\*

## 1) 遺跡と調査の概要

遺跡の名称	西島松5遺跡 (A-04-38)
遺跡の所在	北海道恵庭市西島松543,544-1 ~ 3546-12
調査の機関	財団法人北海道埋蔵文化財センター
調査担当者	和泉田毅, 新家水奈, 佐藤剛, 石井淳平
調査面積	3,123㎡
調査期間	平成13年(2001年)5月7日~10月31日
遺跡の立地	遺跡は恵庭市の西側, JR線恵み野駅から北西約800mのところに位置する。遺跡の東を柏木川, 西を柏木川の支流であるキトウシュメンナイが流れ, この二つの小河川に挟まれた標高約25mの台地上に立地する。

検出遺構と年代 縄文時代早期と前期の竪穴住居跡, 縄文時代後期後葉から晩期前葉にかけての土坑と盛土遺構, 焼土, 縄文時代早期~擦文時代までの焼土ほか。

これらの詳細については本文を参照いただきたい。

## 2) 扱った資料

分析資料として扱った炭化植物は, 縄文時代後期後葉と考えられている土坑, 焼土から, 縄文時代早期の焼土から土壌が採取された。これをフローテーション法で処理後, 第一次選別を経て炭化植物のみが送付されてきた。これらの資料について, 実体顕微鏡で観察と撮影を行った。検出された植物種子の出土表1は表1に示しておいた。

## 3) 検出された種子

オオムギ *Hordeum vulgare* L. (図版1-1 a,b,c 焼土105から出土, 1-2 a,b 焼土92から出土) 焼土 (F-92, F105) から1粒ずつ出土している。果実は長楕円形。腹面には縦溝があり, 背面はほぼ平らで基部に楕円形の胚がある。出土資料は被熱で変形したものと, 破損が著しいものがある。図版1-1 aの資料は, 短粒の形態を示し, 果実の背面, 腹面に残る穎の剥離の痕跡(楢坂1998)が観察されず, 裸性のオオムギの特徴を示す。ただ資料は被熱で変形しているため, 若干の疑義が残る。図版1-2 aに示した資料は破損のため詳細な分類はできなかった。また, これらのオオムギは焼土からの検出なので, 遺構の性格がはっきりしていないらしい。もし, このオオムギが縄文時代後期後葉に位置づけることが可能であれば, 東日本最古の資料になる。したがって出土層準の詳細な検討が望まれる。1aの計測値は長さ4.20mm, 幅2.45mm, 厚さ2.00mm, 2a: 長さ4.10mm, 幅2.30mm

マタタビ属 *Acctinidia* Lindl. (図版1-3 焼土147から出土)

焼土(F-147)から1粒出土。種子は長楕円形。種皮には凹点による網目模様がある。この仲間にはマタタビ *Actinidia polygama* Planch. et Maxim.とサルナシ *Actinidia arguta* Planch.があるが、両者の種子は形態と表面組織がきわめて良く似ている。しかし粒形の特徴からはサルナシ *Actinidia arguta* Planch.であろう。計測値は長さ2.10mm、幅1.25mm、厚さ0.85mm

キハダ属 *Phellodendron* Rupr. (図版1-4 焼土130から出土)

焼土(F-120, F130)から1粒ずつ出土。そのほか縄文時代早期の焼土(F-155)から1粒出土している。種子は半横広卵形で表皮に浅い凹みによる網目模様がある。これらの特徴からキハダ *Phellodendron amurense* Rupr.と判断される。計測値は長さ3.55mm、幅1.95mm、厚さ1.35mm

ブドウ科 VITIDACEAE (図版1-5 a,b 焼土142から出土)

焼土(F-127, F-129, F142)から1粒と破片2片が出土。堅果は広倒卵形、背面は円みがあり、倒へら形の凹みがある。腹面の中央に稜をなす。稜の両側に針形の凹みがある。形態の類似した種子にエビヅル *Vitis ficifolia* Bunge var. *lobata*があるが、その分布域は北海道の南部に限られている。したがって、形態の特徴からヤマブドウ *Vitis coignetiae* Pulliatであろう。計測値は長さ4.50mm、幅3.00mm、厚さ2.60mm

コナラ属 *Quercus* L. (図版1-7 a,b 焼土128から出土)

焼土(F-128)から子葉の破片が1片出土。図示した子葉は長楕円形でその表面は被熱によるダメージがあるものの、わずかに縦条が観察される。今回はわずか1片の出土のため、形態のみでは詳細な分類は困難である(吉崎・椿坂 2000)。図示した資料の計測値は長さ10.62mm

クルミ属 *Juglans* L. (図版1-8 a,b 焼土65から出土)

各土坑と焼土から核の破片が1.13g出土。核表面には縦に浅い溝状の模様がある。これらの特徴からオニグルミ *Juglans sieboldiana* Maximと判断される。破片のため計測はできなかった。参考までに現生のオニグルミ(自然乾燥)1個の重量は平均で6.5gである。

不明 (図版1-6から 焼土155から出土)

縄文時代早期の遺構、焼土(F-155)から1片出土。種子は破損しているため、詳細な分類が出来なかった。また、破片のため計測は出来なかった。

#### 4) コメント

オオムギは、前述したとおり問題が残される。各地で検出される縄文時代のオオムギについては、種子そのものの年代測定から、コンタミネーションの産物であったことが



判明している。しかし、オオムギには栽培植物学のデータから北回りのルートで日本列島に到達したのもあるといわれているので、今後の発掘調査で詳細な伴出時期の確定等に留意しておきたい。

## 引用文献

椿坂恭代

1998：オオムギについて 「道を辿る」245-246,石附喜三男先生を偲ぶ本刊行委員会,札幌

古崎昌一・椿坂恭代

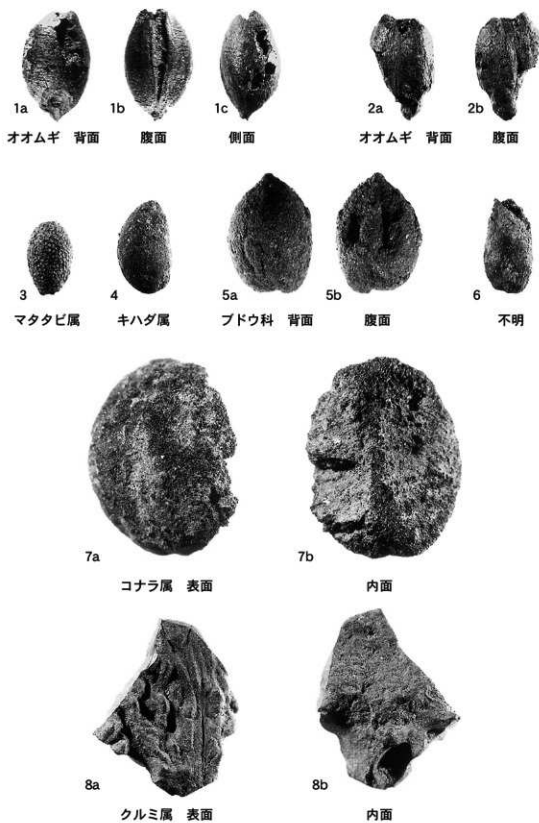
2000：北海道キウス4遺跡Q地区から出土した縄文時代の植物種子「千歳市キウス4遺跡（7）」347-352 (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第152集

\*\* 札幌国際大学地域総合研究センター客員研究員

\*\* 札幌国際大学地域総合研究センター客員研究員

表1 西島松5遺跡炭化種子出土表

仮NO.	NO.	遺構名・調査区名	層位	時期	オオムギ (粒)	マタタビ属 (粒)	キハダ属 (粒)	フドウ科 (粒)		クルミ属 (g)	コナラ属 (g)	不明 (片)
1	1	P233	床面直上	縄文時代後期末						0.03		
2	2	P235	燻土	縄文時代後期末						0.12		
3	3	F62	燻土	縄文時代後期末						0.02		
4	4	F65	燻土	縄文時代後期末						0.26		
5	5	F70	燻土	縄文時代後期末						0.02		
6	6	F77	燻土	縄文時代後期末						0.15		
7	7	F92	燻土	縄文時代後期末	1							
8	8	F95	燻土	縄文時代後期末						0.02		
9	9	F101	燻土	縄文時代後期末						0.03		
11	10	F105	燻土	縄文時代後期末	1							
12	11	F111	燻土	縄文時代後期末						0.37		
13	12	F114	燻土	縄文時代後期末						0.09		
14	13	F120	燻土	縄文時代後期末			1					
15	14	F127	燻土	縄文時代後期末					1			
16	15	F128	燻土	縄文時代後期末							0.07	
17	16	F129	燻土	縄文時代後期末					1	0.02		
18	17	F130	燻土	縄文時代後期末			1					
19	18	F142	燻土	縄文時代後期末				1				
20	19	F147	燻土	縄文時代後期末		1						
合計					2	1	2	1	2	1.13	0.07	0
21	20	F155	燻土	縄文時代早期			1					2



図版1 炭化植物種子

## 4. 西島松5遺跡の自然科学分析

パリオ・サーヴェイ株式会社

## はじめに

西島松5遺跡は、柏木川左岸（北岸）の台地上から低地にかけて位置し、縄文時代の竪穴住居跡、Tビット・焼土・柱穴、続縄文時代末—擦文時代の墓等の遺構が検出されている（財団法人北海道埋蔵文化財センター，2001）。

今回の分析調査では、縄文時代の遺構から出土した赤色細粒物質と、縄文時代後期の土器に塗られた赤色顔料のX線回折分析を行い、赤色顔料の種類を同定する。また、焼土などから出土した骨の同定を行い、それらの種類を明らかにする。

## I. 赤色物質のX線回折分析

## 1. 試料

試料は、縄文時代の覆土や焼土中から検出された赤色細粒4点（試料番号3～6）と、縄文時代後期の土器に塗られていた赤色の塗膜3点（試料番号7～9）の合計7点である。各試料の詳細を表1に示す。

表1 分析試料一覧

番号	遺構	位置	試料名	時代
3	P235	覆土①68	赤色細粒	縄文時代
4	F90	焼土	赤色細粒	縄文時代
5	F95	焼土（J23）1 / 3	赤色細粒	縄文時代
6	F111	焼土（I20）	赤色細粒	縄文時代
7	P266	覆土1層	土器の塗膜	縄文時代後期
8	F121	焼土（MC2）(I20)	土器の塗膜	縄文時代後期
9	H17a	覆土2層	土器の塗膜	縄文時代後期

## 2. 分析方法

試料を105℃で2時間乾燥させた後、メノウ乳鉢で粉碎した。この粉碎品をアセトンでスライドグラスに塗布し、X線回折測定試料を作成した。このX線回折測定試料について、以下の条件で測定を実施した（足立，1980；日本粘土学会，1987）。

検出された物質の同定解析は、Materials Data, Inc. のX線回折パターン処理プログラムJADEを用い、該当する化合物または鉱物を検索した。

装置：理学電気製Multiflex	Divergency Slit: 1
Target: Cu(K $\alpha$ )	Scattering Slit: 1
Monochromator: Graphite曲曲	Receiving Slit: 0.3mm
Voltage: 40KV	Scanning Speed: 2 /min
Current: 40mA	Scanning Mode: 連続法
Detector: SC	Sampling Range: 0.02
Calculation Mode: cps	Scanning Range: 3～45

## 3. 結果

各試料のX線回折図を図1に示す。赤色物質は、赤色細粒（試料番号3～6）として出土したものと、土器に塗布された赤漆（試料番号7～9）の2種類がある。

試料番号3～6の試料は、肉眼でいずれも鈍い赤色を呈する。X線回折図では、赤鉄鉱（hematite）の

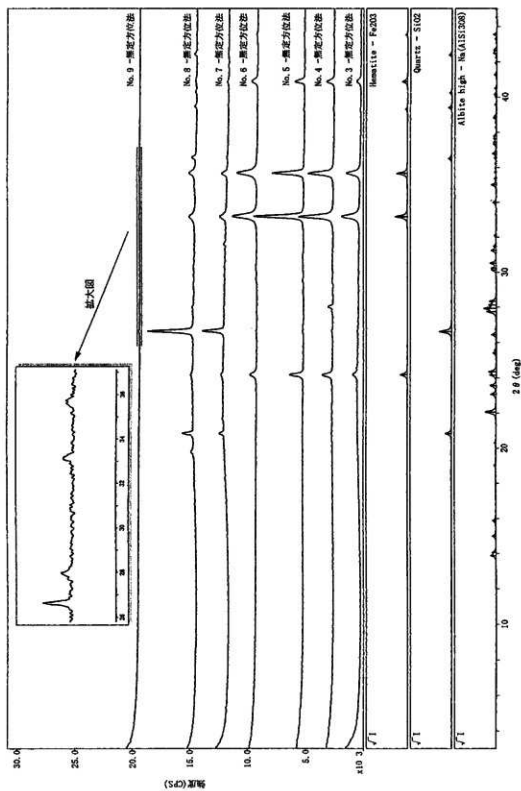


図1 赤色顔料のX線回折結果

回折線が明瞭に認められることから、赤鉄鉱を原料とするベンガラと考えられる。

一方、試料番号7・8の試料では、赤色細粒と同様に赤鉄鉱の存在が確認されたほか、相当量の石英（quartz）も検出されている。石英については、赤漆と共に土器胎土等の構成鉱物が混入した可能性が考えられる。試料番号9は、試料番号7・8と比較して測定に用いた試料が微量であり、全体的に回折強度も弱い。しかし、回折図を拡大表示すると、試料番号7・8と同様に赤鉄鉱や石英の存在が確認される。したがって、試料番号7-9の赤色についても赤鉄鉱を原料とするベンガラと考えられる。

#### 4. 考察

各時代の遺跡から検出される赤色顔料としては、ベンガラと水銀朱が代表的である。ベンガラは赤鉄鉱（hematite[ $\alpha$ -Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>])、水銀朱は辰砂（cinnabarHgS）として天然に産出する。今回の試料は、いずれも赤鉄鉱のピークが認められ、辰砂のピークが認められないことから、すべてベンガラと考えられる。なお、顔料の塗布に関しては、漆などの利用が想定される。漆は本来無色透明であり、赤漆は赤色顔料を混和させることで作られる。今回の結果から、赤漆を作るために漆にベンガラを混ぜていたことが推定される。本遺跡では、これまでにも赤色顔料のX線回折分析を実施しているが、いずれもベンガラで水銀朱は確認されていない。今回の結果は、本遺跡で過去に行った調査結果とも一致している。

ベンガラは、赤鉄鉱を原料とする他にも、鉄バクテリアの活動に伴って生成された赤色沈殿物等も利用されていたことが明らかとなっており、比較的身近で採取可能であったと考えられる。一方、辰砂は水銀鉱床から産出するが、北海道内での水銀鉱床の分布は留辺蘂町イトムカ鉱山や紋別町竜昇殿鉱山等、主に北海道中央部の東部のみに分布しており、本地域には分布していない（矢島ほか、1990）。本地域で赤色顔料としてベンガラ多用されている背景には、このような入手環境も影響していることが推定される。

北海道地域では、これまでの調査でも縄文時代早期以降の土坑墓等から、施朱に伴うと考えられるベンガラが検出されており、本遺跡周辺でも柏木B遺跡などで確認されている（市毛、1998）。また、今回の分析結果から、赤漆の原料としても利用されていたことが推定される。なお、住居跡等から出土した細粒の試料は、利用するための赤色顔料を保管していたこと等が推定される。今後出土状況も含めて、さらに利用状況等について検討したい。

## II. 出土骨の種類

### 1. 試料

試料は、縄文時代後期の遺構や包含層等から水洗選別などにより検出された焼骨である。採取地点・層位ごとに分けられ、大きく70試料（No.1-70）およびF123から採取された1試料計71試料である。

これら焼骨は、既にクリーニング処理が施され、種類ごとに分類・整理されて大半の試料に通し番号が付されている。今回は、この分類・整理された標本について、同定および確認作業を進める。なお、試料の詳細については、結果とともに表示する。

### 2. 方法

試料を肉眼およびルーペで観察し、その形態的特徴から種と部位の同定を行う。また、一部の試料については、一般工作用接着剤を用いて接合を行う。その後、分類された試料ごとに個数を計数し、重量を計量する。写真撮影は、後日まとめて実施する予定である。なお、同定および解析は、金子浩昌先生にお願いした。

## 3. 結果

## (1) 検出された分類群

検出された分類群の一覧を表2に、同定結果を表3に示す。また、サケ科、ニホンジカ、イノシシの部位別数量を表4～6に示す。以下、検出された焼骨の概要について、種類ごとに述べる。

## &lt;魚類&gt;

魚類の中では、サケ・マス類の検出が最も多い。地点別に見ると、R5・F101・F105・F159などで比較的数量が検出されている。他の種類としては、R5でニシン科?の椎骨とカワハギ類?の背鰭棘、F152でウグイ属の腹椎、C24でホオジロザメの歯が僅かに検出される程度である。

## &lt;鳥類&gt;

焼骨にみる鳥類の遺骸は少ない。鳥骨特有の緻密で、骨質の薄い骨片をすべて検出したが、僅かな量である。なお、F159において、1点のみハクチョウと推定される下腿骨を検出できた。

## &lt;獣類&gt;

## ・ニホンジカ(エゾシカ)

検出される焼骨は、中手もしくは中足骨、手根・足根骨、指骨などが多いが、特に指骨がその中心となる。

頭骨および歯牙：ほとんど検出されていない。これらが確認できたのは、破片であり、また検出個数も極めて僅かである。また、鹿角も少なく、枝部分の小片が1点検出されたのみである。

四肢骨：断片化した多くの骨片の多くがニホンジカのものと思われるが、確実に確認できたのは中手もしくは中足骨、手根、足根骨、指骨である。これらの骨格は、特徴をもち、小片でも細かい区別が可能である。調査の結果でみると、それらの総計の一部であるが、尺骨1、種子骨4、第2+3手根骨3、第4手根骨1、第3中手骨1、中手骨6、脛骨6、腓骨2、膝蓋骨1、距骨4、踵骨1、果骨1、第1足根骨1、中心+第4足根骨3、中足骨4、基節骨21、中節骨8、末節骨11が検出される。

その他：肋骨と寛骨の破片が僅かに検出される。

## ・イノシシ

イノシシにおける焼骨の遺存は、シカの場合と共通し、手根部と中手骨部、足根部と中足骨部で、おそらく指骨部分も含まれるのであろう。頭骨や歯牙は確認されない。

四肢骨：手根骨2、中手骨4、踵骨2、足根骨6、中足骨1、基節骨3、中節骨1、末節骨1、第2/5指趾指骨6が検出される。イノシシの第2/5指趾指骨は大きく、よく保存される。

## ・その他の獣類

その他の種類では、ネズミの腰椎・尾骨・基節骨、キツネの基節骨・中節骨・尾椎、タヌキ?の肋骨、タヌキ/キツネの尾椎、テンの中節骨、ヒグマの末節骨・基節骨が僅かに検出されている。

表2 出土分類群一覧

脊椎動物門	Phylum Vertebrata
軟骨魚綱	Class Chondrichthyes
ネズミザメ目	Order Lamniformes
ネズミザメ科	Family Lamnidae
ホオジロザメ	<i>Carcharodon carcharias</i>
硬骨魚綱	Class Osteichthyes
ニシン目	Order Clupeiformes
ニシン科	Family Clupeidae
ニシン科?	Clupeidae
サケ目	Order Salmoniformes
サケ科	Family Salmonidae
サケ科の一種	Salmonidae gen et sp. indet.
コイ目	Order Cypriniformes
コイ科	Family Cyprinidae
ウグイ属	<i>Triboletus</i> sp.
フグ目	Order Tetraodontiformes
カワハギ科	Family Monacanthidae
カワハギ類?	Monacanthidae
鳥綱	Class Aves
カモ目	Order Anseriformes
カモ科	Family Anatidae
ハクチョウ類	<i>Cygnus</i> sp.
哺乳綱	Class Mammalia
ネズミ目(齧歯目)	Order Rodentia
ネズミ科	Family Muridae
ネズミ	Muridae gen. et sp. indet.
ネコ目(食肉目)	Order Carnivora
イヌ科	Family Canidae
キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>
タヌキ?	<i>Nyctereutes procyonoides</i>
イタチ科	Family Mustelidae
テン	<i>Martes melampus</i>
クマ科	Family Ursidae
ヒグマ	<i>Ursus arctos</i>
ウシ目(偶蹄目)	Order Artiodactyla
シカ科	Family Cervidae
ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i>
イノシシ科	Family Suidae
イノシシ	<i>Sus scrofa</i>

表3 骨類同定結果 (1)

NO	種別・測定記号	部位	動物遺存体種名	部位	出土部位	数量	質量 (g)	備考	通し番号
1	H11-a	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	2	1.17		
2	H13-a	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	1	1.10		329
3	H13-b	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	2	3.85		330
4	H13-c	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	3	2.24		331
5	H15	横り土付土	ニホンゾウ	部位不明	缶	6	2.53		332
6	H15	横り土付土	ニホンゾウ	部位不明	缶	7	0.48		333
7	P233	床面直上	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	13	6.27		334
8	P233	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	3	0.62		2
9	P232	横面直上	硬骨魚類	魚	缶	22	0.10		3
10	P222	横土	硬骨魚類	魚	缶	2	<0.01		4
11	P233	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	5	3.52		5
12	P256	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	1	0.93		309
13	P259	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	13	15.10	断面と横面	310
14	P260	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	4	3.79		311
15	P260	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	3	3.69		312
16	P271	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	8	5.85		313
17	P283	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	1	1.16		314
18	P288	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	8	5.26		315
19	P296	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	1	1.09		316
20	P314	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	5	1.94		317
21	P320	横土	ニホンゾウ	部位不明	缶	1	4.75	咬痕後	追加分
22	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	0.90		318
23	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	2	0.68		319
24	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	2.93	断面	320
25	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	2	1.80		321
26	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	2	0.27	内1点は本種骨髄	322
27	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	1.52		323
28	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	0.34		325
29	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	1.38	外側	324
30	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	0.36		324
31	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	1.38		325
32	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	5	3.07		326
33	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	0.69		327
34	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	0.40		328
35	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	0.76		328
36	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	2	1.13		328
37	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	9	1.24		7
38	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	2	0.54	中間隙?	7
39	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	0.11		8
40	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	0.36	中間隙?	9
41	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	0.28	中間隙?	10
42	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	1	1.62		11
43	F02	横土	ササ科 硬骨魚類	椎骨	缶	2	0.84		12

尺綱 L:左 尺:右 尺横行



表3 骨類同定結果(2)

NO	遺跡・調査区名	層位	動物遺存体種名	部位	出土部位	数量	重量(g)	備考	通し番号
24	F62	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.60		13
24	F63	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	2	4.37		14
25	F64	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	13	0.19		15
25	F64	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	3	0.07		16
26	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	3	1.05		17
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	2	0.17	検出	18
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.91		19
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	2	2.03		20
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.47		21
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	2	0.01		22
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.04		23
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	<0.01	中置版	24
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.01		25
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.20		26
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.59		27
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.37		28
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	18	10.22		29
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	88	0.60		27
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	2	0.02		26
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	19	0.07		29
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	2	0.01		30
27	F65	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	<0.01		31
28	F70	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.78		32
28	F70	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	7	3.23		33
29	F75	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	16	0.11		34
29	F75	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	3	0.09		35
29	F75	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	28	0.19		36
29	F75	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	2	0.01		37
29	F75	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	15	0.02		38
29	F75	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.34		39
29	F75	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.33		40
31	F78	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.16		40
31	F78	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	2	0.03		41
32	F80	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	3	0.01		42
32	F80	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	4	0.08		43
32	F80	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.19		44
33	F82	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.06		45
33	F82	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.11		46
33	F82	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	1.19		47
33	F82	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.42		48
33	F82	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.14		49
33	F82	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.89		50
33	F82	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	1	0.06		50
33	F82	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	10	0.01		51
33	F82	焼土	イノシシ/ニホンジカ	部位不明	骨	4	0.01		52

尺綱 L:左 R:右 検出

表3 骨類同定結果 (3)

NO.	遺跡・調査区名	層位	動物遺存体種名	部位	出土部位	数量	重量 (g)	備考	通し番号
349P90	焼土	サケ科	サケ科	中ノ足骨	遺体一節	1	284		251
		ニホンシカ	ニホンシカ	骨	元形	1	324	211分集合	252
		哺乳類	哺乳類	第1足指骨		1	131		253
		サケ科	サケ科	骨		2	034		256
		哺乳類	哺乳類	骨		18	016		257
349P91	焼土	哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	5	005		58
		サケ科	サケ科	部位不明	fr.	13	025		60
		サケ科	サケ科	部位不明	fr.	14	013		61
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	32	046		62
		ニホンシカ	ニホンシカ	部位不明	fr.	1	381	後部、211分集合	64
		ニホンシカ	ニホンシカ	照骨: R	fr.	1	021		65
		哺乳類	哺乳類	第1足指骨	fr.	1	031		66
		哺乳類	哺乳類	末節骨	fr.	9	431		67
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	41	125	311分集合	68
		哺乳類	哺乳類	末節骨	fr.	1	230	211分集合	70
349P96	焼土	哺乳類	哺乳類	第2足指骨: R	部位不明	1	043		70
		哺乳類	哺乳類	末節骨	fr.	1	041		71
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	27	110	内点とは211分集合	72
		哺乳類	哺乳類	骨		18	010		73
		哺乳類	哺乳類	骨		1	<0.01		75
		サケ科	サケ科	部位不明	fr.	26	023		74
		サケ科	サケ科	部位不明	fr.	13	012		75
		哺乳類	哺乳類	骨		2	002		76
		哺乳類	哺乳類	骨		11	204		77
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	1	046		78
40P101	焼土	哺乳類	哺乳類	末節骨	部位不明	1	064		79
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	3	314		79
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	6	207		79
		哺乳類	哺乳類	骨		65	052		80
		哺乳類	哺乳類	骨		10	013		81
		哺乳類	哺乳類	骨		8	008		82
		哺乳類	哺乳類	骨		5	007		84
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	1	041		85
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	3	112		85
		哺乳類	哺乳類	骨		3	012		86
40P105	焼土	哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	3	012		87
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	2	050		88
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	7	264		88
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	1	002	部分	89
		哺乳類	哺乳類	骨		50	036		90
		哺乳類	哺乳類	骨		117	139		91
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	49	052		92
		哺乳類	哺乳類	骨		21	015		93
		哺乳類	哺乳類	骨		22	029		94
		哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	7	005		95
40P105	焼土	哺乳類	哺乳類	部位不明	fr.	1	008		96
		哺乳類	哺乳類	中節骨		1			96

凡例 L:左 R:右 fr:破片

表3 骨類同定結果(4)

NO	遺構・遺跡区名	層位	動物遺存体種名	部位	出土部位	数量	重量(g)	備考	通し番号	
44P106	焼土	骨片	ネズミ	尾骨		1	0.15		97	
		骨片	ネズミ	尾骨	近位端	1	0.79	211号埋合	98	
		骨片	ネズミ	肋骨	肋骨	1	0.72		100	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端	1	0.10		101	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端1/2	2	0.18		102	
		骨片	ネズミ	肋骨	中肋骨	1	0.35		103	
		骨片	ネズミ	肋骨	中肋骨1/2	2	1.74	埋合	104	
		骨片	ネズミ	肋骨	中心肋骨4足骨	fr.	1	0.67		105
		骨片	ネズミ	肋骨	部位不明	fr.	11	4.85		106
		骨片	ネズミ	肋骨	骨	9	0.12		105	
45P108	焼土	骨片	ネズミ	肋骨	部位不明	5	0.12		106	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端	1	0.32		107	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端1/2	3	1.70		107	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端	4	2.85		107	
		骨片	ネズミ	肋骨	中肋骨	29	7.17		108	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端	13	3.10		109	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端1/2	1	1.62		111	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端1/4	1	1.05		111	
		骨片	ネズミ	肋骨	部位不明	11	5.53	内1点は211号埋合	112	
		骨片	ネズミ	肋骨	骨	1	0.59		112	
49P115	焼土	骨片	ネズミ	肋骨	部位不明	6	2.83		113	
		骨片	ネズミ	肋骨	骨	4	0.02		114	
		骨片	ネズミ	肋骨	骨	8	0.13		115	
		骨片	ネズミ	肋骨	部位不明	8	0.06		116	
		骨片	ネズミ	肋骨	肋骨	fr.	1	0.32		117
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端1/2	1	0.83		118	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端1/4	1	0.22		119	
		骨片	ネズミ	肋骨	fr.	1	1.02	外側	120	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端	1	0.69	内側	120	
		骨片	ネズミ	肋骨	部位不明	21	0.68		120	
51P117	焼土	骨片	ネズミ	肋骨	部位不明	38	0.24		121	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端	1	0.01		122	
		骨片	ネズミ	肋骨	骨	18	0.99		124	
		骨片	ネズミ	肋骨	骨	6	0.07		125	
		骨片	ネズミ	肋骨	骨	6	0.05		126	
		骨片	ネズミ	肋骨	部位不明	2	0.05		127	
		骨片	ネズミ	肋骨	部位不明	24	8.73	内1点は211号埋合	128	
		骨片	ネズミ	肋骨	第2肋骨管 肋骨	1	0.24		129	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端	1	1.16	211号埋合	130	
		骨片	ネズミ	肋骨	中肋骨	1	0.41		131	
52P119 53P120	焼土	骨片	ネズミ	肋骨	近位端	1	1.12		131	
		骨片	ネズミ	肋骨	中肋骨	1	0.52		131	
		骨片	ネズミ	肋骨	部位不明	13	0.31		131	
		骨片	ネズミ	肋骨	近位端	1	3.08	211号埋合	132	
		骨片	ネズミ	肋骨	骨	24	0.27		133	

凡例 L:左 R:右 fr:破片

表3 骨類同定結果 (5)

NO	種属・調査区名	種位	動物遺存体種名	部位	数量	重量 (g)	備考	通し番号
53	F120	焼土	ニホンジカ 硬骨魚類	鹿	5	0.26		134
			ニホンジカ	鹿角骨	1	0.53		135
54	F121	焼土	ササ科 硬骨魚類	鹿	4	0.04		136
			ササ科 硬骨魚類	鹿骨	6	0.07		137
			ニホンジカ	鹿骨	1	1.00	外側	138
55	F122	焼土	ニホンジカ	鹿骨	1	2.50	外側	139
			ニホンジカ	鹿骨	1	1.08	外側	140
			ニホンジカ	鹿骨	1	1.63	外側	141
			ニホンジカ	鹿骨	4	1.63		142
			ニホンジカ	鹿骨	1	1.37	21分接合	143
			ニホンジカ	鹿骨	1	0.62		144
			ニホンジカ	鹿骨	3	3.42		145
			ニホンジカ	鹿骨	1	0.25		146
			ニホンジカ	鹿骨	1	0.43		147
			ニホンジカ	鹿骨	1	0.17		148
			ニホンジカ	鹿骨	1	0.02		149
			ニホンジカ	鹿骨	1	0.93	内側	150
			ニホンジカ	鹿骨	2	1.38	後側	150
			ニホンジカ	鹿骨	1	0.28	中間部	150
			ニホンジカ	鹿骨	37	20.84		150
			ニホンジカ	鹿骨	21	0.35		151
			ニホンジカ	鹿骨	23	0.35		152
			ニホンジカ	鹿骨	1	0.1		152
56	F127	焼土	イノシシ	鹿角骨	1	0.89		154
			イノシシ	鹿角骨	22	10.61		154
57	F128	焼土	イノシシ	鹿角骨	1	0.55		155
			イノシシ	鹿角骨	41	1.76	鹿角接合…鹿角れる	156
			ニホンジカ	鹿骨	1	1.59	前側	157
			ニホンジカ	鹿骨	2	1.70	内1点は21分接合	157
			猪骨 (骨高部)	鹿骨	1	0.16		157
			ササ科 硬骨魚類	鹿骨	19	8.15		157
			ササ科 硬骨魚類	鹿骨	4	0.01		158
58	F133	焼土	ササ科 硬骨魚類	鹿骨	1	2.00		159
			ササ科 硬骨魚類	鹿骨	17	0.13		160
			ササ科 硬骨魚類	鹿骨	23	0.28		161
			硬骨魚類	鹿骨	5	0.02		162
59	F142	焼土	ササ科 硬骨魚類	鹿骨	1	0.08		163
60	F142	焼土	ニホンジカ	鹿骨	1	0.23		163
			ニホンジカ	鹿骨	1	0.23	21分接合	164
			イノシシ	鹿骨	2	2.33	内1点は21分接合	166
			硬骨魚類	鹿骨	27	11.38		167
61	F144	焼土	イノシシ	鹿骨	2	0.24		168
			イノシシ	鹿骨	1	0.08		169
			硬骨魚類	鹿骨	4	0.08		170
			硬骨魚類	鹿骨	18	5.83		171
			ササ科 硬骨魚類	鹿骨	4	0.04		172
			ササ科 硬骨魚類	鹿	1	0.01		173

凡例) L:左 R:右 骨片

表3 骨類同定結果(6)

NO	遺跡・調査区名	層位	動物遺存体種名	部位	数量	重量(g)	備考	通し番号
62	F149	機土	イヌシカ	中肋骨	1	1.50		174
			ニホンジカ	基肋骨/2	1	0.76		175
			イノシシ	35/10中骨・R	1	2.94	21/16接合	176
			イノシシ	35/2ノ骨様・基肋骨	1	1.17	21/16接合	170
			イノシシ	35/3尾骨	1	0.97	21/16接合	177
			イノシシ	35/5中骨・R	1	0.27	13/15接合	178
			イノシシ	35/1尾骨	1	0.44	断面1/2	179
			イノシシ	35/2中骨	5	0.75		180
			イノシシ	35/2中骨・L	3	0.75	外側	181
			イノシシ	35/2中骨・L	3	0.03		182
63	F152	機土	イノシシ	椎骨	5	0.11		183
			イノシシ	椎骨	1	0.01		184
			イノシシ	椎骨	1	0.02		185
			イノシシ	椎骨	6	4.55	内1点は21/16接合	186
			イノシシ	椎骨	1	0.67		追加分
			イノシシ	椎骨	4	0.31		187
			イノシシ	椎骨	2	0.05		188
			イノシシ	椎骨	10	3.17	切断加工痕	189
			イノシシ	椎骨	1	0.11		190
			イノシシ	椎骨	1	0.11		191
64	F154	機土	イノシシ	椎骨	3	0.03		192
			イノシシ	椎骨	4	0.08		193
			イノシシ	椎骨	3	0.08		194
			イノシシ	椎骨	1	0.37		195
			イノシシ	椎骨	1	1.90	21/16接合	195
			イノシシ	椎骨	3	3.30		195
			イノシシ	椎骨	71	0.05		196
			イノシシ	椎骨	23	0.15		197
			イノシシ	椎骨	15	0.07		198
			イノシシ	椎骨	9	1.20	内1点は3/16・1点は21/16接合	199
67	F119	機土	イノシシ	下肋骨	1	0.41		200
			イノシシ	中肋骨	1	0.12		201
			イノシシ	中肋骨	1	1.94		202
			イノシシ	肋骨	2	4.08	外側と後側	335
			イノシシ	椎骨	10	7.83	内1点は3/16接合	330
			イノシシ	椎骨	5	2.72		337
			イノシシ	椎骨	1	0.83		338
			イノシシ	椎骨	2	1.17		339
			イノシシ	椎骨	35	0.17	横断なし	204
			イノシシ	椎骨	12	0.08		205
71	F123	機土01.09.29 跡0.425mm	イノシシ	椎骨	5	0.03		206
			イノシシ	椎骨	7	0.02		302
			イノシシ	椎骨	1	<0.01		302
			イノシシ	椎骨	12	<0.01		302
			イノシシ	椎骨	2	<0.01	接合	302
			不明	椎骨	2			

凡例) L:左 R:右 L:横片

表4 サケ科部位別数量

No	遺構・調査区名	層位	通し番号	歯	椎骨
7	P233	床面直上	1		10
8	P233	覆土	3,4	3	22
23	F62	焼土	12		5
24	F63	焼土	14,15	3	13
25	F64	焼土	16	1	
27	F65	焼土	27,28	2	88
28	F70	焼土	34		16
29	F75	焼土	36,37	2	28
31	F78	焼土	41		2
32	F80	焼土	42,42	4	3
33	F82	焼土	51		10
34	F90	焼土	57,58	12	18
35	F91	焼土	61,62	32	14
38	F95	焼土	72,73	1	18
39	F100	焼土	74,75	13	26
40	F101	焼土	80,81	10	63
41	F104	焼土	83,84	5	8
42	F105	焼土	90,91	117	50
43	F105	焼土	93,94	22	21
44	F106	焼土	104,105	9	25
46	F110	焼土	108		29
49	F115	焼土	114,115	8	4
50	F116	焼土	121		36
51	F117	焼土	125,126	6	6
53	F120	焼土	133,134	5	24
54	F121	焼土	136,137	6	4
55	F122	焼土	151,152	23	21
57	F128	焼土	158,159	1	4
58	F133	焼土	160,161	33	17
61	F144	焼土	172,173	1	4
63	F152	焼土	181,182	5	3
64	F154	焼土	187,188	2	7
65	F157	焼土	192		3
66	F159	焼土	196,197	23	71
70	C-24	一括出土遺物直下	204,205	12	35
71	F123	焼土 (01.09.29 浮0.425mm)	302	1	7
合計				362	715







表6 イノシシ部位別数量

No	遺構・調査区名	層位	通し番号	手根骨		橈骨		腕骨		第3足根骨		第4足根骨		中心足根骨		第2中足骨		基部骨		第2/5指趾基部骨		中節骨		第2/5指趾中節骨		末節骨		第2/5指趾末節骨		第2/5指趾中手/中足骨		備考
				R	R	L	R	L	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R	
18	F288	層土	321																												近位端 (内1点は未適合骨端)	
19	F296	層土3	324											1																	外側	
23	F92	層土	11																												近位端	
38	F95	層土	70																													
			71																												近位端1/2	
40	F101	層土	79																												遠位端1/2	
49	F115	層土	112																													
50	F116	層土	120																												近位端内面	
																															破片	
																															碎屑破片	
53	F120	層土	130																												近位端 (2片が接合)	
56	F127	層土	154																												遠位端	
57	F128	層土	155																												遠位端	
60	F142	層土	166																												内1点C.M有	
61	F144	層土	168																													
			169																													
62	F149	層土	174																												近位端 (2片が接合)	
			175																												(遠位端 (2片が接合))	
			176																												2片が接合	
			177																												近位端 (2片が接合)	
			178																												近位端 (2片が接合)	
			179																												近位端 (2片が接合)	
65	F157	層土	195																												2片が接合	
69	SP2326	層土	329																													
			合計	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	3	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1			

## (2) 出土骨にみる動物利用

検出された魚骨は、そのほとんどがサケ・マス類であった。サケ・マス類の骨は、本遺跡周辺の恵庭市中島松5遺跡(高橋, 1989)やカリンバ4遺跡(高橋, 1999)また千歳市美々貝塚(千歳市教育委員会, 1976)などでも検出例が報告されており、内陸の漁の内容をよく示している。

焼骨のなかで、鳥類の遺骸は極めて少ない。本遺跡では、鳥類焼骨の埋存自体が多い量でなかったと推定せざるを得ない。なお、1点のみであるが、ハクチョウの下腿骨が検出された。遺跡の望む低地に、こうした水鳥の飛来する水域環境があったのであろう。なお、他の鳥類に関しては、大きさなどからみて、カモ類の可能性もある。

一方、獣骨で多かったのはニホンジカである。焼骨からの情報であるので、推定される個体数も表にみる通りである。種子骨は、解体時に皮革と一緒に外されたとも考えられる。手根・足根部は、外されて調理に使われたのであろう。可食部分が残されている。指骨部分が多い。蹄部分は使われ、指部分も骨髄など利用したはずである。主要四肢骨の破片をみることが少ないのは、別の場所で解体が行われ、脛骨遠位骨端のように足根骨と筋で硬く結合している部分が残ったと思われる。これら検出されるニホンジカは、成体の大形個体の遺骸であった。また、イノシシ遺骸は、全重量がニホンジカに比べてはるかに少ない。これは、イノシシの少ないことによる。なお、焼骨でみられたのは成獣個体である。

## 引用文献

- 足立吟也(1980)粉末X線回折法。「機器分析のてびき3」, p64-76, 化学同人。  
 市毛 勲(1998)新版 朱の考古学。296p., 雄山閣。  
 日本粘土学会編(1987)粘土ハンドブック 第二版。1289p., 技報堂出版。  
 高橋 理(1989)中島松5遺跡出土の動物遺存体。「北海道恵庭市発掘調査報告書 中島松5遺跡A地点」, p8, 恵庭市教育委員会。  
 高橋 理(1999)恵庭市カリンバ4遺跡出土動物遺存体。「北海道恵庭市発掘調査報告書 カリンバ4遺跡」, p.105-107, 恵庭市教育委員会。  
 千歳市教育委員会(1976)「美々貝塚」, 42p  
 矢島淳吉・安達一宏・番場猛夫・黒沢邦彦・成田英吉・佐藤寿一・土屋 董(1990)金属鉱床。日本の地質『北海道地方』編集委員会編「日本の地質1 北海道地方」, p178-183, 共立出版株式会社。財団法人 北海道埋蔵文化財センター(2001)調査年報13 平成12年度。122p

## 成果と問題点

### 1 土壌墓出土の金属製品について

#### (1) 器種別のまとめ

直刀、小刀・刀子は今回の報告では平成14年度の報告に従い、刀身長30cmを超えるものを直刀、それ以下のものを小刀・刀子に分類した。あくまでも暫定的な分類であり、計測値を元にした統計的な方法で、どのように法量が分化するのかを確認するべきである。

直刀には鐔のあるものと無いものがあり、鐔のない直刀は小刀・刀子の大型のものと同構造や雰囲気似るものが多い。また、小刀・刀子および鐔をもたない直刀のうち、鞘の構造の確認できるものは全て呑口式であり、合い口式の鞘は確認できない。

小型の小刀・刀子は研ぎ減りによるとみられる刀身元付近の内湾が確認できるものが多いことから、日常的に使用されたものが副葬品として納められた可能性が高い。

**鉄斧**＝全て袋状鉄斧である。大きさが様々であることから、斧の機能を持つものや、ノミの機能を持つものなど、異なる機能をもつものが混在すると考える。また、小型のものは基部が完全なソケット状とはならない。柄木の木質がソケット内に残存していたものがあることから、着柄された状態で埋納された可能性がある。刃部は左右均等のものがほとんどで、使用による摩耗は確認できない。

**鉄鑑**＝有茎と無茎のものがある。同一の墓塚から有茎、無茎の両方が出土する場合もあることから、2つのタイプの鑑は時期差を反映するものではない。無茎のものは矢柄の先端を割って、その間に鑑身を挟み込むもので、有茎のものは茎が一段細くなり、矢柄に差し込まれるものである。有茎のものでは、矢柄の端を樹皮などで巻き絞めるものが多い。

**鎌**＝基部の確認できたものは、全て基部を円形又は楕円形に湾曲させてソケットを造り出している。柄を確認できたものはないことから、着柄されない状態で埋納された可能性がある。研ぎ減りなどによる刃部の変形、使用による摩耗は確認できない。

#### (2) 器種の組み合わせについて

土壌墓から出土する金属製品の組み合わせは一律ではなく、土壌墓毎に差がある。土壌墓出土の金属製品の組み合わせについて、整理作業を進める中で気づいた点を挙げる。

- ・鉄鑑は直刀や大型の小刀・刀子が供伴する場合を除いて、小型の小刀・刀子とは供伴しない
- ・鎌は直刀や大型の小刀・刀子とは供伴しない
- ・鉄斧は単独で出土する場合もあるが、10例の内4例で直刀や大型の小刀・刀子と供伴する

以上の三点から、直刀や大型の小刀・刀子が出土する墓塚と、小型の小刀・刀子のみ出土する墓塚では供伴する器種に差があることがわかる。すなわち、

- ・鉄鑑や鉄斧は、直刀や大型の小刀・刀子と供伴する
- ・鎌は小型の小刀・刀子と供伴し、直刀や大型の小刀・刀子とは供伴しない

こうした組み合わせの偏りは、年齢、身分、職能、性などによって規定される、被葬者の社会的地位を示す可能性がある。しかし、検出した土壌墓には人骨が残存していたものが少なく、年齢や性別など被葬者に関する情報がないため、これ以上の言及は避けたい。

(石井淳平)

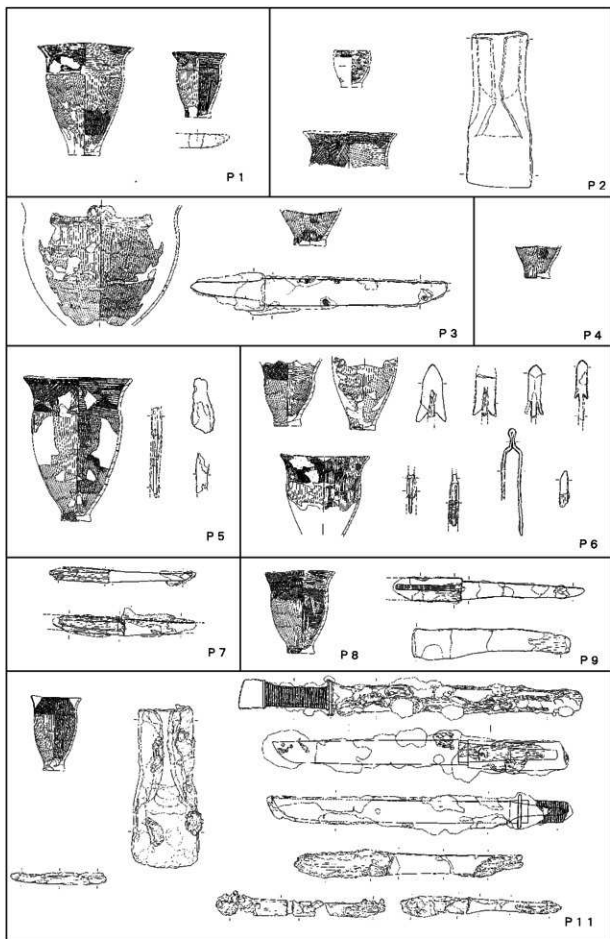


図 - 1 土墳墓出土遺物一覽(1)

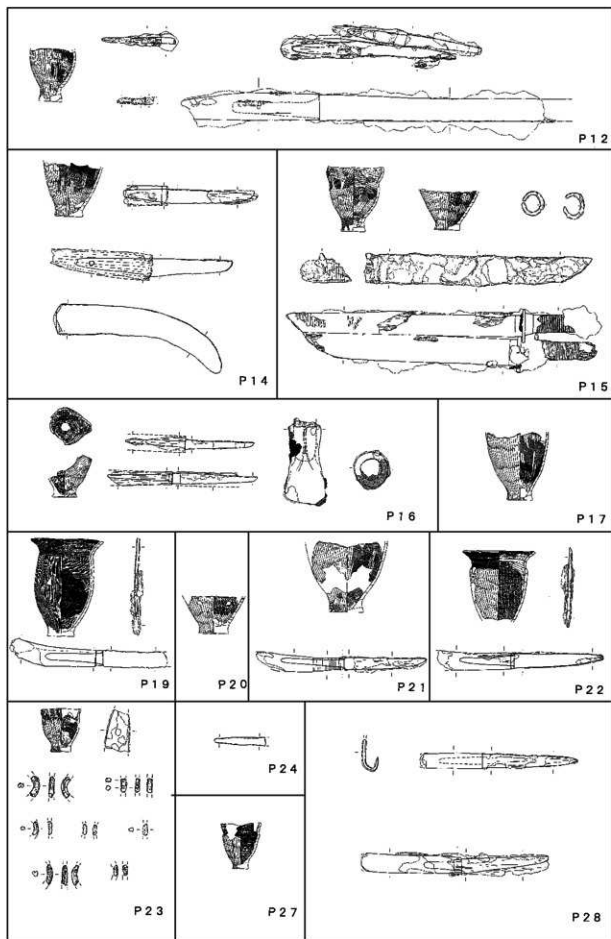


図 - 2 土墳墓出土遺物一覽(2)

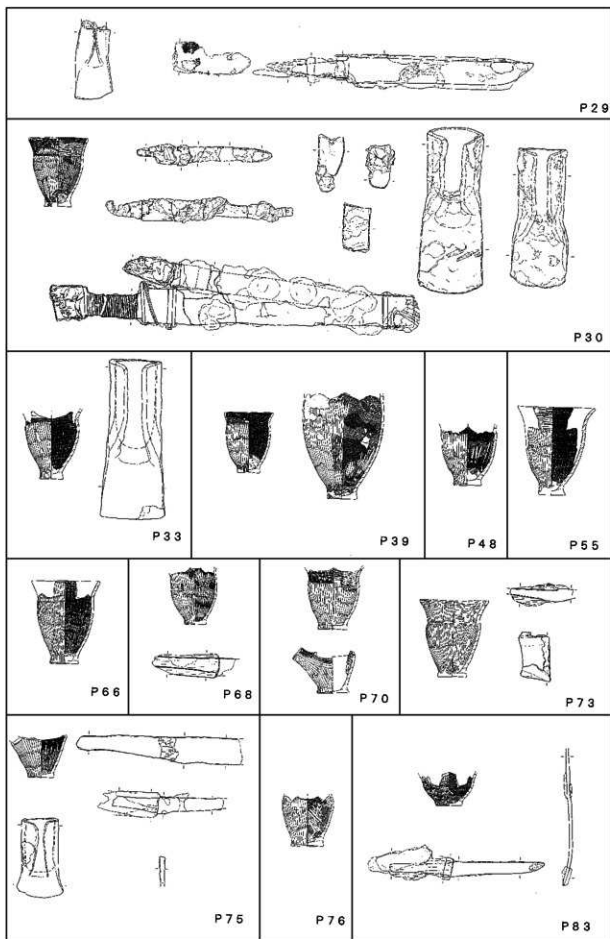


図 - 3 土壙墓出土遺物一覽(3)

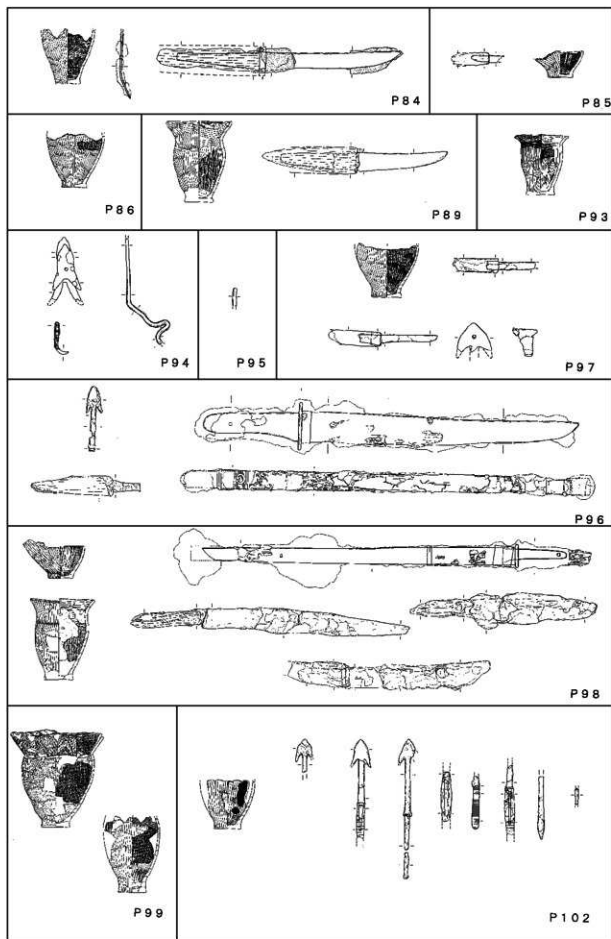


図 - 4 土墳墓出土遺物一覽 (4)

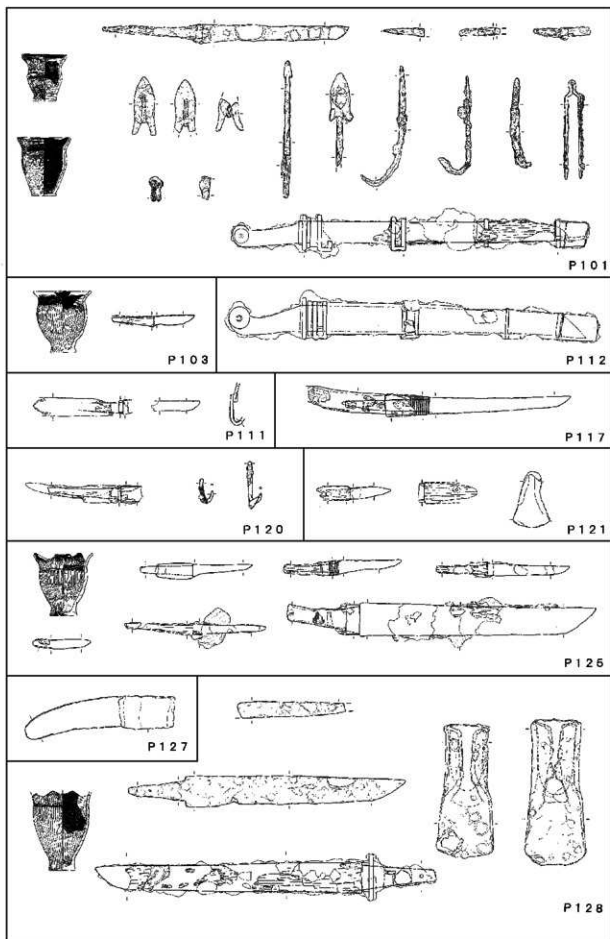


図 - 5 土墳墓出土遺物一覧(5)



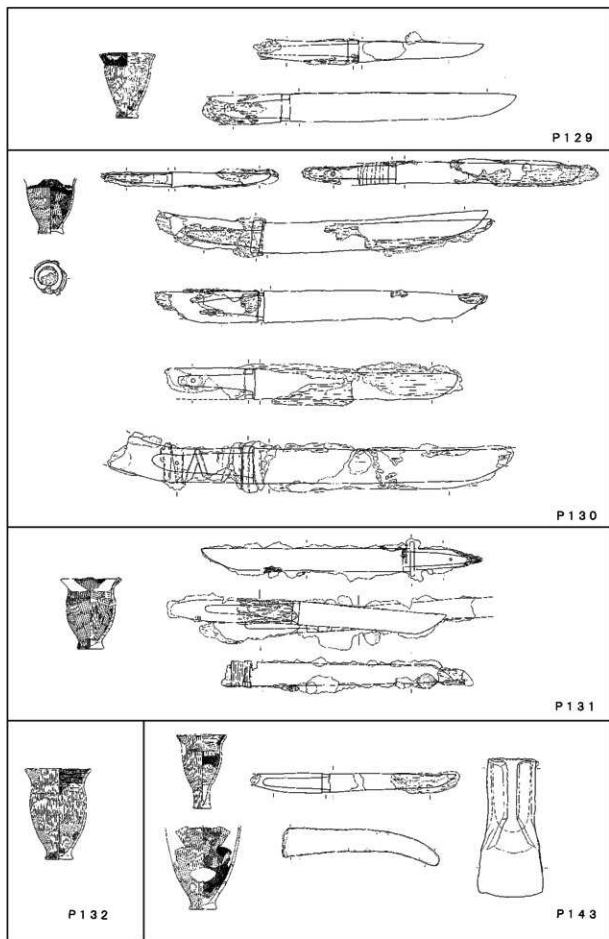


図 - 6 土墳墓出土遺物一覽 (6)

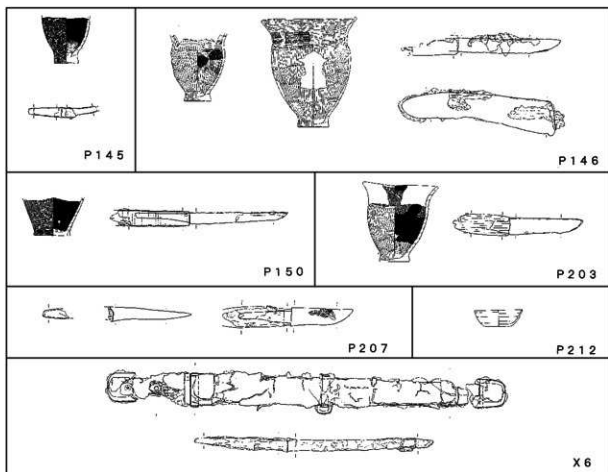


図 -7 土墳墓出土遺物一覽(7)

## 2 土器について

今回報告する遺構編では、Ⅰ群a類1点、Ⅰ群b-3類282点、Ⅰ群b-4類66点、Ⅱ群a類1,045点、Ⅱ群b類12点、Ⅳ群a類138点、Ⅳ群c類1,030点、Ⅳ群c-1類2,533点、Ⅳ群c-2類20,436点、Ⅴ群b類428点、Ⅵ群54点、土製品70点が出土している。

はじめに各群の分類を中心にまとめる。

Ⅰ群はa類、b-3類、b-4類が出土した。a類は、堅穴住居跡(H19)から出土した1点のみである。貝殻条痕文が内外面に見られ、胎土が密である。細かな位置付けは出来なかった。b-3類は、破片資料が多いため、コッタロ式土器、中茶路式土器を一括し、文様と胎土から分類した。文様では、隆起線文を地文の施文後に貼り付けるコッタロ式土器、隆起線文を貼り付けた後に地文を施文する中茶路式と違いがある。胎土では中茶路式土器に比べ、コッタロ式土器では、2mm程度の砂粒を多く含んでいる。

Ⅱ群は、a類が堅穴住居跡を中心に多く出土しており、すべて静内中野式土器である。口縁部は平縁と波状口縁があり、底部は尖底である。胎土に繊維を多く含んでいる。特徴的なのは、ゆるやかな波状口縁で、3～4単位程度見られる。

Ⅲ群は、破片資料が多く、文様が判別できるもののみ細分した。

Ⅳ群は、a類が少量出土しているほかは、ほとんどがⅣ群c類である。c類はc-1類：堂林式、c-2類：三ツ谷式と型式に対比し、細分した。遺構出土の資料が多いが、ほとんどが覆土中からの出土である。遺構に伴うものは小ピットのみと考えられる。小ピット出土のものは、破片が小さく、文様等が不明なため、Ⅳ群c類までの分類でとどめているものが多い。c-1類またはc-2類のどちらかである。c-1類とc-2類については後述する。

Ⅴ群は、c類が2点出土している他はほとんどがb類である。口縁部に縄線文による文様があり、丸底で、地文の縄文は縦走または縦走気味のを分類した。深鉢と浅鉢がある。口縁部に沈線の施文をしているものも他の時期が不明なためここに含めている。

Ⅵ群では、後北C<sub>2</sub>・D式土器が出土している。

次に本稿の分類で用いたⅣ群c類のc-1類：堂林式とc-2類：三ツ谷式の細分について説明する。当遺跡では、今回報告した遺構のほか盛土遺構2カ所、遺物集中地区1カ所を確認している。現在も整理中であり、そこでは三ツ谷式から御殿山式までが層的に出土している。整理は、本稿の遺物と同時にやっていることから、本稿の分類もそれに準じている。刊行の予定上、現在の段階では明確な分類基準を提示することが出来ないため、大まかな記載にとどめる。

後期後半以降の土器は、キウス4遺跡（土肥研品ほか2001）などで細分が検討されてきており、それに準じている。c-1類：堂林式は、キウス4遺跡（土肥研品ほか2001）のⅢ期～Ⅳ期に該当する。当遺跡では出土量が少なく、キウス4遺跡などと比較すると極微量で、細かな破片資料のみである。

c-2類：三ツ谷式としたものは、それよりも新しい段階の資料で、キウス4遺跡（土肥研品ほか2001）のⅤ期～Ⅶ期に該当する。本遺跡では包含層を含め一番多く出土している。c-2類は整理の都合上、堂林式に後続する型式である三ツ谷式として扱ったが、個別の資料では御殿山式や大洞B1～B2式に併行する土器を含んでいると考えられ、厳密には適切ではない。特徴として、主に爪文や小さな貼瘤を持ち、細い沈線文や帯縄文、幅広の無文帯、刻みによる小波状口縁などがあげられる。爪文は当該期では爪形文と呼称することが多いが、その原体のほとんどは爪そのものであるため、本稿では爪文と呼称した。

また、赤色細粒と赤彩土器が出土しており分析を行った。結果は、赤色細粒がベンガラ、赤彩土器

にもベンガラが用いられており、水銀朱は確認できない。赤彩土器は、試料番号9がH17-2、7がP266-83、8がF121-44に対応する。H17-2はc-1類：堂林式、P266-83・F121-44がc-2類：三ツ谷式で、すべて在地の土器と考えられる。キウス4遺跡の赤彩土器では、搬入されたと考えられる微隆起線の土器には主に水銀朱が、甕間式および堂林式に属する在地の土器にはベンガラが用いられている(阿部ほか2003)。キウス4遺跡と西島松5遺跡は、土器型式では連続的に捉えることができ、在地の土器には伝統的にベンガラが用いられていると考えられる。

当該期の土器群は、型式設定や時期区分など多くの問題点が指摘されており、盛土遺構や遺物集中地区の報告で明らかにしていきたい。

(佐藤 剛)

## まとめ

本報告書では、平成12年度調査によって土壌墓などから出土した金属製品のうち、前報告書（埋文調報178 2002）で掲載できなかったものと平成13年度調査の台地上の遺構とその出土遺物を掲載している。

平成12年度調査では、土壌墓・周溝のある墓から210点、包含層から67点の金属製品が出土した。このうち前報告書では11遺構59点を報告し、本報告書では残りの218点のうち42遺構110点を掲載している。前報告書での金属製品の出土点数等については現場における取り上げ時点でのものであり、本報告書での集計（表Ⅳ-6）が最終決定点数である。これによると直刀（蕨手刀を含む）が15点、小刀・刀子が78点、両者を合わせると93点で、全出土点数の約33%を占めている。ついで鉄鏃25点、鉄斧12点で、この他に鎌、釣針、鑊子、環などが出土している。金属製品の器種の組み合わせについては、Ⅵ章1、土壌墓出土の金属製品について、で石井淳平が検討しており、金属製品の集成ともども参照していただきたい。

平成13年度調査で発見された遺構は、住居跡9軒、土壌115基、Tピット2基、焼土101カ所、小ピット1 A99個、一括出土遺物5カ所、盛土遺構3カ所である。本報告書では台地上の遺構（盛土遺構を除く）住居跡9軒、土壌110基、Tピット2基、焼土94カ所、小ピット1 A99個、一括出土遺物5カ所とその出土遺物について掲載し、報告している。これらの遺構のうち、擦文時代の土壌墓が1基、続縄文時代の土壌が1基で、他は縄文時代の遺構である。住居跡では縄文時代後期のものが2軒、中期のものが1軒、前期のものが2軒、早期のものが3軒で、他の1軒は時期を確定できなかった。土壌で土壌墓と確定できたものは58基で、縄文時代晩期のもの9基、後期のもの46基、中期のもの1基で、他の2基は時期を確定できなかった。土壌では縄文時代晩期のもの1基、後期のもの19基、他の30基は時期を確定できなかった。焼土では縄文時代後期のもの84カ所、早期のもの1カ所、他の9カ所のは時期を確定できなかった。一括出土遺物では縄文時代後期のもの2カ所、前期のもの2カ所、早期のもの1カ所である。Tピットと小ピットは時期を明確に確定できなかった。

遺物は、出土総数（本報告書掲載分）34 960点で、この内訳は土器・土製品26 736点、石器・石製品など8 224点である。土器は縄文時代早期から続縄文時代までのものが出土しているが、縄文時代後期のものが24 137点と多く約90%を占めている。中でも後期後葉のものが圧倒的に多く、堂林式、三谷式、御殿山式、湯の里3式に相当するものなどが出土している。石器などでは石鏃、石槍又はナイフ、石錐、つまみ付きナイフ、スクレイパー、石斧、すり石、たたき石、石皿、砥石などが出土しているが、フレイク、フレイク・チップや礫・礫片が7 708点で約94%を占めている。定型的な石器では、石鏃、スクレイパー、石斧、石錐、すり石などが多く、石材では剥片石器では黒曜石、礫石器では安山岩が多い。この他に土製品、石製品も出土しており、土製品では垂飾、耳環、石製品では垂飾などが出土している。

本報告書では、金属製品の自然科学的分析、炭化植物種子同定、赤色物質のX線回折分析、動物遺存体同定をそれぞれ財団法人元興寺文化財研究所、吉崎昌一氏・榎坂恭代氏、バリノ・サーヴェイ株式会社 に依頼し、その分析結果の報告をいただき、掲載することができた。金属製品では柄部分の材質、鞘部分に遺存する塗膜や繊維製品などについての分析結果が報告されている。炭化植物種子同定では、オオムギ、クルミ属、キハダ、ブドウ科、コナラ属などの種子が検出されているという。中でもクルミ属が多く、また縄文時代後期後葉の焼土（F91・105）からはオオムギが1粒づつ出土していると報告されている。ただこのオオムギについては被熱と破損のため変形が著しく、未だ疑義が残るとし、

観察者は慎重な姿勢をとっている。今後の資料の増加を期待したい。遺構の覆土、焼土中および土器付着の赤色細粒は赤鉄鉱を原料とするベンガラであるという。また遺構の覆土や焼土中などから検出された焼骨では、魚類ではサケ・マス類のものが多く、獣類ではニホンジカやイノシシなどの焼骨が多いという結果が得られている。他には僅かであるがホオジロザメの歯やハクチュウの下腿骨、ネズミ、タヌキ、キツネ、ヒグマなどの骨片も検出されているようである。縄文時代の、とくに同後期の食生活などを考える上で貴重な食料が得られたと言えるだろう。

平成12年度調査で得られた金製製品について、より詳細で、全体的な検討ができず、今後の検討資料を提出するにとどまった。担当者の力量不足を痛感する次第である。なお西島松5遺跡は次年度以降も継続される予定である。資料の蓄積をもとに議論と検討を重ね、実り多い研究成果を念願している。

なお、(財)元興寺文化財研究所へ保存処理を依頼した金属製品の実測図は、処理前のX線写真を参照して実測したもので、平成14年度発行の報告書(北埋調報 178)に掲載した。ところが処理後判明した諸状況により若干の修正、変更が生じたため、実測し直して本報告書に掲載する予定であった。しかしながら時間的に間に合わず平成16年度以降に改めて報告することとなった。当方の不手際を深謝し、お詫び申し上げます。

## 引用・参考文献

- 阿部義平 1999 『蝦夷と倭人』シリーズ 日本のなかの考古学 青木書店
- 石狩教育委員会 1975 『wakkaol』石狩・八幡町遺跡ワッカオイ地点緊急発掘調査報告書  
 # 1976 『wakkaol II』
- 石附喜三男 1986 『アイヌ文化の源流』 みやま書房
- ウサクマイ遺跡研究会編 1975 『鳥棚舞』 雄山閣
- 宇部則保 1988 「丹後平古墳群」『月刊文化財』昭和63年2月号
- 恵庭市教育委員会 1966 『恵庭遺跡』  
 # 1974 『上島松遺跡』
- 江別市教育委員会 1981 『元江別遺跡群』  
 # 1982 『萩ヶ岡遺跡』江別市文化財調査報告書XXV
- 小樽市教育委員会 1991 『蘭島餅屋沢遺跡』  
 # 1992 『蘭島遺跡D地点』
- 大沼忠春 1989 「北海道の文化」『古代史復元』9 講談社
- 河野広道 1934 「北海道の古墳様墳墓に就いて」『考古学雑誌』24-2
- 後藤考一 1932 「古墳の発掘について」『蝦夷往来』第8号
- 後藤考一・曾根原武保 1934 「胆振国千歳郡恵庭村の遺跡について」『考古学雑誌』24-2
- 曾根原武保・天野哲也 1992 「曾根原武保ノート」『北海道考古学』28輯
- 田才雅彦 1992 「統調文時代後期から擦文時代初頭の土墳墓について」櫻井清彦先生古稀記念論文  
 文集『二十一世紀への考古学』雄山閣
- 千歳教育委員会 1979 『ウサクマイ遺跡群とその周辺における考古学的調査』千歳市文化財調査報告書IV
- 辻 秀人 1996 「蝦夷と呼ばれた社会—東北部社会の形成と交流—」『古代王権と交流』(1)  
 古代蝦夷の世界と交流
- 七飯町教育委員会 2000 『国立療養所裏遺跡』
- 日本考古学協会編 1994 『北日本の考古学—南と北の地域性』吉川弘文館
- 日本考古学協会1999年度銅路大会実行委員会 1999 『シンポジウム 海峡と北の考古学—文化の接  
 点を探る—』
- 野村 崇 2000 「北海道式古墳」『大塚初重先生頌寿記念考古学論文集』東京堂出版
- 八戸市教育委員会 1991 『丹後平古墳』八戸市埋蔵文化財調査報告書44集
- 藤本英夫 1971 『北の墓』学生社
- 北海道考古学協会 1998 『1998年度研究大会(江別)要旨集 公開シンポジウム 北海道式古墳の  
 系譜—擦文文化の墓制をめぐって—』
- 北海道文化財保護協会 1971 『柏木川』
- 森 秀之 1996 「擦文・オホーツク文化期の出土刀剣に関する覚書(1)—枝幸町目梨泊遺跡の資料  
 によせて—」『紋別市立郷土博物館報告』第9号  
 # 1997 「擦文・オホーツク文化期の出土刀剣に関する覚書(2)—枝幸町目梨泊遺跡の資料  
 によせて—」『紋別市立郷土博物館報告』第10号
- 八木光則編集 1993 『蕨手刀集成』文化財資料集 第1集

- 八木光則 1996 「蕨手刀の変遷と性格」 坂詰秀一先生還暦記念論文集 『考古学の諸相』  
横山英介 1998 「擦文時代の開始年代修正について」 『考古学ジャーナル』292  
" 1990 『擦文文化』 ニューサイエンス社  
余内町教育委員会 1971 『天内山』  
ワッカオイ調査団 1977 『wackaouiⅢ』  
(財)北海道埋蔵文化財センター 1993 『ユカンボシE5遺跡』北埋調報81  
" 1998 『ユカンボシC15遺跡(1)』北埋調報128  
" 1999 『ユカンボシE7遺跡』北埋調報132  
" 2001 『キウス4遺跡(8)』北埋調報157  
" " 『ユカンボシC15遺跡(4)』北埋調報159  
" 2003 『キウス4遺跡(10)』北埋調報187



# 報告書抄録

ふりがな	えにわし にししままついせき							
書名	恵庭市 西島松5遺跡 (2)							
副書名	柏木川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻号								
シリーズ名	北埋調報							
シリーズ番号	第194集							
編著者名	佐藤和雄・佐藤剛・石井淳平・和泉田毅							
編集機関	財団法人 北海道埋蔵文化センター							
所在地	〒069-0832 北海道江別市西野幌658番地1 Tel. 011 (386) 3231							
発行年月日	西暦2003年7月4日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
		市町村	遺跡番号					
にししままつ 西島松5	ほっかいどう 北海 道 えにわし 恵庭市 にししままつ 西島松 543ほか	01224	A-04-38	42° 54' 25"	141° 34' 30"	20010507 ~20011031	3123m <sup>2</sup>	河川改修 工事に 伴う 事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
西島松5	・集落 ・墓	・縄文時代 早期 前期 中期 後期 晩期 ・統縄文時代 ~擦文時代	・縄文時代 住居跡 土壇 土壇墓 Tピット 焼土 小ピット 盛土遺構  ・統縄文時代~ 擦文時代 土壇墓 周溝のある墓 小ピット	・縄文時代 土器・石器 土製品・石製品  ・その他の 動植物遺存体  ・統縄文時代~擦文 時代 金属製品	・縄文時代早・前・ 後期の住居跡が発 見され、後期~晩 期にかけての土壇 墓が多数発見され る。  ・統縄文時代~擦文 時代の土壇墓、周 溝のある墓が6基 発見された。その 土壇墓出土の金属 製品を掲載した。			

(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第194集

## 恵庭市 西島松5遺跡(2)

—柏木川改修工事用地内埋蔵文化財発掘調査報告書—

発行 平成 15 年 7 月 4 日

編集 財団法人 北海道埋蔵文化センター  
〒069-0832 江別市西野幌685番地1  
TEL.(011) 386-3231

印刷 三浦印刷株式会社